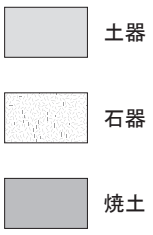
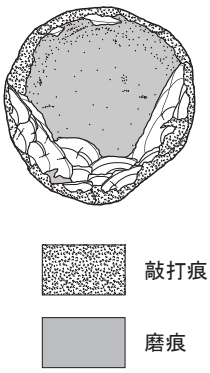
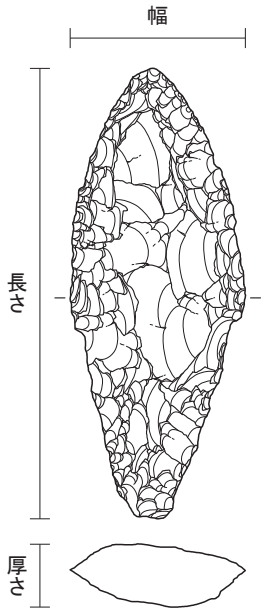
凡　　例

1　本書では国土地理院発行５万分の１地形図「階上岳」を使用した。
2　遺構図版中で記載した座標値は平面直角座標第Ｘ系（世界測地系）に基づく。
3　遺構図版等の方位は真北を表示している。
4　土層の記載には農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』を使用した。
5　グリッドについては、調査区全体を網羅し遺構の地点を把握する調査グリッドと捨て場精査のための簡易グリッドを用いている。それぞれ項目ごとに記載しているので参照されたい。前者は１Ａ１グリッドと表記し、遺構の位置を把握する際に用いている。後者はグリッド１と表記し、捨て場の精査と遺物観察表の記載に用いている。
6　遺構略号は、埋設土器遺構がSJ、焼土遺構がSLを用いている。
7　遺構平面図では焼土と土器、石器実測図では敲打痕と磨痕、アスファルトの付着を以下のトーンで示している。
8　遺物観察表において法量は土器と土製品がcm、石器がmm、重量はgで記載している。また、推定した法量は（○）で示している。
9　遺物写真図版では掲載番号の後ろに＊を付しているものについては、別途に口縁部を拡大した写真を掲載している。







Ⅰ　調査に至る経過

北ノ沢Ⅰ遺跡は、一般国道45号三陸沿岸道路事業（侍浜～階上）の事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして、平成23年度にこれまで事業化されていた区間も含め、全線事業化された復興道路である。

当該遺跡に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、平成25年２月６日付け国東整陸二調第1027号により、三陸国道事務所長から岩手県教育委員会生涯学習文化課長あてに試掘調査を依頼し、平成25年２月12日に試掘調査を行い、平成25年３月22日付け教生第1776号により、工事に先立って発掘調査が必要と回答がなされたものである。

その結果を踏まえて、岩手県教育委員会と協議を行い、平成28年４月１日付けで公益財団法人岩手県文化振興事業団と委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。

（国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所）

Ⅱ　遺　跡　概　要

１　遺跡の位置・立地

北ノ沢Ⅰ遺跡は九戸郡洋野町種市第37地割に所在しており、角浜駅の南西約1.8kmに位置している。遺跡は渋谷川支流（伝吉沢）の右岸に形成された標高53 ～ 60mの丘陵頂部から斜面にかけて立地している。丘陵は東西方向に延びており、頂部は先端部へと標高を下げながら形成されている。この頂部と渋谷川支流との比高は10m前後である。本丘陵から約16km西には階上岳、約２km東には太平洋が位置している。

調査区は丘陵の北側に形成された標高53 ～ 58mの斜面地に設定されている。現河床と北側の縁辺部の比高は１m前後である。調査区内の地形は東側が西側より急傾斜の斜面が形成されており、中央部分は河川の浸食により僅かに南側へと凹んでいる。さらに、本調査区より西側に位置する北側に張り出した平坦面は、近代以降の削平を受けていることが判明したため、今回の調査対象からは外れている。本来であれば、調査区西側と同様、南側から続く緩斜面となる地形であったものと想定される（第２・３図）。

今回の調査からは、現況の地形が捨て場やそれからの土砂の流出により形成されていることが明らかとなった。そして、本来の地形は十和田南部軽石層を基盤とする現況より比較的緩やかな斜面であることを確認している。

この丘陵は中位段丘・白銀平面（第４図）に地形区分されており、この段丘面上には洋野町、青森県階上町共に多くの遺跡が形成されている（青森県教育委員会2018）。

遺跡は国土地理院発行の1:50,000「階上岳」（NJ-54-14-6）の図幅に含まれ、北緯40度25分44秒、東経141度40分26秒付近にある。

1　遺跡の位置・立地

第1図　遺跡位置図

第2図　遺跡周辺地形図

第3図　調査区範囲図

2　歴 史 的 環 境

洋野町内には203遺跡(註１)が存在している。ここでは周辺遺跡の分布状況と町内の調査概要を簡単にまとめておく。

遺跡周辺には縄文時代に属する遺跡が多数確認されており、国道45号の西側に広がる一段高い段丘面上(中位段丘)に分布している(第４・５図)。このような分布状況は隣接する青森県階上町も同様である(青森県教育委員会2018)。

町内における本事業に伴う調査は、平成26年以降21遺跡が着手されており、図幅に収まる15遺跡を掲載している(第５図)。さらに、図の南方の久慈方面においても調査が行われているが、下記の成果と比べると得られた成果は少ない。図示した遺跡の成果は以下のとおりである。

田ノ端Ⅱ遺跡：縄文時代早期から前期にかけての竪穴住居57棟、中期から後期の溝状の陥し穴状遺構、後期の竪穴住居１棟などが確認されている。

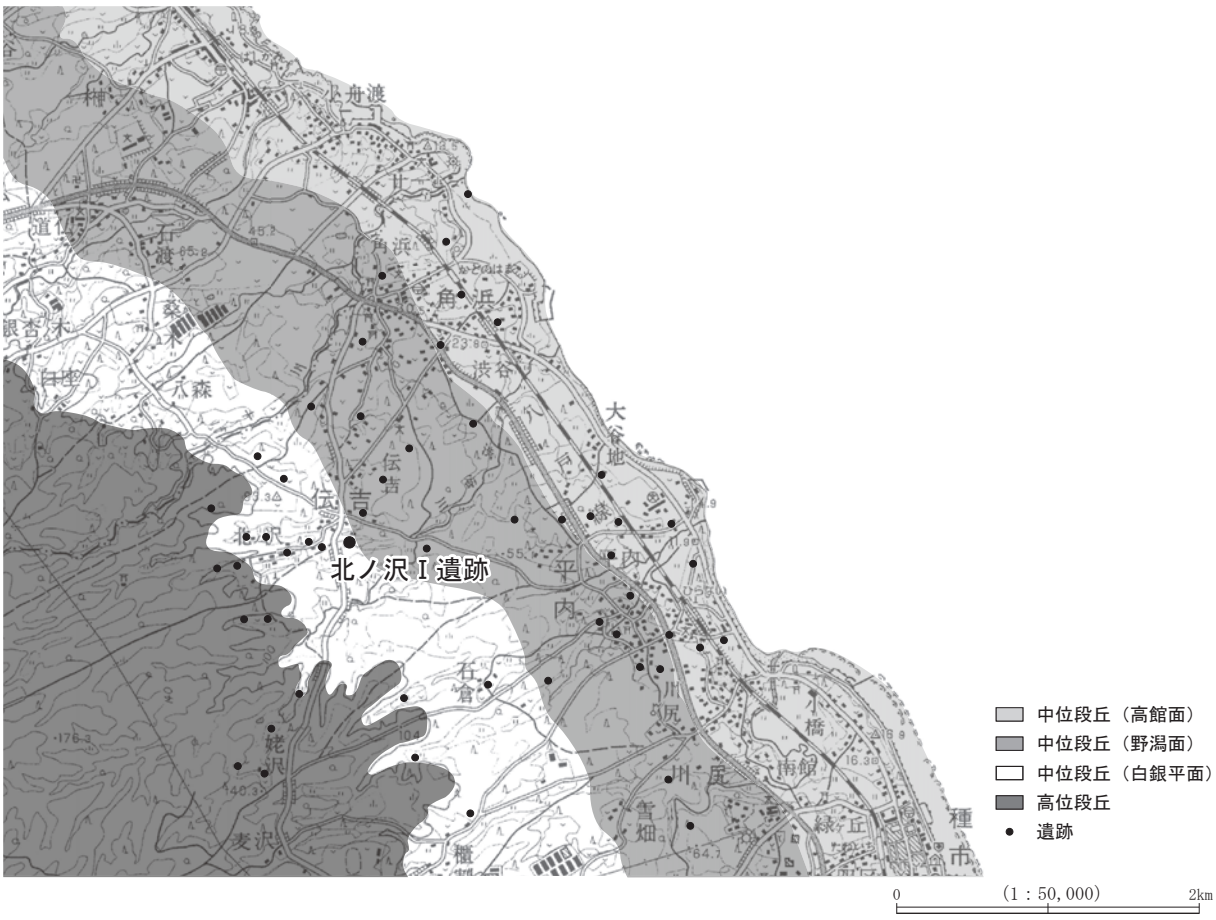
西平内Ⅰ遺跡：縄文時代後期初頭から前葉にかけての竪穴住居５棟、掘立柱建物５棟、配石遺構63基、整地層２枚などが確認されている。配石遺構は外帯と内帯の構造をなすものであり、それらは整地層の下に構築されていることが捉えられている。土器は後期の他に早期のものも見受けられる。

南川尻遺跡：縄文時代後期後葉の竪穴住居２棟、溝状の陥し穴状遺構11基などが確認されている。

サンニヤ遺跡：縄文時代後期以前の溝状の陥し穴状遺構20基が検出されている。

サンニヤⅠ遺跡：縄文時代後期初頭の竪穴住居４棟、溝状の陥し穴状遺構27基などが確認されている。

サンニヤⅢ遺跡：縄文時代の陥し穴状遺構が合わせて69基が確認されている。これらの中には前期の円形も含まれるが、多くは溝状のものである。



第4図　地形区分図

板橋Ⅱ遺跡：縄文時代後期前葉の竪穴住居12棟、溝状の陥し穴状遺構38基などが確認されている。また、これらの他に草創期の爪形文土器が確認されている。

荒津内遺跡：縄文時代の溝状の陥し穴状遺構17基、フラスコ状土坑などの土坑22基が確認されている。前者が後期以前、後者が後期に帰属する可能性を示唆している。

北鹿糠遺跡：縄文時代の竪穴住居１棟、溝状の陥し穴状遺構16基、土坑11基などが確認されている。

南鹿糠Ⅰ遺跡：縄文時代早期末から前期にかけての竪穴住居12棟、溝状の陥し穴状遺構６基、奈良時代の竪穴住居１棟などが確認されている。

鹿糠浜Ⅱ遺跡：縄文時代後期前葉を中心とした竪穴住居14棟、土坑68基、溝状の陥し穴状遺構７基、奈良時代の竪穴住居１棟などが確認されている。

鹿糠浜Ⅰ遺跡：縄文時代前期の捨て場２箇所、縄文時代後期の竪穴住居2棟、配石遺構、溝状の陥し穴状遺構７基、奈良時代の竪穴住居１棟などが確認されている。

北玉川遺跡：縄文時代後期前葉を中心とした竪穴住居と土坑が確認されている。

宿戸遺跡：縄文時代早期から弥生時代にかけての竪穴住居25棟、土坑67基、陥し穴状遺構22基などが確認されている。

小田ノ沢遺跡：縄文時代前期前葉を中心とした竪穴住居12棟と土坑60基、後期前葉の竪穴住居２棟が確認されている。

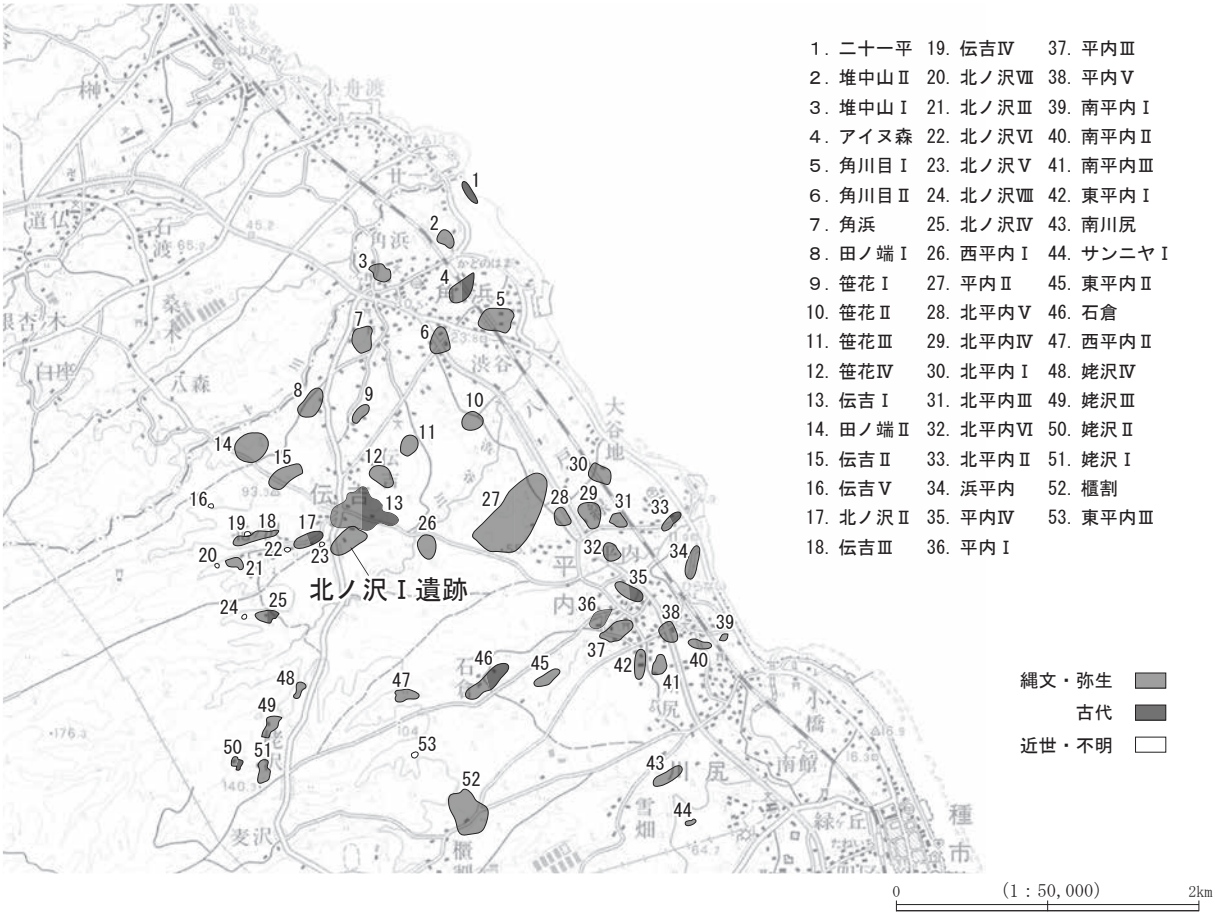
このように各遺跡からは草創期から晩期にかけての成果が得られている。中でも縄文時代前期と後期が中心となり、両時期の遺跡立地が概ね共通していることが窺える。以下では縄文時代に限ってまとめていく。

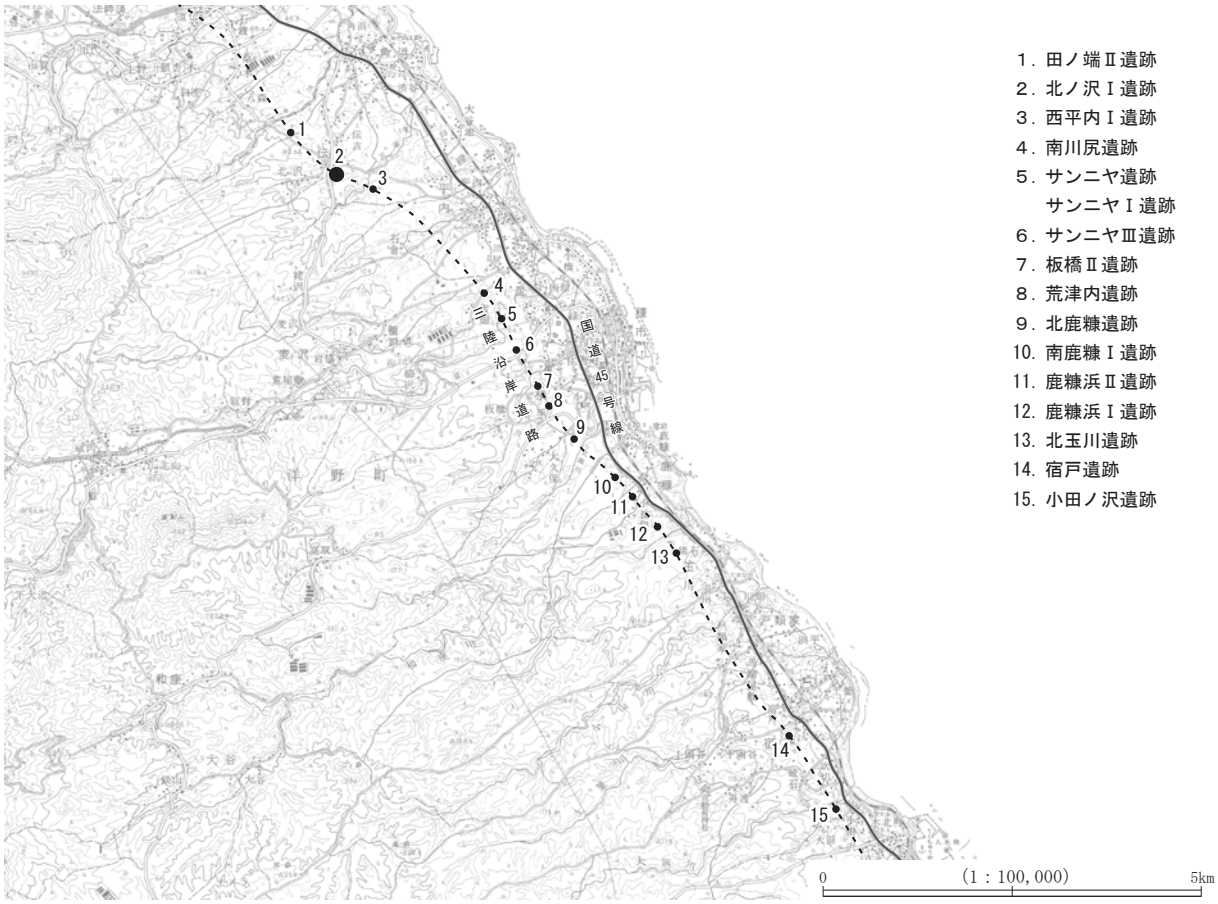
草創期：板橋Ⅱで生産活動が認められるものの、その様相については判然としない
早期：中葉以降、宿戸で出現しており、その後には複数の遺跡が形成されている。田ノ端Ⅱや宿戸、南鹿糠Ⅰで集落を確認できた以外には、西平内ⅠやサンニヤⅢなどで土器を僅かに確認した程度である。町内において中葉以降、断続的に生産活動が認められる。
前期：初頭以降、宿戸、小田ノ沢、南鹿糠Ⅰ、鹿糠浜Ⅰなどで前半期を中心に集落が形成されている。また、円形の陥し穴状遺構も形成されている。当該期になると中位段丘上において多くの遺跡で活動が見られるようになる。
中期：当該期に属する遺跡は前段階より大幅に減少し、竪穴住居の確認は宿戸、上のマッカ（図幅外）に留まる。また、本遺跡では前期末から中期前葉にかけての捨て場が確認されている。この他には、溝状の陥し穴状遺構が多くの遺跡で認められており、これらは当該期から後期にかけて形成されたものと考えられる。集落は中位段丘の中でも一段低い段丘面に形成される傾向にあることから、一連の調査からは把握できなかったものと思われる。また、調査された遺跡が立地する段丘は狩猟場として機能していたものと考えられる。
後期：初頭から前葉を中心にサンニヤⅠ、板橋Ⅱ、鹿糠浜Ⅱなど多くの遺跡で集落が形成されている。稀に南川尻のように後葉に集落を形成する例も認められる。また、配石遺構が西平内Ⅰや鹿糠浜Ⅰで検出されていることから、当該地域は祭祀的要素が強い地域であったことが想定される。当該期は中葉以降において減少傾向にあるものの、前期と同様、中位段丘上に立地する多くの遺跡で生産活動が見らるようになる。前葉の年代観については西平内Ⅰ、鹿糠浜Ⅱなどは年代測定結果により同時期の年代値が得られている。
晩期：早期以降、遺跡数は最も少なく宿戸でのみ確認されており、生産活動はほぼ見られなくなる。これについては中期と異なり立地による地理的要因だけの問題ではなく、町内において共通した様相である。

註１：岩手県遺跡情報検索システムによる。

参考文献　（下記の岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第〇集については岩埋報第〇集とする。）

青森県教育委員会2018『上桑木窪遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第596集
（公財）岩手県文化振興事業団2017『西平内Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第673集
（公財）岩手県文化振興事業団2017『平成28年度発掘調査報告書』岩埋報第676集
（公財）岩手県文化振興事業団2018『北鹿糠遺跡発掘調査報告書』岩埋報第686集
（公財）岩手県文化振興事業団2018『サンニヤⅠ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第687集
（公財）岩手県文化振興事業団2018『平成29年度発掘調査報告書』岩埋報第692集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『南鹿糠Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第697集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『上のマッカ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第698集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『小田ノ沢遺跡発掘調査報告書』岩埋報第699集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『荒津内遺跡発掘調査報告書』岩埋報第701集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『鹿糠浜Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第702集
（公財）岩手県文化振興事業団2019『平成30年度発掘調査報告書』岩埋報第708集
（公財）岩手県文化振興事業団2020『サンニヤⅢ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第714集
（公財）岩手県文化振興事業団2020『田ノ端Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第715集
洋野町教育委員会2015『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第２集
洋野町教育委員会2017『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第３集


1．二十一平
2．堆中山Ⅱ
3．堆中山Ⅰ
4．アイヌ森
5．角川目Ⅰ
6．角川目Ⅱ
7．角浜
8．田ノ端Ⅰ
9．笹花Ⅰ
10．笹花Ⅱ
11．笹花Ⅲ
12．笹花Ⅳ
13．伝吉Ⅰ
14．田ノ端Ⅱ
15．伝吉Ⅱ
16．伝吉Ⅴ
17．北ノ沢Ⅱ
18．伝吉Ⅲ
19．伝吉Ⅳ
20．北ノ沢Ⅶ
21．北ノ沢Ⅲ
22．北ノ沢Ⅵ
23．北ノ沢Ⅴ
24．北ノ沢Ⅷ
25．北ノ沢Ⅳ
26．西平内Ⅰ
27．平内Ⅱ
28．北平内Ⅴ
29．北平内Ⅳ
30．北平内Ⅰ
31．北平内Ⅲ
32．北平内Ⅵ
33．北平内Ⅱ
34．浜平内
35．平内Ⅳ
36．平内Ⅰ
37．平内Ⅲ
38．平内Ⅴ
39．南平内Ⅰ
40．南平内Ⅱ
41．南平内Ⅲ
42．東平内Ⅰ
43．南川尻
44．サンニヤⅠ
45．東平内Ⅱ
46．石倉
47．西平内Ⅱ
48．姥沢Ⅳ
49．姥沢Ⅲ
50．姥沢Ⅱ
51．姥沢Ⅰ
52．櫃割
53．東平内Ⅲ
北ノ沢Ⅰ遺跡
縄文・弥生
古代
近世・不明
0
(1：50,000)
2km


1．田ノ端Ⅱ遺跡
2．北ノ沢Ⅰ遺跡
3．西平内Ⅰ遺跡
4．南川尻遺跡
5．サンニヤ遺跡
サンニヤⅠ遺跡
6．サンニヤⅢ遺跡
7．板橋Ⅱ遺跡
8．荒津内遺跡
9．北鹿糠遺跡
10．南鹿糠Ⅰ遺跡
11．鹿糠浜Ⅱ遺跡
12．鹿糠浜Ⅰ遺跡
13．北玉川遺跡
14．宿戸遺跡
15．小田ノ沢遺跡
三陸沿岸道路
国道45号線
0
(1：100,000)
5km

第5図　遺跡分布図

Ⅲ　調 査 概 要

1　野 外 調 査

調査区は、グリッド設定図(第６図)に示したように大グリッドは西から東に向かってⅠ～Ⅳ、北から南に向かってＡ・Ｂと設定した。大グリッドは１辺が25m、小グリッドは各辺を５等分して１辺が５ｍとなるように組み、小グリッドの北西隅を１、南東隅を25と付している。各グリッドは北西隅の杭名称による。

野外調査は、任意に設定したトレンチから捨て場の範囲と層序の堆積過程を確認したうえで、表土を重機で掘り下げた後に精査を進めている。精査は人力にて行っているが、その際に確認できた遺構に関しては二分法を用いている。捨て場の精査においては下記のグリッド配置図とは別に、地形に合わせた簡易グリッド(第23図)を設定し遺物を取り上げている。遺構の記録は台帳や野帳に記録している。

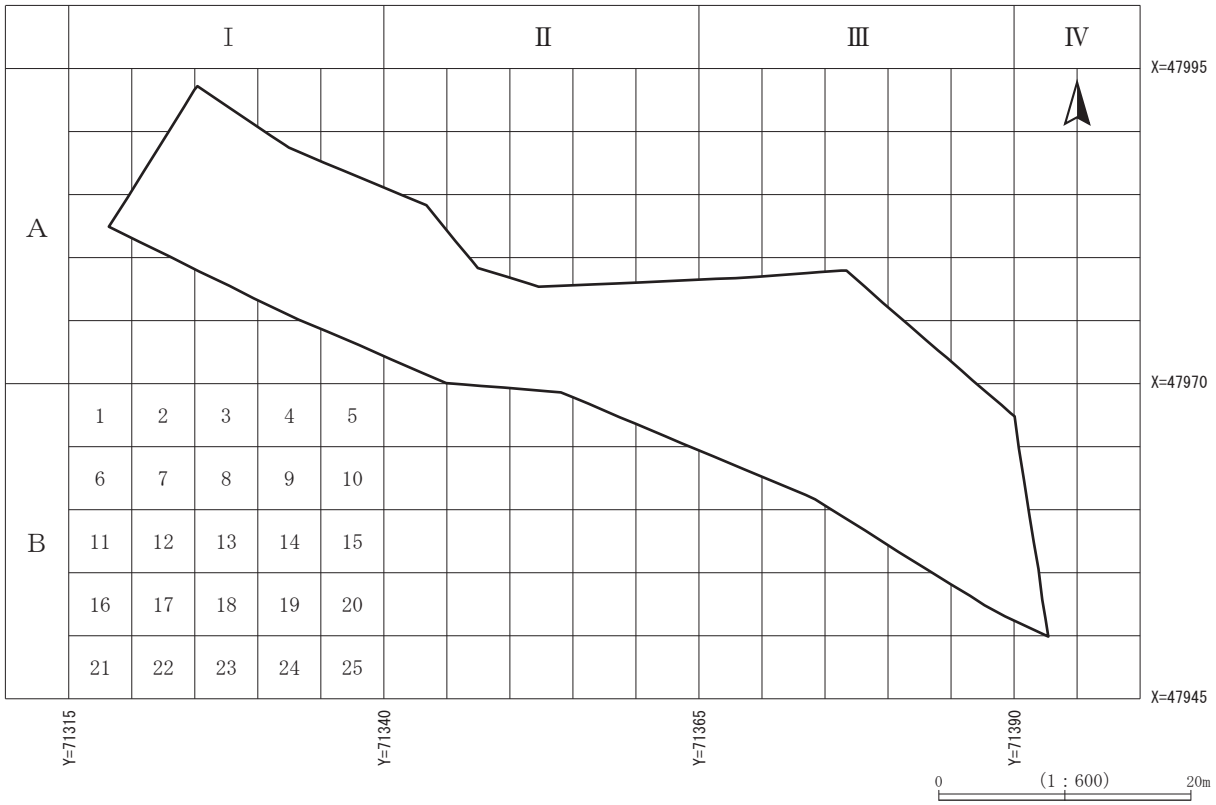
実測は、「遺構くん」(CUBIC製)・デジタルカメラ((株)リッケイ)を併用して図化している。

写真撮影は一眼レフデジタルカメラ(CanonEOS6D)、中判カメラ６×4.5cm（マミヤ)を用いている。

調査は平成28・29年度に行われており、その経過は以下のとおりである。

平成28年度：10月31日器材搬入、現場設営。11月１日：表土掘削開始。２日：雑物撤去。７日：試掘及び捨て場の精査開始、基準点打設。12月10日：終了確認。21日：器材搬出、現場撤収。

平成29年度：４月７日器材搬入、現場設営。10日：捨て場の精査開始。５月10日終了確認。15日：器材搬出、現場撤収。



第6図　グリッド設定図

2　室　内　整　理

室内整理は、平成28・29・31年度、令和２年度に行われており、作業工程と掲載基準は以下のとおりである。

出土遺物は注記・接合復元を行った後、掲載遺物を登録している。

遺物実測は、土器が復元できた個体と所属時期を特定できた口縁部片、石器が完形品を中心に行い掲載している。土偶、土・石製品については全点行い掲載している。それぞれの縮尺は、土器・土製品が1/2 ～ 1/4、石器・石製品が2/3・1/2 ～ 1/4である。図化については、土器と石器は共にPEAKIT((株)ラング)を用いているが、一部の土器片については従来どおり拓本を作成している。

遺構図版作成は、野外調査時に取得した遺構図のデータを委託業務((株)リッケイ)において合成及び編集作業を行い作図している。これらは校正を重ねた後、版下への工程を経ている。

遺物図版は上述したようにPEAKITを作成後に、委託業務においてそれらとトレース図との合成及び編集作業を行い作図している。これらは校正を重ねた後、版下への工程を経ている。

遺構・遺物写真図版は共に、デジタルカメラで撮影したものをそのまま入校している。

Ⅳ　出土遺物の分類

出土遺物には縄文時代の土器と石器があり、以下の分類基準を用いている。

1　縄　文　土　器

土器は主に前期末葉から中期前葉と後期前葉に属するものが認められており、以下の型式を用いている。ただし、後期前葉については判然としないことから、型式名を付さずに一括して扱う。

1）前期末葉から中期前葉の土器

円筒下層ｄ2式から円筒上層ｂ式にかけての土器群である。分類にあたっては茅野(2008)、小笠原(2008)、高木(2005)などを参考にしている。各型式の特徴は以下のとおりである。

円筒上層ｂ式

[**器種**]深鉢a・b・e類を確認している。口縁部は平縁と波状口縁がある。後者は台形、M字状などが４単位で構成される。

[**文様構成**]文様帯は前型式と同様か、やや幅広くなる。口縁部と体部との境には横位隆帯により明瞭に区分される。波頂部直下には縦位、Ｃ字状、弧状、鋸歯状(横)などの隆帯が施される。また、弧状隆帯の中には上述した横位隆帯の下方の体部に展開するものも認められる。これらの隆帯と組み合わせて環状、円形などの貼付が付されている。口縁部と横位隆帯との間には横・斜位、Ｃ字状などの側面圧痕が充填される。口縁部は前型式と同様に、厚く折り返されるものとなる。これらの他には工具による施文が認められるが他型式と比べると少なくなる。

[**体部文様**]結束第１種羽状縄文、結節回転文、斜行縄文などである。

[**その他**]焼成は良好である。胎土には小石を含むもの、内面にはミガキを施すものが認められる。

円筒上層ａ2式

[**器種**]深鉢a・b・d・e類、皿を確認している。口縁部は平縁と波状口縁がある。後者は山形、台形、M字状、棒状などが４単位で構成される。

[**文様構成**]文様帯は前段階と同様の幅が主体となる。口縁部と体部との境には横位隆帯により明瞭に区分される。波頂部直下には縦位、Ｃ字状、弧状などの隆帯が施される。また、弧状隆帯の中には上述した横位隆帯の下方の体部に展開するものも認められる。これらの隆帯と組み合わせて円形、方形、環状、橋状などの貼付が付されている。口縁部と横位隆帯との間には鋸歯状(横)、矢羽根状、Ｘ字状などの側面圧痕が充填される。口縁部は前型式と同様に、厚く折り返されるものとなる。これらの他には工具による施文が認められるが他型式と比べると少なくなる。

[**体部文様**]結束第１種羽状縄文、結節回転文、斜行縄文などである。

[**その他**]焼成は良好である。胎土には小石を含むもの、内面にはミガキを施すものが認められる。

円筒上層ａ1式

[**器種**]深鉢a・b・d・f類を確認している。口縁部は平縁と波状口縁がある。後者は山形、山形(片欠)、台形、棒状、M字状などが４単位で構成される。

[**文様構成**]文様帯は前型式と同様か、幅広くなる。体部との境には横位隆帯により明瞭に区分される。波頂部直下には縦位、鋸歯状(縦)、Ｕ・Ｙ・Ｃ字状などの隆帯が施される。これらの隆帯と組み合わせて円形、方形、環状、橋状などの貼付が付されている。口縁部と横位隆帯との間には縦・横・斜位

などの側面圧痕が充填される。口縁部は前型式の形態を維持するものと、厚く折り返されるものがある。これらの他には工具による施文が認められる。
[**体部文様**]結束第１種羽状縄文、結節回転文、斜行縄文などが主体であり、稀に木目状撚糸文(単軸絡条体第１A類)が認められる。
[**その他**]焼成は良好である。胎土には繊維と小石を含むもの、内面にはミガキを施すものが認められる。

円筒上層ａ式

口縁部の文様が判然としないことから、上記のａ1～ａ2式に該当するものである。深鉢a・b・e・f類などを確認している。また、これらの中には山形や台形の口縁部に斜行縄文を施文しているものなども含めている。

円筒下層ｄ2式

[**器種**]深鉢a・b・c・e類を確認している。口縁部は平縁と波状口縁がある。後者は山形、山形(片欠)、M字状などが４単位で構成される。これらの中には小起伏の形状のものも含まれる。
[**文様構成**]文様帯は幅が狭いものとやや広いものがある。口縁部と体部との境には側面圧痕や横位隆帯、工具による刺突列などにより区分される。平縁や波頂部の下には縦位隆帯などが施される。これらの隆帯と組み合わせて方形、円形の貼付が付されている。口縁部の下方には横位側面圧痕を主体に、縦位や楕円形などが充填される。
[**体部文様**]木目状撚糸文(単軸絡条体第１A類)、結束第１種羽状縄文、結節回転文、斜行縄文などである。
[**その他**]焼成は良好である。胎土には小石と繊維を含むもの、内面にはミガキを施すものが認められる。

異系統土器

[**器種**]深鉢a・f類を確認している。口縁部は平縁と波状がある。後者は山形の４単位で構成されている。
[**文様構成**]工具による施文、斜行縄文である。
[**その他**]大木式に比定されるものである。

２)後期前葉の土器

十腰内式以前の土器群である(榎本2008)。器種は深鉢、鉢である。文様は方形区画文及び網目状撚糸文(単軸絡条体第５類)などを確認している。ただし、土器は出土点数も少なく、破片が多いことから様相については判然としない。

３)器形分類

各型式からは深鉢を中心に、鉢、皿などの器種が用いられている。深鉢は複数の器形が認められたことから、下記のa～f類に分類している。
深鉢a類：体部が膨らみ、口縁部が外傾するもの。
深鉢b類：体部が外傾もしくは直立し、口縁部が外傾するもの。
深鉢c類：体部がやや膨らみながら立ち上がり、口縁部が直立するもの。
深鉢d類：体部中央で大きく張り出し、口縁部が外傾するもの。
深鉢e類：体部が膨らみながら口縁部まで立ち上がるもの。
深鉢f類：上記のa～e類に該当しないもの。

2　縄　文　石　器

石器は器種ごとに分類し、形態的特徴などから細分している。

石鏃：扁平で左右対称となり、鋭い先端部を形成するものである。平面形状により分類し、Ⅰ・Ⅲ類で細分している。

Ⅰ類：基部を有し、尖頭部と基部の境が明瞭となる「有基鏃」である。長幅比によりa～cに細分している。

a：長さが幅に対して2.8以上のもの。

b：長さが幅に対して2.2～2.7のもの。

c：長さが幅に対して2.1以下のもの。

Ⅱ類：柳葉形の平面形状で、尖頭部と基部の境が不明瞭となる「尖基鏃」である。

Ⅲ類：基部が抉られ凹む「凹基無茎鏃」である。長幅比によりa・bに細分している。

a：長さが幅に対して２以上のもの。

b：長さが幅に対して1.5以下のもの。

Ⅳ類：基部が平坦で、尖頭部と基部の境が存在しない「平基無茎鏃」である。

Ⅴ類：上記に該当しないもので、製作段階における失敗品と捉えているものである。

尖頭器：扁平で左右対称の柳葉形をしており、長軸が５cm以上の縦長で鋭い先端部を形成するものである。

石篦：左右対称となる撥形・長楕円形をしており、一端ないし両端に刃部を形成するものである。

石匙：基部に抉りを入れて摘み部を作出し、二次加工によって片側ないし両側縁に刃部を形成するものである。摘み部の中軸線に対する刃部の位置により分類している。

Ⅰ類：縦位に形成するもの。

Ⅱ類：斜位に形成するもの。

Ⅲ類：横位に形成するもの。

不定形石器：剥片の側縁に対して二次加工を施して刃部を形成するものである。刃部形状により分類している。

Ⅰ類：両面加工が施され、周縁に刃部を形成するもの。

Ⅱ類：一側縁ないし両側縁に刃部を形成するもの。

楔形石器：２つの側縁から互いに向き合う方向の両極剥離が表裏面に形成するものである。対をなす数量によって分類している。

Ⅰ類：両極剥離痕を上下の一対に形成するもの。

Ⅱ類：両極剥離痕を上下左右の二対に形成するもの。

石核：剥片剥離作業が認められたものである。

剥片：石核から剥離されたものであり、ここでは規模を問わず全てを対象としている。

磨製石斧：剥離・敲打により整形され、研磨が施され仕上げられたものである。完成品へと至る製作工程を以下の５段階に分け、本文及び観察表には各段階を（○段階）で示している。

１段階：剥離整形。片面もしくは両面に対して剥離を行う。

２段階：剥離・敲打整形。剥離された面及び自然面に対して敲打整形を行う。

３段階：敲打整形。敲打による整形が行われ、器体が敲打痕で覆われている。

４段階：研磨整形。敲打整形された面及び自然面に対して研磨整形を行う。

５段階：完成品。

ただし、近年の調査成果((公財)岩手県文化振興事業団2018、2019)からは、片面に自然面を残したまま、敲打・研磨段階へと移行する資料を確認できたことから、それらも上記の段階に含め分類している。

敲磨器：敲打痕(Ⅰ類)や磨痕(Ⅱ類)が認められたものである。各痕跡が認められる部位により細分している。

Ⅰ a類：端部に敲打痕を形成するもの。

Ⅰ b類：側面に敲打痕を形成するもの。

Ⅰ c類：平坦面に敲打痕を形成するもの。

Ⅰ d類：a～c類で構成されているもの。この中には多面体形状となるものも含む。

Ⅱ a類：平坦面に磨痕を形成するもの。

Ⅱ b類：側面に磨痕を形成するもの。

Ⅲ　類：Ⅰ類とⅡ類で構成されているもの。

石皿：磨痕により中央が凹み、皿形の形状となるものである。

石棒：敲打や研磨などの整形により丸棒状に形成されたものである。また、自然面に覆われ、先端部にのみ敲打痕が施されるものも含めている。

礫片：磨製石斧や敲磨器類などの製作工程中に剥離されたものである。

原石：丘陵の基盤となる花崗岩以外の本来丘陵上に存在しない石材であり、それらは剥片剥離及び加工等が認められないものである。

参考文献　(下記の岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第○集については岩埋報第○集とする。)

青森県　2017『青森県史　資料編　考古Ⅰ』

榎本剛治　2008「十腰内Ⅰ式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

小笠原雅行　2008「円筒上層式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

(公財)岩手県文化振興事業団　2018『北鹿糠遺跡発掘調査報告書』岩埋報第686集

(公財)岩手県文化振興事業団　2019『鹿糠浜Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第702集

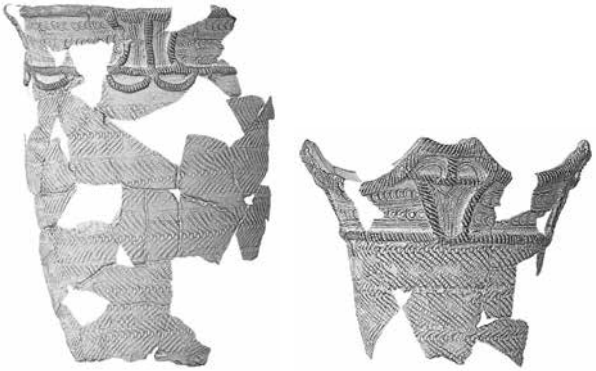
高木　晃　2005「岩手県北における縄文時代前期末土器群の様相」
『東北・北海道の縄文時代前期末葉～中期初頭土器の課題－資料集－』海峡土器編年研究会

茅野嘉雄　2008「円筒下層式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

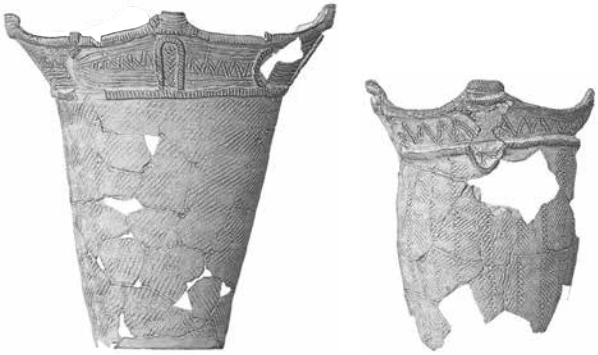
三宅徹也　1989「円筒土器下層様式」『縄文土器大観１草創期　前期　早期』小学館

型式

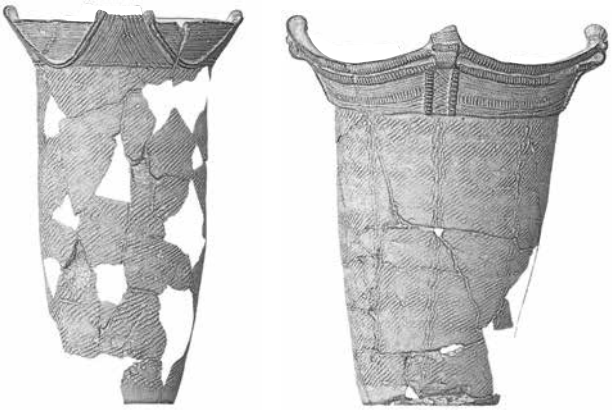
円筒上層ｂ式



円筒上層ａ2式



円筒上層ａ1式



円筒下層ｄ2式

器形分類

深鉢ａ類

深鉢ｂ類

深鉢ｃ類

深鉢ｄ類

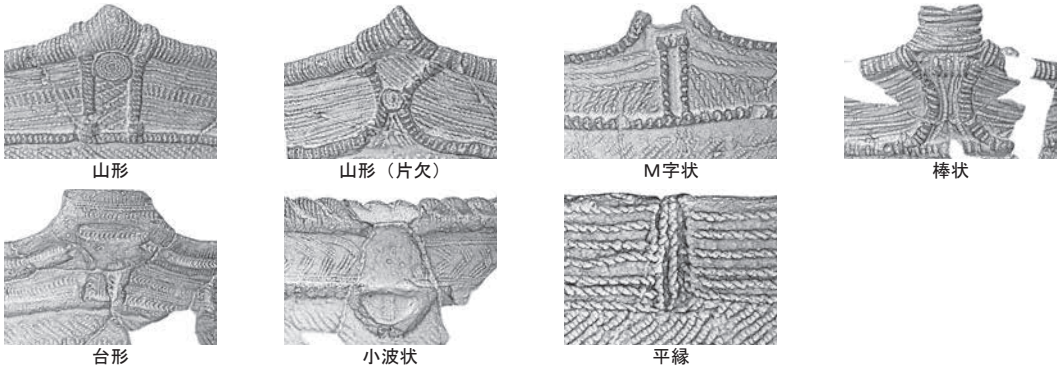
深鉢ｅ類

鉢

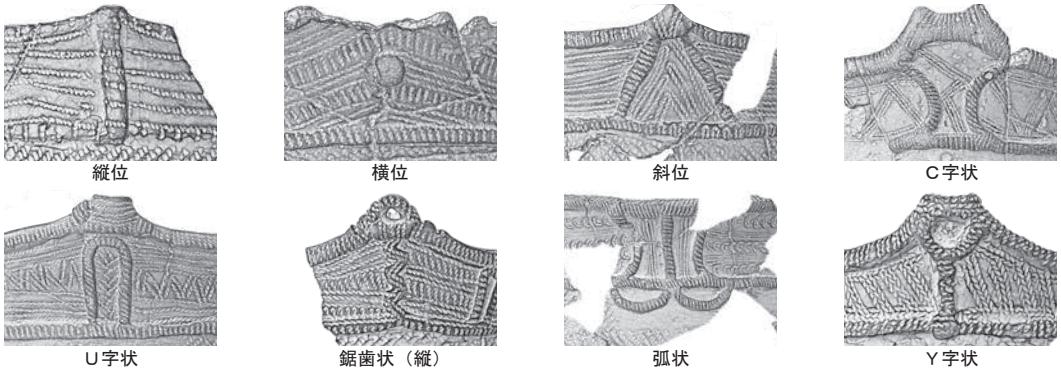
皿

第7図　土器分類(1)

口縁部形状

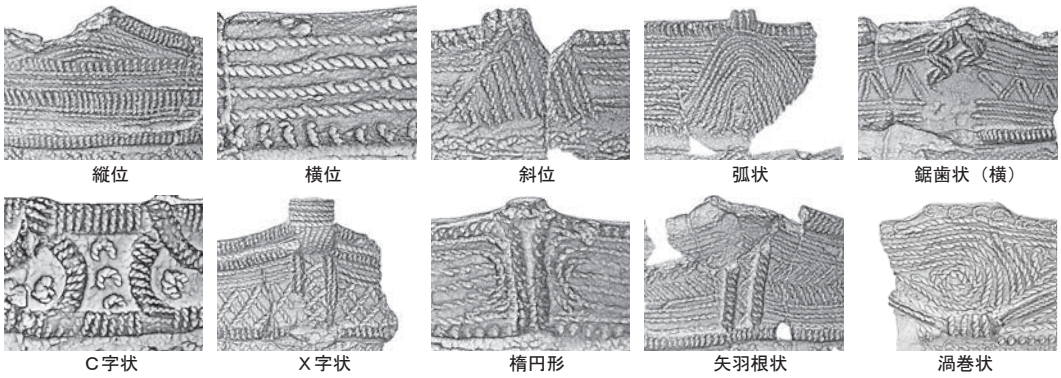


隆帯

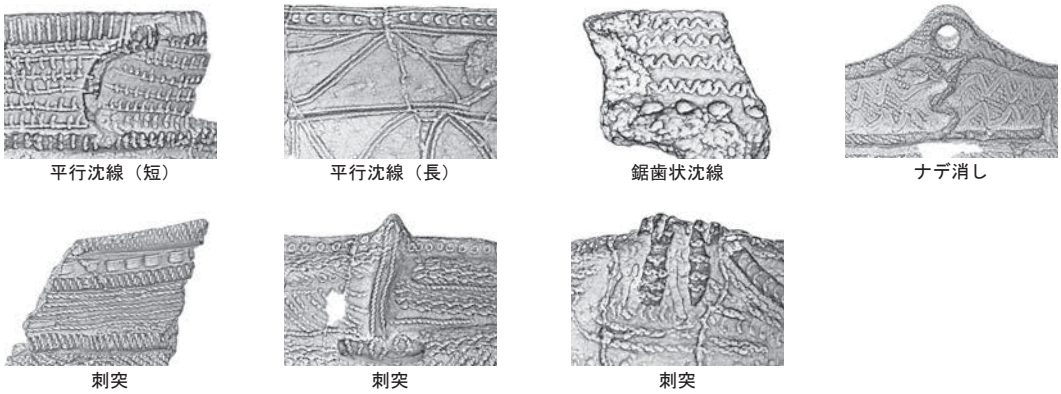


貼付

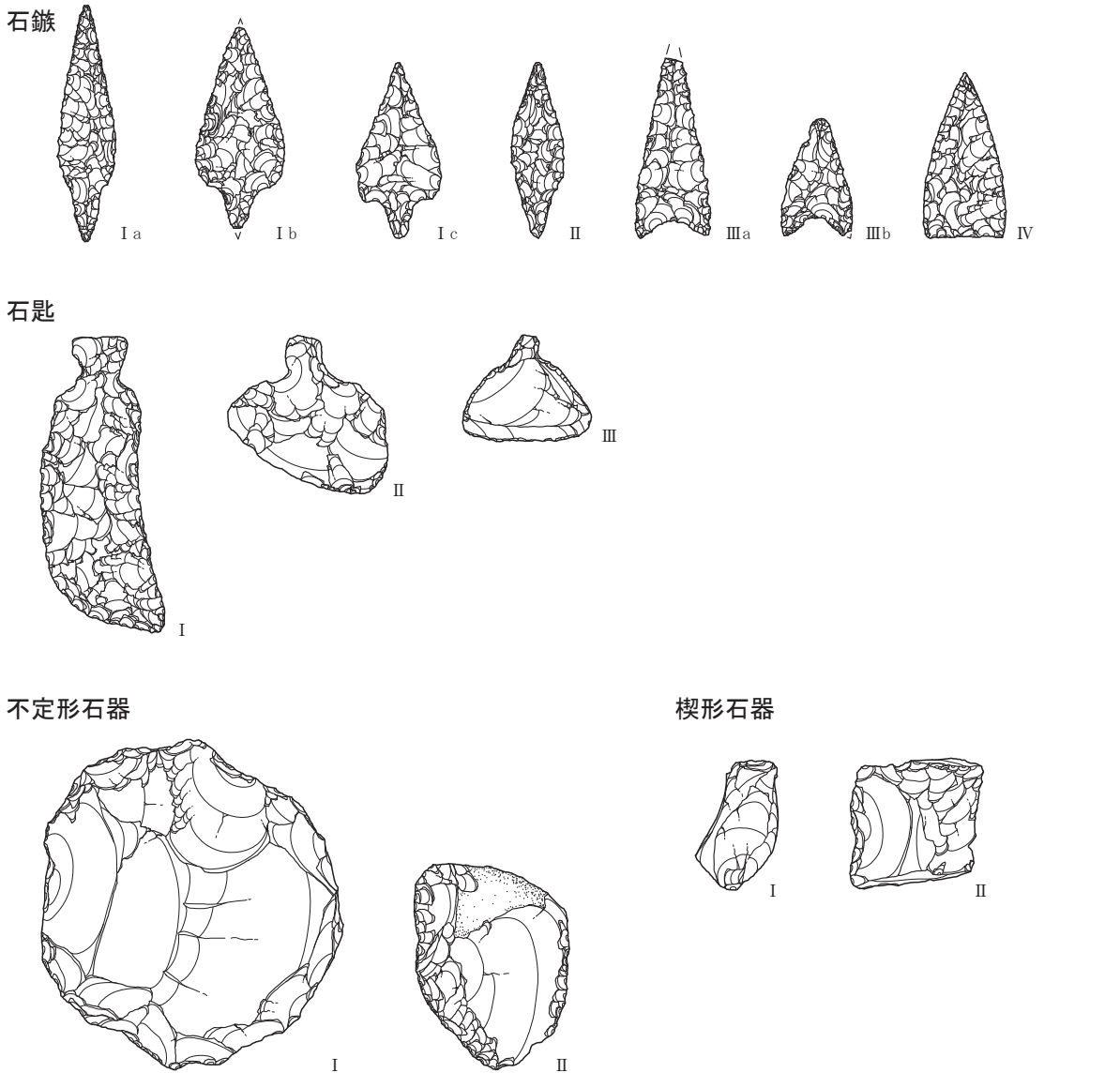
側面圧痕



工具痕

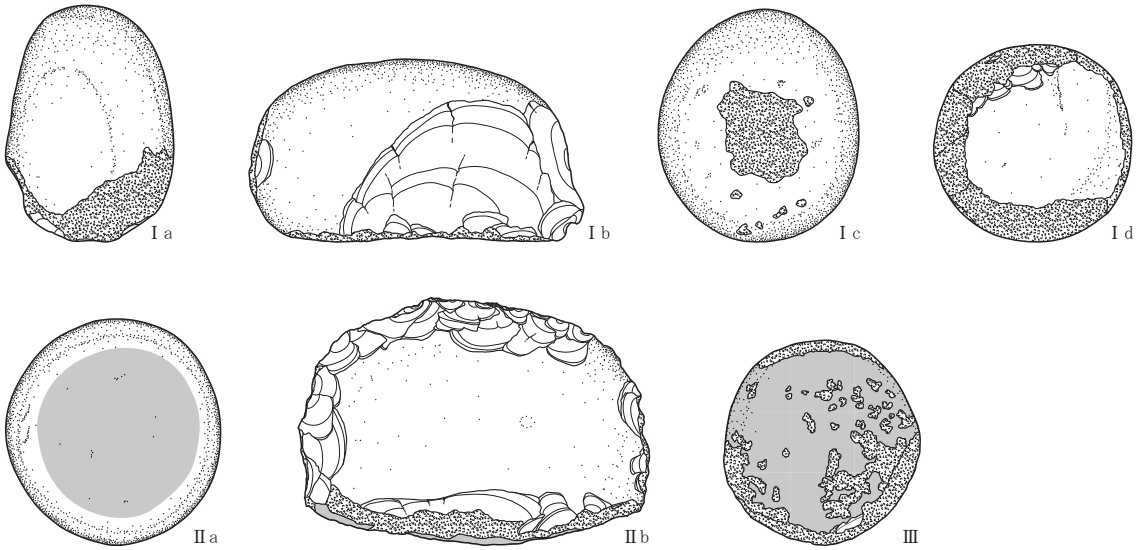


第8図　土器分類(2)

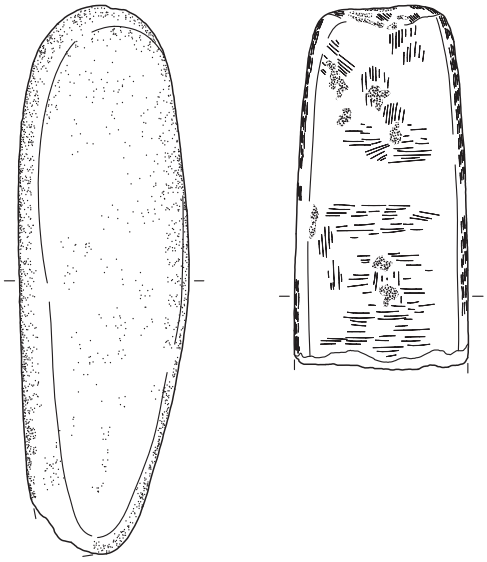

石鏃
Ⅰa
Ⅰb
Ⅰc
Ⅱ
Ⅲa
Ⅲb
Ⅳ
石匙
Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
不定形石器
Ⅰ
Ⅱ
楔形石器
Ⅰ
Ⅱ
磨製石斧
1段階
1段階
2段階
3段階
4段階
5段階

第9図　石器分類（1）

敲磨器類



石棒



第10図　石器分類（2）

Ⅴ 基 本 層 序

層序は調査区北壁、斜面上部のⅢＢ13グリッド付近で観察している。以下の層序は洋野町内において概ね認められる堆積である。今回検出した捨て場はⅢ層とⅣ層の間に形成されており、各層位の詳細については35頁に記載している。

Ⅰ　層：黒褐色土(10YR3/2)粘性弱い、しまり弱い。表土。層厚20cm。生物の擾乱を受けている。

Ⅱ　層：黒色土(10YR2/1)粘性やや強い、しまり中。層厚20cm。縄文時代後期の遺物包含層である。周辺地域では十和田ａテフラが混在する層であることを確認している。

Ⅲ　層：本層はa・bに区分される。a層は遺跡の全範囲に堆積しているが、b層はＩＡ・ⅡＡグリッドの境でのみa層の下位において確認している。共に縄文時代前期末葉から中期前葉の遺物包含層であり、後期の遺物を僅かに包含している。

a層：黒褐色土(10YR3/1)粘性やや強い、しまりやや強い。白色粒子を含む。層厚10 ～ 30cm。

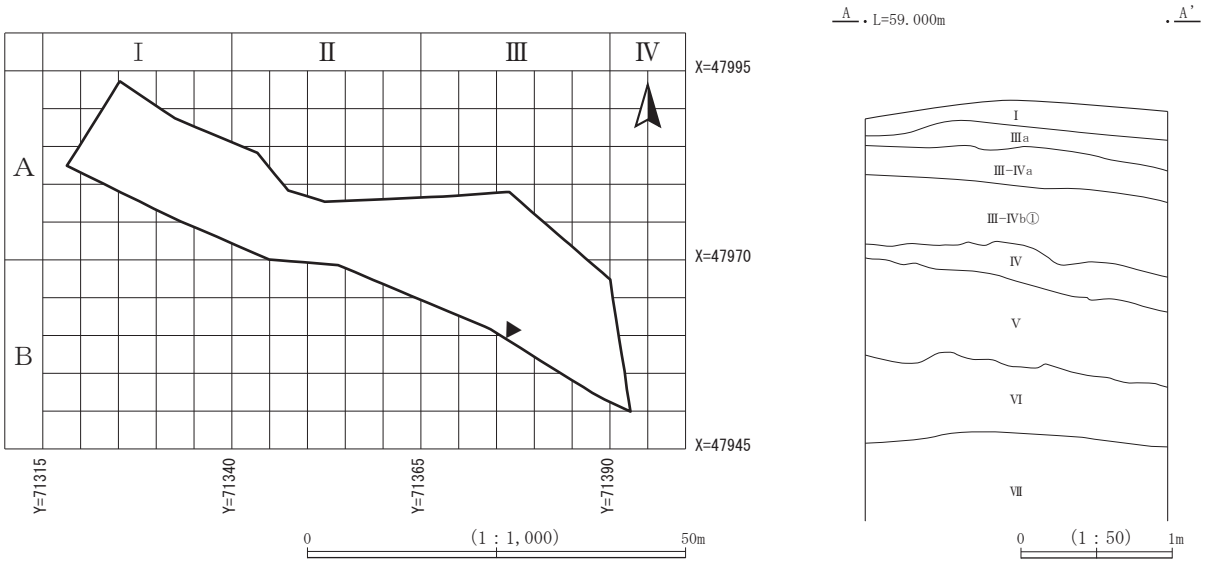
b層：黒褐色土(10YR3/1)粘性強い、しまり強い。層厚10 ～ 20cm。

Ⅳ　層：暗褐色土(10YR3/3)粘性やや強い、しまり強い。砂質味が強い。周辺地域では十和田中掫テフラの堆積層と捉えられる層である。下位には十和田南部軽石の粒子を僅かに確認している。

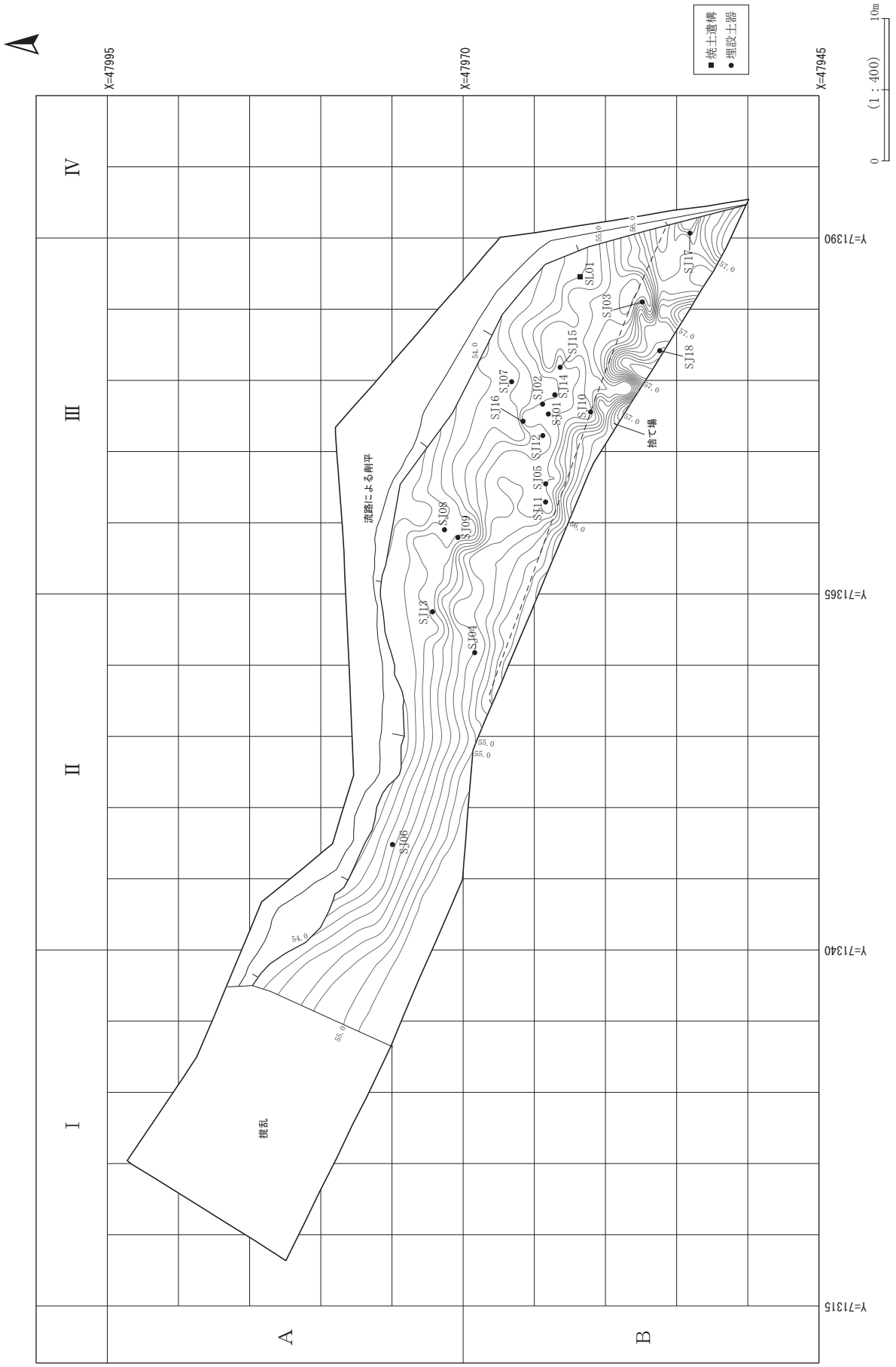
Ⅴ　層：黒色土(10YR2/1)粘性やや弱い、しまりやや強い。十和田南部軽石の粒子を少量確認している。

Ⅵ　層：黒色土(10YR1.7/1)粘性中、しまりやや強い。十和田南部軽石の粒子をやや多く確認している。

Ⅶ　層：黒褐色～暗褐色土(10YR2/3 ～ 10YR3/3)粘性やや弱い、しまりやや強い。十和田南部軽石の堆積層である。この十和田南部軽石はⅣ層下位まで浮き上がり、Ⅴ・Ⅵ層にそれぞれ含有している。



第11図　基本層序


■ 焼土遺構
● 埋設土器
0
(1：400)
10m
X=47995
X=47970
X=47945
Y=71390
Y=71365
Y=71340
Y=71315
Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
A
B
流路による削平
撹乱
捨て場
SL01
SJ01
SJ02
SJ03
SJ04
SJ05
SJ06
SJ07
SJ08
SJ09
SJ11
SJ12
SJ13
SJ14
SJ15
SJ16
SJ17
SJ18
SJ19
54.0
55.0
56.0
57.0

第12図　遺構配置図

Ⅵ 調 査 成 果

1　検出された遺構・遺物

調査からは縄文時代前期末葉から後期前葉にかけての遺構と遺物を確認している。成果の概要は以下のとおりである。

遺構：埋設土器18基、焼土遺構１基、捨て場１箇所。

遺物：土器94,885点、土偶32点、土製品11点、石器5,060点、石棒４点、石製品３点。

SJ01　（第13、19図　写真図版９）

［位置・検出層位］ⅢＢ８グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は不整円形である。規模は38×37cm、深さが10cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］１は埋設土器に用いられたものだが、欠損しているため型式は不明である。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉から中期初頭である。

［備考］遺構時期については周辺の遺構時期から判断している。

SJ02　（第13、19図　写真図版９）

［位置・検出層位］ⅢＢ８グリッドに位置し、Ⅲa層下位からⅣ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は倒立である。検出時に下半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は31×29cm、深さが10cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は概ね平坦である。堆積土は黒色土からなる。

［出土遺物］２は埋設土器に用いられたものであり、円筒下層ｄ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

SJ03　（第13、19図　写真図版９）

［位置・検出層位］ⅢＢ15グリッドに位置し、Ⅲ-Ⅳb層下位からⅣ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に下半部が欠損した状態で埋設されていることを確認している。

［掘り方］平面形は不整円形である。規模は36×33cm、深さが10cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面下方に若干傾斜しているが概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］３は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ1式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ04　（第14、19図　写真図版９）

［位置・検出層位］ⅡＢ５グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。

［掘り方］平面形は円形である。規模は40×39cm、深さが24cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］４は埋設土器に用いられたものであり、円筒下層ｄ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

SJ05　（第14、20図　写真図版10）

［位置・検出層位］ⅢＢ７グリッドに位置し、Ⅲa層下位からⅣ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は横位である。検出時に上半部の一部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は54×48cm、深さが13cmである。壁は斜面上方のみで確認できており、外傾して立ち上がる。底面は斜面下方に向けて緩やかに登り凹凸が認められる。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］５・６は埋設土器に用いられたものであり、５の内側で６を確認している。５は円筒下層ｄ2式に比定される。６は時期不明としたが５と同時期と考えられる。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

［備考］今回確認できた中で唯一の入れ子状の埋設土器である。

SJ06　（第14、20図　写真図版10）

［位置・検出層位］ⅡＡ22グリッドに位置し、Ⅲa層下位で検出している。

［埋設土器の状態］土器は倒立である。検出時に礫が底面に置かれ、その上に土器が配置されていることを確認している。

［掘り方］平面形は隅丸方形である。規模は28×26cm、深さが８cmである。壁は緩やかに外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］７は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ07　（第15、20図　写真図版10）

［位置・検出層位］ⅢＢ３・４グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は32×20cm、深さが８cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］８は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ1式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ08　（第15、20図　写真図版10）

［位置・検出層位］ⅢＡ21グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。

［掘り方］平面形は円形である。規模は28×25cm、深さが10cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］９は埋設土器に用いられたものだが、型式は不明である。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉から中期初頭である。

［備考］遺構時期については周辺の遺構時期から判断している。

SJ09　（第15、20図　写真図版11）

［位置・検出層位］ⅢＡ21グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は35×34cm、深さが22cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］10は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ10　（第16、21図　写真図版11）

［位置・検出層位］ⅢＢ８グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。

［掘り方］平面形は不整円形である。規模は30×25cm、深さが25cmである。壁は直立気味に立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており凹凸が認められる。堆積土は黒色土からなる。

［出土遺物］11は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ1式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ11　（第16、21図　写真図版11）

［位置・検出層位］ⅢＢ７グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立気味である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は30×25cm、深さが21cmである。壁は直立気味に立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており凹凸が認められる。堆積土は黒色土からなる。

［出土遺物］12は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ａ1式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期初頭である。

SJ12　（第16、21図　写真図版11）

［位置・検出層位］ⅢＢ８グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形は円形である。規模は35×30cm、深さが９cmである。壁は緩やかに外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており凹凸が認められる。堆積土は黒色土からなる。

［出土遺物］13は埋設土器に用いられたものだが、欠損しているため型式は不明である。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉から中期初頭である。

［備考］遺構時期については周辺の遺構時期から判断している。

SJ13　（第17、21図　写真図版12）

［位置・検出層位］ⅡＡ25グリッドに位置し、Ⅲa層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は倒立である。検出時に下半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形状は円形である。規模は38×36cm、深さが６cmである。壁は緩やかに外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］14は埋設土器に用いられたものであり、円筒上層ｂ式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代中期前葉である。

SJ14　（第17、21図　写真図版12）

［位置・検出層位］ⅢＢ８グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形状は楕円形である。規模は27×21cm、深さが７cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒色土からなる。

［出土遺物］15は埋設土器に用いられたものであり、円筒下層ｄ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

SJ15　（第17、22図　写真図版12）

［位置・検出層位］ⅢＢ９グリッドに位置し、Ⅲa層中～下位で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した状態であることを確認している。

［掘り方］平面形状は円形である。規模は24×23cm、深さが８cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］16は埋設土器に用いられたものだが、欠損しているため型式は不明である。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉から中期前葉である。

SJ16　（第18、22図　写真図版12）

［位置・検出層位］ⅢＢ３グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に上半部が欠損した土器の上に礫が配置されていることを確認している。

［掘り方］平面形状は不整円形である。規模は33×30cm、深さが18cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］17は埋設土器に用いられたものだが、欠損しているため型式は不明である。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉から中期初頭である。

［備考］遺構時期については周辺の遺構時期などから判断している。

SJ17　（第18、22図　写真図版13）

［位置・検出層位］ⅣＢ16グリッドに位置し、Ⅲ-Ⅳb層中で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。

［掘り方］平面形状は楕円形である。規模は43×32cm、深さが24cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は斜面と平行して形成されており概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］18は埋設土器に用いられたものであり、円筒下層ｄ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

［備考］埋設土器の状態は遺構の底面と斜度との関係から捉えている。

SJ18　（第18、22図　写真図版13）

［位置・検出層位］ⅢＢ14グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出している。

［埋設土器の状態］土器は正立である。検出時に下半部が欠損した状態で埋設されていることを確認している。

［掘り方］平面形状は不整円形である。規模は40cm、深さが18cmである。壁は外傾して立ち上がる。底面は概ね平坦である。堆積土は黒褐色土からなる。

［出土遺物］19は埋設土器に用いられたものであり、円筒下層ｄ2式に比定される。また、埋設土器内からの出土は認められない。

［遺構時期］縄文時代前期末葉である。

［備考］遺構は調査区外へと続くことから欠損した状態での確認となっている。

SL01　（第19図）

［位置・検出層位］ⅢＢ10グリッドに位置し、Ⅲa層上面で検出している。

［平面形・規模］平面形状は長方形基調である。規模は86×40cm、層厚は５cm前後である。

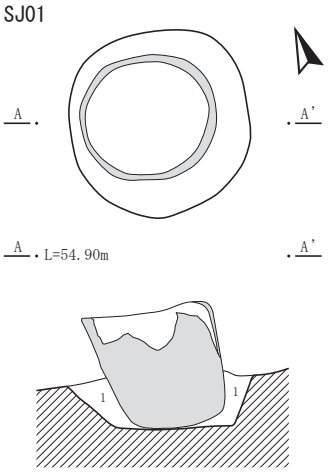
［堆積土］橙色土からなる。

［出土遺物］出土していない。

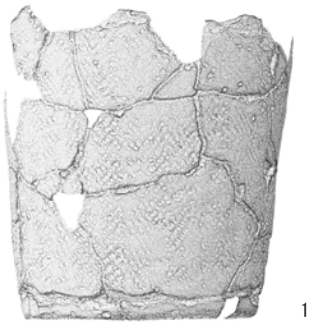
［遺構時期］縄文時代中期前葉以降である。

［備考］遺構時期については周辺の遺構時期から判断している。

SJ01

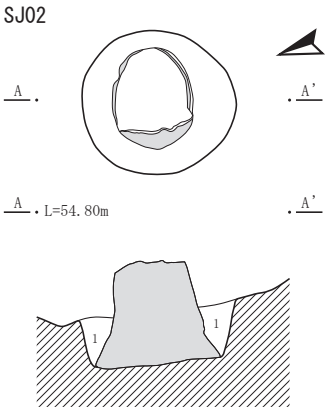


1.黒褐色土(10YR3/1)　粘性中、しまりやや強い。



	X	Y	Z
A	47964.029	71377.245	54.669
A'	47963.785	71377.876	54.705

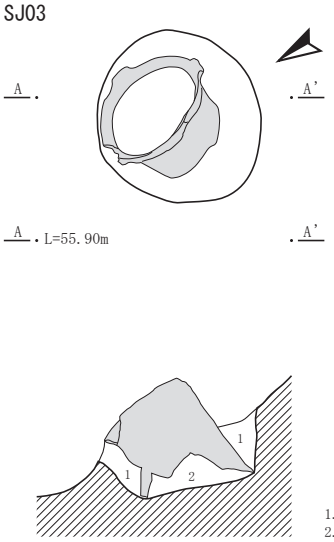
SJ02



1.黒色土(10YR2/1)　粘性・しまり共にやや強い。

	X	Y	Z
A	47964.560	71378.314	54.587
A'	47964.080	71378.165	54.663

SJ03



	X	Y	Z
A	47957.547	71385.719	55.429
A'	47957.042	71385.449	55.759

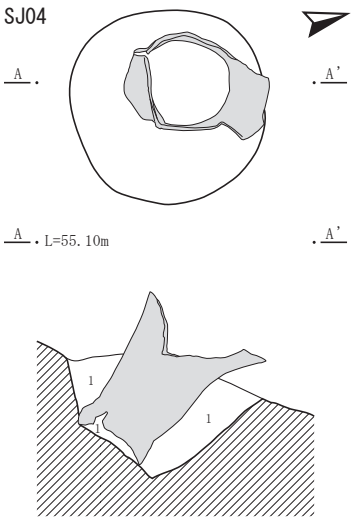
1.黒褐色土(10YR3/1)　粘性中、しまりやや強い。
2.黒褐色土(10YR3/2)　粘性・しまり共にやや弱い。

SJ01～03
(1：15)
0　50cm

1～3
(1：6)
0　20cm

第13図　SJ01～03

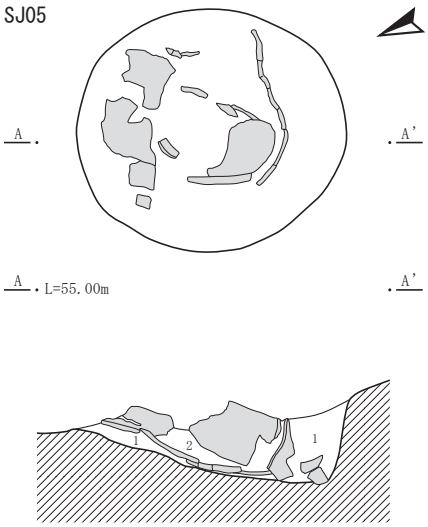
SJ04



1. 黒褐色土(10YR3/1)　粘性・しまり共にやや強い。

	X	Y	Z
A	47968.935	71360.783	54.903
A'	47969.515	71360.934	54.738

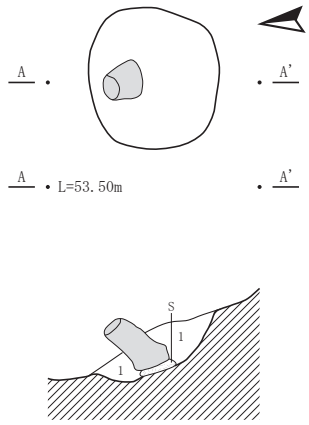
SJ05



1. 黒褐色土(10YR3/1)　粘性・しまり共にやや強い。
2. 黒褐色土(10YR3/2)　粘性中、しまりやや弱い。

	X	Y	Z
A	47964.580	71372.872	57.740
A'	47963.839	71372.552	54.852

SJ06



1. 黒褐色土(10YR3/2)
粘性・しまり共にやや強い。

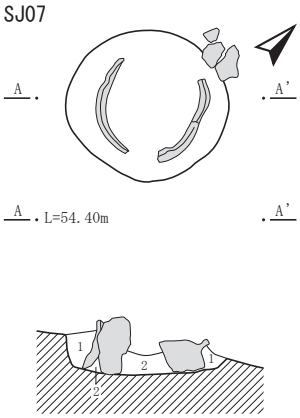
	X	Y	Z
A	47975.199	71347.424	53.136
A'	47974.729	71347.361	53.326

SJ04～06
(1：15)
0　50cm

4～7
(1：6)
0　20cm

第14図　SJ04～06

SJ07

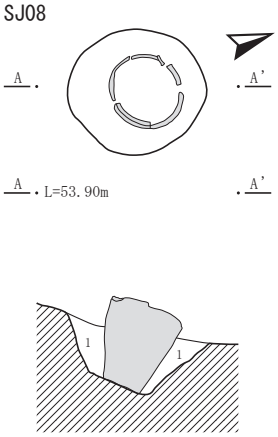


1.黒褐色土(10YR3/1)　粘性・しまり共にやや強い。
2.黒褐色土(10YR3/2)　粘性中、しまりやや弱い。

8

	X	Y	Z
A	47966.357	71379.691	54.202
A'	47966.799	71380.133	54.103

SJ08

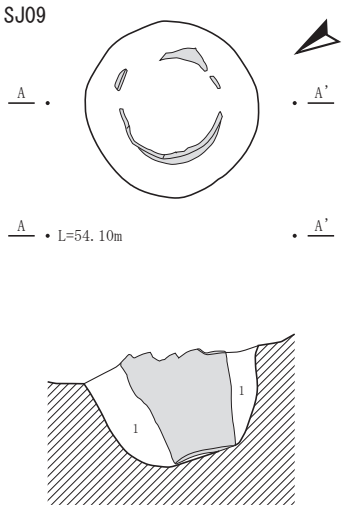


1.黒褐色土(10YR3/1)　粘性やや弱く、しまりやや強い。

9

	X	Y	Z
A	47971.077	71369.431	53.732
A'	47971.681	71369.629	53.580

SJ09



1.黒褐色土(10YR2/1)　粘性中、しまりやや強い。

10

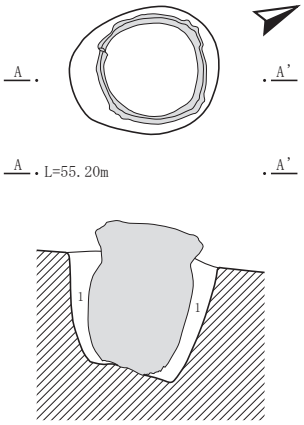
	X	Y	Z
A	47970.603	71369.144	53.821
A'	47970.060	71368.814	53.958

SJ07～09
(1：15)
0　50cm

8～10
(1：6)
0　20cm

第15図　SJ07～09

SJ10

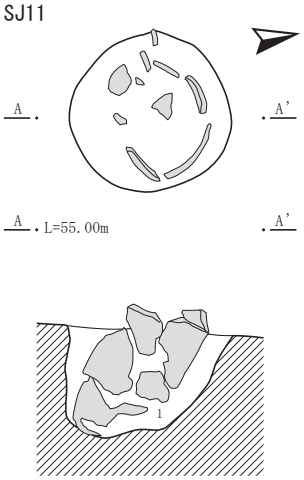


1.黒色土(10YR2/1)　粘性・しまり共にやや強い。

11

	X	Y	Z
A	47960.706	71377.652	55.066
A'	47961.373	71377.945	54.997

SJ11

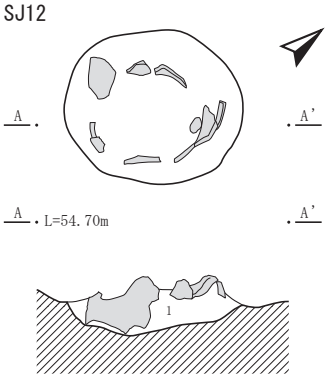


1.黒褐色土(10YR2/2)　粘性やや弱く、しまりやや強い。

12

	X	Y	Z
A	47963.886	71371.416	54.857
A'	47964.522	71371.526	54.789

SJ12



1.黒色土(10YR2/1)　粘性中、しまりやや強い。

13

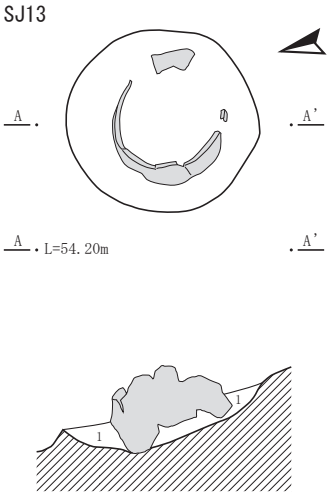
	X	Y	Z
A	47964.148	71375.968	54.579
A'	47964.639	71376.357	54.556

SJ10～12
(1：15)
0　50cm

11～13
(1：6)
0　20cm

第16図　SJ10～12

SJ13

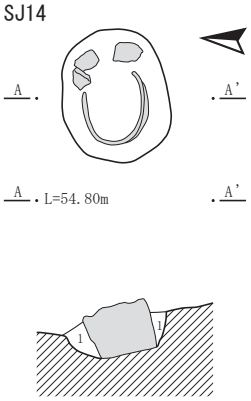


1.黒褐色土(10YR2/2)　粘性・しまり共にやや強い。

14

	X	Y	Z
A	47972.451	71363.819	53.799
A'	47971.858	71363.677	53.977

SJ14

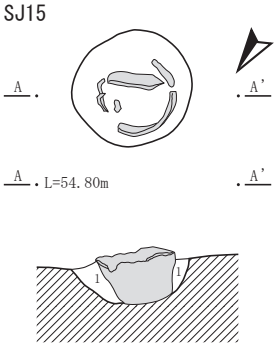


1.黒色土(10YR2/1)　粘性中、しまりやや強い。

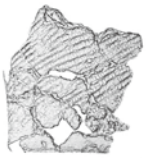
15

	X	Y	Z
A	47963.787	71378.969	54.557
A'	47963.337	71379.001	54.611

SJ15



1.黒褐色土(10YR2/2)　粘性・しまり共にやや強い。



16

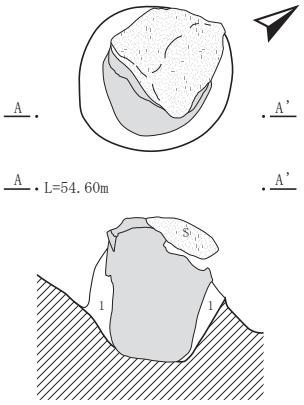
	X	Y	Z
A	47963.335	71381.109	54.644
A'	47963.043	71380.686	54.669

SJ13～15
(1：15)
0　50cm

14～16
(1：6)
0　20cm

第17図　SJ13～15

SJ16

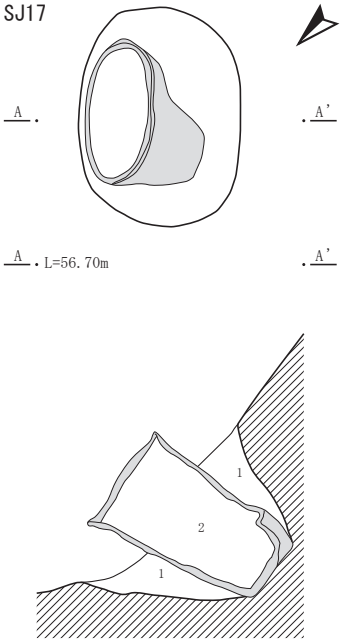


1.黒褐色土(10YR2/3)　粘性・しまり共にやや強い。

17

	X	Y	Z
A	47965.540	71377.066	54.430
A'	47965.991	71377.372	54.319

SJ17

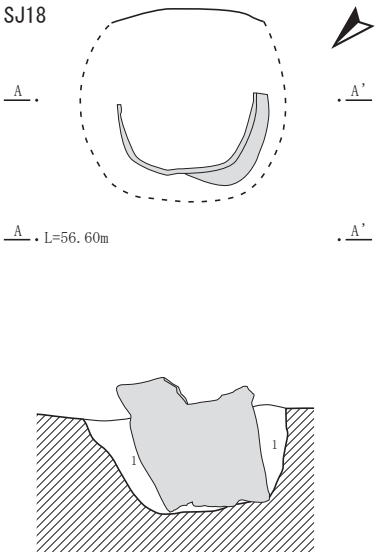


1.黒褐色土(10YR3/2)　粘性やや弱く、しまり中。
2.暗褐色土(10YR3/3)　粘性・しまり共にやや弱い。

18

	X	Y	Z
A	47953.977	71390.885	56.045
A'	47953.592	71390.514	56.562

SJ18



1.黒褐色土(10YR3/1)　粘性・しまり共にやや強い。

19

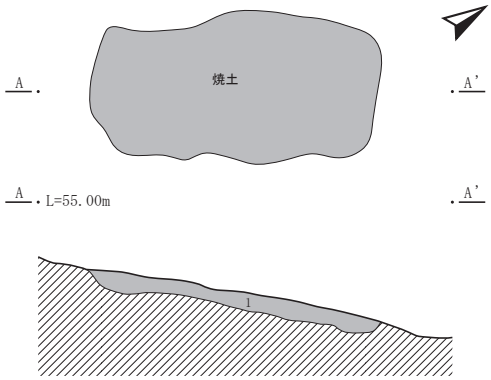
	X	Y	Z
A	47956.063	71382.326	56.255
A'	47956.319	71381.844	56.257

SJ16～18
(1：15)
0　50cm

17～19
(1：6)
0　20cm

第18図　SJ16～18

SL01



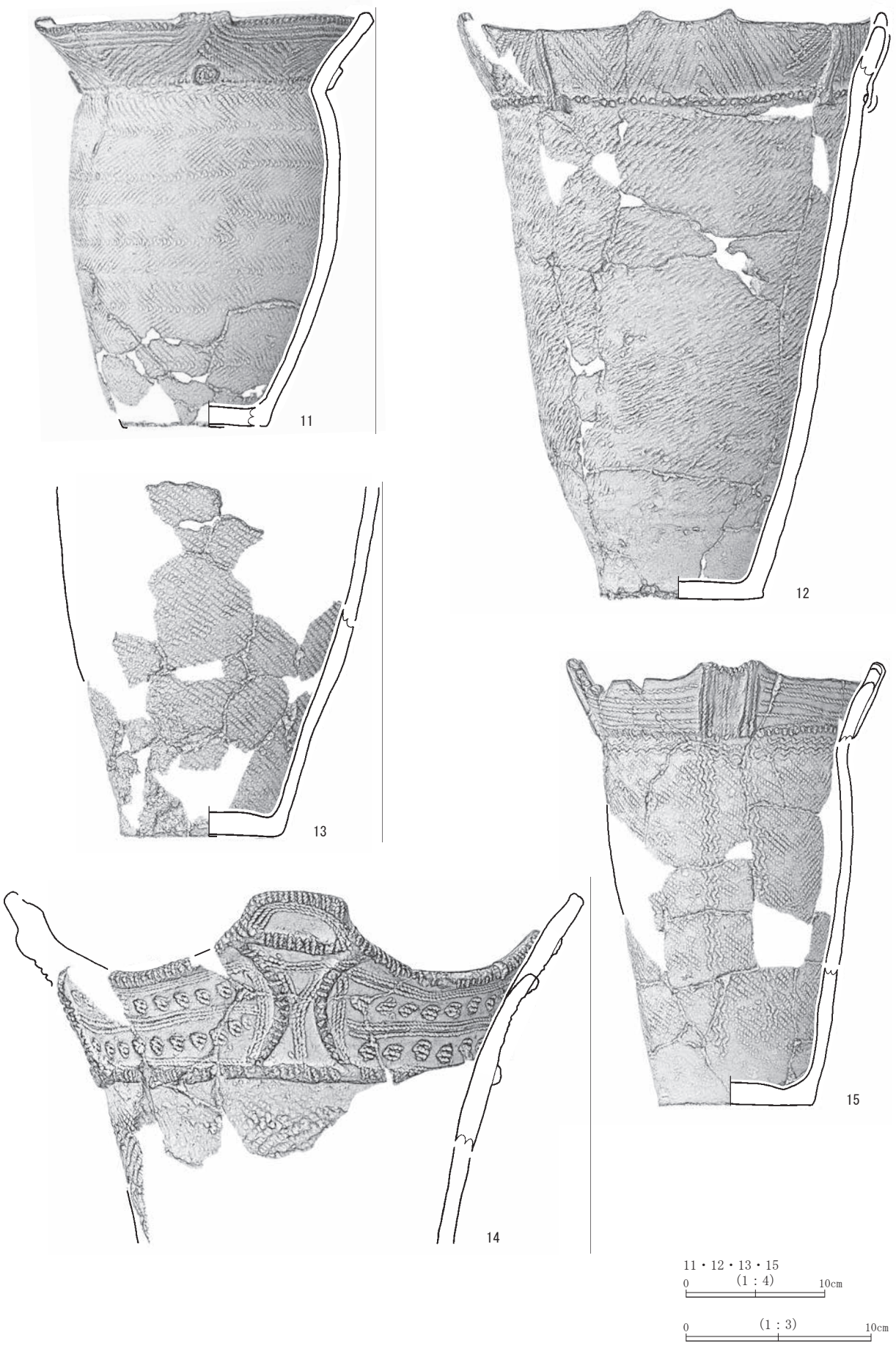
1.橙色土(7.5YR6/6)　粘性なし、しまりやや強い。

	X	Y	Z
A	47961.289	71387.003	54.865
A'	47962.226	71387.578	54.642

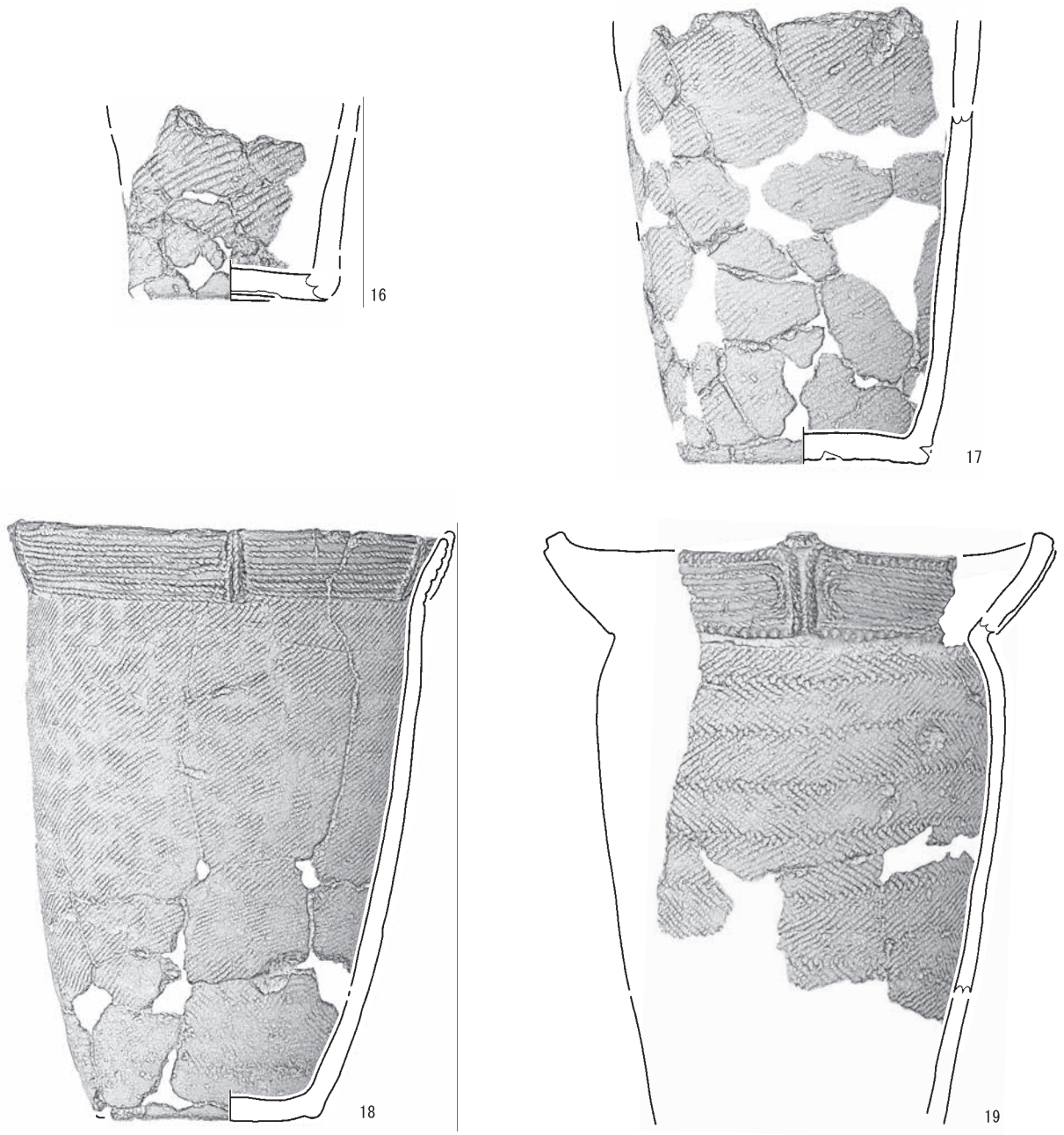
0　(1：20)　1m

第19図　SL01、SJ出土土器（1）

第20図　SJ出土土器（2）



第21図　SJ出土土器（3）



第22図　SJ出土土器（4）

捨て場　（第23～28図　写真図版５～８）

［位置・検出層位］ⅡＢ４・５、ⅢＢ６～９・13～15・19・20、ⅣＢ16グリッドに位置している。検出層位は標高約55～58.5mの北向き斜面に堆積するⅢa層とⅣ層の間である。また、調査区は捨て場の先端部にあたり、その北側には埋設土器群が分布している。

［グリッド設定］本遺構の精査に対しては地形に合わせて簡易グリッドを設定したうえで進めている（第23図）。グリッドは５×５ｍで組み、１～25の番号を付している（以下では通常の調査区グリッドと区別するため、名称はグリッド１～25と記載している）。

遺構の位置はグリッド１・２・４・５・７・８・10・12・16・19が該当することとなる。

［規模］規模は東西約39m、南北約0.5～4.2m、面積は約74㎡である。

［堆積土］Ⅲa層とⅣ層の間には、Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc・Ⅲ-Ⅳd層の４層が堆積している。それらの堆積状況を示す断面図は第24～26図に掲載している。各層からは土器と石器が出土しているが、特にⅢ-Ⅳb層ではそれらと共に灰黄褐色土（地山ブロック）などが大量に含まれることを確認している。

Ⅲ-Ⅳa層：黒褐色土（10YR3/1）、粘性やや強い、しまりやや強い。暗褐色土がブロック状に混入している。層厚は１～40cmである。

Ⅲ-Ⅳb層：黒褐色～にぶい黄褐色土（10YR3/2～4/3）、粘性中、しまりやや強い。本層は第24図に示したように細分が可能となる。そして、それらは南東－北西方向へと堆積している状況が捉えられる。ただし、調査当初のグリッド２・５・８では、灰黄褐色（10YR4/2）を主体とした層として分層せず一括して捉えたことから、次年度以降も同様に扱っている。層厚は１～70cmである。

Ⅲ-Ⅳc層：黒褐色土（10YR3/1）、粘性やや強い、しまりやや強い。砂質味が強い。灰黄褐色土（地山ブロック）を含んでいる。捨て場の先端にあたるグリッド２・５でのみ確認でき、斜面上方に入り込むことはない。層厚は１～15cmである。

Ⅲ-Ⅳd層：黒褐色土（10YR3/2）、粘性中、しまりやや強い。ただし、本層は断面図に反映できなかったが、グリッド１Ⅲ-Ⅳb層の下位で確認している。また、Ⅲ-Ⅳc層との前後関係については把握できていない。層厚は10cm前後である。

このように各層は南東－北西方向へ堆積していく過程で、細分可能であることが明らかとなった。しかしながら、精査は、時間的・地形的制約から各層位の大別に留めたうえで行っている。

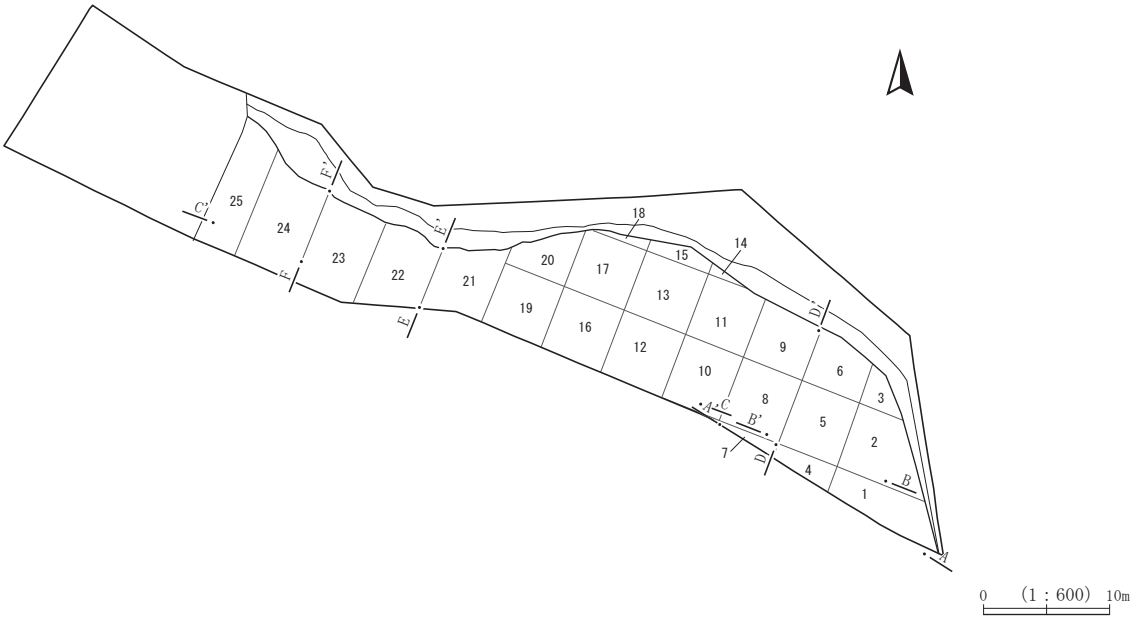
［出土遺物］出土遺物は土器93,503点（1,907,569.74kg）、土偶32点、土製品11点、石器5,060点、石棒４点、石製品３点である。土器の出土量は第27・28図、第１・２表、石器の出土量及び組成表は第３～14表に掲載したとおりである。各遺物の詳細については下記に記載している。

これらの出土状況だが、土器は各個体がまとまった状態にあることを確認している。それに対して、石器はそれらと共に出土しているものの、一括廃棄のような出土状況は確認できていない。

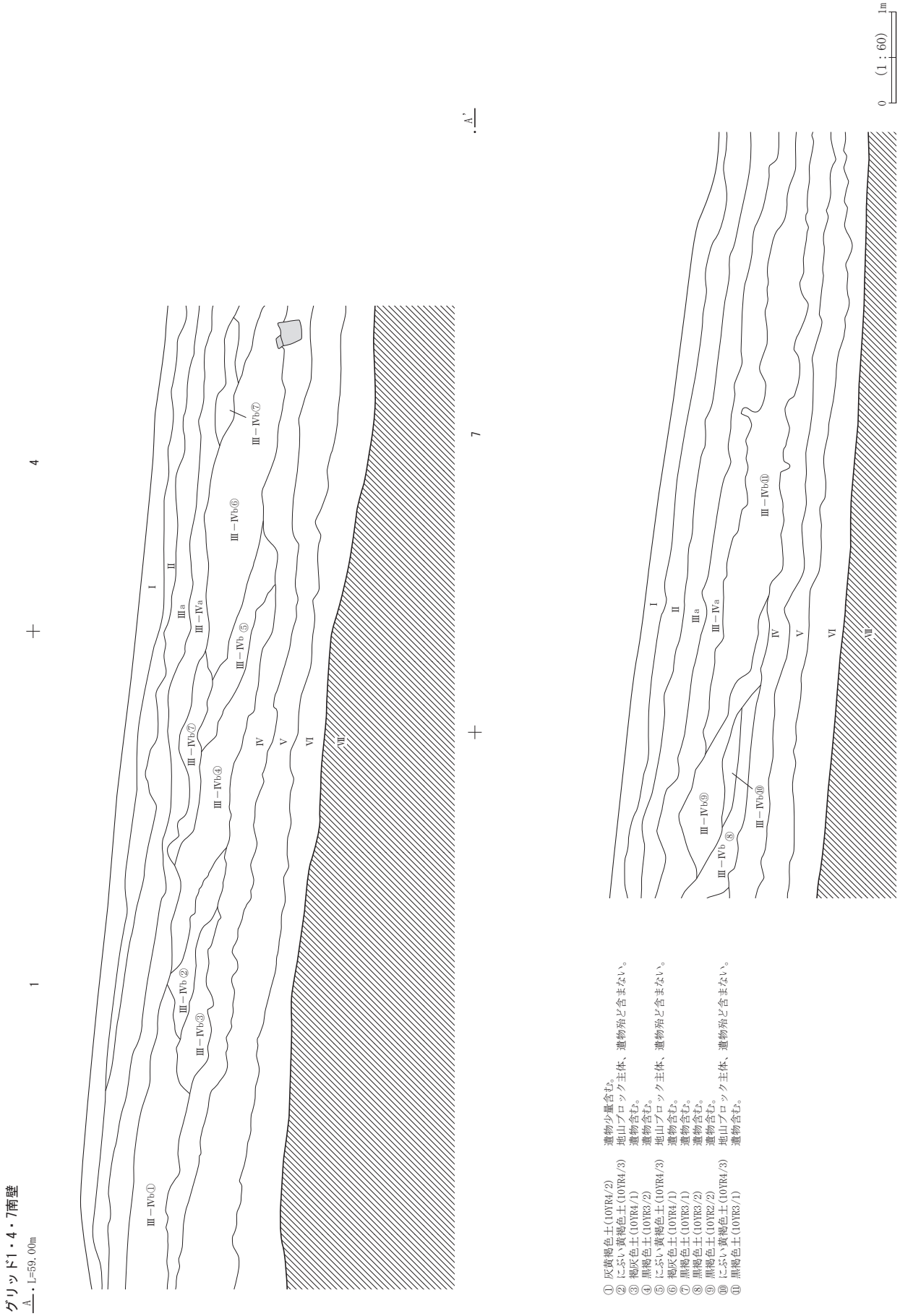
掲載方法については、土器がグリッドごと、石器が器種ごとに掲載している。前者は堆積過程における型式変化の把握を念頭に置いている。また、後者は土器と同様の掲載方法を採用すると全体像が把握できないと判断したためである。

［遺構時期］土器は円筒下層ｄ2式から上層ｂ式に比定される型式を確認している。このことから縄文時代前期末葉から中期前葉にかけて形成されたものと捉えられる。

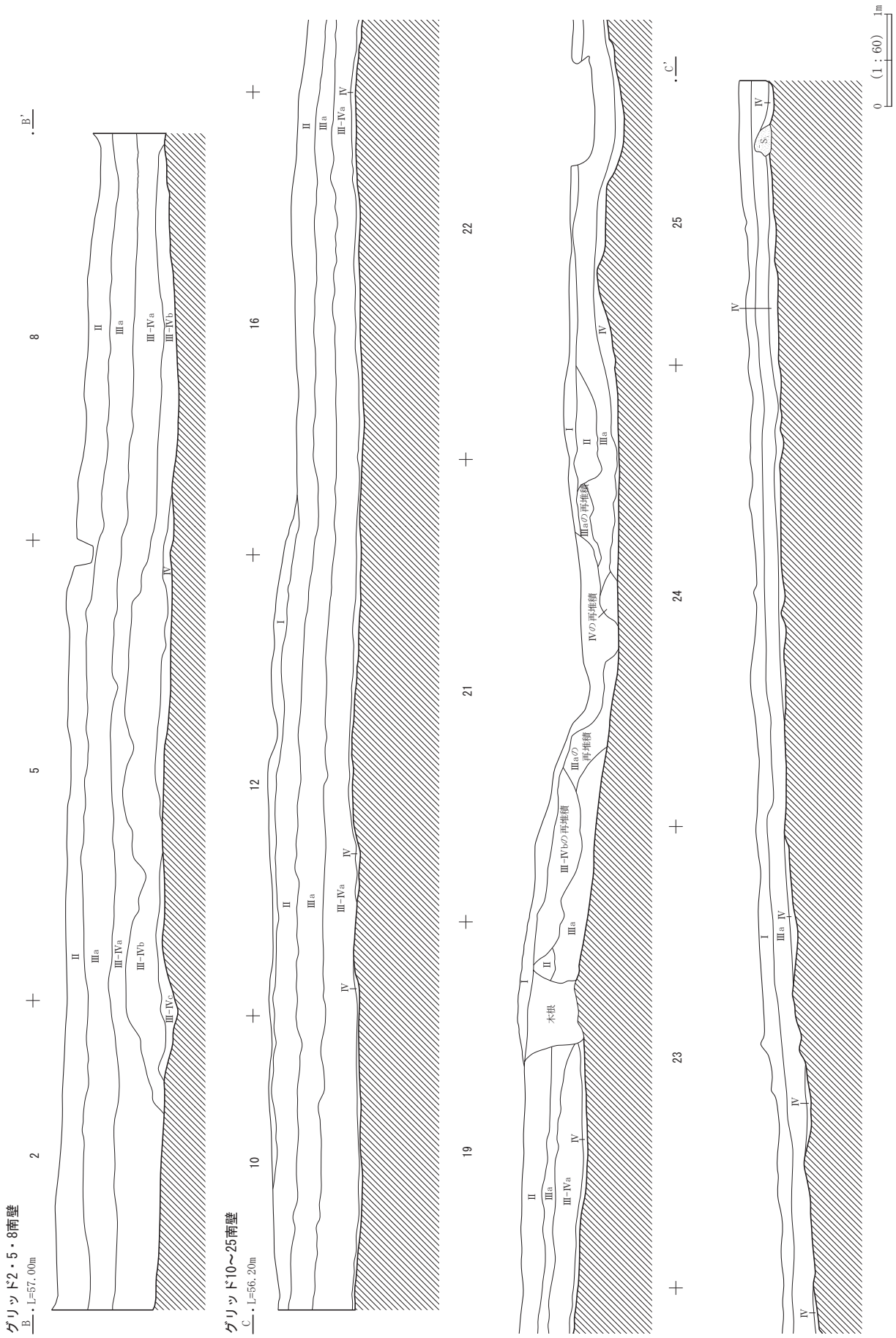
［備考］遺物包含層中であるⅢ-Ⅳb層から出土した炭化材を放射性炭素年代測定している。その結果、年代値は4,460±30yrBP、4,510±30yrBP、4,450±30yrBPと得られている。詳細については315頁に掲載している。



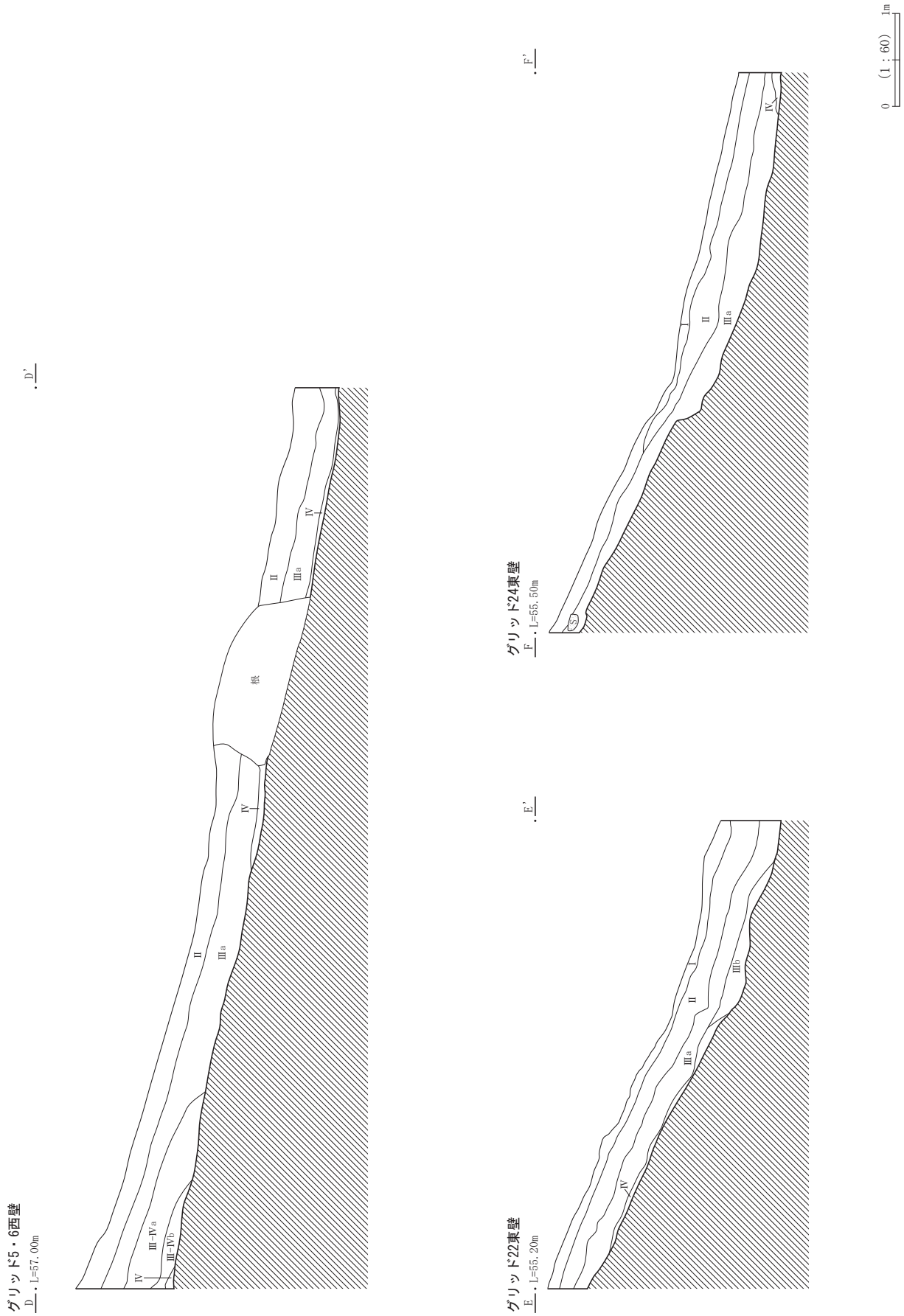
第23図　捨て場、簡易グリッド設定図



第24図　グリッド断面図（1）



第25図　グリッド断面図（2）



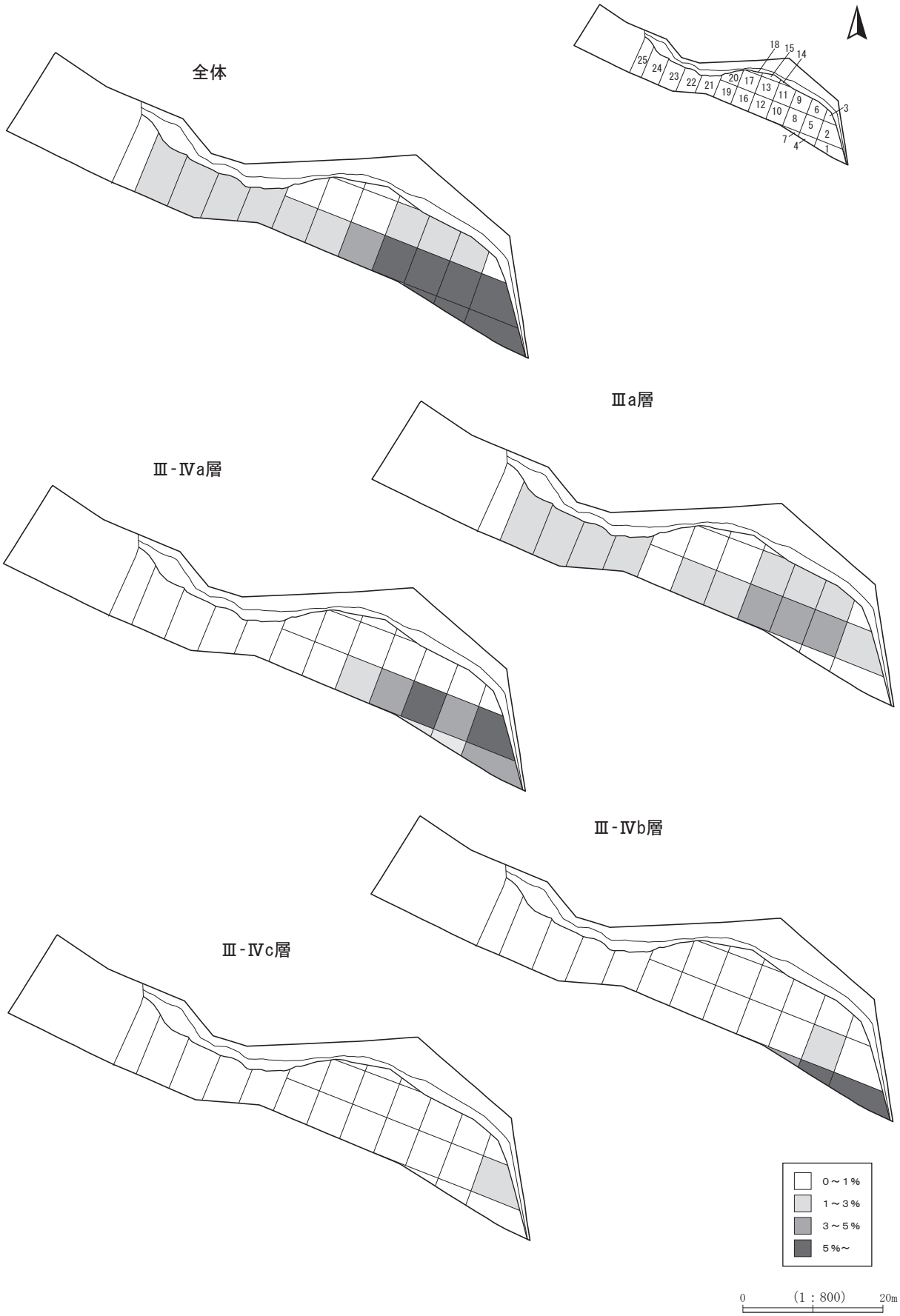
第26図　グリッド断面図（3）

第１表　グリッド別土器数量一覧

層位＼グリッド	1	2	3	3・6	4	5	6	7	8	9
Ⅰ	90				11				69	
Ⅱ	159	124	93		84	144	603	69	451	240
Ⅱ～Ⅲa			12						121	
Ⅲa	844	2417	388	91	227	3573	1692	200	3485	1113
Ⅲb										
Ⅲa～Ⅲb										
Ⅲ-Ⅳa	2987	4782			631	3901		1236	8101	
Ⅲ-Ⅳb	10617	670			7576	2435		4357	8	
Ⅲ-Ⅳc		1298			242	441				
Ⅲ-Ⅳd	119									
Ⅲa～Ⅳ			12							
Ⅳ							28		55	
計（点）	14816	9291	505	91	8771	10494	2323	5862	12290	1353

層位＼グリッド	10	10・11	11	12	13	14	15	16	17	18
Ⅰ			5							
Ⅱ	124	9	171	155	157	48	39	104	119	2
Ⅱ～Ⅲa			32	19				315		108
Ⅲa	3642		1030	987	535	77	124	1277	288	70
Ⅲb										
Ⅲa～Ⅲb										
Ⅲ-Ⅳa	4164			2543				618		
Ⅲ-Ⅳb										
Ⅲ-Ⅳc										
Ⅲ-Ⅳd										
Ⅲa～Ⅳ									2	
Ⅳ	13									
計（点）	7943	9	1238	3704	692	125	163	2314	409	180

層位＼グリッド	19	20	21	22	23	24	24・25	25	調査区一括	合計
Ⅰ		1	9	67					1361	1613
Ⅱ	488	209	954	291	140	56		4	171	5208
Ⅱ～Ⅲa				68						675
Ⅲa	492	252	1328	1454	1008	1311	4	408	68	28385
Ⅲb			96	152	151					399
Ⅲa～Ⅲb				173	145					318
Ⅲ-Ⅳa									2	29043
Ⅲ-Ⅳb									1	25666
Ⅲ-Ⅳc										1981
Ⅲ-Ⅳd										119
Ⅲa～Ⅳ	66									
Ⅳ										96
計（点）	1046	462	2387	2205	1444	1367	4	412	1603	93503



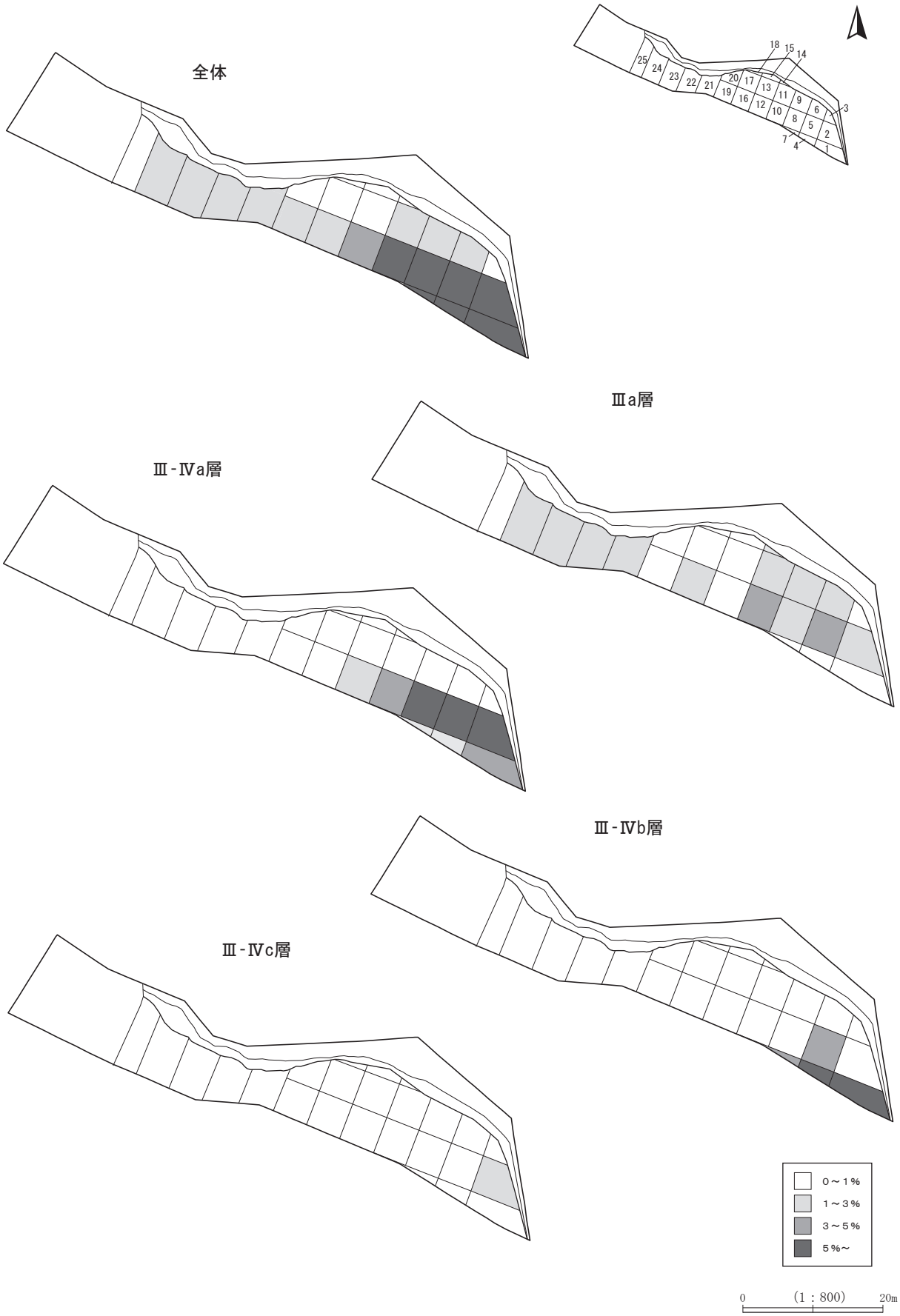
第27図　遺物出土分布図（数量）

第２表　グリッド別土器重量一覧

層位＼グリッド	1	2	3	3・6	4	5	6	7	8	9
Ⅰ	3527.36				62.12				869.97	
Ⅱ	1896.94	1092.47	570.81		826.72	1777.69	5249.8	576.97	3974.07	2362.57
Ⅱ～Ⅲa			138.54						1565.36	
Ⅲa	11893.7	40102.84	4654.06	301.17	1798.25	72084.14	27825.76	1467.36	51726.34	21758.87
Ⅲb										
Ⅲa～Ⅲb										
Ⅲ-Ⅳa	59030.04	124493.39			8905.58	111244.83		23639.43	157160.09	
Ⅲ-Ⅳb	246755.14	15763.51			168961.87	62457.49		91645.5	21.32	
Ⅲ-Ⅳc		27105.49			2093.11	8458.55				
Ⅲ-Ⅳd	3394.34									
Ⅲa～Ⅳ			228.56							
Ⅳ							534.28		1855.08	
計（g）	326497.52	208557.7	5591.97	301.17	182647.65	256022.7	33609.84	117329.26	217172.23	24121.44

層位＼グリッド	10	10・11	11	12	13	14	15	16	17	18
Ⅰ			96.06							
Ⅱ	1214.56	150.2	2863.99	1380.67	3174.31	773.1	523.21	1882.01	2124.47	15.84
Ⅱ～Ⅲa			595.99	249.3				6447.17		2122.82
Ⅲa	69925.39		20472	18875.31	9910.25	769.58	1453.64	26954.88	5347.99	1075.77
Ⅲb										
Ⅲa～Ⅲb										
Ⅲ-Ⅳa	86415.32			49724.85				12969.8		
Ⅲ-Ⅳb										
Ⅲ-Ⅳc										
Ⅲ-Ⅳd										
Ⅲa～Ⅳ									20.77	
Ⅳ	526.3									
計（g）	158081.57	150.2	24028.04	70230.13	13084.56	1542.68	1976.85	48253.86	7493.23	3214.43

層位＼グリッド	19	20	21	22	23	24	24・25	25	調査区一括	合計
Ⅰ		15.37	279.21	2314.12					14206.38	21370.59
Ⅱ	9329.21	4147.89	21925.64	6829.37	2080.88	1031.7		57.47	3135.84	80968.4
Ⅱ～Ⅲa				2041.15						13160.33
Ⅲa	9040.61	3541.6	20377.78	35629.94	19912.06	26687.22	166.65	7936.05	1468.38	513157.59
Ⅲb			1084.56	3035.5	3431.67					7551.73
Ⅲa～Ⅲb				4151.28	3060.81					7212.09
Ⅲ-Ⅳa									2	634552.31
Ⅲ-Ⅳb									3.95	585629.55
Ⅲ-Ⅳc										37657.15
Ⅲ-Ⅳd										3394.34
Ⅲa～Ⅳ	738.42									
Ⅳ										2915.66
計（g）	19108.24	7704.86	43667.19	54001.36	28485.42	27718.92	166.65	7993.52	18816.55	1907569.74



第28図　遺物出土分布図（重量）

土器　（第29 ～ 155図）

出土点数は93,503点(1,907,569.74g)である。土器はⅠ～Ⅳ層で出土しているが、捨て場を形成するⅢ-Ⅳa層、Ⅲ-Ⅳb層が主体となる。斜面上方となるグリッド１・２・４・７からの出土量が多い。以下ではグリッドごとにまとめていく。

グリッド１　（第29 ～ 54図）

14,816点(326,497.52g)を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳd層である。その中でもⅢ-Ⅳb層の出土量が最も多い。

［Ⅲa層］（第29図）

円筒上層ａ2式：20、21。鋸歯状(20)、Ｘ字状(21)側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：22。口縁部を折り返し縦位隆帯が２条施される。

円筒上層ａ式：23。山形の口縁部に斜行縄文が施文される。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第29 ～ 33図）

円筒上層ｂ式：24 ～ 27。Ｃ字状側面圧痕が施される。口縁部は平縁(27)、棒状(25)である。これらの中で文様の在り方から、24は上層ａ2式、25は上層ａ1式の可能性がある。

円筒上層ａ2式：28 ～ 31。鋸歯状側面圧痕が施される。口縁部は台形(28)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ・Ｕ字状がある(28)。

円筒上層ａ1式：32 ～ 45。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(32、33、36、43など)、横・斜位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(34、35、37)、縦･横･斜位側面圧痕が施されるもの(39)である。口縁部は山形(片欠)(38)、台形(34、45)、Ｍ字状(33、41 ～ 43)、平縁(39)である。隆帯は縦・横位の他に、斜位(34、35、37)、Ｃ字状(38、41)、Ｕ字状(45)がある。貼付は円形(33、37、38、41)、渦巻状(41)、橋状(45)である。隆帯と貼付の組み合わせは、Ｃ字状隆帯と円形貼付(38)、２条のＣ字状隆帯と渦巻状貼付(41)、Ｕ字状隆帯と橋状貼付(45)、縦位隆帯と円形貼付(33)、斜位隆帯と円形貼付(37)がある。

円筒上層ａ式：46 ～ 53。46はＭ字状の口縁部に円形貼付が施されるが、斜行縄文が全体に施文されるものである。これ以外は口縁部のみで文様が判然としないものである。その中でも48 ～ 50に施される縦位やＣ・Ｕ字状隆帯からは円筒上層ａ1式の可能性がある。

円筒下層ｄ2式:54 ～ 56。横位側面圧痕が施されるもの(55、56)、単軸絡条体が押圧されるもの(54)である。口縁部はいずれも平縁である。また、これらの中には棒状や篦状などの工具により刺突列が施されるものが認められる(54、55)。

不明：57。波状口縁であるが判然としないため、ここに含めている。

［Ⅲ-Ⅳb層］（第34 ～ 54図）

円筒上層ｂ式：58 ～ 61。Ｃ字状側面圧痕が施される。口縁部は平縁(58)、台形(59、61)、山形(60)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(58、59)、弧状(58)がある。この弧状隆帯は横位隆帯の下方の体部に施されるものである。

円筒上層ａ2式：62 ～ 75。鋸歯状(62、63、65、66など)、Ｘ字状(64、68など)、矢羽根状(67)側面圧痕が施される。鋸歯状は１条(65など)から複数条(62など)で形成されている。口縁部は山形(62、64など)、棒状(68、70)、台形(66、69、74)、山形(片欠)(75)、平縁(65)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｙ字状(62)、Ｃ字状(67、71)、斜位(68)、鋸歯状(縦)(70、72)がある。貼付は円形(62、71)、方形(63、66)、橋状(68)、渦巻状(72)である。隆帯と貼付の組み合わせは、Ｙ字状隆帯と円形貼付(62)、

鋸歯状(縦)隆帯と渦巻状貼付(72)、斜位隆帯と橋状貼付(68)、２条のＣ字状隆帯と円形貼付(71)、縦位隆帯と方形貼付(66)がある。

円筒上層ａ1式：76 ～ 137。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施されるもの(76、77、80、82 ～ 85、88 ～ 92など)、波頂部直下に斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(78、79、81、87など)である。口縁部は平縁(76、95)、山形(88、96、103など)、山形(片欠)(77、82など)、台形(81、87、89など)、M字状(78、79、84、91など)、棒状(99、102)である。隆帯は縦･横･斜位の他に、Ｃ字状(82、85、89、95など)、鋸歯状(83、88、98、104など)がある。貼付は円形(77、82、95、112)、方形(88、107、108など)、橋状(84)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形貼付(82、85、95)、縦位隆帯と橋状貼付(84)、鋸歯状(縦)隆帯と方形貼付(88)、縦位隆帯と円形(91、103)・方形(92、103、107、108)貼付、斜位隆帯と方形貼付(97)などがある。体部の施文は結束羽状縄文や斜行縄文が主体となる中で、78のように単軸絡条体第１Ａ類が施文される例がある。また、これらの中には横位隆帯の下方となる体部に菱形(？)隆帯と円形貼付が施されるものが認められる(106)。

円筒上層ａ式：138 ～ 151。波状口縁に斜行縄文が施文されるもの(138、139、141)以外は、口縁部のみが確認できたものであり、文様が判然とせず上記の型式に含まれるものと思われる。

円筒下層ｄ2式：152 ～ 181。横位側面圧痕が施されるもの(154、156、158など)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(152、153、159、160など)、横位・斜位側面圧痕が施されるもの(155、178)である。口縁部は平縁(154など)、台形(152、153)、山形(159、164、173)、山形(片欠)(155、169)、M字状(162、176など)である。

不明：182 ～ 190。斜行縄文が施文されるもの(182、183など)、ナデが施され無文のもの(184)、棒状工具により平行沈線が施されるもの(190)である。

グリッド２　(第55 ～ 67図)

9,291点(208,557.7g)を確認している。出土層位Ⅱ～Ⅲ-Ⅳc層である。

［Ⅲa層］　(第55、56図)

円筒上層ａ2式：191、192。矢羽根状(191)、鋸歯状(192)側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：193、194。口縁部に平行する横位隆帯と縦位隆帯、橋状貼付が施される。口縁部は山形(193)、M字状(194)である。

円筒上層ａ式：195。山形の口縁部に斜行縄文が施文される。

円筒下層ｄ2式：196。山形の口縁部に横位側面圧痕、縦位隆帯、方形貼付が施される。側面圧痕は隆帯を貼付けた後に施されている。

不明：197。斜行縄文が施文される。

［Ⅲ-Ⅳa層］　(第57 ～ 65図)

円筒上層ｂ式：198 ～ 200。Ｃ字状側面圧痕が１段から複数段に施される。

円筒上層ａ2式：201 ～ 209。鋸歯状(202、205など)、矢羽根状(203、204など)側面圧痕が施されるもの、鋸歯状の側面圧痕と隆帯が施されるもの(201)である。口縁部は平縁(201)、M字状(202、207、209)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状(横)(201、205)、Ｃ字状(203、204、206)がある。貼付は環状(205)、円形(209)である。また、これらの中にはＣ字状側面圧痕が縦走するもの(201)、複数の隆帯により複雑な文様が形成されるもの(205)が認められる。

円筒上層ａ1式：210 ～ 232。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施されるもの(210 ～ 214など)、縦・横位側面圧痕が施されるもの(218)、側面圧痕が認められず隆帯と工具により文様が施されるもの

(215)である。口縁部は山形(211、214、225など)、山形(片欠)(217)、台形(226、228)、M字状(210、212、218など)、棒状(232)、平縁(215)である。口縁部は厚く折り返すものが多い中で、211や218のように厚みの無いものも認められる。隆帯は縦･横位の他に、C字状(210、217など)や鋸歯状(縦)(212、222)がある。貼付は円形(214など)、方形(224、226)、環状(210、212、230)、橋状(221、225)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のC字状隆帯と環状(210)・橋状(221)貼付、鋸歯状(縦)隆帯と環状貼付(212)、縦位隆帯と円形(214、224)・環状(230)・橋状(225)貼付などがある。また、これらの中には、内面に環状貼付や穿孔が施されるもの(225)、棒状や半截竹管状などの工具により刺突列が施されるもの(211、215)が認められる。

円筒上層ａ式：233 ～ 235。山形の口縁部に斜行縄文が施文されるもの(233)以外は、上記の型式に含まれるものである。

円筒下層ｄ2式：236 ～ 245。横位側面圧痕が施されるもの(239 ～ 241など)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(237、238など)である。口縁部は平縁が主体となるが、山形(237)やM字状(238)である。波状口縁はずれも小規模のものである。また、これらの中には篦状や竹管状などの工具により刺突列が施されるものが認められる(236、245)。

不明：246、247。斜行縄文が施文される。口唇部を折り返すものが認められる(246)。

異系統土器：248。半截竹管状工具により押引沈線文が施される。

［Ⅲ-Ⅳb層］（第65図）

円筒上層ｂ式：249。小規模な波状口縁にC字状の隆帯と側面圧痕が施される。

円筒上層ａ2式：250。山形の口縁部に鋸歯状(横)側面圧痕が横走する。

円筒上層ａ1式：251。棒状の口縁部に２条の鋸歯状(縦)隆帯が施される。

円筒下層ｄ2式：252 ～ 254。横位側面圧痕を主体に、横位(253)や縦位隆帯(254)が施される。

不明：255。ナデが施され無文のものである。

［Ⅲ-Ⅳc層］（第66・67図）

円筒上層ｂ式：256。口縁部形状は不明だが、C字状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ2式：257。台形の口縁部に鋸歯状(横)側面圧痕と縦・横位隆帯が施される。

円筒上層ａ1式：258 ～ 262。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施される。隆帯は縦・横位の他に、C字状(262)、鋸歯状(縦)(261)がある。

円筒下層ｄ2式：263、264。平縁の口縁部に横位側面圧痕が施される。263には横位隆帯が付されている。

不明：265 ～ 268。深鉢(265 ～ 267)、鉢(268)であり、斜行縄文が施文される。

グリッド３　（第68図）

505点(5,591.97g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲa層である。

［Ⅲa層］

不明：269。棒状工具により平行沈線が施される。

グリッド４　（第68 ～ 81図）

8,771点(182,647.65g)を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳc層である。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第68、69図）

円筒上層ｂ式：270。平縁の口縁部にC字状側面圧痕が施される。横・斜位、弧状隆帯を組み合わ

せて複雑な文様を形成している。

円筒上層ａ2式：271 ～ 273。いずれも鋸歯状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：274、275。縦・横位の側面圧痕と隆帯が共通して認められるが、山形の口縁部に円形貼付が施されるもの(274)、M字状の口縁部に橋状貼付が施されるもの(275)である。

円筒上層ａ式：276、277。口縁部のみで判然としないものだが、山形(片欠)の口縁部に斜行縄文が施文されるものも認められる(277)。

円筒下層ｄ2式：278。縦・横・斜位側面圧痕が施される。

不明：279。斜行縄文が施文される。

［Ⅲ-Ⅳb層］（第70 ～ 81図）

円筒上層ａ2式：280 ～ 293。鋸歯状(280 ～ 283、286など)、Ｘ字状(288、290)側面圧痕が施される。鋸歯状の中には複数条の斜位側面圧痕により形成されるものが認められる(282、284など)。また、それらの横走は１段が主体となる中で、２段のもの(281)も存在している。口縁部は山形(280)、棒状(281、284)、M字状(283、286)、平縁(293)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(282)、鋸歯状(縦)(281)がある。貼付は円形(281)、方形(284)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形貼付(281)、縦位隆帯と方形貼付(284)がある。また、これらの中には、渦巻状側面圧痕が施されるもの(283)、斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(286)、平縁で隆帯などが認められず横位・鋸歯状側面圧痕が施されるもの(293)などが認められる。

円筒上層ａ1式：294 ～ 335。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施されるもの(294 ～ 297、306 ～ 310など)、縦・横・斜位側面圧痕で構成され、波頂部直下に斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(298、299、301など)、横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(304)である。口縁部は山形(299、300、304、309など)、山形(片欠)(298)、台形(302、307など)、棒状(281)、M字状(294 ～ 297、303など)、平縁(301)である。中には、波頂部及びその周辺に貼付が施されるものも認められる(302)。隆帯は縦位の他に、斜位(300)、Ｃ字状(295、312など)、鋸歯状(縦)(306、317)などがある。側面圧痕は縦・横・斜位を主体に、渦巻状(311)がある。貼付は円形(316)、方形(295、318、331など)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と方形(295、318)・円形(316)貼付、縦位隆帯と方形(296、297、308)・円形(302)貼付、斜位隆帯と方形貼付(300、311)などがある。また、これらの中には、隆帯が判然としないもの(319)、横位の側面圧痕と隆帯が施されるが、口縁を折り返すもの(304)、半截竹管状工具により刺突列が施されるもの(298、314)などが認められる。

円筒上層ａ式：336 ～ 340。口縁部のみで文様が判然としないものである。口縁部は山形(336、339)、山形(片欠)(340)、台形(337、338)である。特に336の波頂部は貼付と穿孔により複雑な形状に施されている。

円筒下層ｄ2式：341 ～ 363。横位側面圧痕が施されるもの(343、344、346 ～ 348など)、横位側面圧痕と縦・横・斜位隆帯が施されるもの(341、345、352、353、359など)である。口縁部は平縁が主体となるが、山形(354、359、361)、山形(片欠)(342など)、台形(345)、M字状(341、343、349など)がある。波状口縁は小規模となるものが多い。貼付は円形(341)、方形(342、350)である。隆帯は縦・横位の他に、斜位(349)がある。また、これらの中には半截竹管状工具により刺突列(357)や沈線(360)が施されるものが認められる。

不明：364 ～ 367。斜行縄文が施文される。

グリッド５　（第82 ～ 98図）

10,494点(256,022.7g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳc層である。

［Ⅲa層］（第82 ～ 85図）

円筒上層ｂ式：368 ～ 375。Ｃ字状側面圧痕が施される。口縁部はM字状が主体である。Ｃ字状側面圧痕は２段に施されるものが主体となる中で、Ｃ字状と斜位の側面圧痕を組み合わせたもの(368)、縦走するもの(371)が認められる。後者は文様全体が把握できなかったことから当該型式に含めたものの上層ａ2式の可能性がある。隆帯は縦・横・斜位の他に、Ｃ字状(370)がある。

円筒上層ａ2式：376 ～ 382。鋸歯状側面圧痕が施されるものが主体となるが、鋸歯状隆帯と上下に並列して施されるもの(377)がある。口縁部はM字状(376、378)、台形(379)、小波状(377)、平縁(382)である。また、これらの中には棒状工具により鋸歯状沈線が施されるものが認められる(382)。

円筒上層ａ1式：383 ～ 387。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は台形(383、386)、M字状(384)、山形(片欠)(385)、棒状(387)である。隆帯は縦・横位の他に、斜位(387)がある。貼付は方形(383)、橋状(384)である。隆帯と貼付の組み合わせは、縦位隆帯と方形(383)・橋状(384)貼付がある。

円筒上層ａ式：388。Ｃ字状隆帯と円形貼付が施される。

円筒下層ｄ2式:389 ～ 391。横位側面圧痕が施される。口縁部は山形(389、391)、平縁(390)である。隆帯は縦位である(389、390)。貼付は方形である(391)。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第85 ～ 93図）

円筒上層ｂ式：392 ～ 396。Ｃ字状側面圧痕が施される。口縁部は台形(395)、M字状(392、396)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(392、394)、弧状(393)がある。また、これらの中には複数の隆帯を組み合わせて複雑な文様を形成しているものが認められる(392 ～ 394)。

円筒上層ａ2式：397 ～ 411。鋸歯状(397 ～ 402など)、矢羽根状(403、405)、Ｘ字状(404)側面圧痕が施される。口縁部は山形(403など)、棒状(397)、M字状(399)、平縁(400)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状(縦)(397、399、401)、鋸歯状(横)(407)、Ｃ字状(405)がある。貼付は橋状(397、401、410)、環状(401)、円形(408)である。隆帯と貼付の組み合わせは、鋸歯状(縦)隆帯と橋状(397、401)・環状(401)貼付、縦位隆帯と橋状貼付(410)などがある。また、これらの中には半截竹管状工具により刺突列が施されるものが認められる(408)。

円筒上層ａ1式：412 ～ 426。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施されるもの(412 ～ 415、419 ～ 421など)、横位・弧状側面圧痕が施されるもの(416)、縦・横位側面圧痕が施されるもの(425)、側面圧痕と工具により施されるもの(426)である。口縁部は山形(420)、山形(片欠)(414)、M字状(412)、棒状(413)、台形(417、421など)である。隆帯は縦･横位の他に、Ｃ字状(412、413、415など)、斜位(421)がある。貼付は円形(412)、方形(413、414など)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形(412)・方形(413)貼付、縦位隆帯と方形貼付(414、417)がある。また、これらの中には篦状工具により刺突列が施されるものが認められる(421、426)。

円筒上層ａ式：427 ～ 430。口縁部の確認に留まるため文様が判然としないものである。口縁部は山形(427)、棒状(428)、M字状(429)である。中でも427の波頂部は貼付と穿孔により複雑な形状に施されている。

円筒下層ｄ2式:431 ～ 438。縦･横位の側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(431)､M字状(434)、台形(433)、平縁(432)である。また、これら以外には、棒状工具により刺突列が施されるものも認められる(434、438)。434については円形刺突の存在から当該型式に含めている。

不明：439 ～ 444。斜行縄文が施文される。これらの中には440・441のように口縁を折り返すものも認められる。

［Ⅲ-Ⅳb層］（第93 ～ 97図）

円筒上層ｂ式：445。半截竹管状工具によりＣ字状の刺突列と縦位・弧状隆帯が施される。弧状隆帯の施され方に加えて刺突をＣ字状側面圧痕と同様のものと判断したことから、当該型式に含めている。

円筒上層ａ2式：446 ～ 448。鋸歯状側面圧痕が施される。446や448は複数条の斜位側面圧痕で鋸歯状を形成している。口縁部は山形（片欠）（446）、Ｍ字状（447）である。

円筒上層ａ1式：449 ～ 460。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形（457）、山形（片欠）（456）、台形（450）、棒状（452）、Ｍ字状（453、455）、平縁（449）である。隆帯は縦・横位の他に、斜位（453）、Ｃ字状（454、456、457）がある。貼付は円形である（453、459、460）。隆帯と貼付の組み合わせは、斜位隆帯と円形貼付がある（453、459）。また、これらの中で449は文様は下層d2式に相当するが、口縁部が厚く折り返されることから当該型式に含めている。

円筒上層ａ式：461 ～ 463。山形の口縁部に斜行縄文が施文されるもの（461、463）、文様が判然としないもの（462）である。前者に限って口縁部形状が異なり、463の口縁部は折り返すものである。

円筒下層ｄ2式：464。平縁の口縁部に横位側面圧痕と棒状工具により刺突列が施される。

［Ⅲ-Ⅳc層］（第97、98図）

円筒上層ａ1式：465 ～ 467。縦・横・斜位側面圧痕が施される。口縁部はＭ字状（465）を確認できたが、その他については判然としない。

円筒下層ｄ2式：468、469。平縁の口縁部に横位側面圧痕が施される。

不明：470。斜行縄文が施文され、体部との境に横位側面圧痕が認められる。

グリッド６　（第98、99図）

2,323点（33,609.84g）を確認している。出土層位はⅡ～Ⅳ層である。

［Ⅲa層］

円筒上層ｂ式：471、472。波状の口縁部にＣ字状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ2式：473、474。矢羽状（473）、Ｘ字状（474）側面圧痕が施される。ここでは鋸歯状側面圧痕は認められない。口縁部はＭ字状（473）、山形（474）である。

円筒上層ａ1式：475 ～ 477。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部はＭ字状である（475）。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状（475）、斜位（476）がある。貼付は円形である（476）。隆帯と貼付の組み合わせは、斜位隆帯と円形貼付がある（476）。

円筒上層ａ式：478 ～ 480。口縁部の確認に留まるため文様が判然としないもの（480）以外は、斜行縄文が施文されたものである。口縁部は山形（方欠）（478）、Ｍ字状（479）である。

円筒下層ｄ2式：481 ～ 483。横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの（481、482）、横位側面圧痕が施されるもの（483）である。口縁部は山形（481）、平縁（482、483）である。

グリッド７　（第100 ～ 108図）

5,862点（117,329.26g）を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳb層である。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第100 ～ 102図）

円筒上層ｂ式：484 ～ 487。Ｃ字状側面圧痕が施されるもの（484、486、487）、半截竹管状工具によりＣ字状に類似した刺突列が施されるもの（485）である。口縁部はいずれも波状であり、確認できた

ものはM字状である(485)。

円筒上層ａ2式:488 ～ 490。鋸歯状側面圧痕が施される。口縁部はM字状(488)、山形(490)、平縁(489)である。隆帯は横位で共通しているが、488のように横位に加えてＣ(S)字状隆帯と環状貼付が施され複雑な文様を形成するものも認められる。

円筒上層ａ1式：491 ～ 495。波頂部直下に斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(493)以外は、縦･横位などの側面圧痕と隆帯が施されるものである。口縁部はM字状(491)、山形(片欠)(495)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(491、494など)、Ｕ字状(495)がある。貼付は環状(491)、方形(494)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と環状(491)・方形(494)貼付がある。また、これらの中には棒状工具により刺突列が施されるものも認められる(492)。

円筒上層ａ式：496。M字状の口縁部にＣ字状隆帯が施される。

円筒下層ｄ2式：497。横位側面圧痕が施される。

［Ⅲ-Ⅳb層］（第102 ～ 108図）

円筒上層ａ2式：498 ～ 500。鋸歯状(498、499)、Ｘ字状(500)側面圧痕が施される。口縁部はいずれも波状だが、確認できたものは山形(499)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状がある(500)。貼付は円形であり、2条のC字状隆帯を組み合わせている(500)。

円筒上層ａ1式：501 ～ 520。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(516、517など)、山形(片欠)(502、508)、M字状(503、509など)、棒状(506)、台形(507、520など)、平縁(505、518)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状(縦)(513、519)、Ｃ字状(506)、Ｕ字状(507)がある。貼付は橋状(502、509)、円形(507)、環状(520)、方形(508)である。隆帯と貼付の組み合わせは、縦位隆帯と方形(508)･橋状(502、509)･環状(520)貼付、鋸歯状(縦)隆帯と方形貼付(513、519)などがある。また、これらの中には竹管状工具により刺突列が施されるものも認められる(508)。

円筒上層ａ式：529 ～ 531。波状口縁に斜行縄文が施文されるもの(529、530)以外は、口縁部の確認に留まるため文様が判然としないものである。

円筒下層ｄ2式：521 ～ 528。横位側面圧痕が施されるもの(501、524、526など)、横位側面圧痕と隆帯が施されるもの(523、525)である。口縁部は平縁が主体をなすが、山形(片欠)(521)、台形(523)がある。隆帯は縦位(523)、Ｃ字状(525)である。

不明：532、533。斜行縄文が施文される。

グリッド８　（第109 ～ 119図）

12,290点(217,172.23g)を確認している。出土層位はⅠ～Ⅳ層である。

［Ⅰ層］（第109図）

円筒上層ａ1式：534。縦・横位側面圧痕と横位隆帯が施される。

［Ⅱ層］（第109図）

円筒上層ａ2式：535。山形の口縁部に鋸歯状側面圧痕と横・斜位隆帯が施される。

［Ⅲa層］（第109 ～ 111図）

円筒上層ｂ式：536 ～ 542。Ｃ字状側面圧痕が１～３段に施される。口縁部は台形(536、538、540)、M字状(537、541)である。隆帯は横位を主体に、斜位(537、541)、弧状(536、538)、Ｃ字状(540)がある。貼付は環状である(542)。隆帯と貼付の組み合わせは、縦位隆帯と環状貼付がある(542)。また、これらの中には波頂部直下に穿孔されたものが認められる(536)。

円筒上層ａ2式：543 ～ 547。鋸歯状側面圧痕が施される。これらの中には弧状の側面圧痕と隆帯が

上下に並列して施されるものが認められる(543)。口縁部は形状不明の波状が多い中で、山形(544)、小波状(543)がある。隆帯は縦・横位が主体をなすが、斜位(547)、鋸歯状(縦)(544)、弧状を複数条組み合わせたもの(543)がある。

円筒上層ａ1式:548 ～ 551。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施されるものである。口縁部は山形(548)、台形(550)である。

円筒上層ａ式：556。山形の口縁部に斜行縄文、波頂部の内外面には渦巻状貼付と穿孔が施される。

円筒下層ｄ2式：552 ～ 555。横位側面圧痕が施されるもの(553)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(552、554、555)である。口縁部は平縁(553、554)、山形(552)である。また、これらの中には棒状工具により刺突列が施されるものが認められる(553)。

不明：557。斜行縄文が施文される。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第111 ～ 119図）

円筒上層ｂ式：558 ～ 568。Ｃ字状側面圧痕が１～３段に施される。口縁部は台形(559、561など)、平縁(558)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状がある(561、564、567)。

円筒上層ａ2式：569 ～ 581。鋸歯状(569、571 ～ 573など)、Ｘ字状(570、581)、矢羽根状(574)側面圧痕が施される。口縁部は山形(571、581)、台形(569など)、棒状(570)、M字状(576、578)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(569、572 ～ 575など)、弧状(569)、Ｕ字状(580)がある。これらの中には、弧状隆帯や環状貼付などを組み合わせて複雑な文様が形成されるもの(572、578)、横位隆帯の下方の体部に弧状(569)やＵ字状(580)隆帯が施されるものが認められる。

円筒上層ａ1式：585 ～ 606。波頂部直下に斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(599)以外は、縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施されるものである。口縁部は山形(589、599、600など)、山形(片欠)(592など)、台形(587、596など)、M字状(590、593、594)、棒状(595、604)、平縁(598)である。隆帯は縦・横位を主体に、Ｃ字状(592 ～ 595など)、Ｕ字状(590)、鋸歯状(縦)(589)がある。貼付は円形(592、593、595、605)、方形(608)、橋状(594)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形(593、595)・橋状(594)貼付、縦位隆帯と橋状貼付(607)、Ｃ字状隆帯と円形貼付(592)などがある。また、これらの中には口唇部に貼付が施されることで、複数の凹凸を有する山形の形状を形成しているものが認められる(589)。

円筒上層ａ式：582 ～ 584、607、608。山形の口縁部に斜行縄文が施文されるもの(582)以外は、口縁部の確認に留まるため文様が判然としないものである。また、これらの中には、583のように波頂部の口唇部上に穿孔を施し複数の凹凸を有する山形の形状を形成しているものが認められる。

円筒下層ｄ2式：609 ～ 617。横位側面圧痕が施されるもの(610、614など)、横・斜位側面圧痕などが施されるもの(612、613)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(609、611、616)である。口縁部は平縁(609、613、616など)を主体に、台形(610)、山形(612)がある。また、これらの中には棒状工具により円形刺突列が施されるものが認められる(617)。さらに、612と613については斜位側面圧痕が三角形状とも捉えられることから上層ａ1式の可能性がある。

不明：618 ～ 621。斜行縄文が施文される。これらの中には口縁部に縦位側面圧痕が施されるものが認められる(618、619)。

［Ⅳ層］（第119図）

円筒上層ａ1式：622。台形の口縁部に縦・横・斜位の側面圧痕と隆帯、橋状貼付が施される。

グリッド９　（第120図）

1,353点(24,121.44kg)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

［Ⅲa層］

円筒上層ａ1式：623 ～ 626。横・斜位側面圧痕と弧状隆帯が施されるもの(623)、縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施されるもの(624～626)である。口縁部は破片が多いことから判然としないものの、確認できた形状はM字状である(623)。隆帯は縦・横位の他に、弧状(623)、鋸歯状(縦)(624)がある。貼付は円形(624)、方形(625)である。隆帯と貼付の組み合わせは、鋸歯状(縦)隆帯と円形貼付(624)、縦位隆帯と方形貼付(625)がある。また、これらの中には半截竹管状工具により刺突列が施されるものが認められる(625)。

円筒下層ｄ2式：627 ～ 629。横位側面圧痕が施される。口縁部は平縁(627)、山形(628)である。

グリッド10　（第121 ～ 130図）

7,493点(158,081.57g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅳ層である。

［Ⅲa層］（第121 ～ 124図）

円筒上層ｂ式：630 ～ 632。Ｃ字状側面圧痕が１～２段に施される。口縁部は台形(631)、平縁(632)である。隆帯は横位とＣ字状である(631、632)。また、これらの中には、半截竹管状工具により刺突列が施されるものが認められる(630)。

円筒上層ａ2式：633 ～ 641。鋸歯状(633 ～ 635、637など)、矢羽根状(636)、Ｘ字状(640)側面圧痕が施されるもの、鋸歯状の側面圧痕と隆帯が施されるもの(638)である。口縁部は台形(635)、M字状(634、640など)、山形(639)、小波状(636)、平縁(637、638)である。隆帯は縦･横位の他に、U字状(635)、弧状(636、637)、鋸歯状(横)(638、639)がある。また、中には横位隆帯の下方の体部に弧状などが施されるものも認められる(636、637、639)。側面圧痕は２～３条で構成された鋸歯状の他に、C字状(634、641)、渦巻状(638)がある。

円筒上層ａ1式：642 ～ 648。斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの(643)以外は、縦・横・斜位側面圧痕と隆帯が施されるものである。口縁部は山形(片欠)(643)、台形(644、647、648)、M字状(646)である。貼付は環状であり、縦位隆帯と組み合わせている(647)。

円筒下層ｄ2式:649、650、682。横位側面圧痕が施される。口縁部はM字状(649)、平縁(650)である。また、これらの中には篦状工具により刺突列が施されるものが認められる(650)。

不明：651。ナデが施され無文のものである。

異系統：652。山形の口縁部に横位・鋸歯状(縦)隆帯、篦状工具により鋸歯状・渦巻状のナデ消しが施される。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第125 ～ 130図）

円筒上層ｂ式：653 ～ 658。Ｃ字状側面圧痕が施される。口縁部はM字状(653)、台形(654)である。隆帯は横位、Ｃ字状などである。貼付は環状である(653)。これらの中には、２段からなるＣ字状側面圧痕の間に異なる側面圧痕や隆帯が施されるものが認められる(653)。

円筒上層ａ2式:659 ～ 667。鋸歯状(横)側面圧痕が施されるもの(659 ～ 661、665 ～ 667)、鋸歯状(横)の側面圧痕と隆帯が施されるもの(662)、鋸歯状(横)隆帯が施されるもの(663、664)である。鋸歯状側面圧痕は１～３条によるもので、それらは１・２段に形成されている。口縁部は台形(659)、M字状(660)、山形(片欠)(661)、小波状(666)、平縁(662 ～ 664、667)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状(662 ～ 664)、Ｃ字状(661、665など)がある。また、これらの中には横位隆帯の下方の体部に

弧状隆帯が施されるものが認められる(664)。貼付は環状(663)、方形(665)である。

円筒上層ａ1式：668 ～ 676、678。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部はM字状(669 ～ 671など)、台形(672)、棒状(674)である。隆帯は縦・横位の他に、斜位(672)、Ｃ字状(668、670)がある。貼付は円形(670)、橋状(674)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形貼付(670)、縦位隆帯と橋状貼付(674)がある。また、これらの中には670のように縦位側面圧痕がＣ字状と類似するものの、隆帯と貼付の組み合わせから当該型式に含めたものがある。

円筒下層ｄ2式：677、679 ～ 684。横位側面圧痕が施されるもの(677、681、684)、横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(679、680、682、683)である。口縁部は波状(679ほか)、M字状(677)、平縁(680、681、683)である。隆帯は縦位(677、679、683)、Ｃ字状(680)である。

不明：685。斜行縄文が施文される。

異系統：686。平縁の口縁部に半截竹管状工具により刺突列と平行沈線が施される。

グリッド11　(第131 ～ 133図)

1,238点(24,028.04g)を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲa層である。

［Ⅱ層］　(第131図)

円筒下層ｄ2式：687。横位側面圧痕と縦位隆帯が施される。

［Ⅲa層］　(第131 ～ 133図)

円筒上層ａ2式：688。鋸歯状(縦)隆帯を確認できることから含めたが、ａ1式の可能性もある。

円筒上層ａ1式：689 ～ 696。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部はM字状(689、691)、棒状(690)、山形(片欠)(695)、平縁(693、696)である。隆帯は縦･横位の他に、鋸歯状(縦)(690)、Ｃ字状(689、695)がある。貼付は円形(689、691)、方形(696)である。隆帯と貼付の組み合わせは、２条のＣ字状隆帯と円形貼付がある(689)。

円筒下層ｄ2式：697 ～ 703。横位側面圧痕が施されるもの(700、701)以外は、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるものである。口縁部は山形(699)、台形(698)、M字状(697、703)、平縁(700、702)である。これらの中には、起伏の低い形状が含まれる(697 ～ 699)。

グリッド12　(第133 ～ 138図)

3,704点(70,230.13g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳa層である。

［Ⅱ層］　(第133図)

円筒下層ｄ2式：704。M字状の口縁部に縦・横位側面圧痕が施される。

［Ⅲa層］　(第133 ～ 135図)

円筒上層ｂ式:705 ～ 708。Ｃ字状側面圧痕が１～３段に施される。口縁部は台形(705)､小波状(706)、平縁(707)である。隆帯は縦・横位の他に、弧状(705、706)、Ｃ字状(707、708)がある。貼付は環状である(705)。隆帯と貼付の組み合わせは、弧状隆帯と環状貼付がある(705)。

円筒上層ａ1式：709、710。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部はM字状である。隆帯はU字状と横位(709)、縦・横位(710)を組み合わせたものである。

円筒下層ｄ2式：711。平縁の口縁部に横位側面圧痕が施される。

不明：712、713。体部に結節回転文(712)、付加条(713)が施文される。

［Ⅲ-Ⅳa層］　(第135 ～ 138図)

円筒上層ｂ式：714 ～ 716。Ｃ字状側面圧痕が２～３段に施される。口縁部は小波状(714)、山形(片

欠)(715)、平縁(716)である。隆帯は横位、弧状、C字状などを組み合わせたものである。また、これらの中には、横位隆帯の下方の体部に弧状隆帯が施されるものが認められる(715)。

円筒上層ａ2式：717 ～ 723。鋸歯状(717 ～ 720など)、X字状(721)側面圧痕が施される。口縁部はM字状(717、720、722)、台形(719)である。隆帯は横位とC字状を組み合わせているもの(717 ～ 720)が主体である。中には、722のように横位隆帯の下方の体部に弧状隆帯が施されるものが認められる。貼付は環状である(718)。側面圧痕は上記が主体をなすが、鋸歯状が口唇部と隆帯上に施される例が稀に認められる(718)。また、このような中で、722には基準とする側面圧痕を確認できないものの、弧状の隆帯と側面圧痕による施文とC字状圧痕が認められないことから当該型式に含めている。

円筒上層ａ1式:724 ～ 728、732。縦･横･斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(724、725、727)、山形(片欠)(726)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状がある(724)。

円筒上層ａ式：729。台形の口縁部に結節回転文が施文される。

円筒下層ｄ2式：730、731、733。横位側面圧痕が施されるもの(730、731)、縦・横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(733)である。口縁部はM字状(730)、山形(731)、平縁(733)である。隆帯は縦位である(733)。

不明：734。結束第1種羽状縄文が施文される。

グリッド13　(第139図)

692点(13,084.56g)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

[Ⅱ層]

円筒上層ａ1式：736。縦・横・斜位側面圧痕が施される。

円筒下層ｄ2式：735、739。山形の口縁部に縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。

[Ⅲa層]

円筒上層ａ1式：737、738。縦・横・斜位側面圧痕が施されるもの(737)、縦・横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(738)である。

円筒下層ｄ2式：740、741。縦・横位側面圧痕が施されるもの(740)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(741)である。口縁部は山形である(741)。

グリッド14

125点(1,542.68g)を確認している。口縁部を伴う資料が少ないため図化していない。

グリッド15

163点(1,976.85g)を確認している。口縁部を伴う資料が少ないため図化していない。

グリッド16　(第140 ～ 143図)

2,314点(48,253.86g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳa層である。

[Ⅱ層]　(第140図)

円筒上層ｂ式：742。M字状の口縁部にC字状の側面圧痕と隆帯が施される。

[Ⅱ～Ⅲa層]　(第140図)

円筒上層ｂ式：743。波状の口縁部にC字状側面圧痕と縦・横位隆帯が施される。

円筒上層ａ2式：744、745。鋸歯状(744)、矢羽根状(745)側面圧痕が施される。744は今回確認でき

た中で唯一の皿である。橋状貼付を確認できたが、これは両端に把手を模して付されたものと思われる。側面圧痕は横位主体とするものだが、左側面において鋸歯状が認められたことから当該型式に含めている。

［Ⅲa層］（第140 ～ 142図）

円筒上層ｂ式：746 ～ 751。Ｃ字状側面圧痕と横位隆帯などが施される。口縁部は台形(746、747、751)、山形(片欠)(749、750)である。隆帯は横位とＣ字状が主体である。また、これらの中には、746のように縦・横位と共に、斜位、Ｃ字状、弧状隆帯を組み合わせて複雑な文様が形成されるものが認められる。さらに、正面・左側面は同じ文様を形成するが、それ以外の面では異なる文様が施されている。

円筒上層ａ2式：752 ～ 755。鋸歯状側面圧痕が施される。口縁部は平縁(752)、M字状(755)である。隆帯は縦・横位の他に、鋸歯状(横)(754)、弧状(752、754、755)がある。

円筒上層ａ1式：756 ～ 758。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(756)、棒状(758)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状がある(757、758)。

円筒上層ａ式：759。山形の口縁部で文様が判然としないものだが、上層ａ1式の可能性がある。

円筒下層ｄ2式：760 ～ 768。横位側面圧痕が施されるものを主体に、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(762)、横位側面圧痕と棒状工具(765)や竹管状工具(766)による円形刺突が施されるものがある。口縁部は平縁(764、767など)、山形(片欠)(760)である。貼付は円形である(760)。また、これらの中には篦状、棒状、竹管状などの工具により刺突列が施されるものが認められる(760 ～ 762、765、766)。

［Ⅲ-Ⅳa層］（第143図）

円筒上層ｂ式：769。波状の口縁部にＣ字状側面圧痕と縦・横位隆帯が施される。

円筒上層ａ2式：770 ～ 772。鋸歯状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：774。横・斜位の側面圧痕と隆帯、円形貼付が施される。

円筒上層ａ式：773。M字状の口縁部に斜行縄文が施文され、口縁部は厚く折り返されている。

グリッド17　（第144図）

409点(7,493.23g)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

［Ⅱ層］

円筒上層ａ2式：775。Ｘ字状側面圧痕とＣ字状隆帯が施される。波頂部直下のＣ字状隆帯間に円形貼付が付されている。

［Ⅲ層］

円筒上層ａ1式:776、777。縦･横･斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形である(777)。隆帯は縦位(777)、Ｃ字状(776)である。貼付は方形であり、縦位隆帯と組み合わせている(777)。

グリッド18

180点(3,214.43g)を確認している。口縁部を伴う資料が少ないため図化していない。

グリッド19　（第144図）

1,046点(19,108.24g)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

［Ⅱ層］

円筒上層ａ1式：778、779。縦・横・斜位側面圧痕が施される。

円筒下層ｄ2式：780、781。平縁の口縁部に横位側面圧痕が施される。

不明：782。斜行縄文が施文される。

［Ⅲa層］

円筒上層ｂ式：783。平縁の口縁部にＣ字状側面圧痕とＣ字状・弧状隆帯が施される。

円筒上層ａ1式：784。横位の側面圧痕と隆帯、篦状工具により刺突列が施される。

グリッド20　（第145図）

462点（7,704.86g）を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲa層である。

［Ⅱ層］

円筒上層ａ1式：785。縦・横・斜位の側面圧痕と隆帯が施される。

［Ⅲa層］

円筒上層ａ2式：786、787。鋸歯状と横位側面圧痕が施される。

グリッド21　（第145～147図）

2,387点（43,667.19g）を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲb層である。

［Ⅱ層］（第145、146図）

円筒上層ｂ式：788。波状の口縁部にＣ字状側面圧痕が２段に施される。

円筒上層ａ2式：789。鋸歯状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：790～794。斜位側面圧痕で三角形状の文様が施されるもの（792）以外は、縦・横・斜位の側面圧痕と隆帯が施されるものである。口縁部は台形である（791）。

円筒下層ｄ2式：795。波状の口縁部に横位側面圧痕と円形貼付が施される。

不明：796。折り返された平縁の口縁部に斜行縄文が施文される。

［Ⅲa層］（第147図）

円筒上層ａ1式：797～799。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。口縁部はM字状（797）、平縁（798）である。

円筒上層ａ式：800。台形の口縁部に斜行縄文が施文される。

円筒下層ｄ2式：801、802。縦・横位側面圧痕などが施される。802には篦状工具による刺突列が認められる。

グリッド22　（第148～151図）

2,205点（54,001.36g）を確認している。出土層位はⅠ～Ⅲb層である。

［Ⅱ層］　（第148図）

円筒上層ａ2式：803、804。平縁の口縁部に斜位の側面圧痕と隆帯が施される。両文様を合わせると鋸歯状の文様に捉えられることから当該型式に含めたものの、上層ａ1式の可能性がある。

円筒上層ａ1式：805、806。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形（805）、M字状（806）である。隆帯は縦・横位の他に、Ｕ字状がある（805）。貼付は環状と方形である（805）。ただし、環状については内面にも認められる。隆帯と貼付の組み合わせは、Ｕ字状隆帯の上下に環状と方形貼付が付されるものがある（805）。

円筒上層ａ式：807、808。文様帯が判然としないものだが、環状貼付(807)、半截竹管状工具により平行沈線(808)が施される。

［Ⅱ～Ⅲa層］（第149図）

円筒上層ａ1式：809。山形の口縁部に縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。

円筒下層ｄ2式：810。山形(片欠)の口縁部に横位側面圧痕が施される。

［Ⅲa層］（第149～151図）

円筒上層ａ2式：811。横位・鋸歯状側面圧痕が施される。

円筒上層ａ1式：812～815。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。中でも、813は縦・横位側面圧痕のみで形成されている。

円筒上層ａ式：816。弧状とＣ字状の隆帯と側面圧痕などを組み合わせているものの、文様が判然としないものである。

円筒下層ｄ2式：817～822。横位側面圧痕と隆帯が施されるもの(817、821)以外は、横位側面圧痕が施されるものである。口縁部は平縁が主体である。隆帯は縦位(817)、横位(821)である。また、これらの中には工具により刺突列が施されるものが認められる(821)。

不明：823、824。平縁の口縁部に斜行縄文が施文される。

［Ⅲa～Ⅲb層］（第151図）

円筒上層ａ1式：825、826。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は波状口縁だが、形状不明である。隆帯は鋸歯状(825)、Ｃ字状(826)である。貼付は方形であり、2条のC字状隆帯と組み合わせている(826)。

円筒下層ｄ2式：827。横位の側面圧痕と隆帯が施される。

グリッド23　（第152、153図）

1,444点(28,485.42g)を確認している。出土層位はⅡ～Ⅲb層である。

［Ⅱ層］（第152図）

円筒下層ｄ2式：828。縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。

不明：829。斜行縄文が施文される。

［Ⅲa層］（第152、153図）

円筒上層ａ2式：830。波状の口縁部に複数条の斜位側面圧痕が施されることによって鋸歯状の文様を形成しているものである。貼付は円形である。

円筒上層ａ1式：831～838。縦・横位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(831)、山形(片欠)(833)である。これらの中には、831のように刻みによって凹凸を有する波頂部が形成されるものが認められる。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状(833、837)、鋸歯状(838)がある。

円筒下層ｄ2式：839～841。横位側面圧痕が施されるもの(839、840)、横位の側面圧痕と隆帯が施されるもの(841)である。口縁部は平縁(839、841)、M字状(840)である。

不明：842。斜行縄文が施文され、体部に段が認められる。

［Ⅲa～Ⅲb層］（第153図）

円筒下層ｄ2式：843、844。縦・横位側面圧痕が施される。

［Ⅲb層］（第153図）

円筒上層ａ1式：845。M字状の口縁部に縦・横位の側面圧痕と隆帯が施される。

円筒下層ｄ2式：846、847。横位側面圧痕が施されるもの(846)、横位の側面圧痕と隆帯が施される

もの(847)である。口縁部はM字状(846)、平縁(847)である。

グリッド24　(第154、155図)

1,367点(27,718.92g)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

[Ⅲa層]

円筒上層ｂ式：848、849。Ｃ字状側面圧痕が施されるもの(849)、弧状の側面圧痕と隆帯が施されるもの(848)である。848は連続する弧状隆帯から当該型式に含めたが、上層ａ2式の可能性がある。

円筒上層ａ2式：850 ～ 853。鋸歯状側面圧痕が施されるもの(851)、複数条の斜位側面圧痕により鋸歯状が形成されるもの(850、852、853)である。

円筒上層ａ1式：854 ～ 860。縦・横・斜位などの側面圧痕と隆帯が施される。口縁部は山形(856)、台形(857)、平縁(854、858など)である。隆帯は縦・横位の他に、Ｃ字状がある(856)。

円筒上層ａ式：861。台形の口縁部に縦・横位側面圧痕と橋状貼付が施される。

円筒下層ｄ2式：862 ～ 867。縦・横位側面圧痕が施されるもの(862)、横位側面圧痕が施されるもの(864、866、867)、横位側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(863、865)である。これらの中には工具により刺突列(864)と沈線(867)が施されるものが認められる。

不明：868。斜行縄文が施文される。

グリッド25　(第155図)

412点(7,993.52g)を確認している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。

[Ⅲa層]

円筒上層ｂ式：869。Ｃ字状・横位側面圧痕と横位・鋸歯状(縦)隆帯が施される。

円筒上層ａ1式：870、871。縦・横位の側面圧痕と縦位隆帯が施されるもの(870)、横位側面圧痕と弧状隆帯が施されるもの(871)である。口縁部はM字状である。

縄文時代後期に属する土器　(第156図)

７点を掲載している。出土層位はⅡ・Ⅲa層である。器種は深鉢が主体だが、鉢(876、877、878)が組成する。体部には、単軸絡条体第５類が施文されるもの(872)、斜行縄文が施文されるもの(873 ～ 875)、方形区画文が施されるもの(876 ～ 878)などが認められる。

小型土器　(第157、158図)

25点を掲載している。出土層位はⅢ-Ⅳａ・b層である。深鉢を模したものが主体だが、鉢類を模したもの(888、889、892など)なども含まれる。外面に施された文様には斜行縄文(882など)、側面圧痕(886、887)、棒状工具による沈線(882、883、887)、ナデ(879、881など)などが認められる。

円盤状土製品　(第158図)

7点を確認している。出土層位はⅢ-Ⅳａ・b層である。有孔の有無が認められており、有孔のものが主体となる。これらの中には910のように他と比べると小型のものも認められる。

土偶　(第159 ～ 164図)

32点を確認している。出土層位はⅢ-Ⅳａ・b層である。これらは板状土偶である。いずれも破損した

状態での確認に留まる中で、略完形に復元できたもの(911)、非接合ながらも同一個体に属するもの(919・920、923 ～ 925、930・931、933・934など)が認められている。

表裏面に施された文様には、棒状工具により沈線などが施されるもの(911 ～ 918など)、縄文圧痕が施されるもの(919、920、930など)、文様が認められないもの(932)がある。このように分けられる中で、沈線などが施されるものと文様が認められないものでは乳房と腹部を確認しており、それらが膨らむもの(911 ～ 913、914)、凹むもの(914、932)がある。ただし、前者に含めた914は乳房が剥落している。

その他の土製品　(第164、165図)

４点を確認している。出土層位はⅢa・Ⅲ-Ⅳb層である。937 ～ 940は不明の土製品である。平面形状が隅丸方形のもの(937)、不整楕円形のもの(938)がある。939は全体形状は判然としないが、筒状のものと想定される。940は短冊状土製品の未製品であり、土器片の縁辺に対して研磨を施し末端の形状がＶ字状に整形されたものである。

石器　(第166 ～ 215図)

出土点数は5,060点である。器種と石器材料との組成は第３表のとおりであり、以下では器種ごとにまとめていく。

第３表　器種・石器材料組成表

	石鏃	尖頭器	石篦	石匙	不定形石器	楔形石器	剥片	石核	磨製石斧	敲磨器							石皿	石棒	礫片	石製品	原石	合計
										Ⅰa	Ⅰb	Ⅰc	Ⅰd	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲ						
珪質頁岩	2				1	4	20															27
頁岩	67	9	4	3	47	36	926	13	2													1107
赤色頁岩	2		1		3	1	39	1														47
凝灰岩	2																					2
チャート			1		3	4	8	1		9	2		3						44		52	127
赤色チャート							1															1
めのう							11															11
玉随			2			2	5														2	11
流紋岩	2			1			2		1	5	5			2		1			6		6	31
凝灰岩							10		1			3							1		1	16
デイサイト									44	18	11	5	16	38	8	13			356	1	42	552
閃緑岩									7	4	1		1	1	2	4	2		52		3	77
花崗閃緑岩												1	1	4	1	1	3	1	414		1	427
細粒花崗閃緑岩									66	19	10	7	14		7	6			285		15	429
細粒閃緑岩									4	2	2				2				13		3	26
斑岩											1	1		1								3
花崗斑岩											2	2	1	4	1	3	2	1	15		3	34
花崗岩										6	1		2	1		1	1		6		8	26
細粒斑糲岩										79	7	1	96	1		3			115		18	320
粘板岩																			14			14
玄武岩									1													1
蛇紋岩									5													5
砂岩									11	25	10	4	11	5	6	5			125		29	231
アプライト										2	1			2					3		3	11
安山岩										3	2	1				3		2	34		12	57
破砕岩										2	1	1							1			5
ヒン岩														2	1				4		3	10
ホルンフェルス		1						1	59	4	2		2		4	1			1326		28	1428
礫岩													1								1	2
軽石																				2	20	22
合計	75	10	8	4	54	47	1022	16	201	178	58	26	148	61	32	41	8	4	2814	3	250	5060

石鏃（第166 ～ 169図）：75点を確認している。出土位置はグリッド１～10などで、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳb層である。本石器は平面形状により５分類したが、主体はⅠ類である。石器材料は頁岩、凝灰岩である。

Ⅰ類：941 ～ 979。41点を確認している。長幅比により細分しており、a・b類が主体である。a類は941 ～ 954、b類は955 ～ 971、c類は972 ～ 979である。

Ⅱ類：980、981。他類と比べると点数も少なく判然としないことから本類に含めたものの、980はⅠa類、981はⅠb類の失敗品の可能性がある。

Ⅲ類：982 ～ 990。10点を確認している。長幅比により細分しており、b類が主体である。a類は982、b類は983 ～ 990である。

Ⅳ類：991、992。他類と比べると点数も少なく判然としないものである。

Ⅴ類：993 ～ 1000。上記の製作過程で廃棄された失敗品と考えられるものである。

第４表　石鏃出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										3
Ⅱ			1	1			1	1													1		1			
Ⅱ～Ⅲa								5																1		
Ⅲa	5	1	1	1	5	1	1	3												1	1					
Ⅲ-Ⅳa	1	4		5	3		3	8		2																
Ⅲ-Ⅳb	7			3			4																			
計	13	5	2	10	8	1	9	17		2										1	2		1	1		3

尖頭器（第169、170図）：10点を確認している。出土位置はグリッド１～10などで、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅢ-Ⅳa・b層である。石器材料は頁岩、ホルンフェルスである。

1001 ～ 1010。欠損品が多い中で、1001、1002、1004のような完形品が確認されている。これらは両面に対して二次加工が施されるものだが、周縁加工のもの（1009）も存在している。両者の石器材料は異なり、前者が頁岩、後者がホルンフェルスである。

第５表　尖頭器出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										
Ⅱ																										
Ⅱ～Ⅲa																										
Ⅲa																						1				
Ⅲb																						1				
Ⅲ-Ⅳa	1				1			2		1																
Ⅲ-Ⅳb		1		2																						
計	1	1		2	1			2		1												2				

石篦（第171図）：８点を確認している。出土位置はグリッド１・４・５・12などで、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅢa ～Ⅲ-Ⅳb層である。石器材料は頁岩である。

1011 ～ 1018。いずれも両面加工が施されたものである。長幅比は1.5 ～ 2.1に収まる中で、比率が２前後となるものが多い傾向にある。これらの中には1016のように小型の規模となるもの（長幅比1.5前後）も認められることから、使用過程において大きく形状が変化したことが予想される。

第６表　石篦出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										
Ⅱ																										
Ⅱ～Ⅲa																										
Ⅲa	1			1								1												1	1	
Ⅲ-Ⅳa					1																					
Ⅲ-Ⅳb	2																									
計	3			1	1							1												1	1	

石匙（第172図）：４点を確認している。出土位置はグリッド４・８・10で、捨て場の東側からである。出土層位はⅢ-Ⅳa・b層である。石器材料は頁岩である。

1019 ～ 1022。Ⅰ～Ⅲ類と全ての平面形状が認められるものの、他器種と比べると出土量が極めて少ない。1022は製作段階で廃棄された失敗品と考えられる。

第７表　石匙出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										
Ⅱ																										
Ⅱ～Ⅲa																										
Ⅲa																										
Ⅲ-Ⅳa								1		1																
Ⅲ-Ⅳb				2																						
計				2				1		1																

不定形石器（第172 ～ 174図）：54点を確認している。出土位置は概ね全グリッドだが、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳb層である。石器材料は頁岩である。

1023 ～ 1039。Ⅰ類は1023 ～ 1026、Ⅱ類は1027 ～ 1039である。前者は形状が判然としないものが多い中で、1023のような円形となるものも認められる。後者は欠損しているため全体形状を把握できないものが多い。

第８表　不定形石器出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										1
Ⅱ	1								1		1								1		2		1			1
Ⅱ～Ⅲa								1								1										
Ⅲa	3			2	1			2		1		1					1				1	2		2		
Ⅲ-Ⅳa	2	2		3	1		1	1		5		1														1
Ⅲ-Ⅳb	5			3			2																			
計	11	2		8	2		3	4	1	6	1	2				1	1		1		3	2	1	2		3

楔形石器（第174 ～ 176図）：47点を確認している。出土位置はグリッド１・２・４・５・７～10などで、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳb層である。石器材料は珪質頁岩、頁岩である。

1040 ～ 1062。Ⅰ類は1040、1041、1044、1046 ～ 1048、1050、1053 ～ 1056、1058、1059、1061、Ⅱ類は1042、1043、1045、1049、1051、1052、1057、1060、1062である。これらは素材剥片を剥離できない最終形状に近い小型のものが多い中で、1054、1055のように使用開始時の形状を維持したまま廃棄されているものも認められる。

第９表　楔形石器出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										
Ⅱ	1								2																	
Ⅱ～Ⅲa																										
Ⅲa	2			1	1			1		1						1	1		1		1		1	2		
Ⅲa～Ⅲb																							1			
Ⅲb																							1			
Ⅲ-Ⅳa	4	2		2	1					2																
Ⅲ-Ⅳb	10			6	1		1																			
計	17	2		9	3		1	1	2	3						1	1		1		1		3	2		

石核（第177、178図）：16点を確認している。出土位置はグリッド１・２・７・８などで、捨て場の東側からである。出土層位はⅡ～Ⅲ-Ⅳb層である。石器材料は頁岩である。

1063 ～ 1069。石核は小型となるものが多い。打面を上下もしくは周縁に設定し、小型剥片を剥離している。剥片は規模などから石鏃の素材剥片であったと想定される。また、剥離工程が進行した石核の規模は、楔形石器の規模と類似していることが窺える。

第 10 表　石核出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										
Ⅱ																				1		1				
Ⅱ～Ⅲa																										
Ⅲa								1			1											1				
Ⅲ-Ⅳa	1	1					1	4				1														
Ⅲ-Ⅳb	3																									
計	4	1					1	5			1	1								1		2				

磨製石斧（第179 ～ 188図）：201点を確認している。出土位置は概ね全グリッドだが、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳb層で、主にⅢa、Ⅲ-Ⅳa・b層である。石器材料は閃緑岩、細粒花崗閃緑岩などである。当該石器は分類基準で示したように、完成に至るまでの製作工程が１～５段階に分けられるが各段階に相当する資料を確認している。その内訳は、不掲載遺物も含めて見ていくと、１段階が75点、２段階が19点、３段階が68点、４段階が21点、５段階が18点である。

1070 ～ 1136。１段階は1070 ～ 1084、２段階は1085 ～ 1096、３段階は1097 ～ 1109、４段階は1110 ～ 1120、５段階は1121 ～ 1136である。１・３段階において破損が多く認められることから、これらは主に失敗品と考えられる。ただし、３段階以降では欠損後に再加工するものが認められる（1110、1104など）。また、完成後に欠損するようなことが生じれば加工を施し、再利用されるものも存在している（1121 ～ 1124など）。さらに、分類基準でも述べたように、製作工程が異なる資料を確認しており、１段階で両面加工に整形されるもの（1072など）と、片面に自然面を残したまま２段階へ移行するもの（1086 ～ 1088など）がある。両者は石器材料も異なり、前者がホルンフェルス、後者が花崗閃緑岩や砂岩などが多用されている。そして、これらの中には、今回は1段階に含めたが、刃部形状及び素材の薄さから掻器としての機能が想定されるものも認められる（1083、1084）。

第 11 表　磨製石斧出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																										4
Ⅱ	2					1			1		2		1			1	1		2		1		1	2	1	
Ⅱ～Ⅲa																2										
Ⅲa	2	1	1	1	4	2		7	3	4	3	3	1			10	1		2	3	6	8	6	10	10	1
Ⅲb																						1				
Ⅲ-Ⅳa	7	3		1	9		2	14		6		6				2										
Ⅲ-Ⅳb	21	4		7	1		5																			1
計	32	8	1	9	14	3	7	21	4	10	5	9	2			15	2		4	3	7	9	7	12	11	6

敲磨器類（第189 ～ 213図）：544点を確認している。出土位置は概ね全グリッドだが、主に捨て場の東側からである。出土層位はⅠ～Ⅲ-Ⅳb層で、主体はⅢa、Ⅲ-Ⅳa・b層である。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、砂岩、細粒斑糲岩などである。以下では、分類ごとに記載していく。

Ⅰa類は1137 ～ 1160。端部に敲打痕を有する本類は敲磨器類の中で最も多い。石器材料は細粒斑糲岩が主体である。細粒斑糲岩を用いる本類の大半は、側面に展開し最終形態となる多面体（Ⅰd類）へと移行することが想定されるものである。

Ⅰb類は1161 ～ 1175。側面に敲打痕が認められるものだが、剥離により半円形状に加工されるもの（1161 ～ 1164）と加工せずに全周が自然面に覆われているもの（1165 ～ 1175）がある。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、砂岩などである。本類における前者はⅡb類の平面形状と類似したものである。

Ⅰc類は1176 ～ 1180。平坦面に敲打痕を有する本類は敲磨器類の中で最も少ない。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、砂岩などである。

Ⅰd類は1181 ～ 1229。３箇所以上に敲打痕が認められるものである。これらの中には多面体形状のものも含まれる。出土量はⅠa類に次いで多い。石器材料は細粒斑糲岩が主体である。多面体となるものは、最終的に平面形状が不整円形、横断面形状が表裏面からの敲打により扁平な六角形となるものが多い。これらは磨製石斧の製作に用いられたものと考えられるものである。

Ⅱa類は1230 ～ 1238。平坦面に磨痕が形成されているものである。掲載点数は少ないもののb類よりも多く確認されている。石器材料はデイサイトが主体である。

Ⅱb類は1239 ～ 1263。側面に磨痕が認められるものである。これらは、加工せずに全周が自然面に覆われているもの(1239 ～ 1245)、磨痕が形成される側面に剥離が施される以外は自然面に覆われているもの(1246 ～ 1248、1250 ～ 1253)、剥離により半円形状に加工されるもの(1249、1254 ～ 1260)に分けられる。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、アプライトなどである。これらの中には、両端に抉りを有するものがある(1246、1248、1249、1254)、表裏面に敲打痕や磨痕が形成されているもの(1249、1254、1257、1261 ～ 1263など)などが認められる。

Ⅲ類は1264 ～ 1278。敲打痕と磨痕が認められるものであり、上記の各類において複合的な痕跡が形成されている。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、アプライトなどである。これらは、Ⅰa類に磨面が認められるもの(1268、1271)、Ⅰd類に磨面が認められるもの(1267、1269、1270、1275)、Ⅱa類に敲打痕が認められるもの(1265、1266、1277、1278)、Ⅱb類に敲打痕が認められるもの(1264、1272 ～ 1274、1276)に分けられる。

第 12 表　敲磨器類出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ		2					1																			9
Ⅱ	2	2			2	2		3	3		1	2				1	4	1	8	3	8	10	12	4	1	11
Ⅱ～Ⅲa											1	1				3										
Ⅲa	1	5	2		19	5		12	4	10	8	7	4		2	16	5		3	5	9	31	31	40	10	1
Ⅲa～Ⅲb																						5	7			
Ⅲb																5							2			
Ⅲ-Ⅳa	8	19		1	25		6	30		16		11							1							
Ⅲ-Ⅳb	34	5		17	10		8																			2
Ⅲ-Ⅳc		2			1																					
Ⅳ		1				1																				
計	45	36	2	18	57	8	15	45	7	26	10	21	4		2	25	9	1	12	8	17	46	52	44	11	23

剥片：1,022点を確認している。出土位置は概ね全グリッドである。出土層位はⅠ～Ⅳ層である。石器材料は頁岩が主体である。

第 13 表　剥片出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ		1		1									1													23
Ⅱ	8	12	4	3	17	14	6	8	3	2		3				4			3	1	14	4	4	2		7
Ⅱ～Ⅲa								14								2										1
Ⅲa	28	25	4	15	36	3	1	44	7	17	1	7	2			7			4	5	23	14	10	15	14	1
Ⅲa～Ⅲb																						1	3			
Ⅲb																						3	3			1
Ⅲ-Ⅳa	34	45		50	41		28	47		21		13				6			1							
Ⅲ-Ⅳb	94	6		132	6		33																			2
Ⅲ-Ⅳc		5																								
Ⅳ				1															1							
計	164	94	8	202	100	17	68	113	10	40	1	23	3			19			9	6	37	22	20	17	14	35

礫片：2,814点を確認している。出土位置は全グリッドである。出土層位はⅠ～Ⅳ層である。石器材料はホルンフェルス、花崗閃緑岩などである。基本的に磨製石斧の製作や敲磨器類など使用過程から産出されたものと考えられる。

第 14 表　礫片出土一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	他
Ⅰ																1						1				65
Ⅱ	15	6	2	4	13	21	6	12	9	5	11	8	9	1		10	4	1	35	8	48	27	33	5		13
Ⅱ～Ⅲa								2								15		3								1
Ⅲa	61	53	10	23	83	27	19	75	30	102	14	36	19	2	6	45	13	4	15	16	44	107	117	64	28	5
Ⅲa～Ⅲb																						12	21		3	1
Ⅲb				.																	3	8	8			
Ⅲ-Ⅳa	112	77		113	104		59	144		68		36				11			2							3
Ⅲ-Ⅳb	226	47		223	25		82	1																		2
Ⅲ-Ⅳc		5		1	1																					
Ⅳ		1					1	1											1							
計	414	189	12	364	226	48	167	235	39	175	25	80	28	3	6	82	17	8	53	24	95	155	179	69	31	90

石皿（第214、215図）：８点を確認している。出土位置はグリッド２・４・５・22・23などである。出土層位はⅢa～Ⅲ-Ⅳb層である。石器材料は花崗斑岩、花崗岩などである。

1279～1281。1279以外は欠損しているため全体形状は不明である。

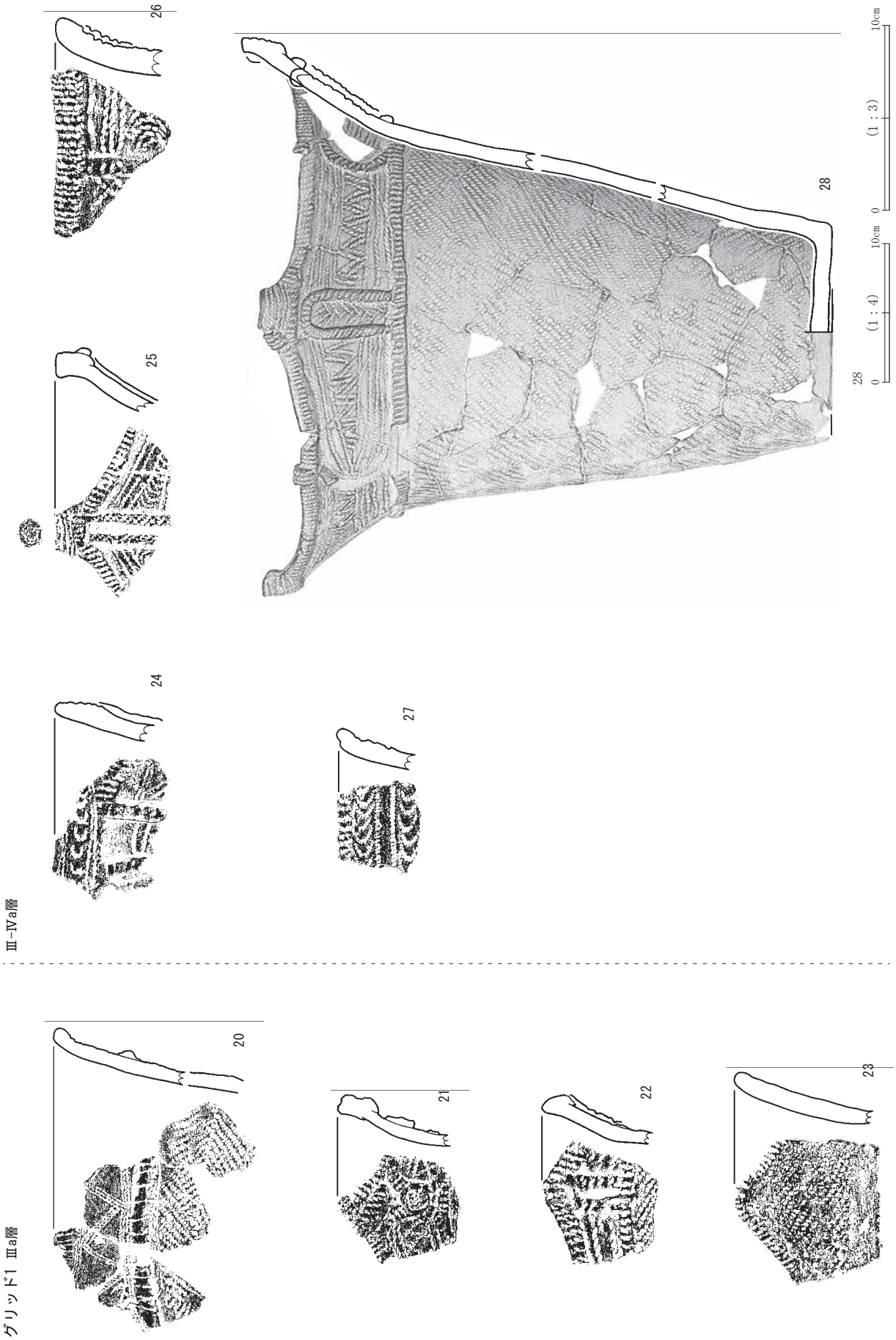
石棒（第215、216図）：４点を確認している。出土位置はグリッド８・10・12である。出土層位はⅢa・Ⅲ-Ⅳa層である。石器材料は花崗斑岩、安山岩などである

1282～1285。1282、1283は長楕円形の自然礫を用いており、1282の先端部には敲打痕を伴うものである。1284、1285は研磨が施され、1284は方形状、1285は滴状に整形されている。

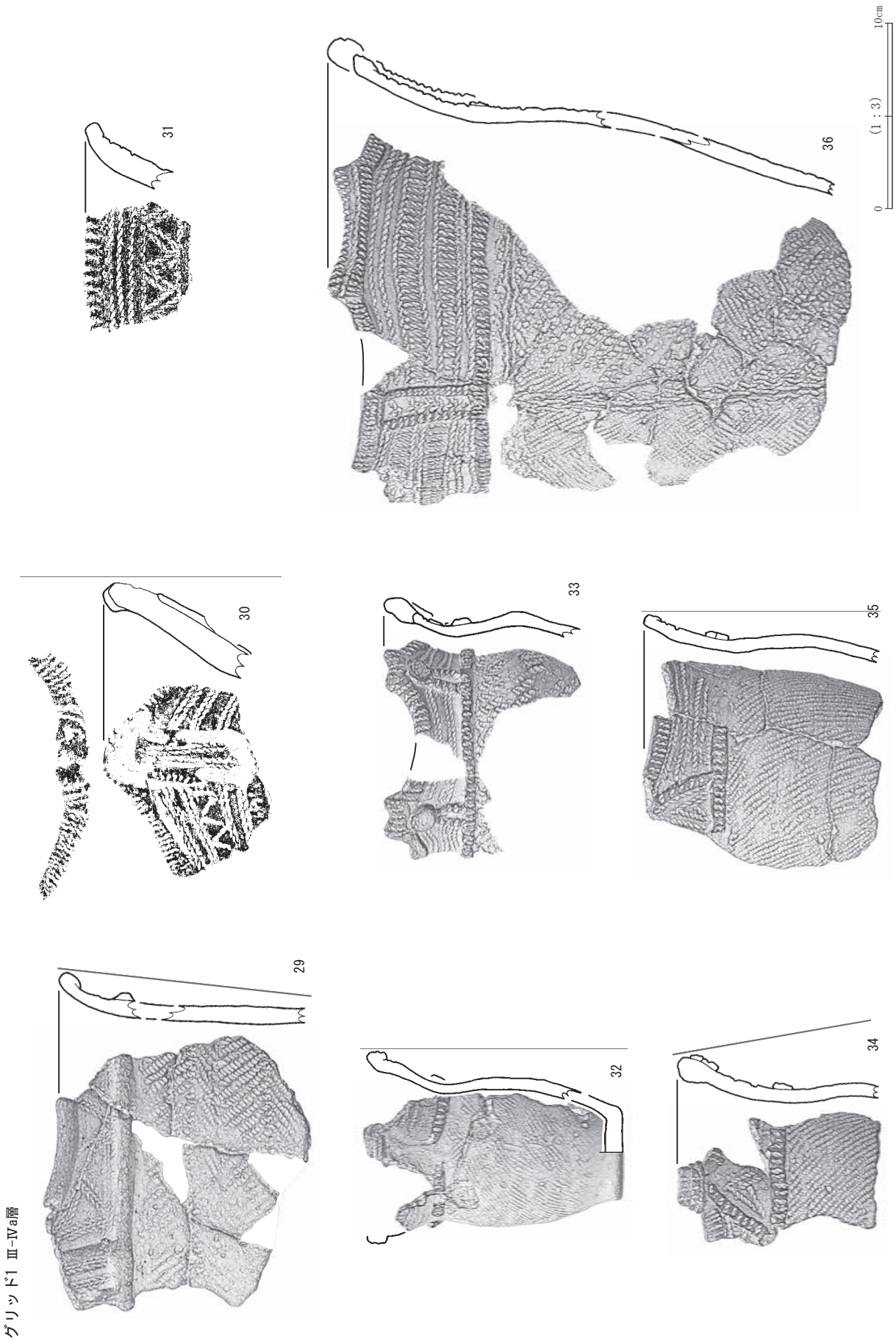
石製品（第216図）：3点を確認している。出土位置はグリッド４・７・８である。出土層位はⅢa、Ⅲ-Ⅳb層である。

1286～1288。1286は凹みが認められるが、判然としないものである。1287、1288は軽石製で有孔が認められるものである。

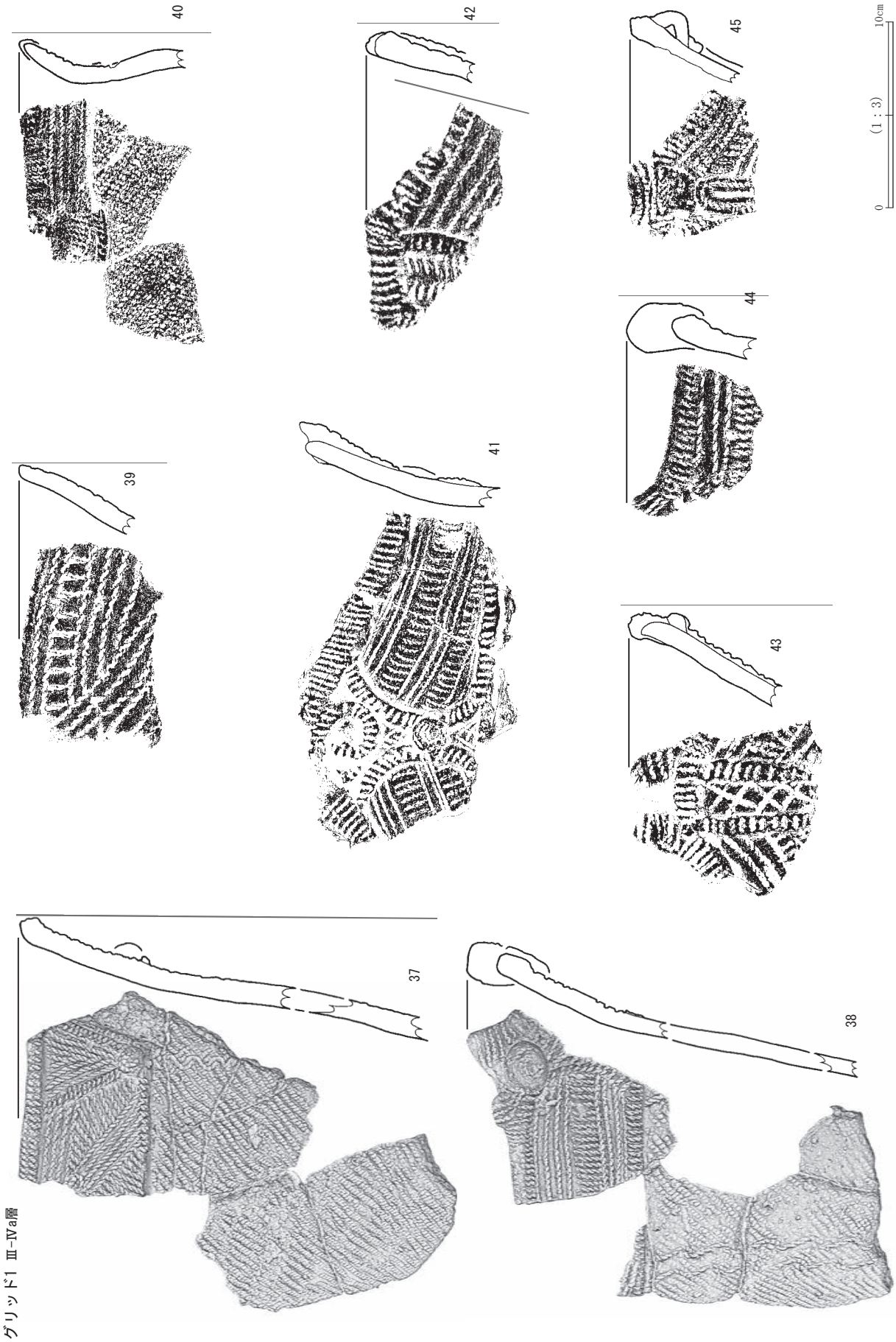
原石：270点を確認している。出土位置は全グリッドである。出土層位はⅠ～Ⅳ層である。石器材料はチャート、デイサイト、砂岩、ホルンフェルス、細粒斑糲岩などであり、上述した各器種で利用されている。これらは近くを流れる沢に認められないものである。遺跡内には敲磨器類や磨製石斧の材料として持ち込まれたが、使用されることなく廃棄されたものと考えられる。



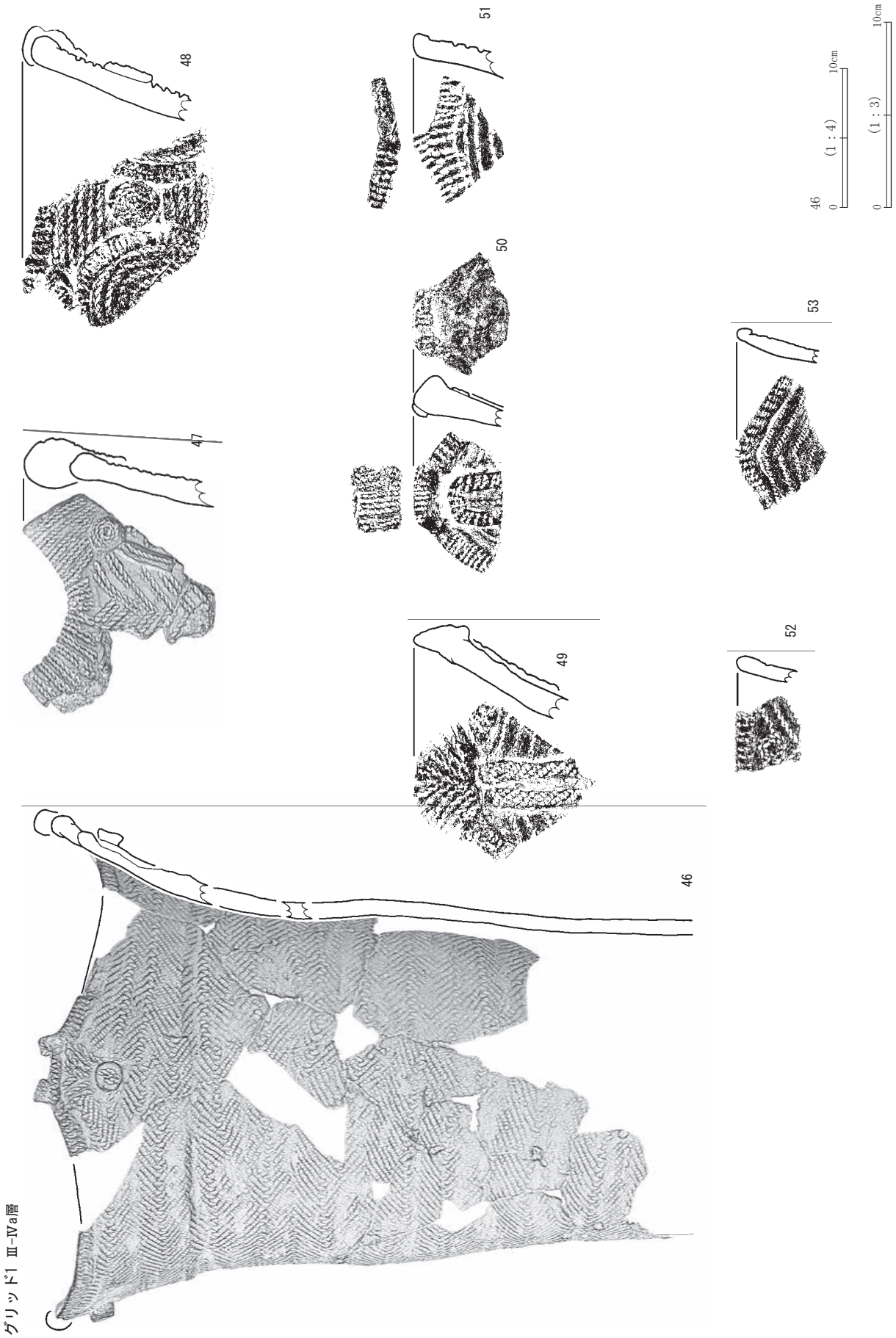
第29図　捨て場出土土器（1）



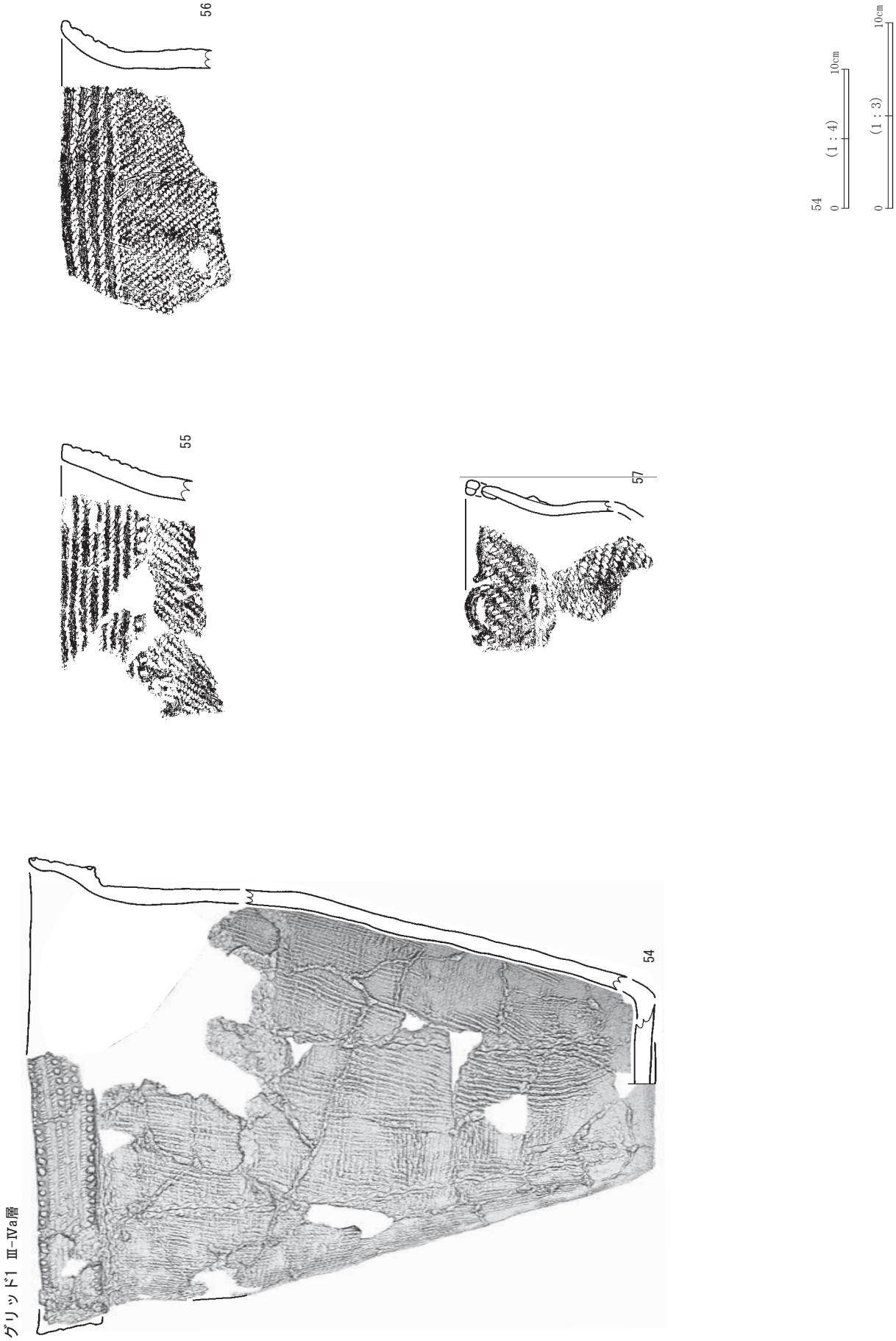
第30図　捨て場出土土器（2）



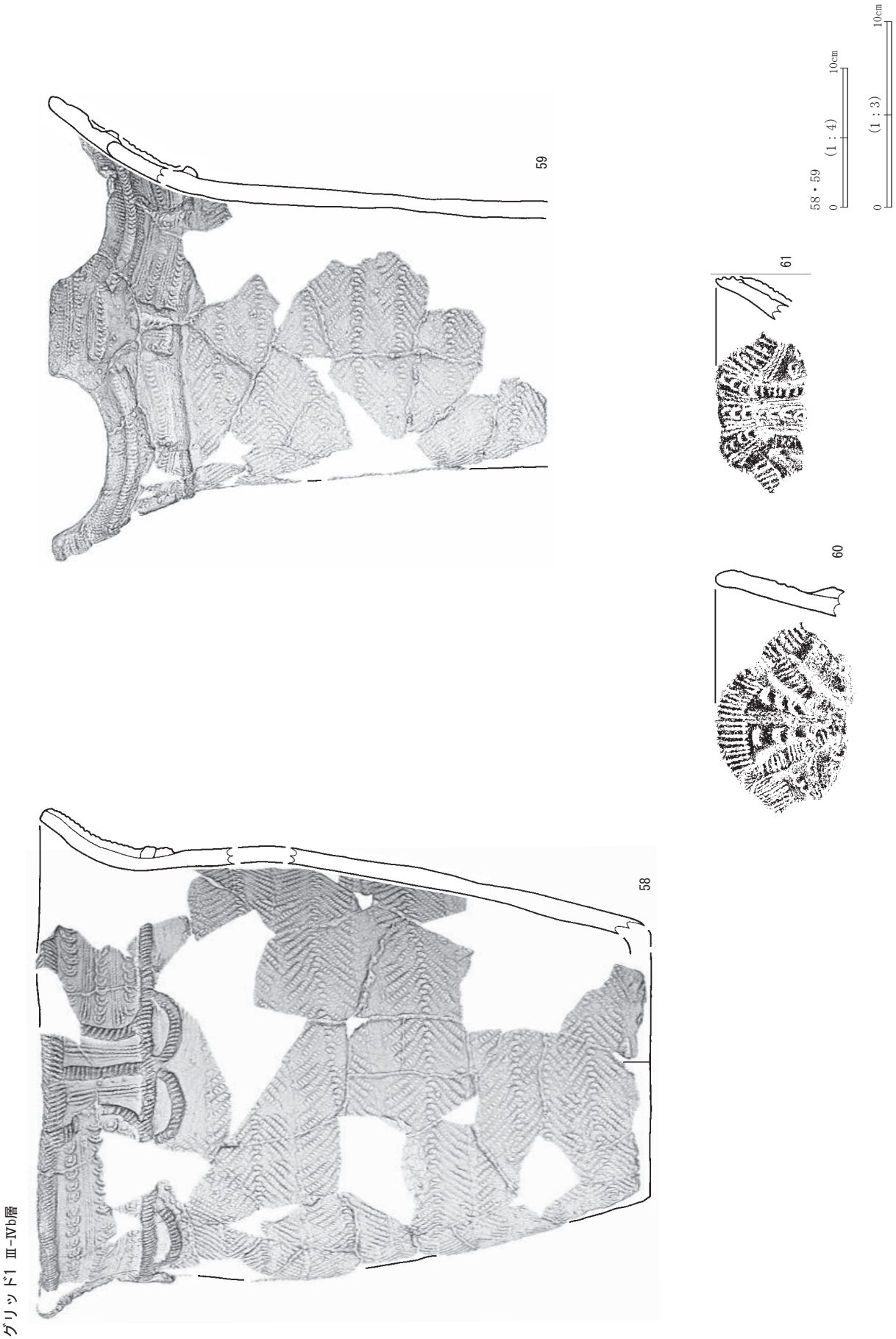
第31図　捨て場出土土器（3）



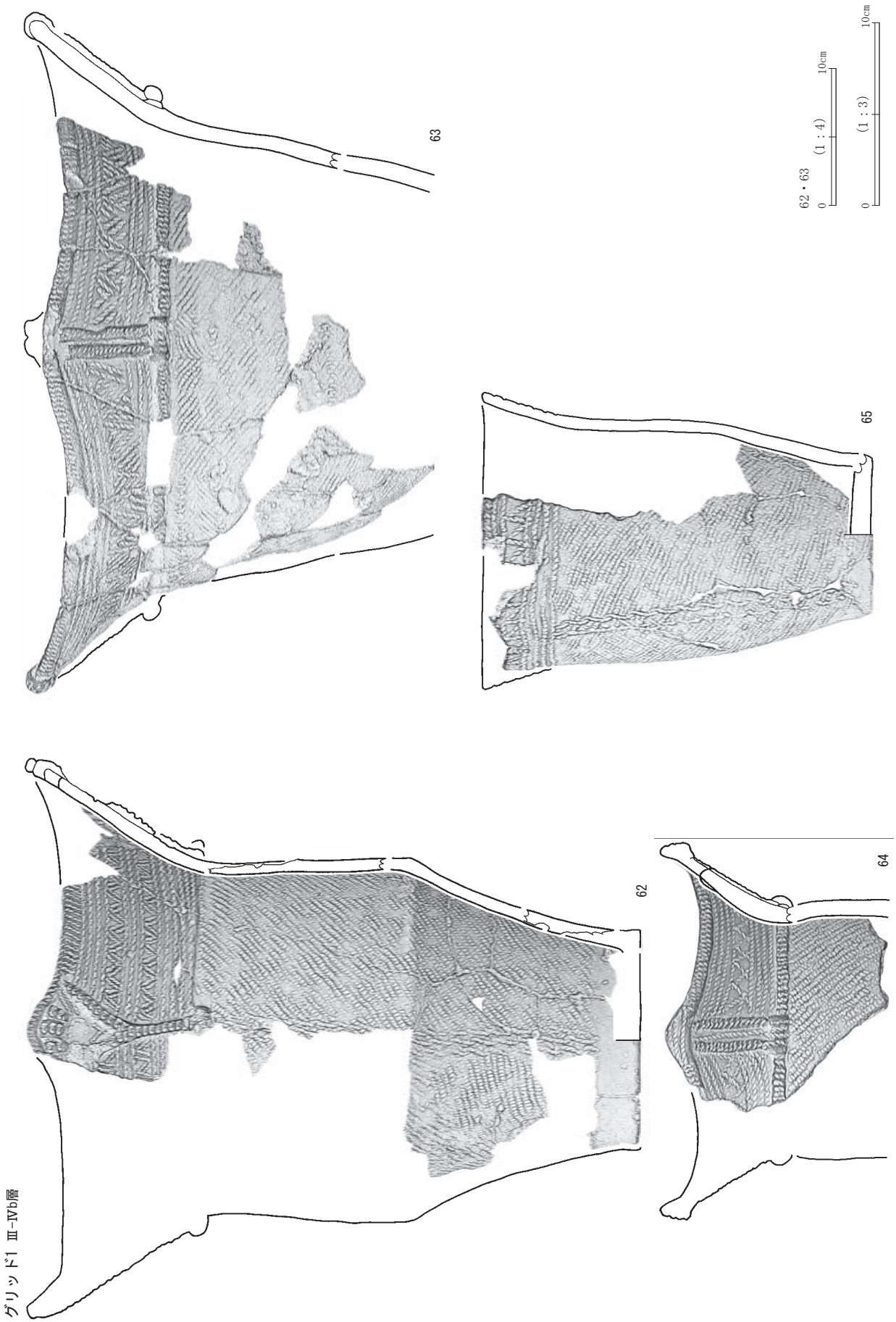
第32図　捨て場出土土器（4）



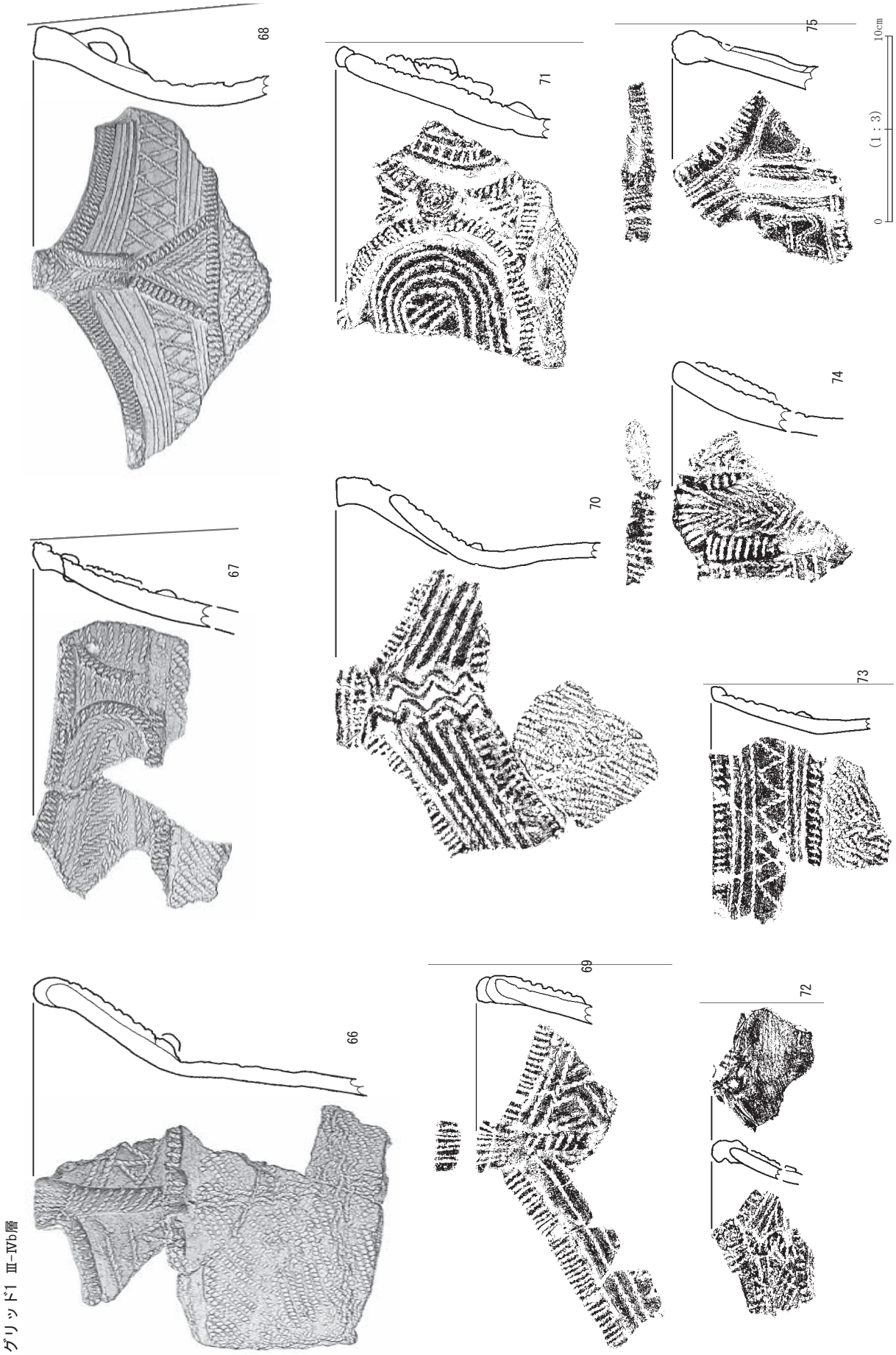
第33図　捨て場出土土器（5）



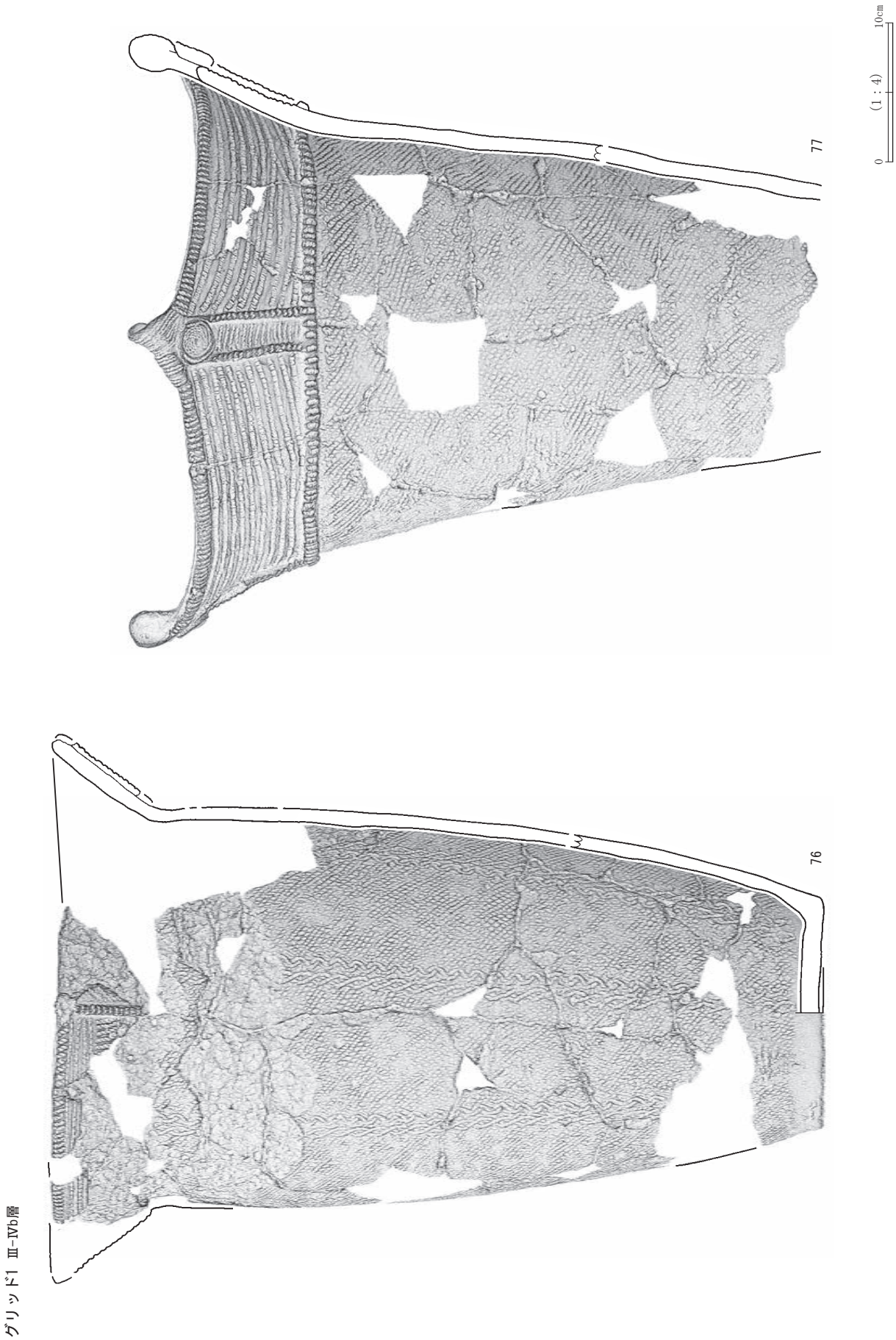
第34図　捨て場出土土器（6）



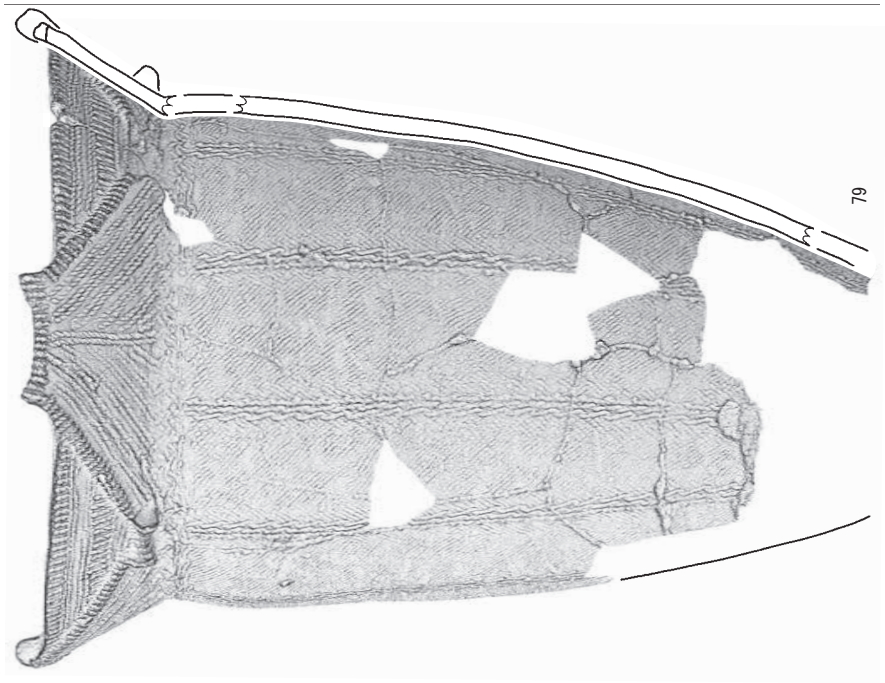
第35図　捨て場出土土器（7）

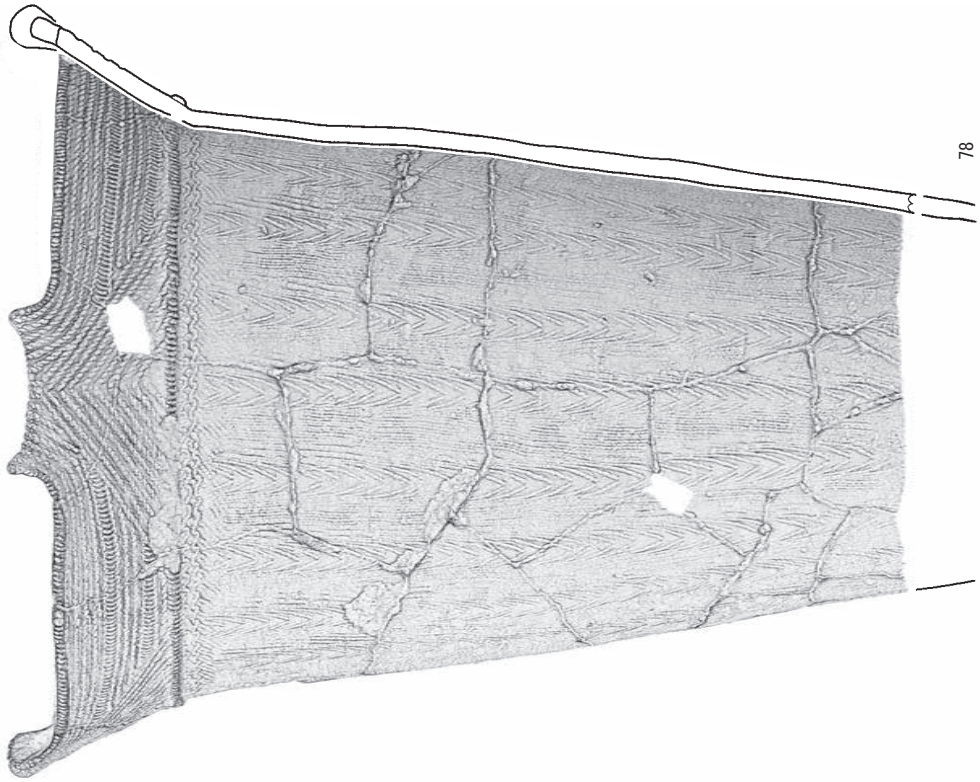


第36図　捨て場出土土器（8）



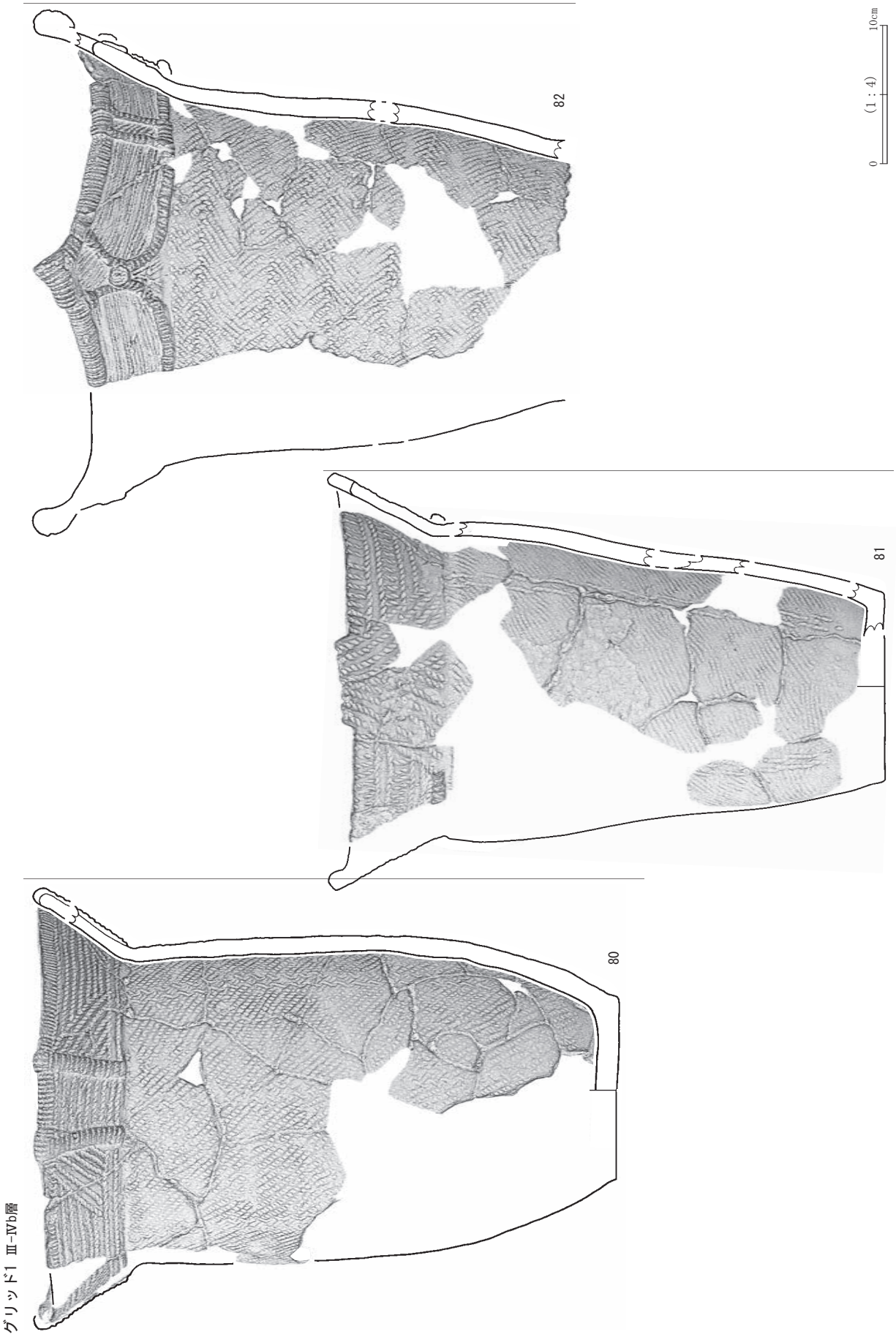
第37図　捨て場出土土器（9）



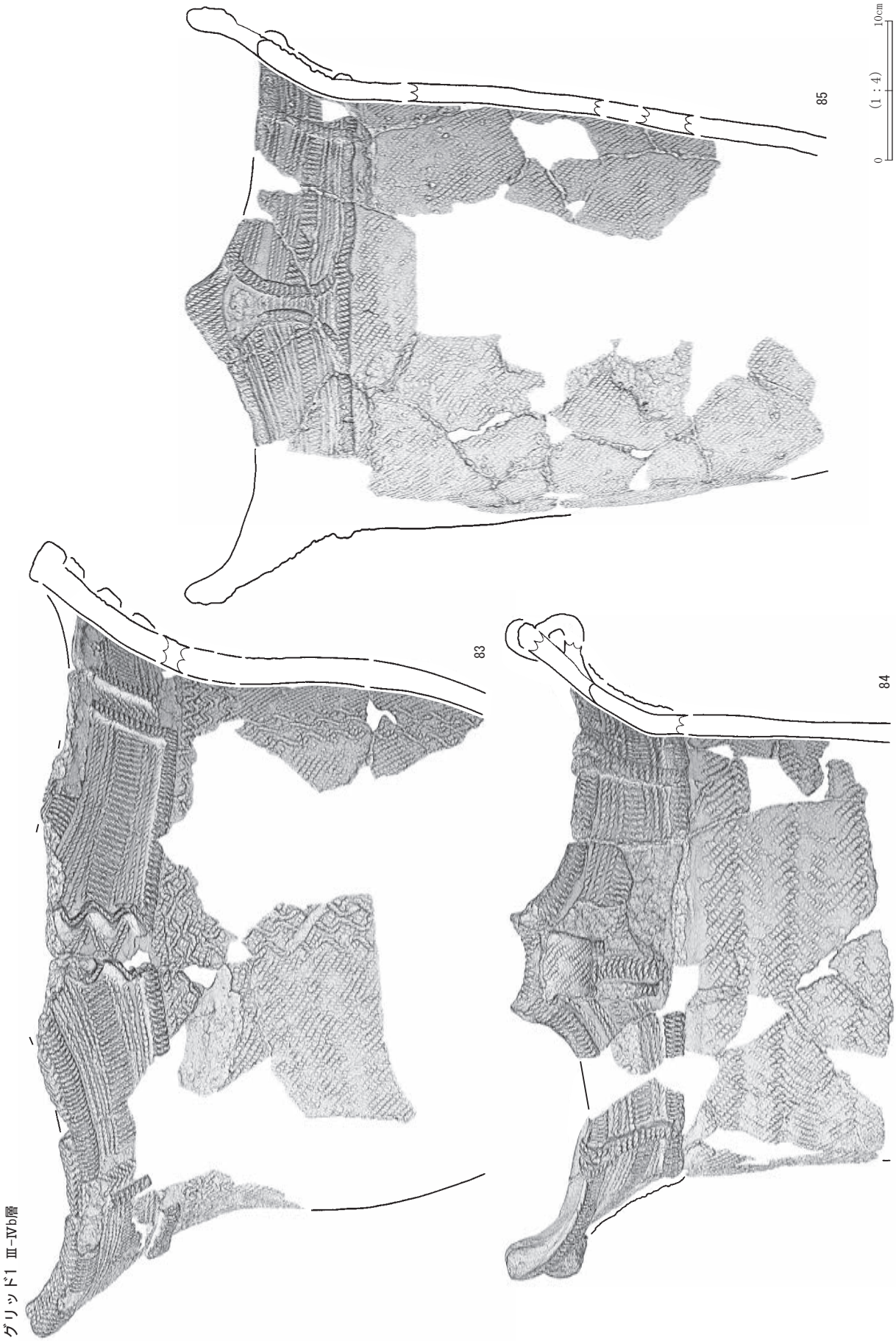


グリッド1 Ⅲ-Ⅳb層

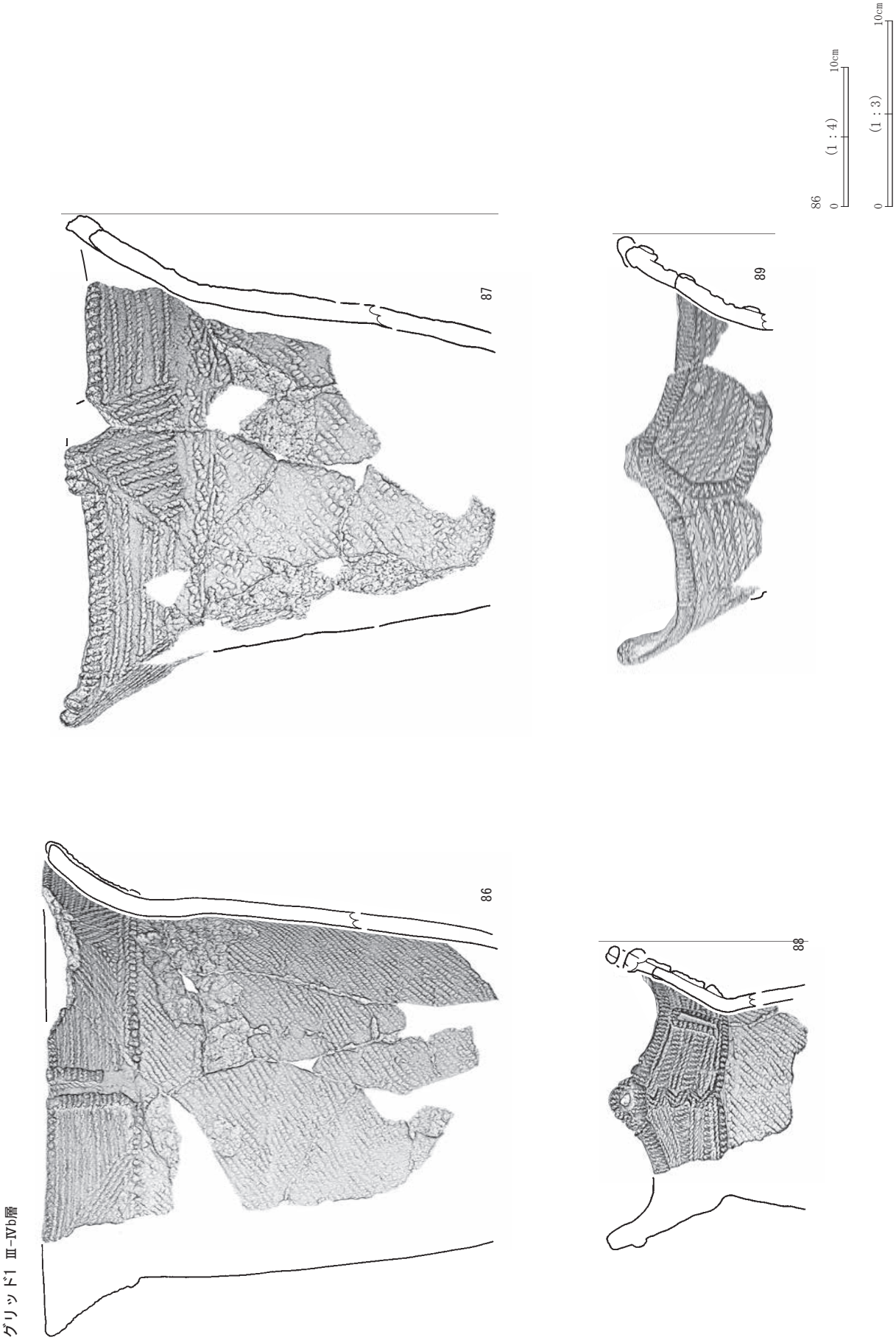
第38図　捨て場出土土器（10）



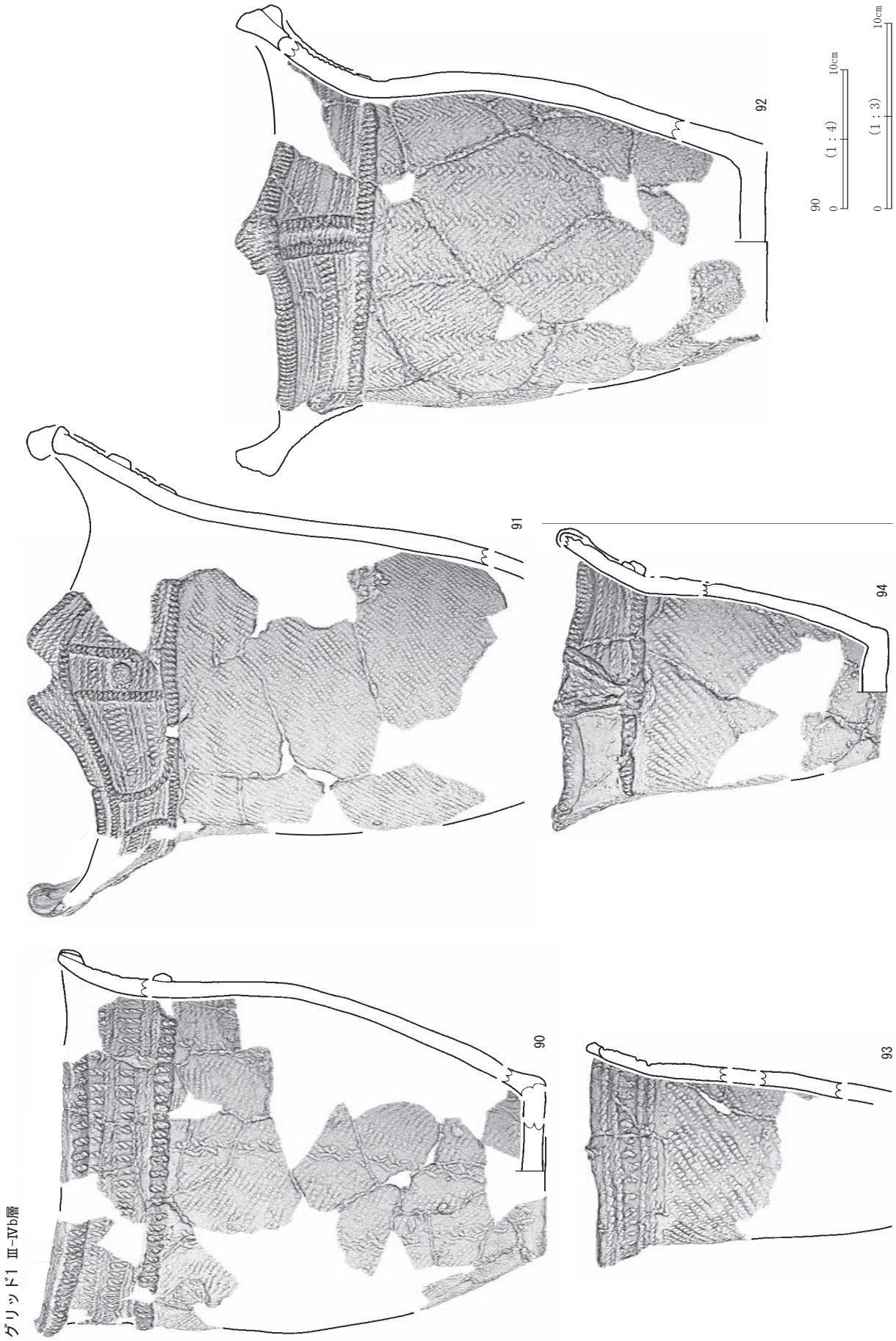
第39図　捨て場出土土器（11）



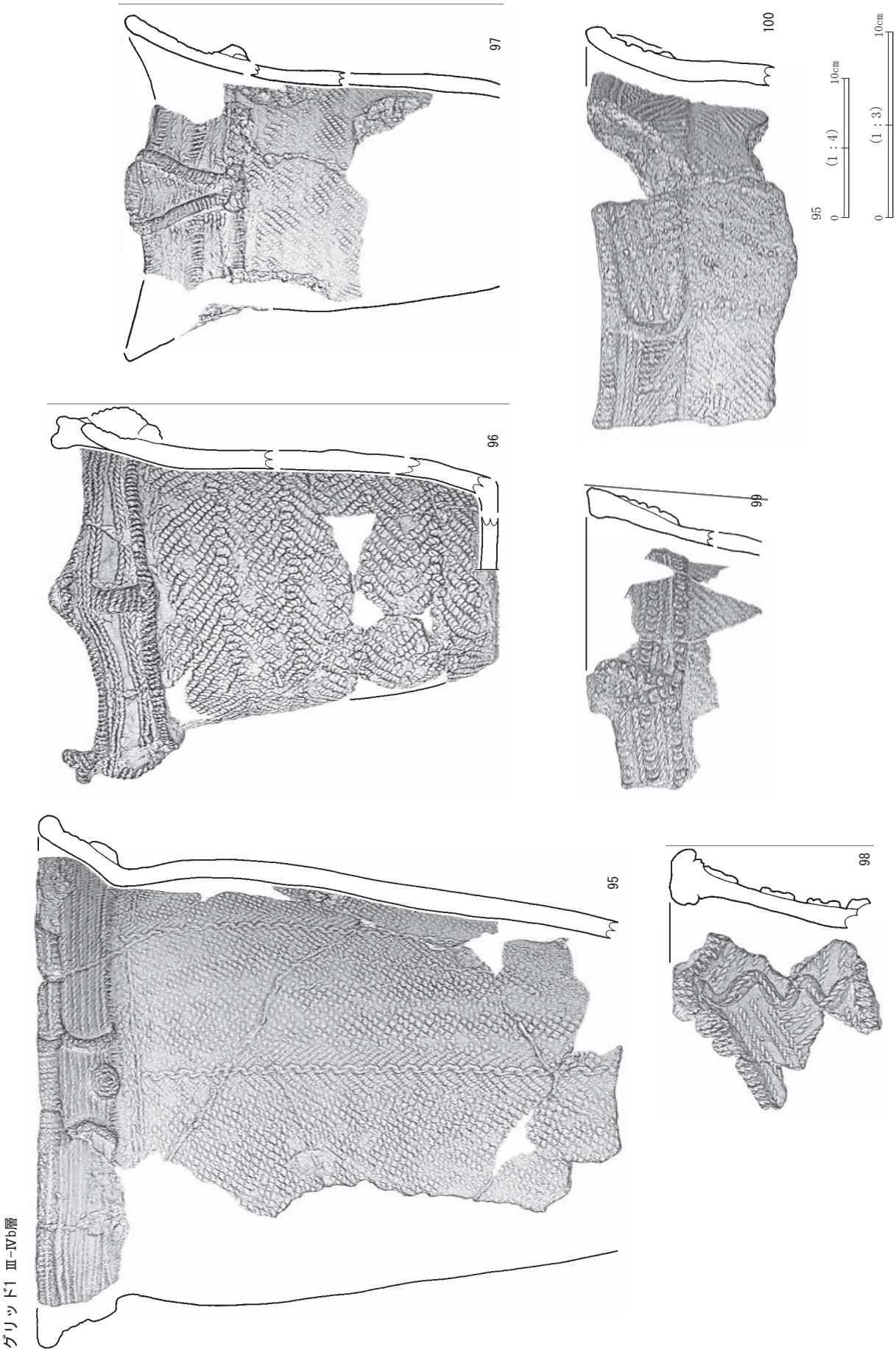
第40図　捨て場出土土器（12）



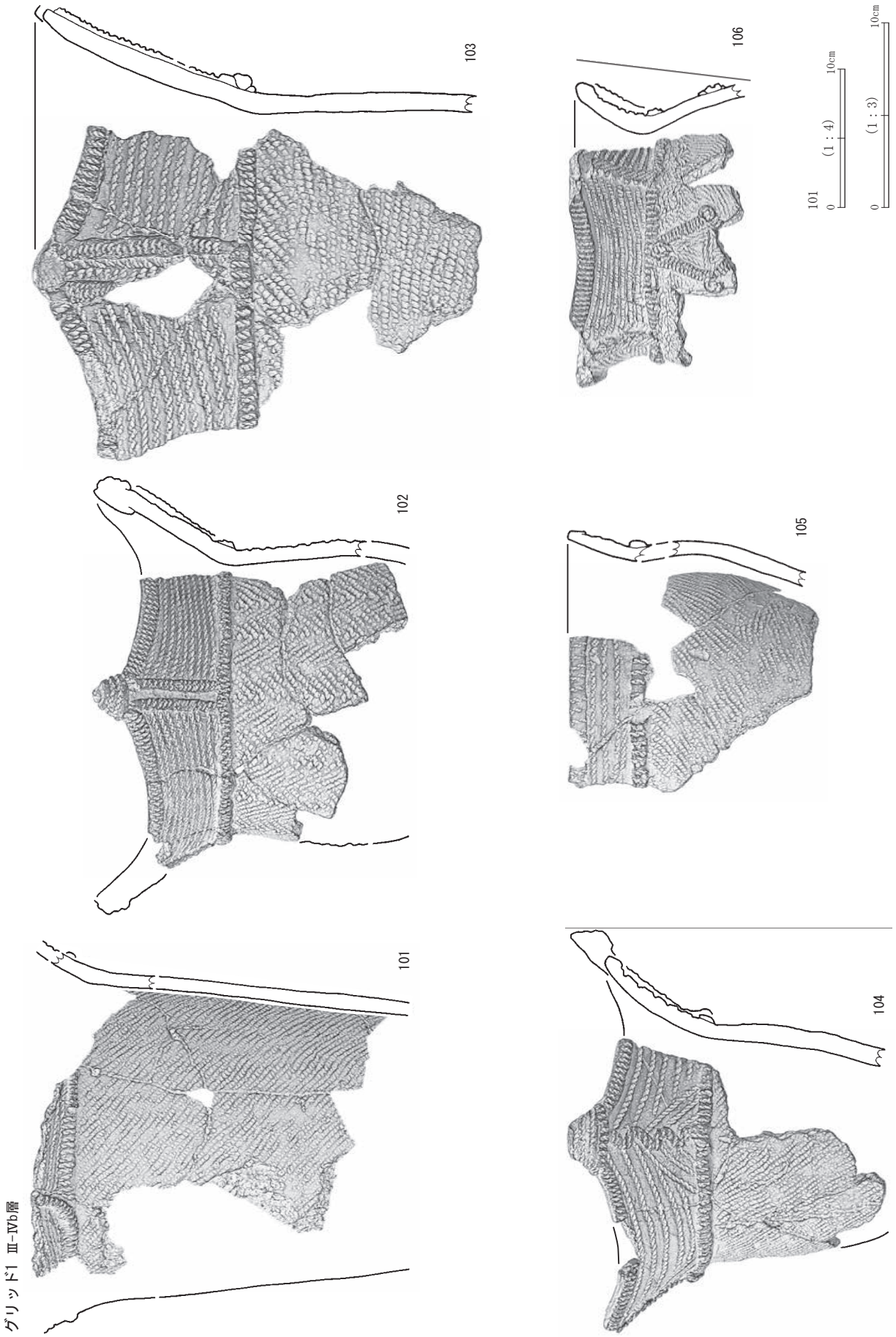
第41図　捨て場出土土器（13）



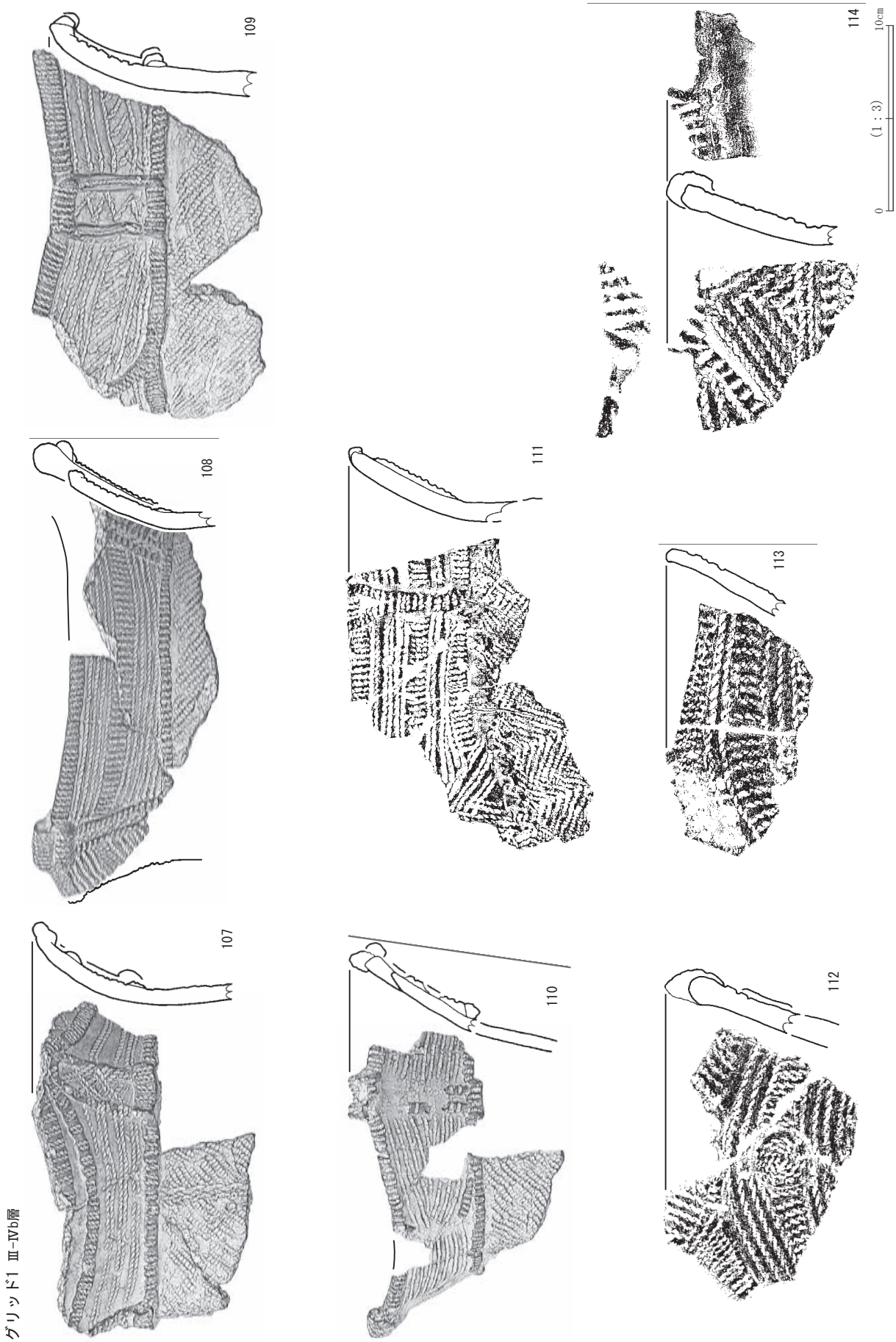
第42図　捨て場出土土器（14）



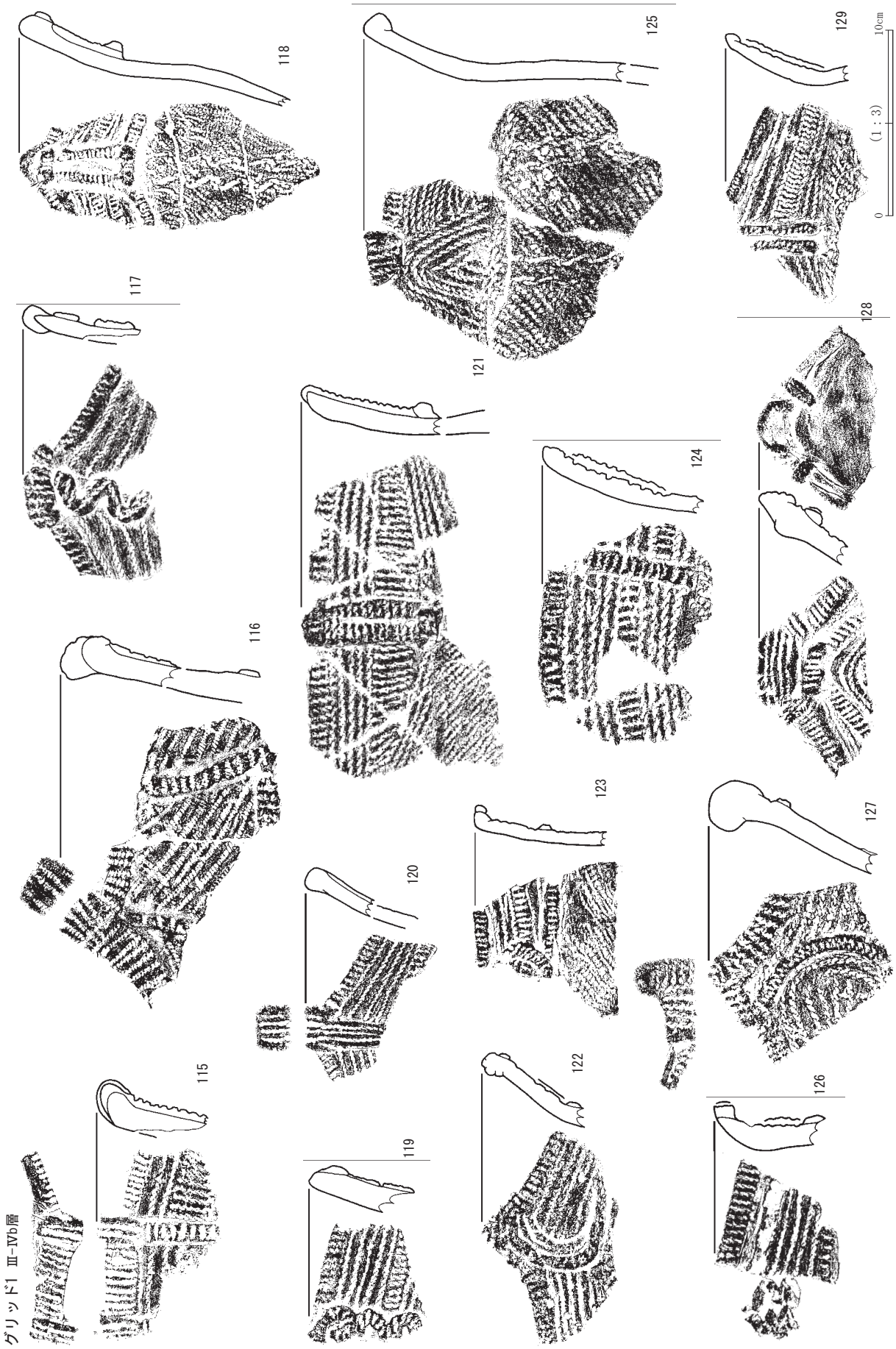
第43図　捨て場出土土器（15）



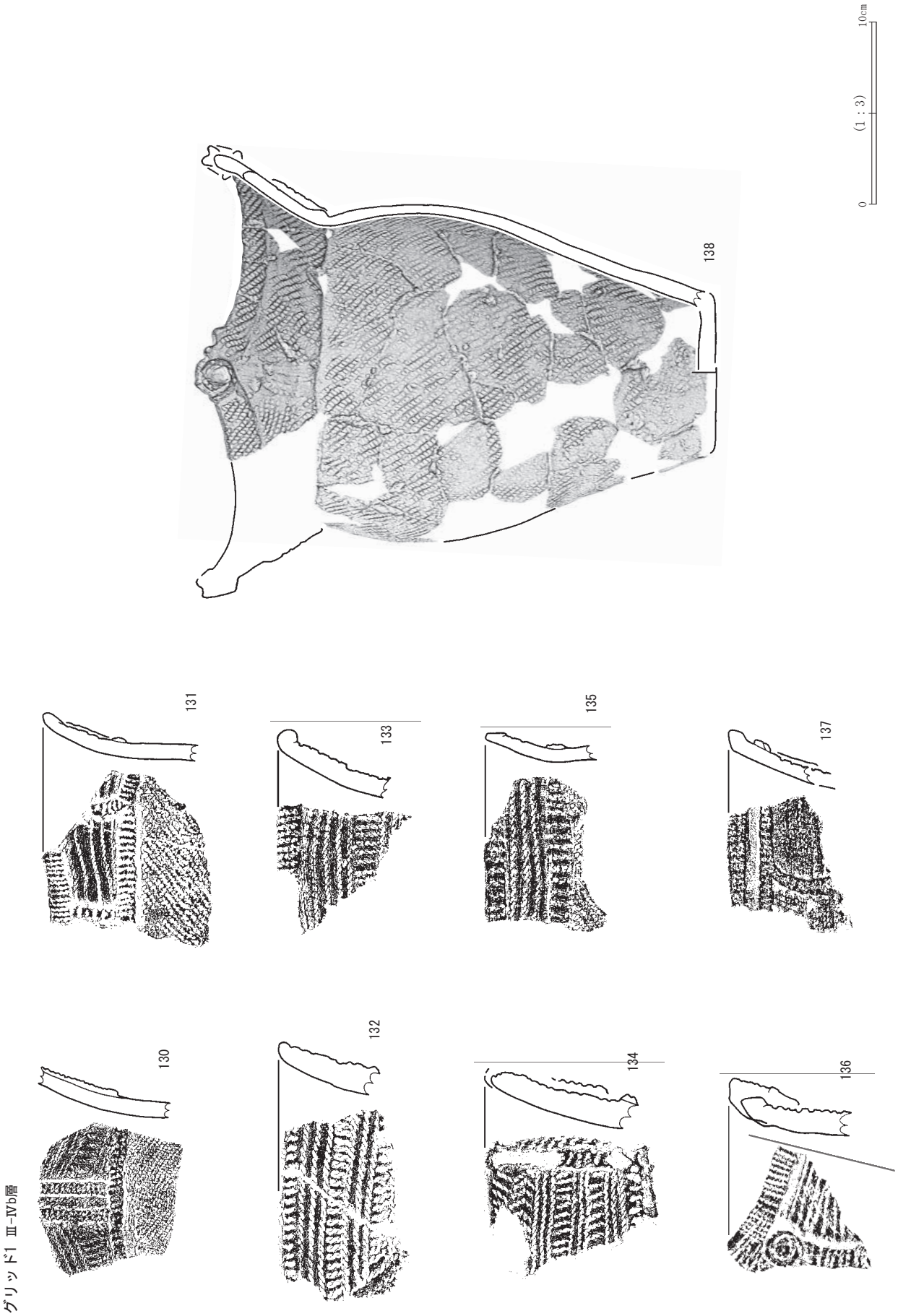
第44図　捨て場出土土器（16）



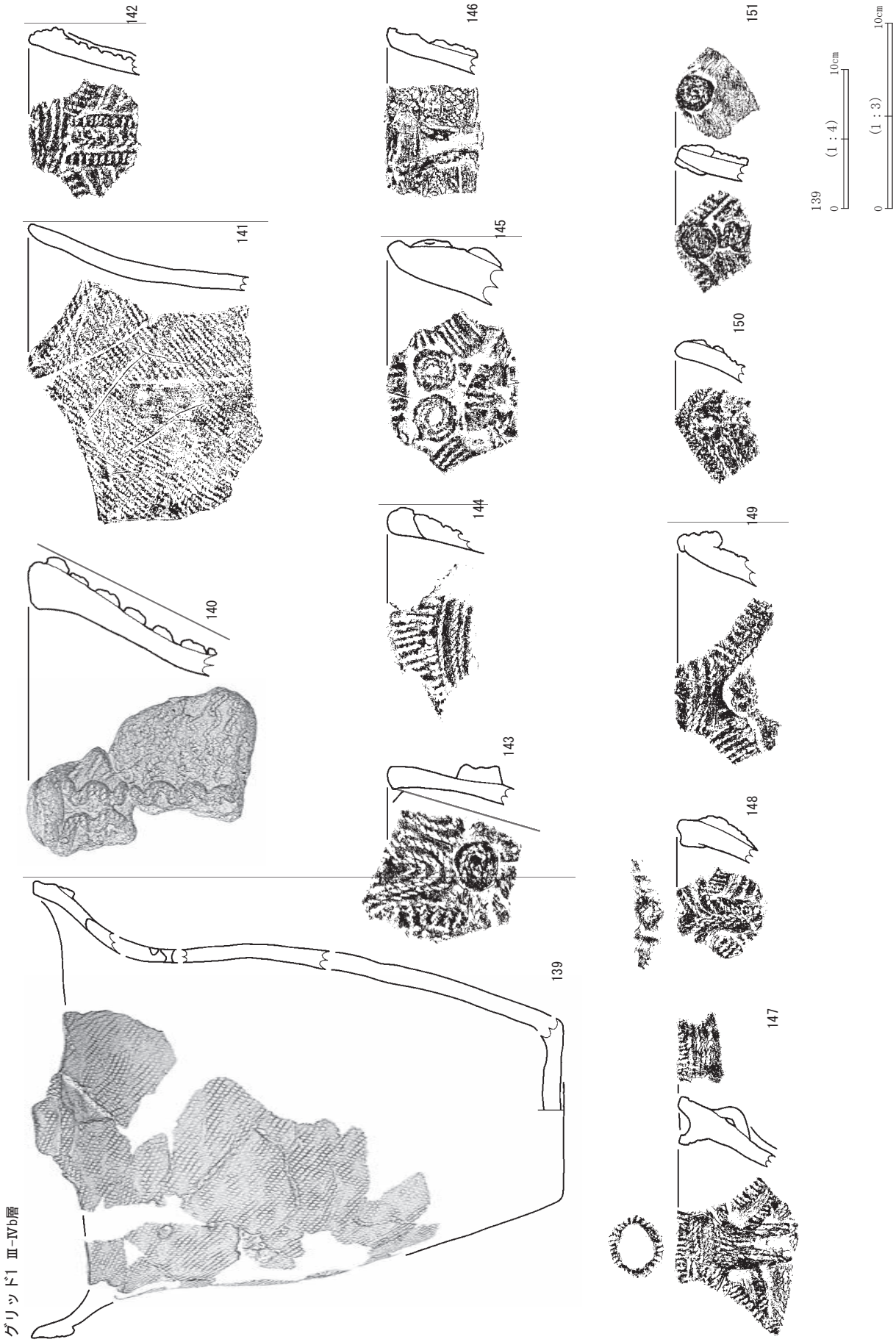
第45図　捨て場出土土器（17）



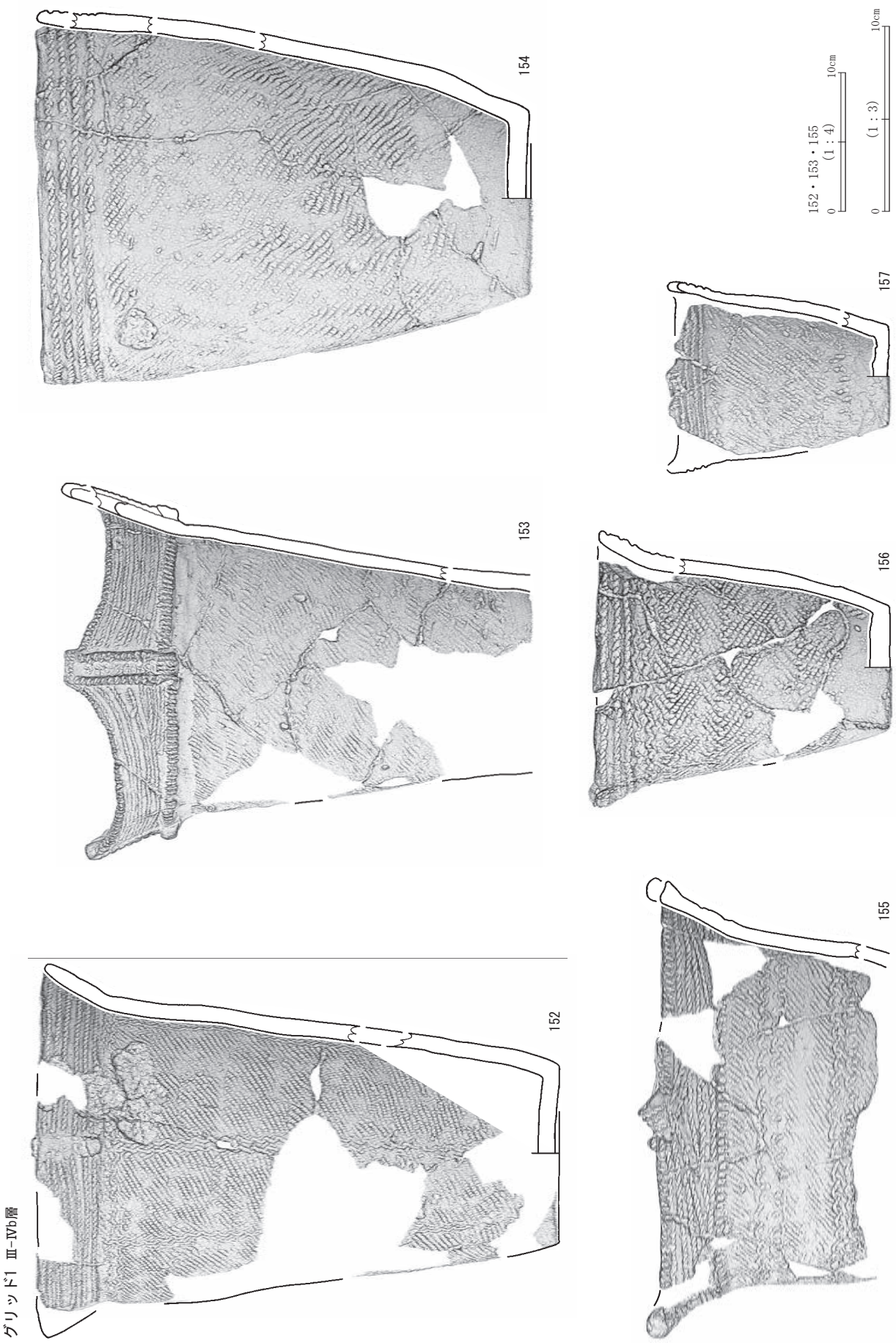
第46図　捨て場出土土器（18）



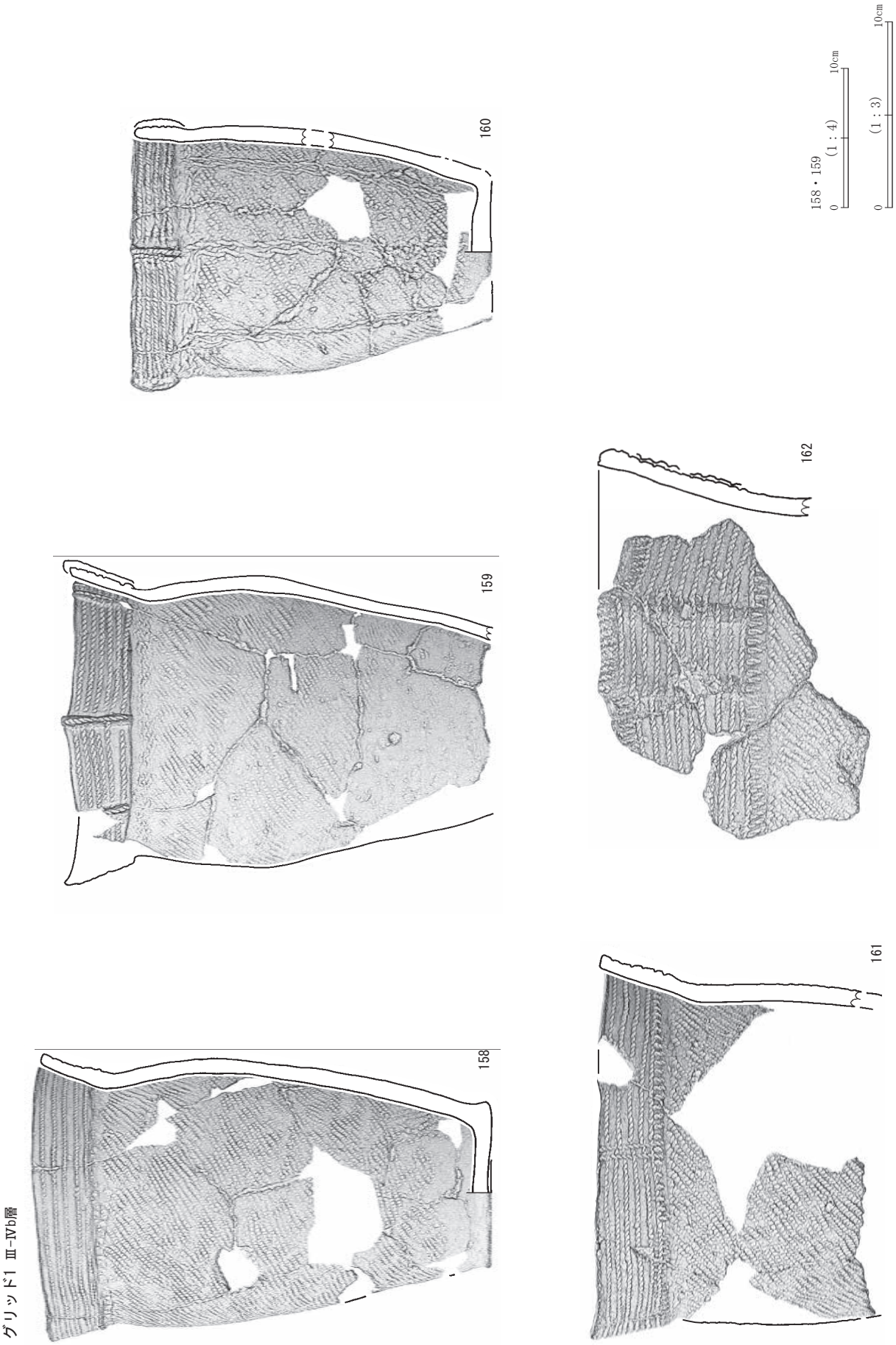
第47図　捨て場出土土器（19）



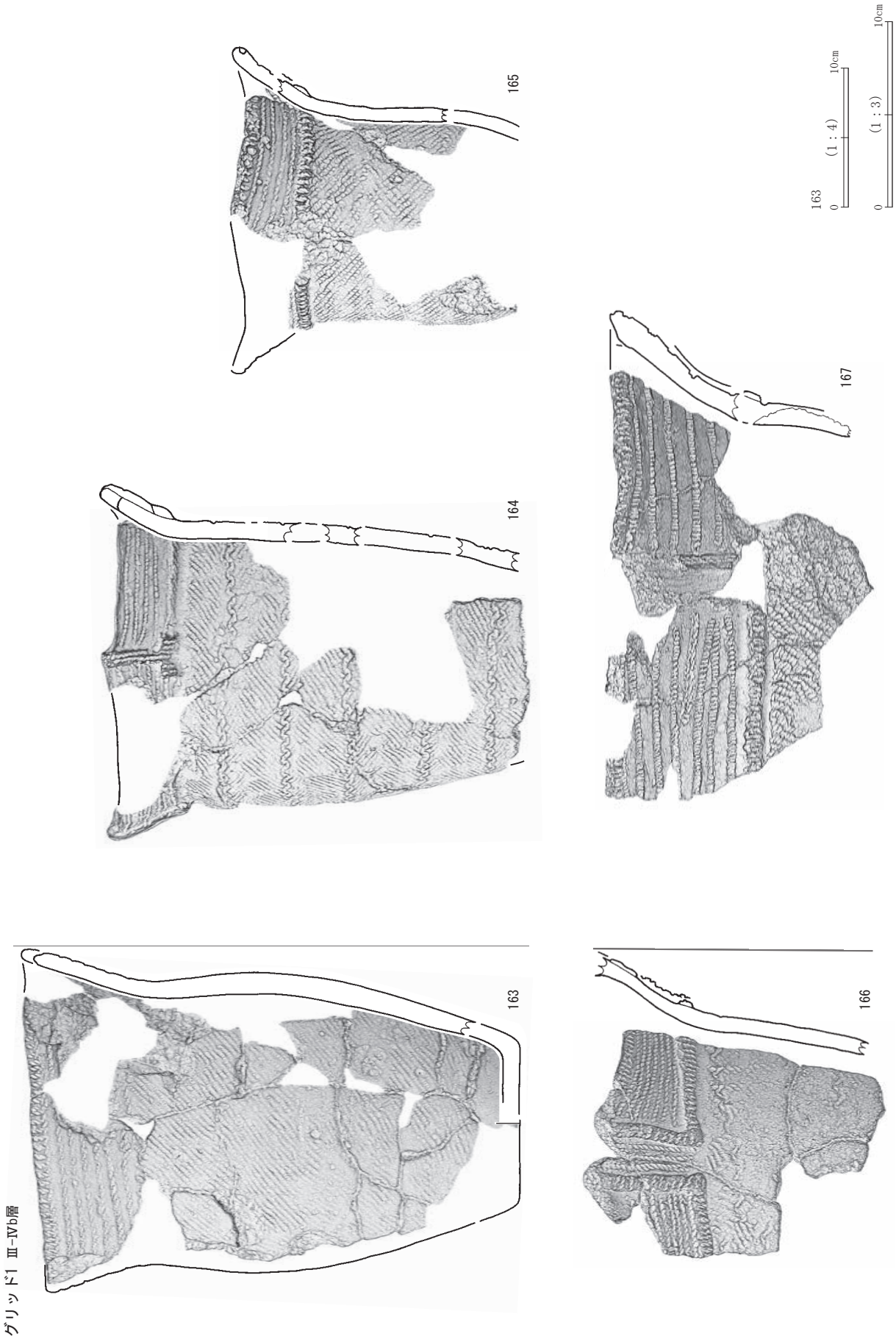
第48図　捨て場出土土器（20）



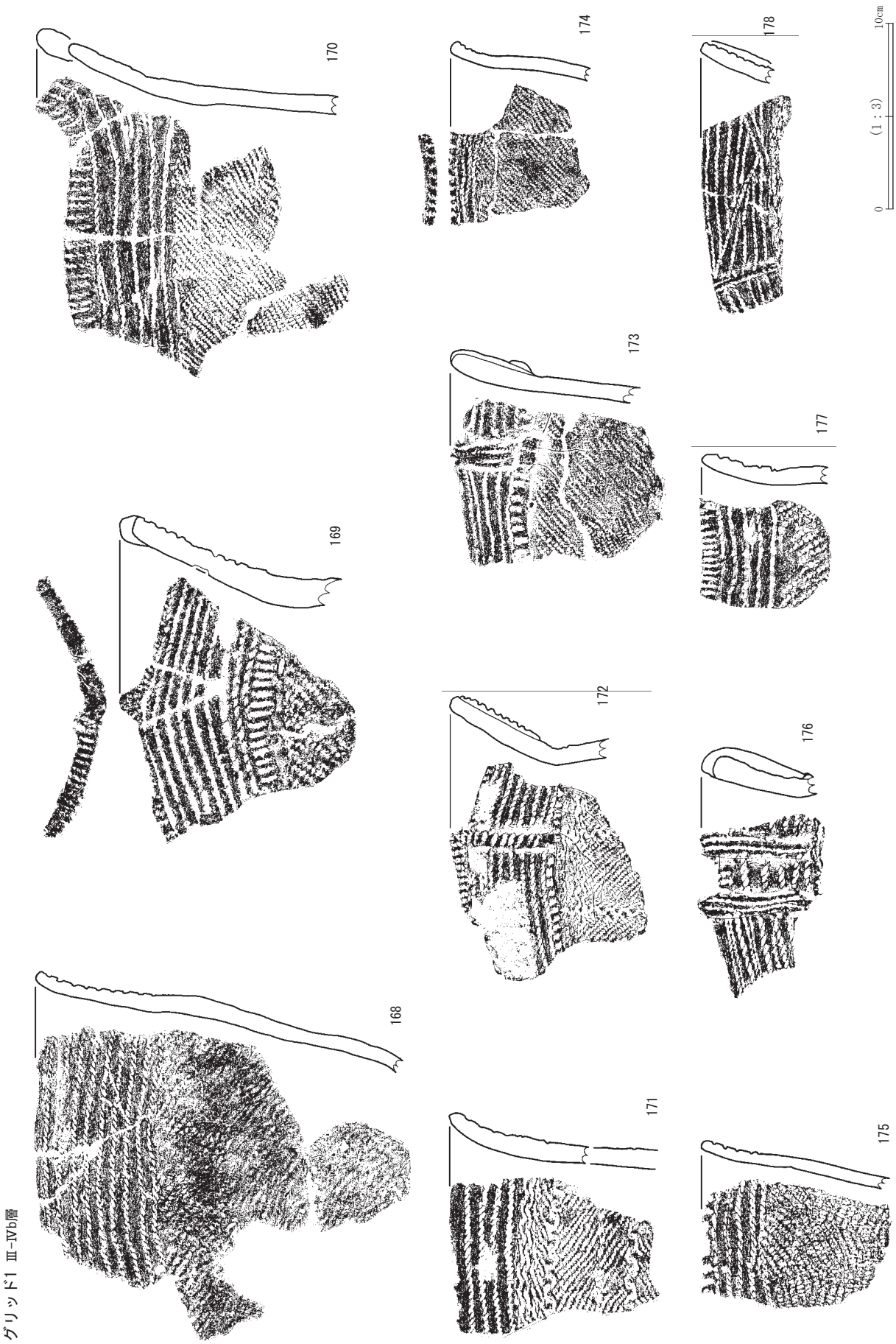
第49図　捨て場出土土器（21）



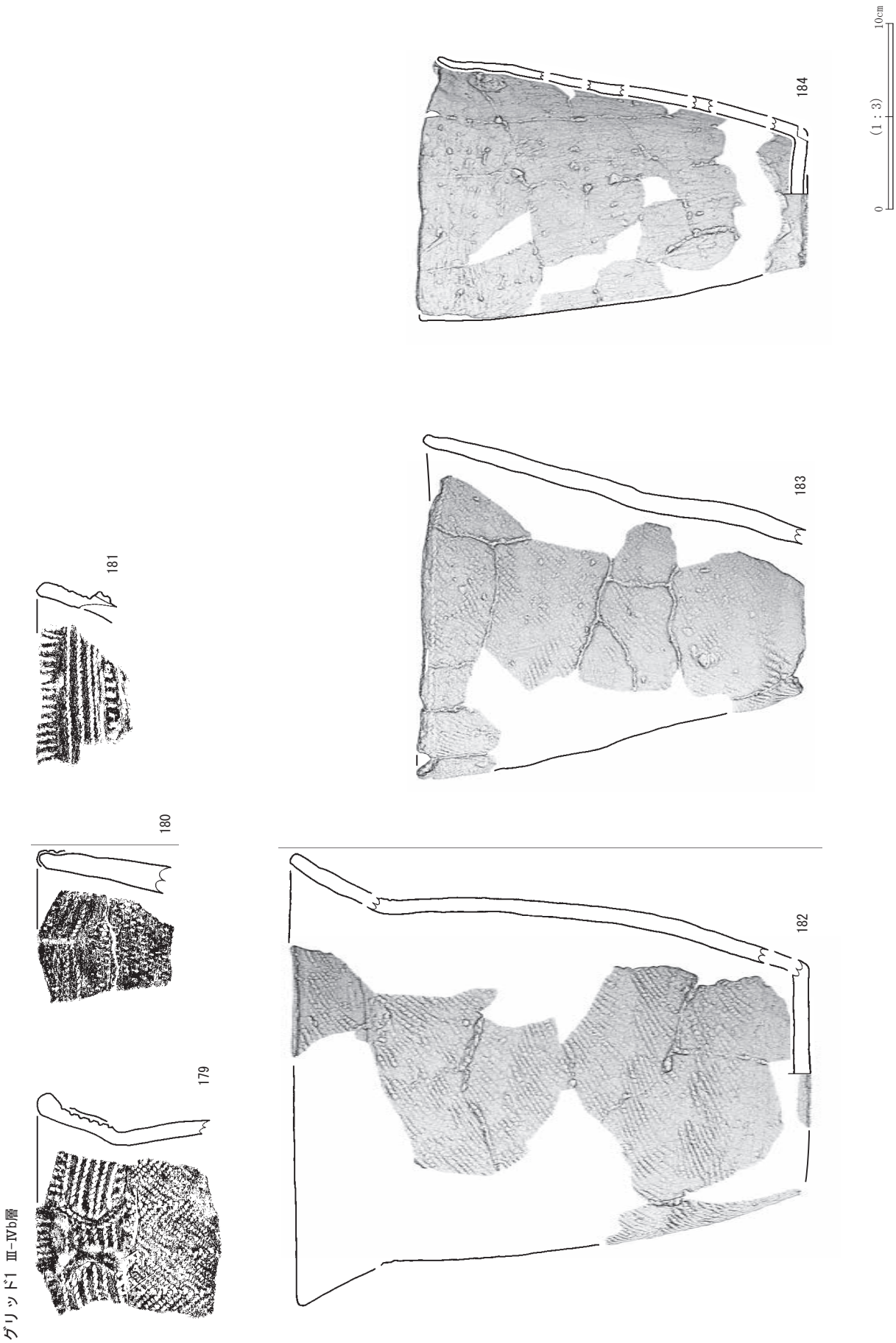
第50図　捨て場出土土器（22）



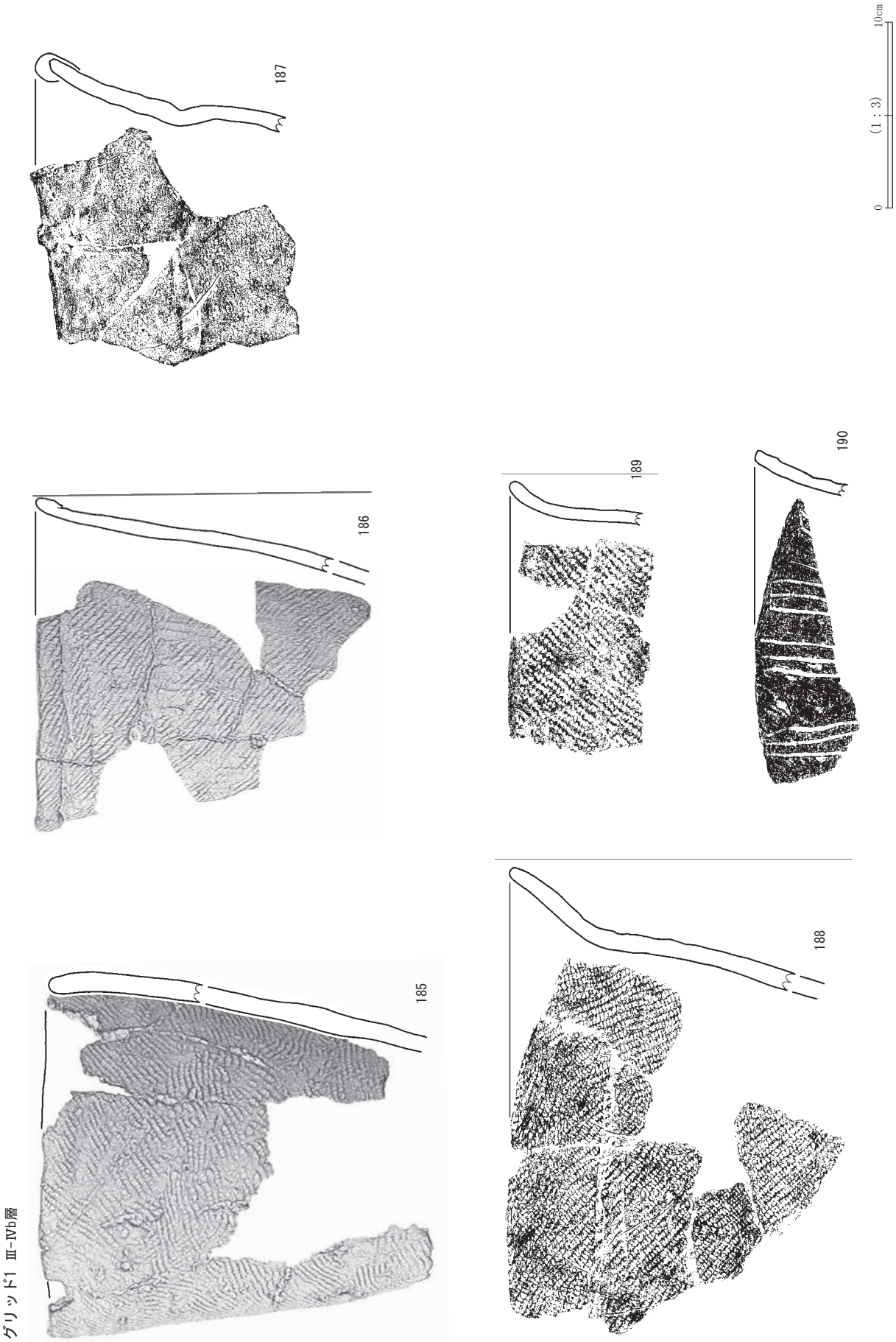
第51図　捨て場出土土器（23）



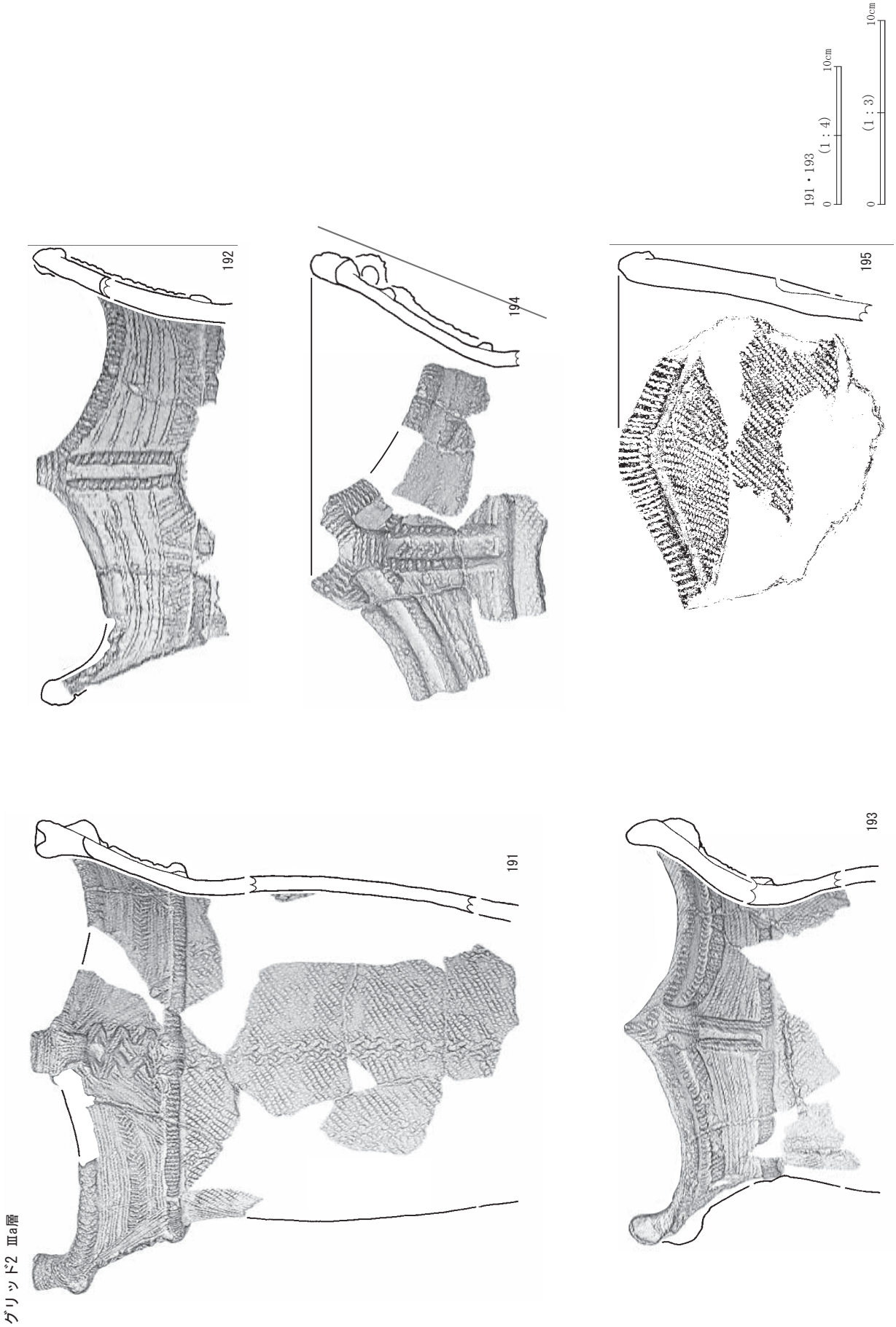
第52図　捨て場出土土器（24）



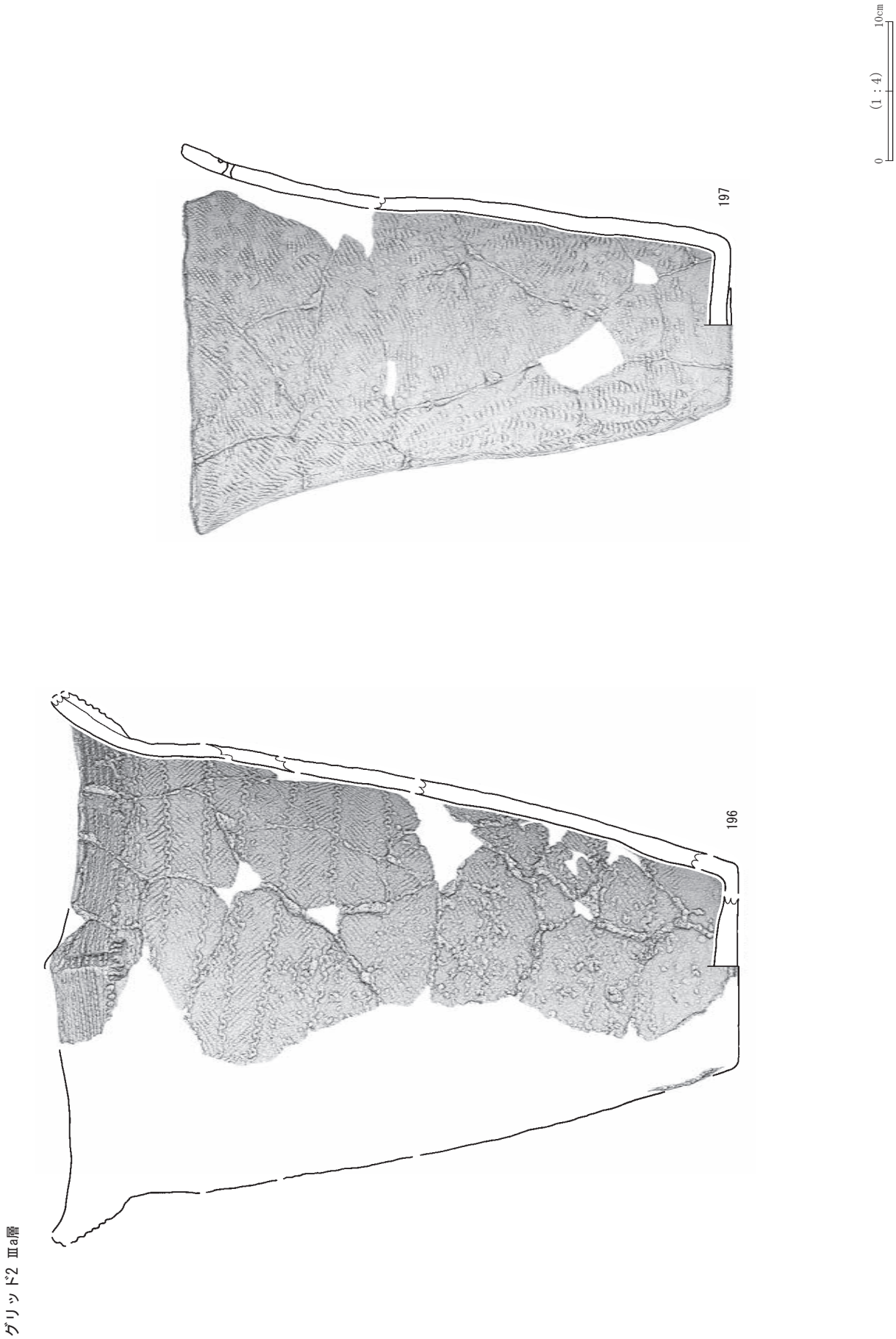
第53図　捨て場出土土器（25）



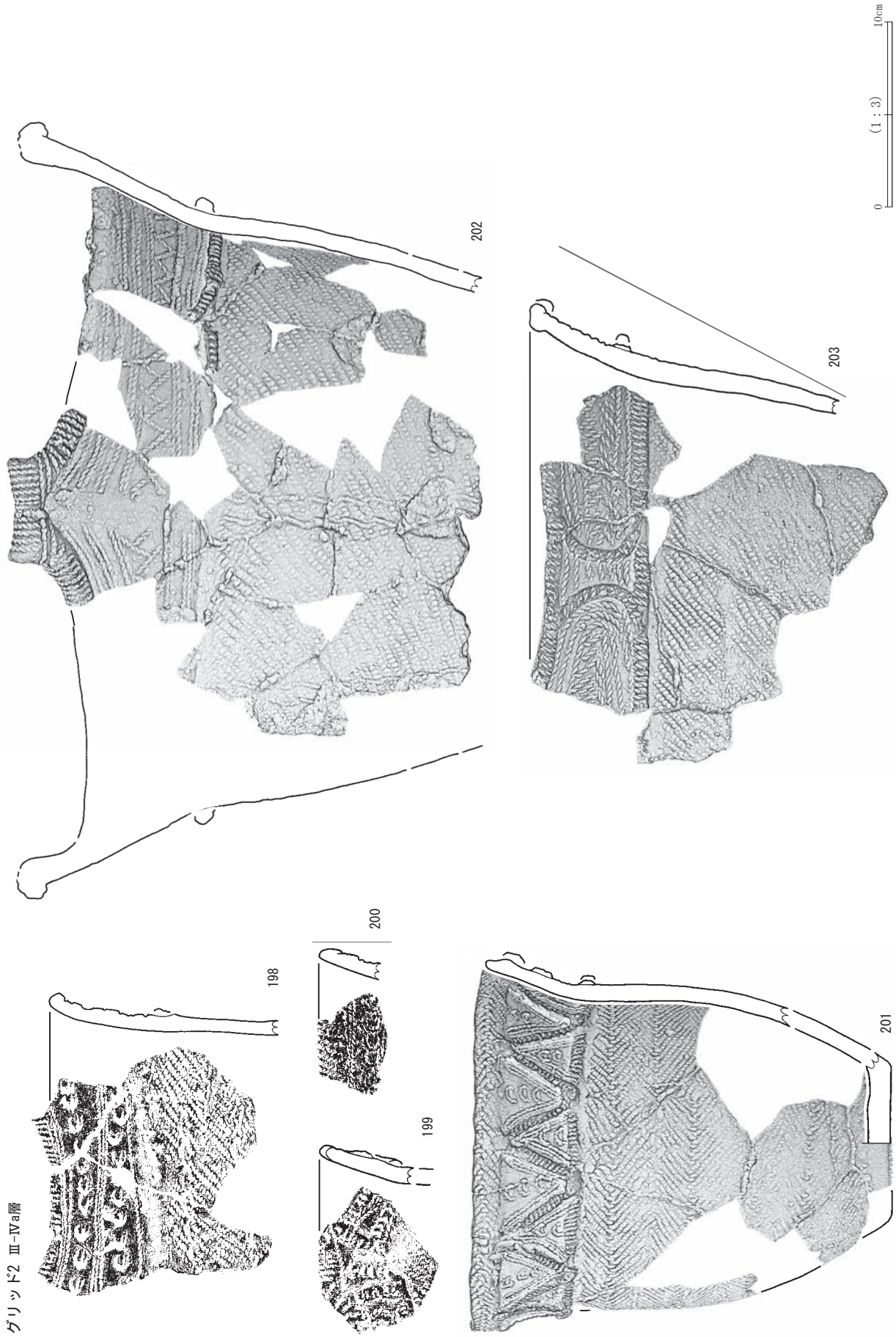
第54図　捨て場出土土器（26）



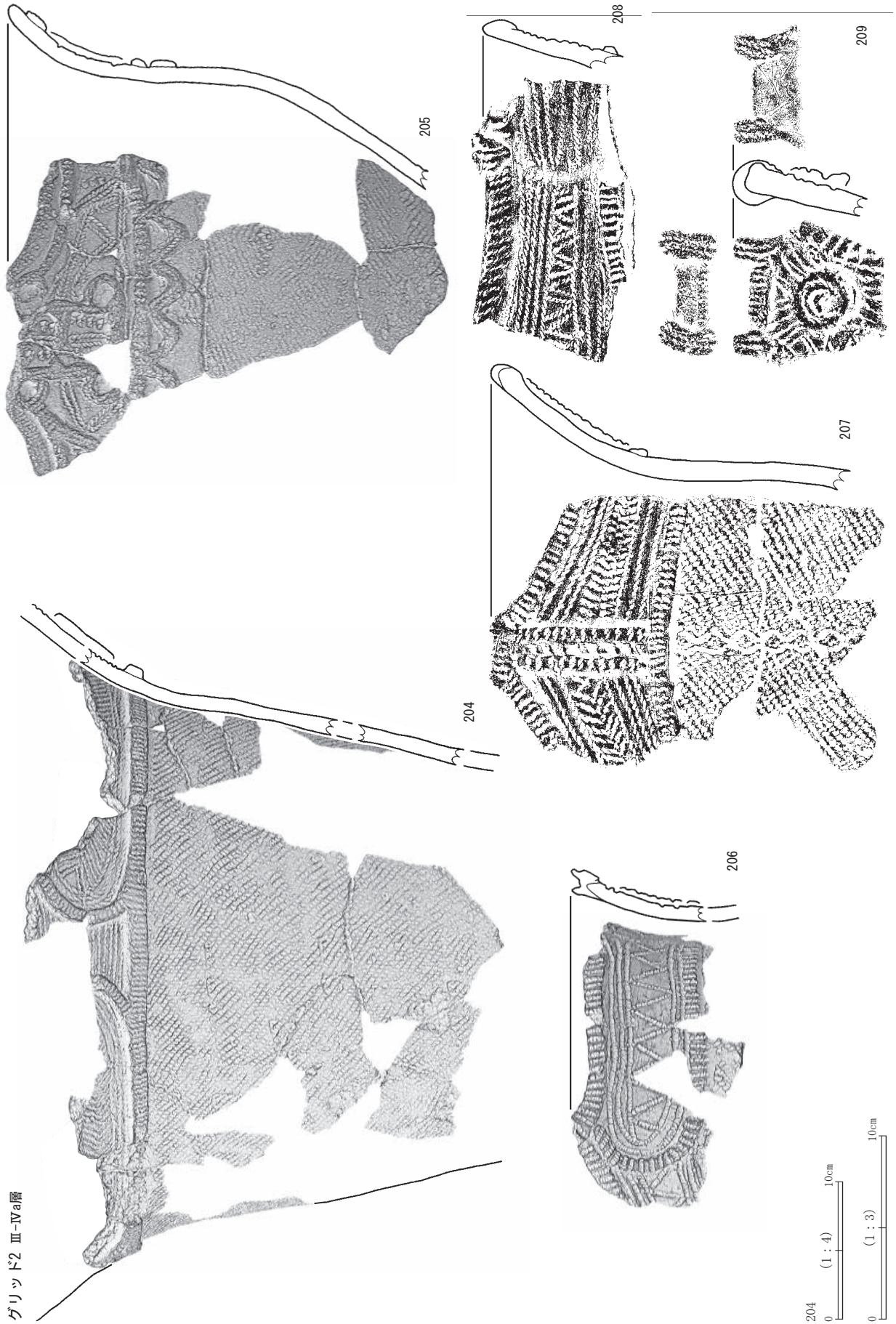
第55図　捨て場出土土器（27）



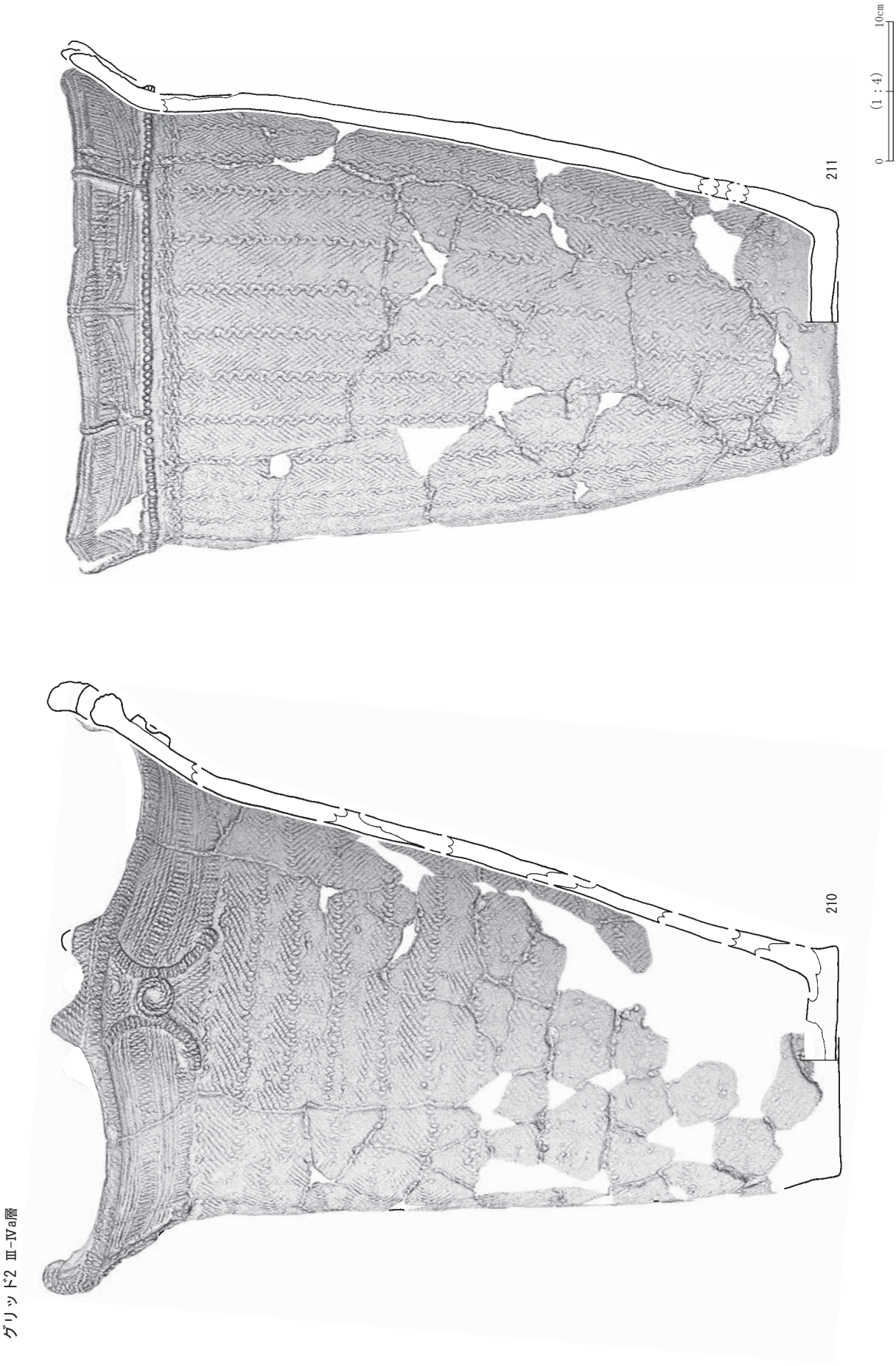
第56図　捨て場出土土器（28）



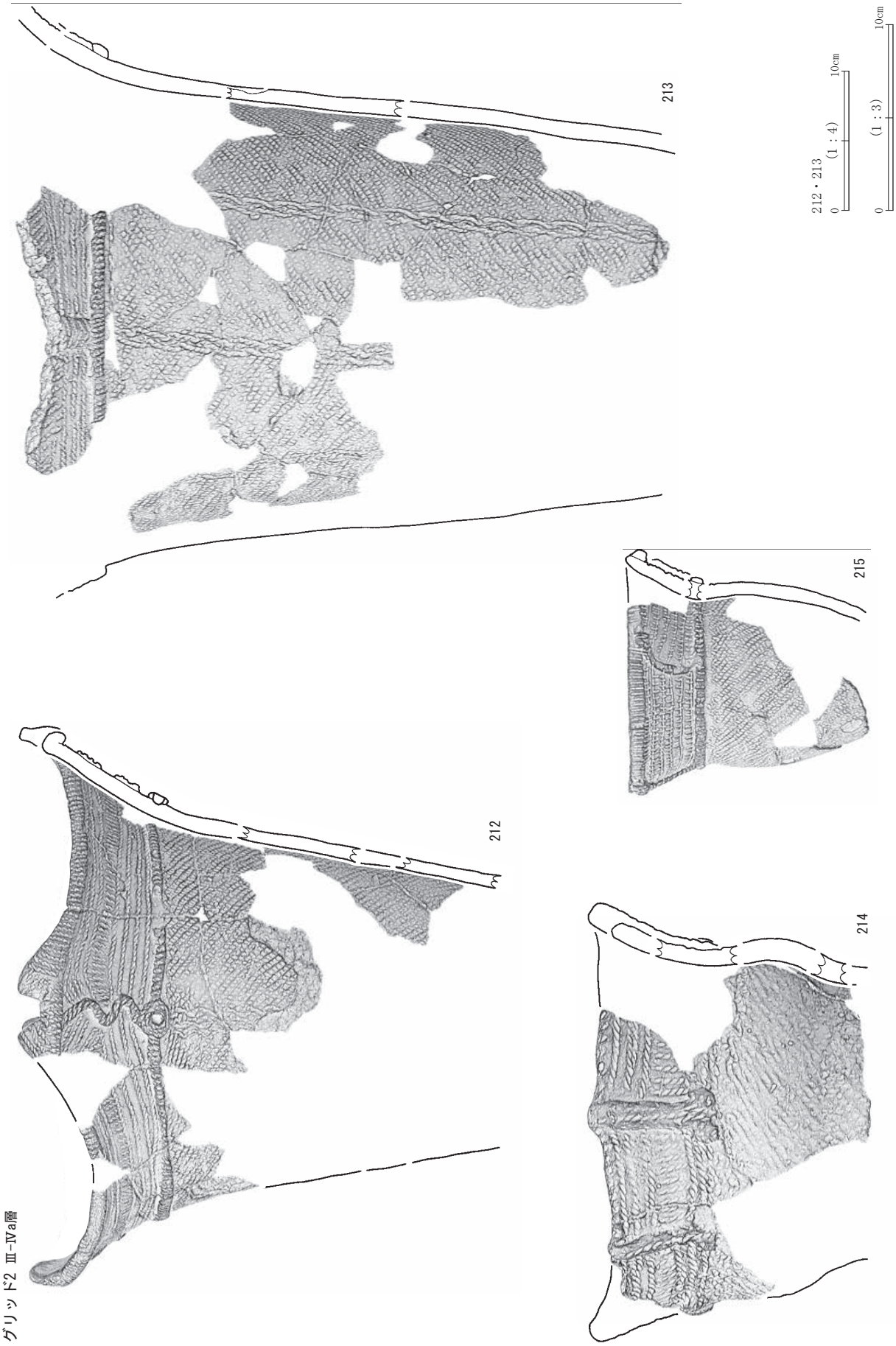
第57図　捨て場出土土器（29）



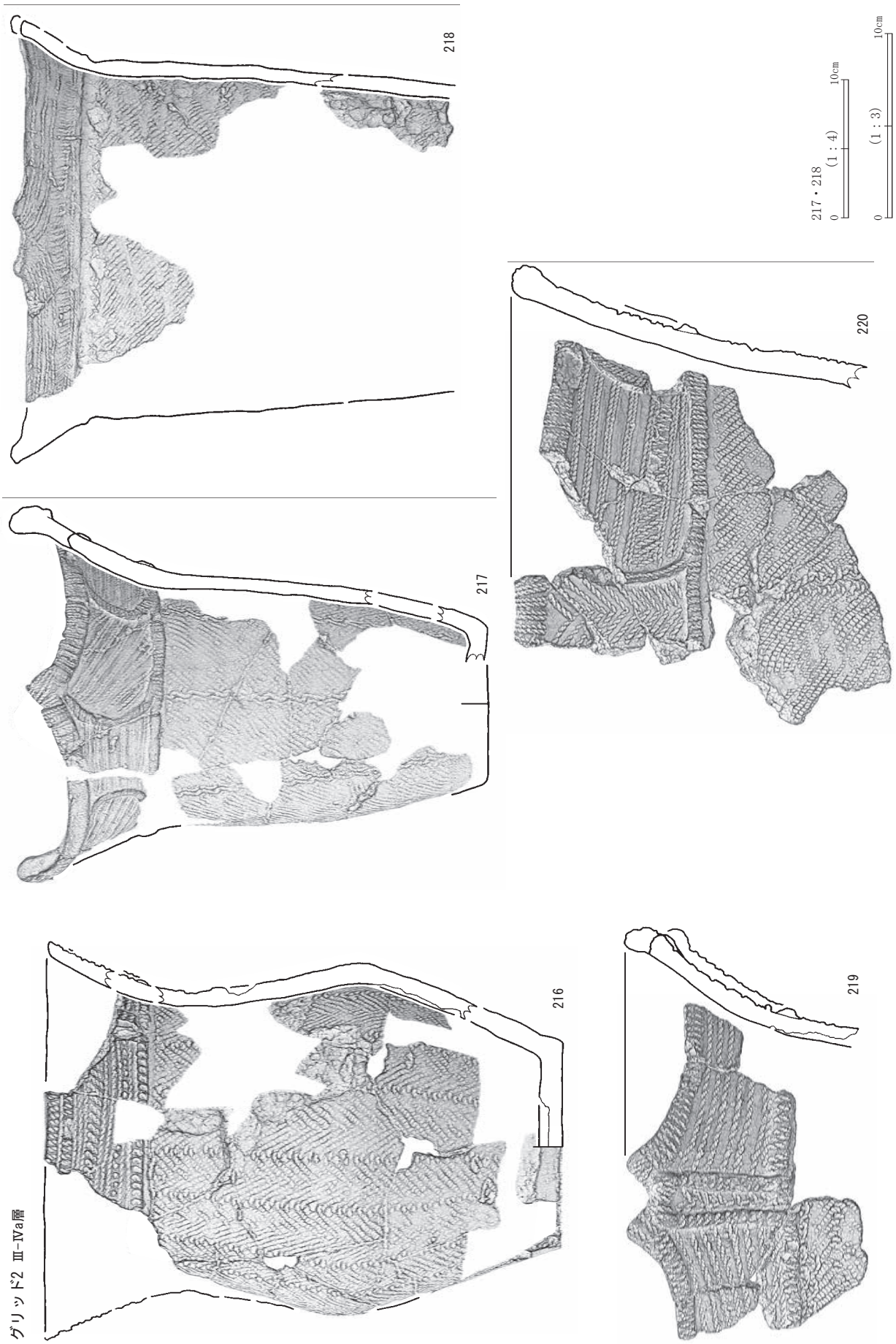
第58図　捨て場出土土器（30）



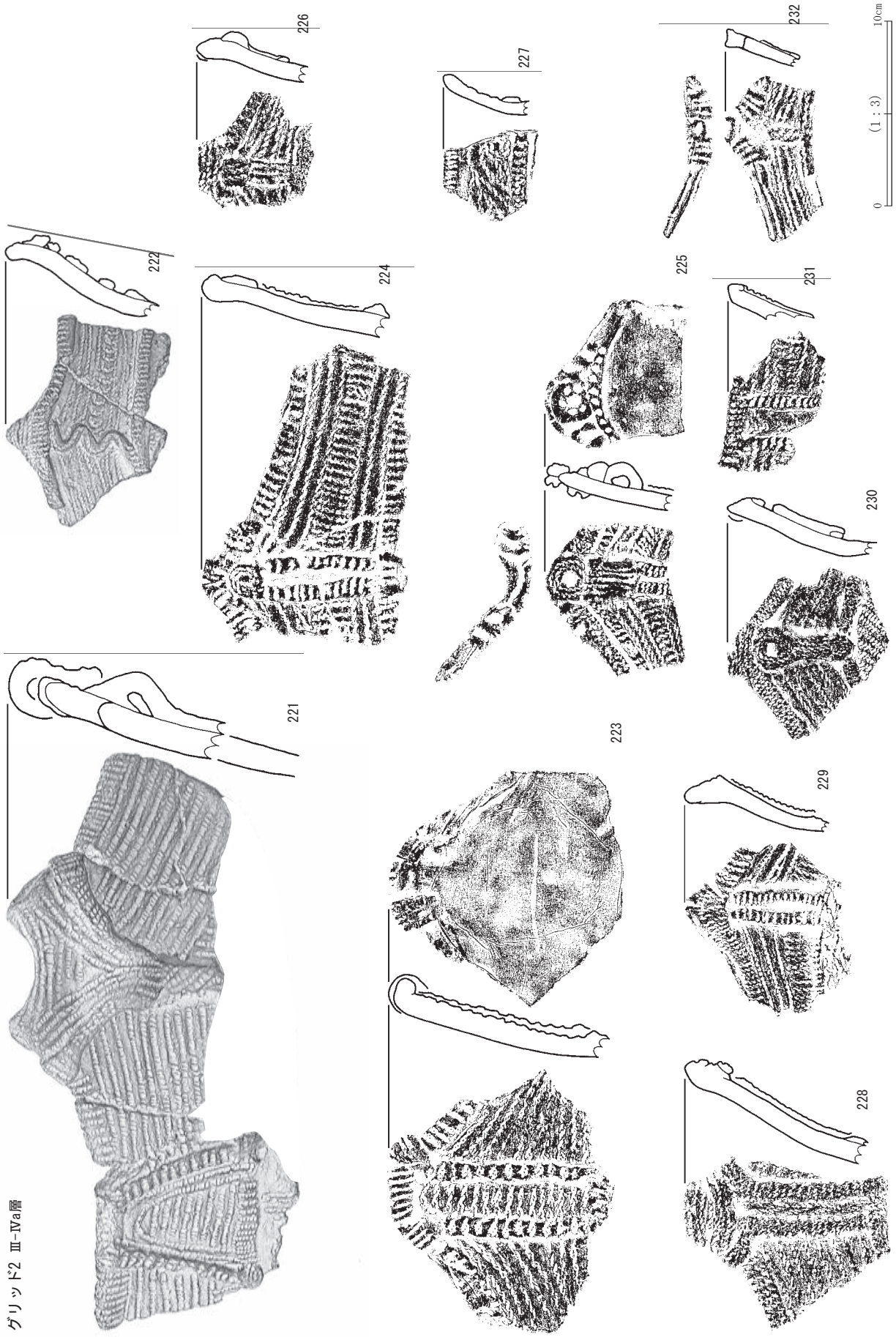
第59図　捨て場出土土器（31）



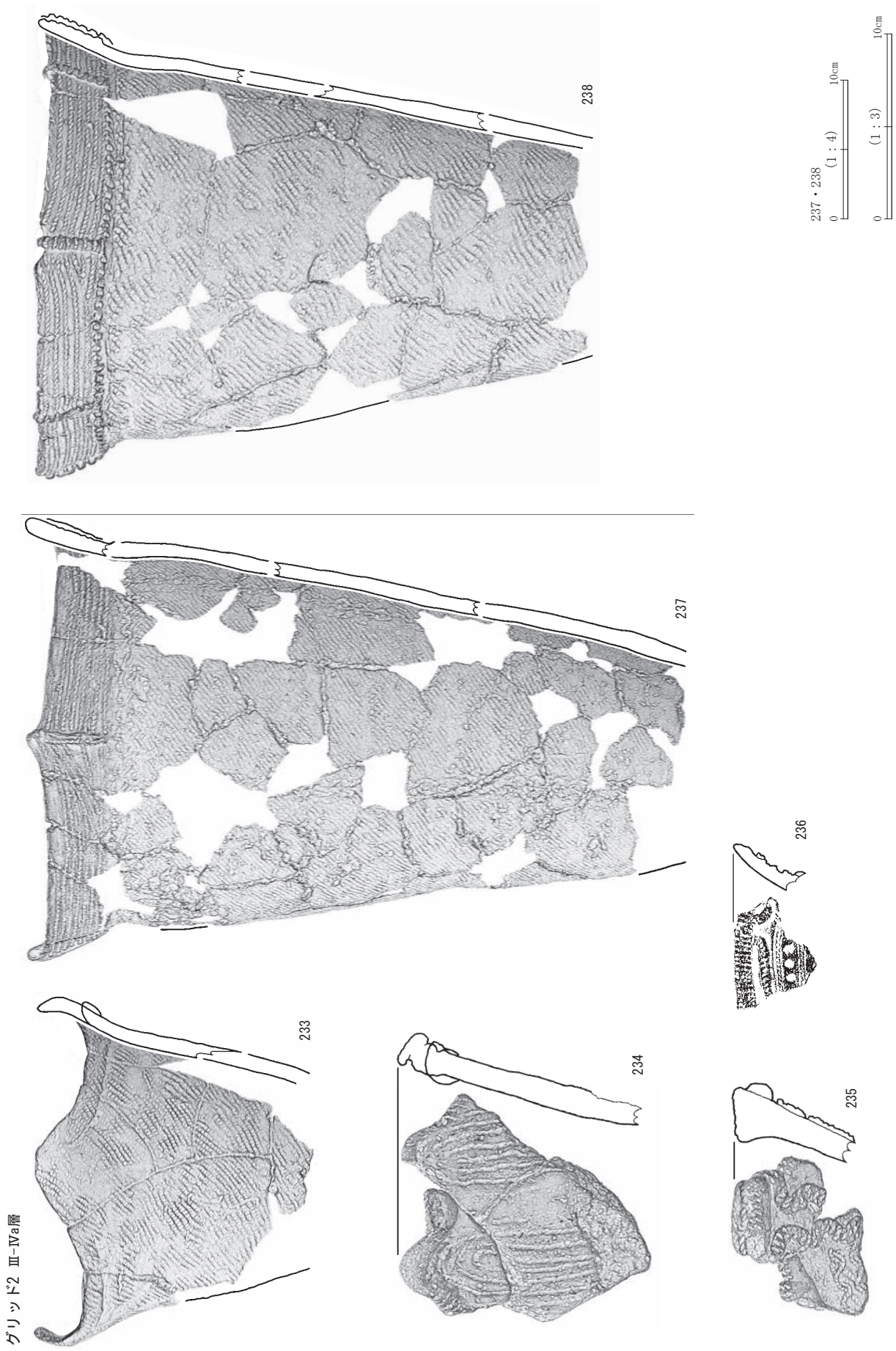
第60図　捨て場出土土器（32）



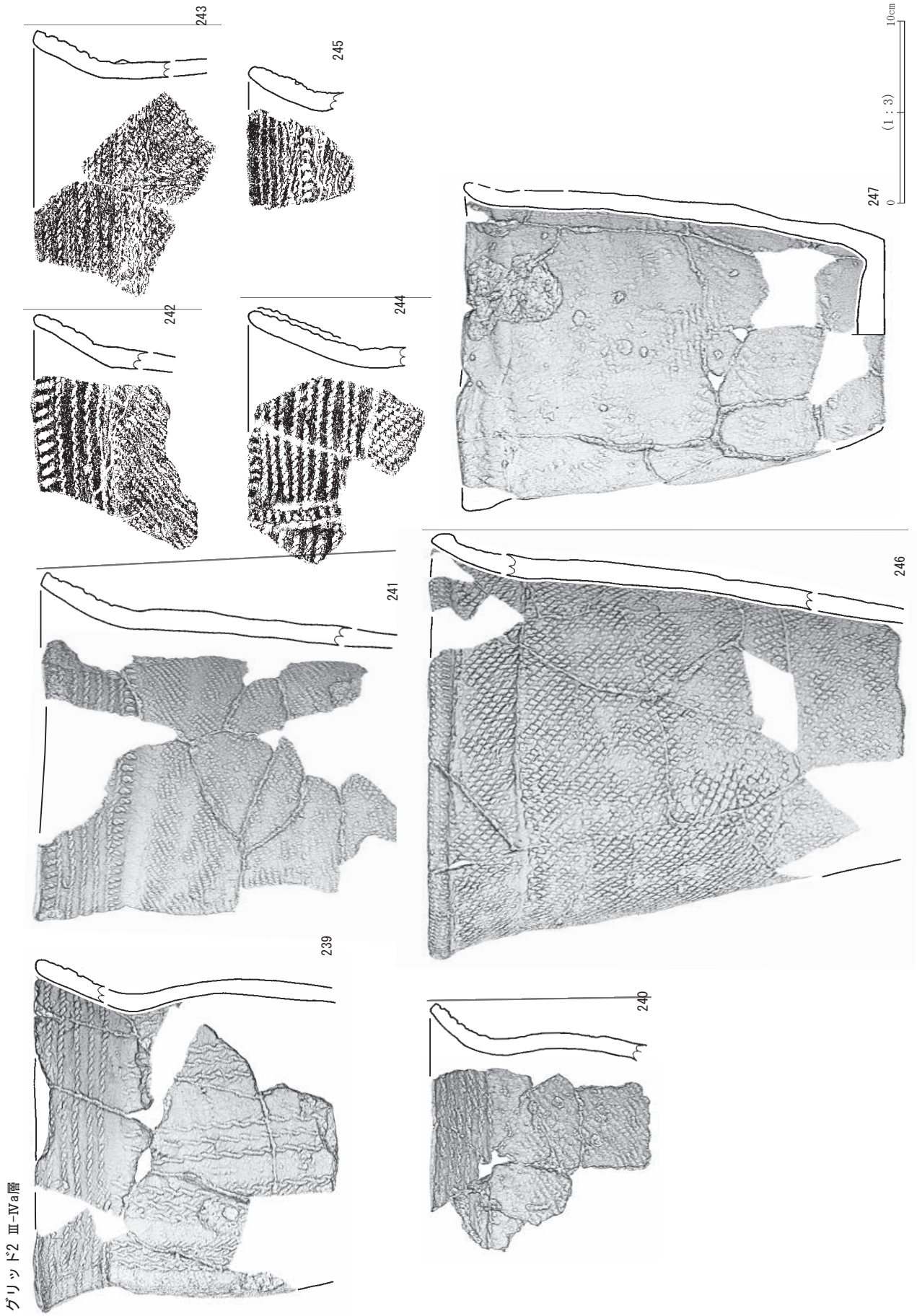
第61図　捨て場出土土器（33）



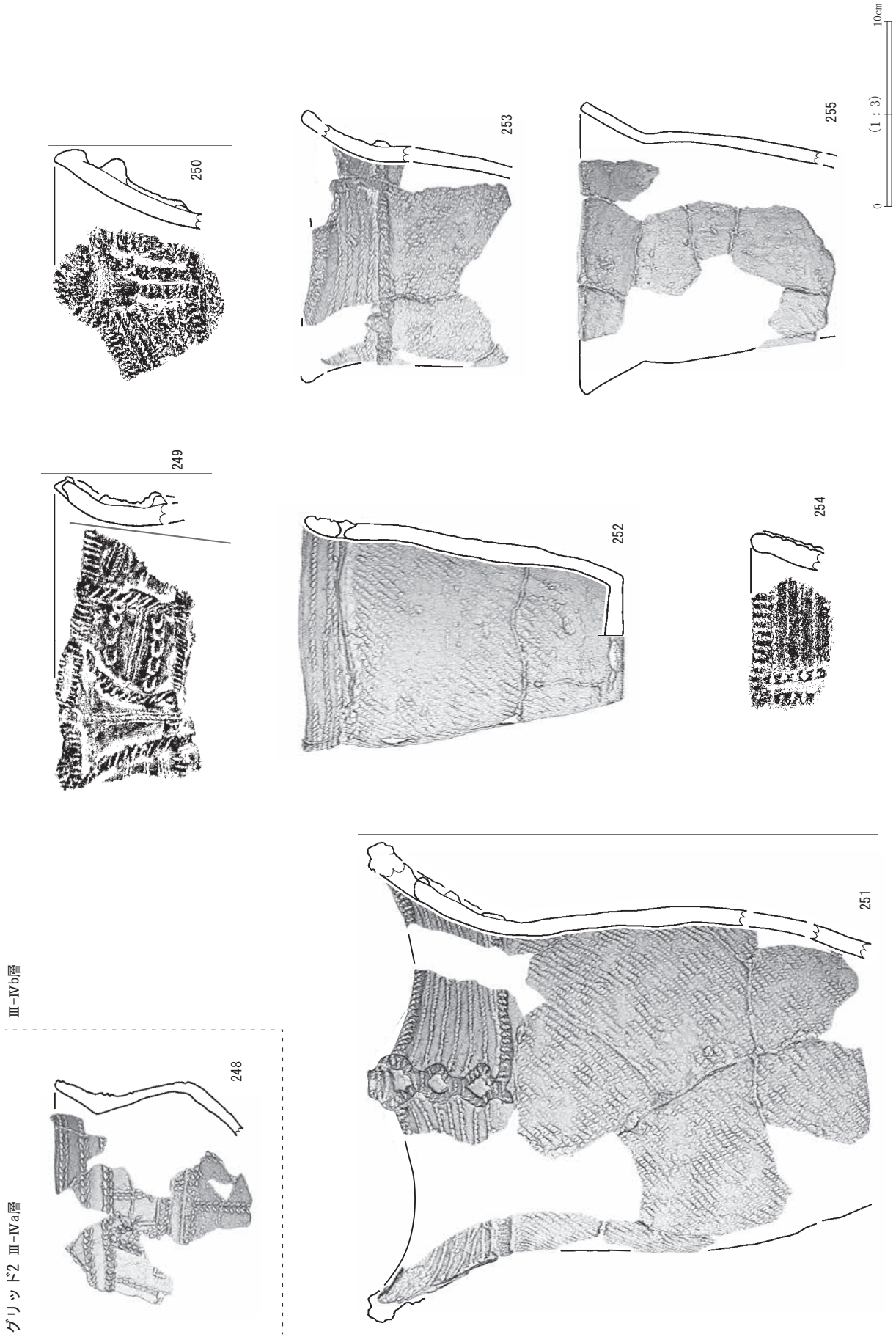
第62図　捨て場出土土器（34）



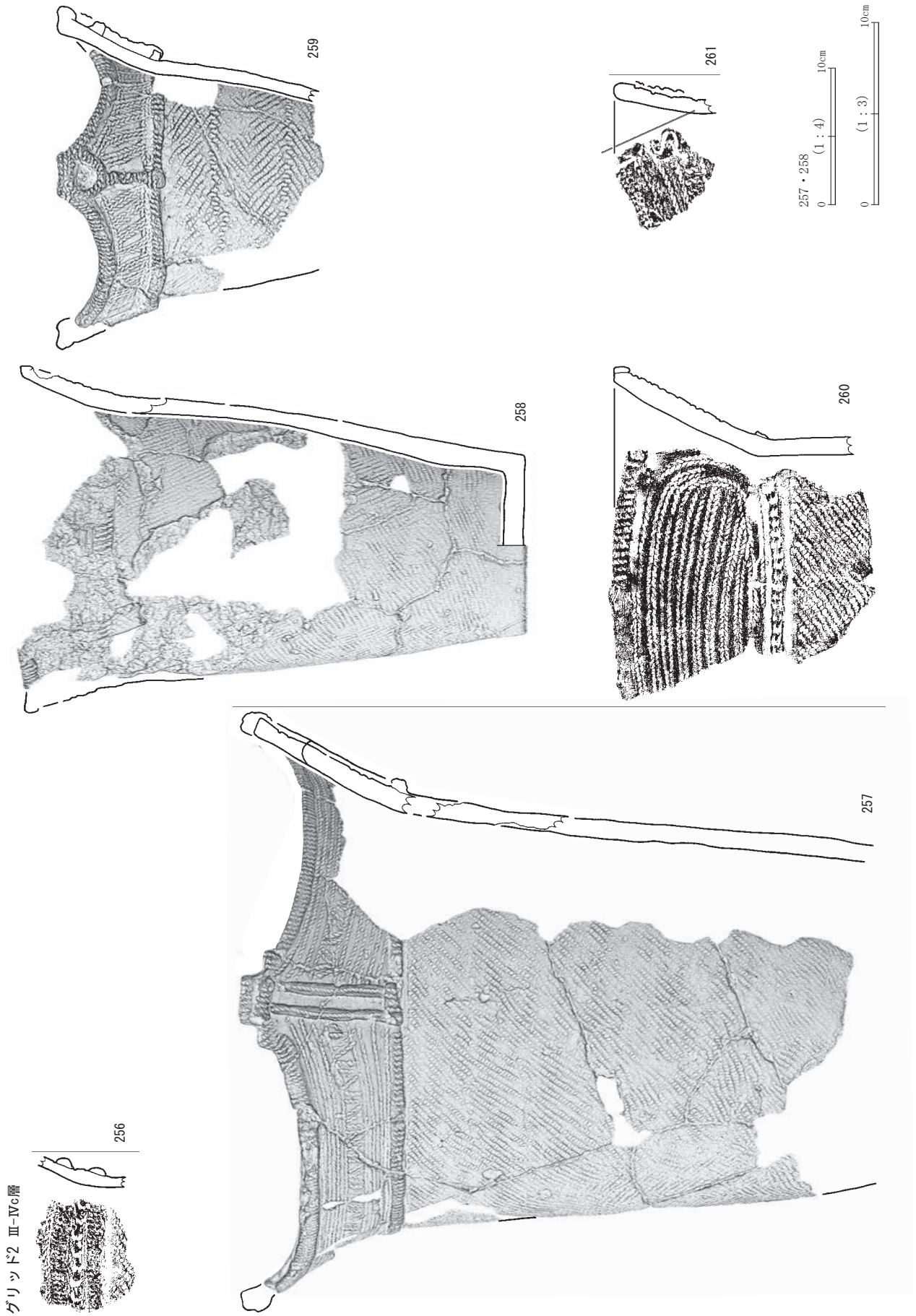
第63図　捨て場出土土器（35）



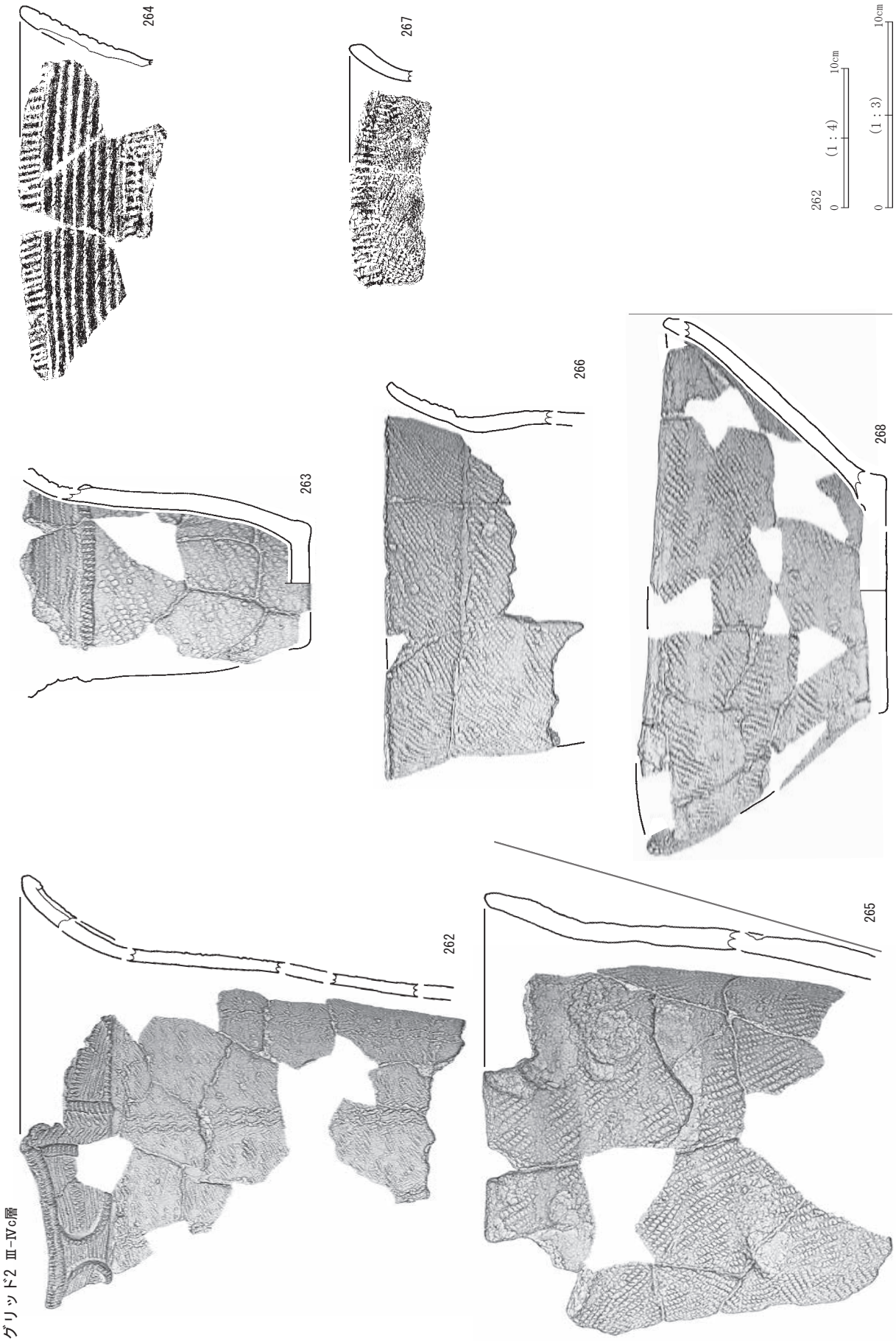
第64図　捨て場出土土器（36）



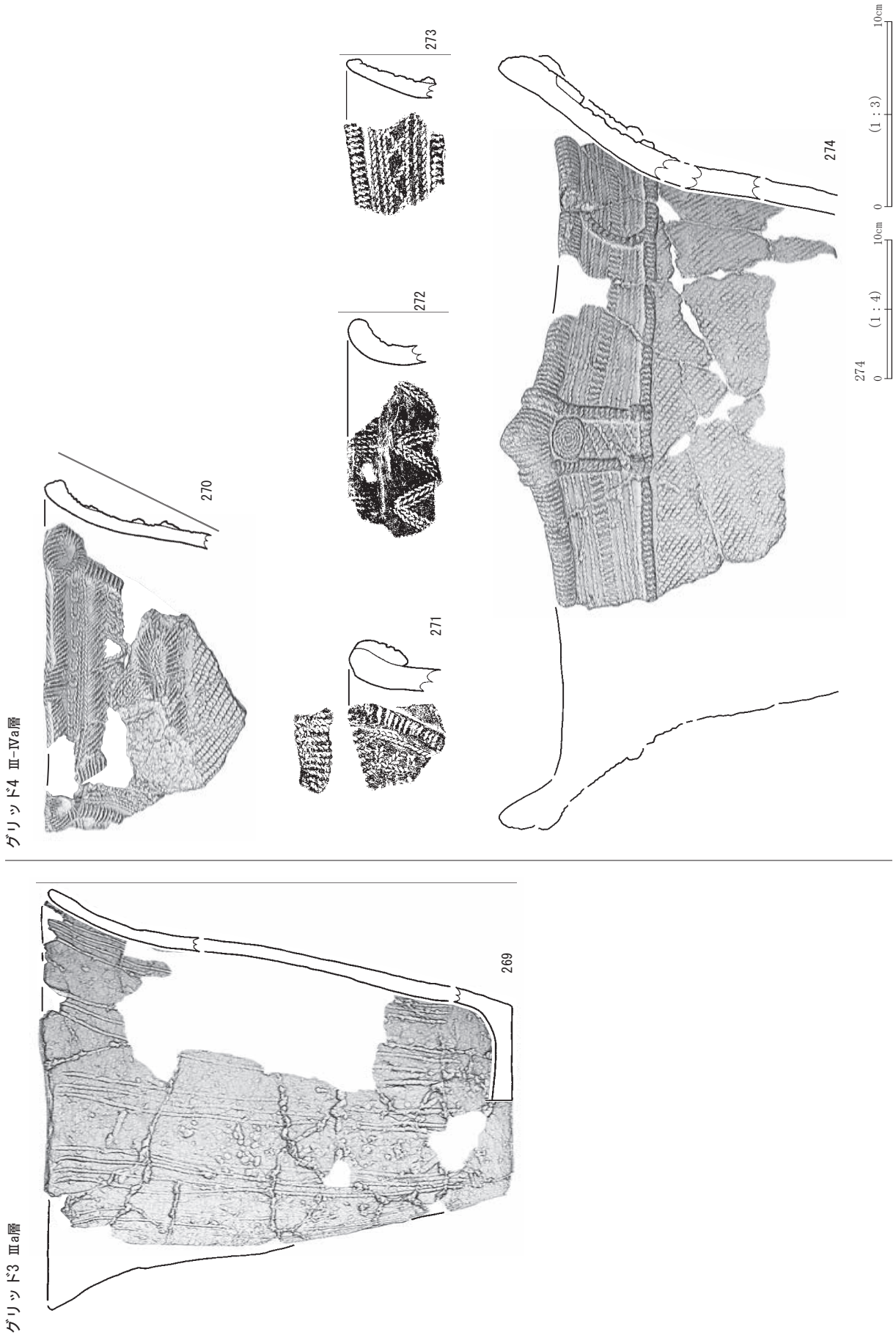
第65図　捨て場出土土器（37）



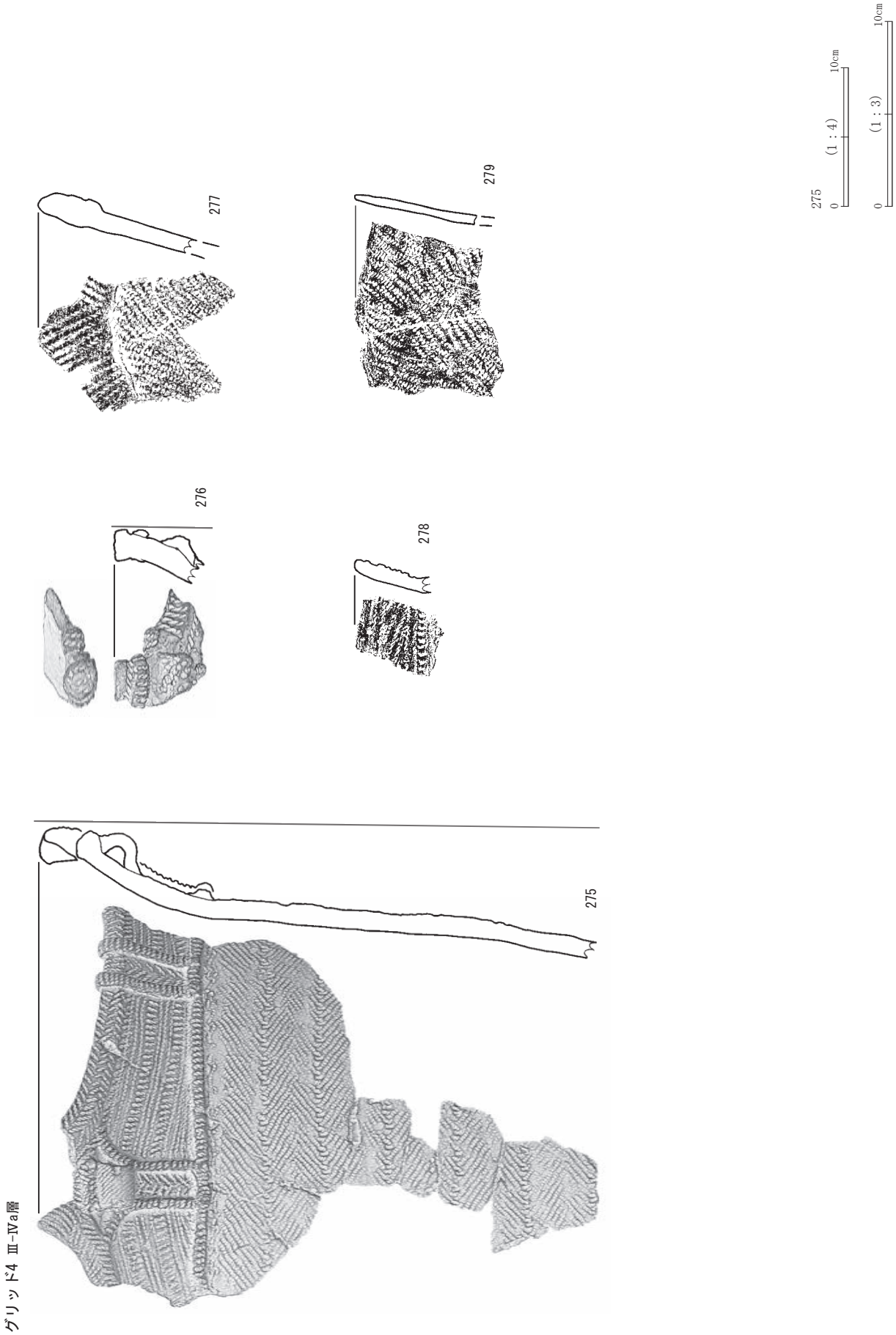
第66図　捨て場出土土器（38）



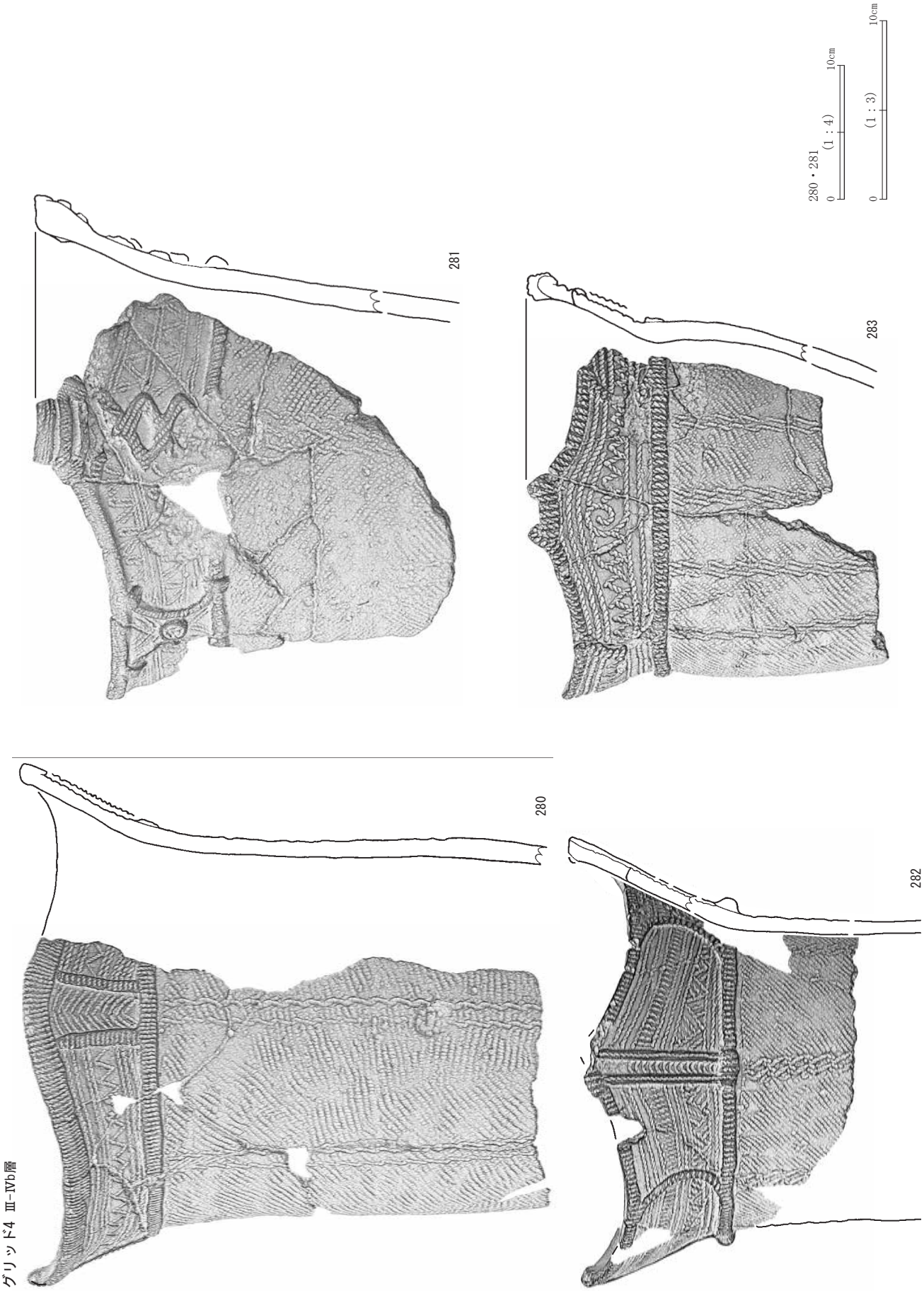
第67図　捨て場出土土器（39）



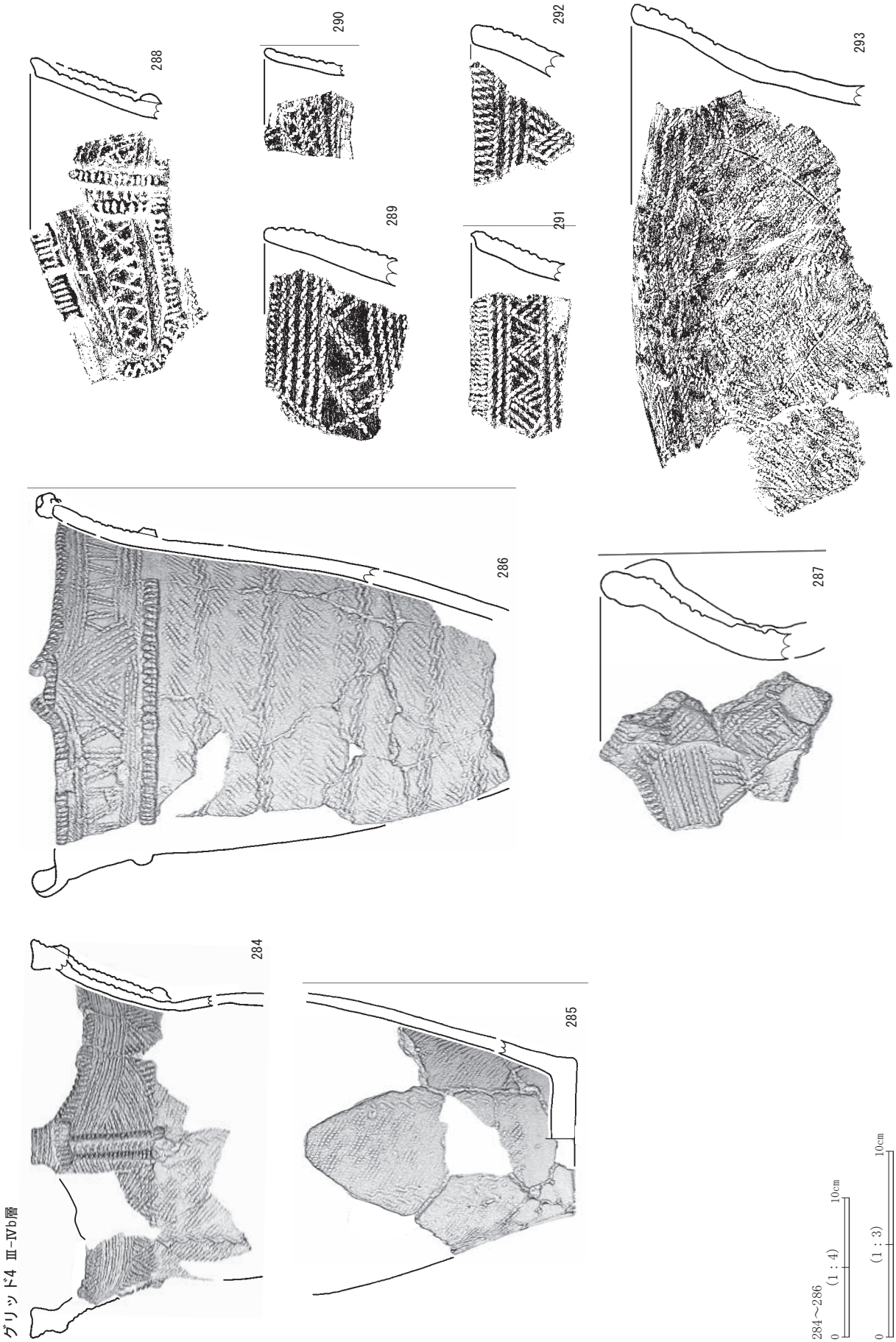
第68図　捨て場出土土器（40）



第69図　捨て場出土土器（41）

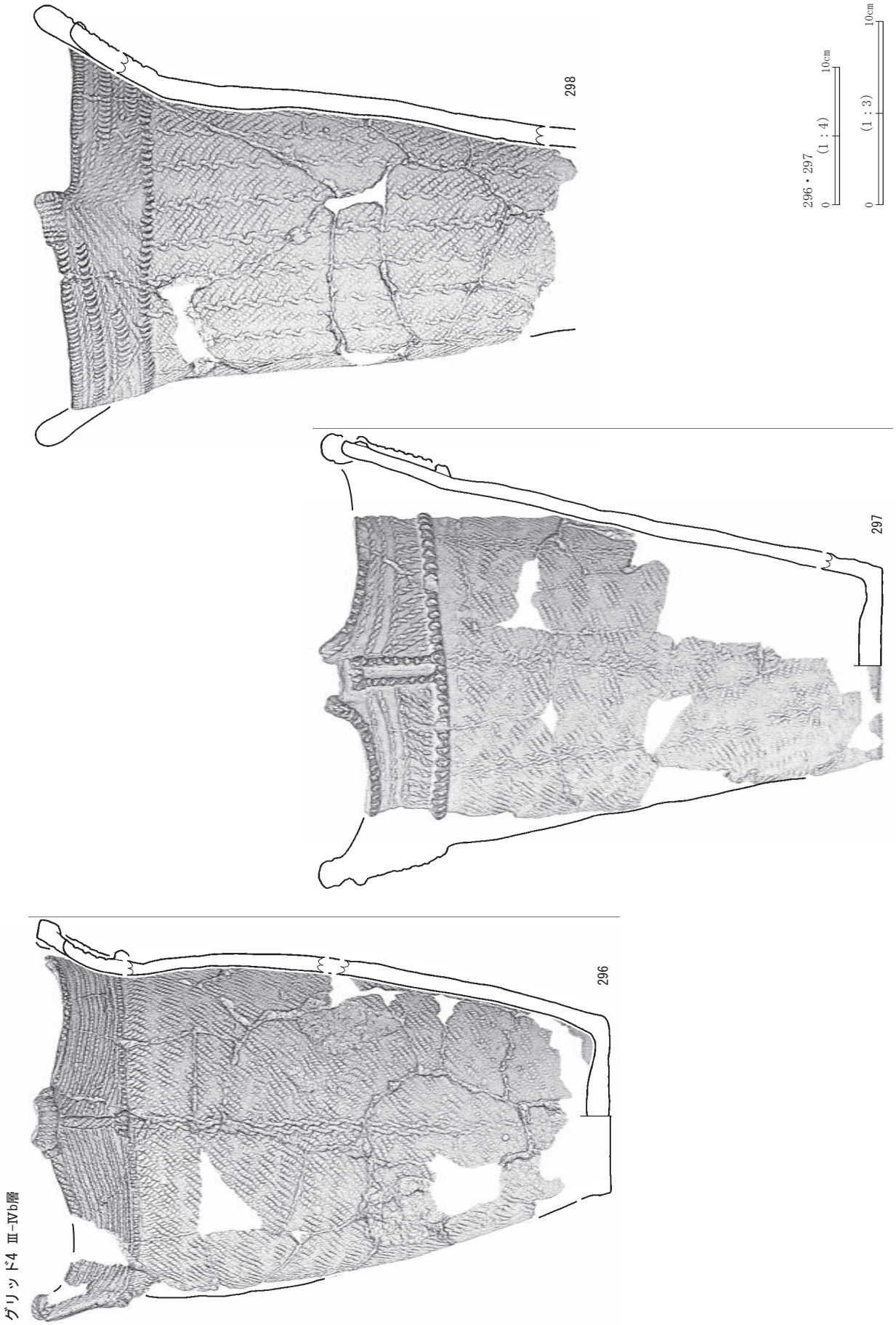


第70図　捨て場出土土器（42）

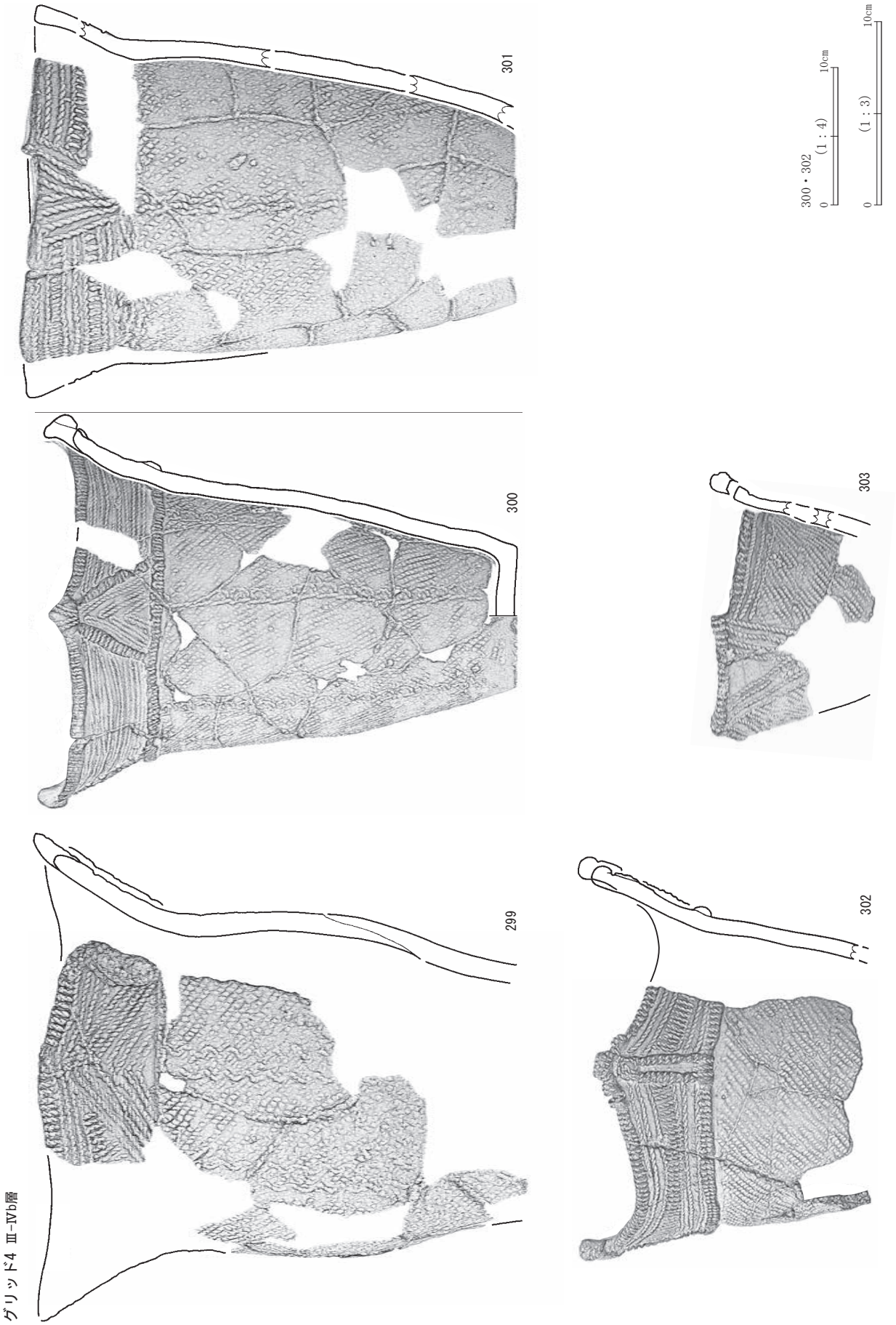


第71図　捨て場出土土器（43）

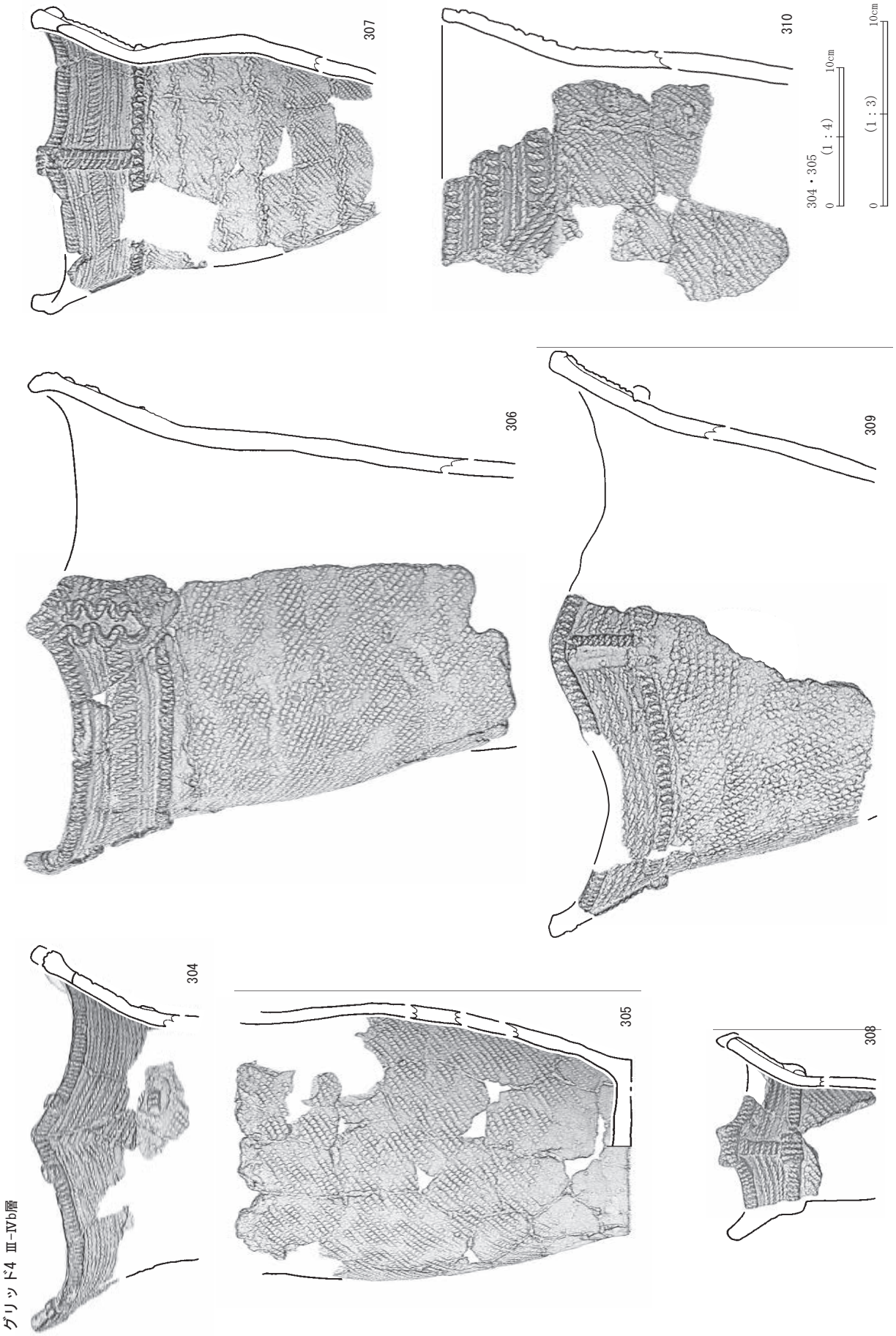
第72図　捨て場出土土器（44）



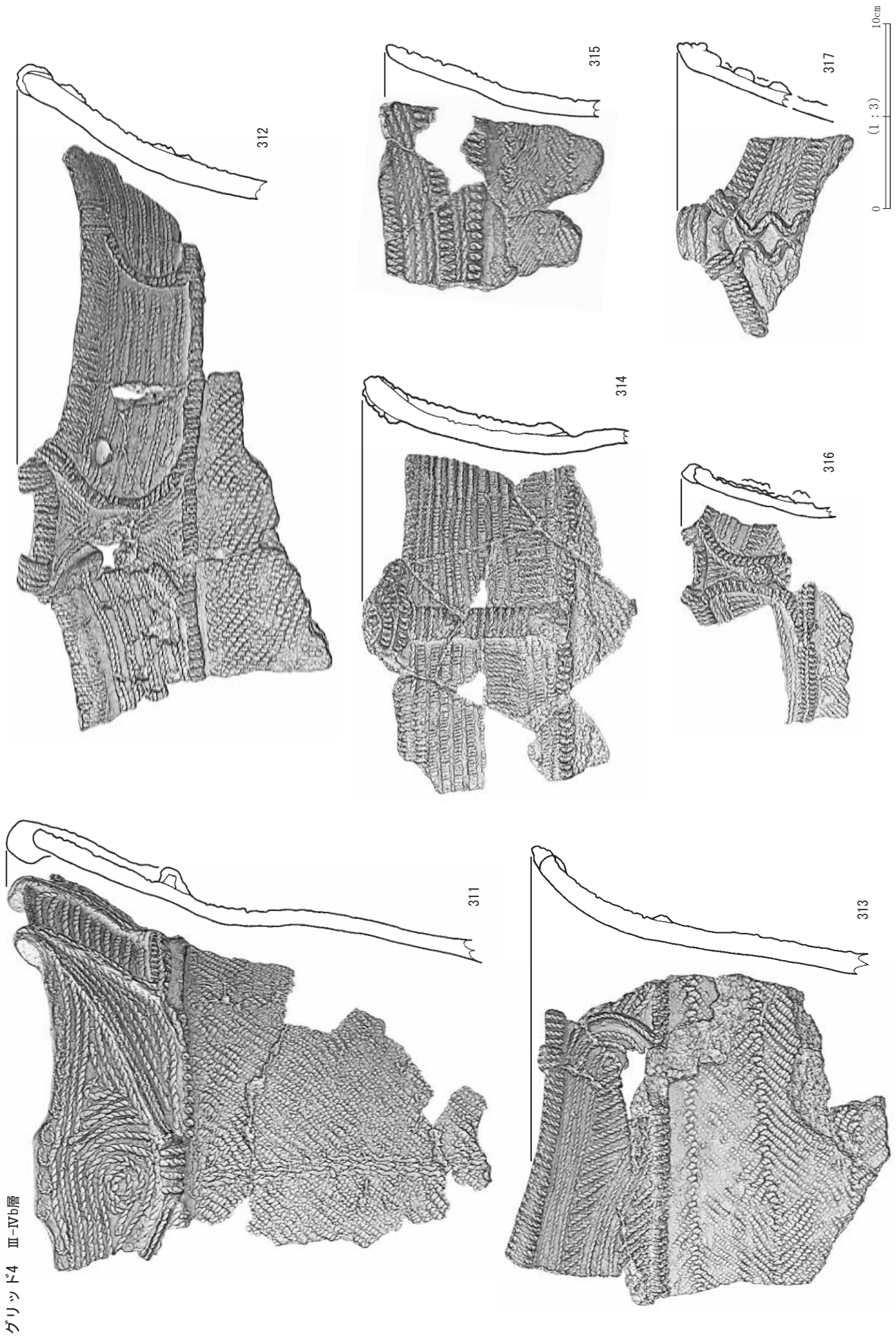
第73図　捨て場出土土器（45）



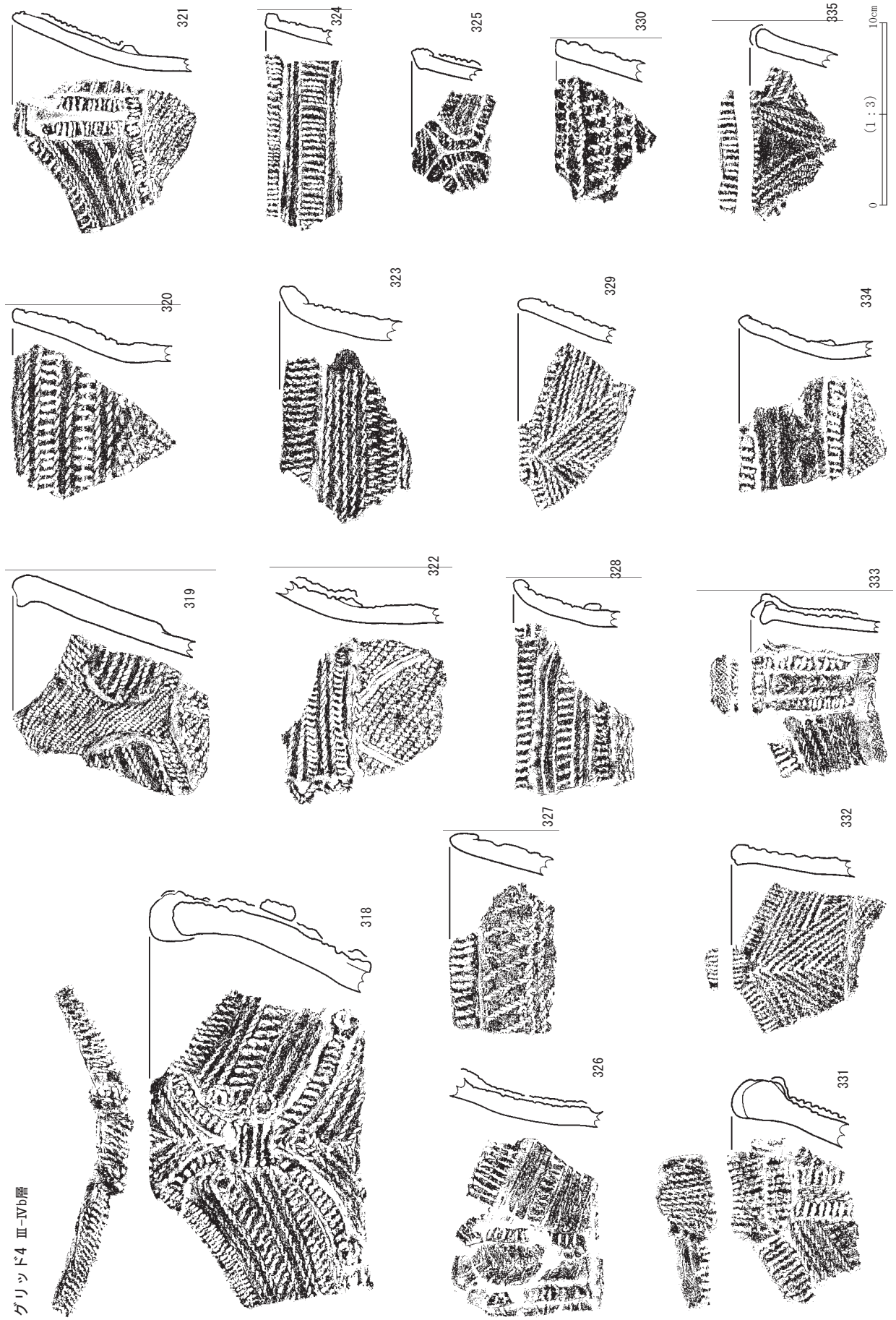
第74図　捨て場出土土器（46）



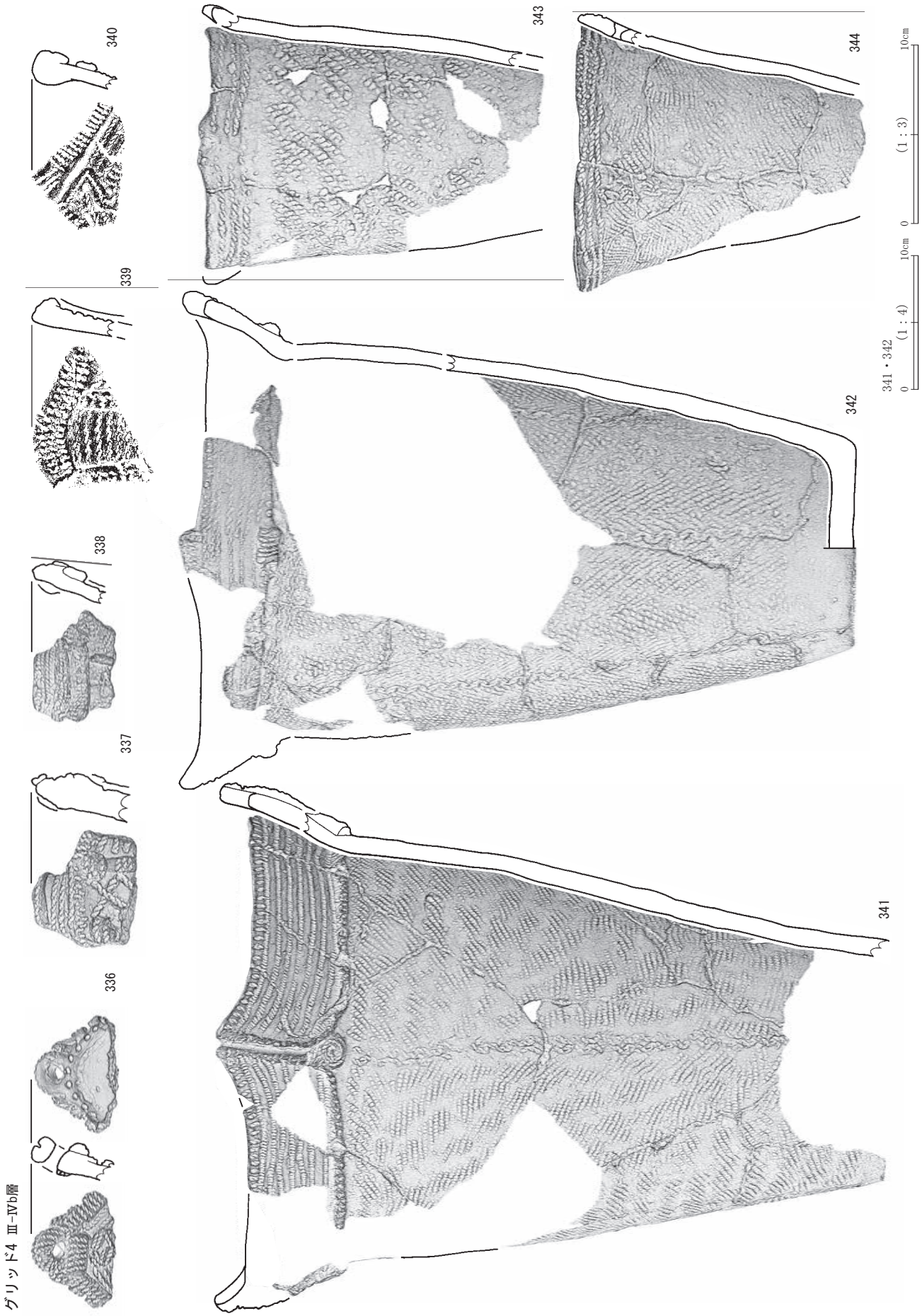
第75図　捨て場出土土器（47）



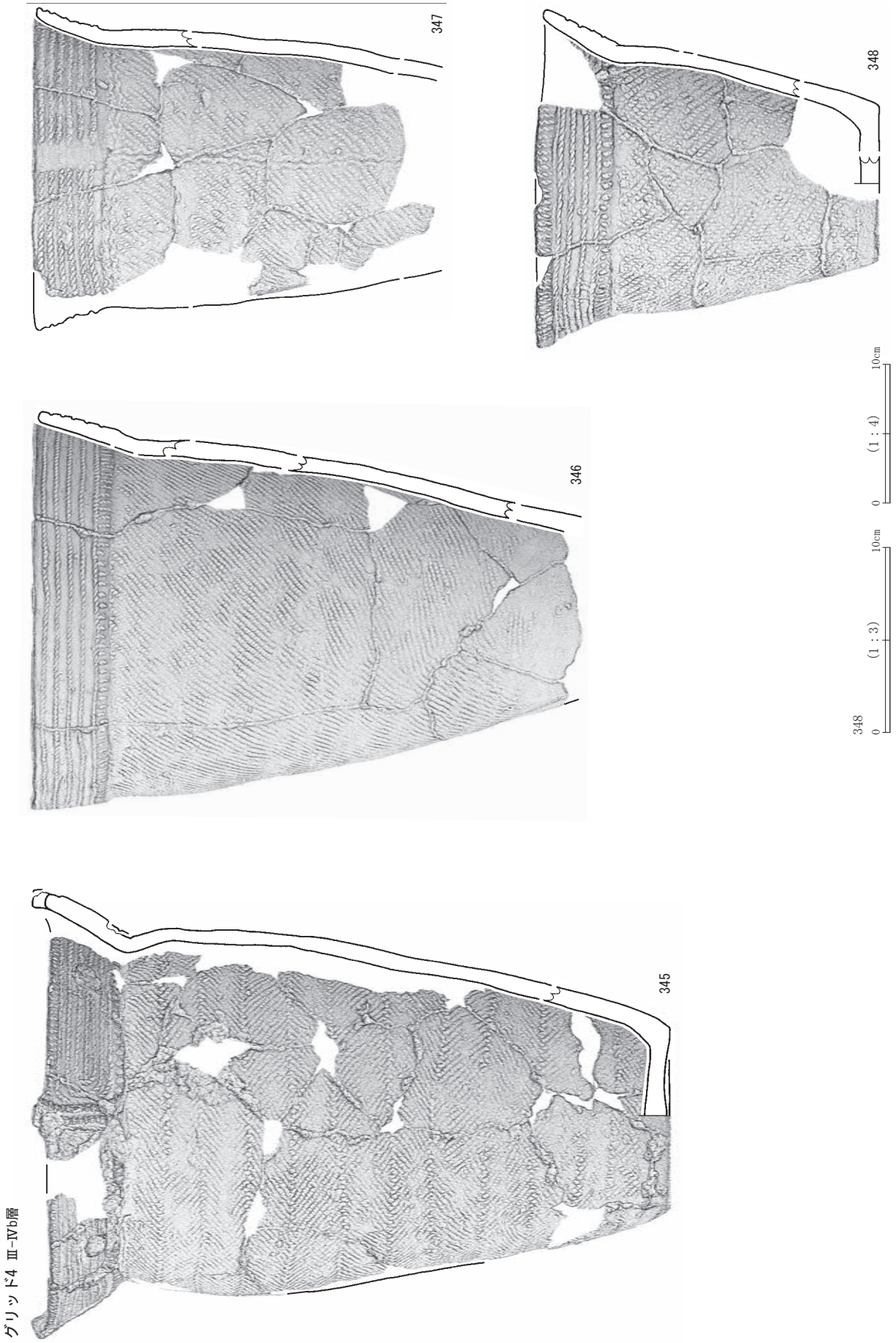
第76図　捨て場出土土器（48）



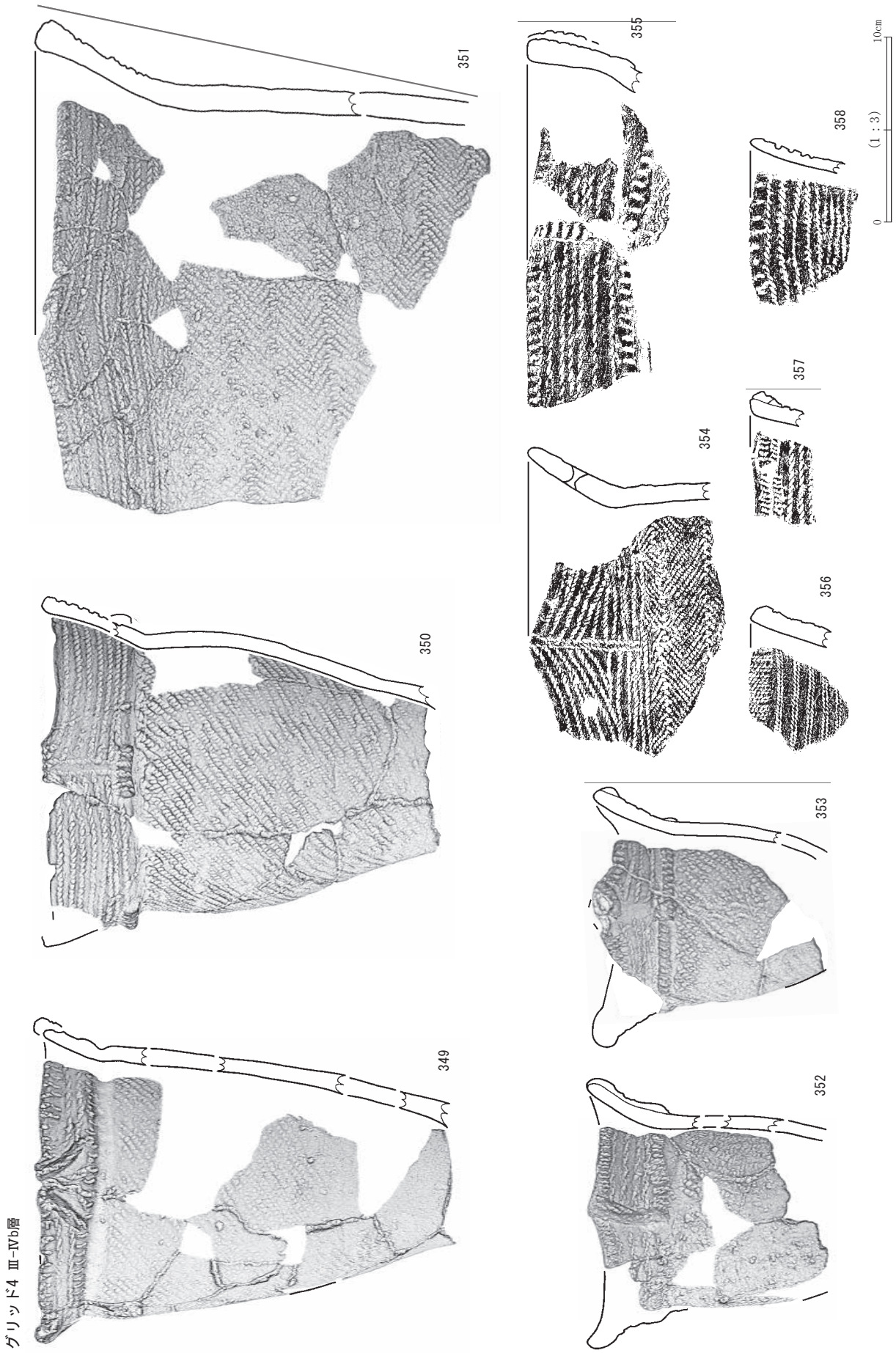
第77図　捨て場出土土器（49）



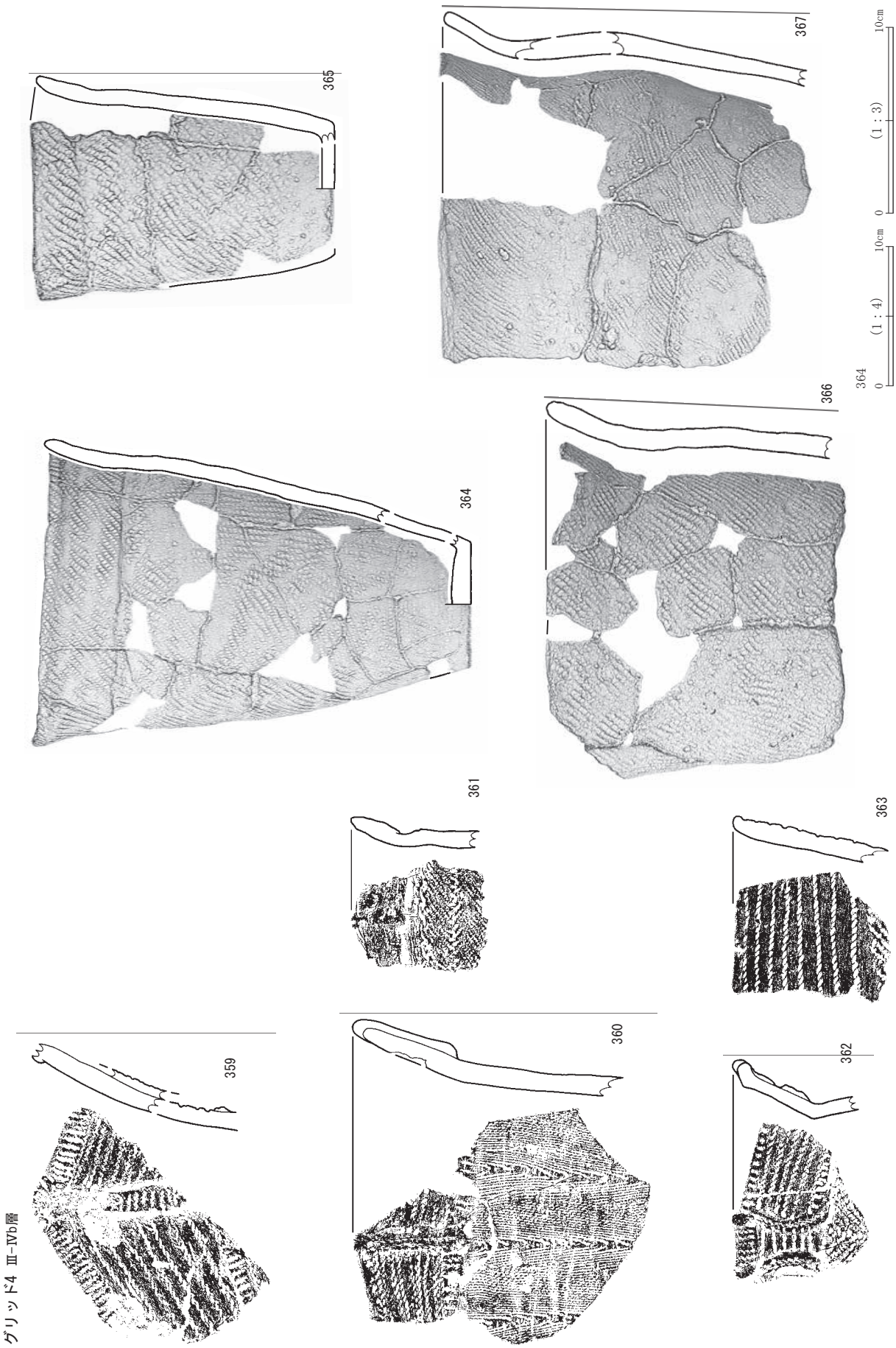
第78図　捨て場出土土器（50）



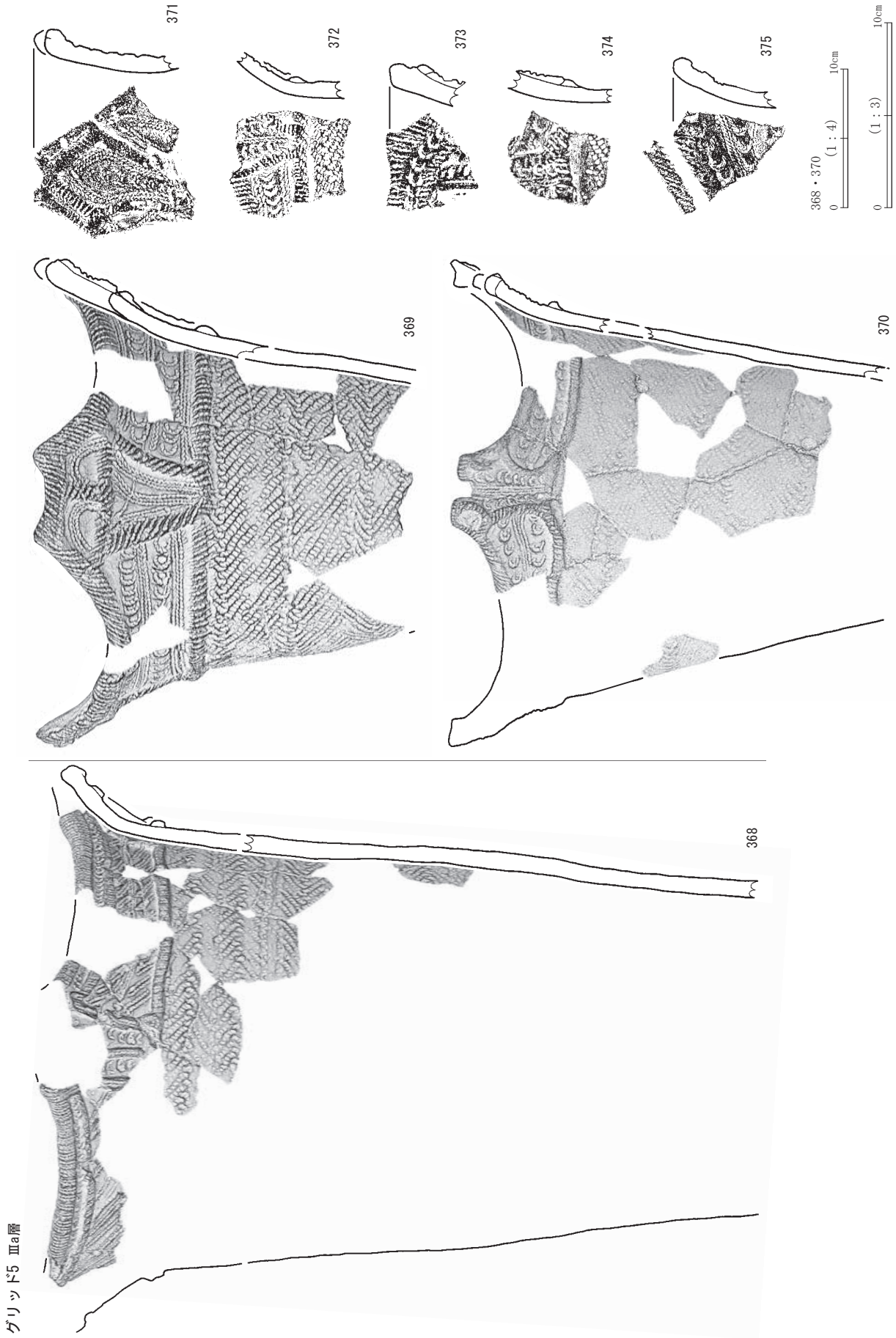
第79図　捨て場出土土器（51）



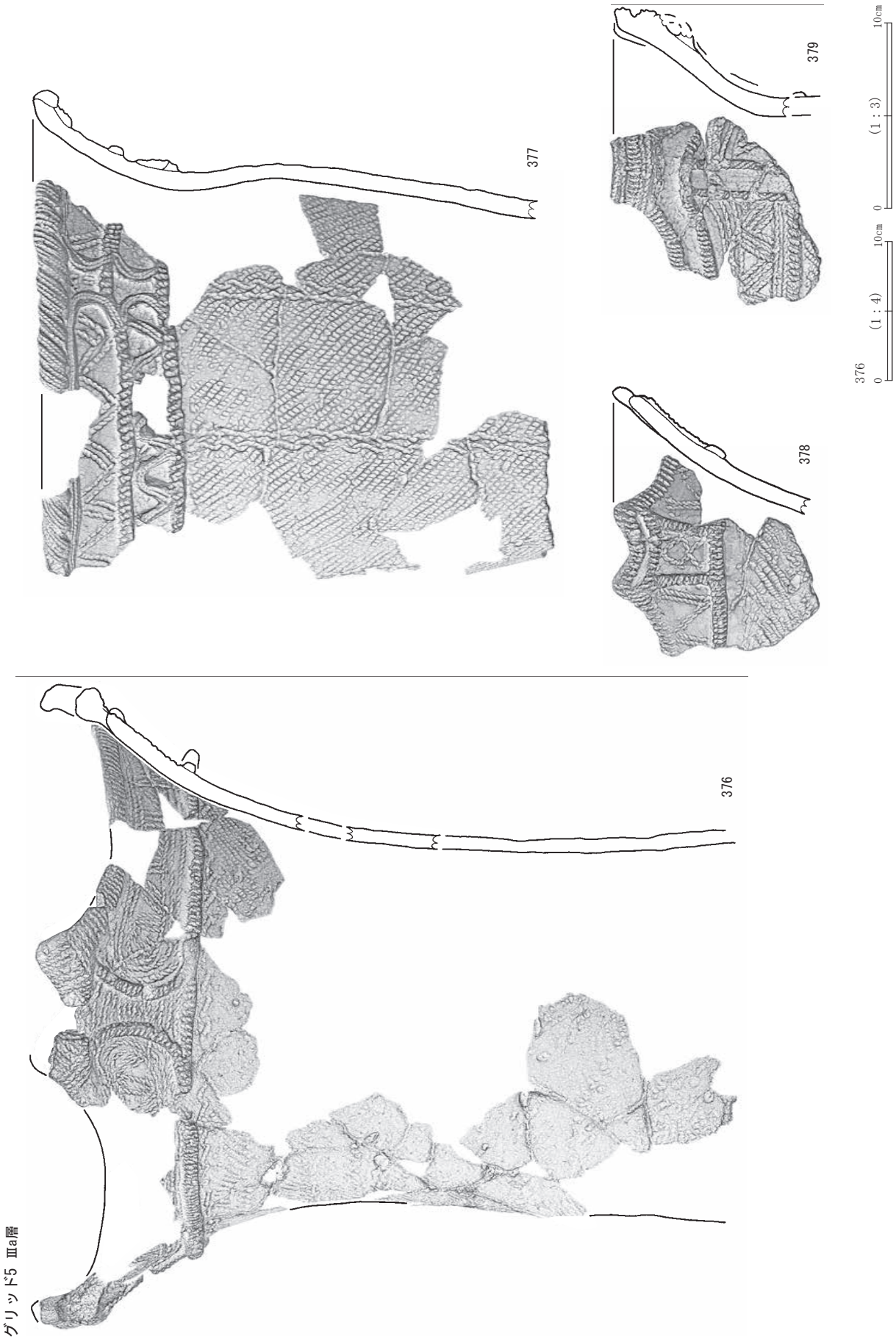
第80図　捨て場出土土器（52）



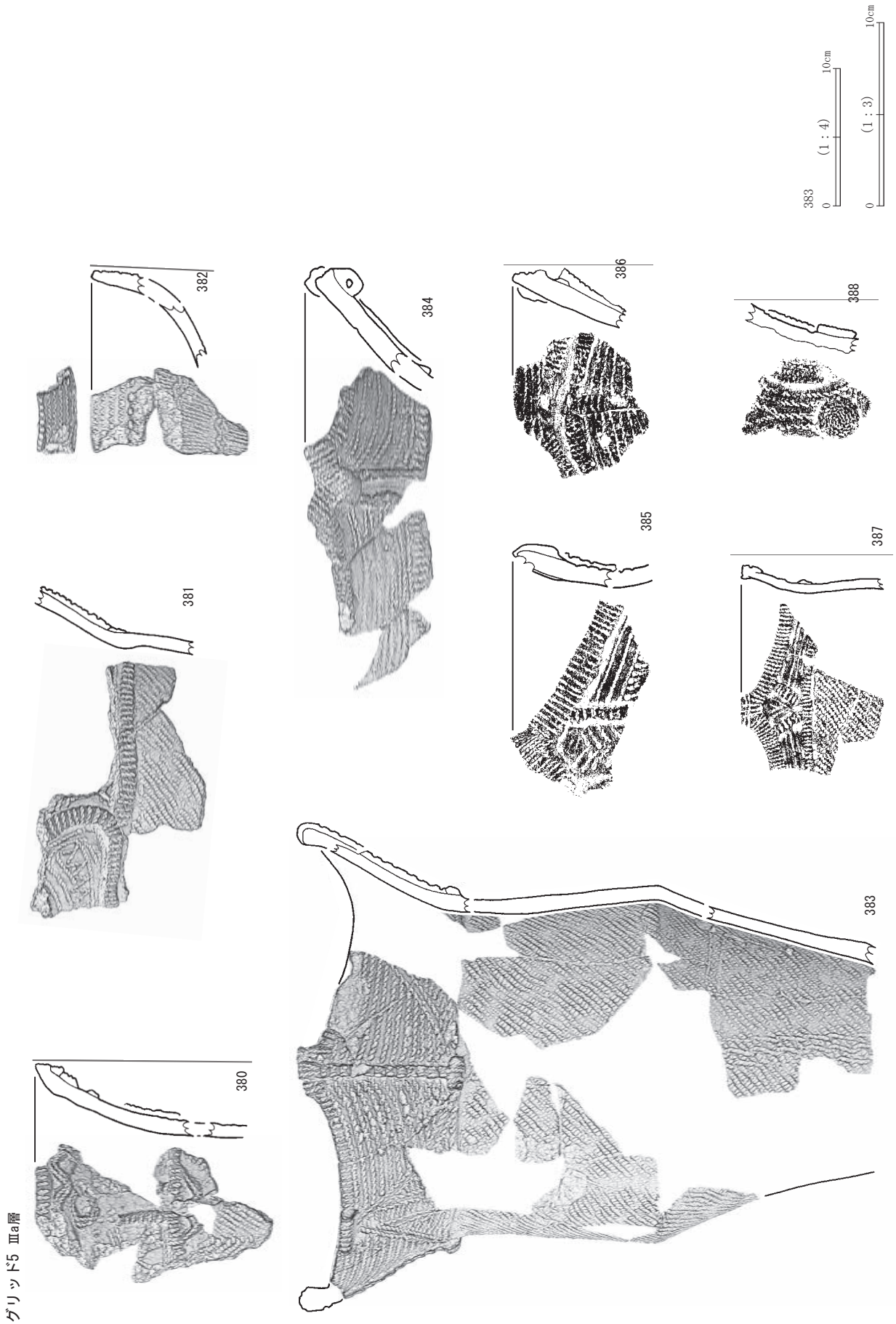
第81図　捨て場出土土器（53）



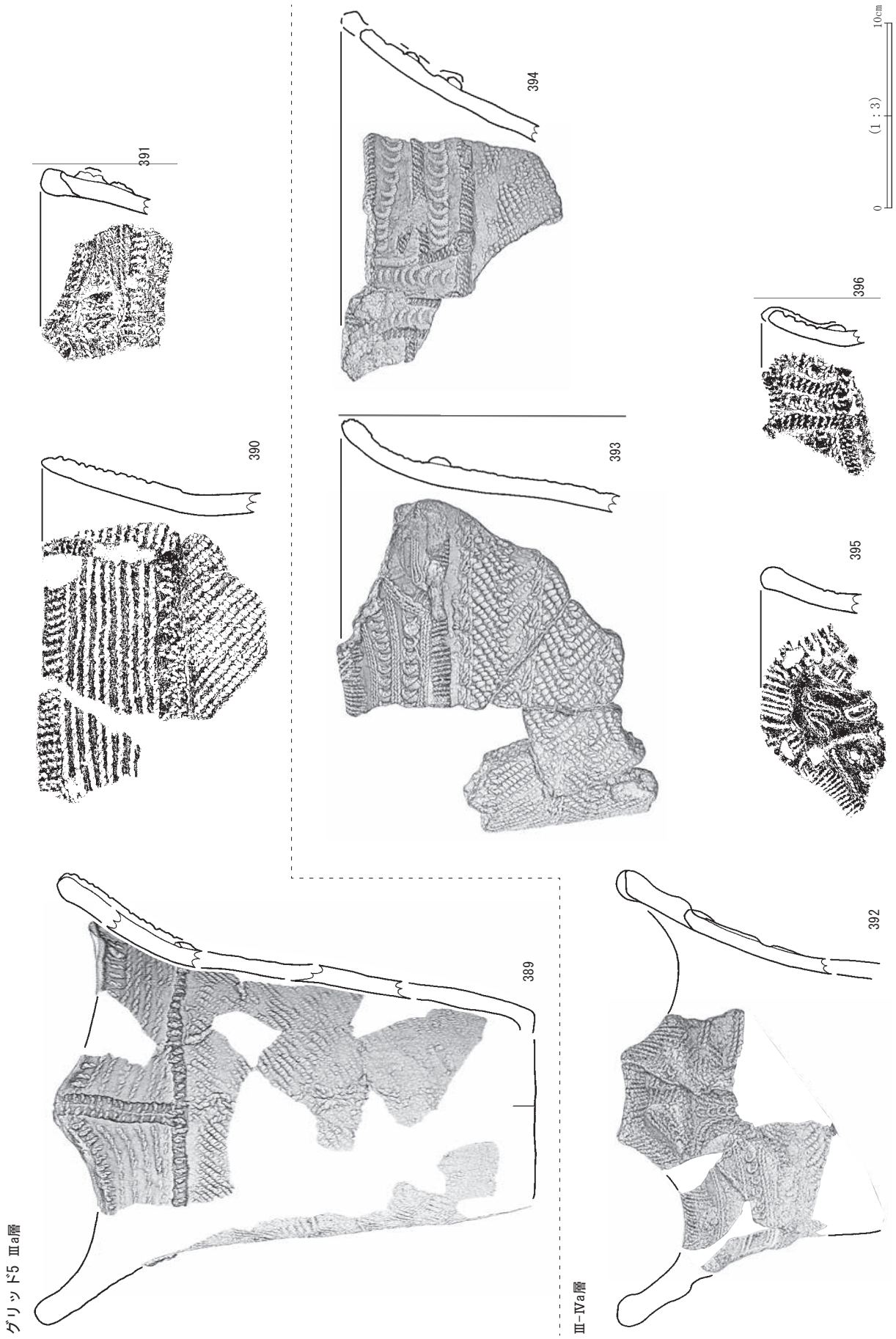
第82図　捨て場出土土器（54）



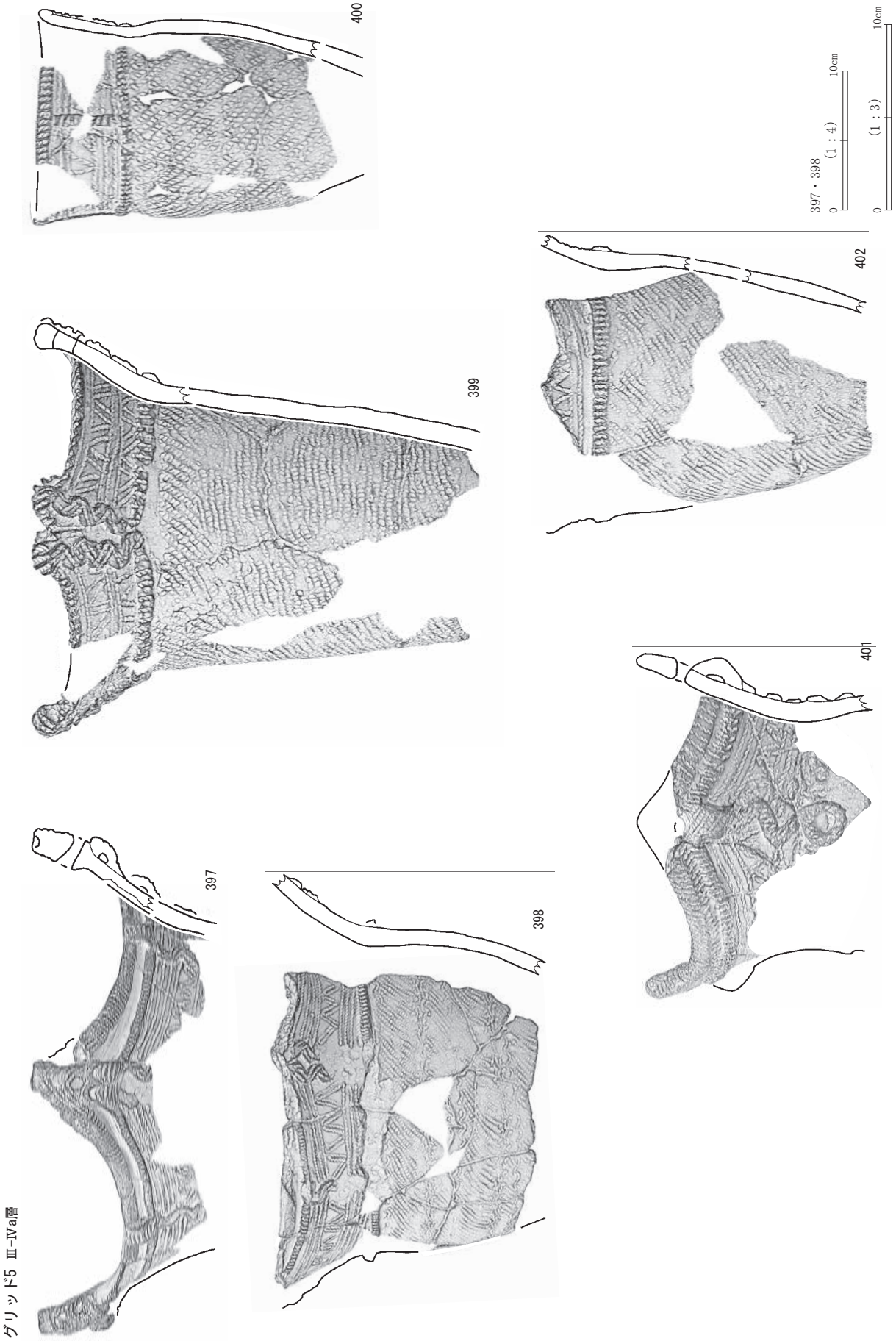
第83図　捨て場出土土器（55）



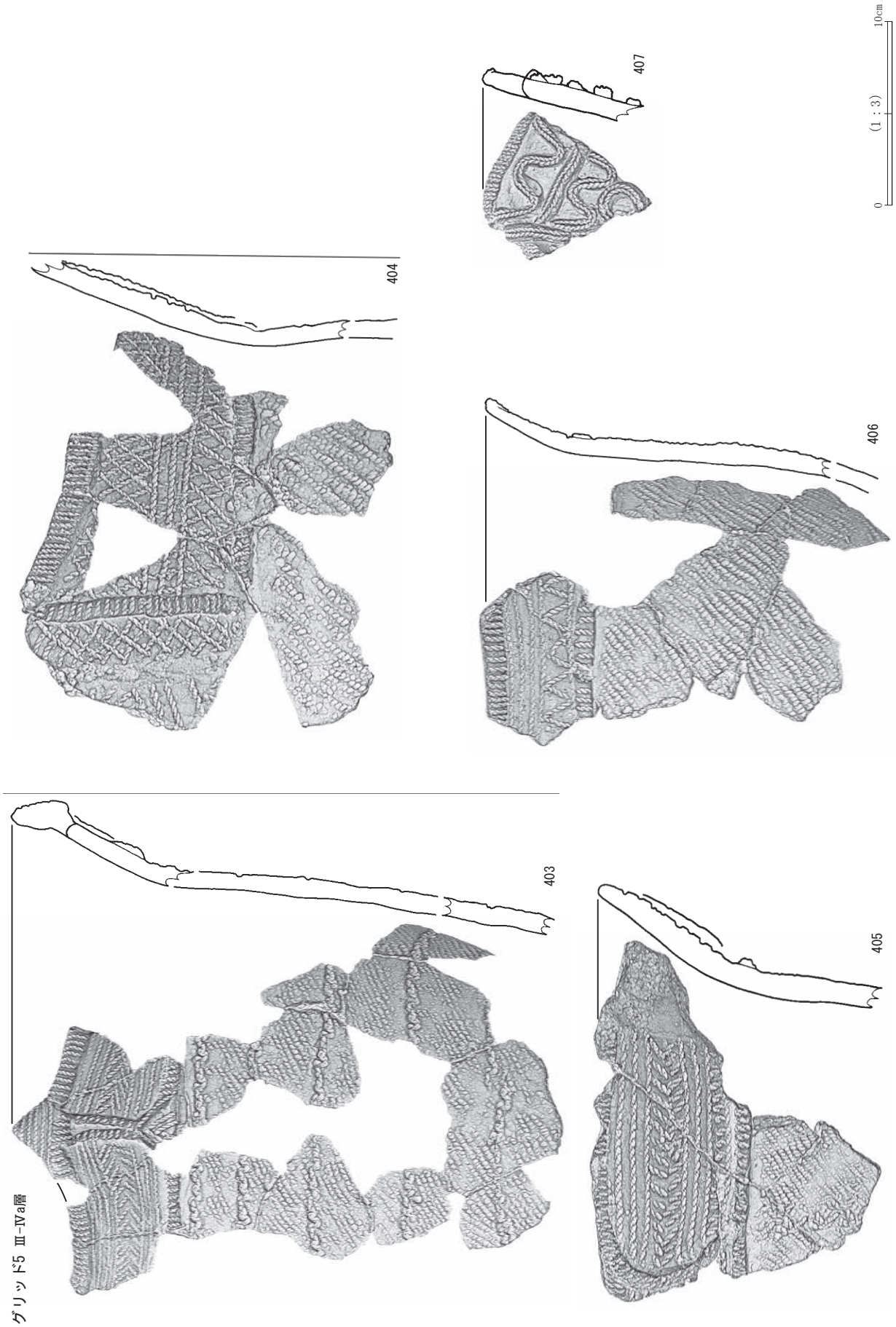
第84図　捨て場出土土器（56）



第85図　捨て場出土土器（57）

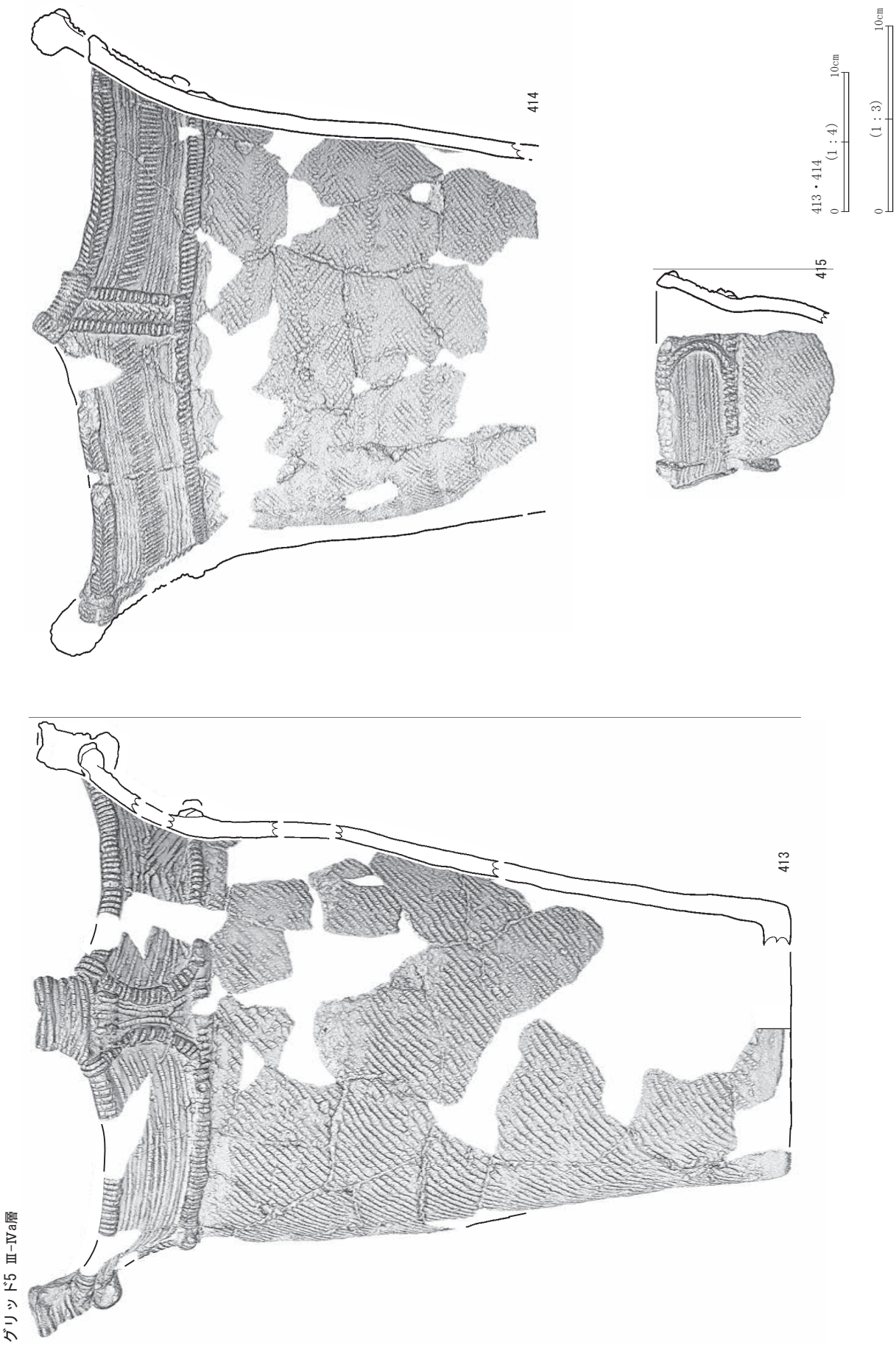


第86図　捨て場出土土器（58）

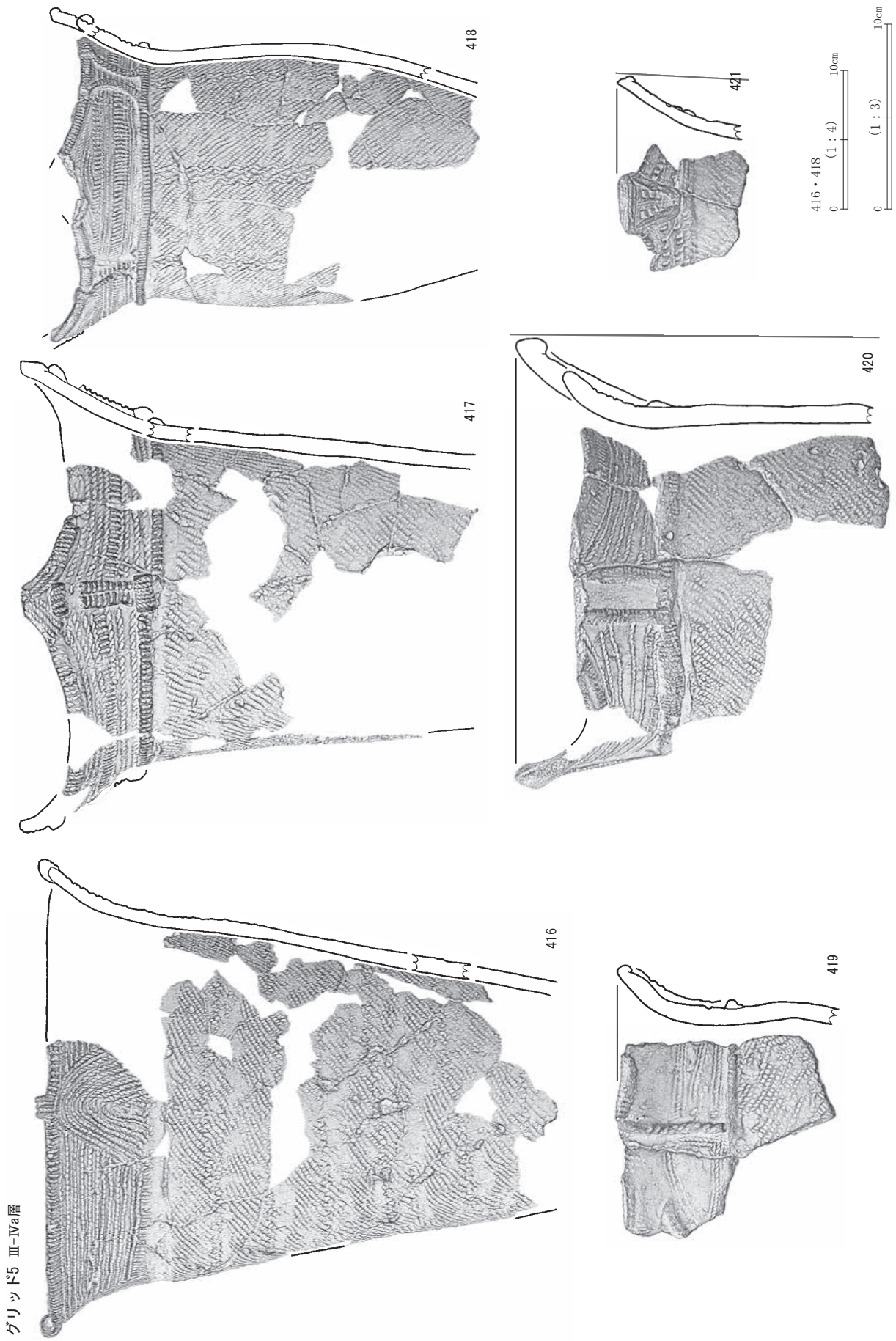


第87図　捨て場出土土器（59）

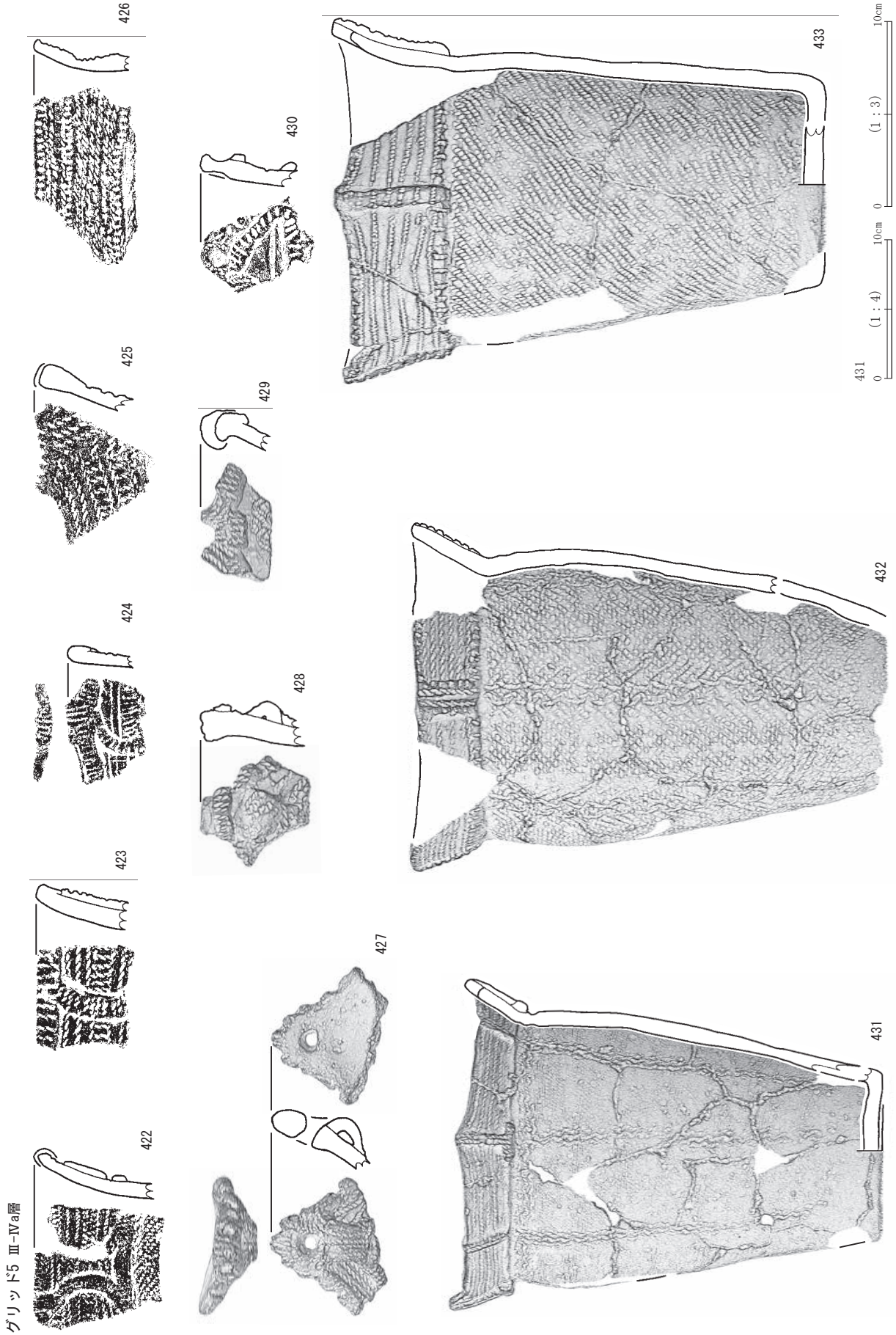
第88図　捨て場出土土器（60）



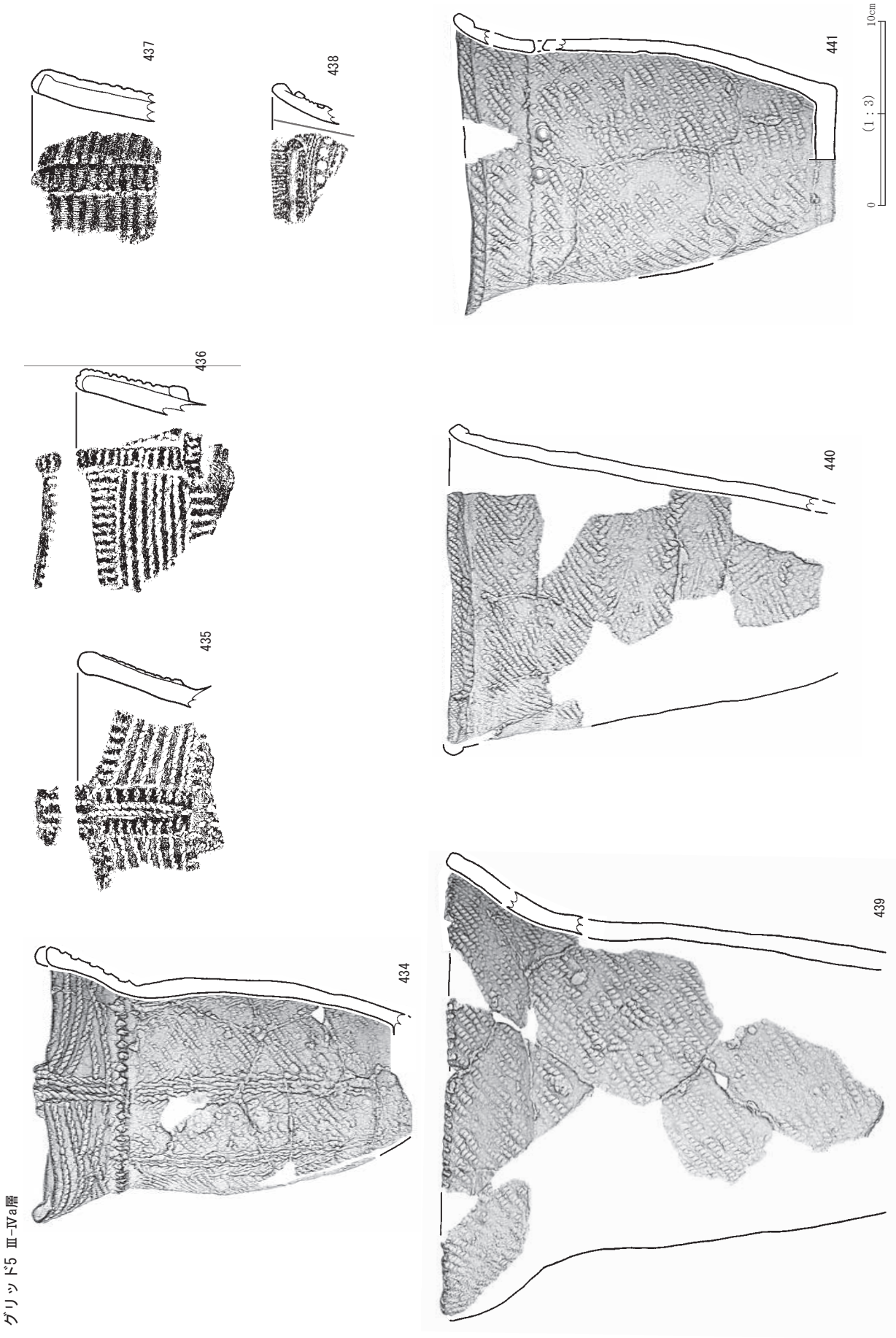
第89図　捨て場出土土器（61）



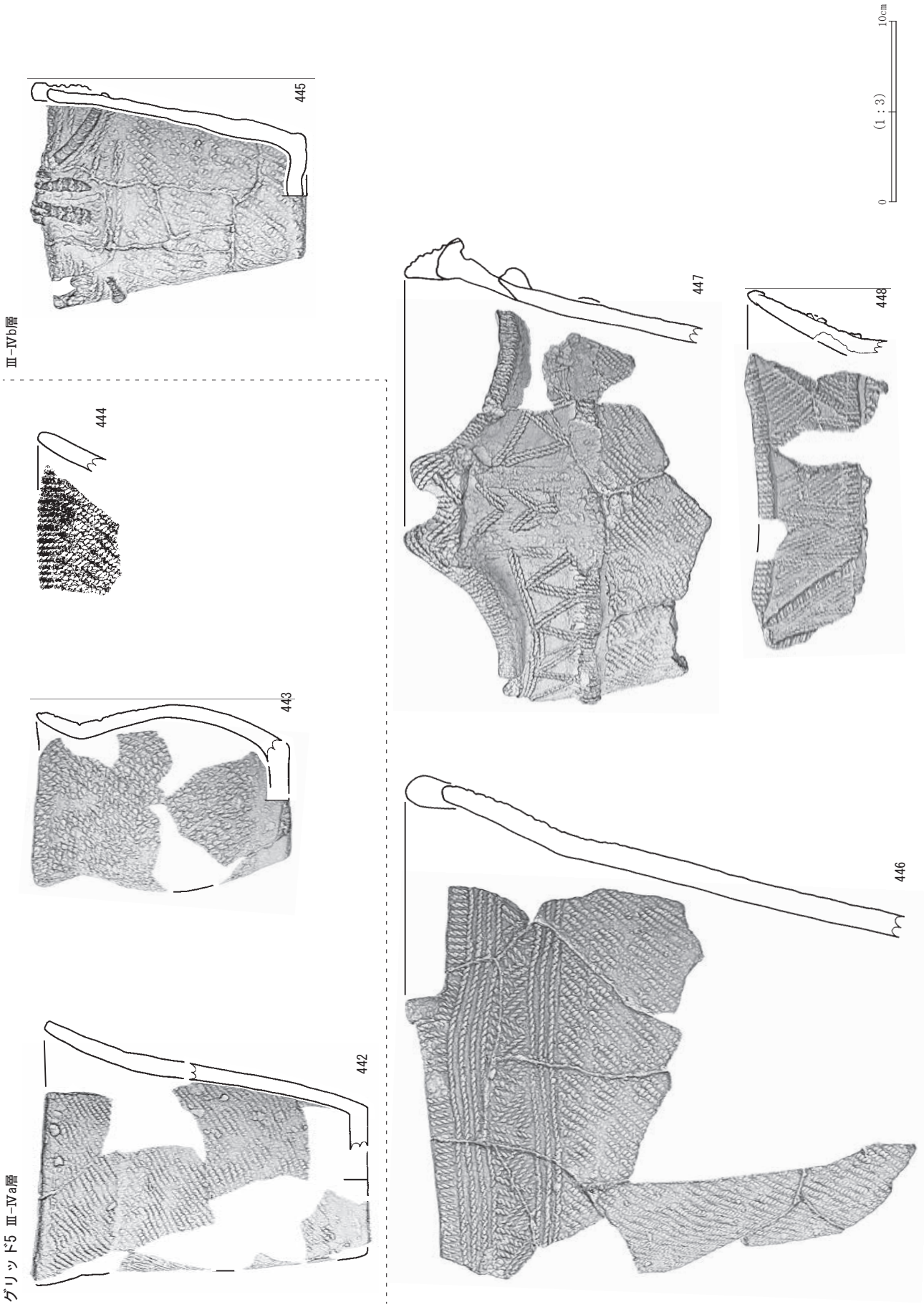
第90図　捨て場出土土器（62）



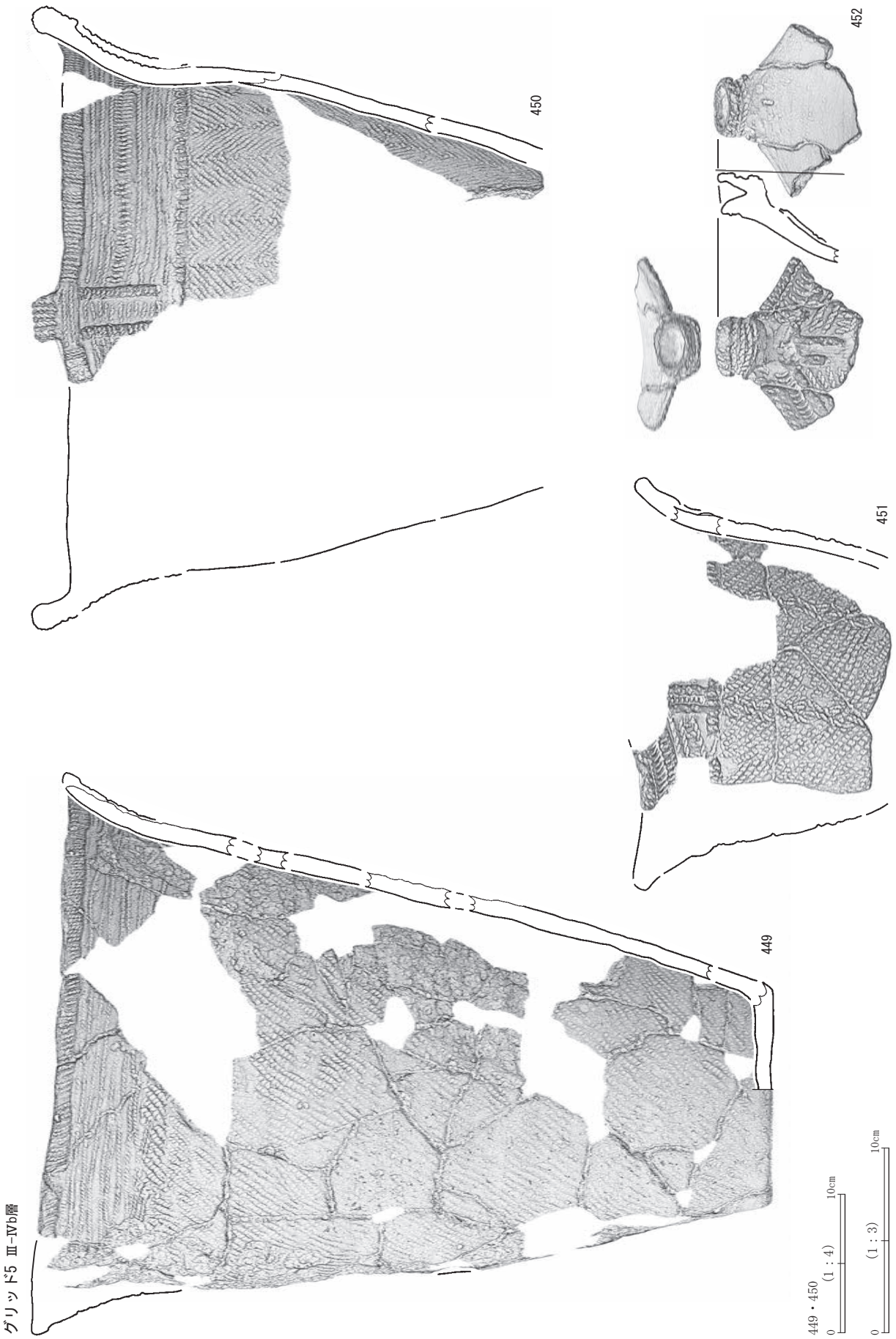
第91図　捨て場出土土器（63）



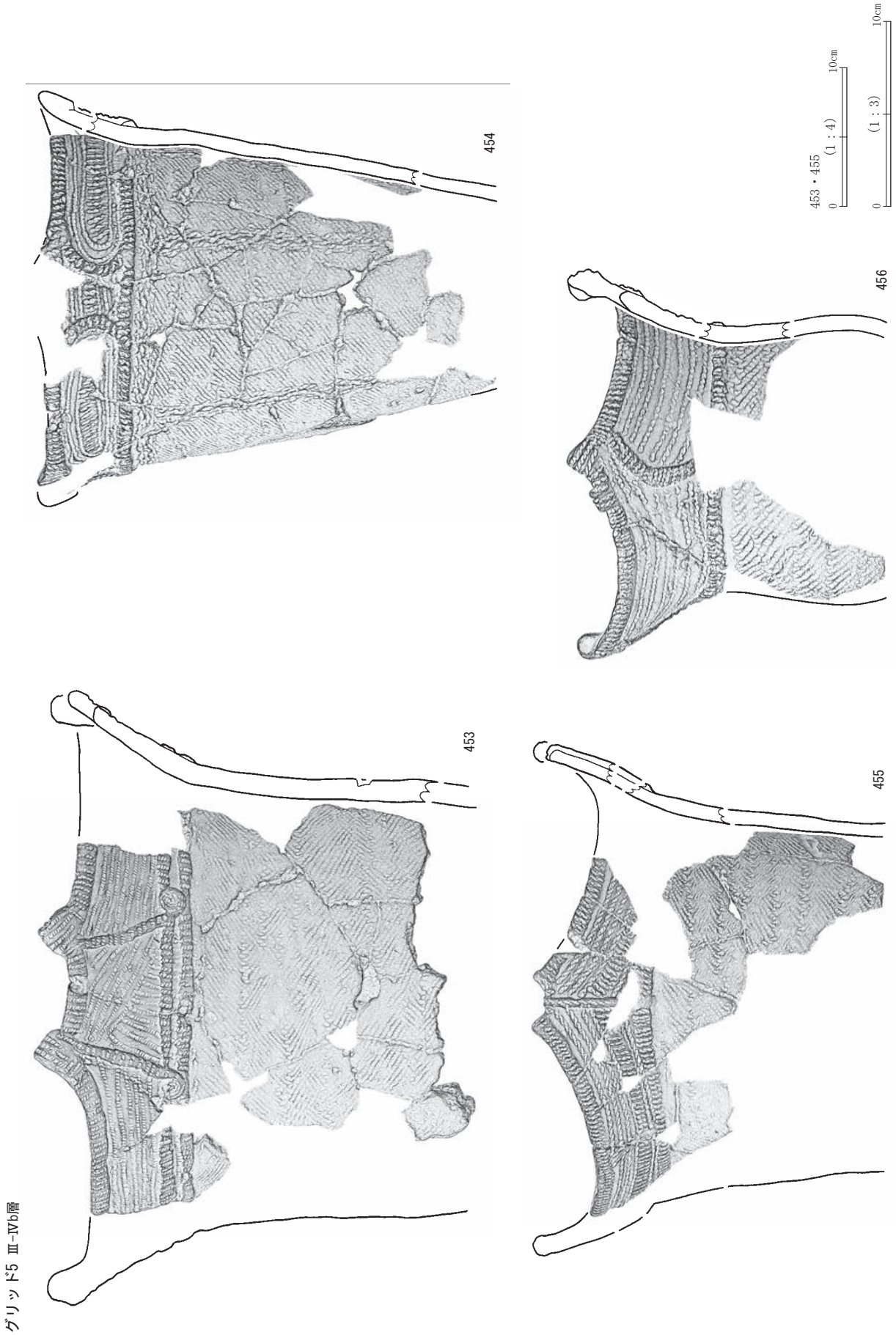
第92図　捨て場出土土器（64）



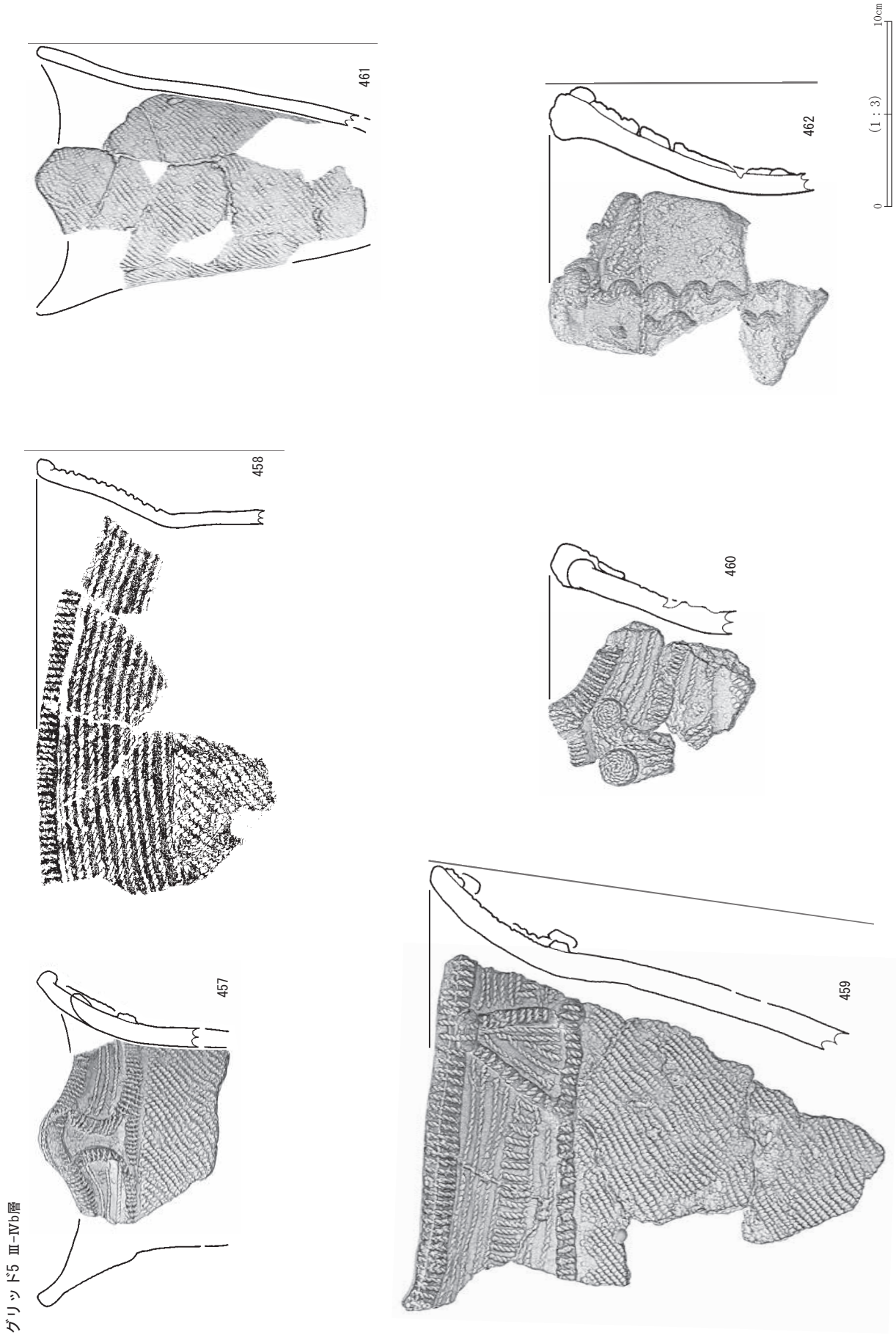
第93図　捨て場出土土器（65）



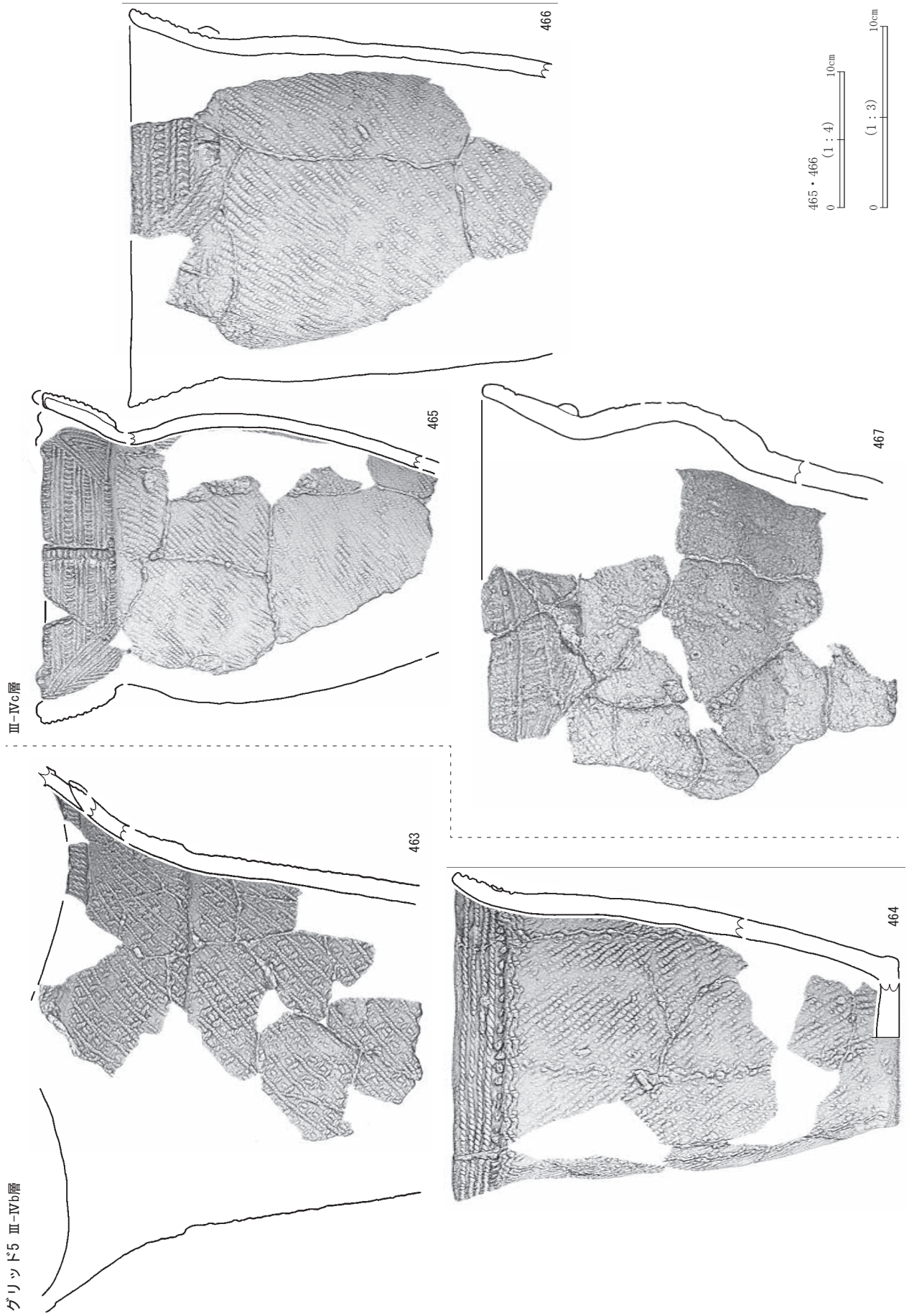
第94図　捨て場出土土器（66）



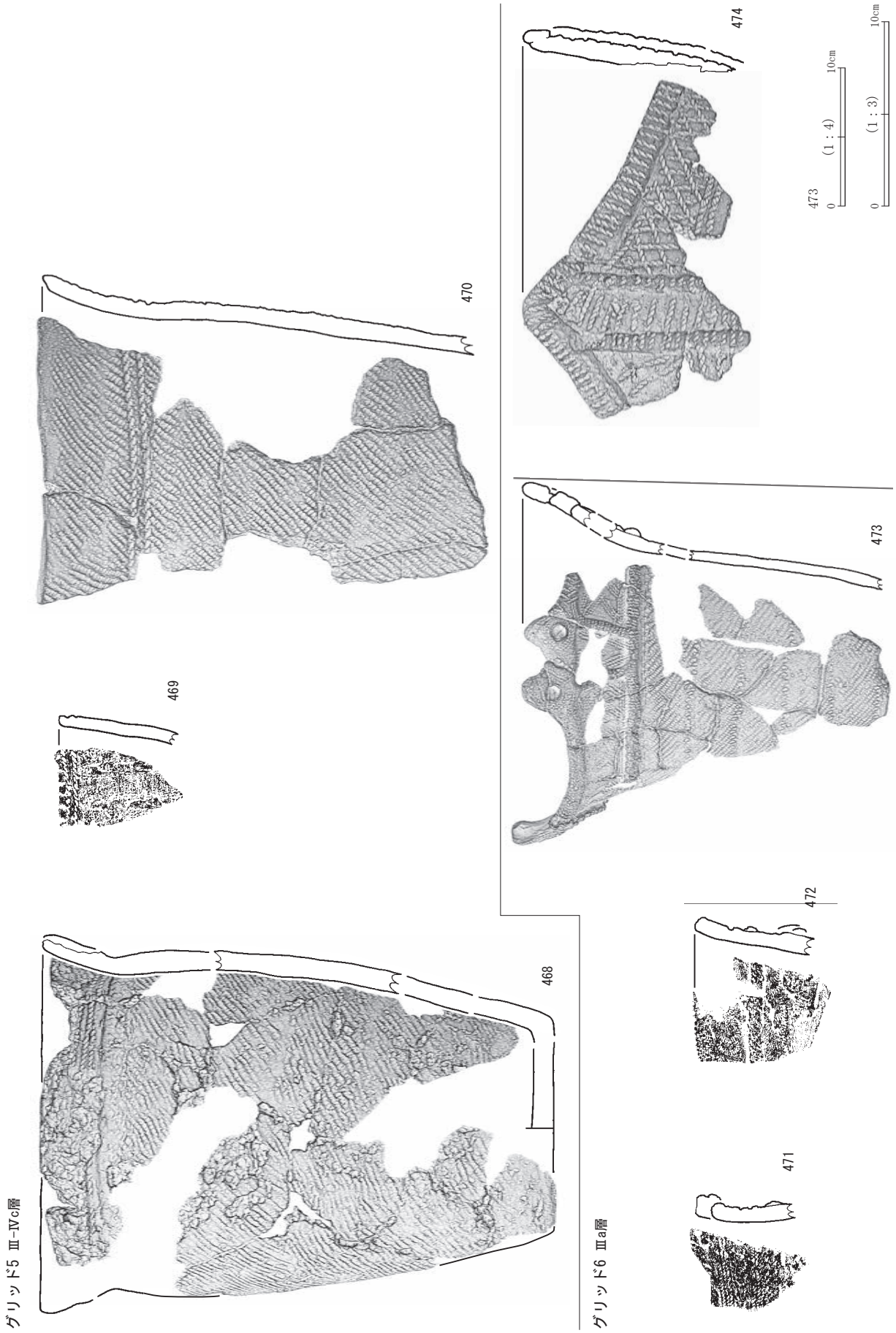
第95図　捨て場出土土器（67）



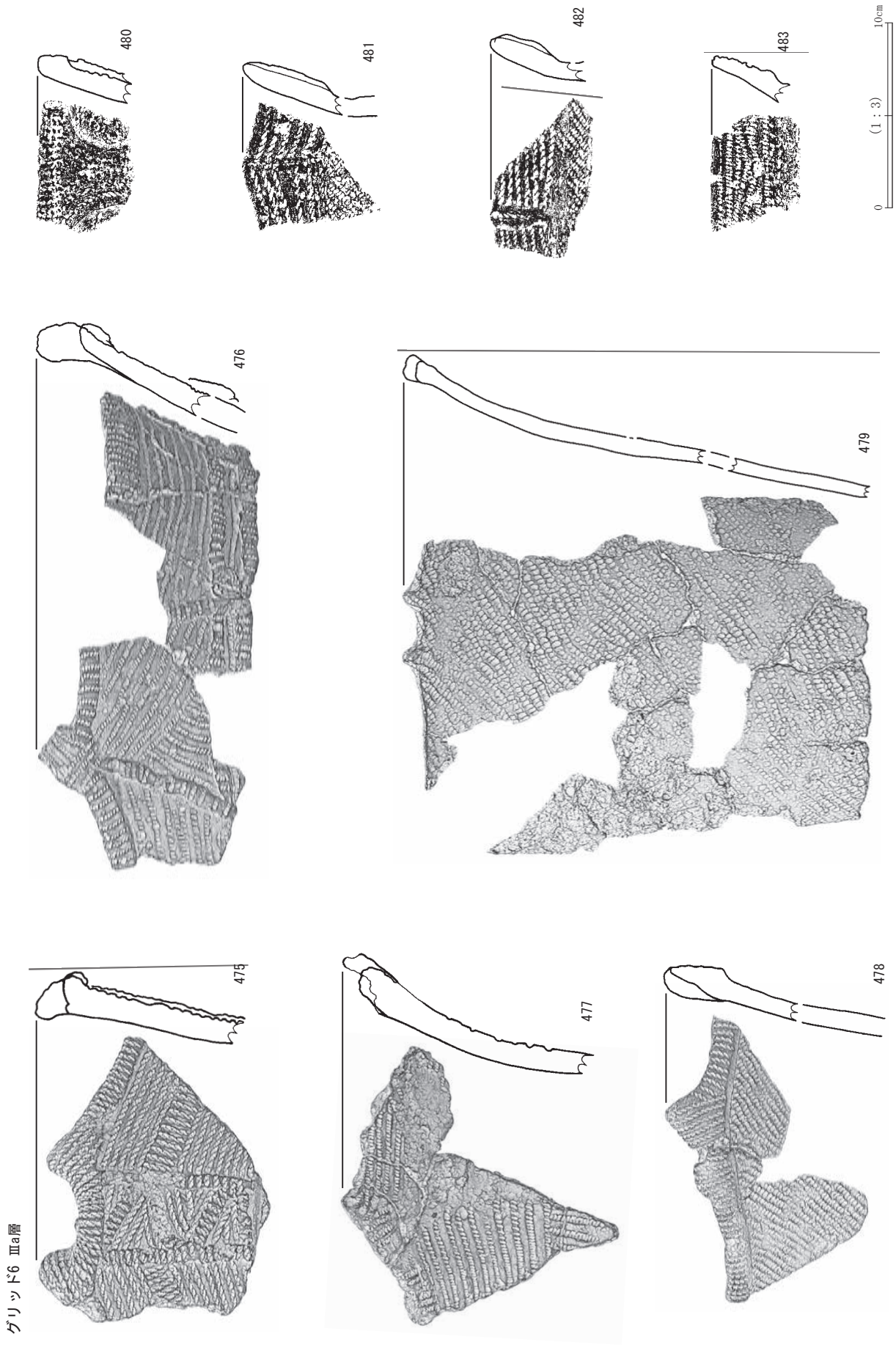
第96図　捨て場出土土器（68）



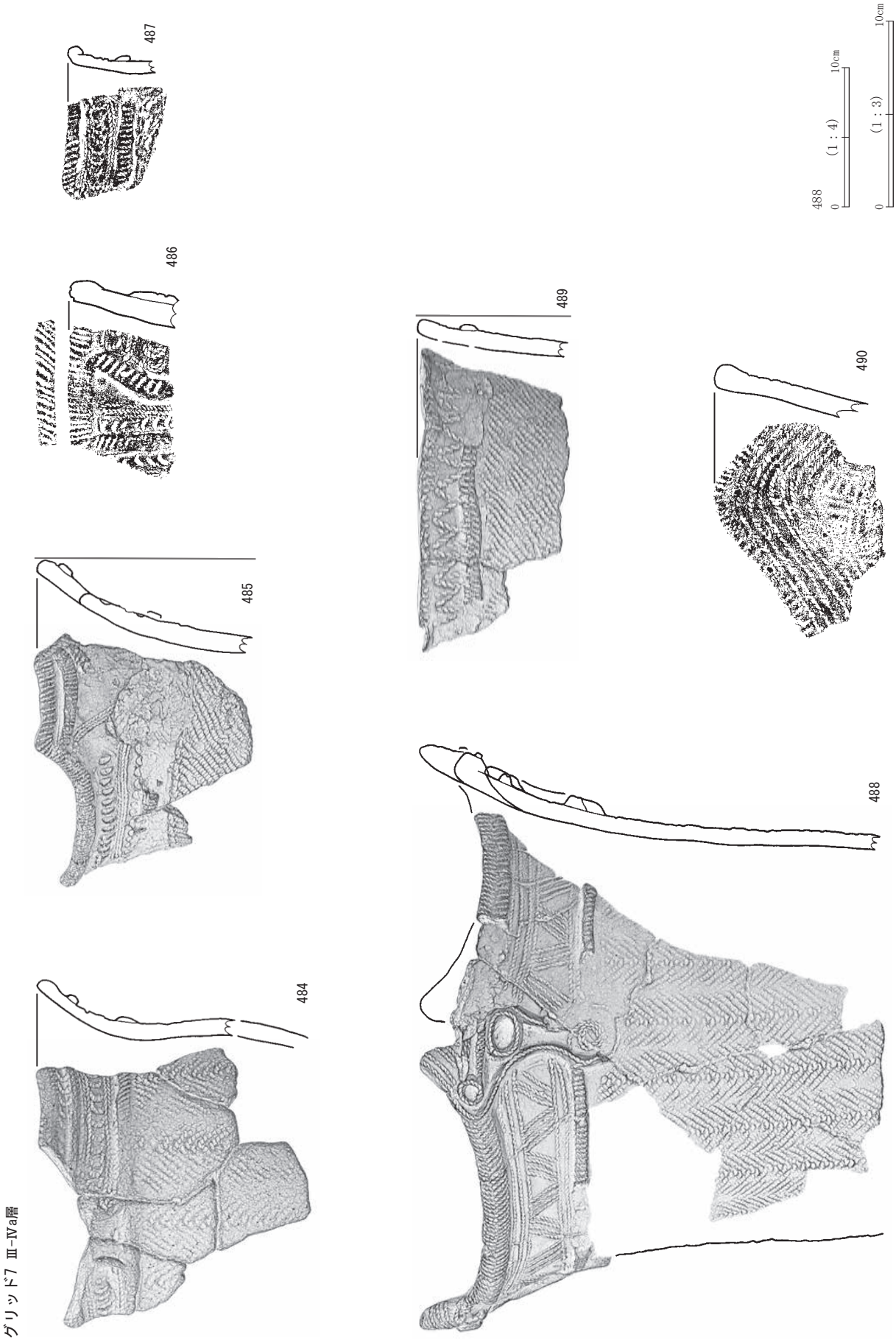
第97図　捨て場出土土器（69）



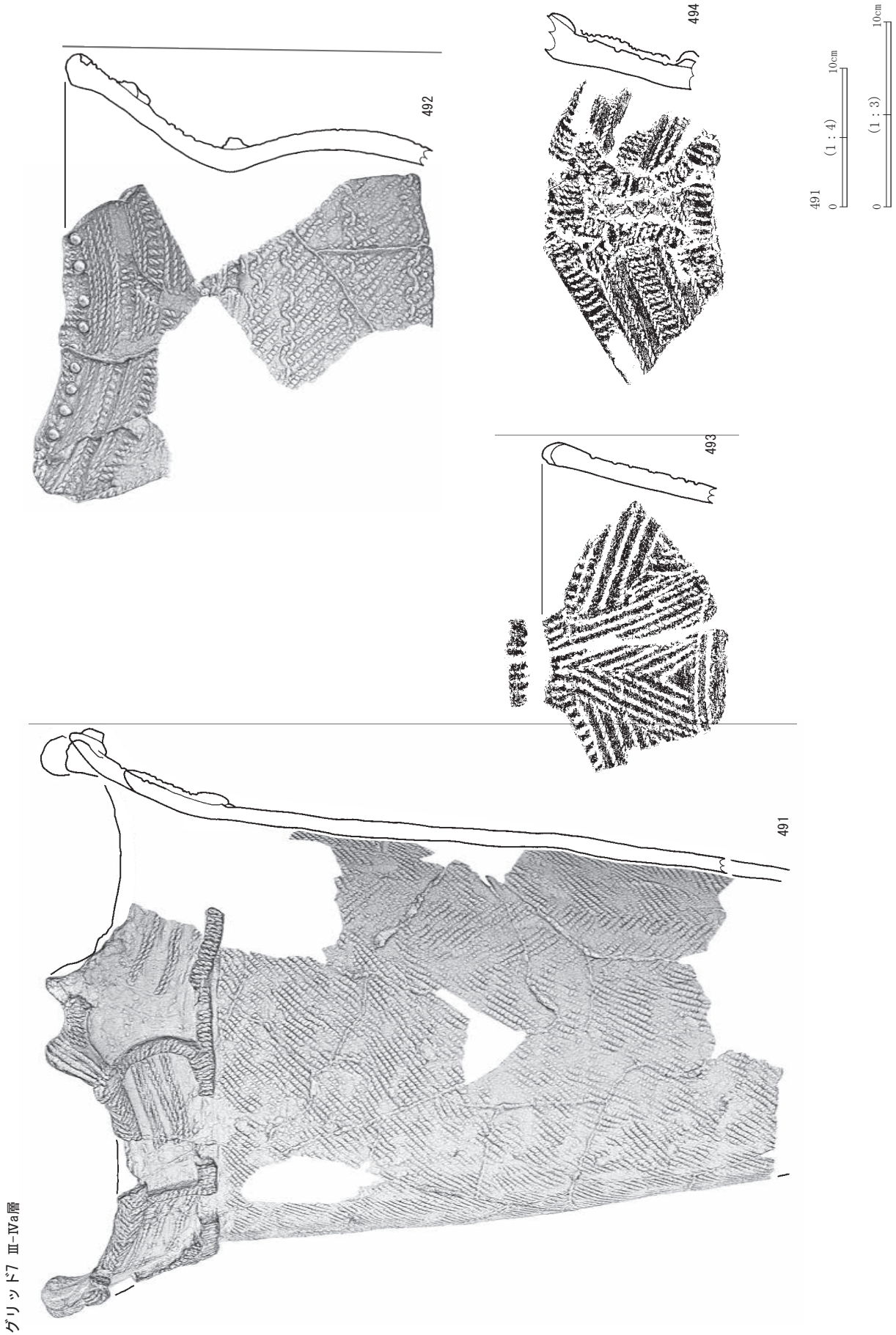
第98図　捨て場出土土器（70）



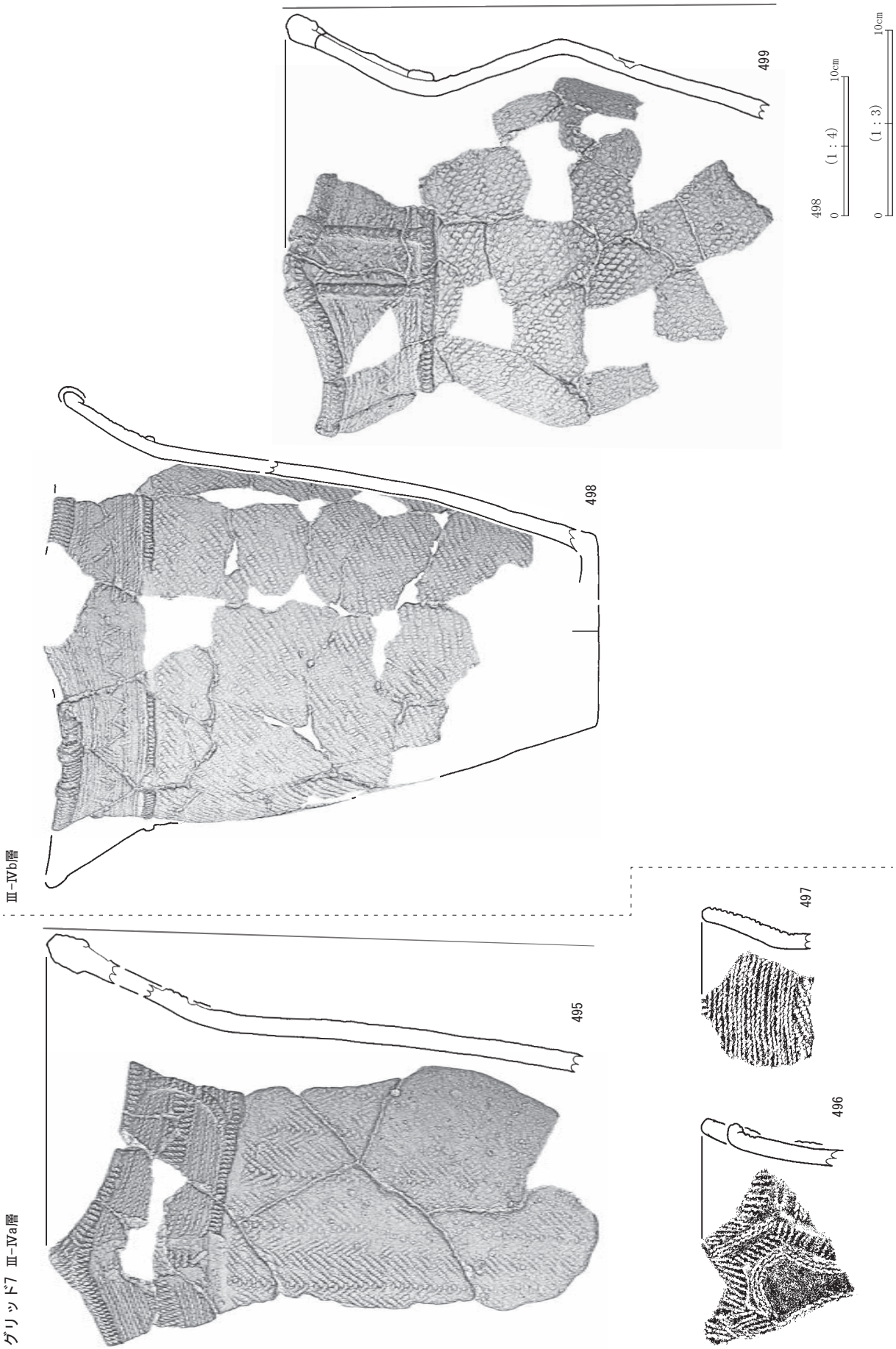
第99図　捨て場出土土器（71）



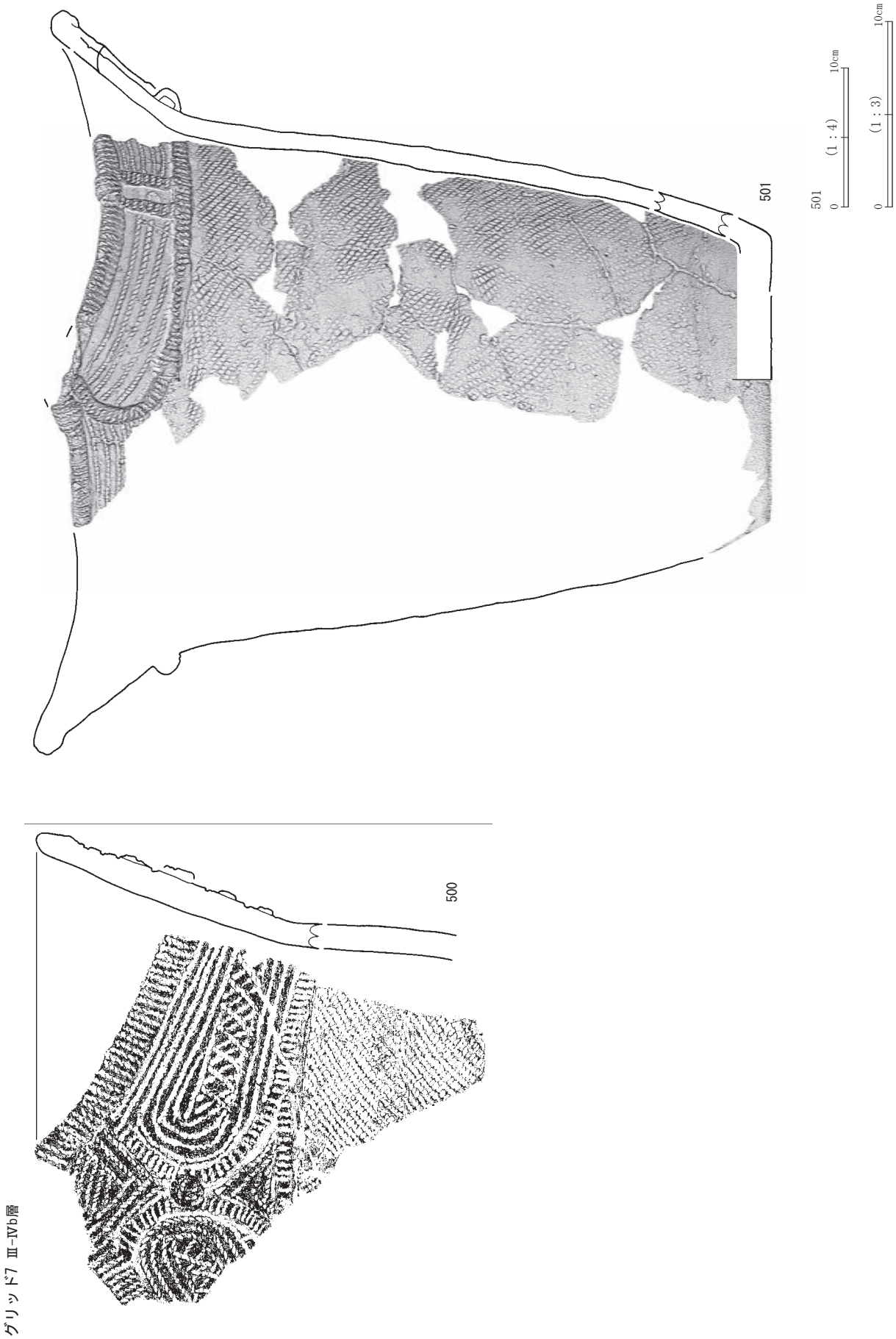
第100図　捨て場出土土器（72）



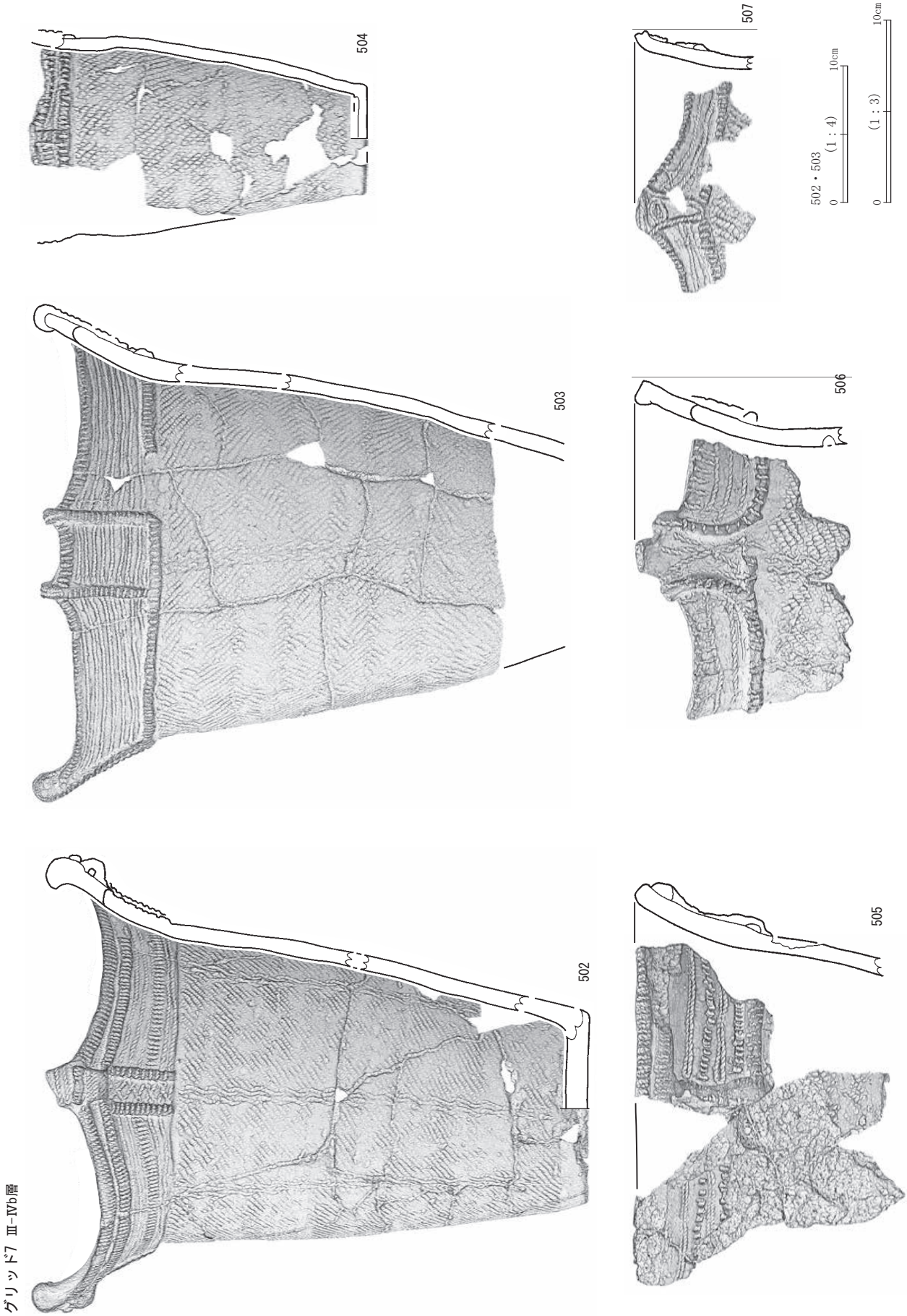
第101図　捨て場出土土器（73）



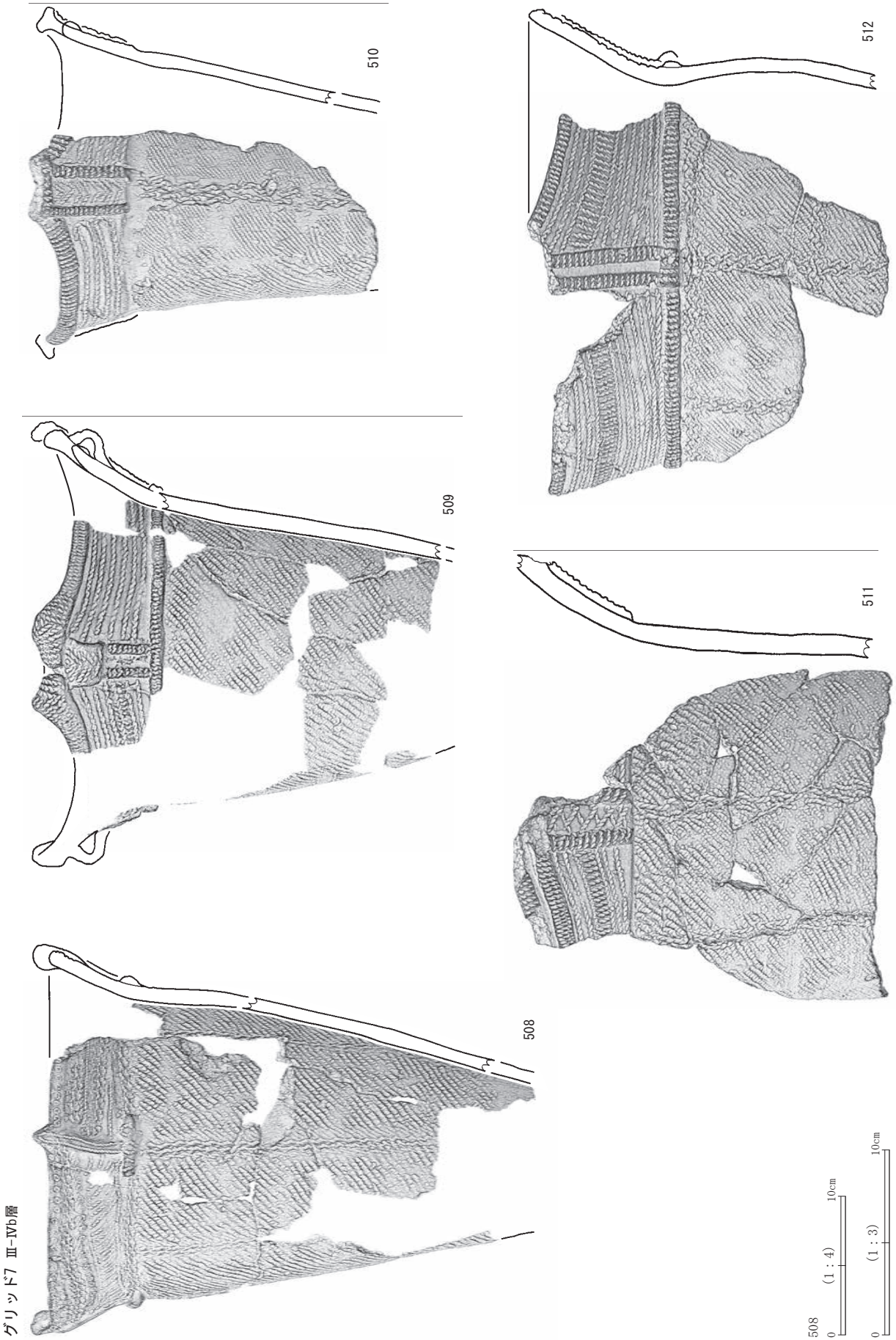
第102図　捨て場出土土器（74）



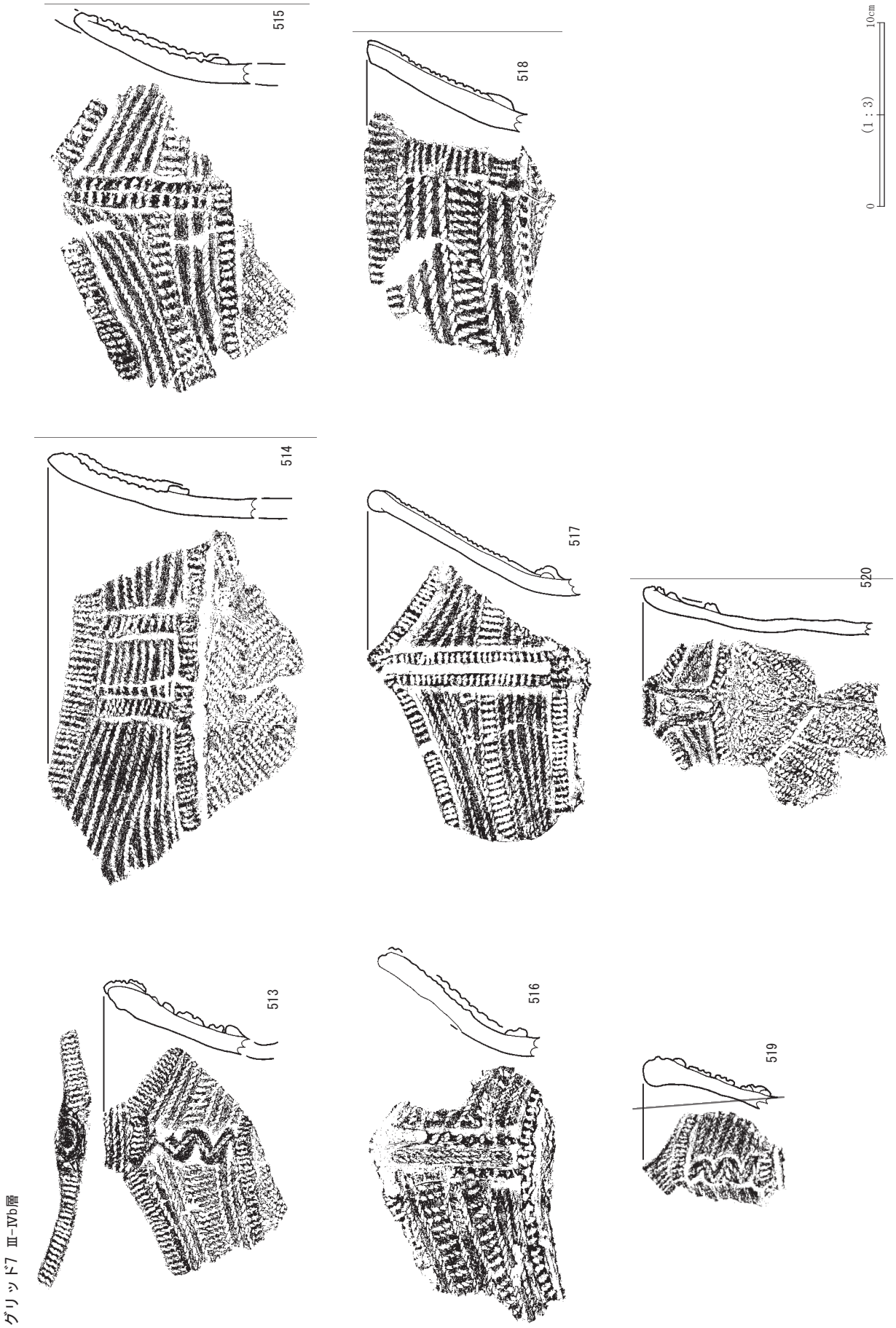
第103図　捨て場出土土器（75）



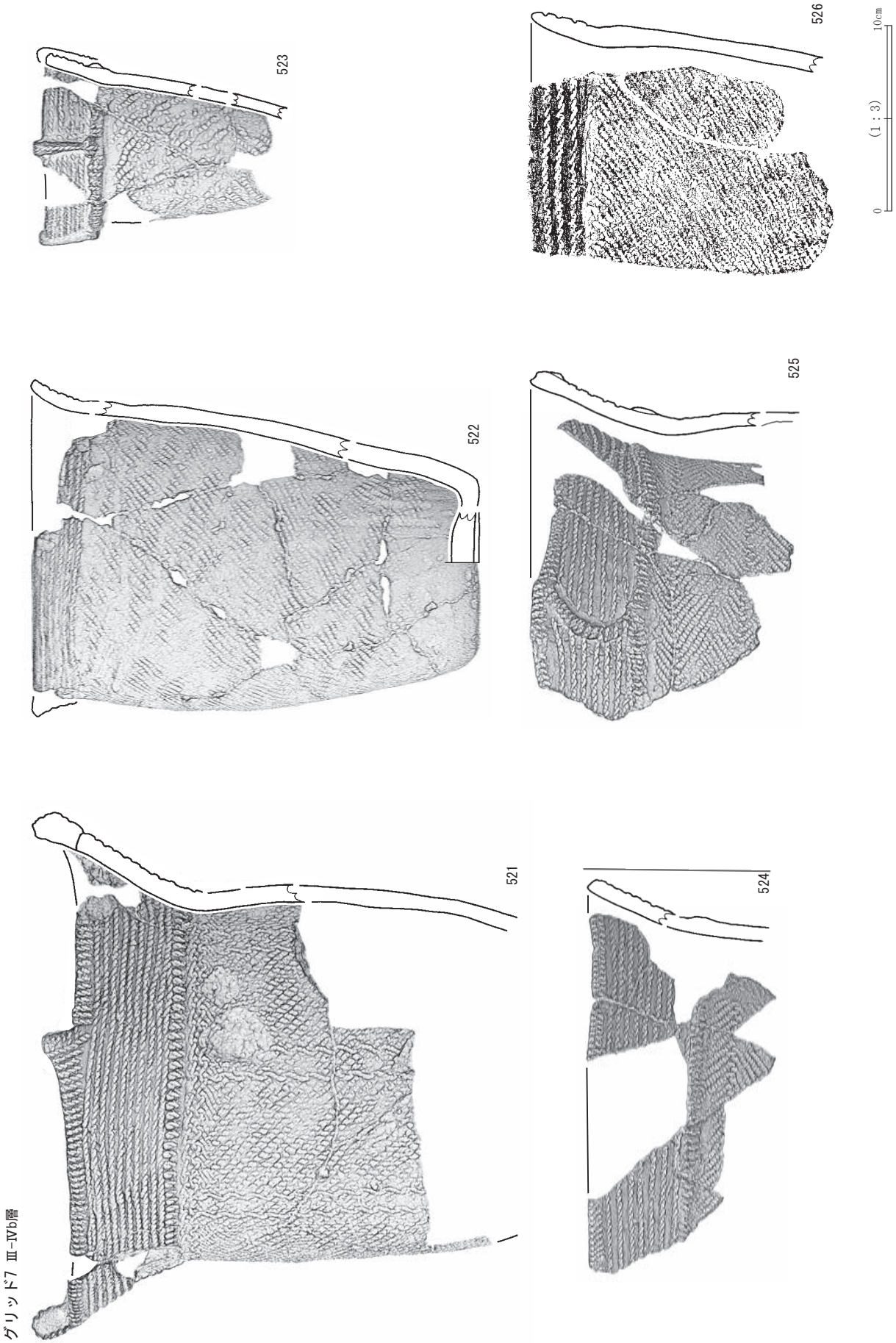
第104図　捨て場出土土器（76）



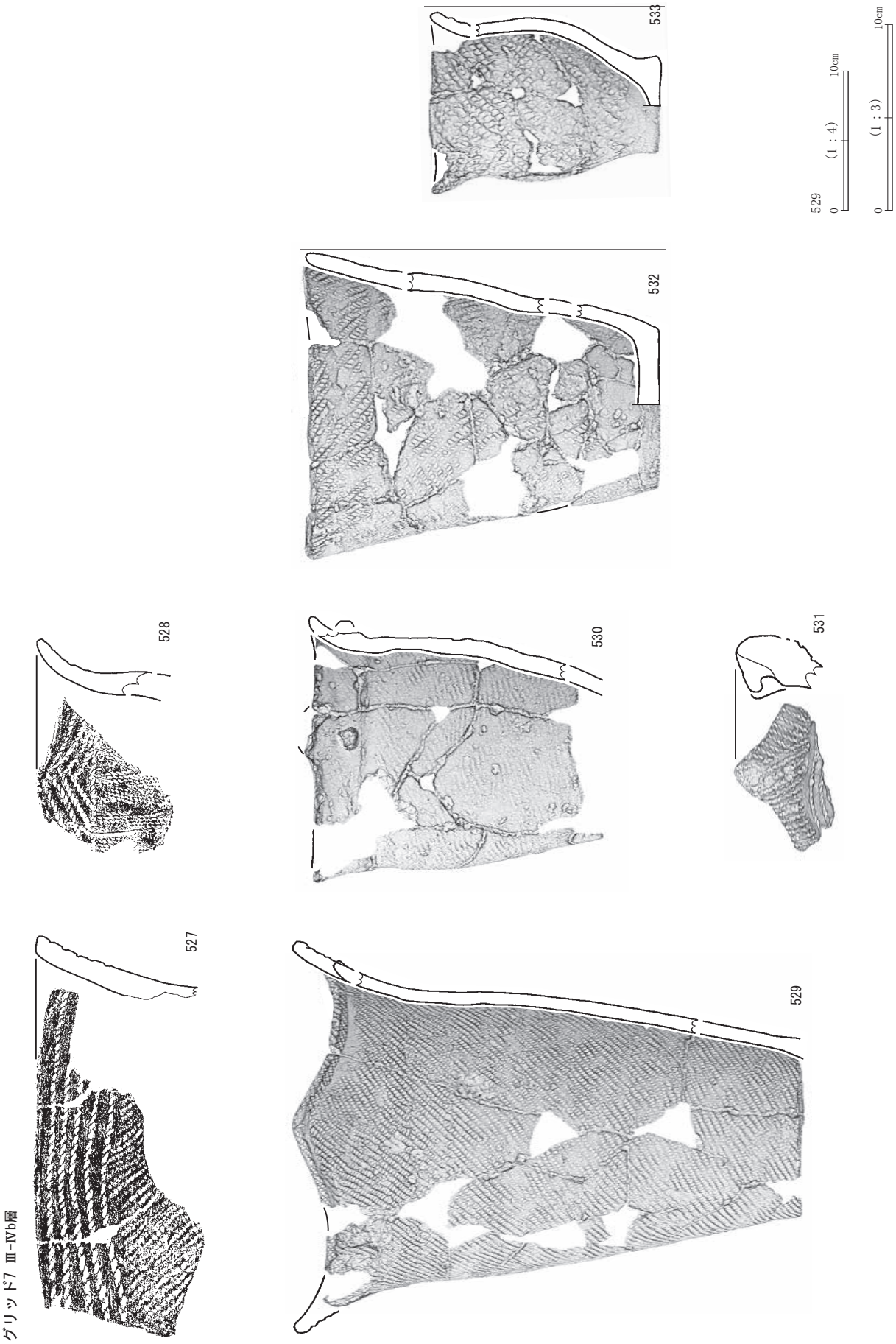
第105図　捨て場出土土器（77）



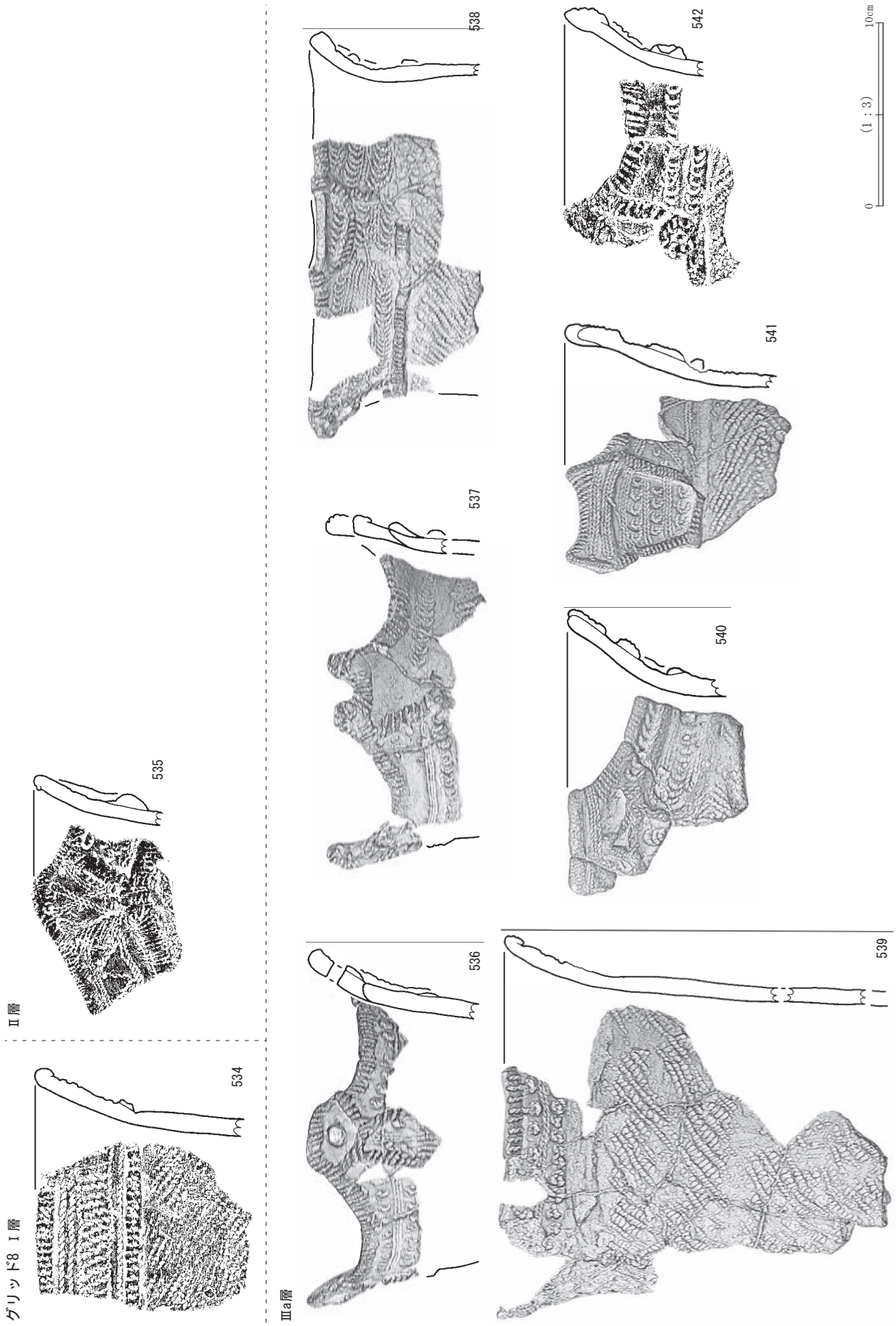
第106図　捨て場出土土器（78）



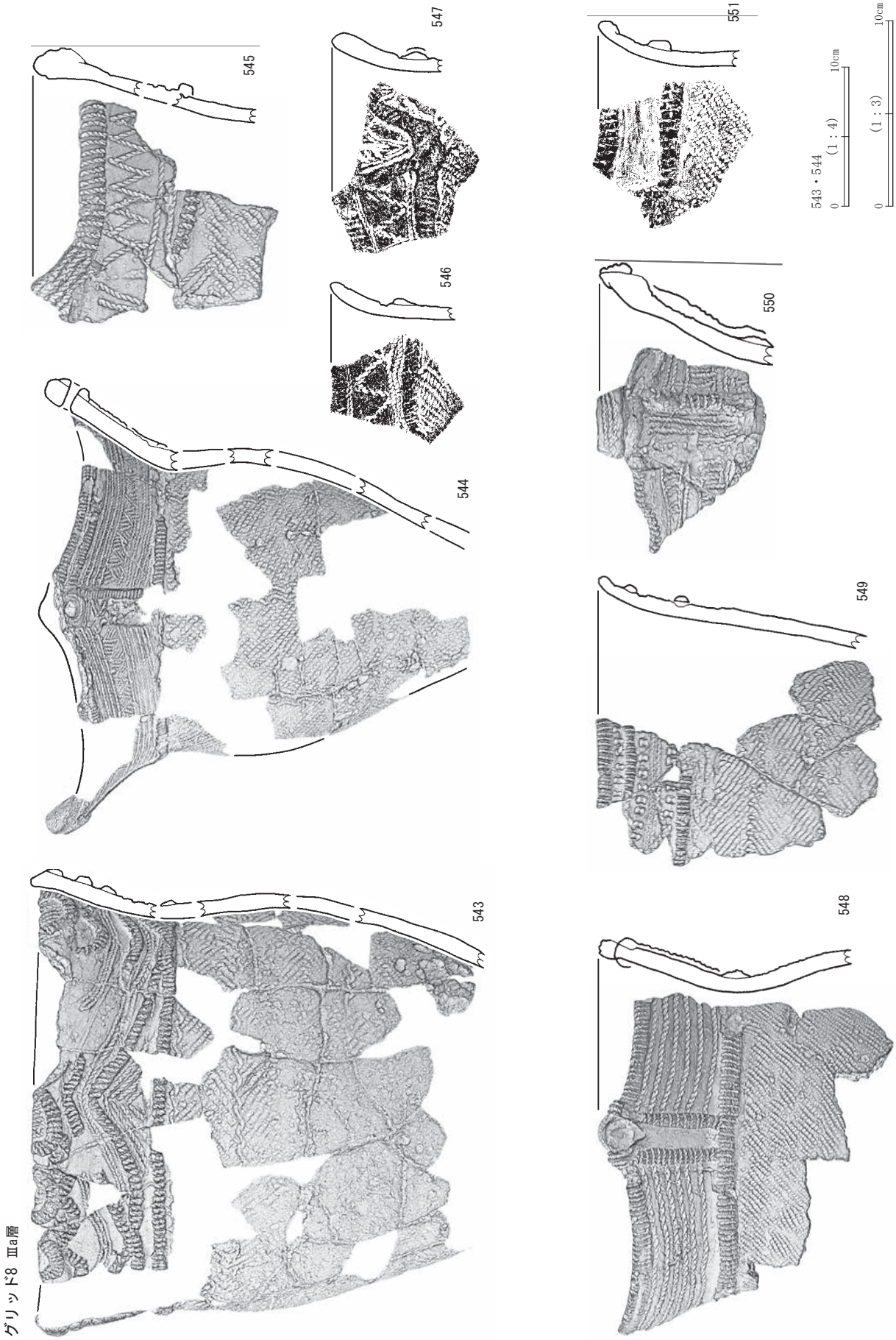
第107図　捨て場出土土器（79）



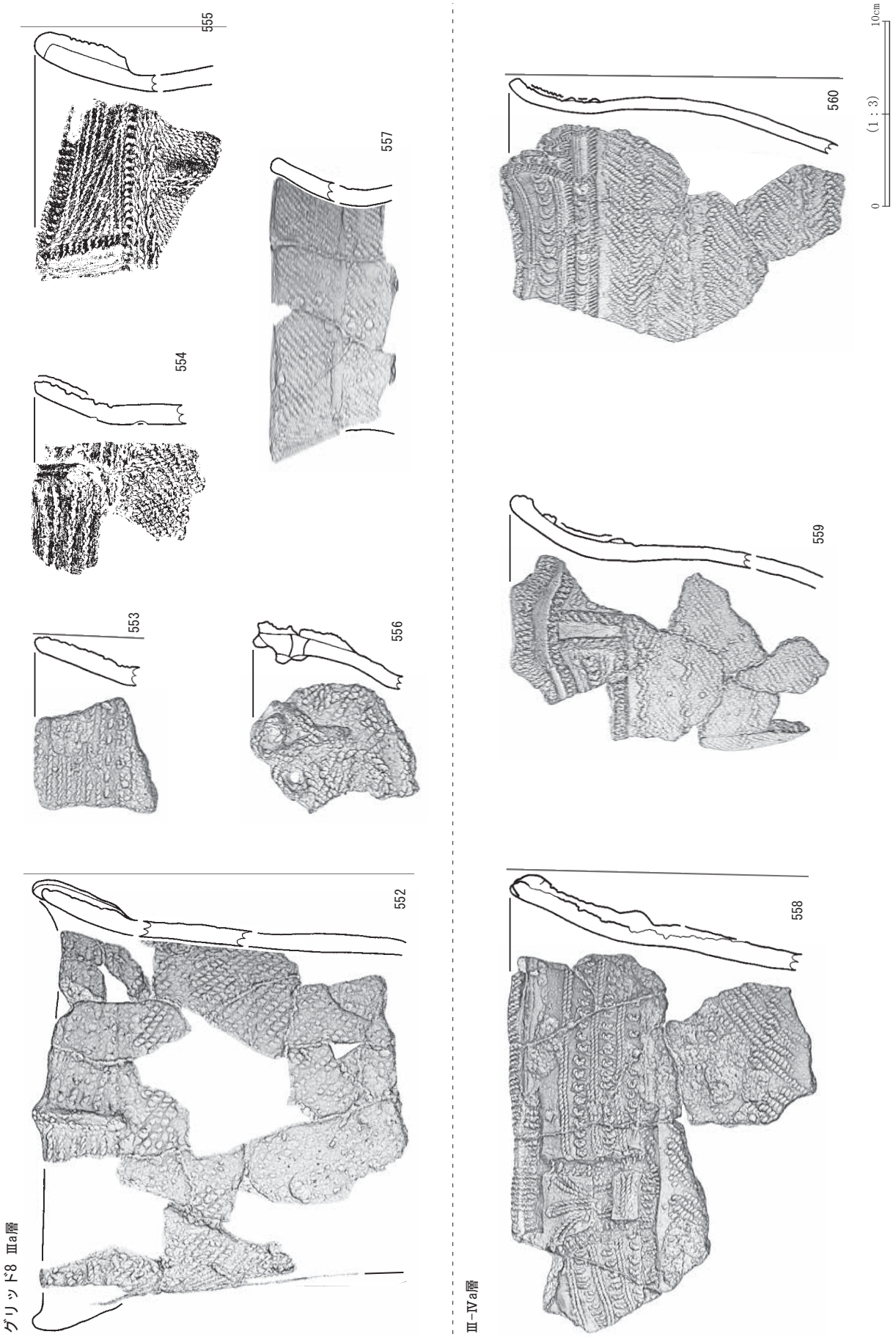
第108図　捨て場出土土器（80）



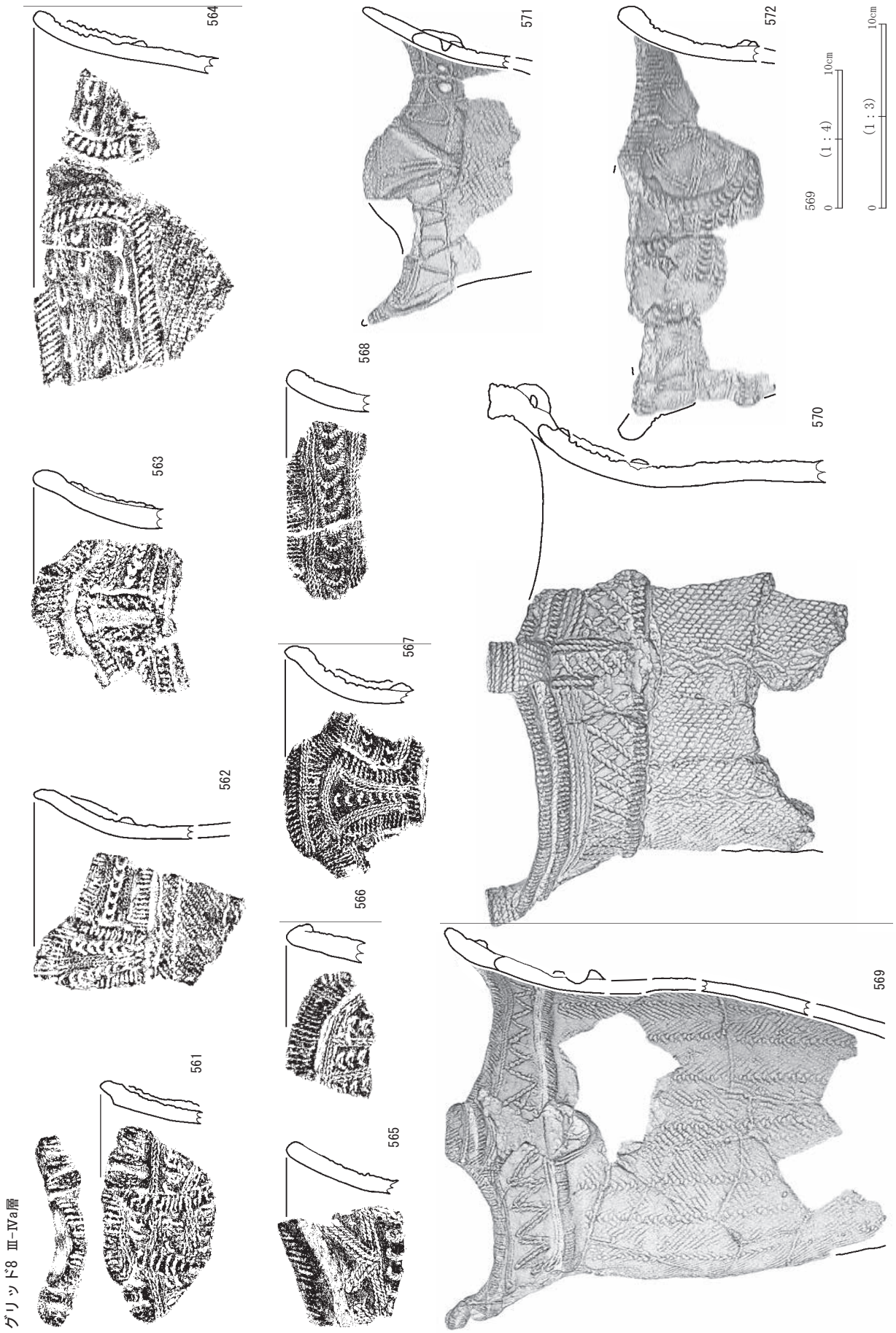
第109図　捨て場出土土器（81）



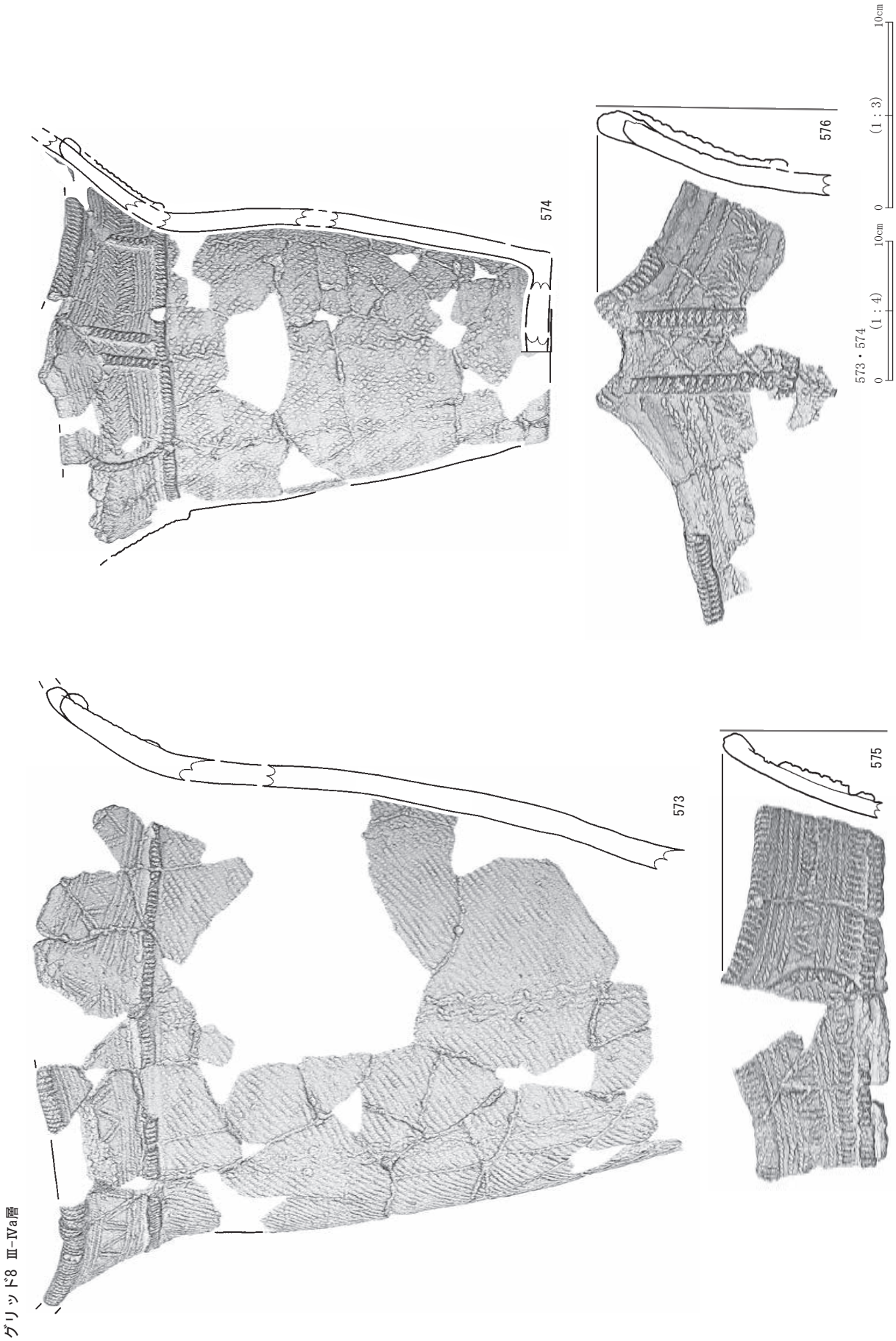
第110図　捨て場出土土器（82）



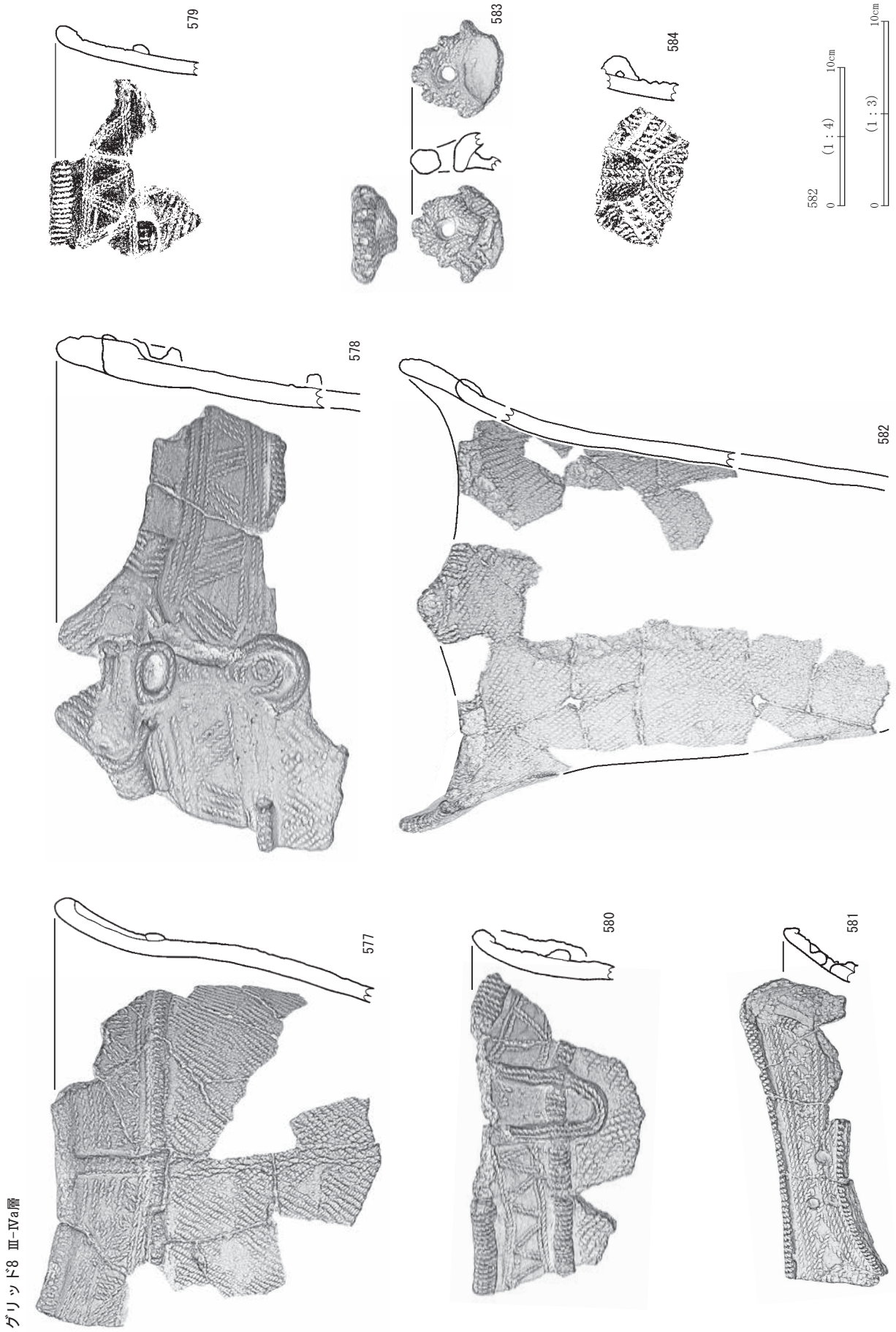
第111図　捨て場出土土器（83）



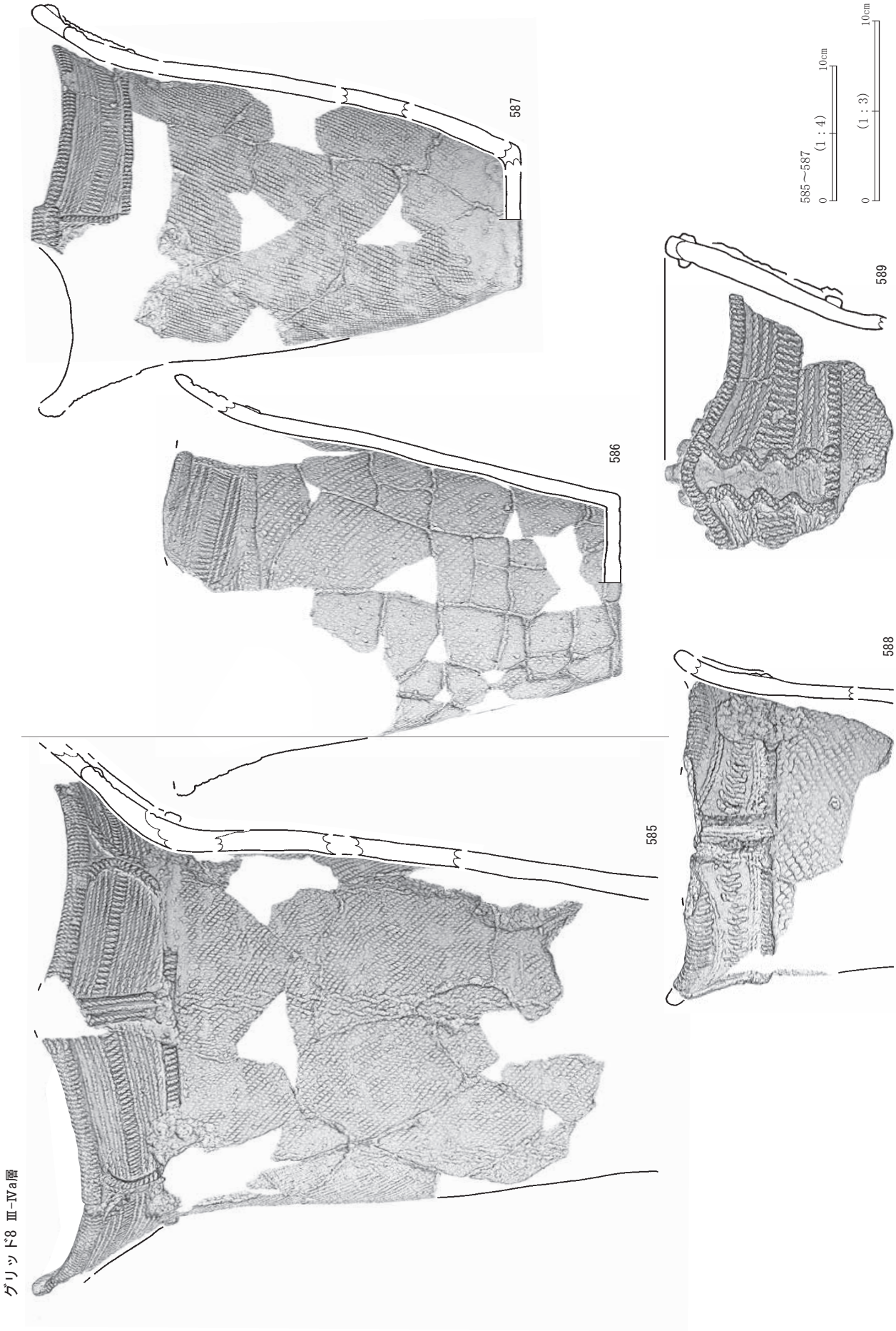
第112図　捨て場出土土器（84）



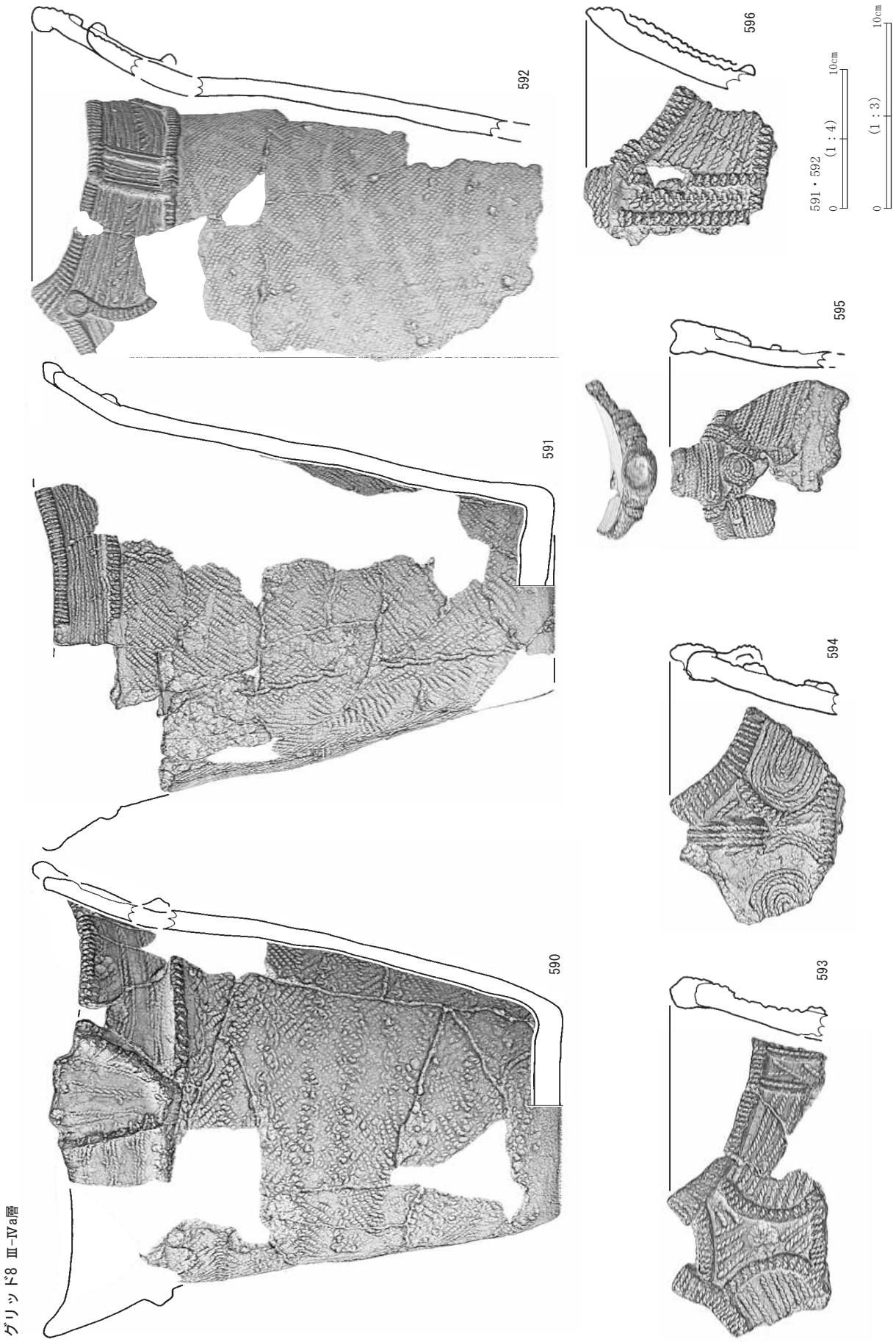
第113図　捨て場出土土器（85）



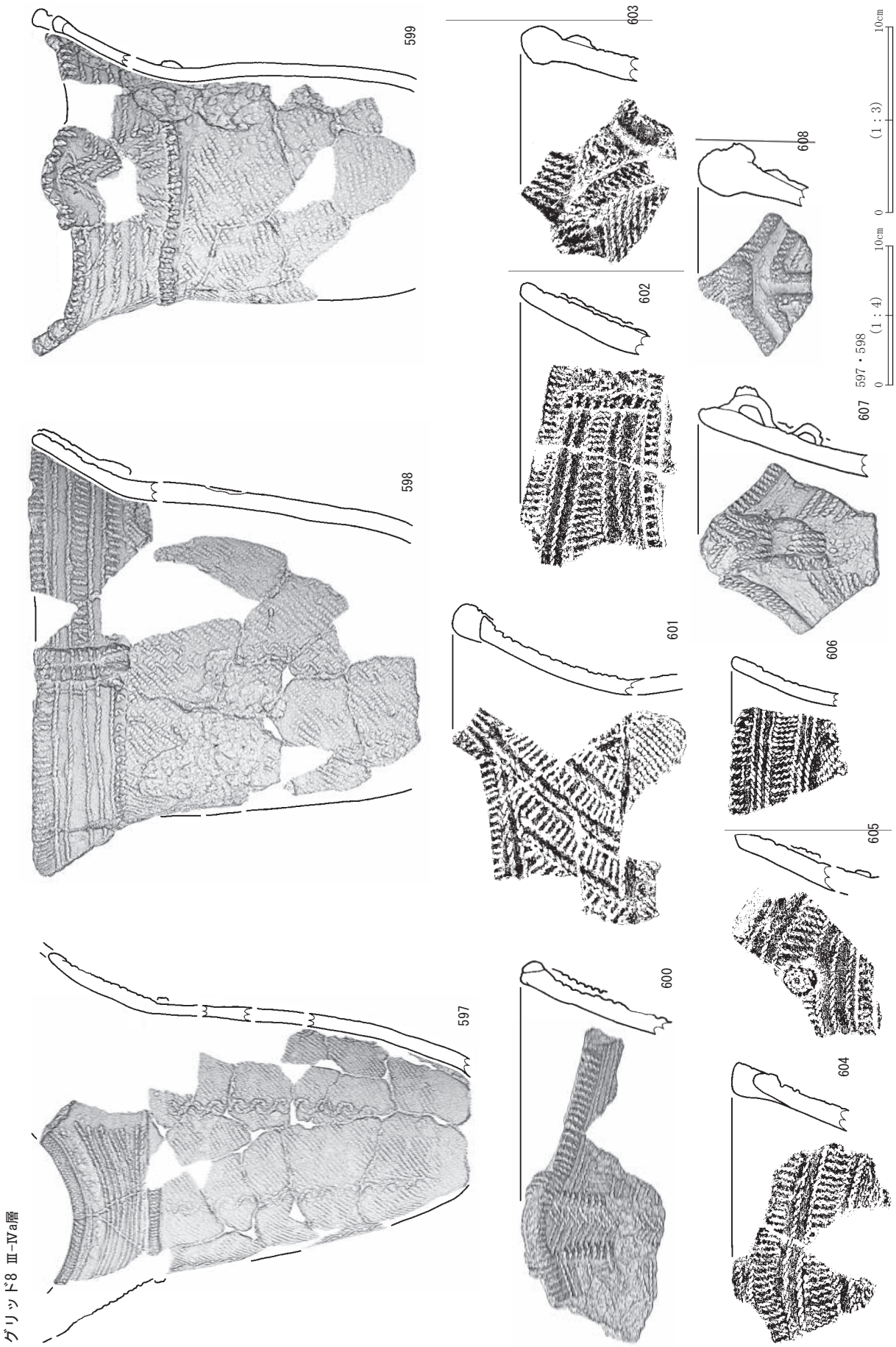
第114図　捨て場出土土器（86）



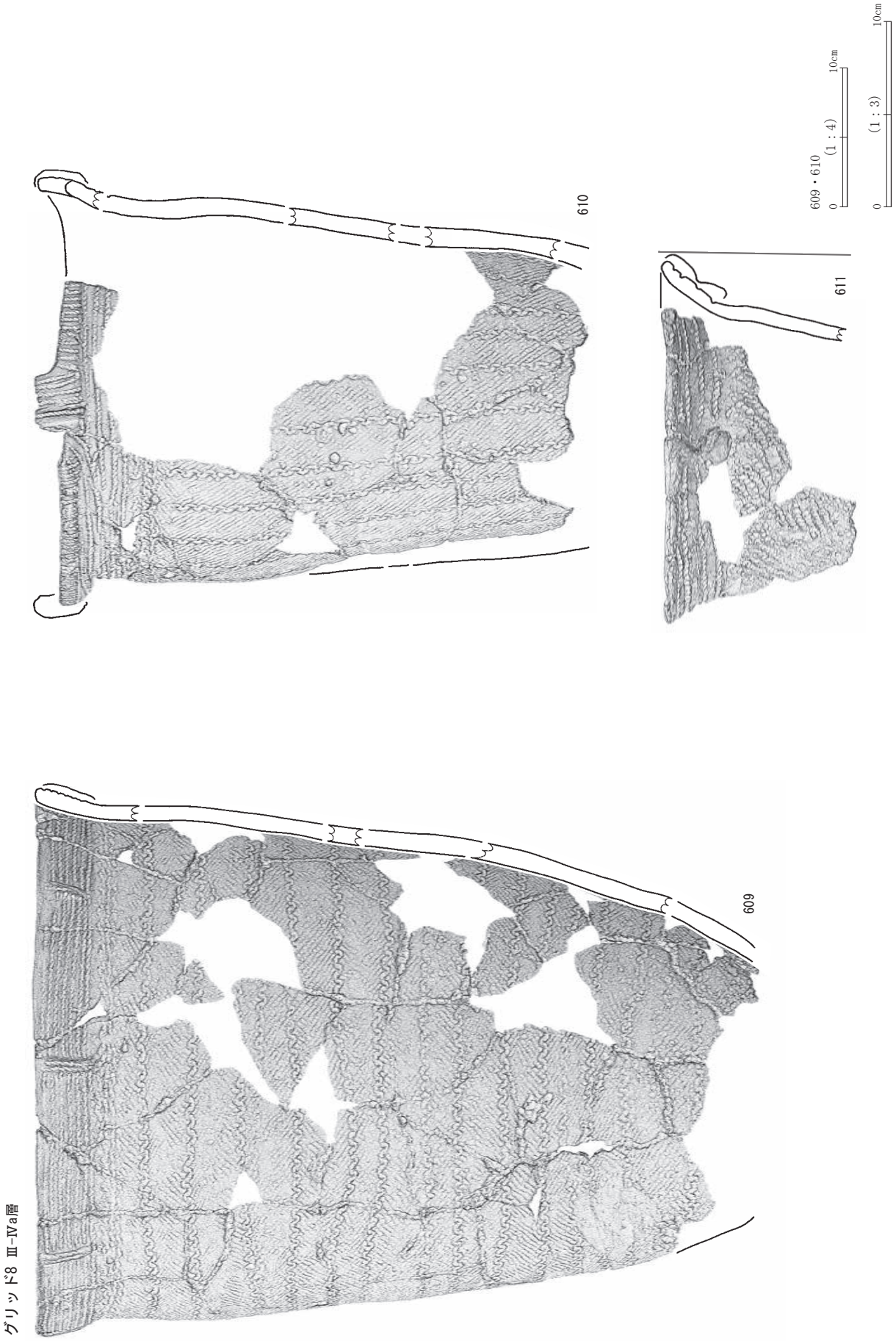
第115図　捨て場出土土器（87）



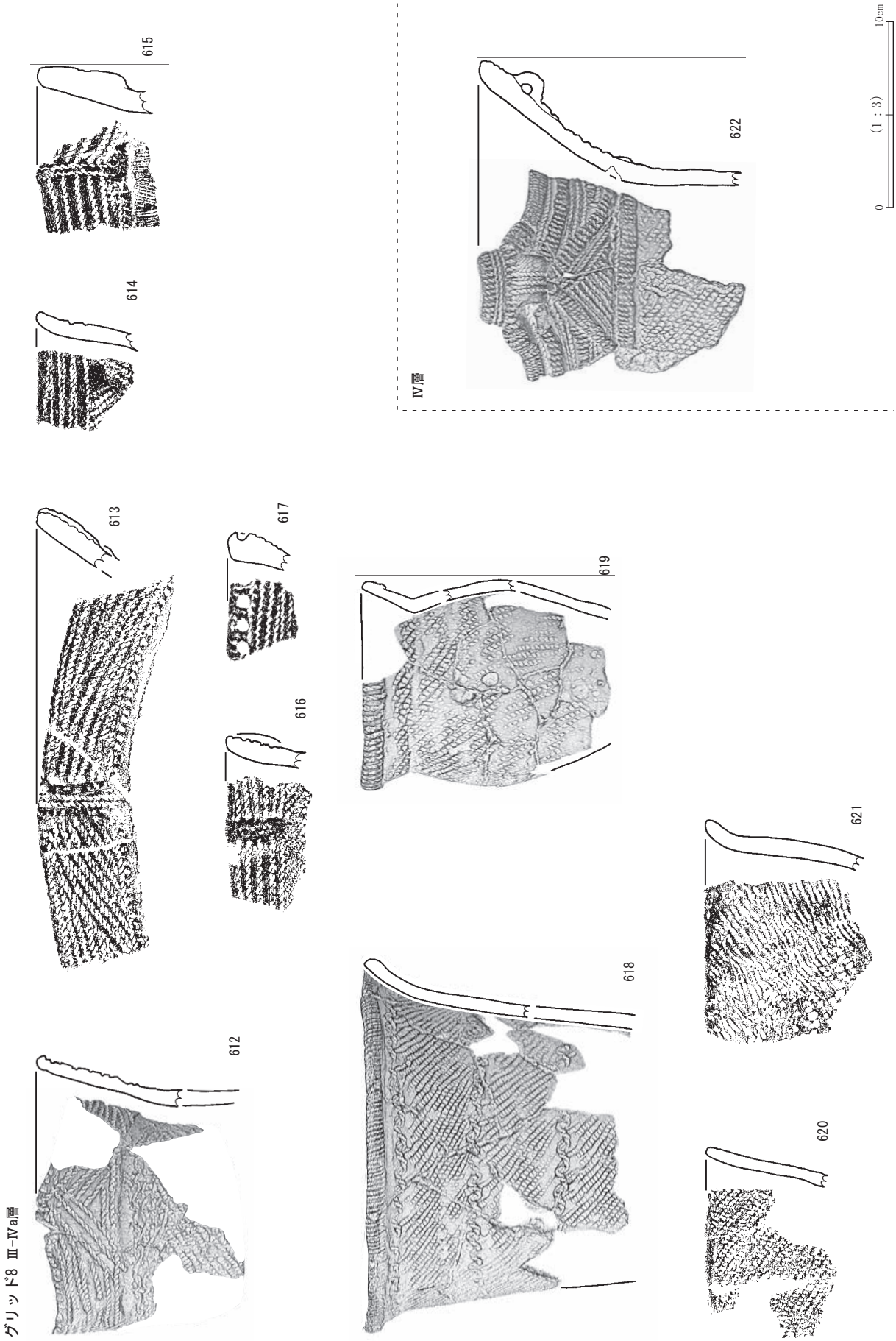
第116図　捨て場出土土器（88）



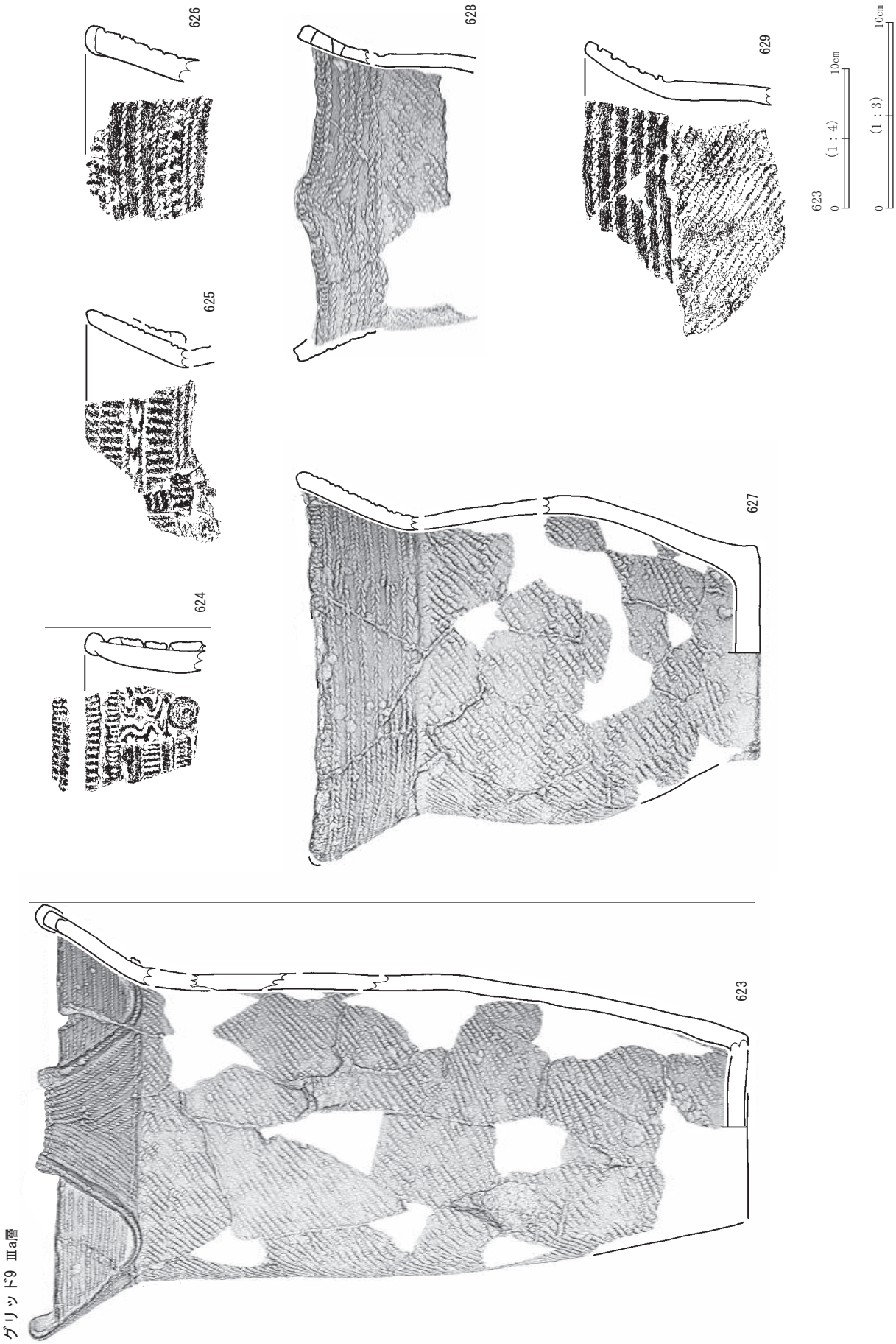
第117図　捨て場出土土器（89）



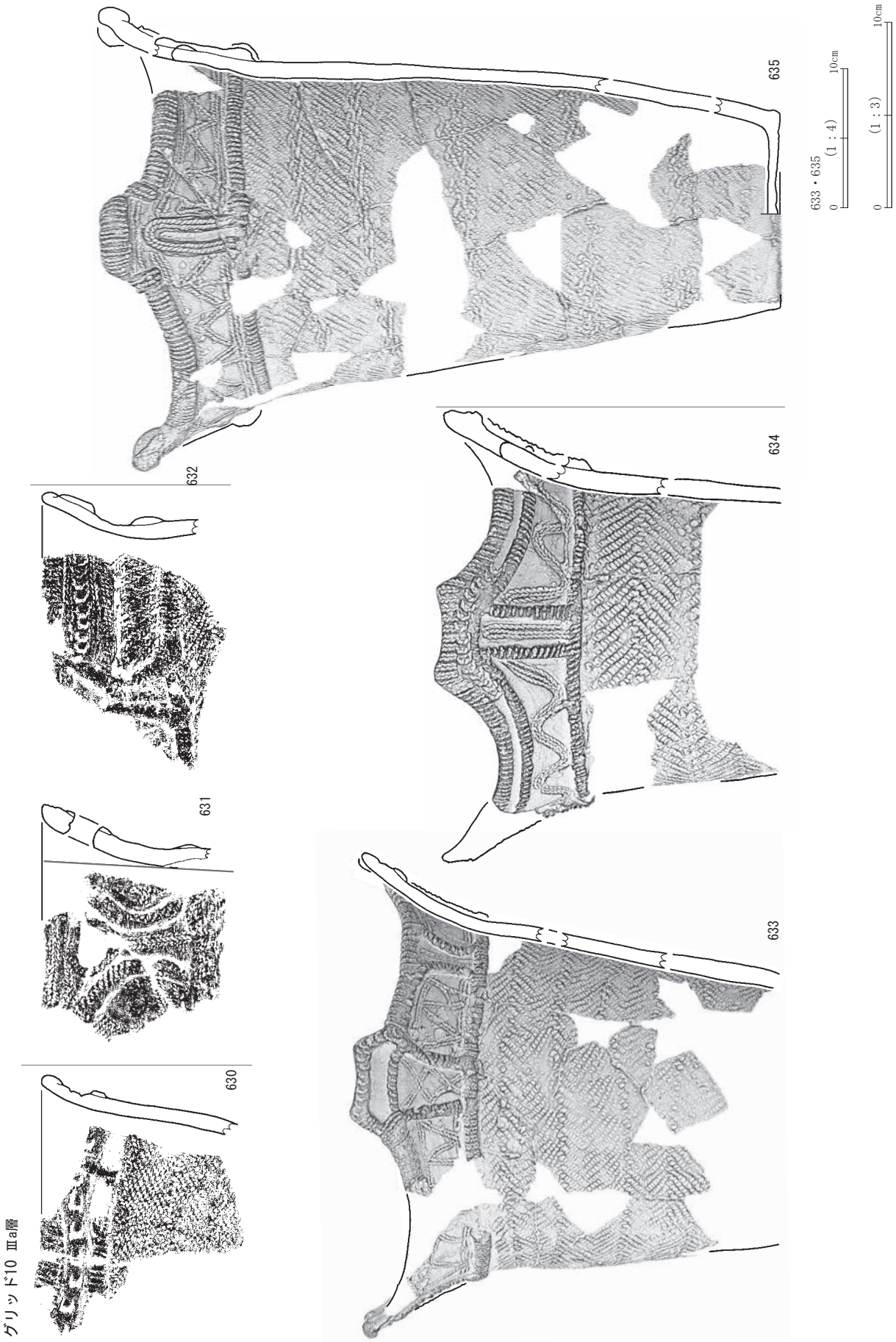
第118図　捨て場出土土器（90）



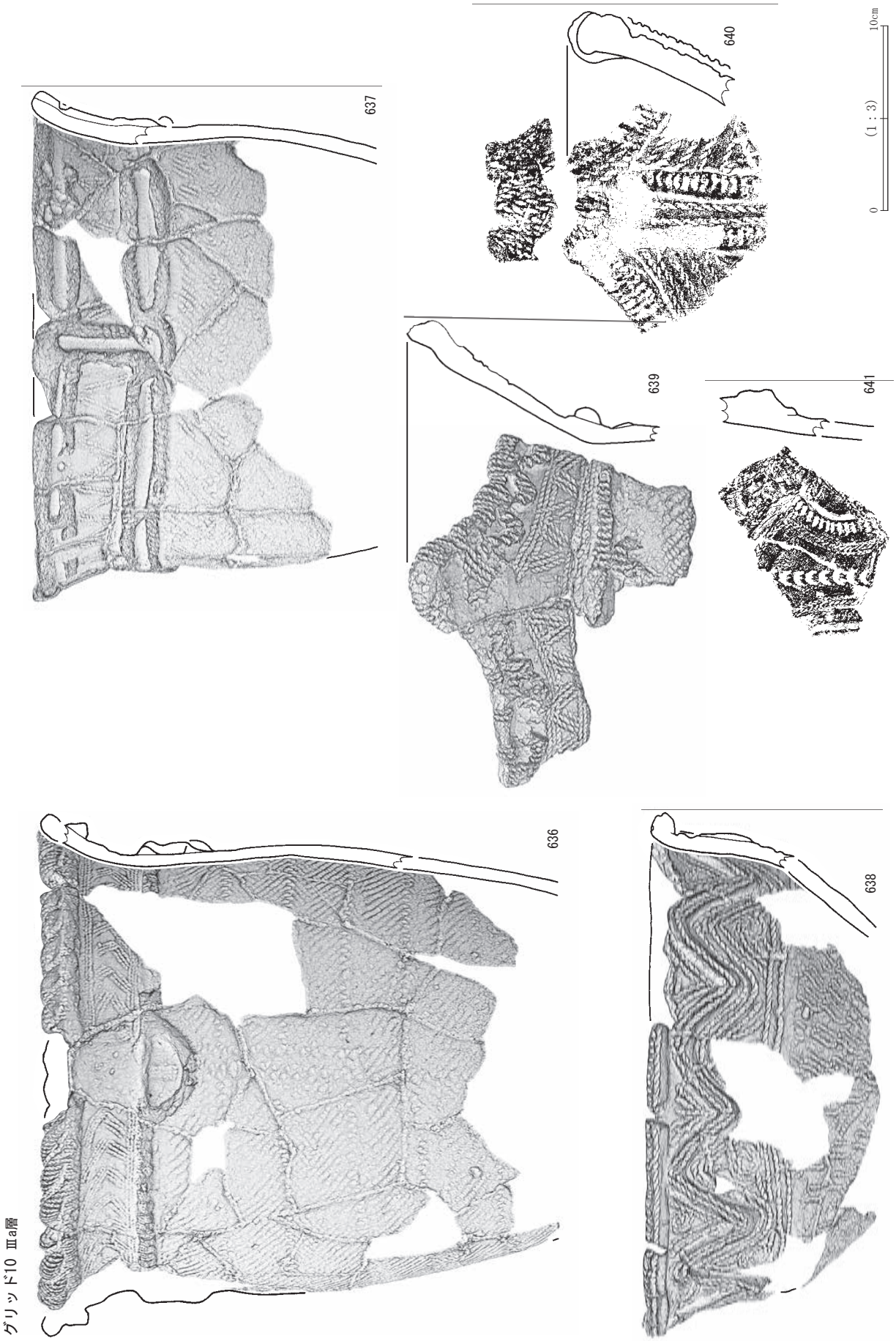
第119図　捨て場出土土器（91）



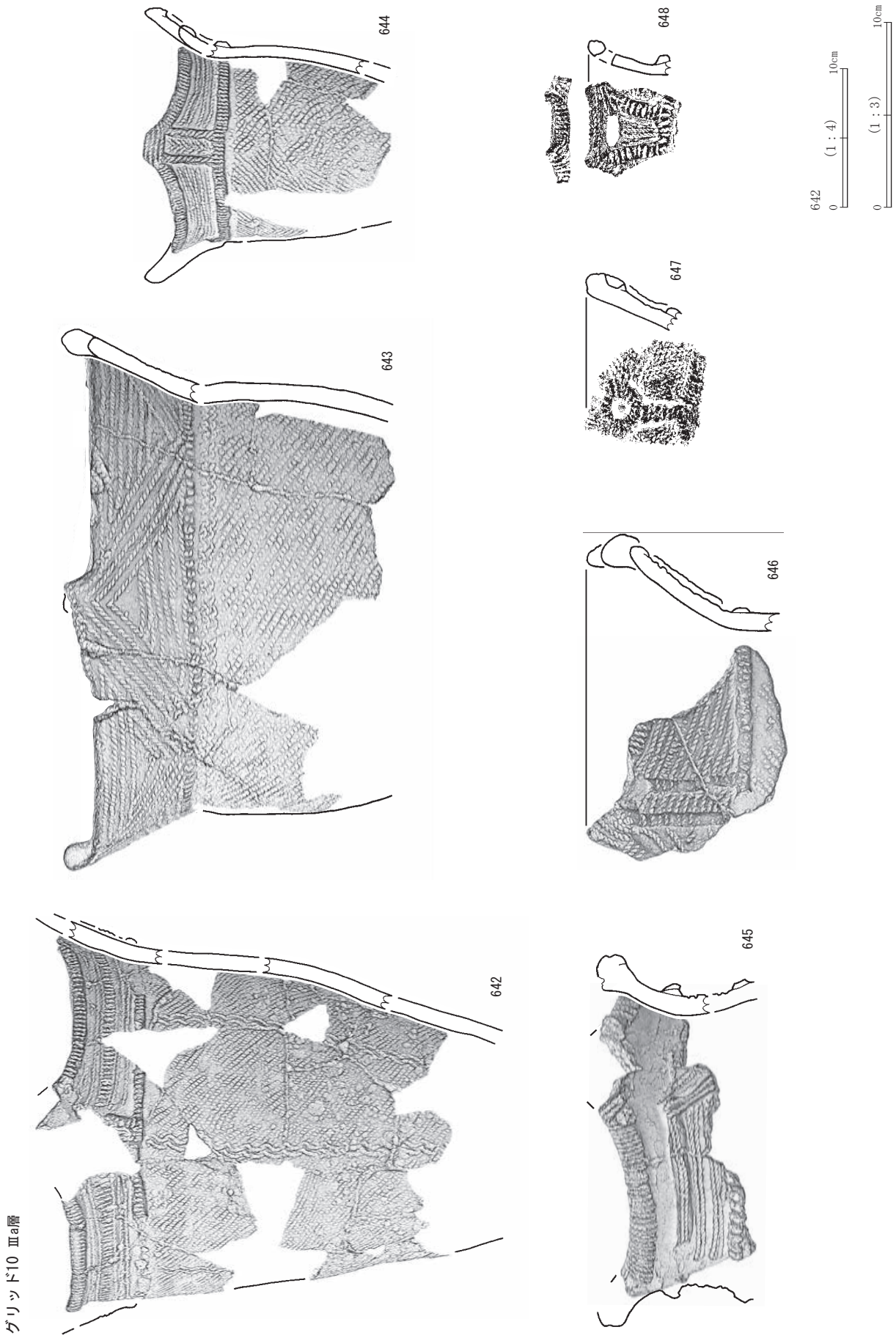
第120図　捨て場出土土器（92）



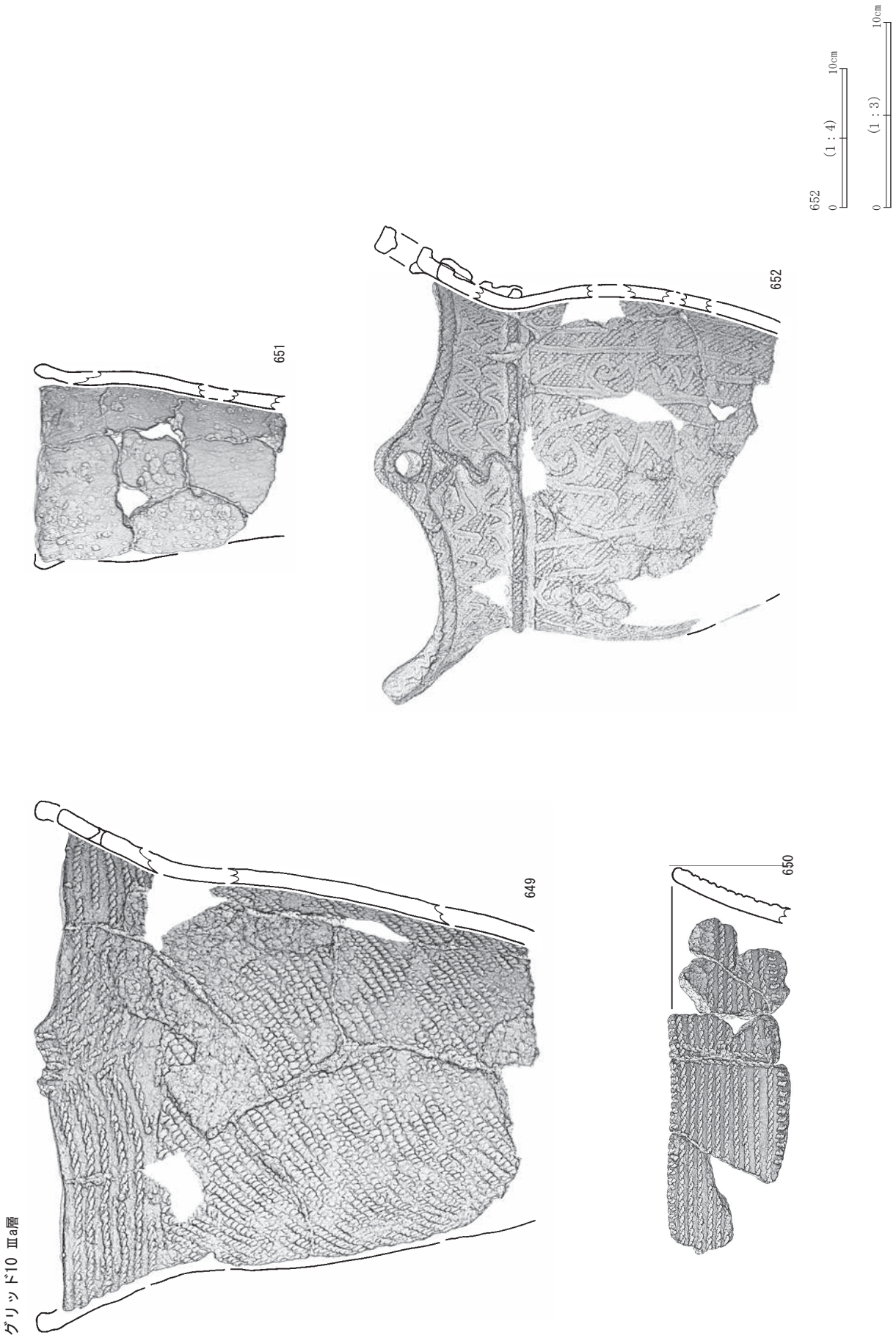
第121図　捨て場出土土器（93）



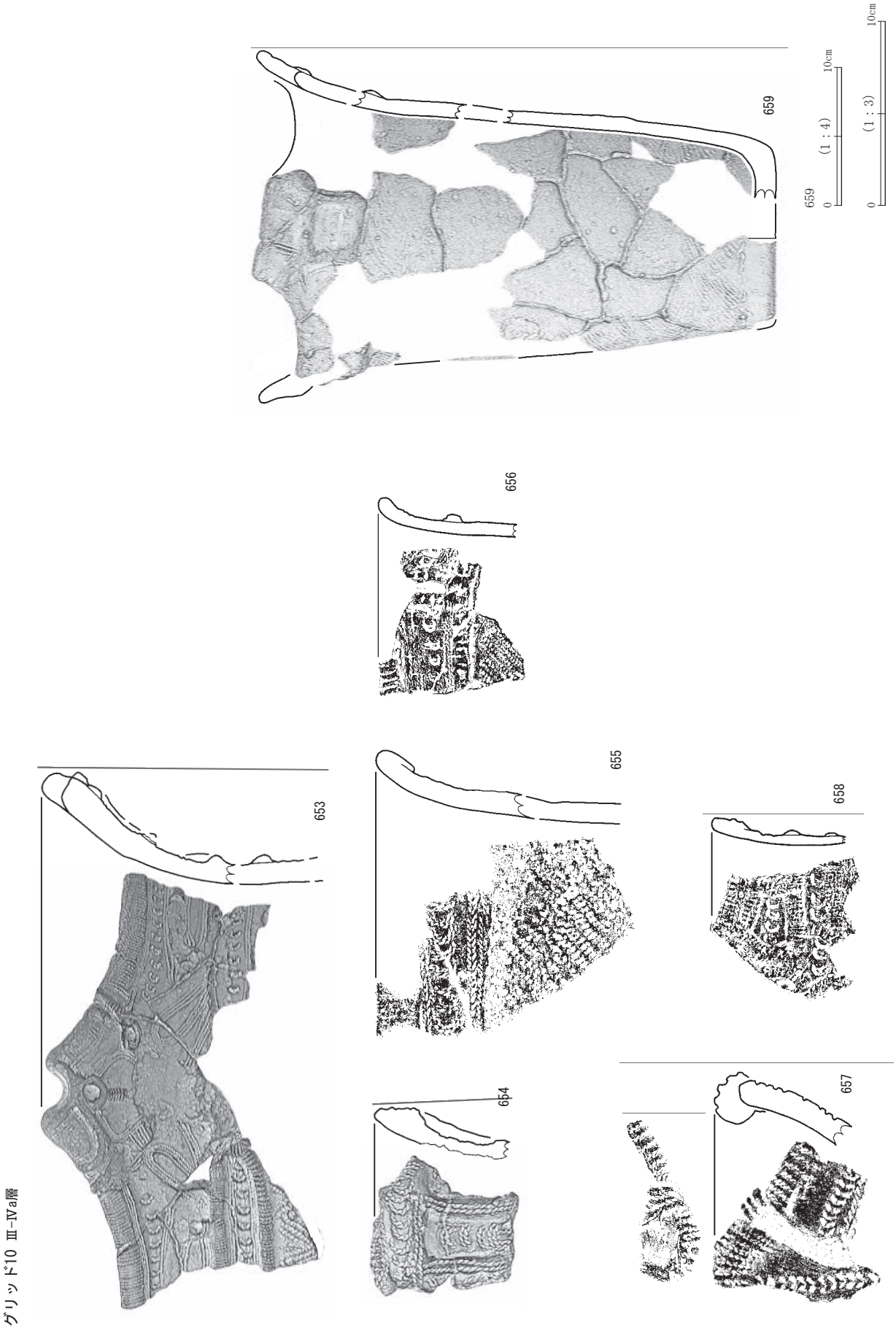
第122図　捨て場出土土器（94）



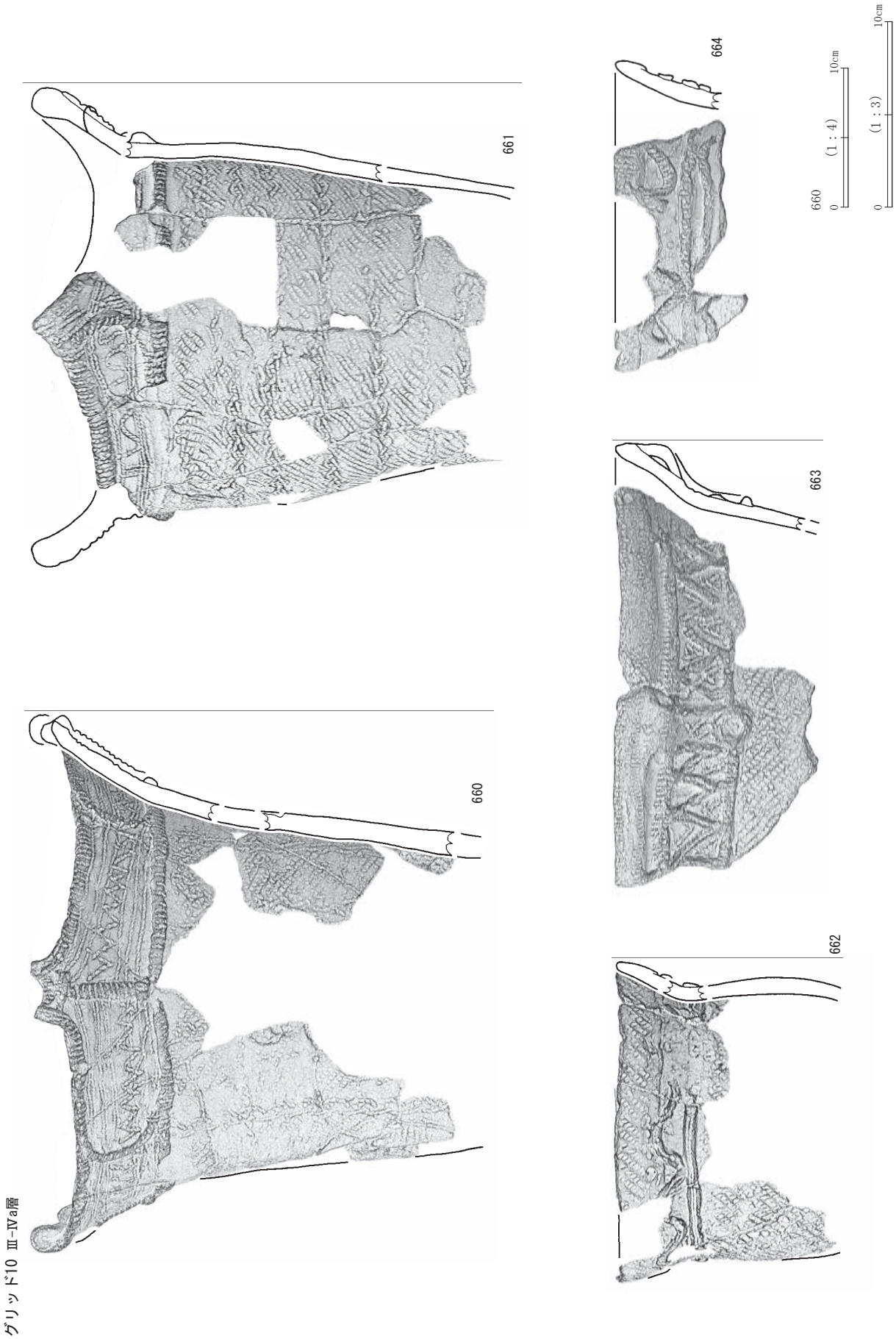
第123図　捨て場出土土器（95）



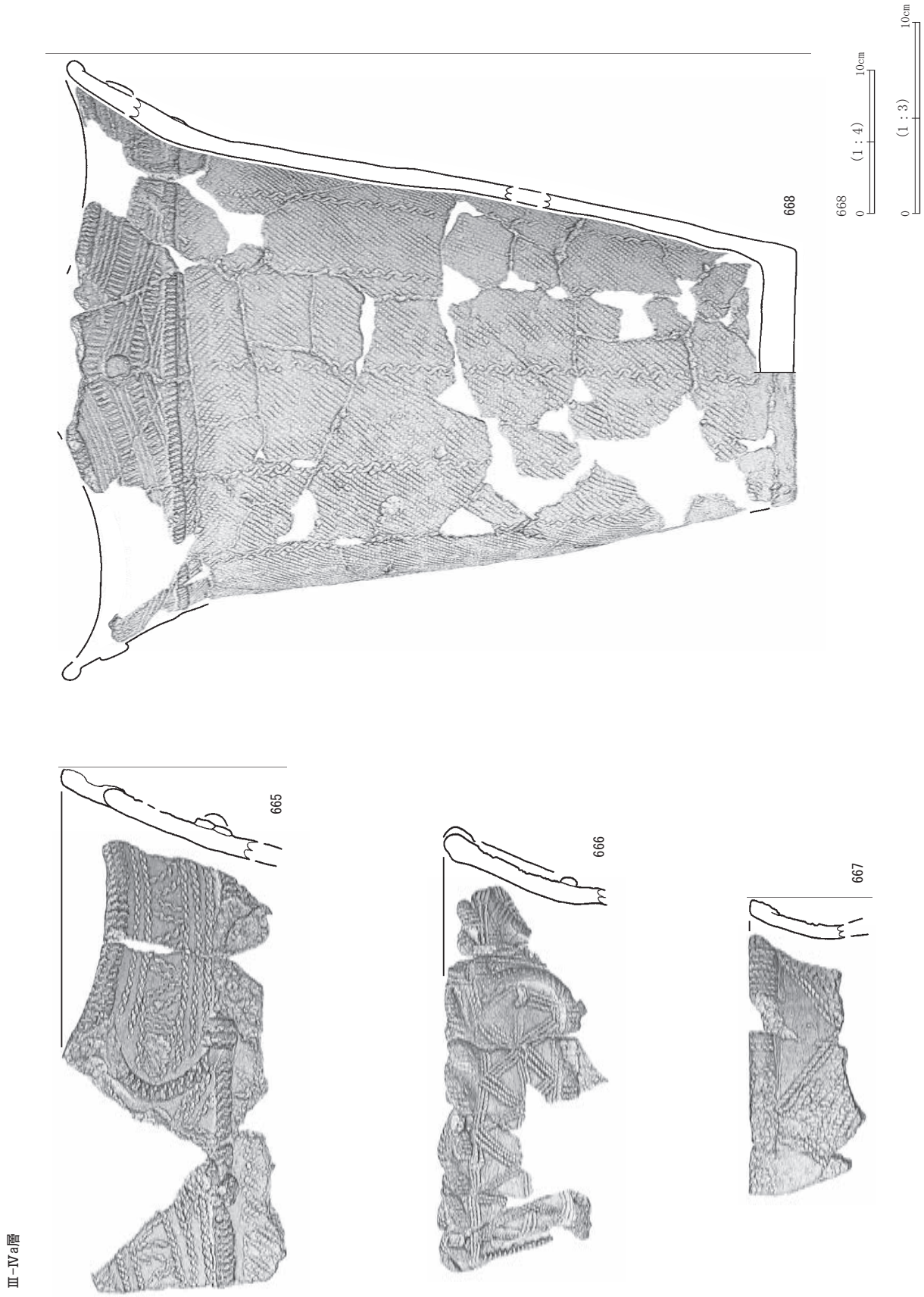
第124図　捨て場出土土器（96）



第125図　捨て場出土土器（97）

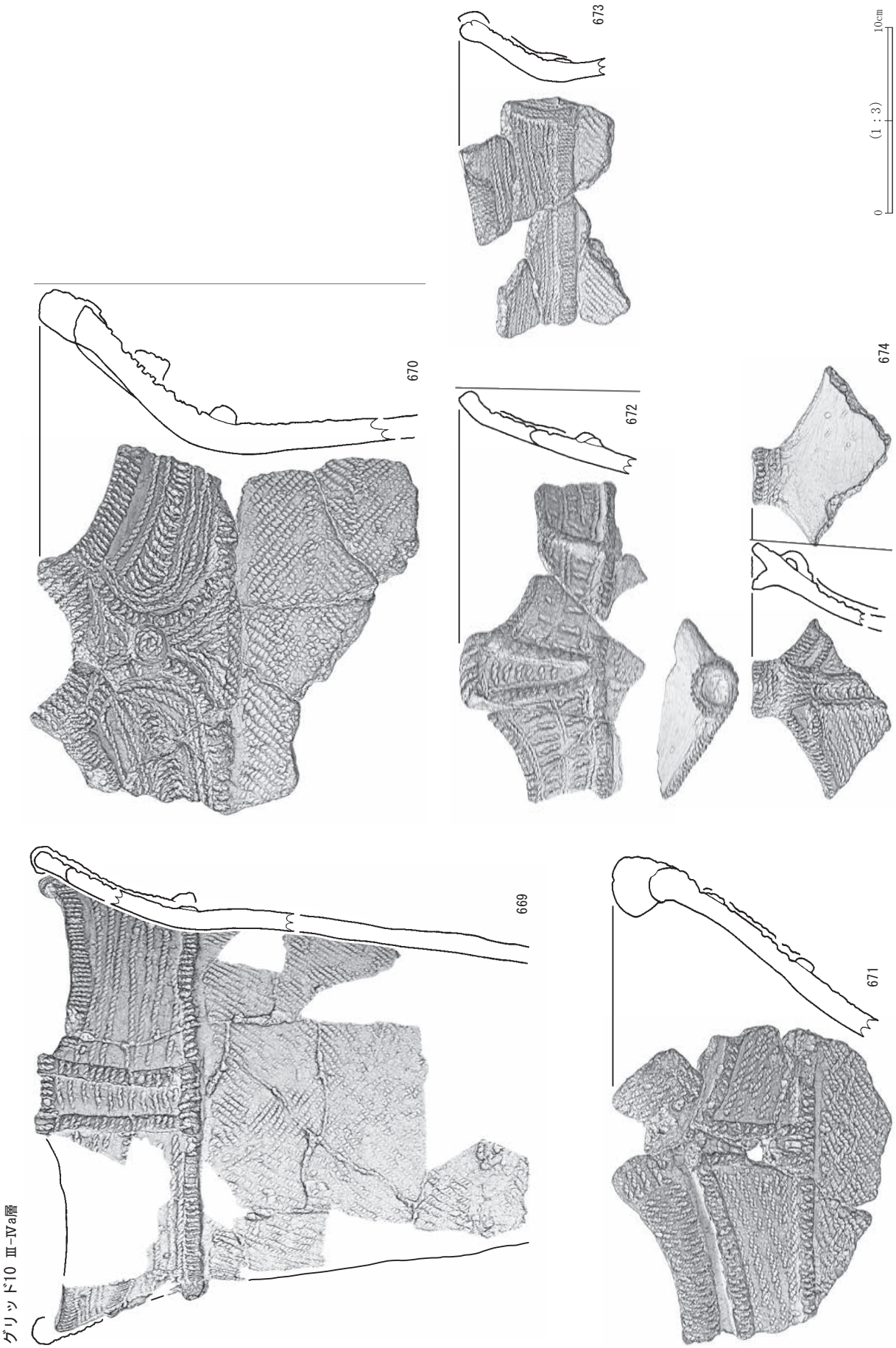


第126図　捨て場出土土器（98）

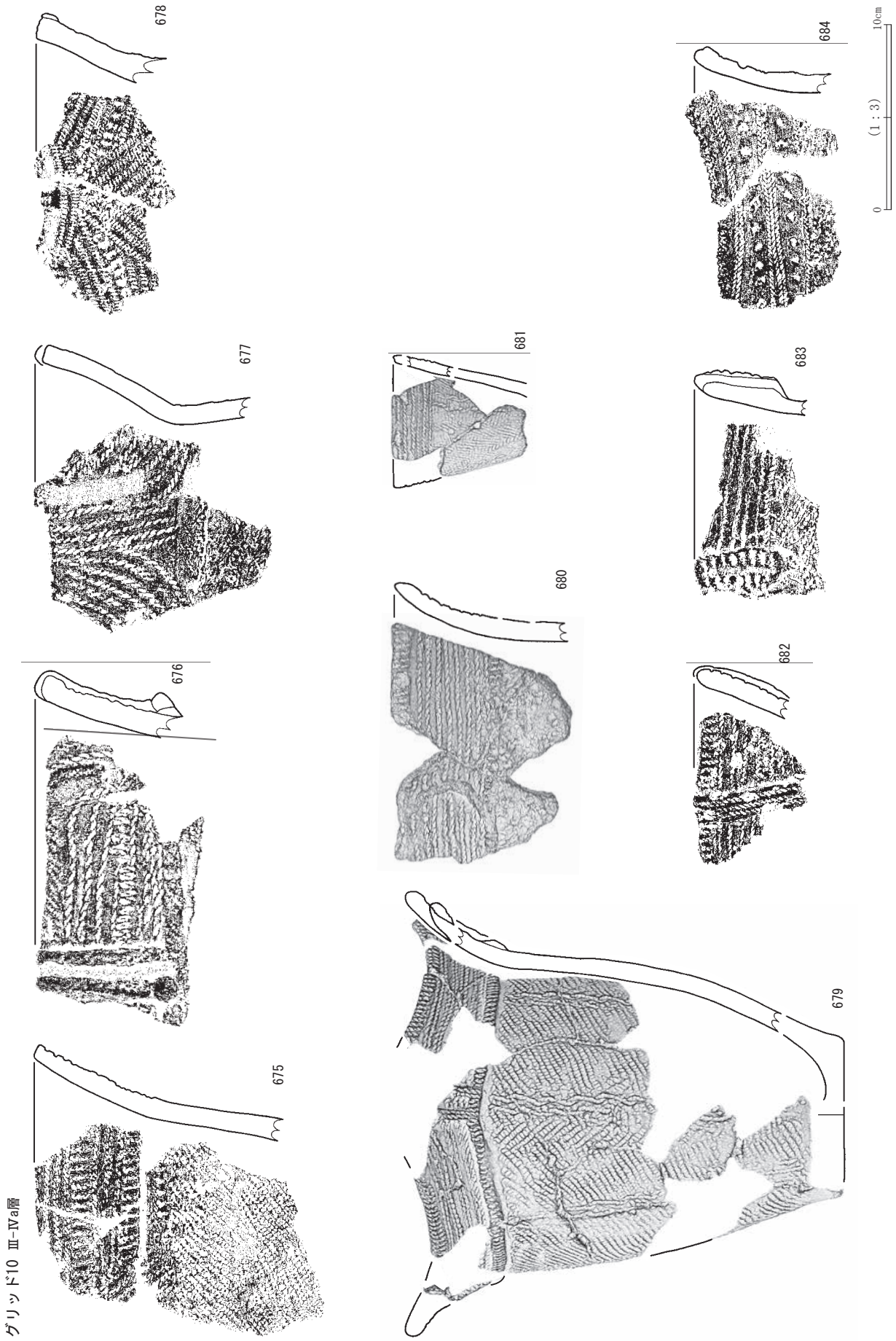


グリッド10 Ⅲ-Ⅳa層

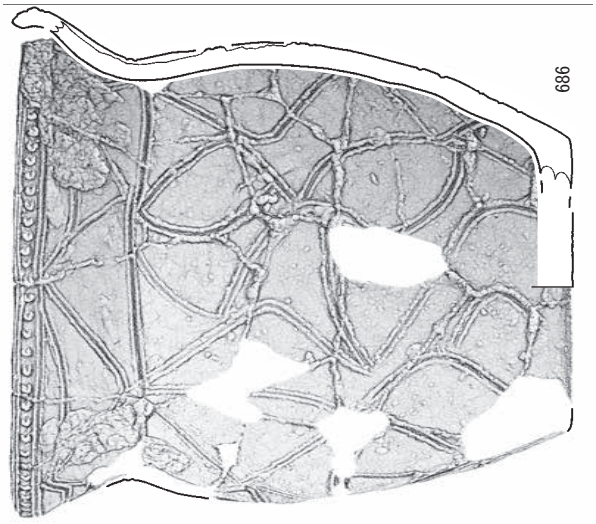
第127図　捨て場出土土器（99）

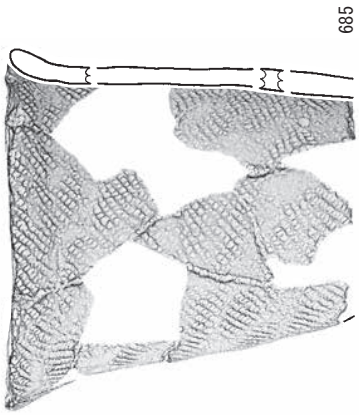


第128図　捨て場出土土器（100）



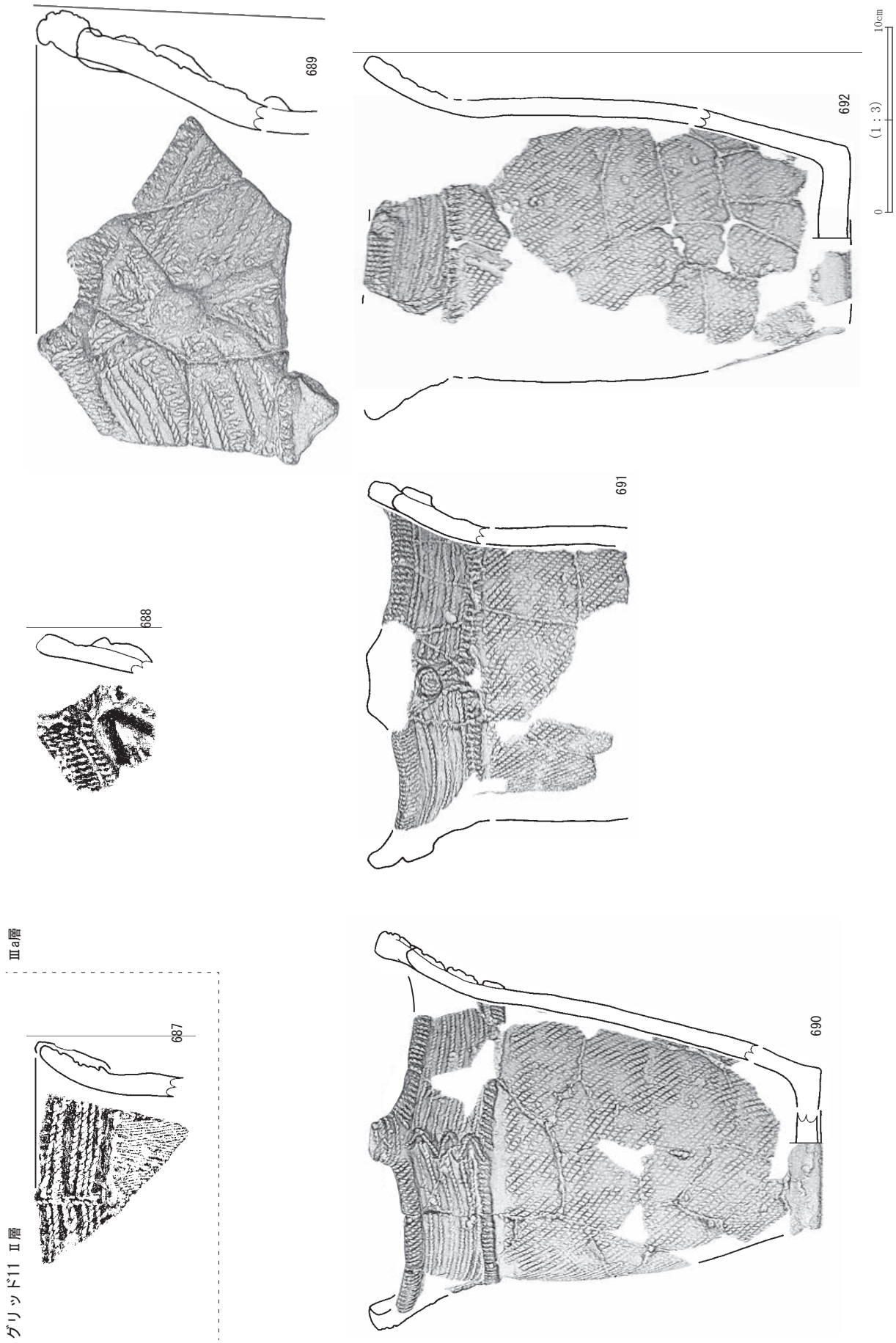
第129図　捨て場出土土器（101）



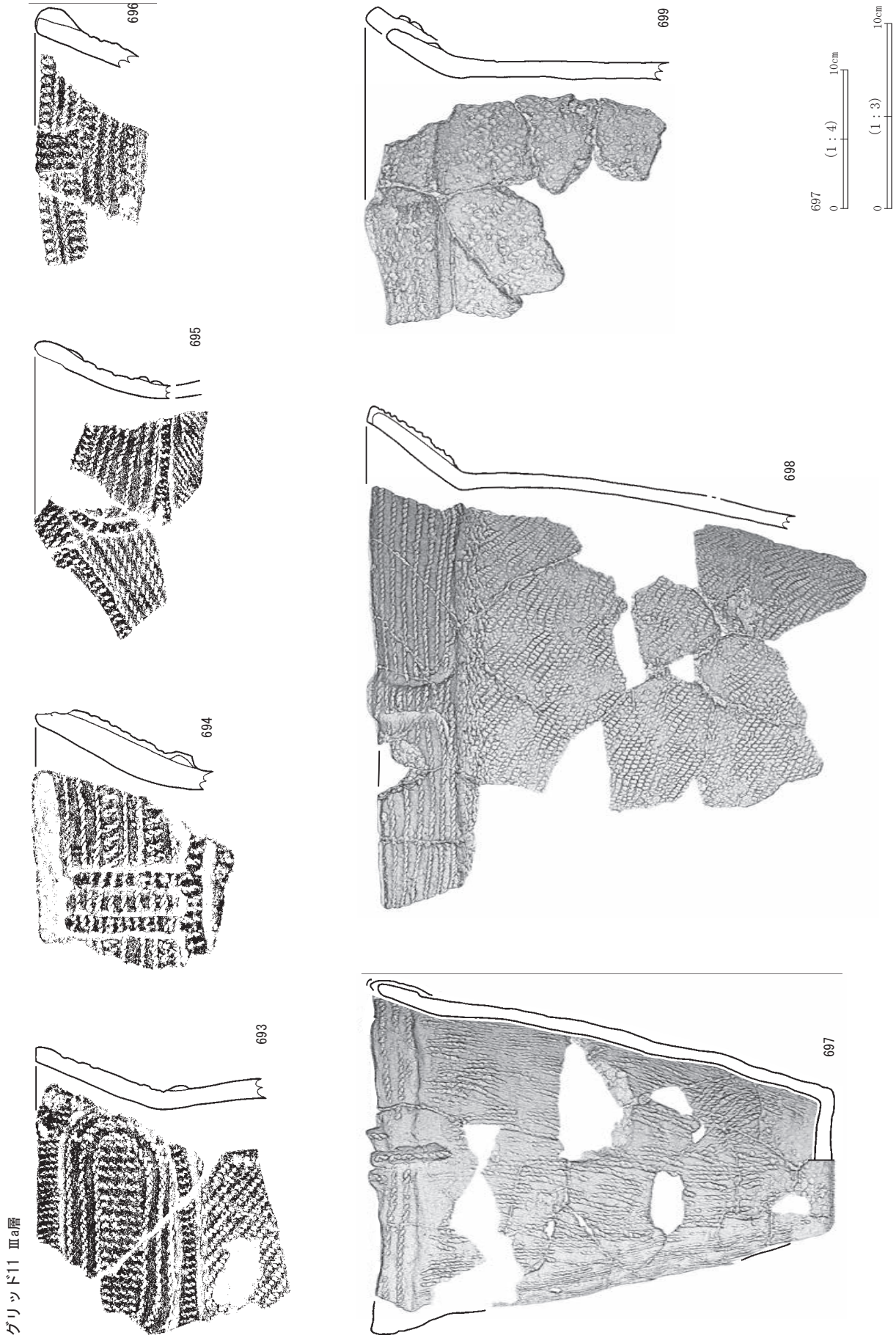


グリッド10 Ⅲ-Ⅳa層

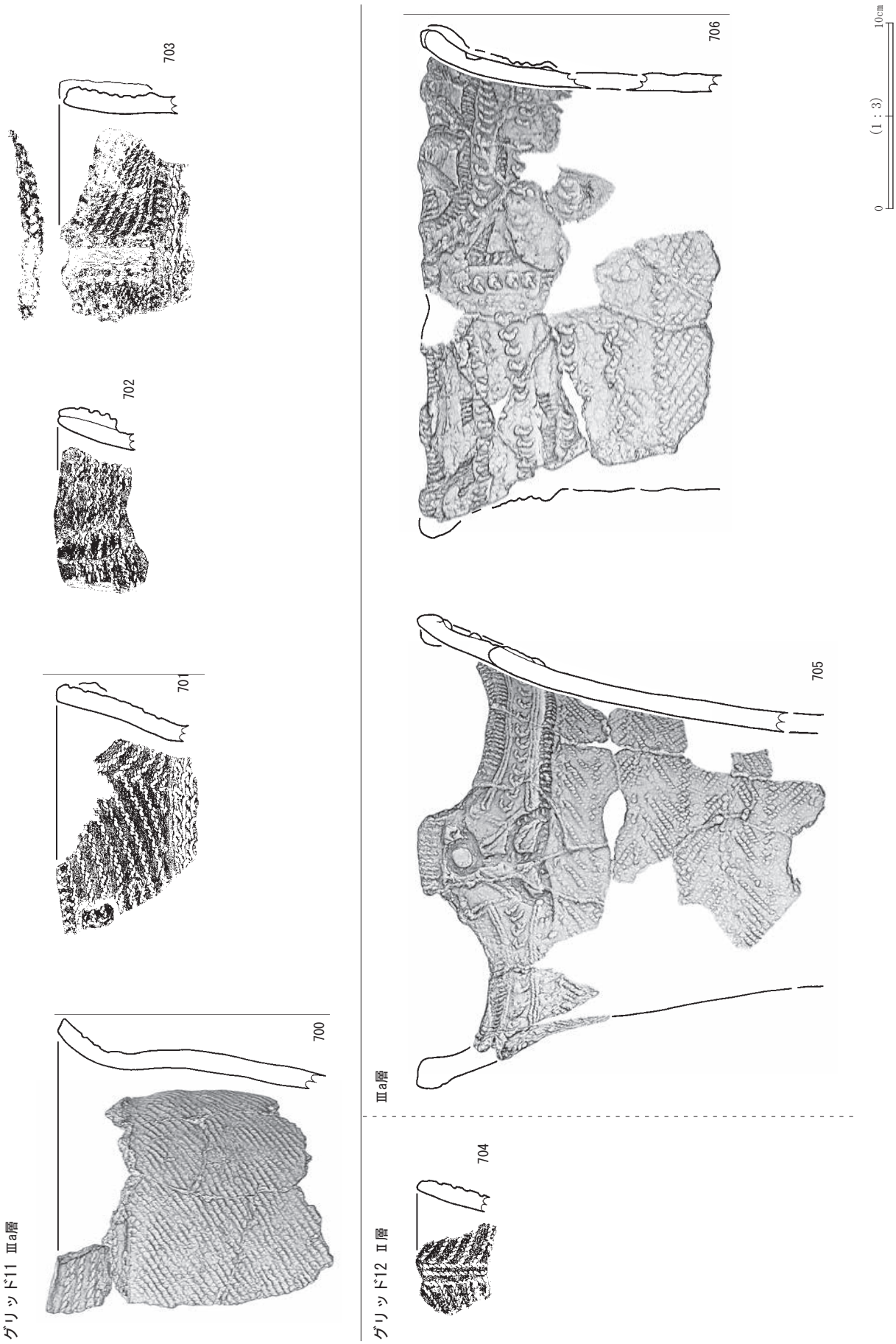
第130図　捨て場出土土器（102）



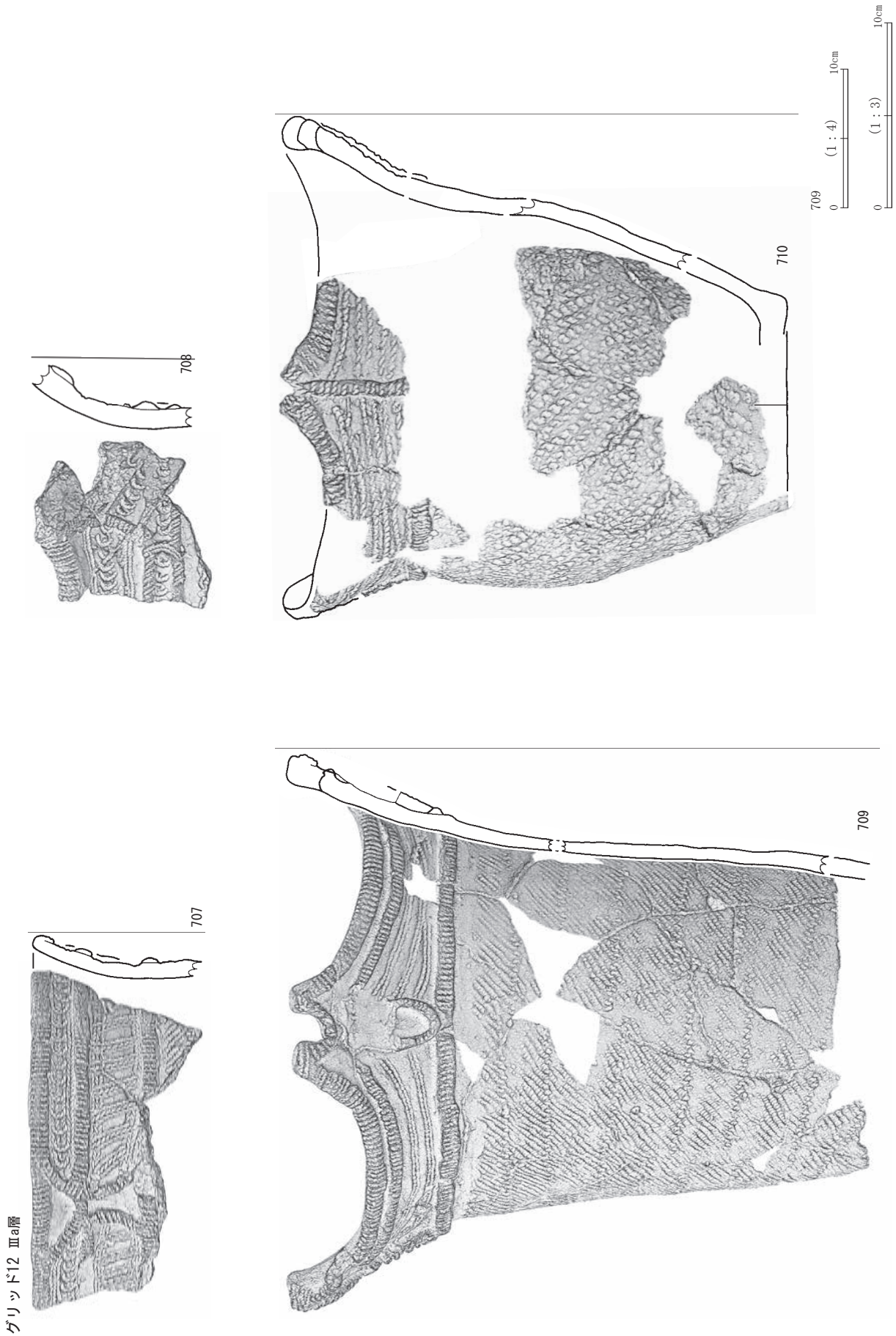
第131図　捨て場出土土器（103）



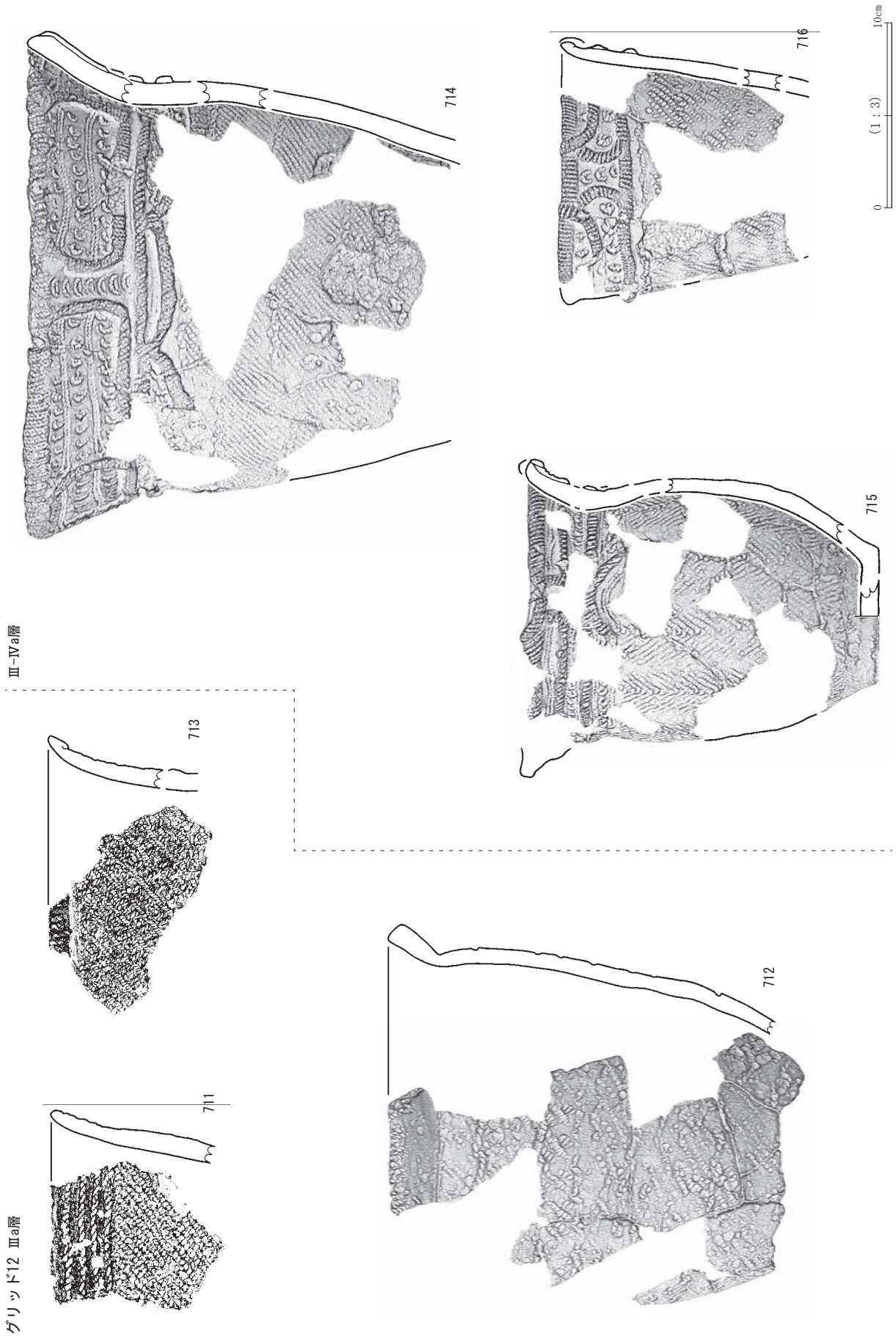
第132図　捨て場出土土器（104）



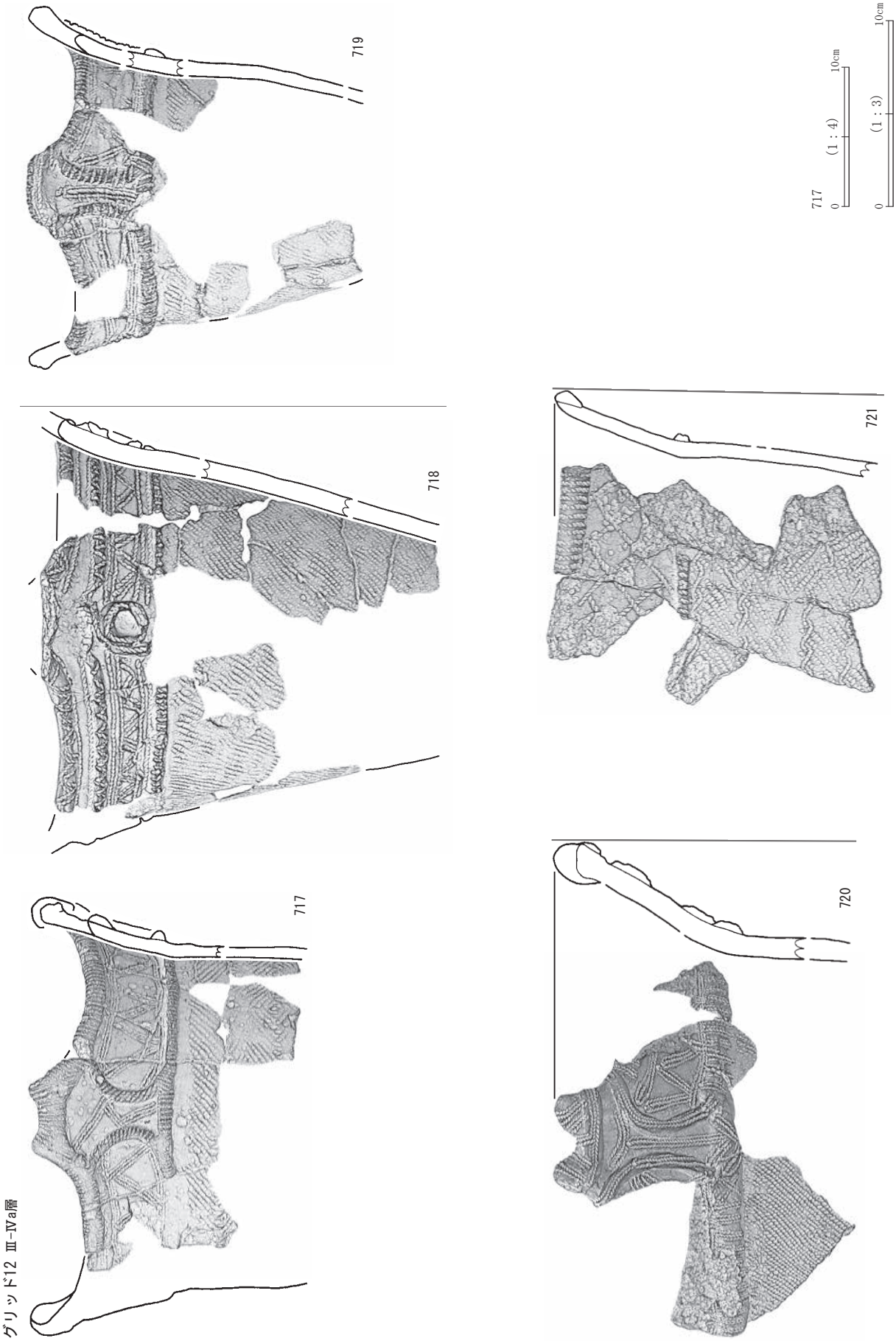
第133図　捨て場出土土器（105）



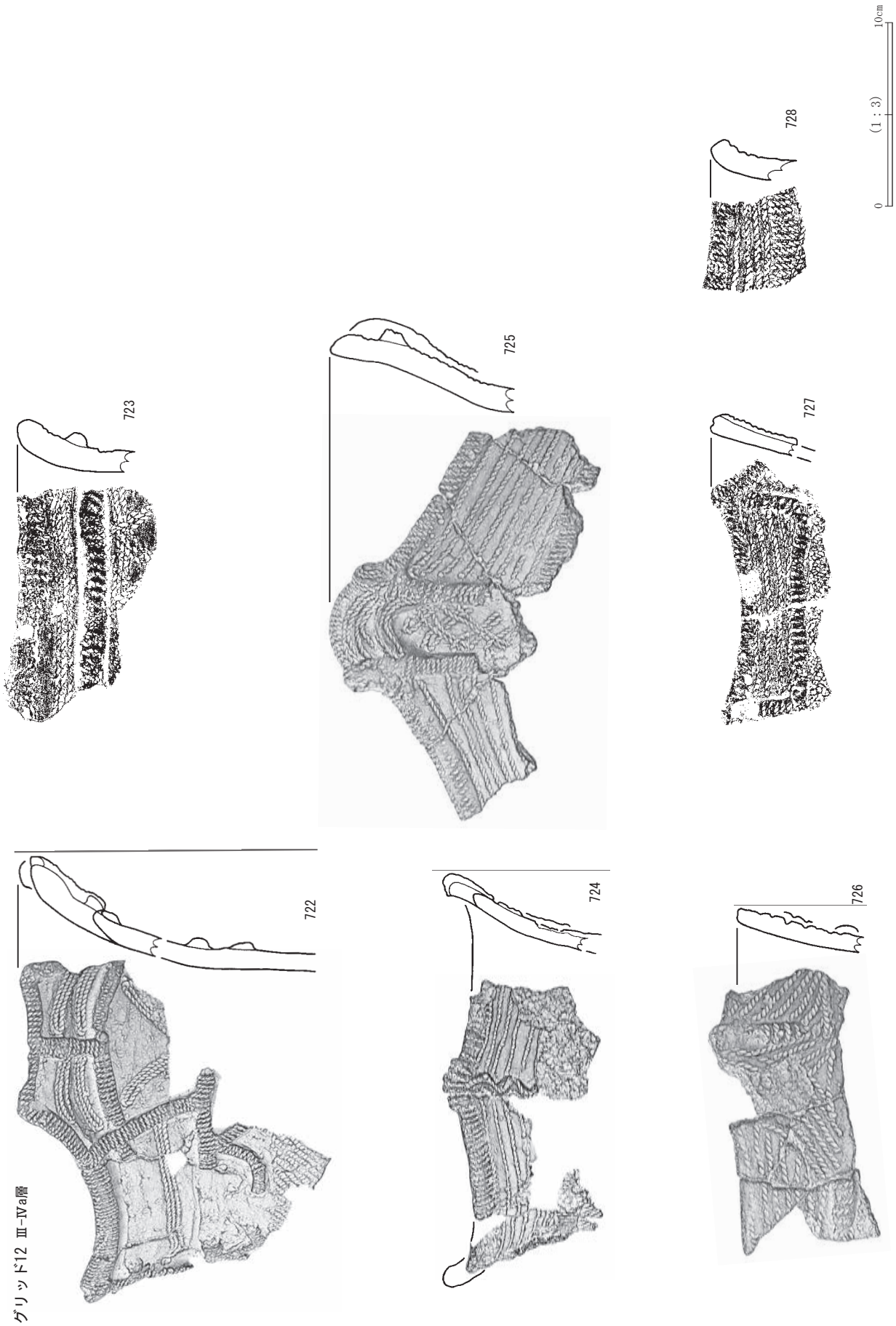
第134図　捨て場出土土器（106）



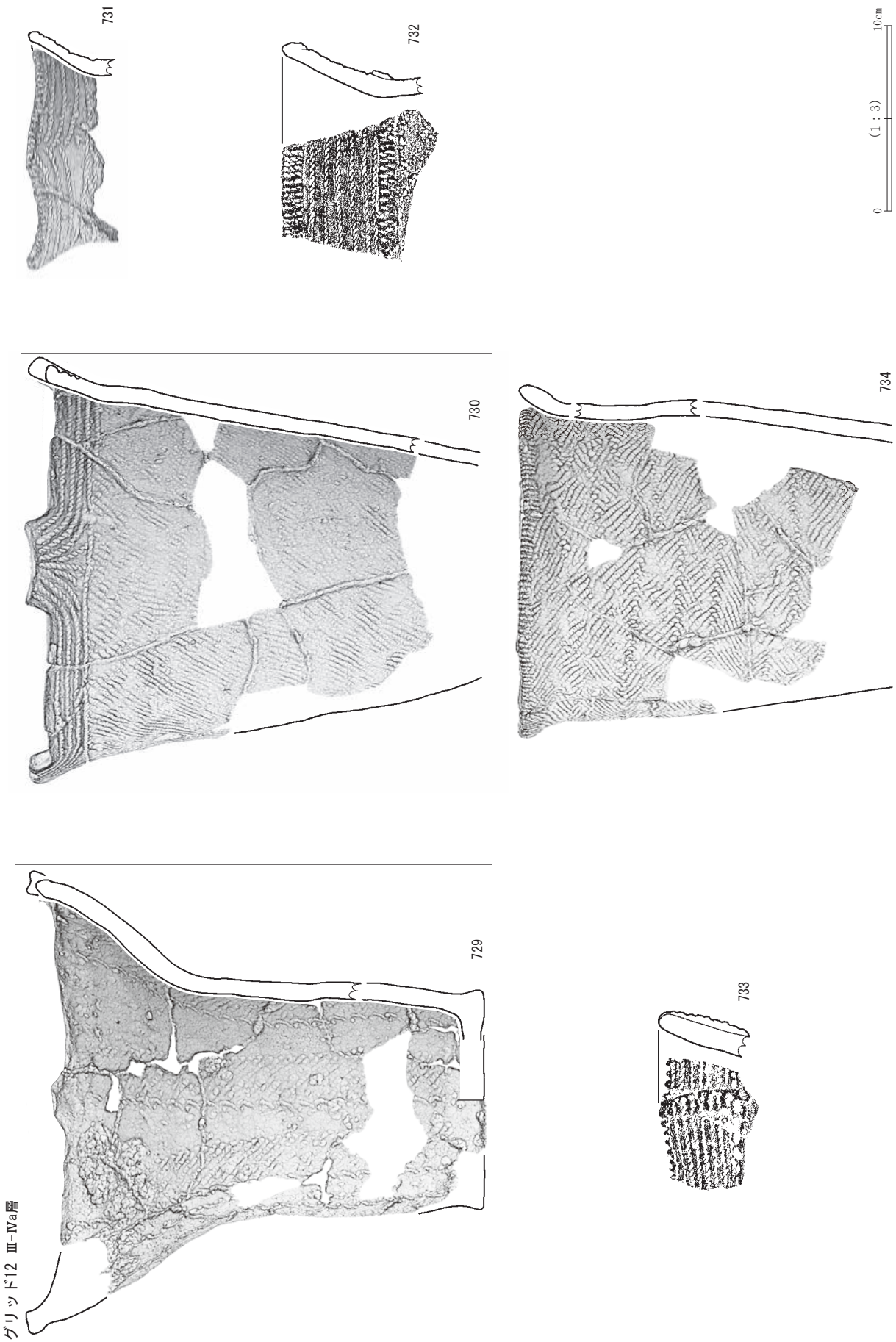
第135図　捨て場出土土器（107）



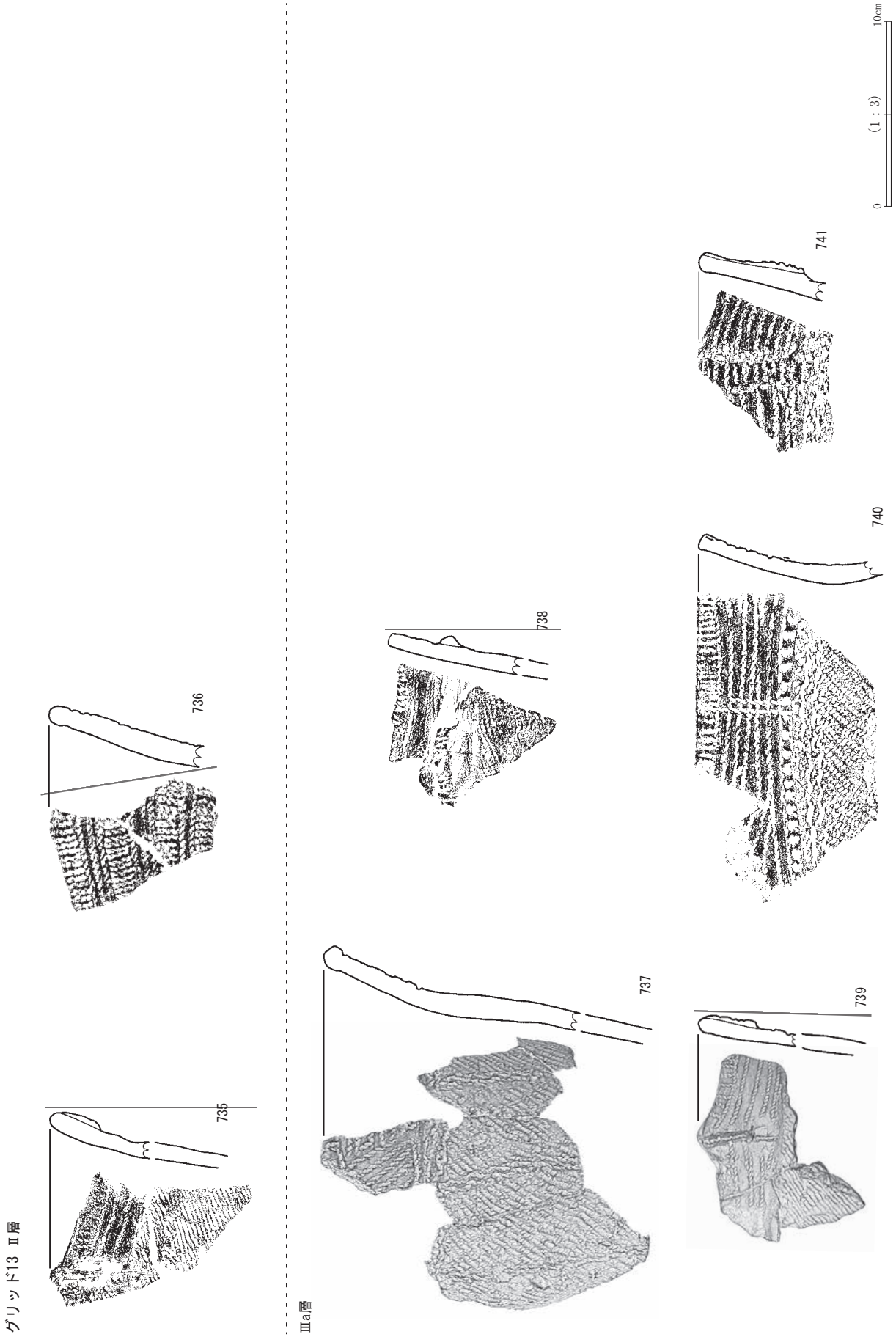
第136図　捨て場出土土器（108）



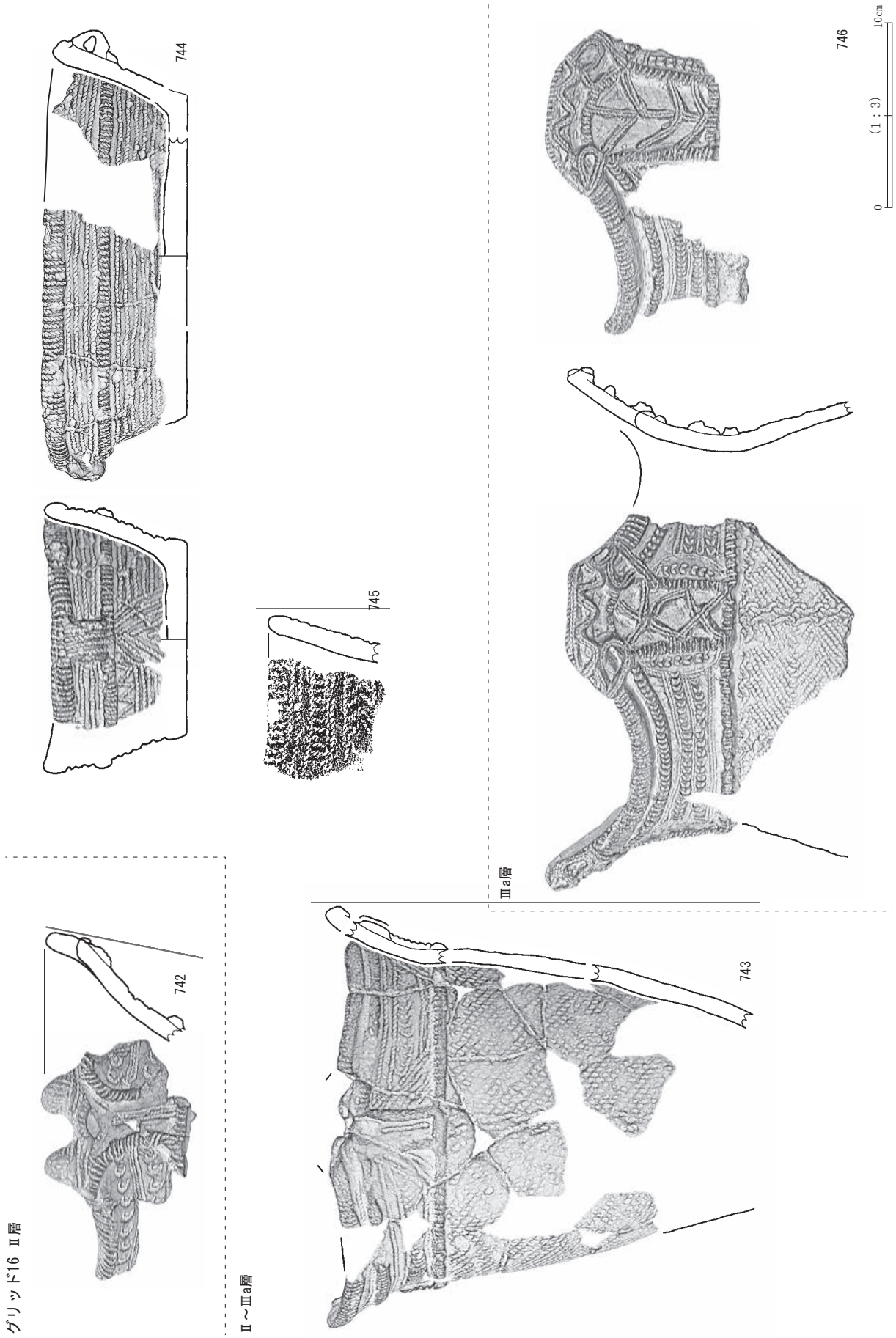
第137図　捨て場出土土器（109）



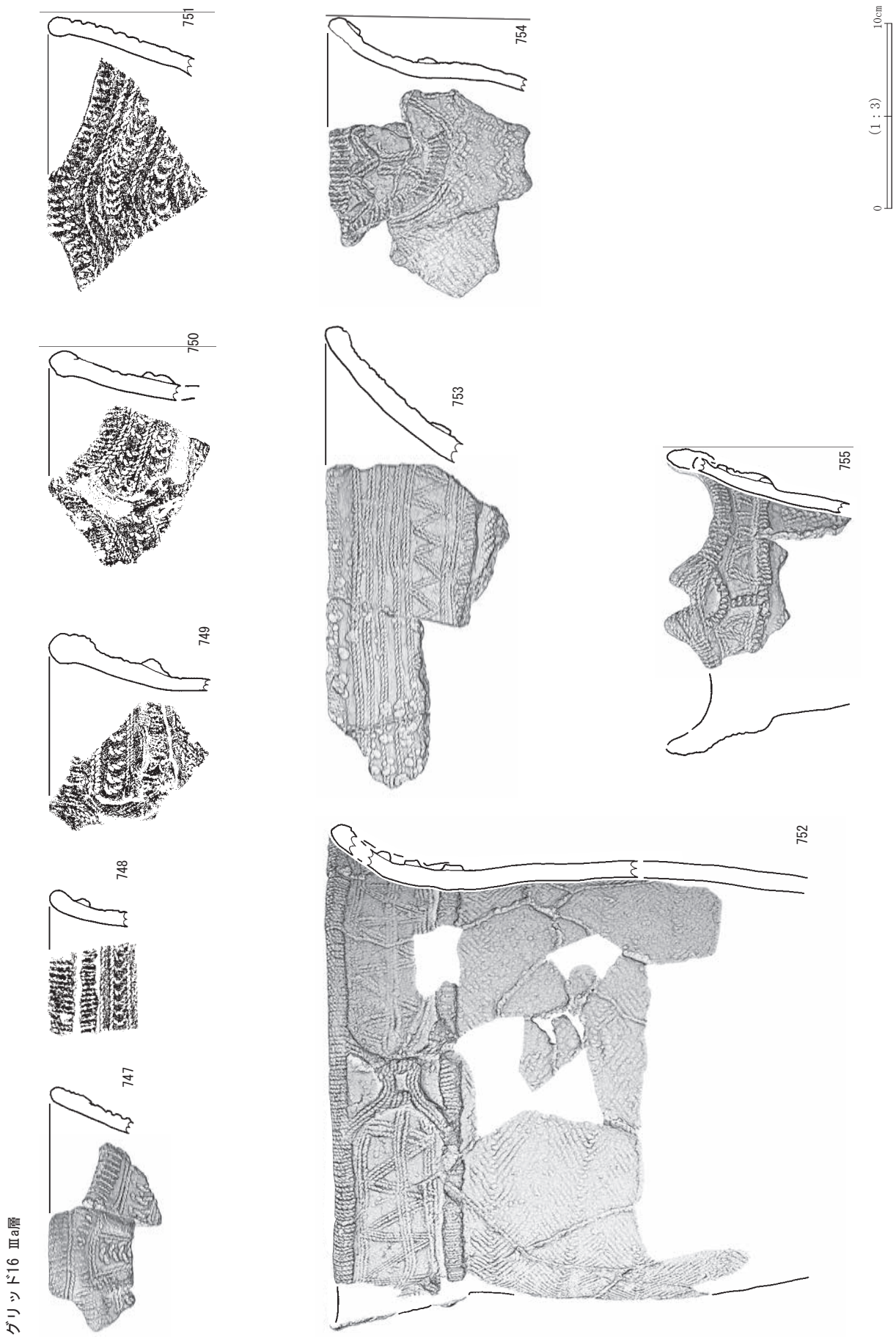
第138図　捨て場出土土器（110）



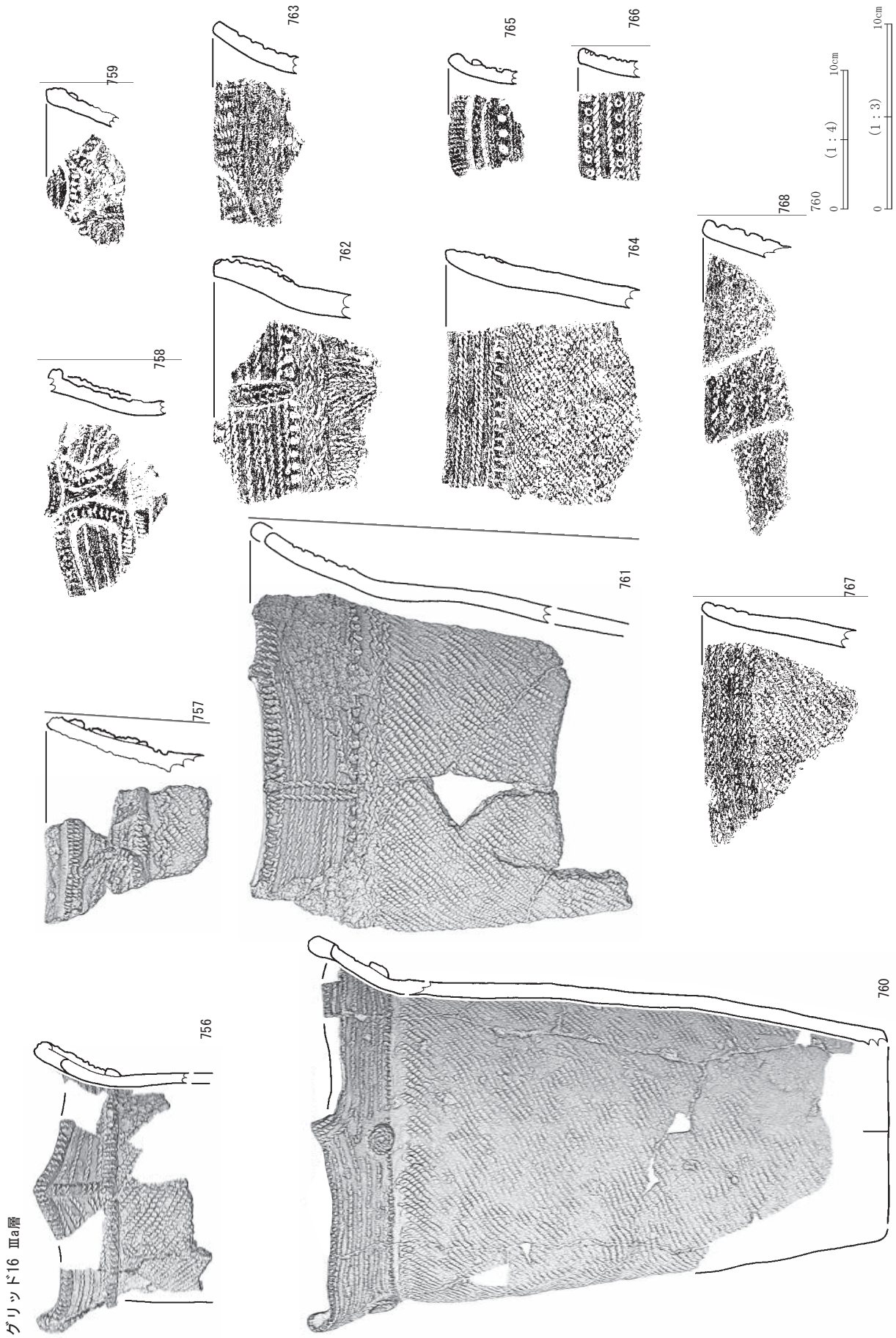
第139図　捨て場出土土器（111）



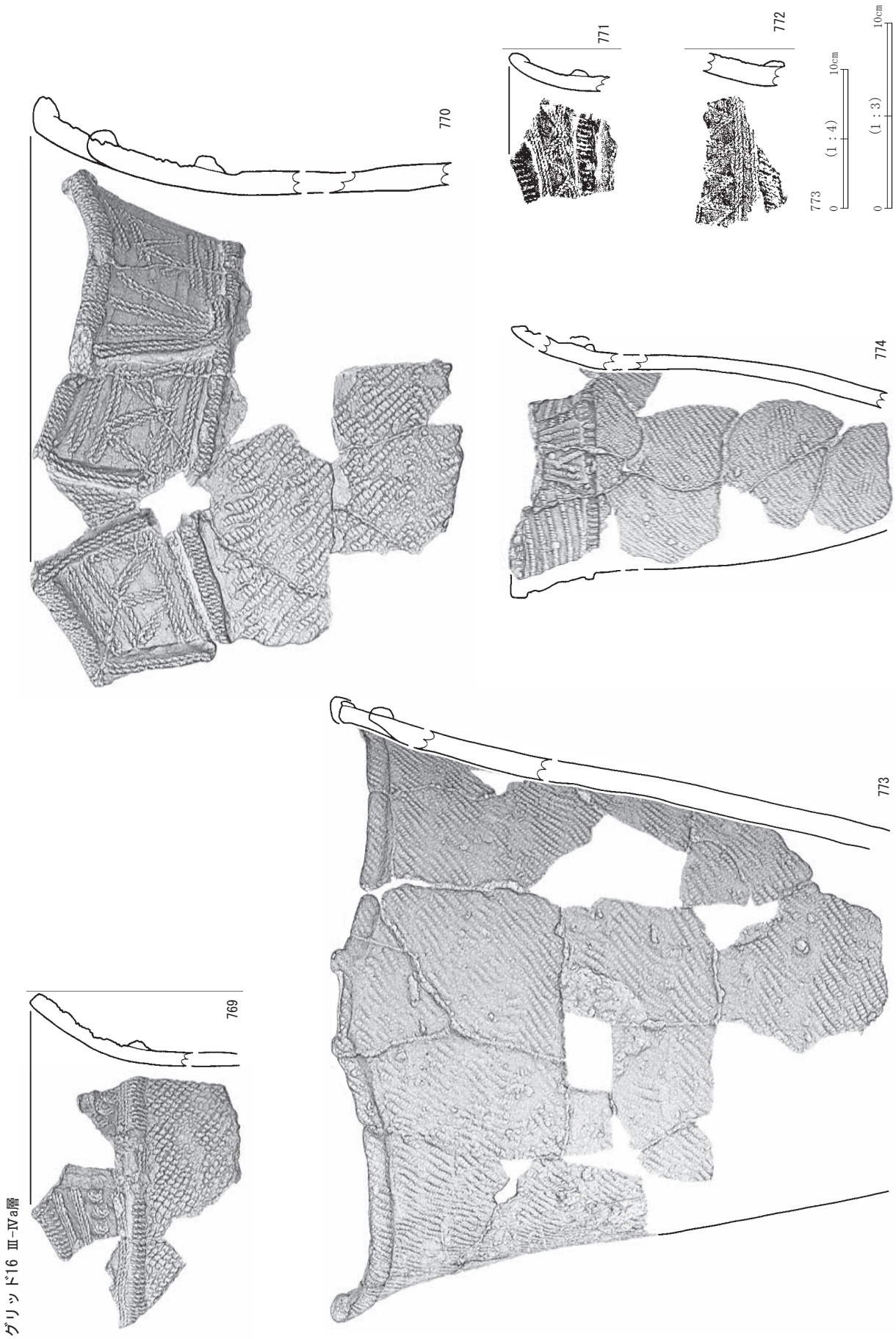
第140図　捨て場出土土器（112）



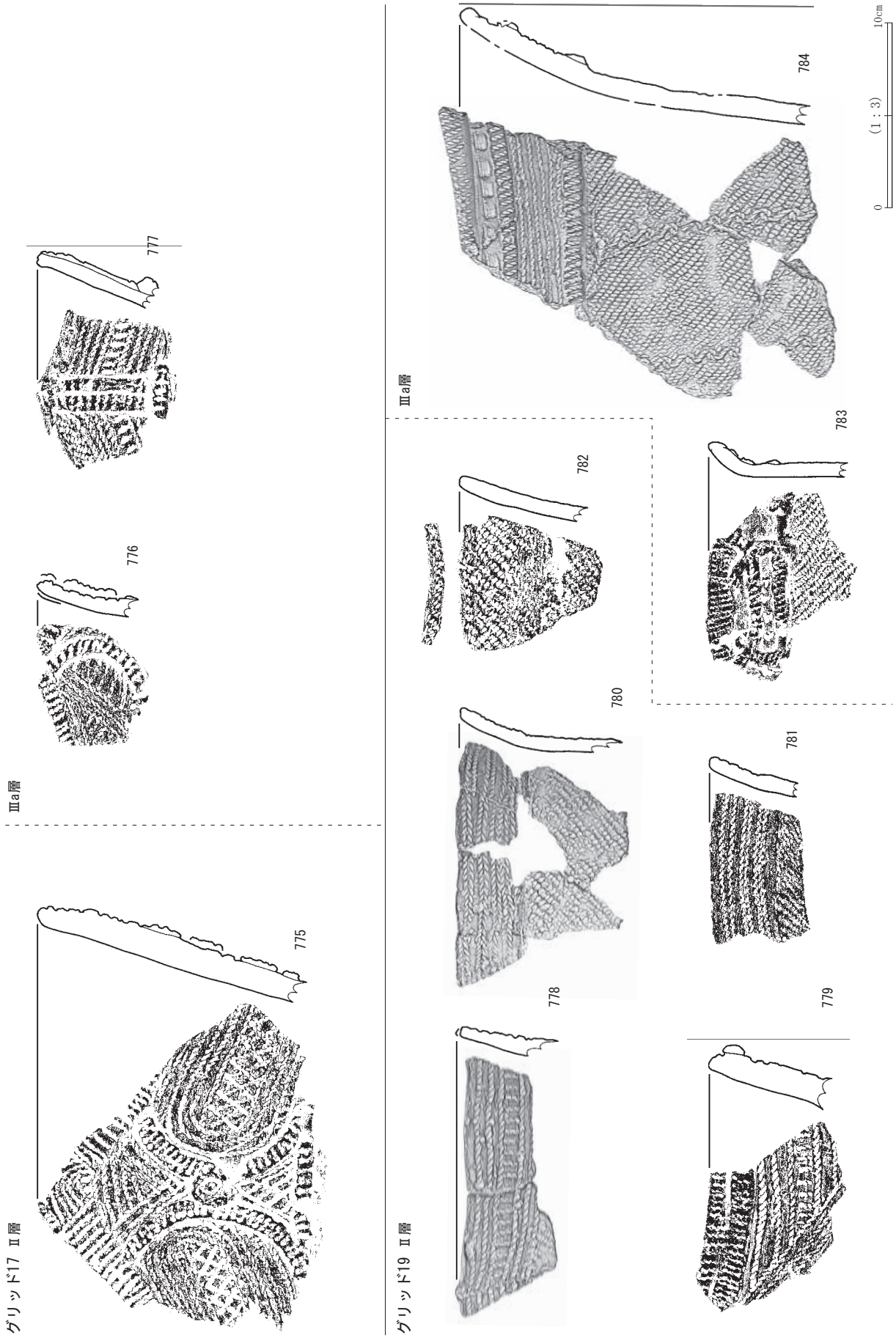
第141図　捨て場出土土器（113）



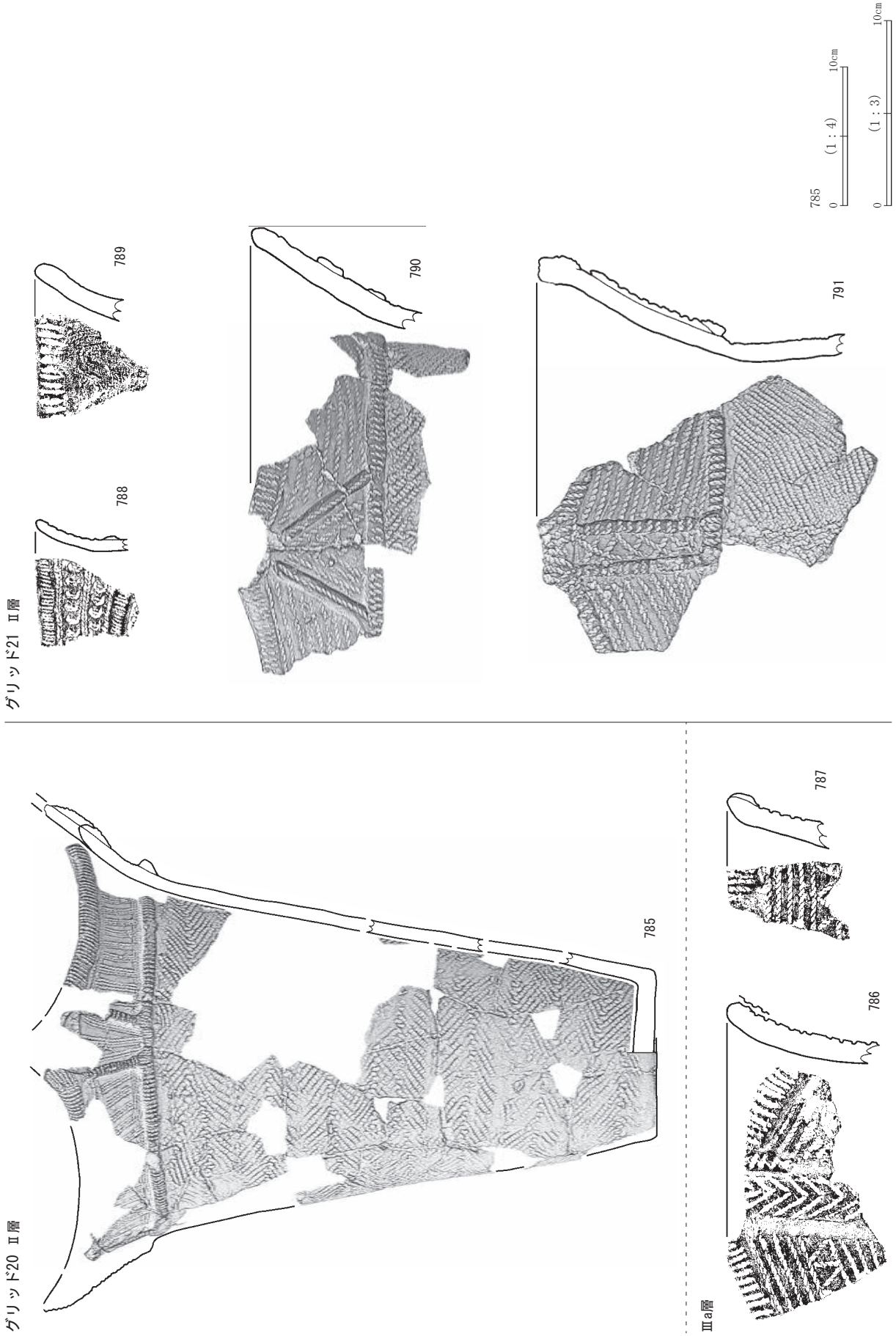
第142図　捨て場出土土器（114）



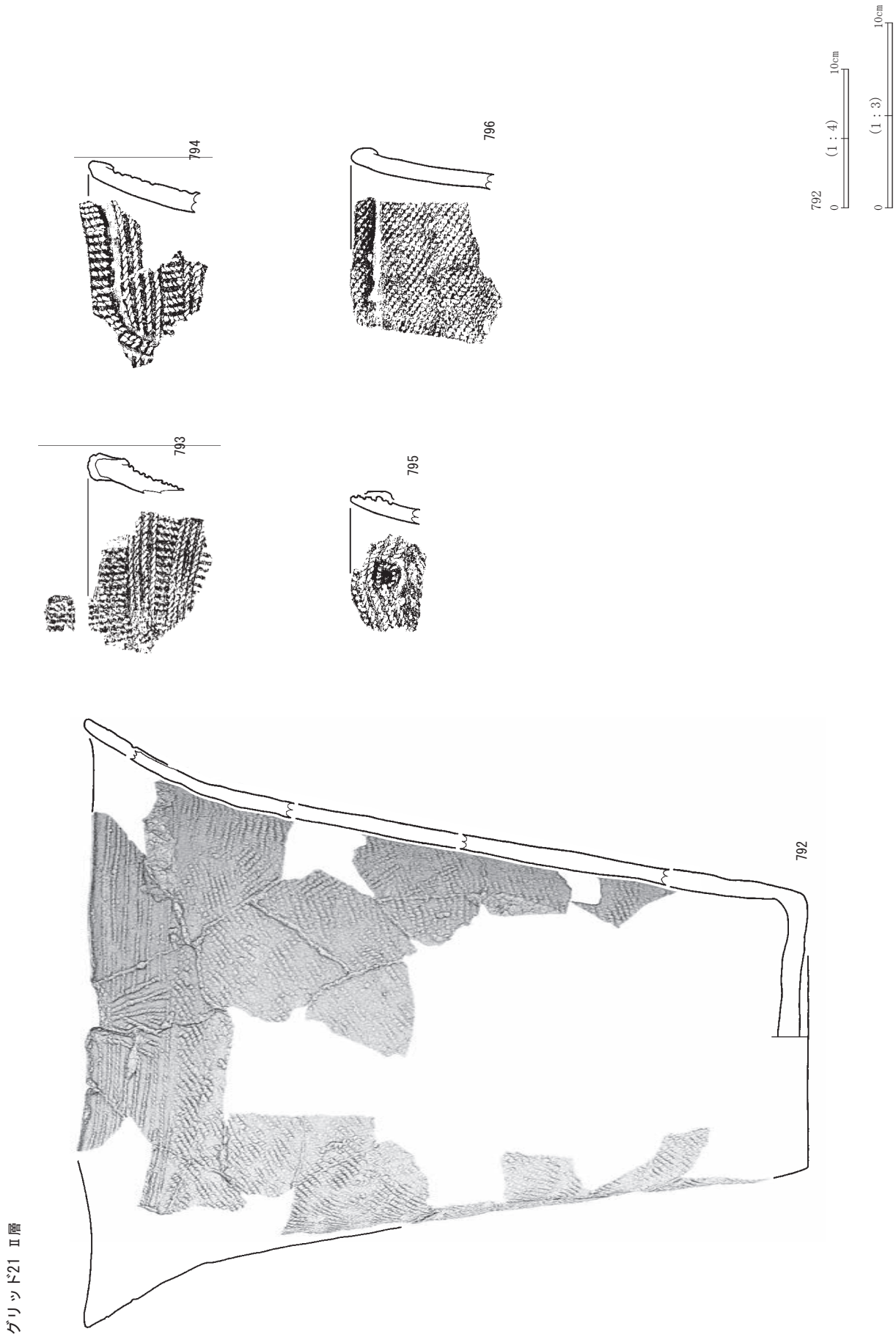
第143図　捨て場出土土器（115）



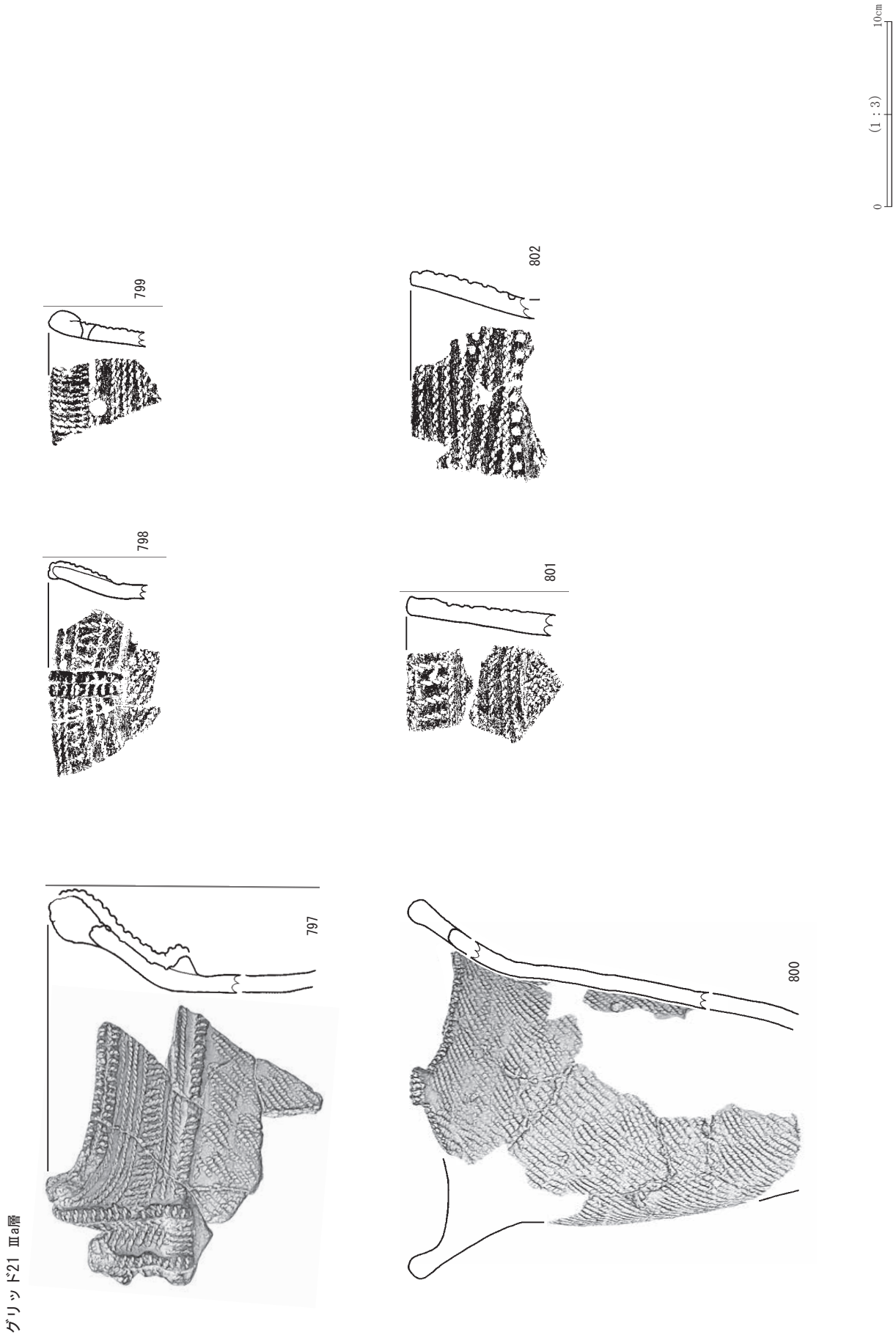
第144図　捨て場出土土器（116）



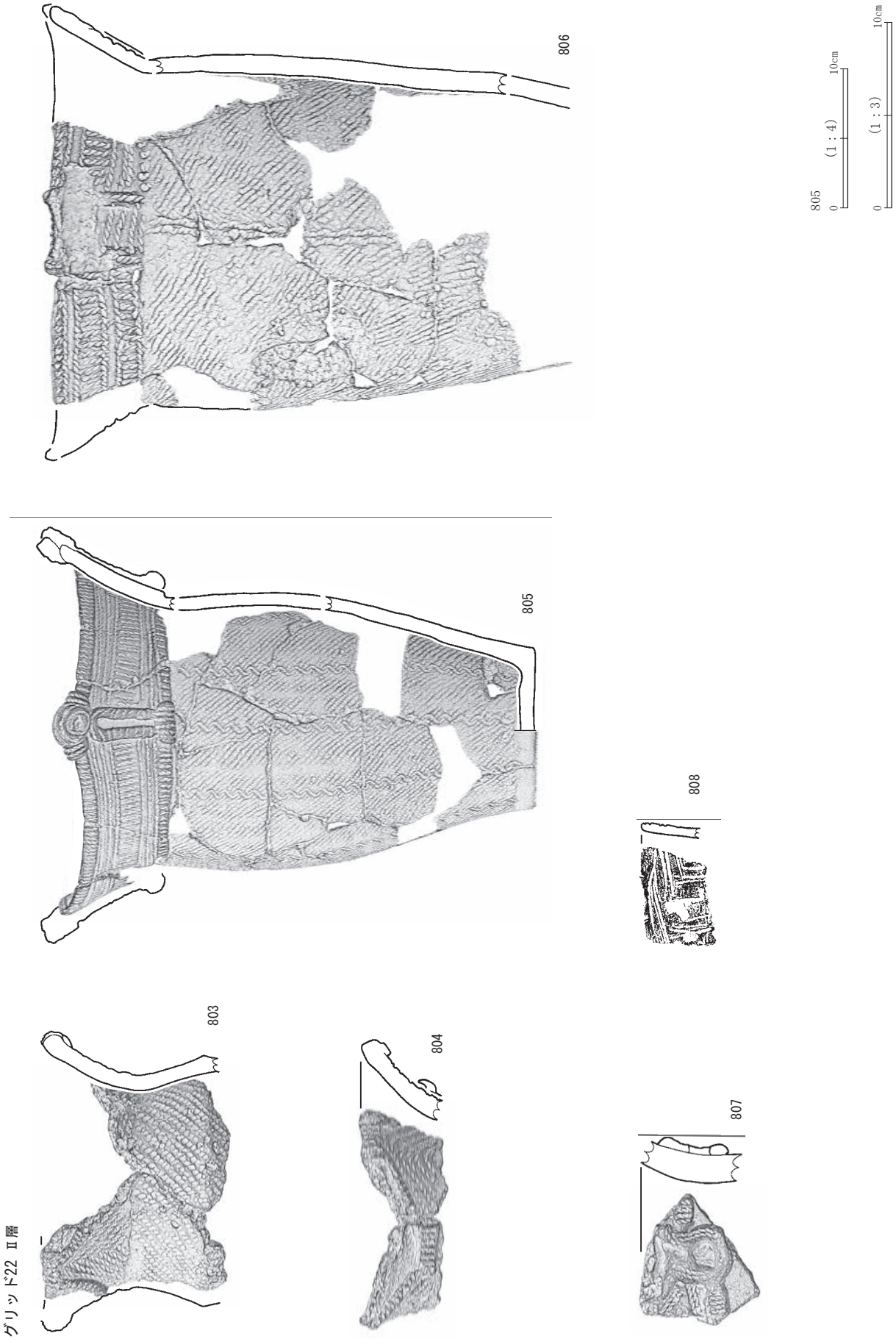
第145図　捨て場出土土器（117）



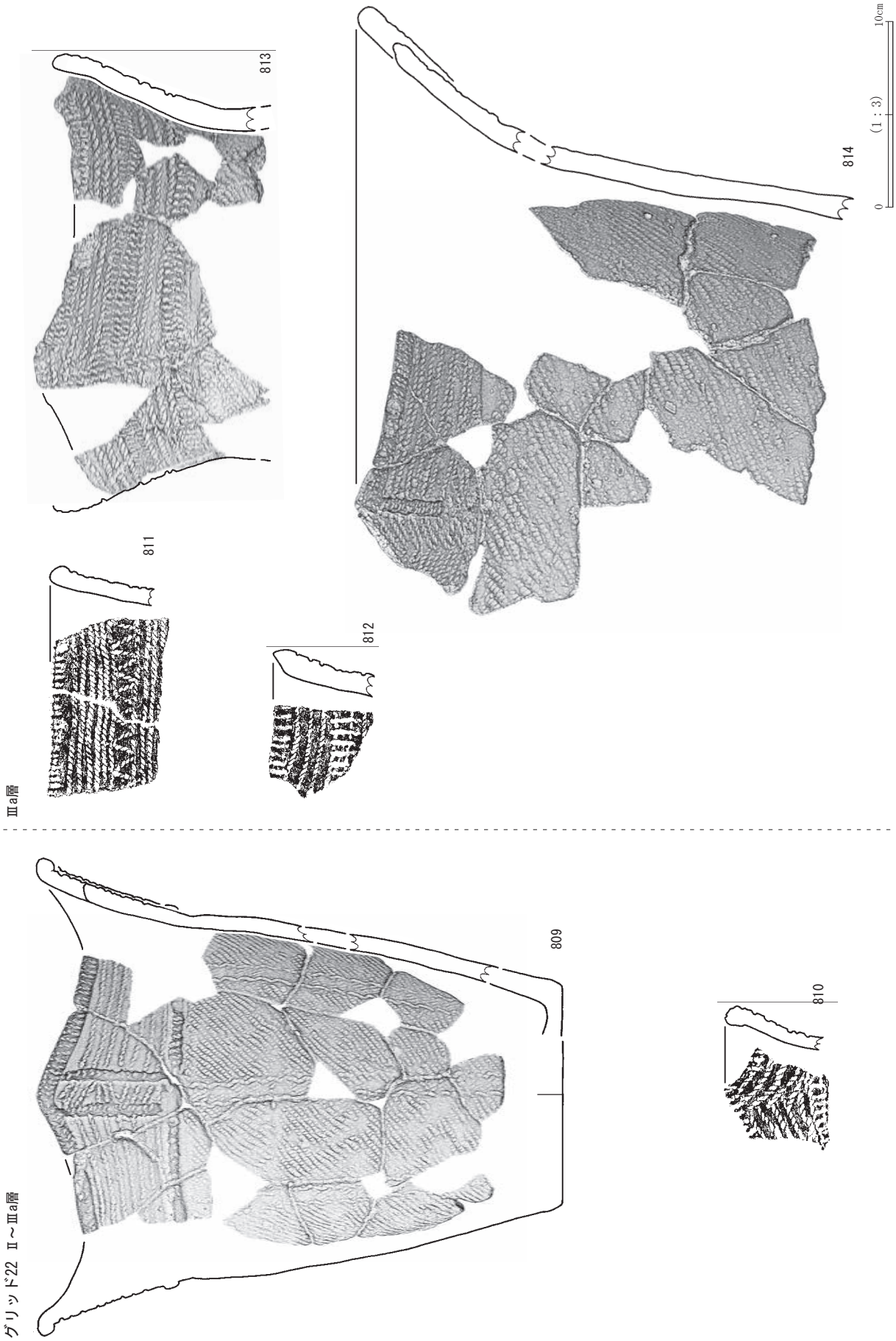
第146図　捨て場出土土器（118）



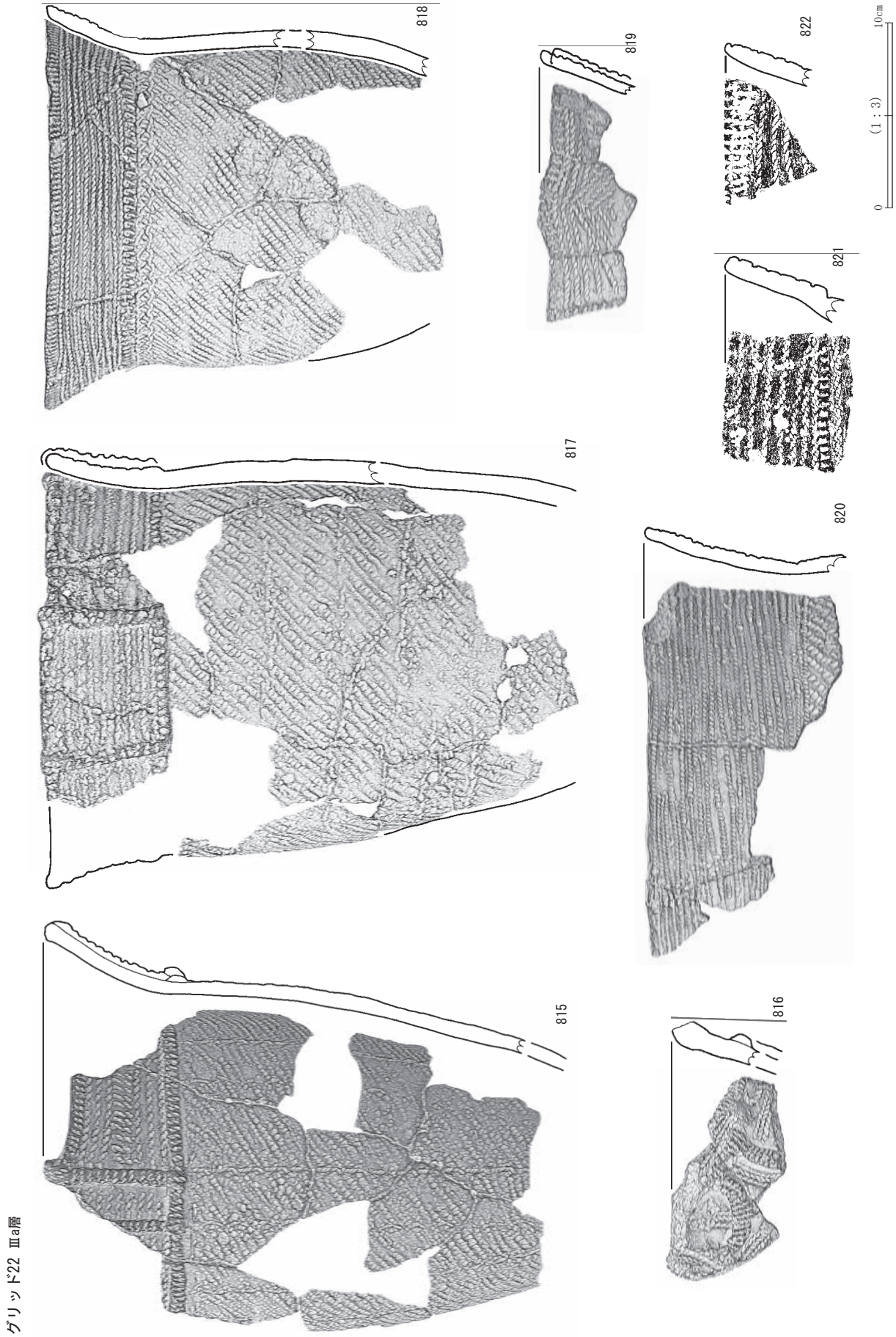
第147図　捨て場出土土器（119）



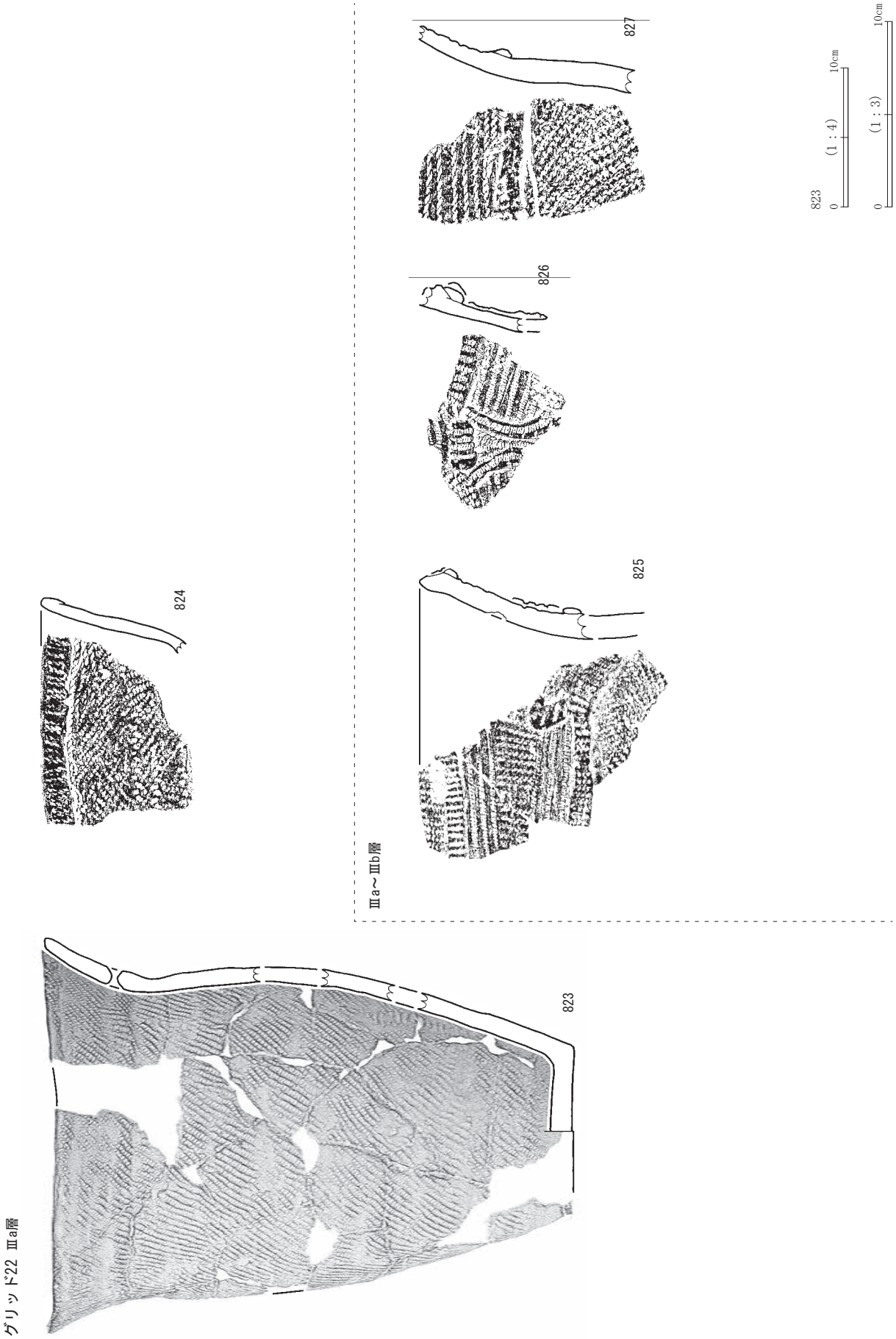
第148図　捨て場出土土器（120）



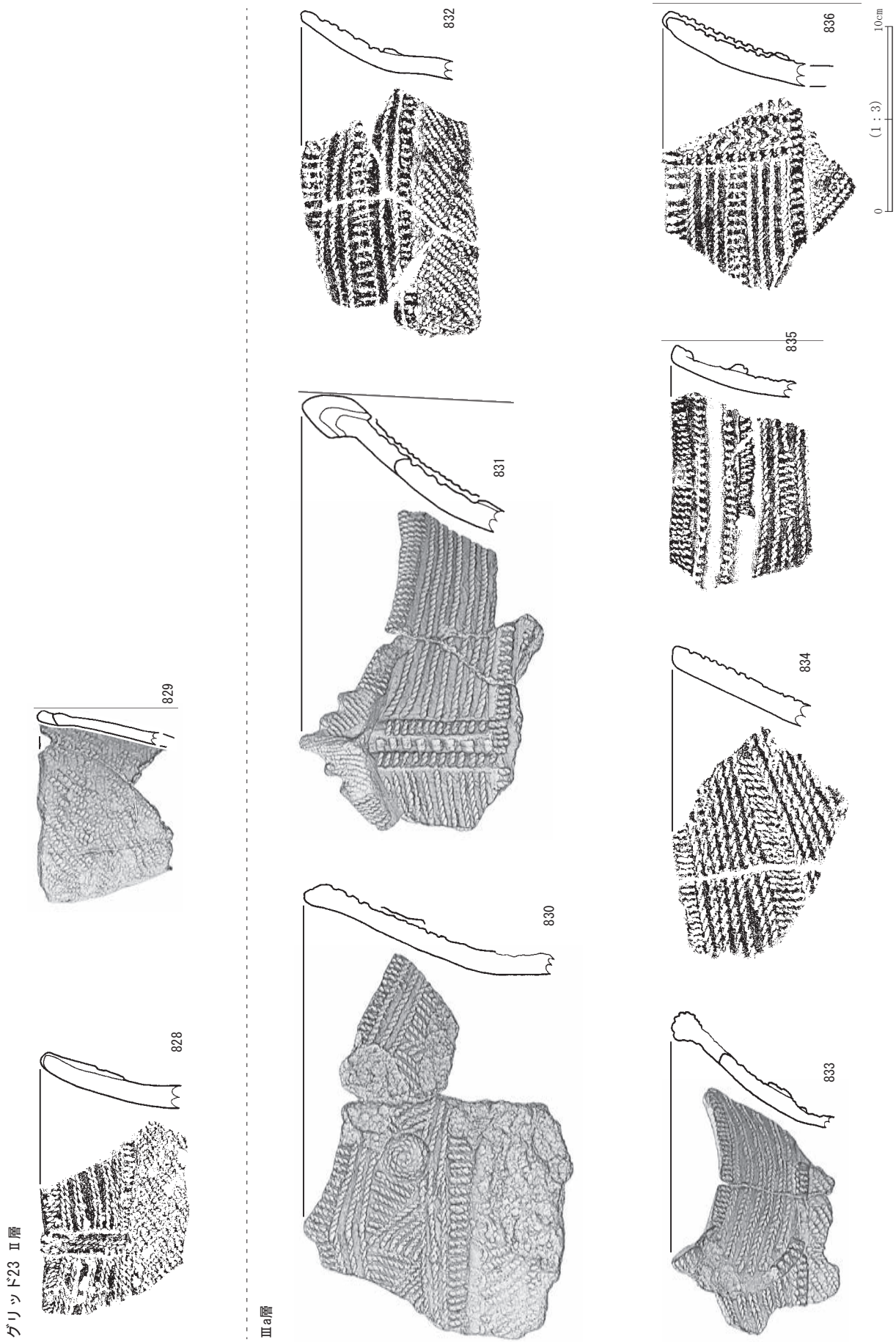
第149図　捨て場出土土器（121）



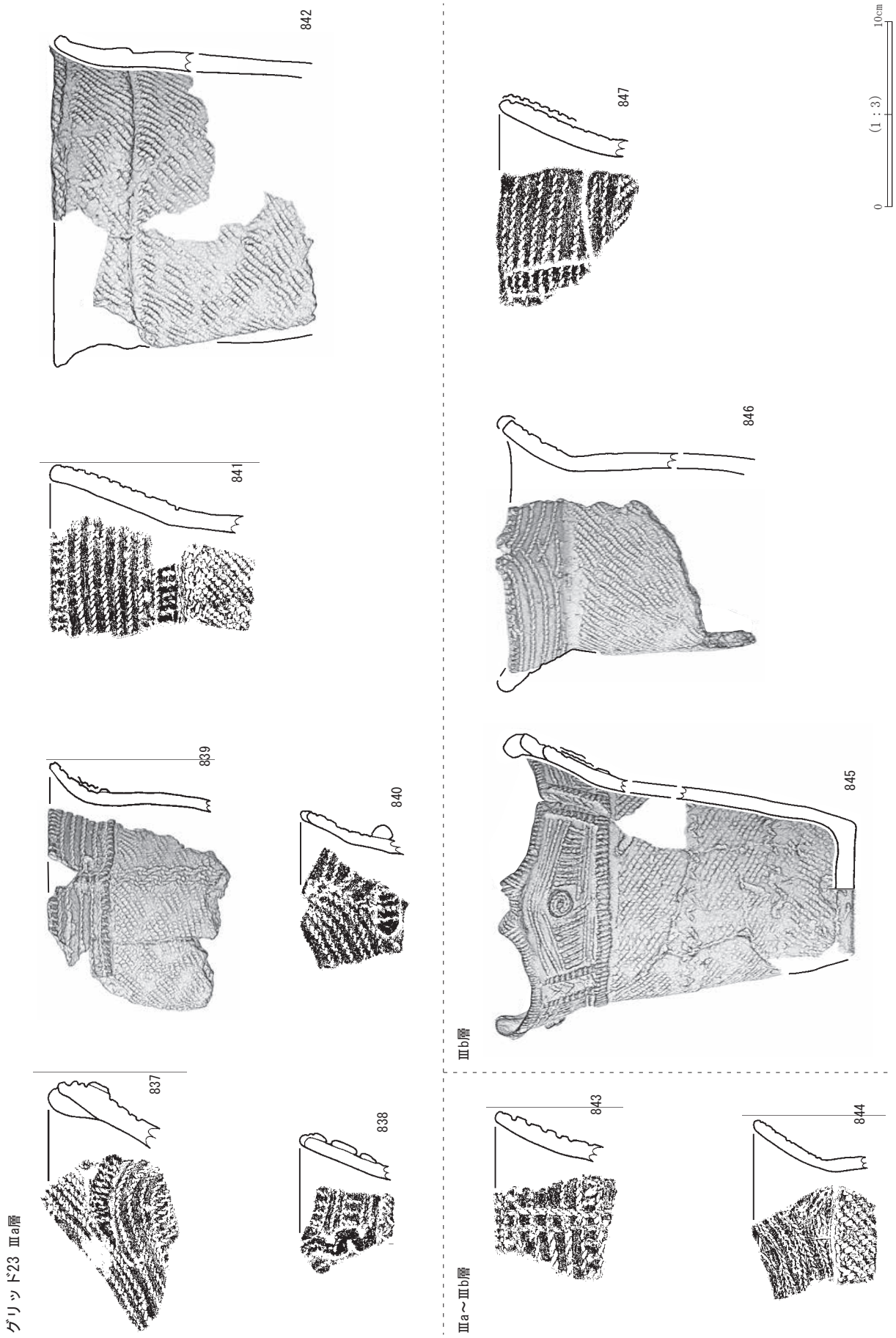
第150図　捨て場出土土器（122）



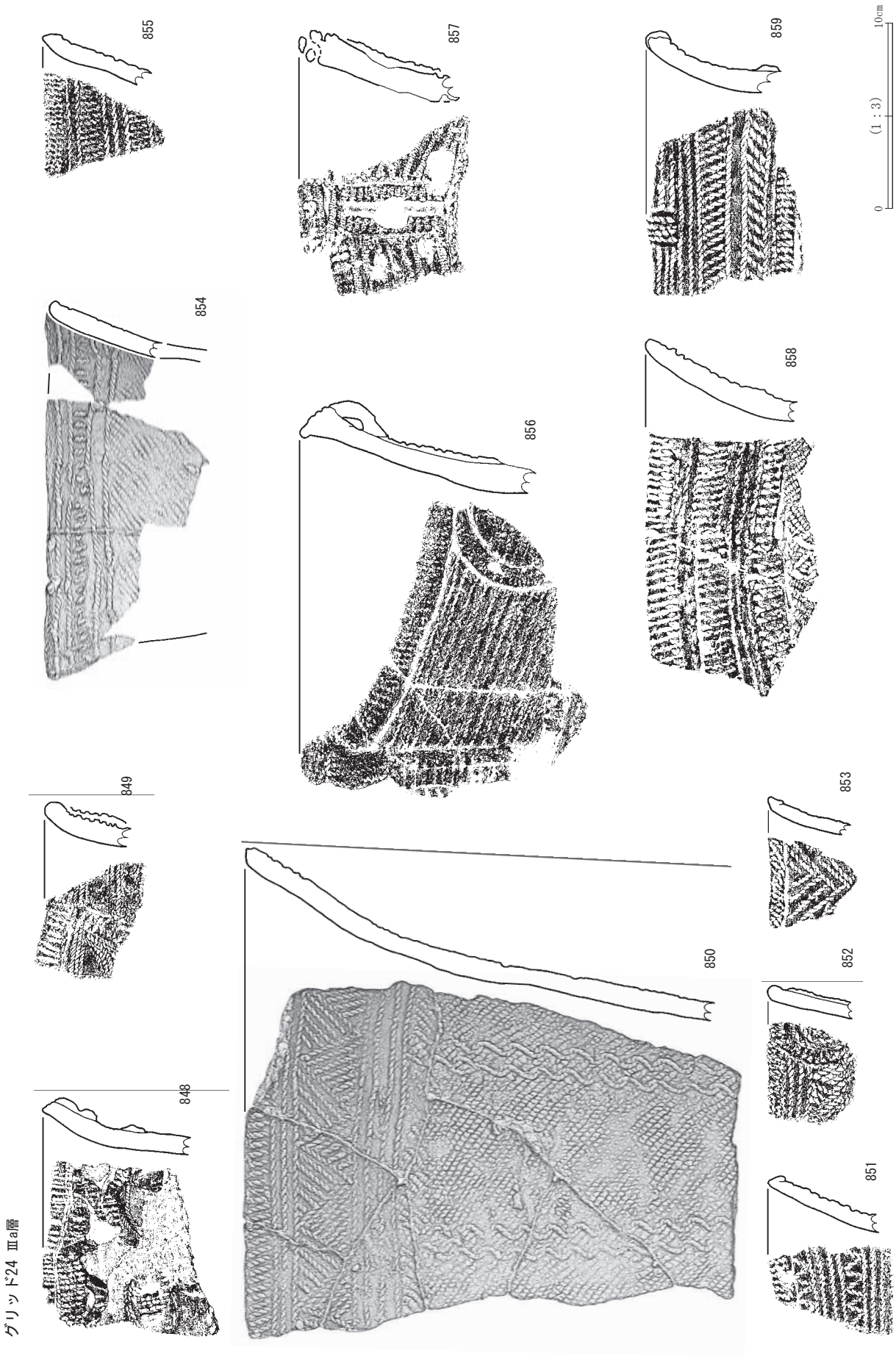
第151図　捨て場出土土器（123）



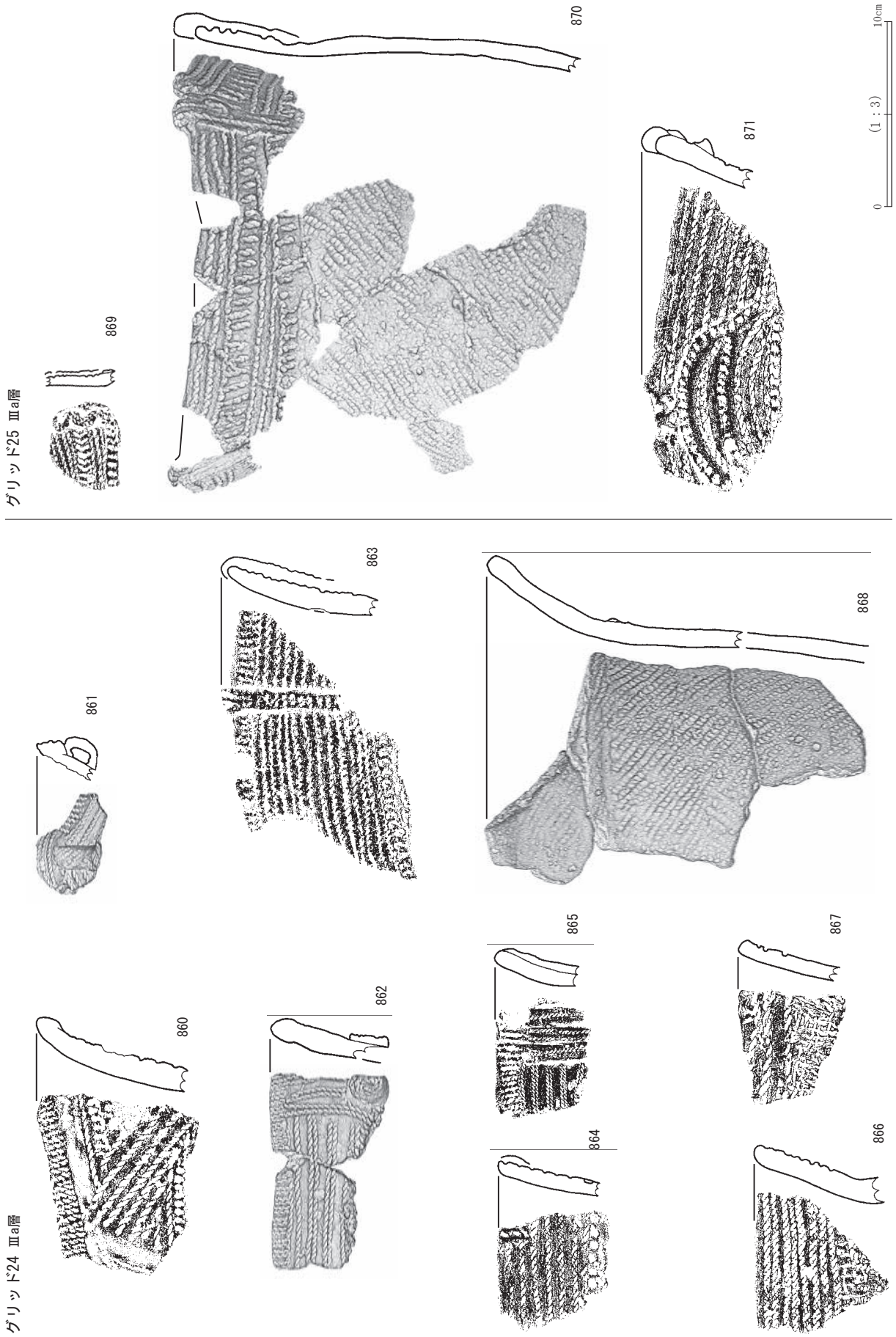
第152図　捨て場出土土器（124）



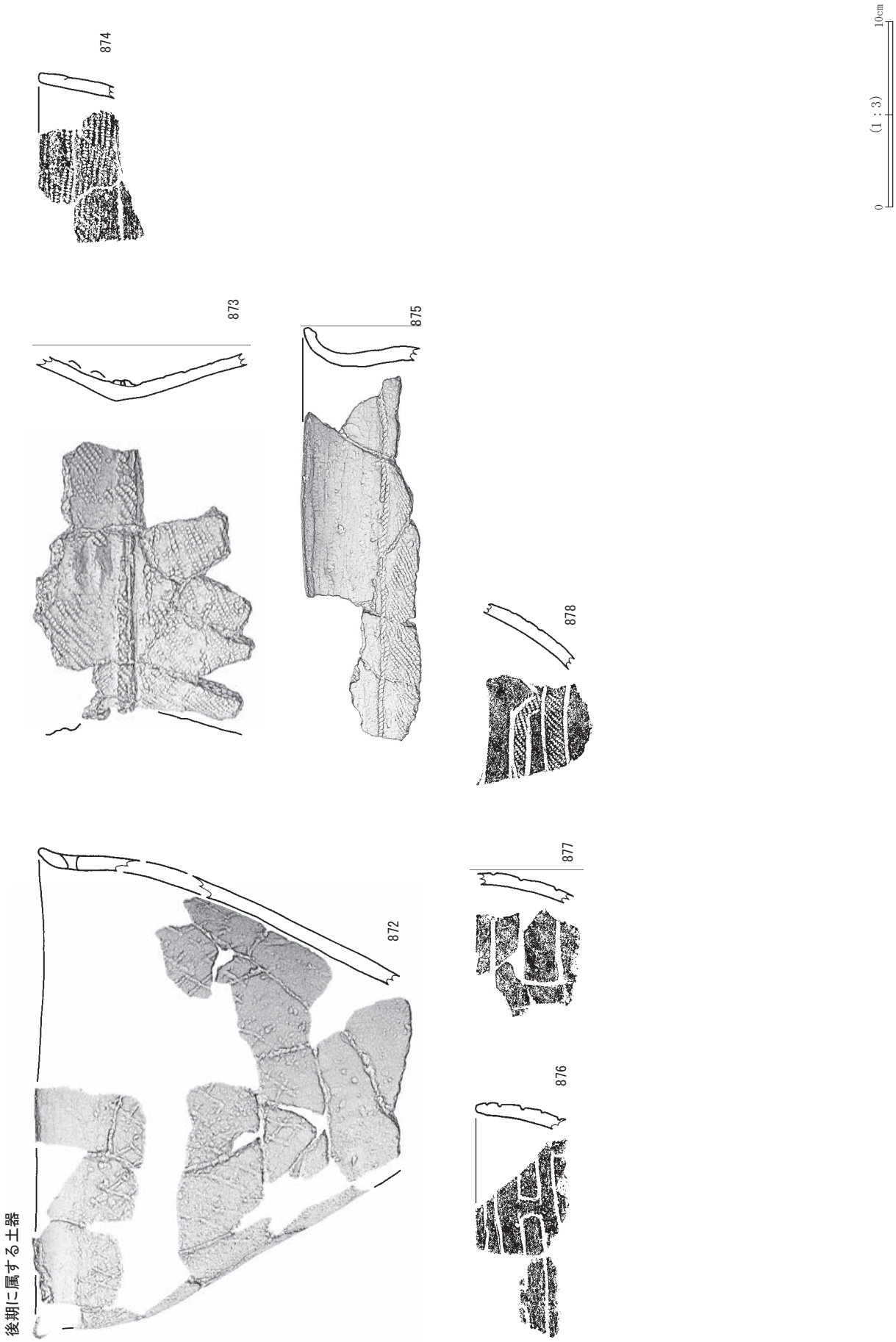
第153図　捨て場出土土器（125）



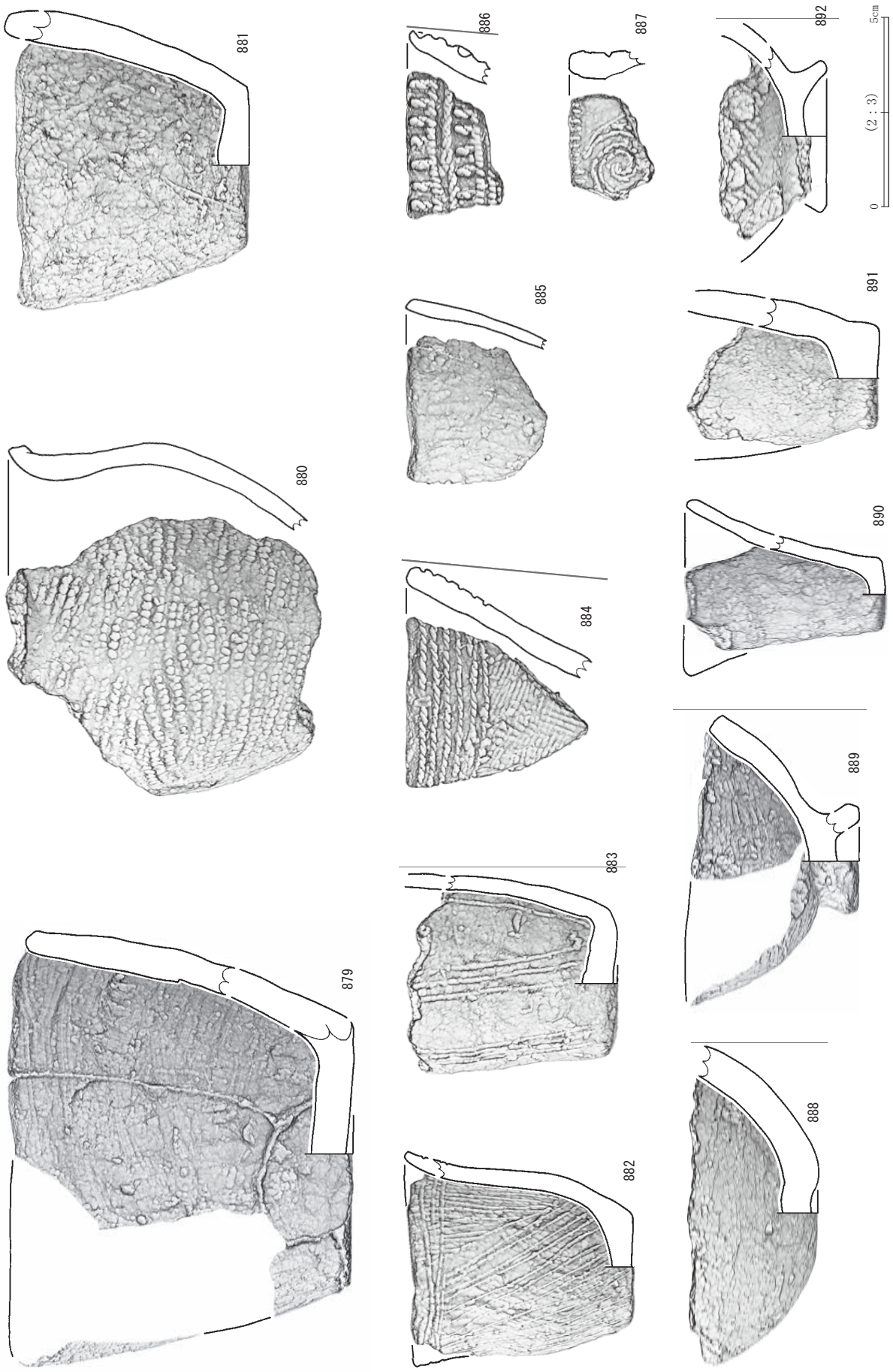
第154図　捨て場出土土器（126）



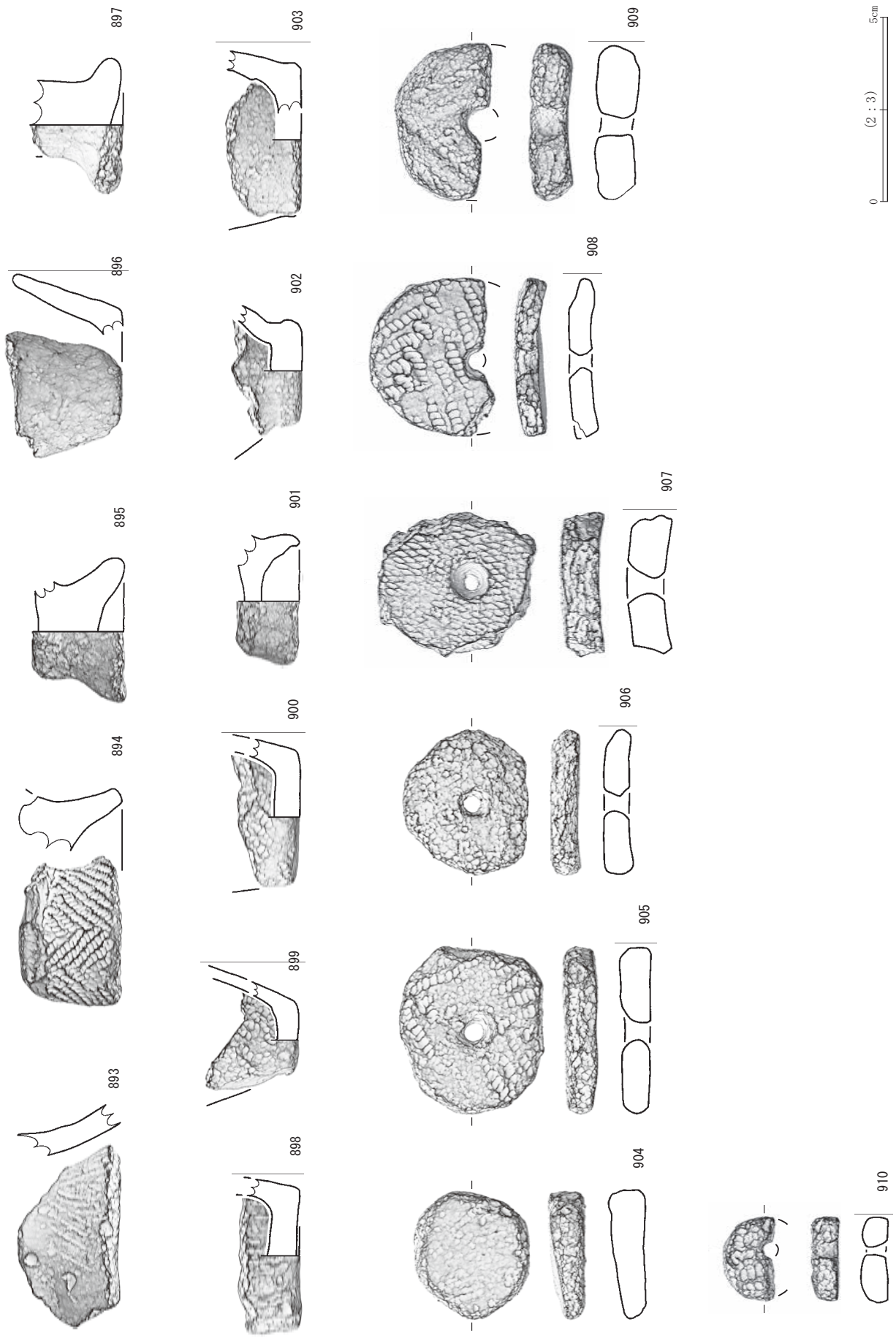
第155図　捨て場出土土器（127）



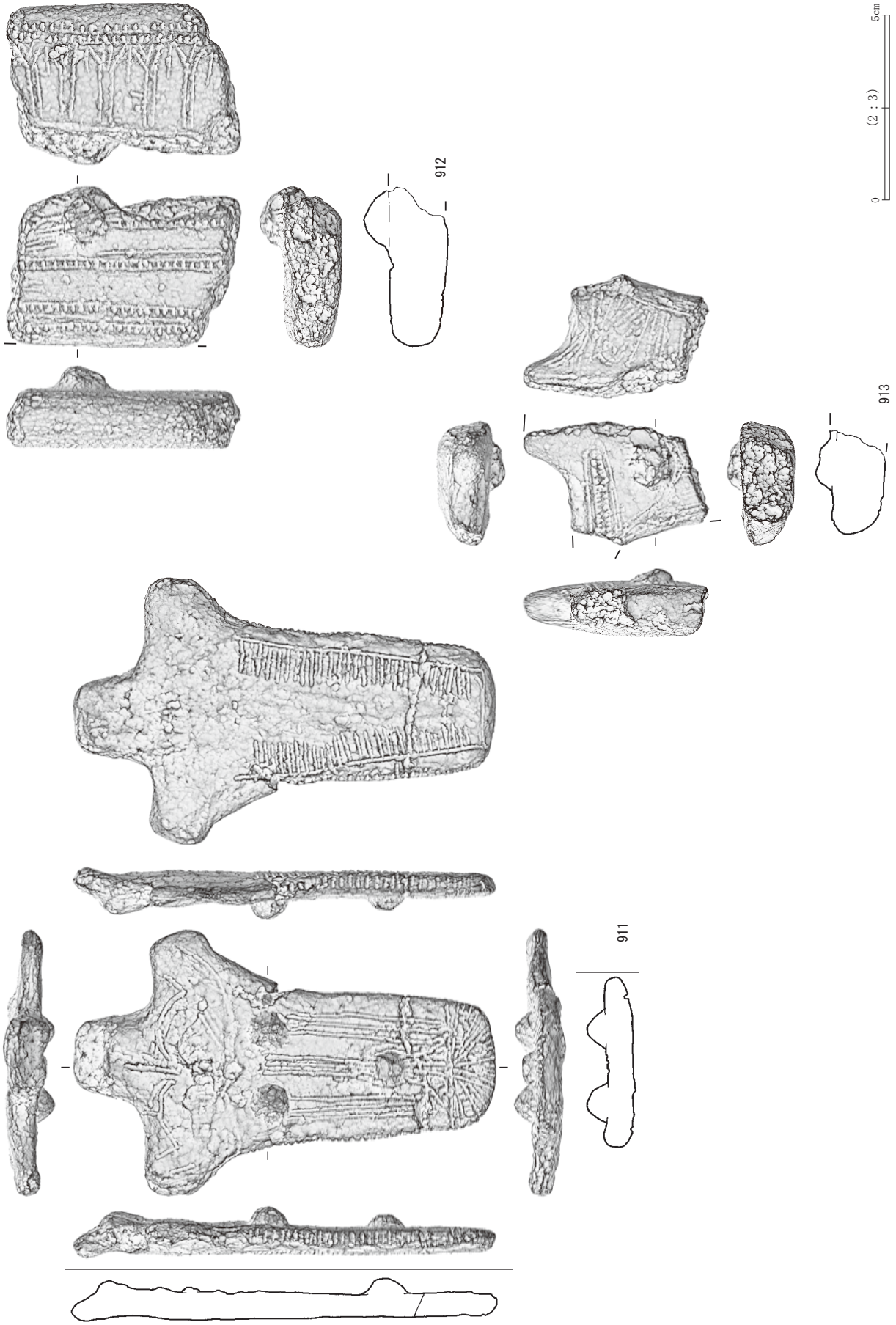
第156図　捨て場出土土器（128）



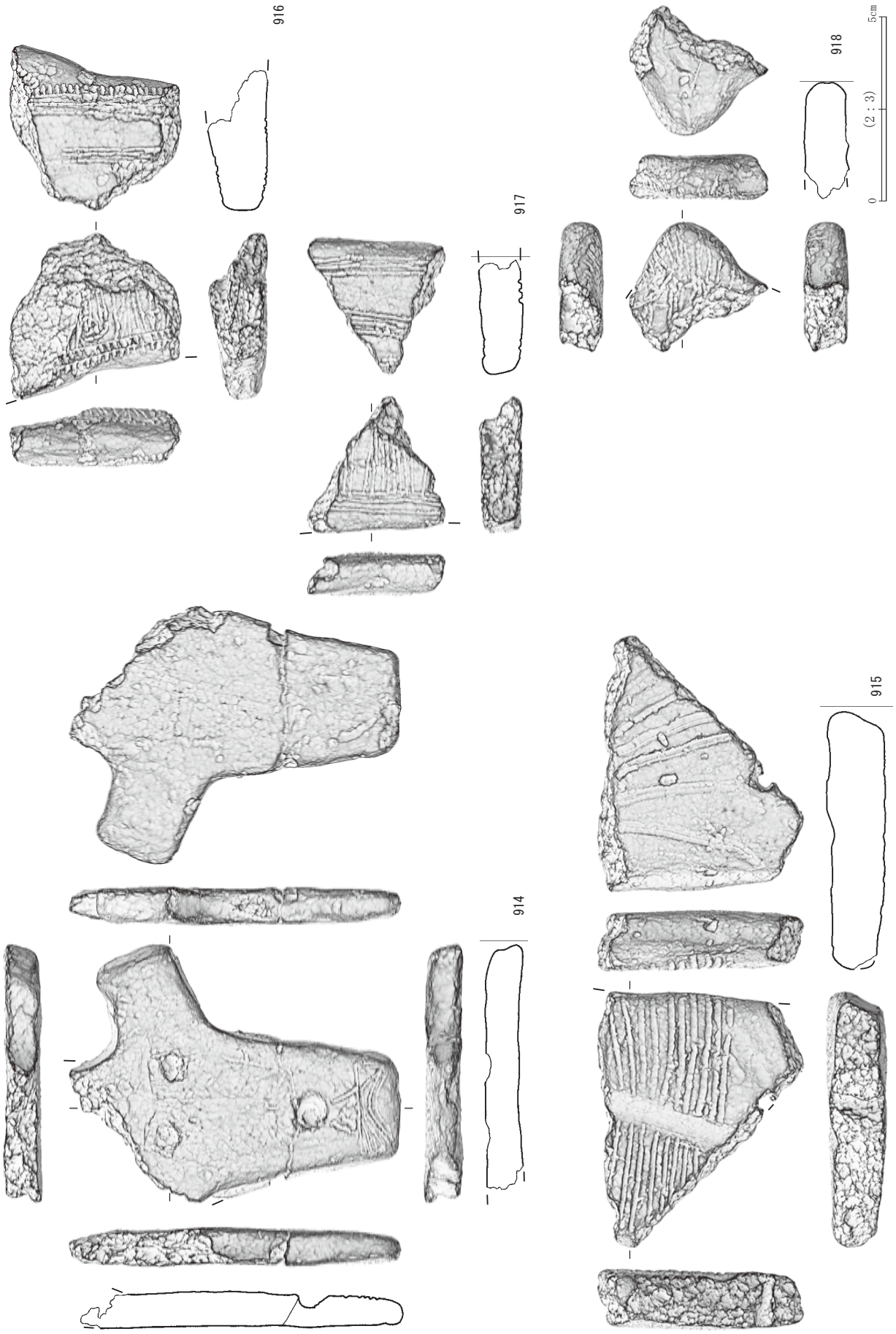
第157図　捨て場出土小型土器（1）



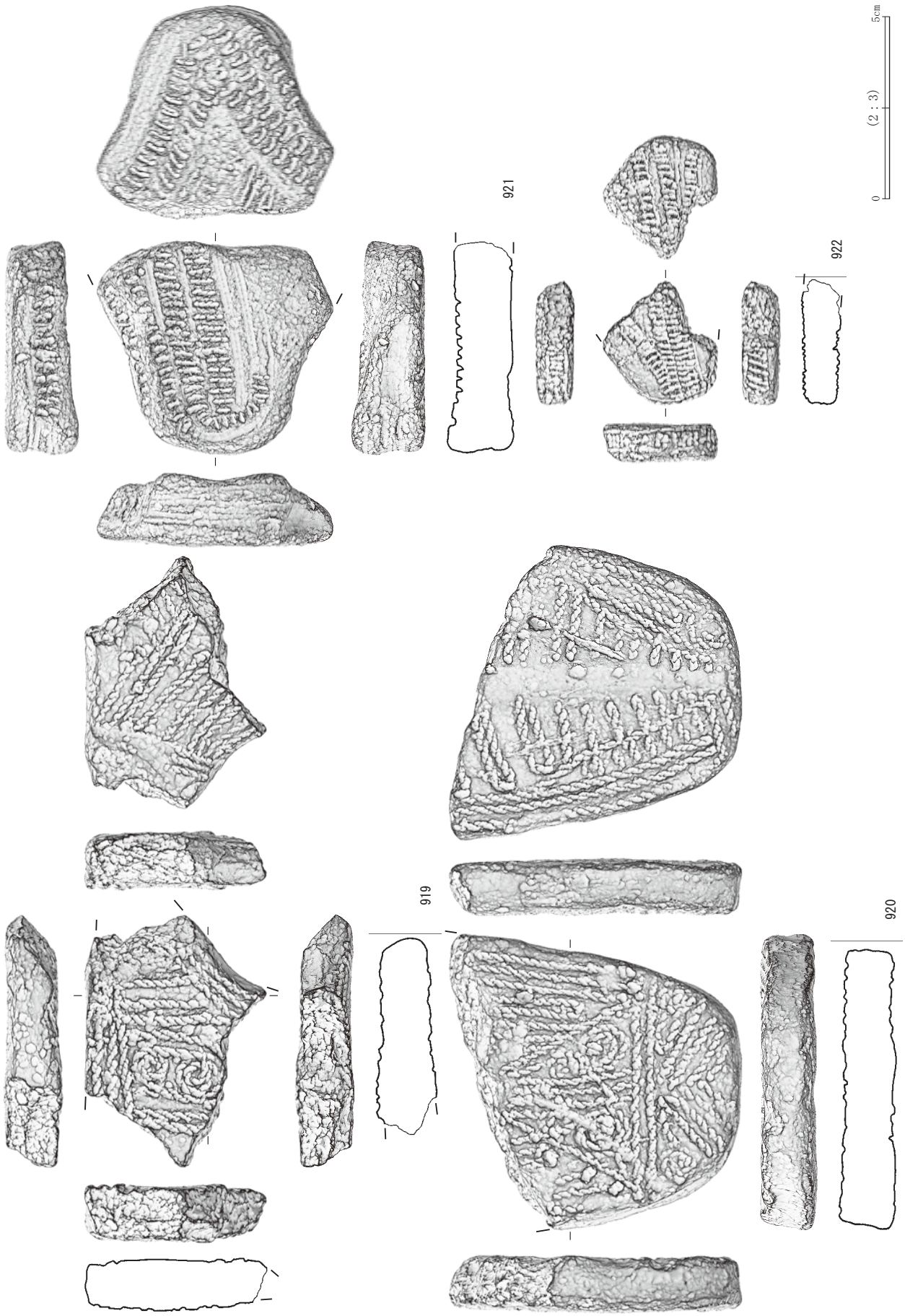
第158図　捨て場出土小型土器（2）、円盤状土製品



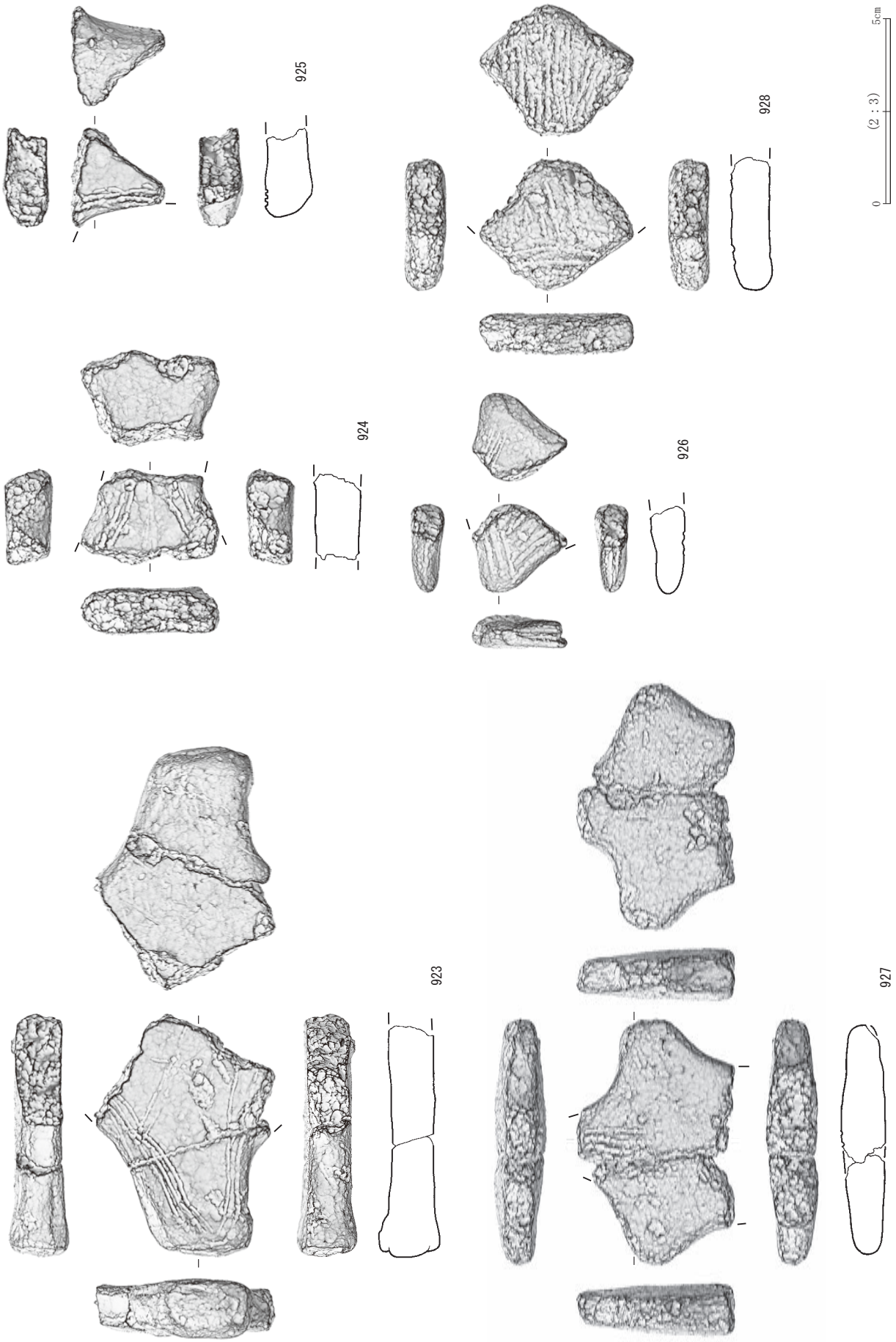
第159図　捨て場出土土偶（1）



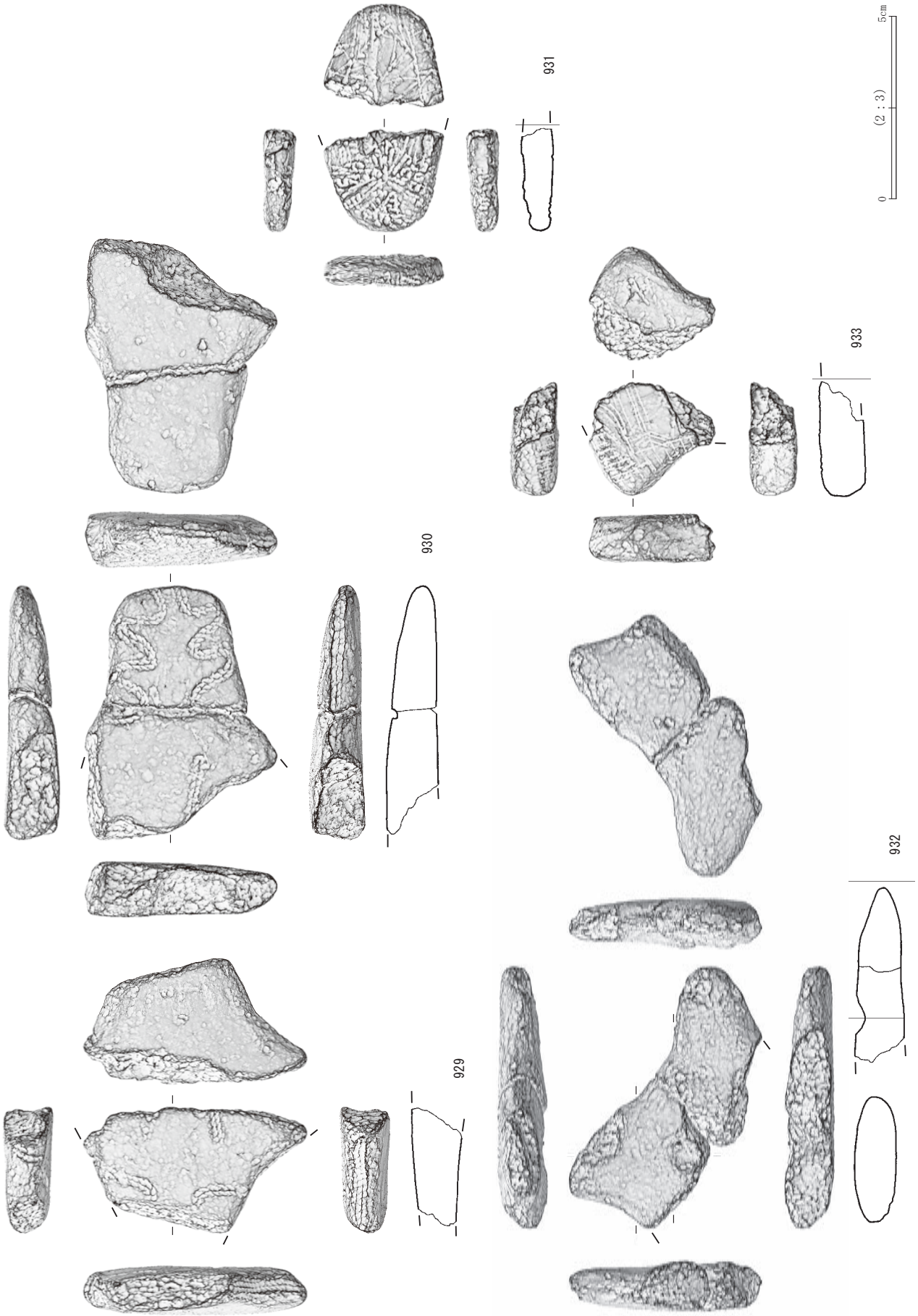
第160図　捨て場出土土偶（2）



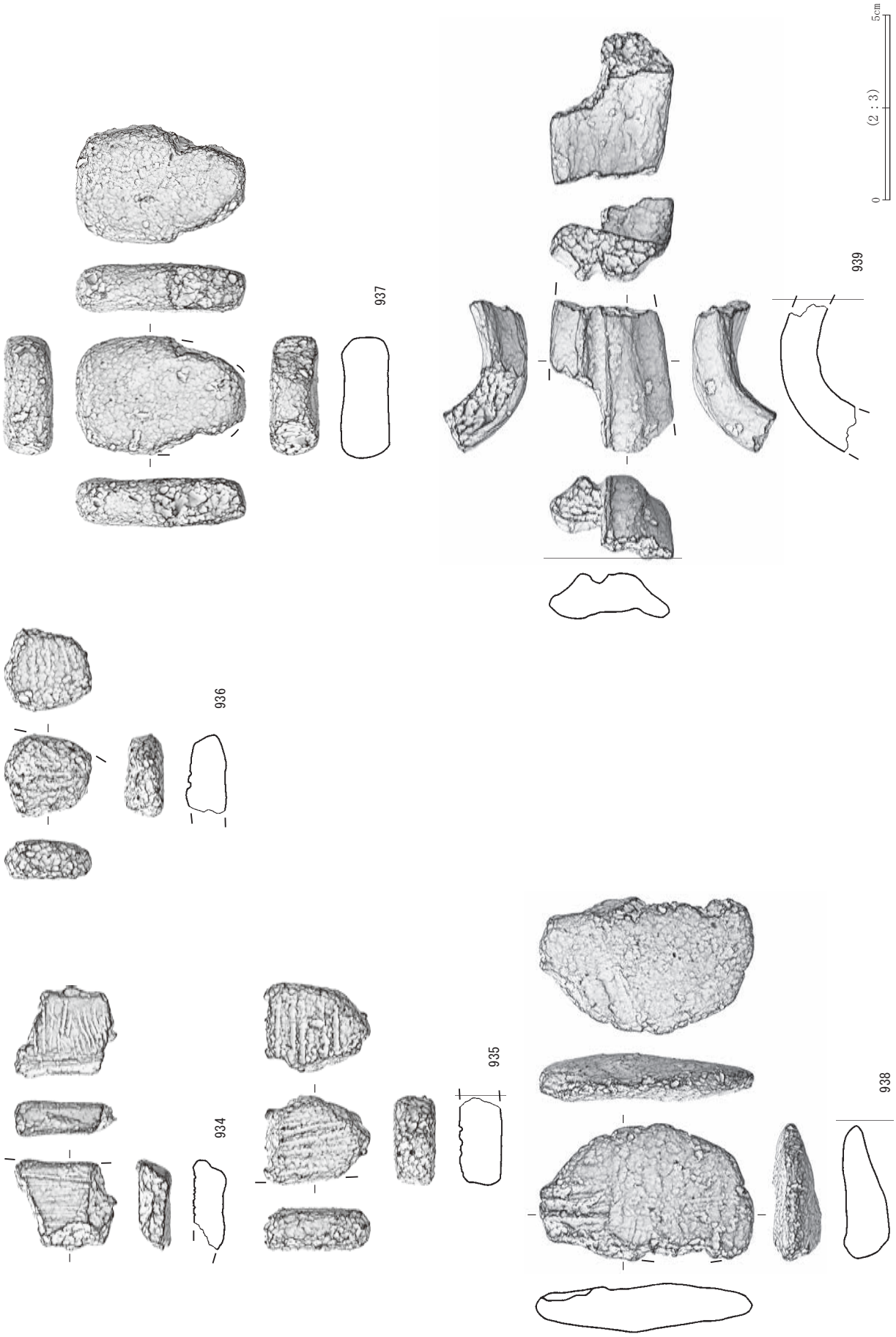
第161図　捨て場出土土偶（3）



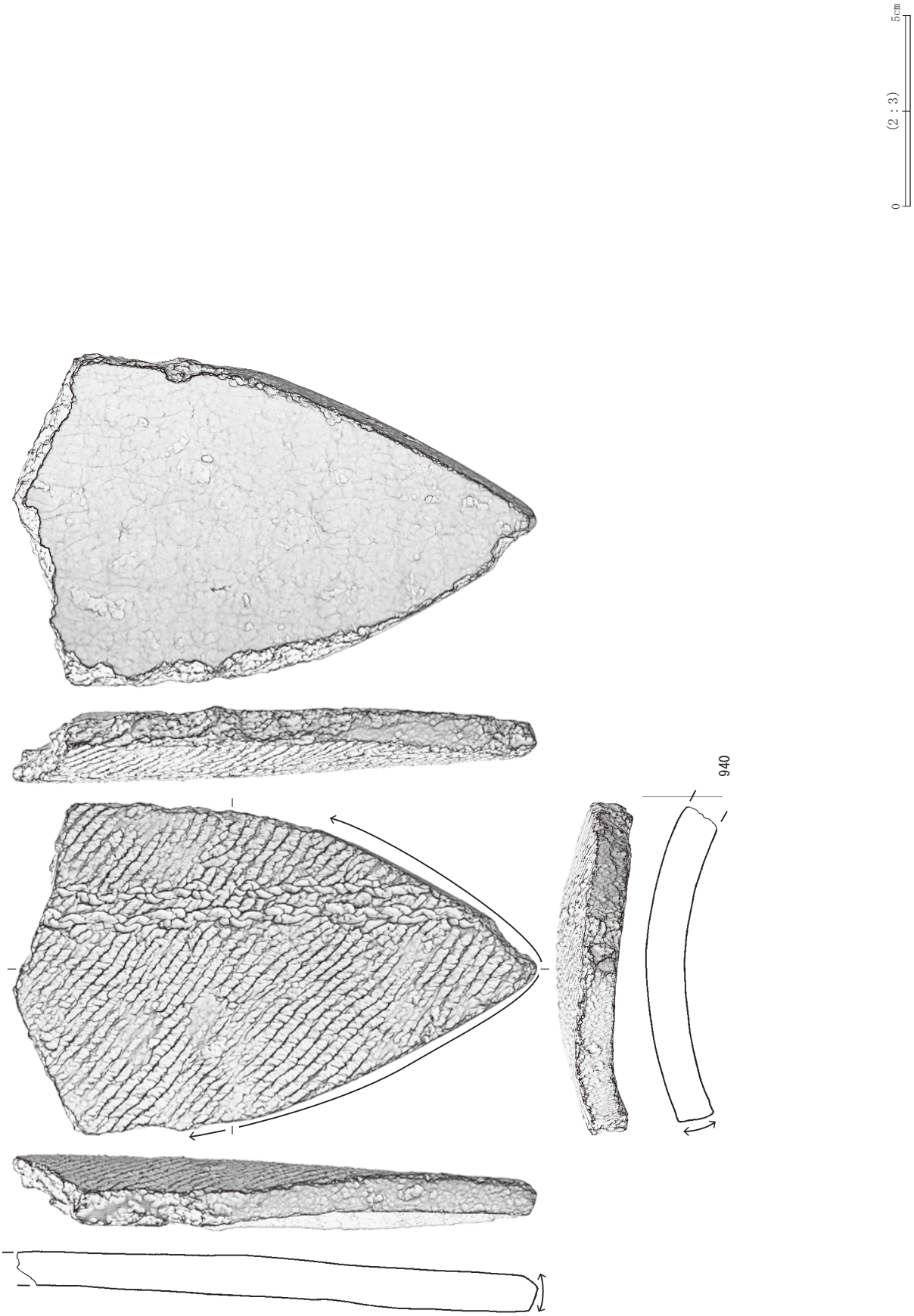
第162図　捨て場出土土偶（4）



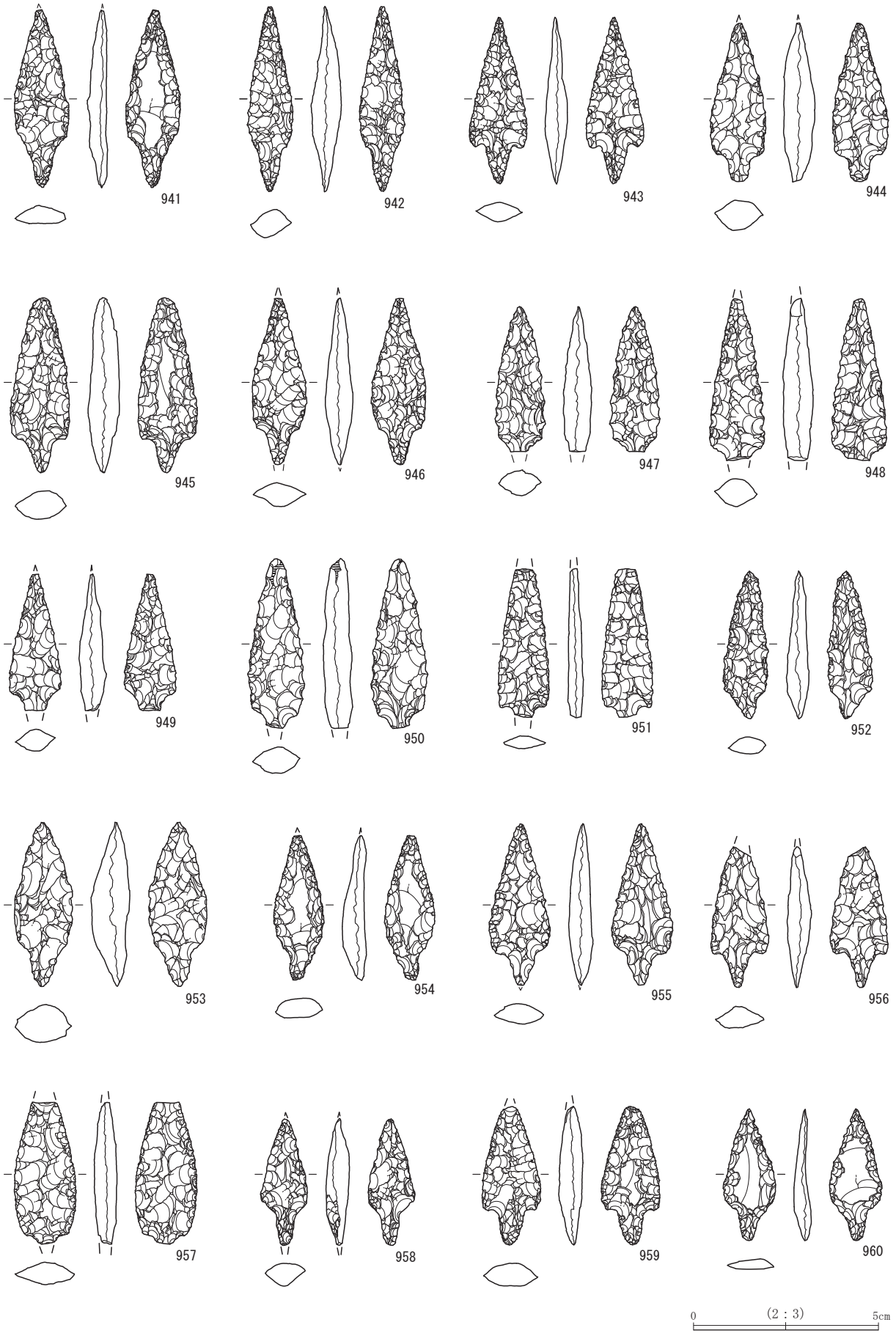
第163図　捨て場出土土偶（5）



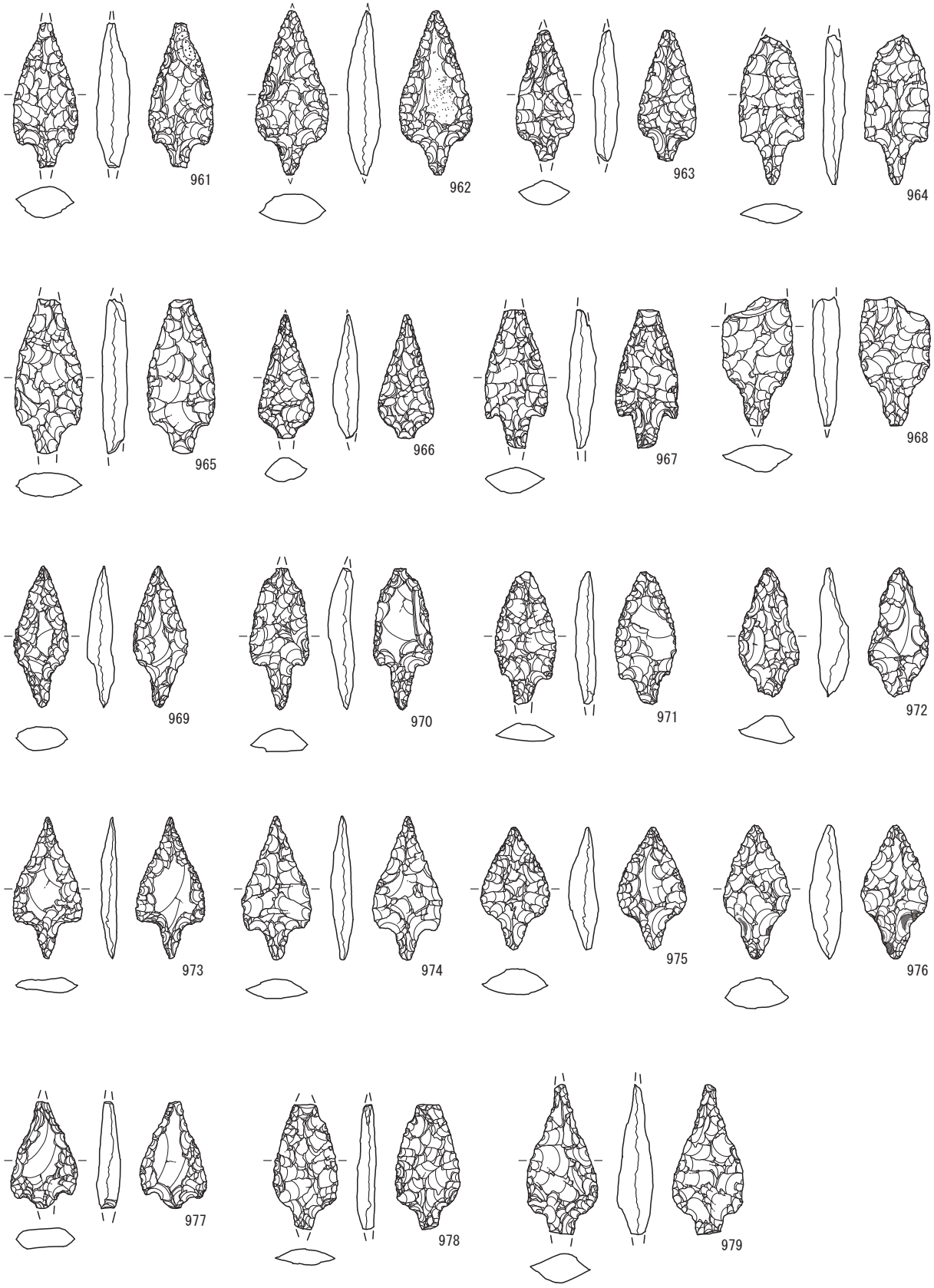
第164図　捨て場出土土偶（6）、土製品（1）



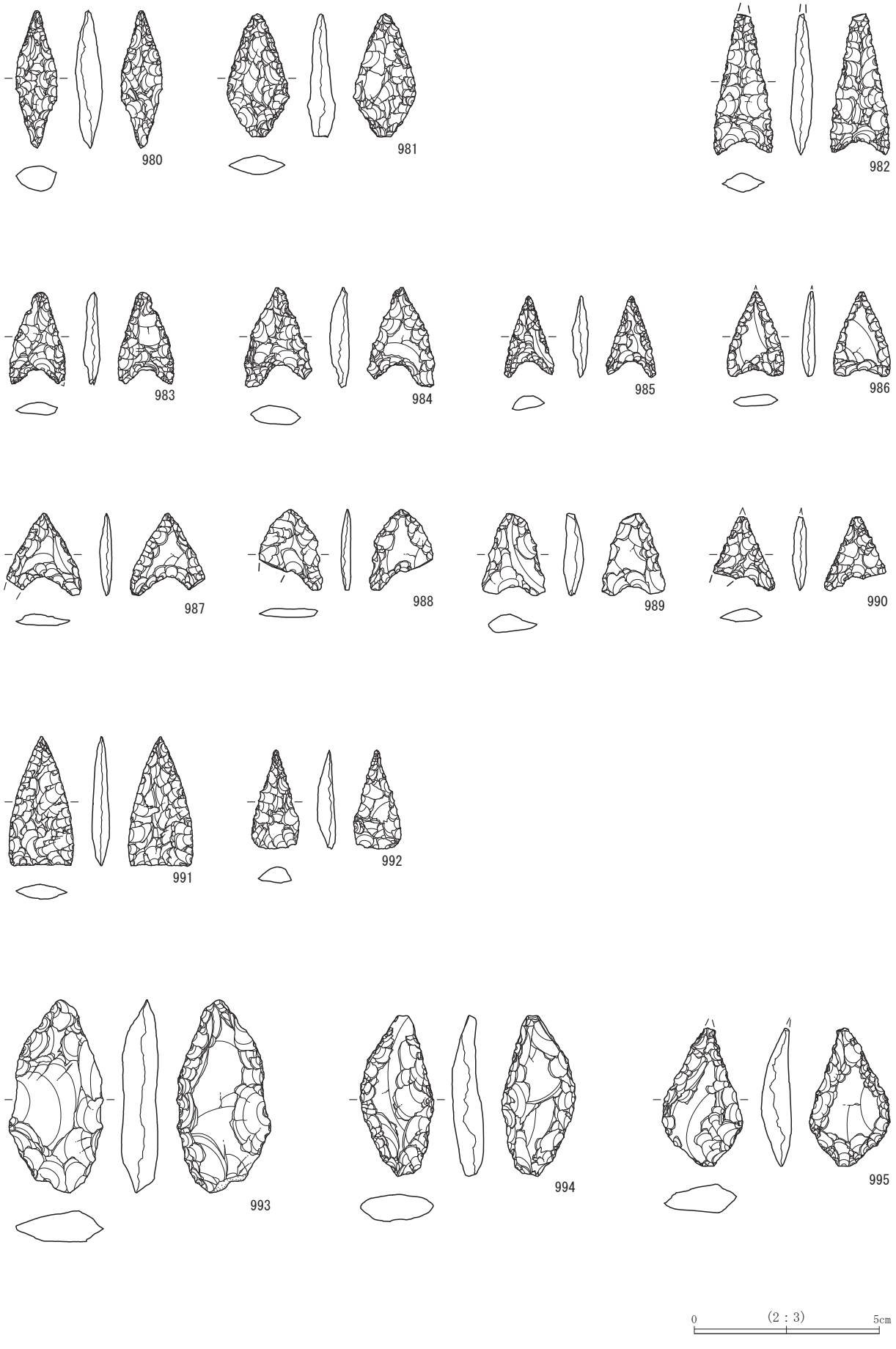
第165図　捨て場出土土製品（2）



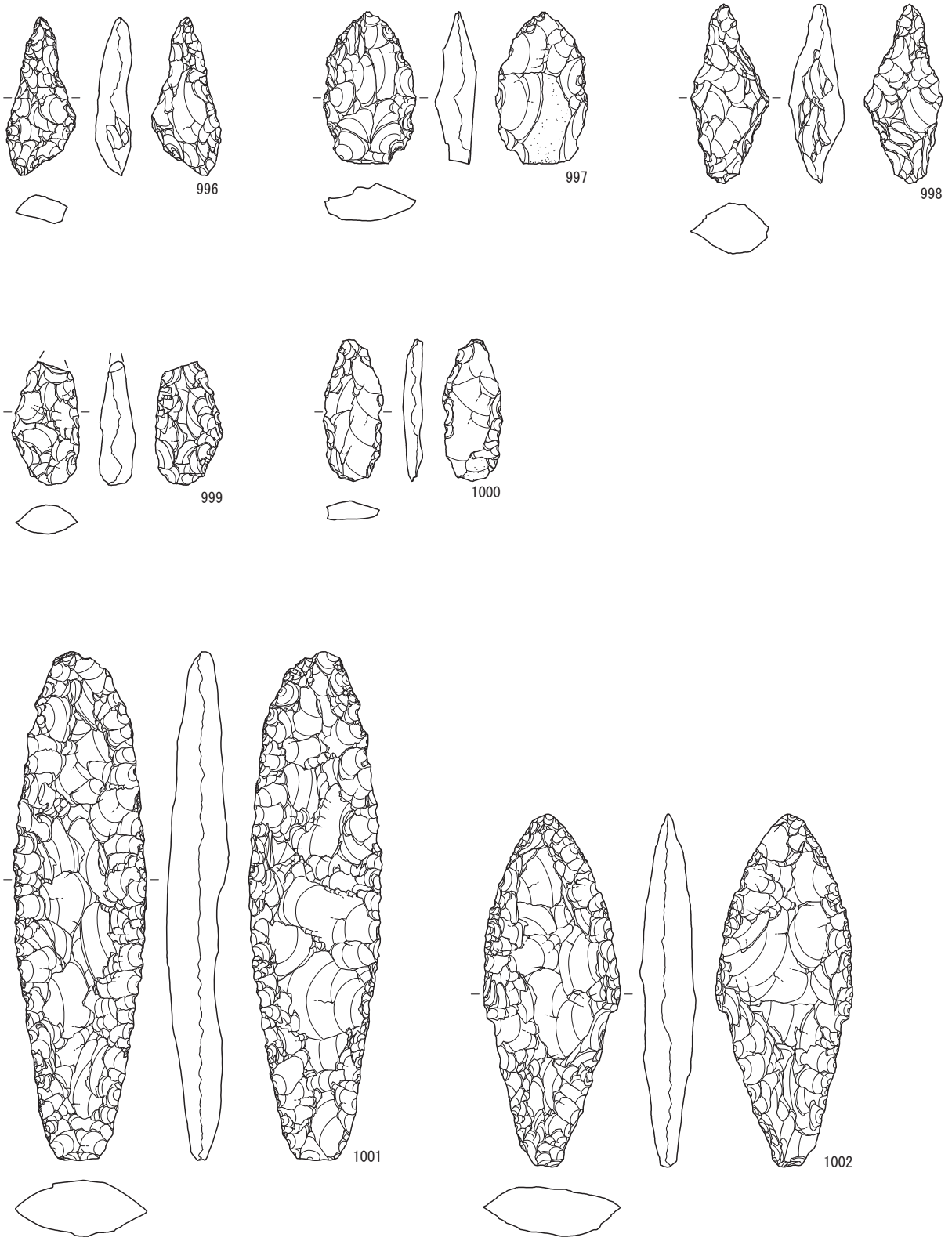
第166図　捨て場出土石器（1）



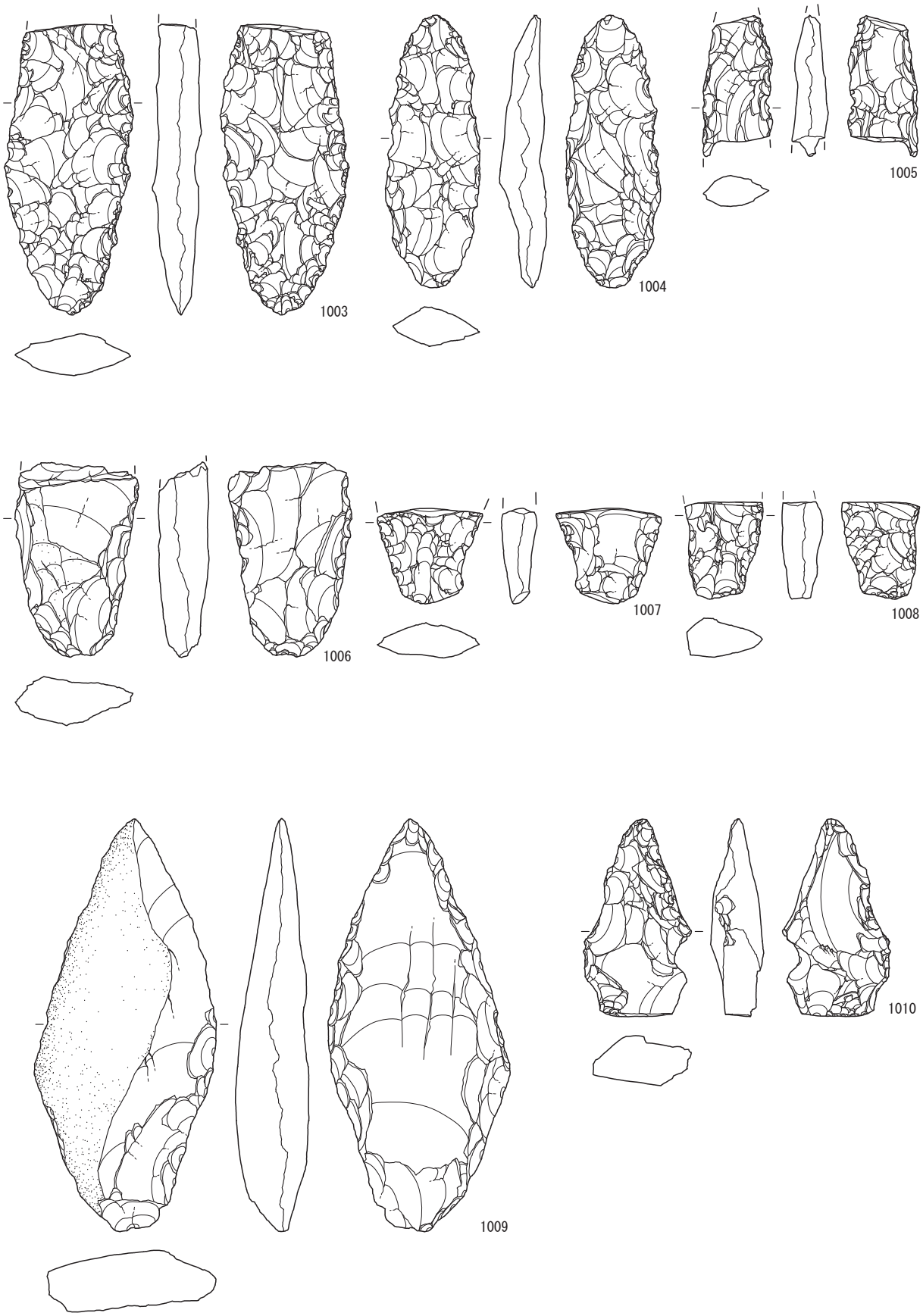
第167図　捨て場出土石器（2）



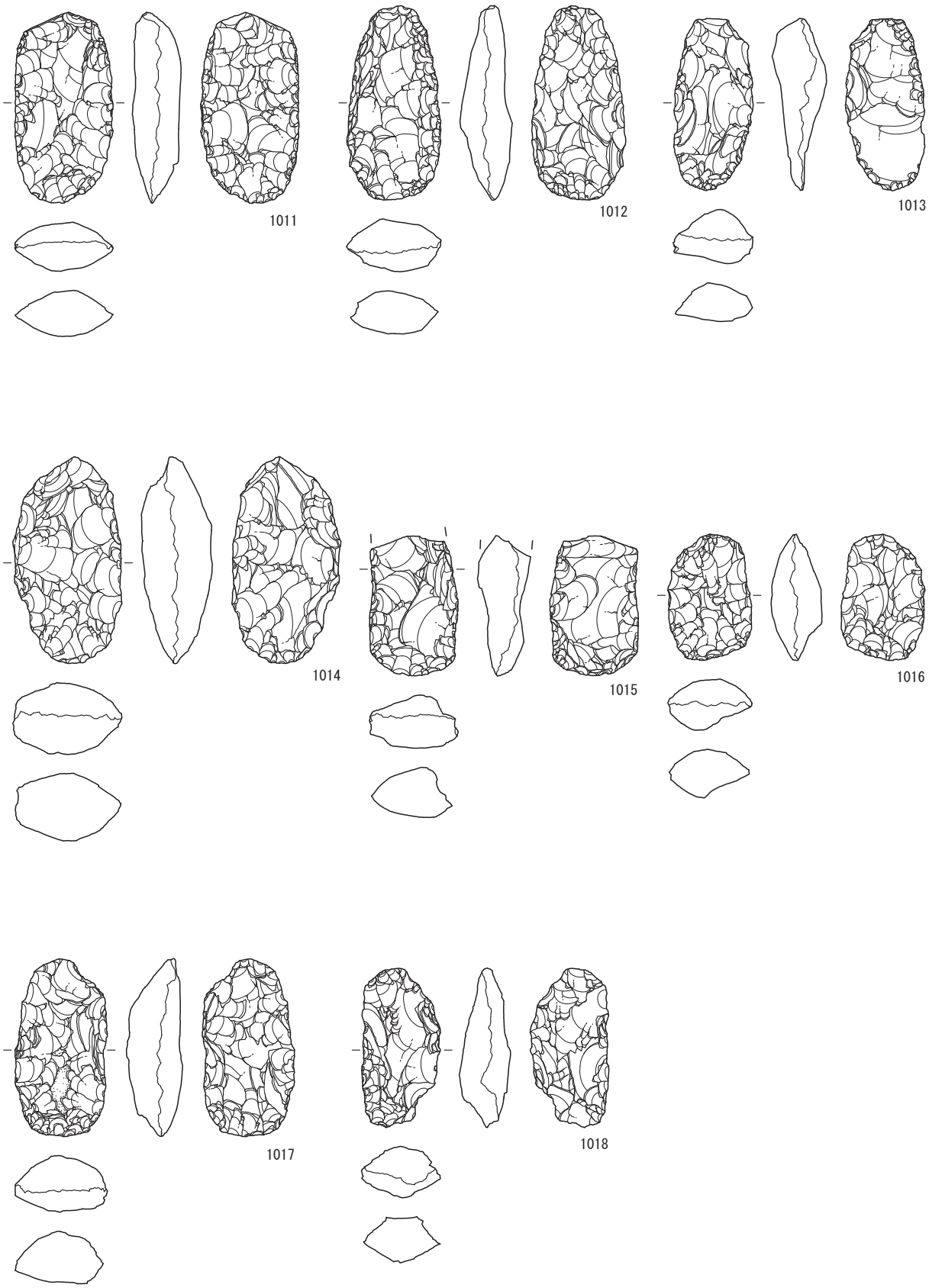
第168図　捨て場出土石器（3）



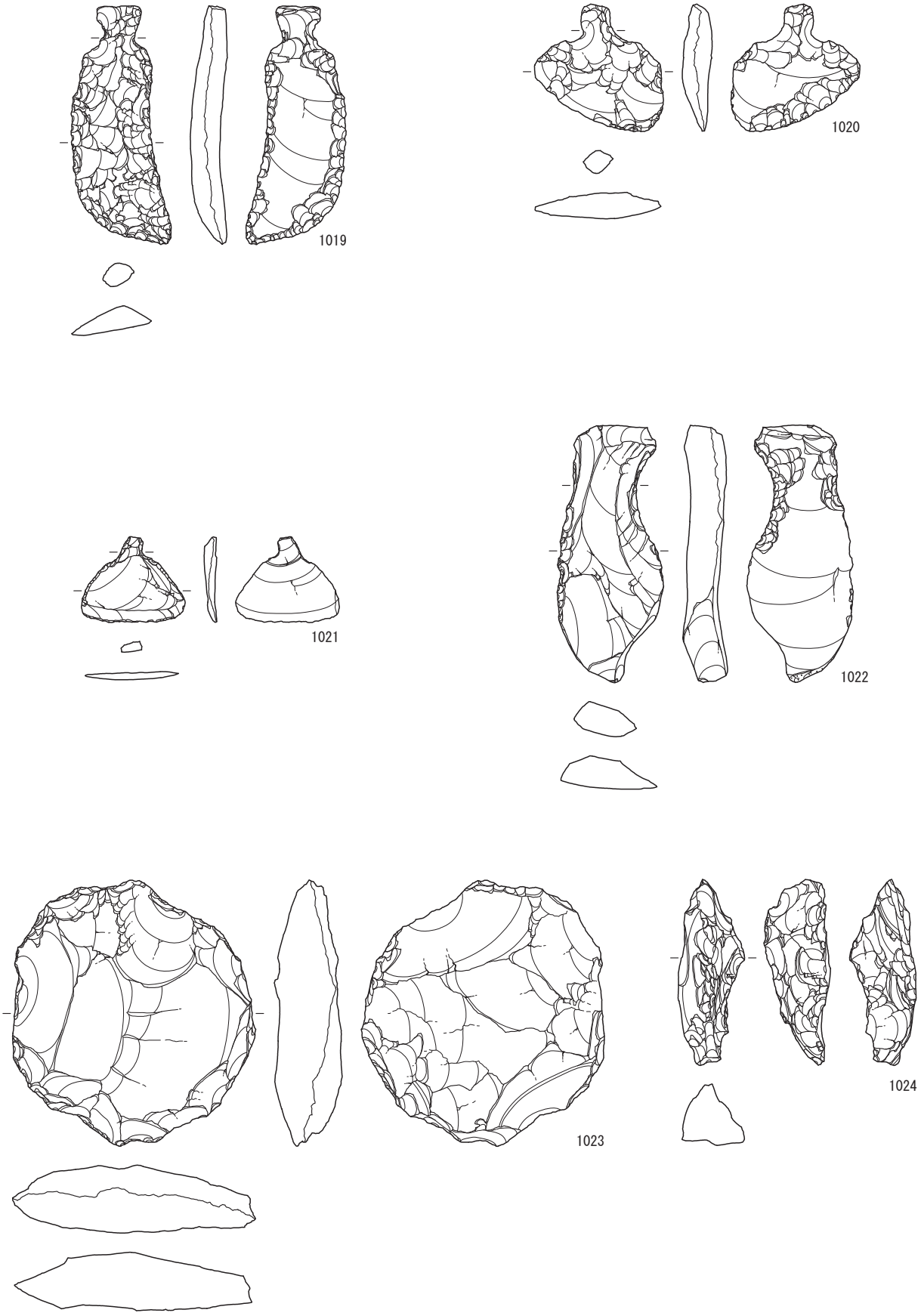
第169図　捨て場出土石器（4）



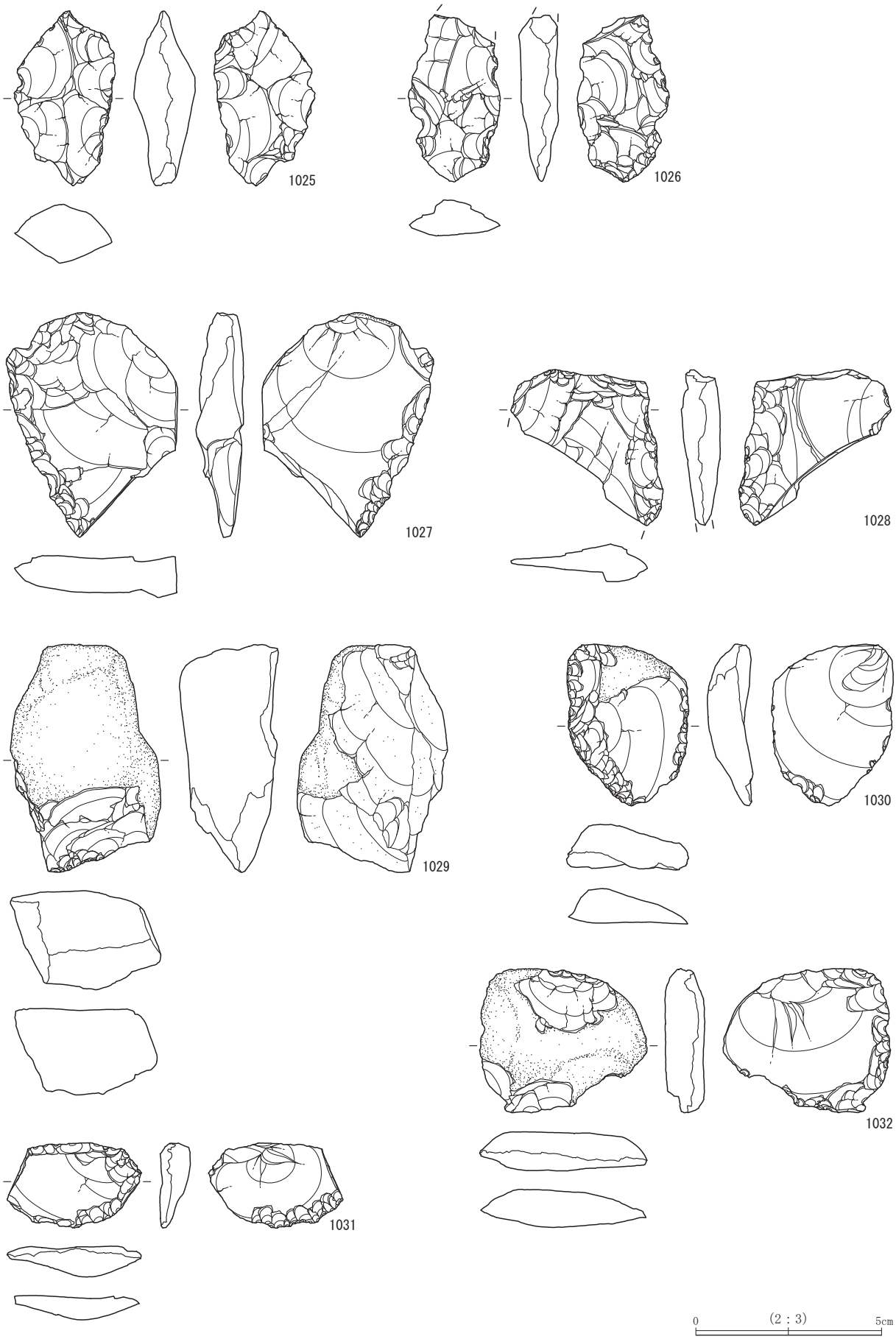
第170図　捨て場出土石器（5）



第171図　捨て場出土石器（6）

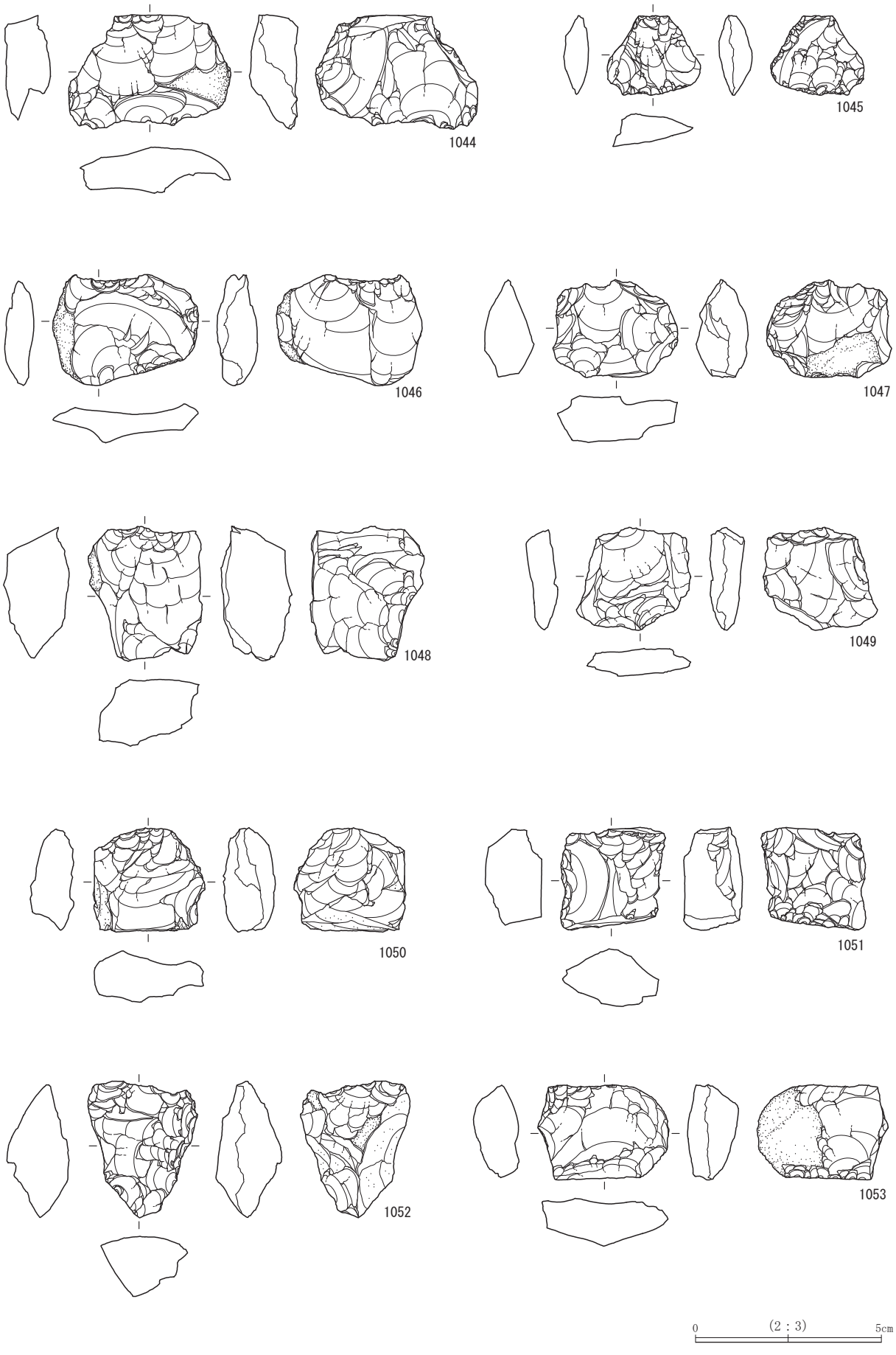


第172図　捨て場出土石器（7）

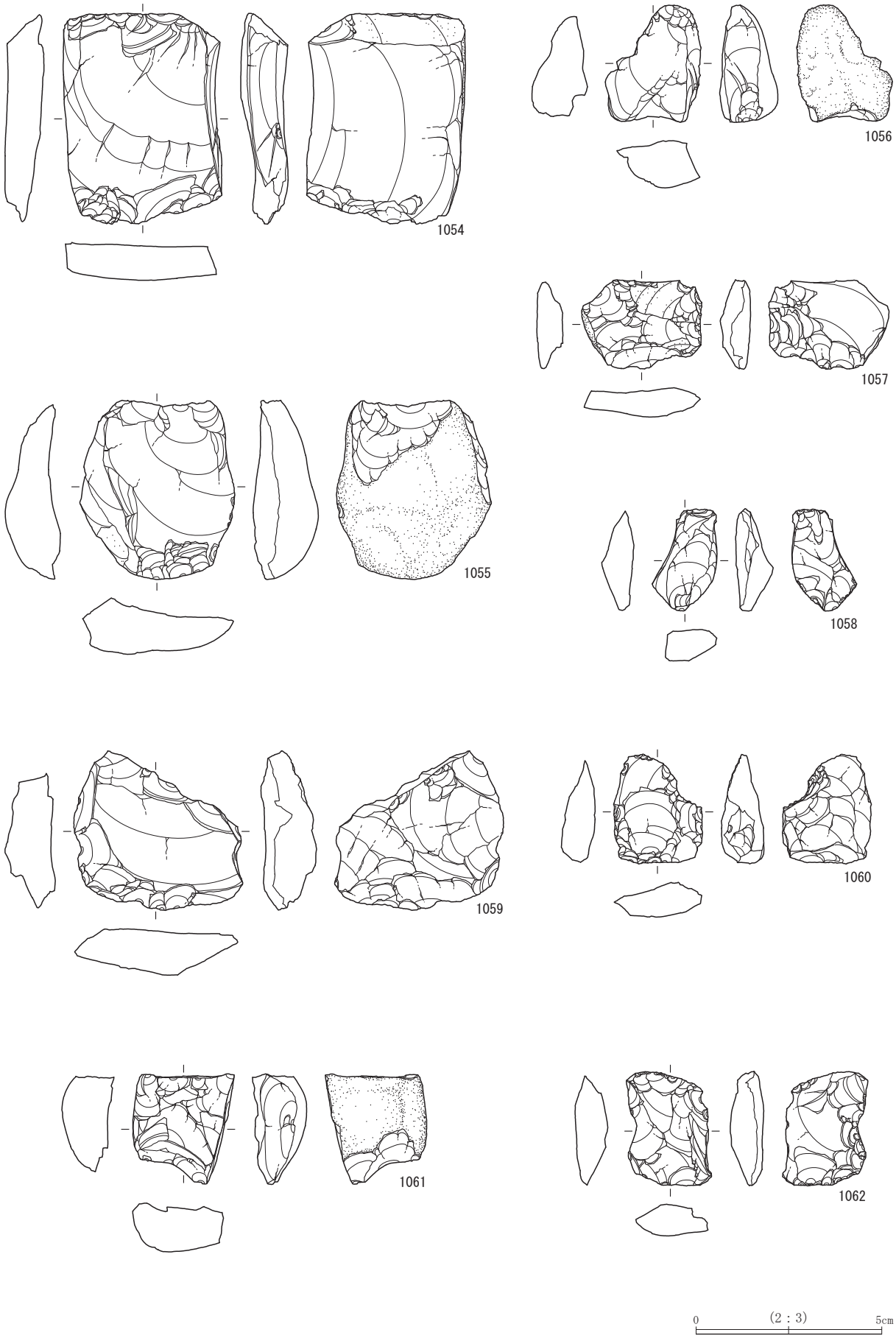


第173図　捨て場出土石器（8）

第174図　捨て場出土石器（9）

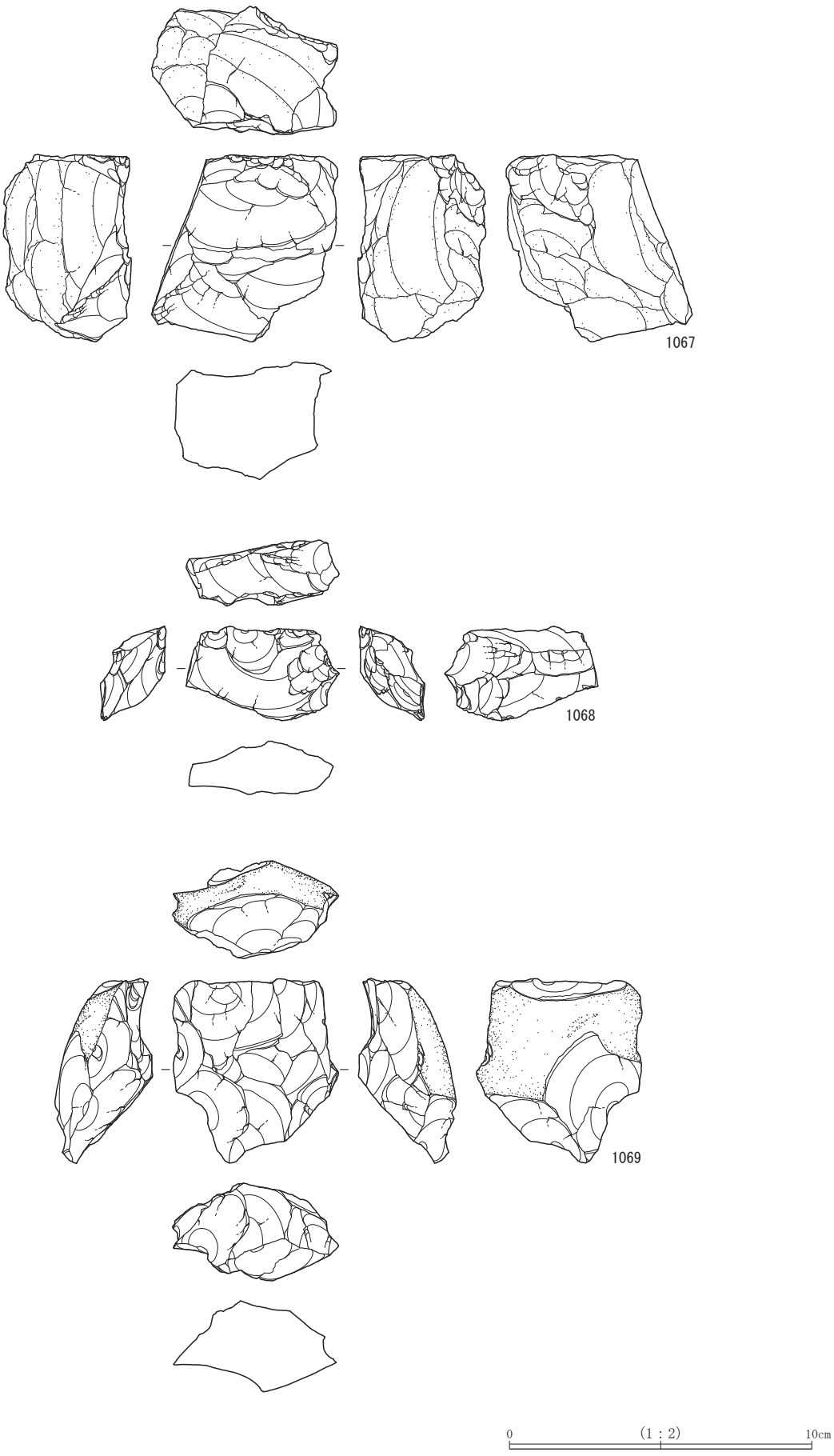


第175図　捨て場出土石器（10）

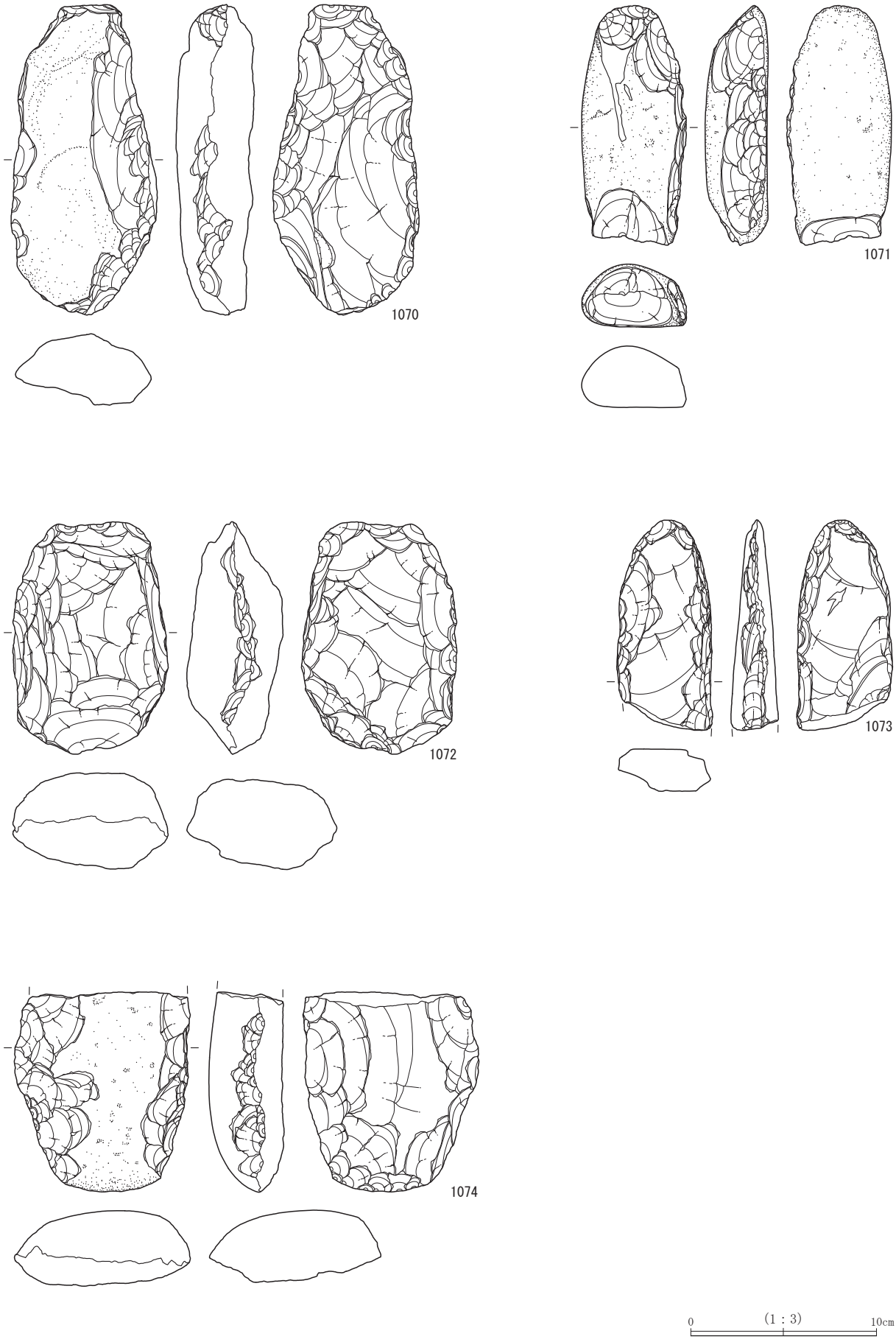


第176図　捨て場出土石器（11）

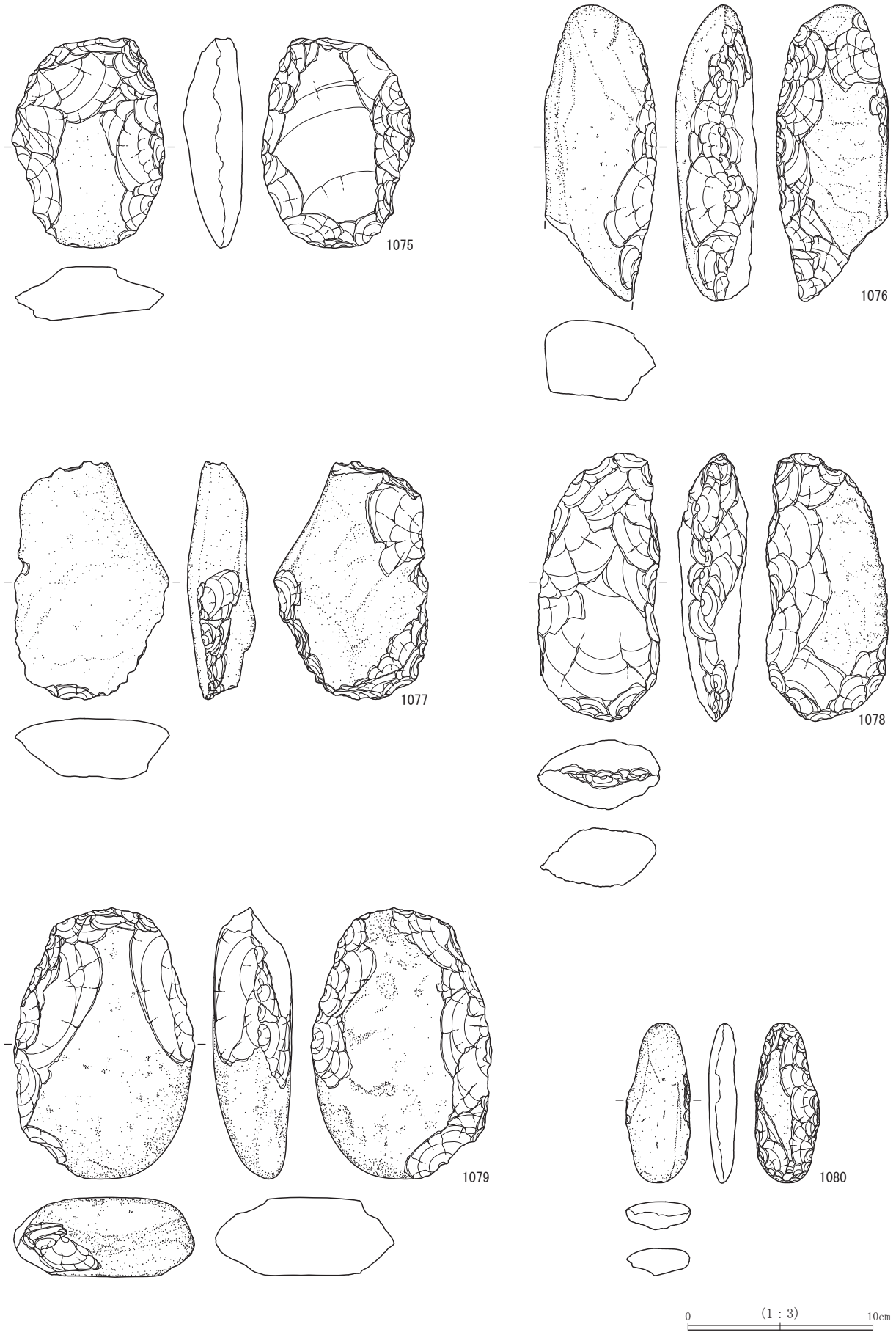
第177図　捨て場出土石器（12）



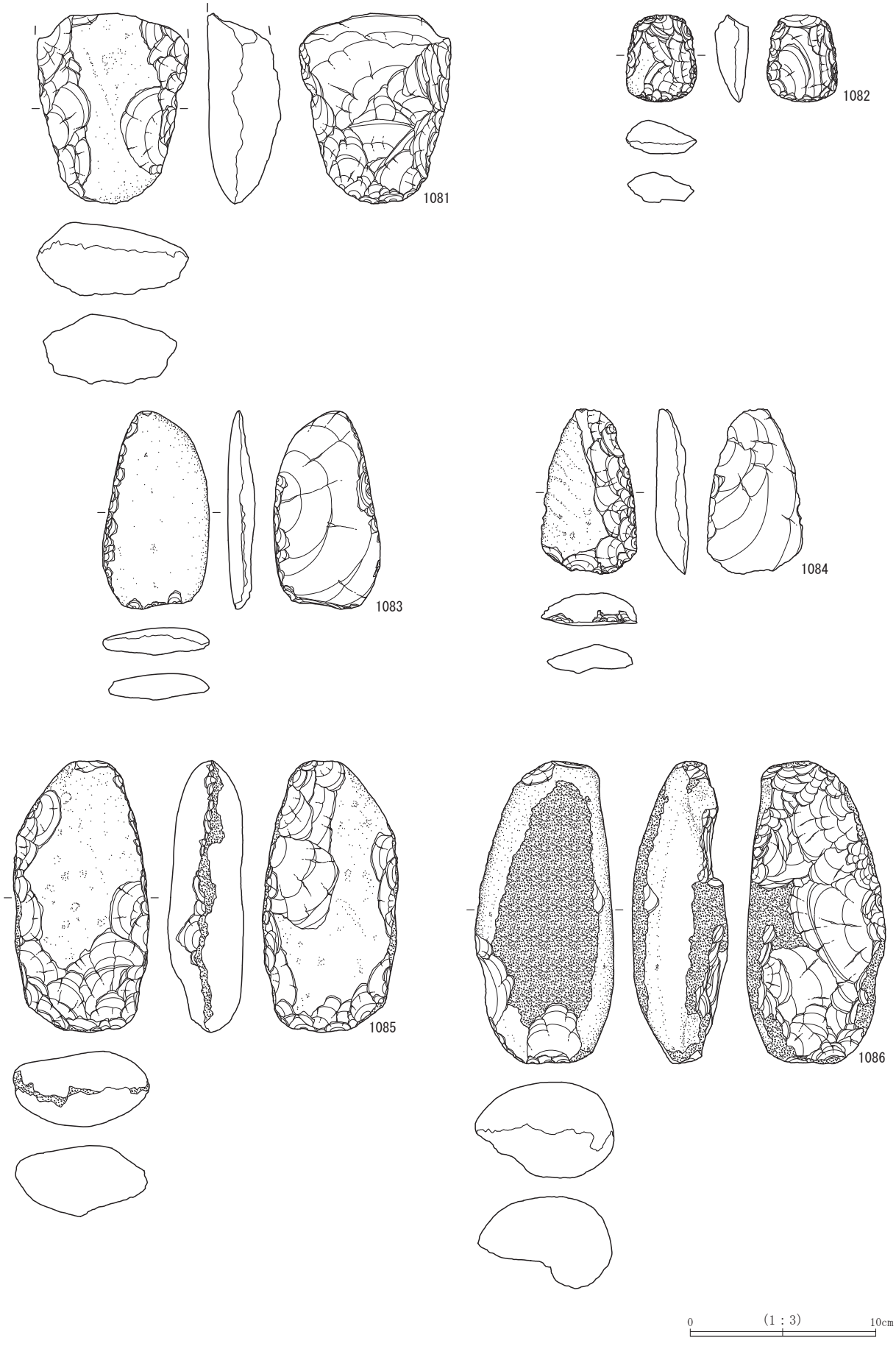
第178図　捨て場出土石器（13）



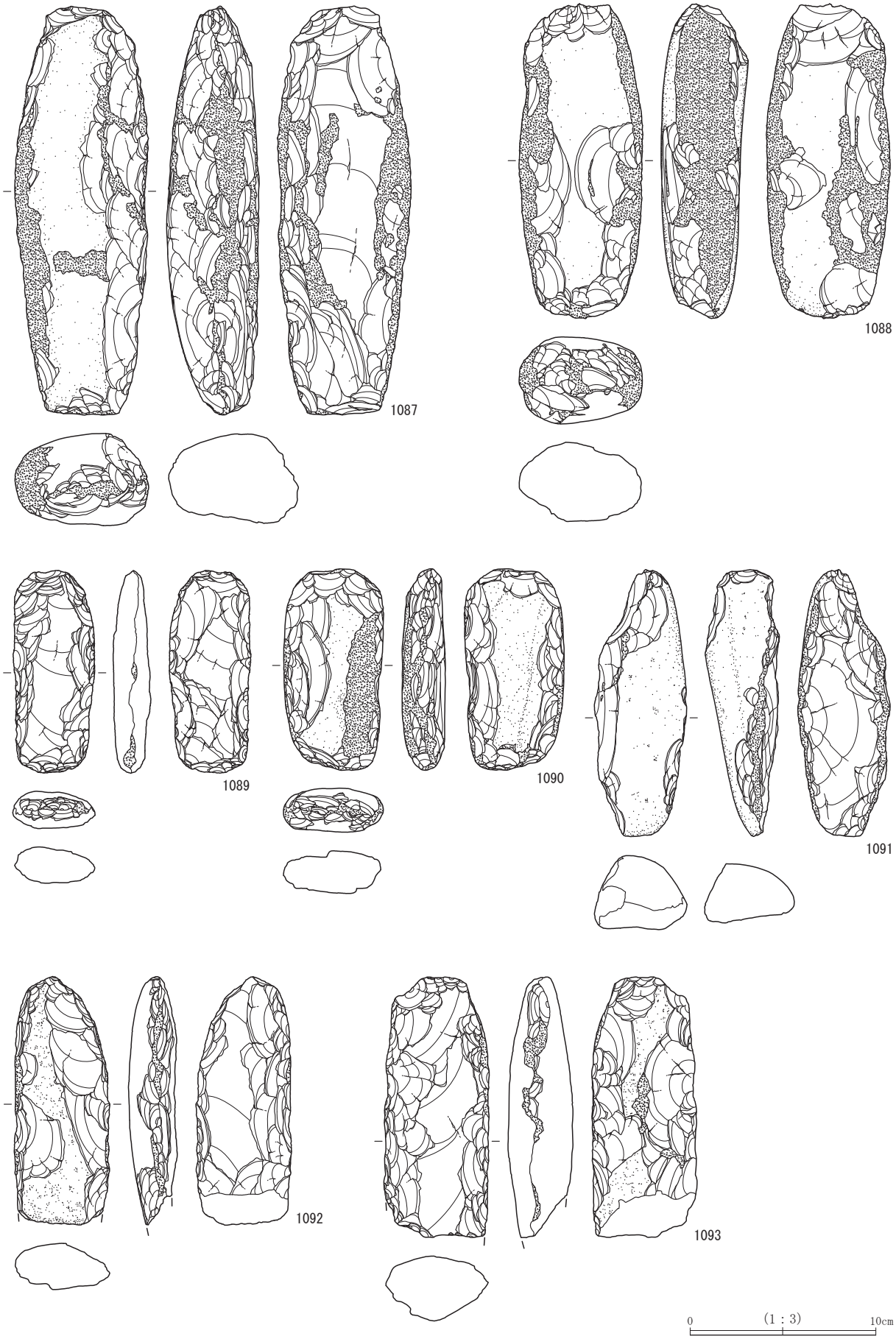
第179図　捨て場出土石器（14）



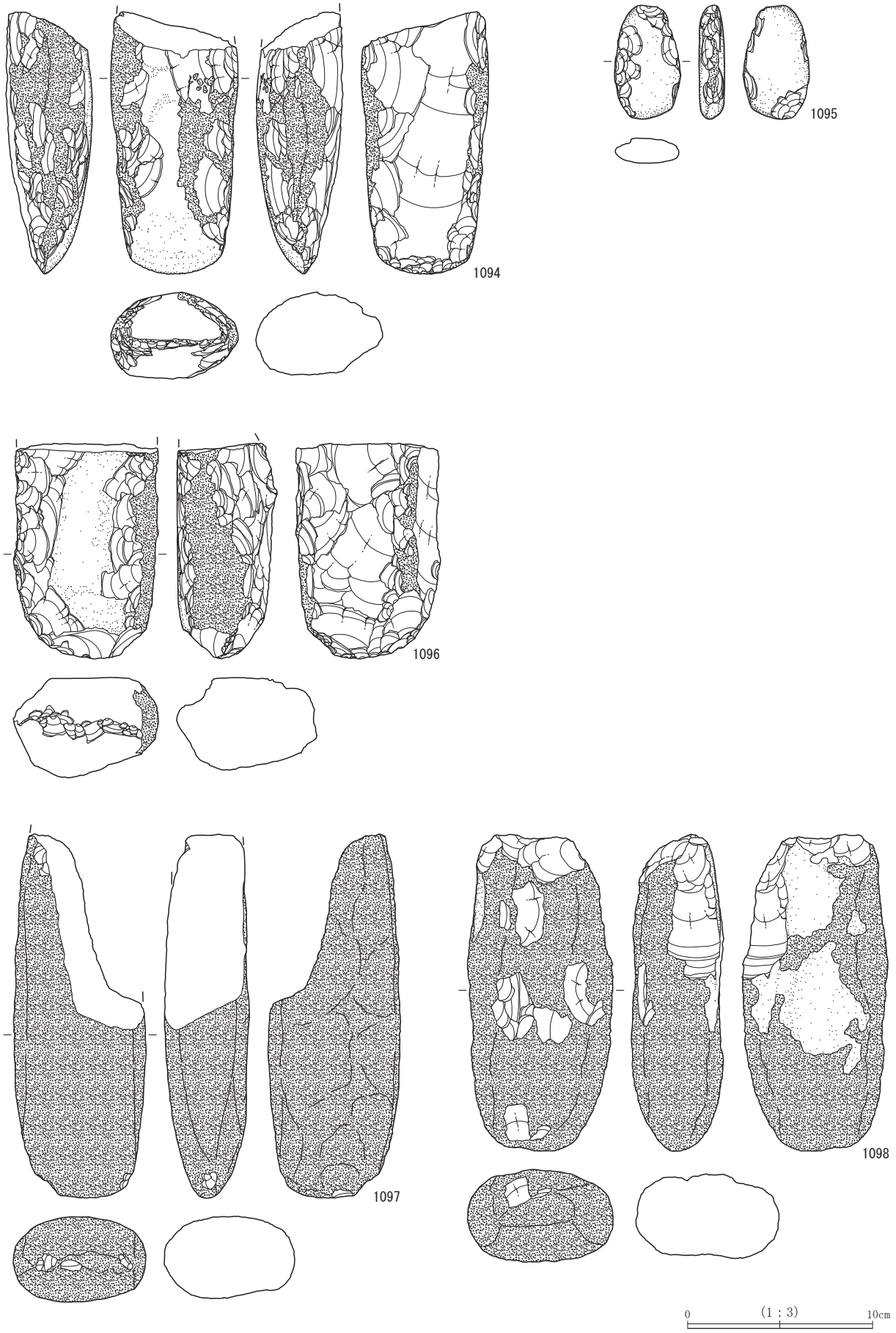
第180図　捨て場出土石器（15）



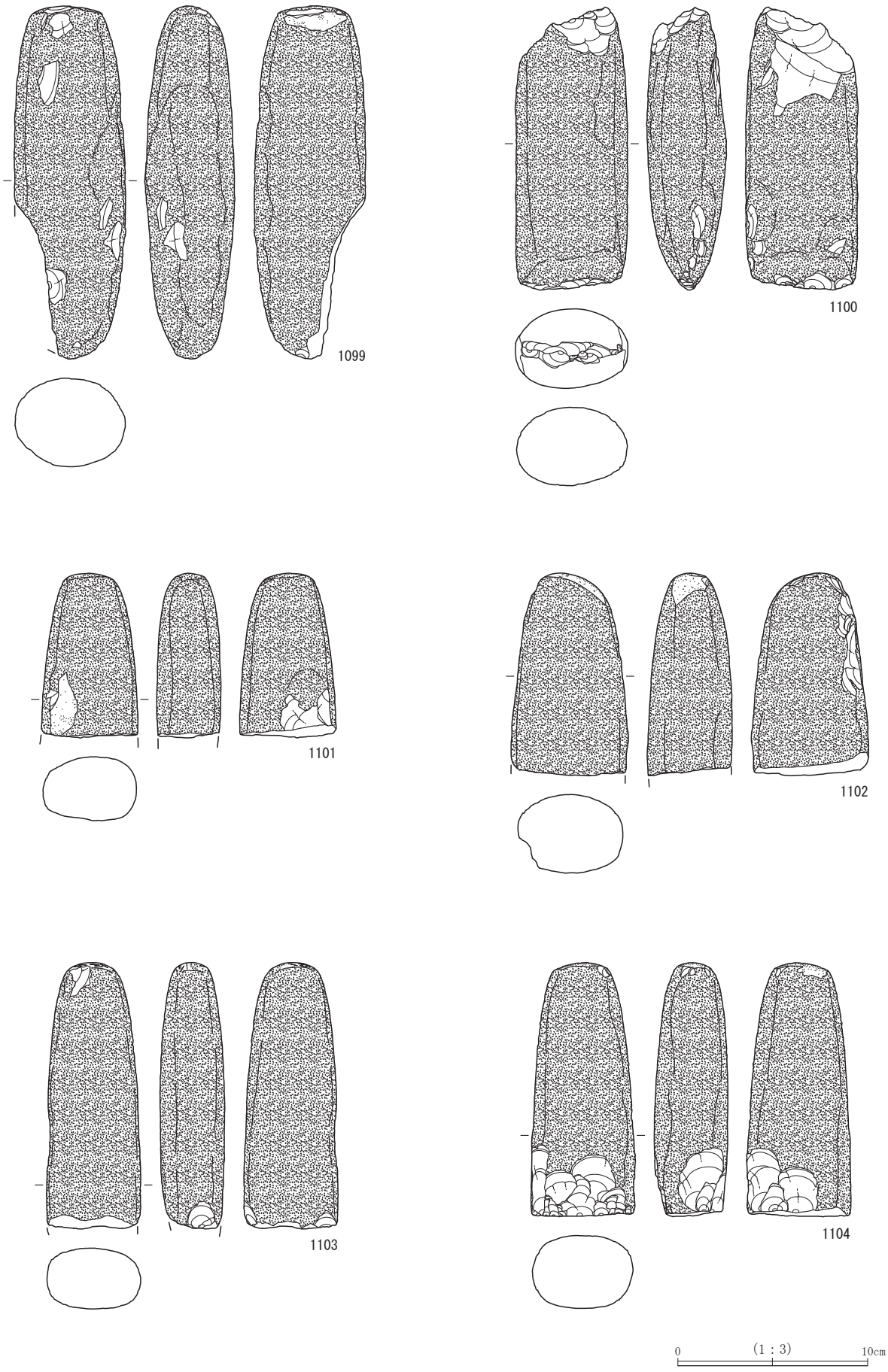
第181図　捨て場出土石器（16）



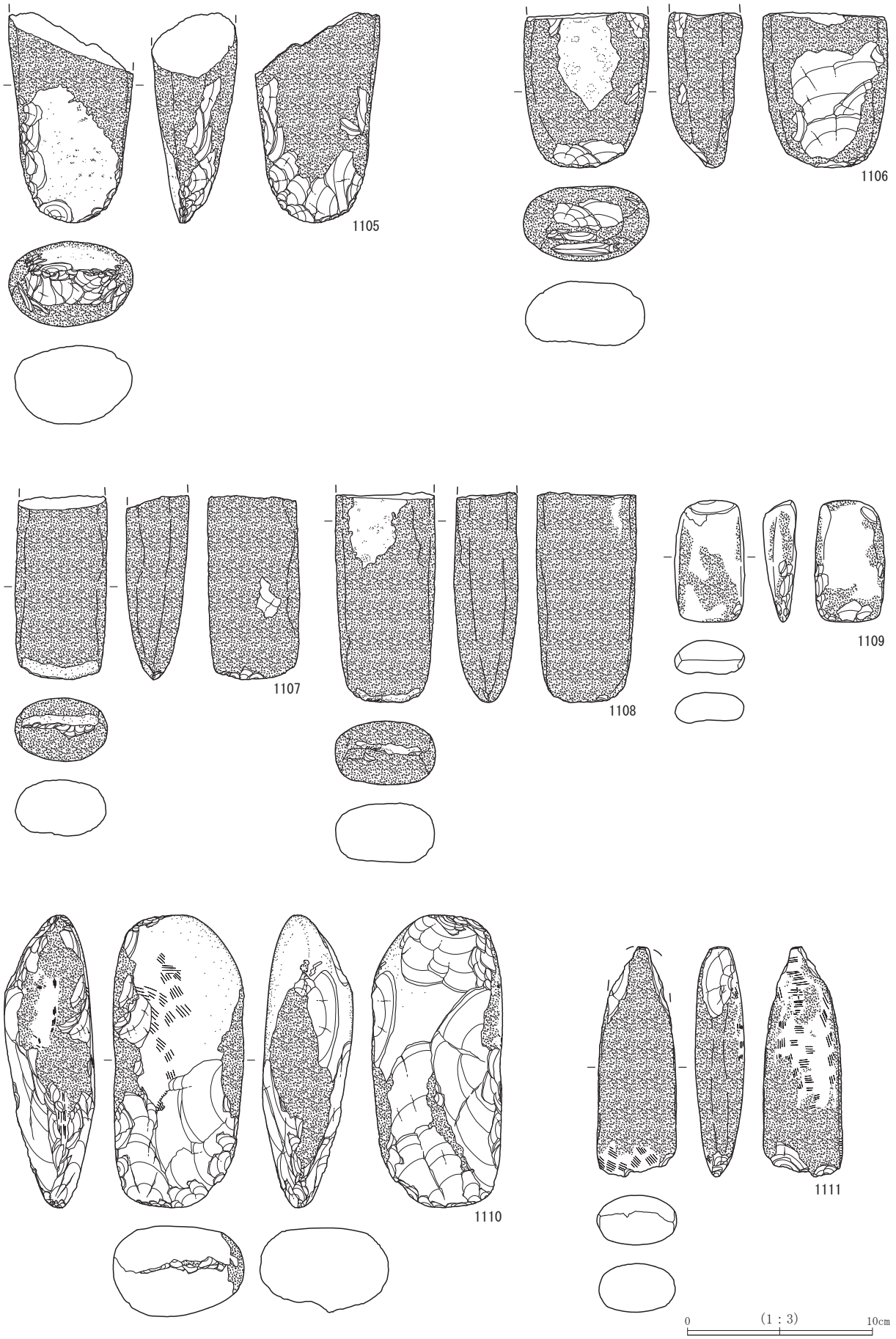
第182図　捨て場出土石器（17）



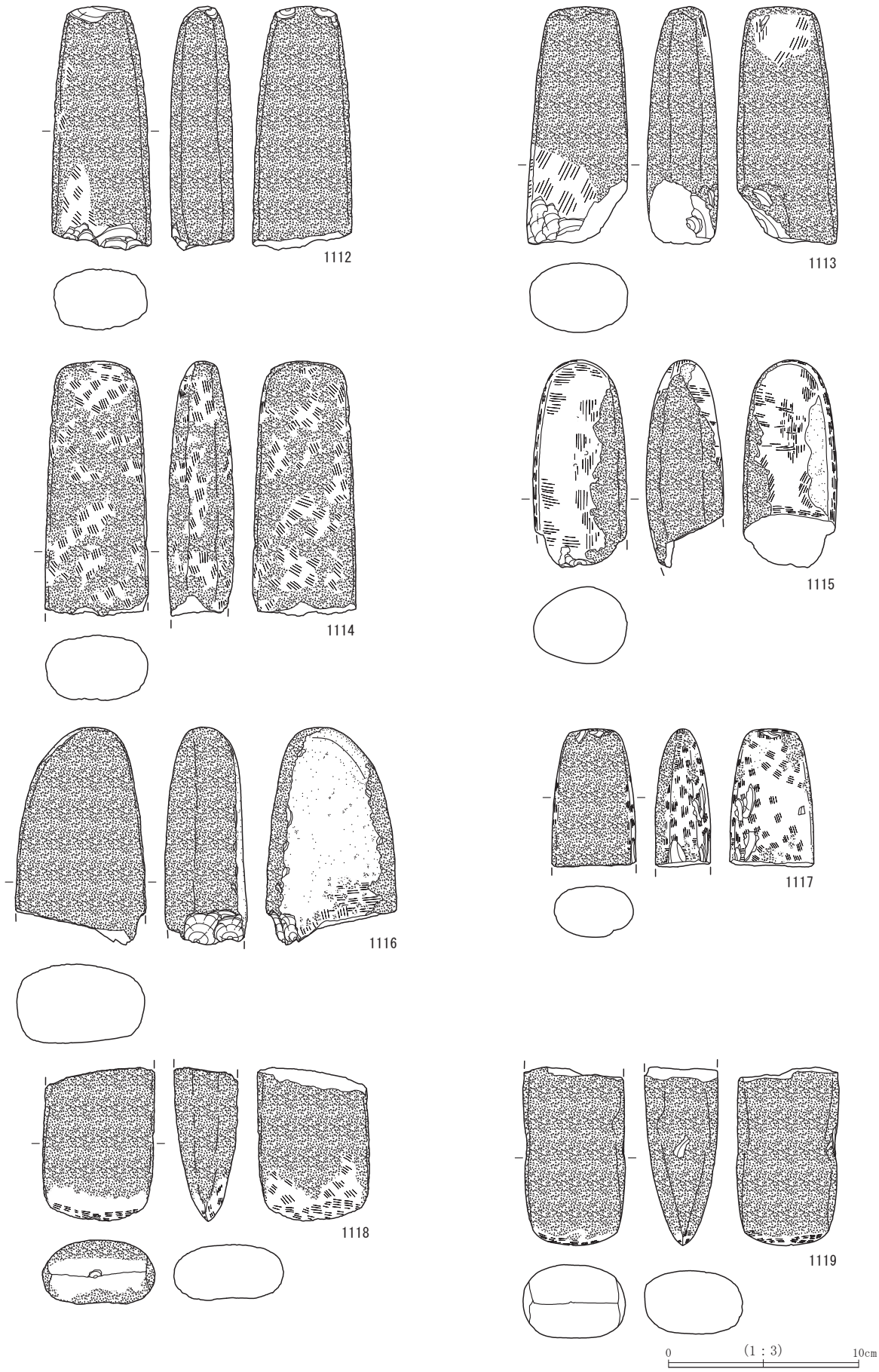
第183図　捨て場出土石器（18）



第184図　捨て場出土石器（19）

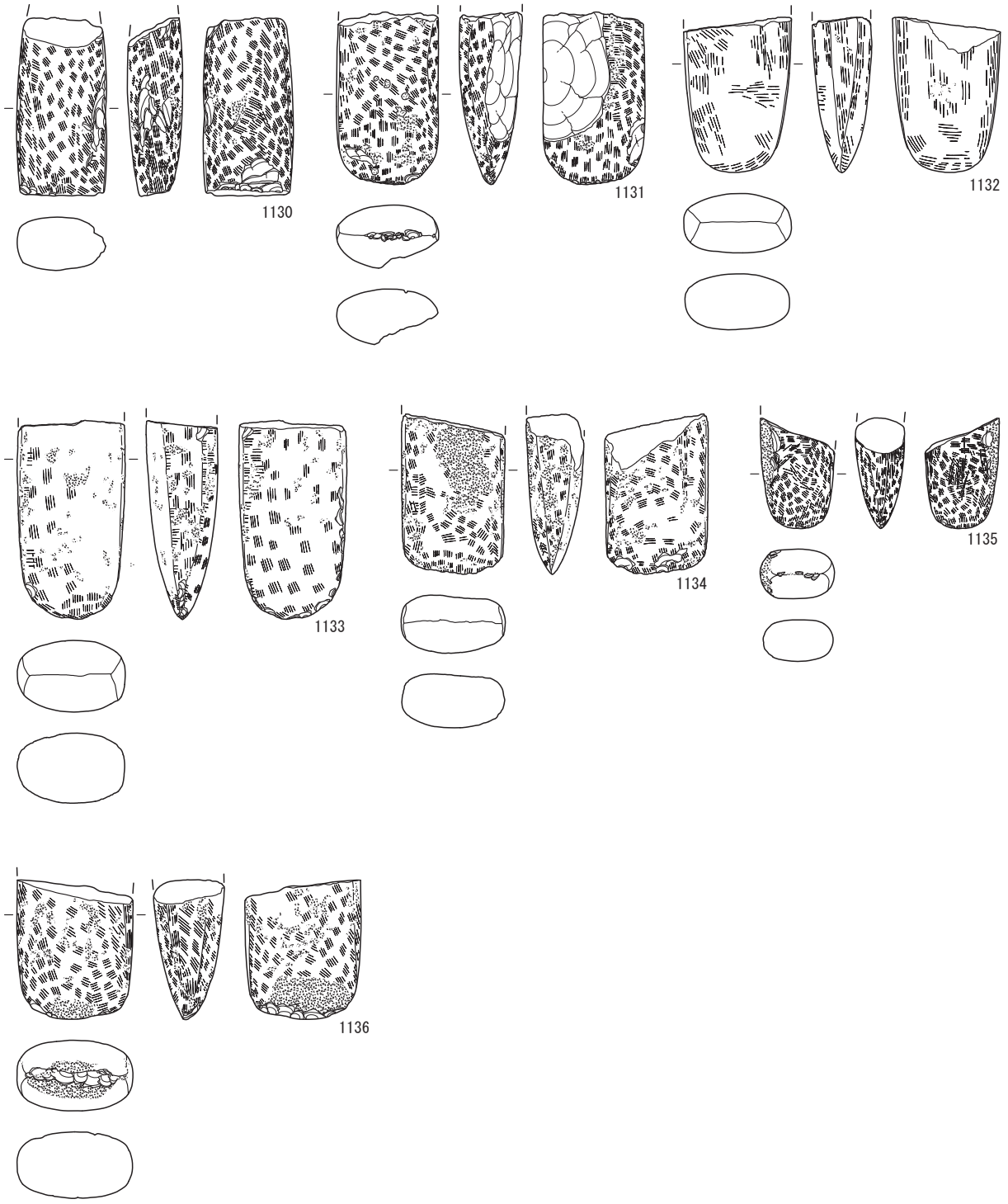


第185図　捨て場出土石器（20）



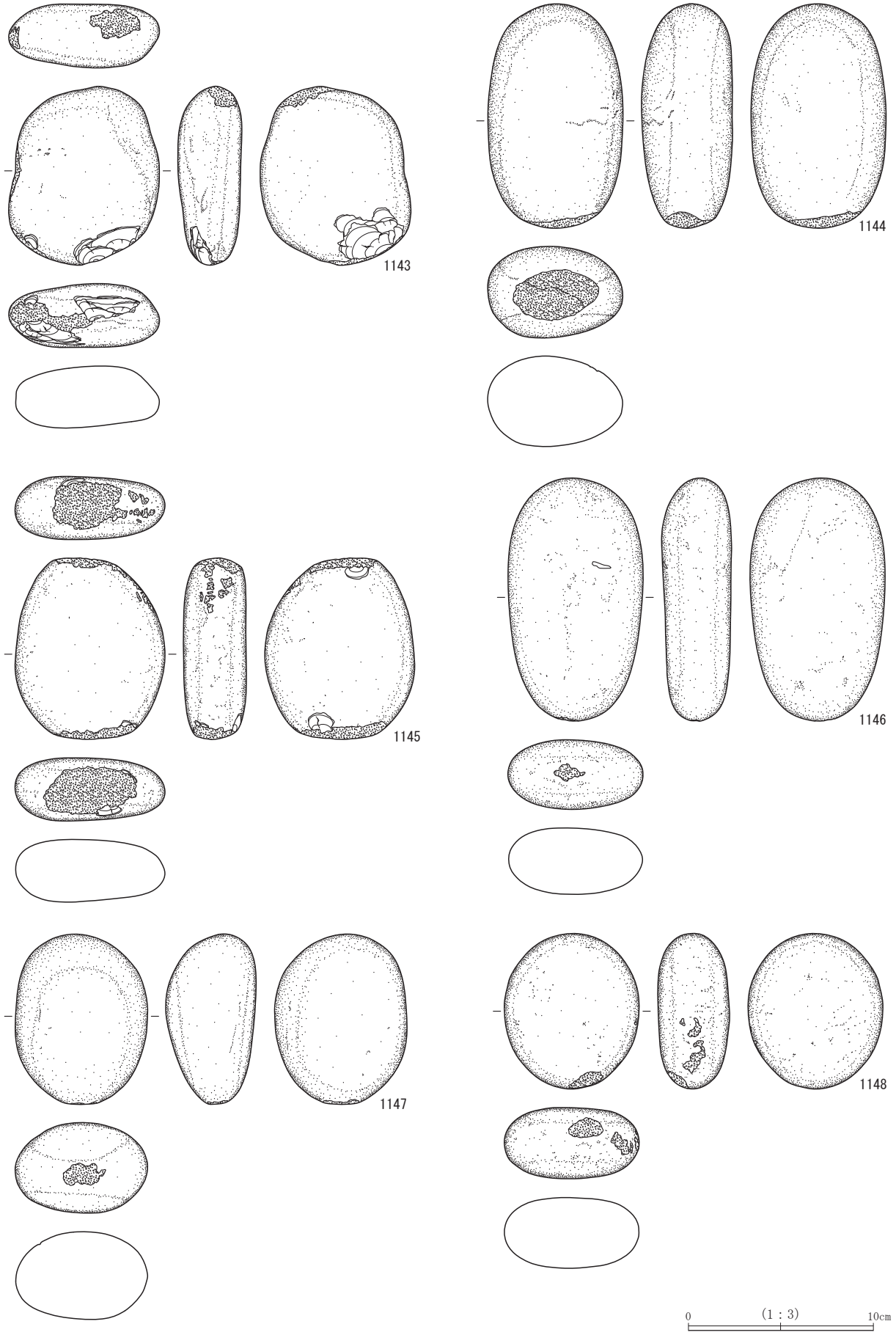
第186図　捨て場出土石器（21）

第187図　捨て場出土石器（22）

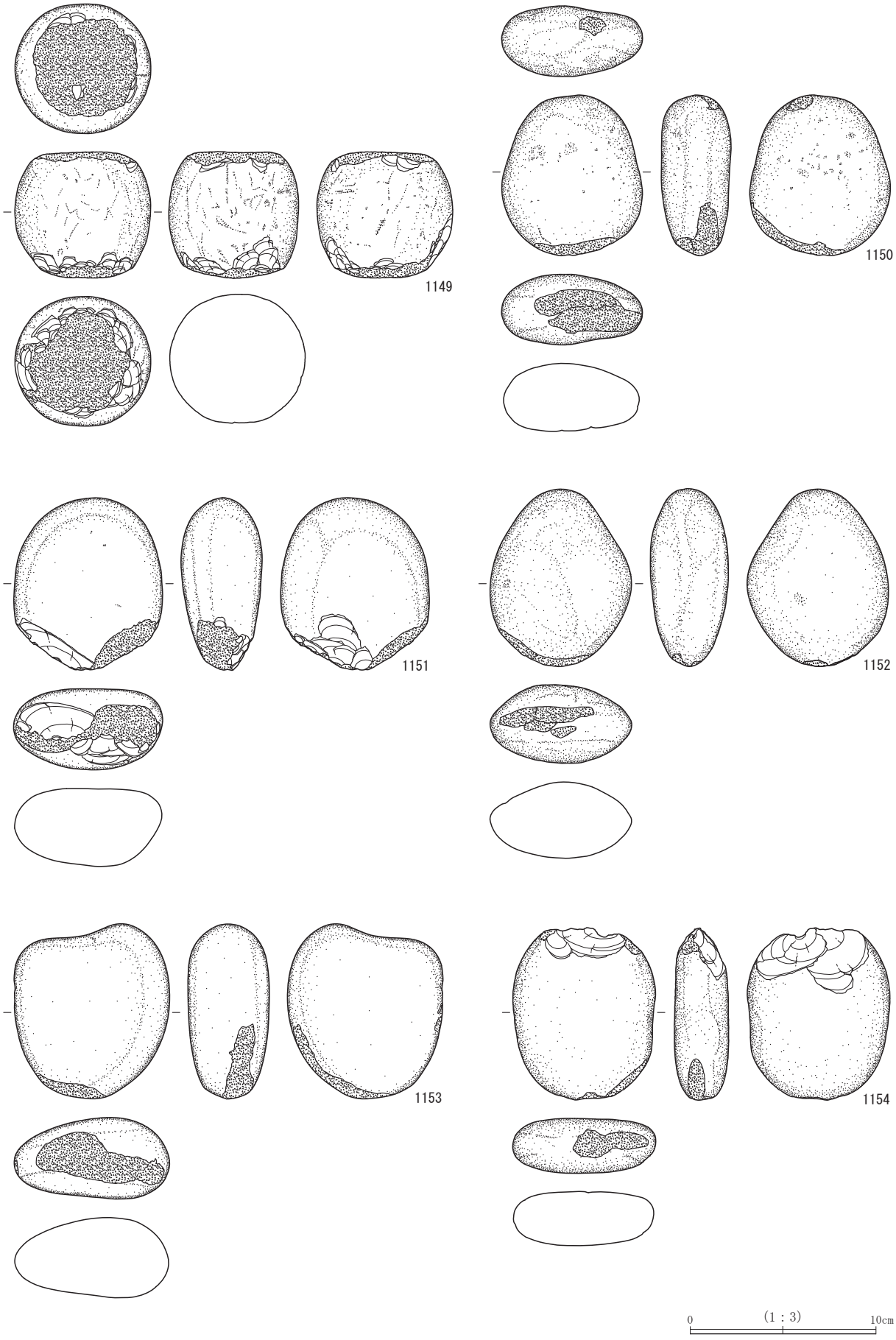


第188図　捨て場出土石器（23）

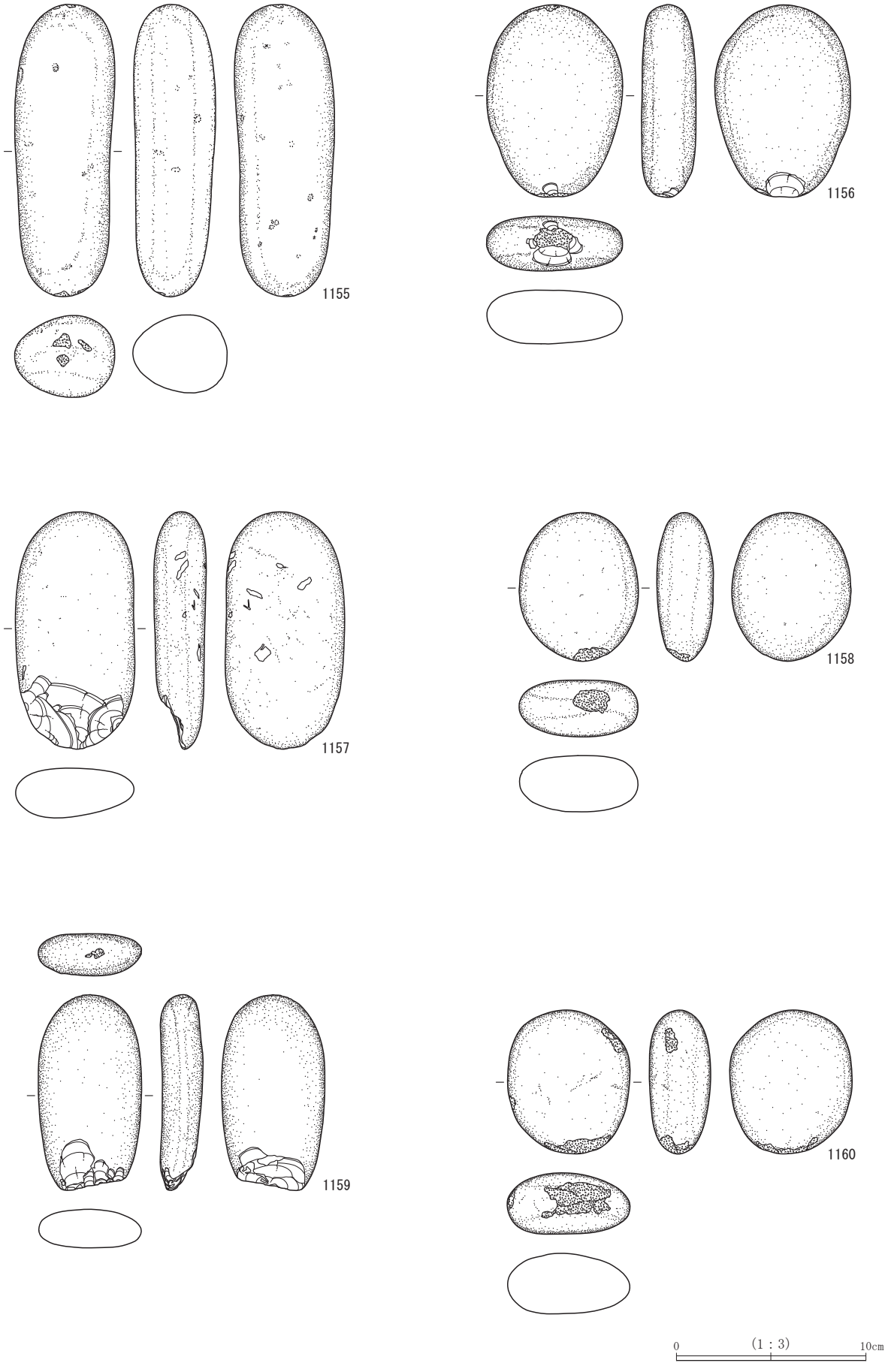
第189図　捨て場出土石器（24）



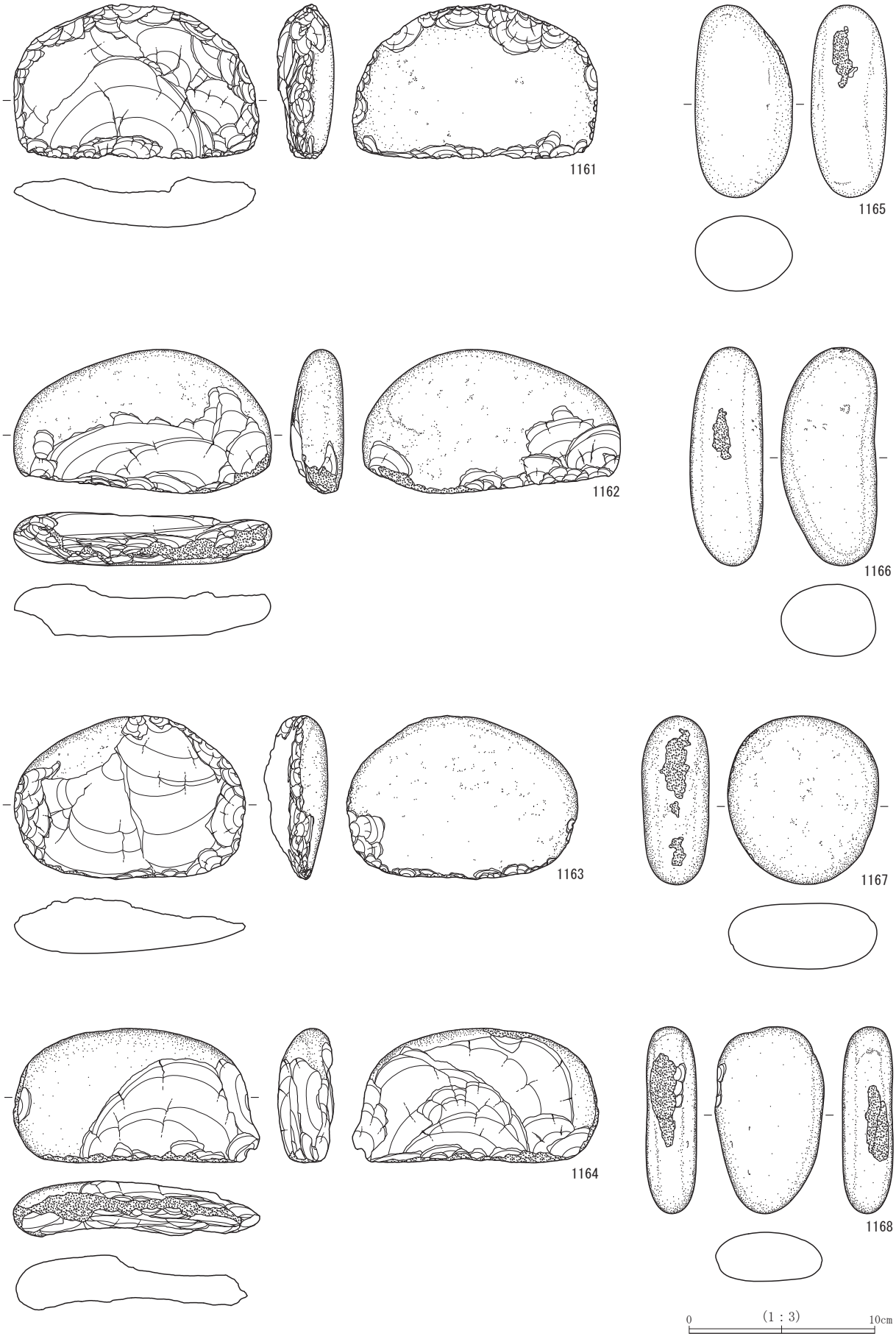
第190図　捨て場出土石器（25）



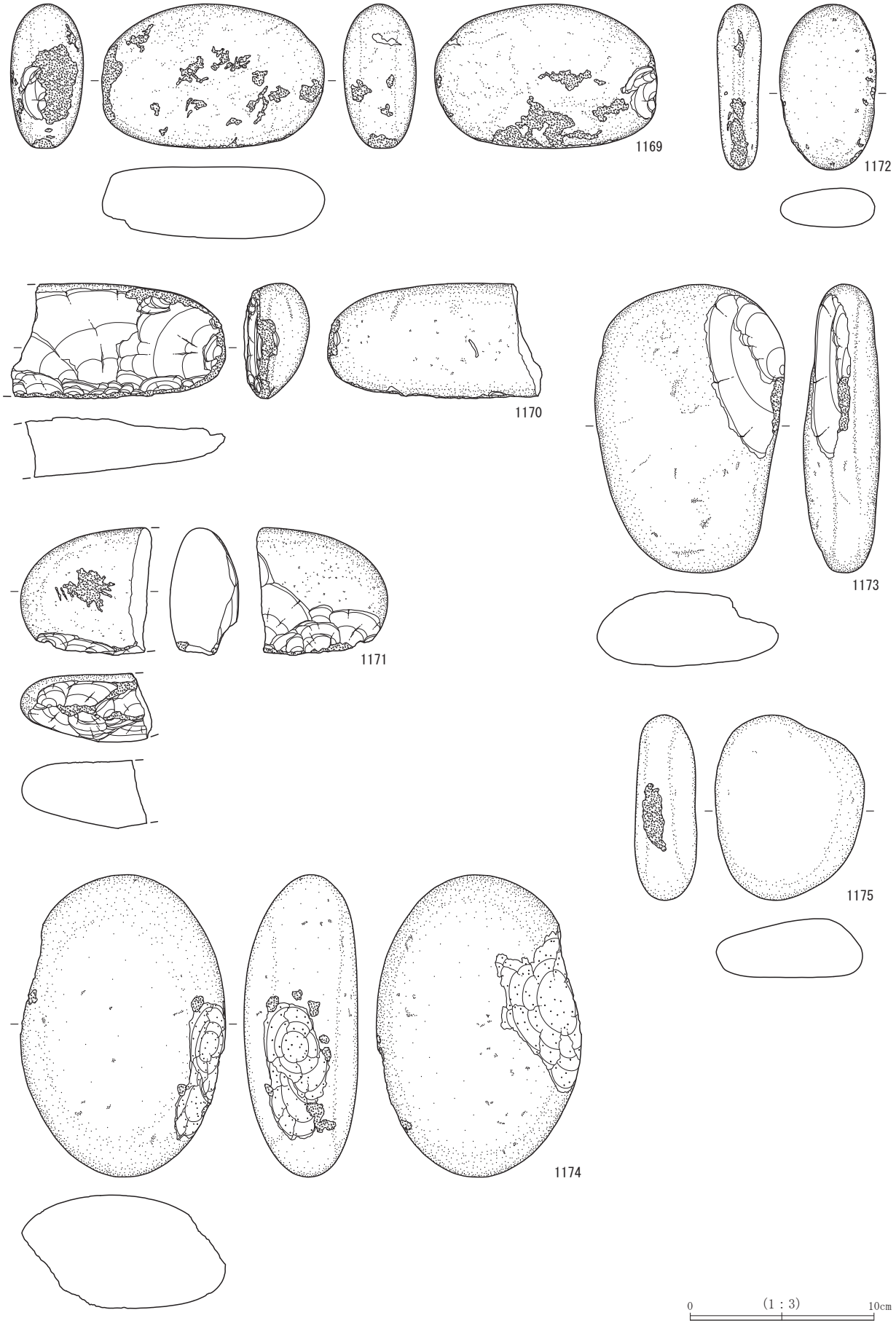
第191図　捨て場出土石器（26）



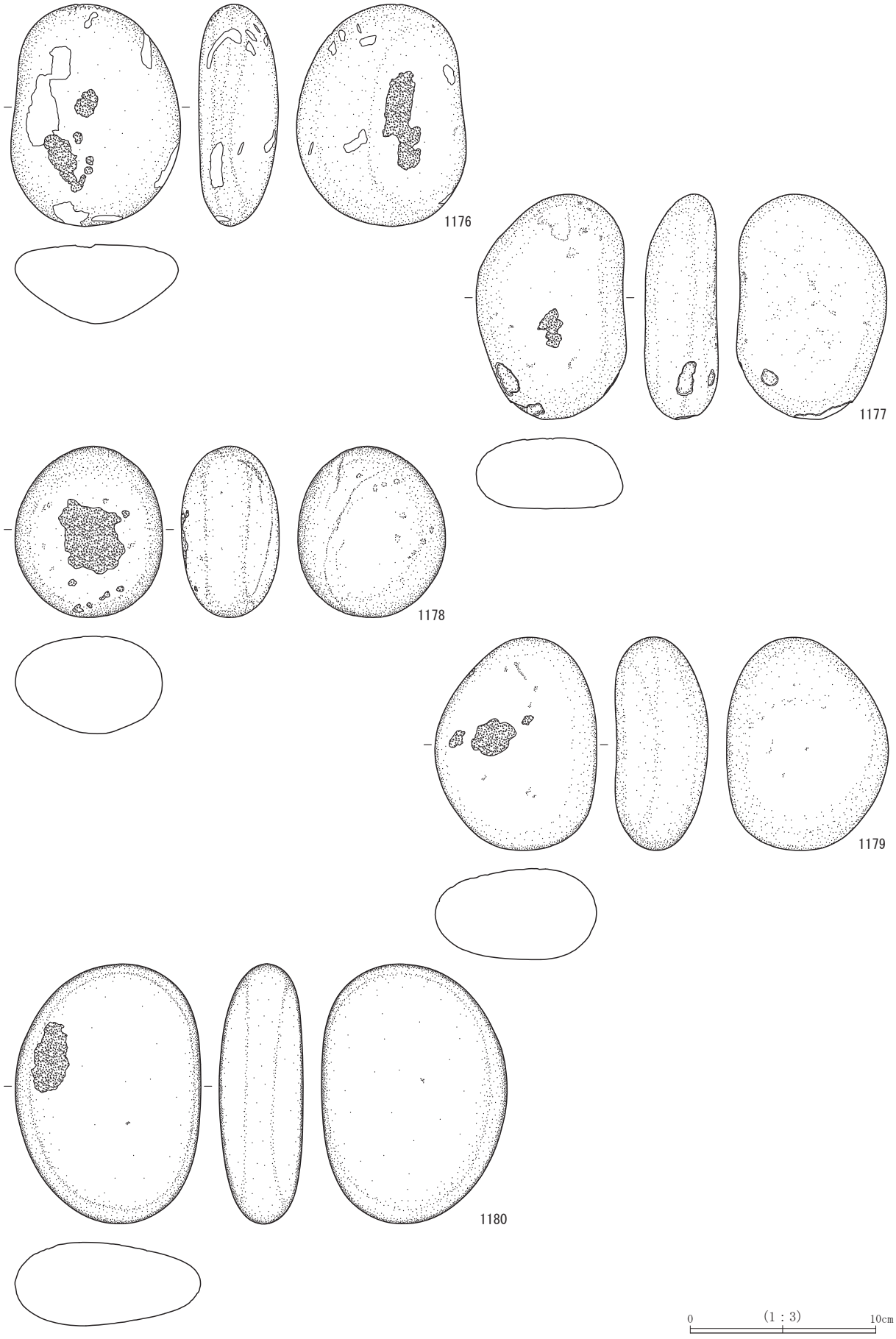
第192図　捨て場出土石器（27）



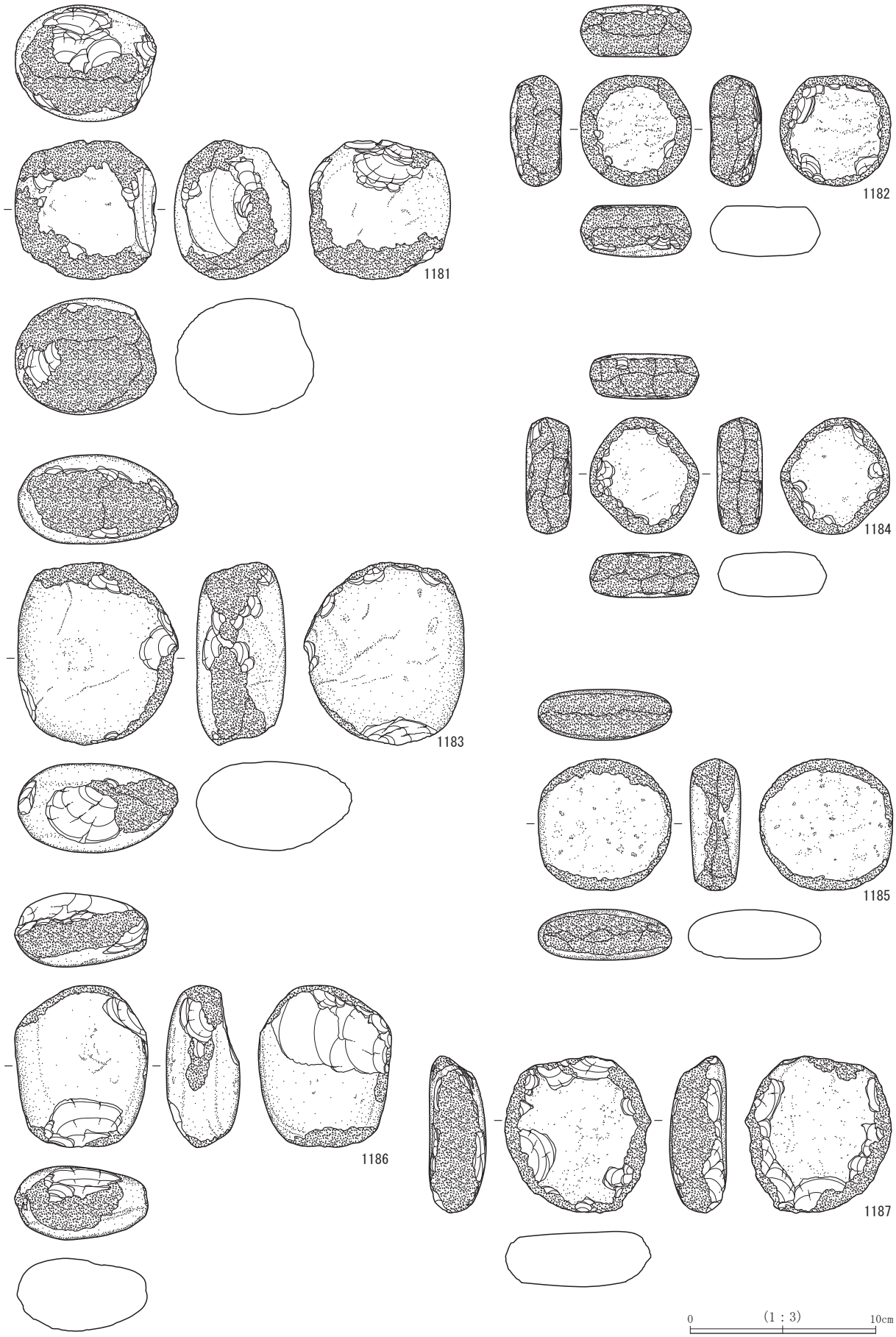
第193図　捨て場出土石器（28）



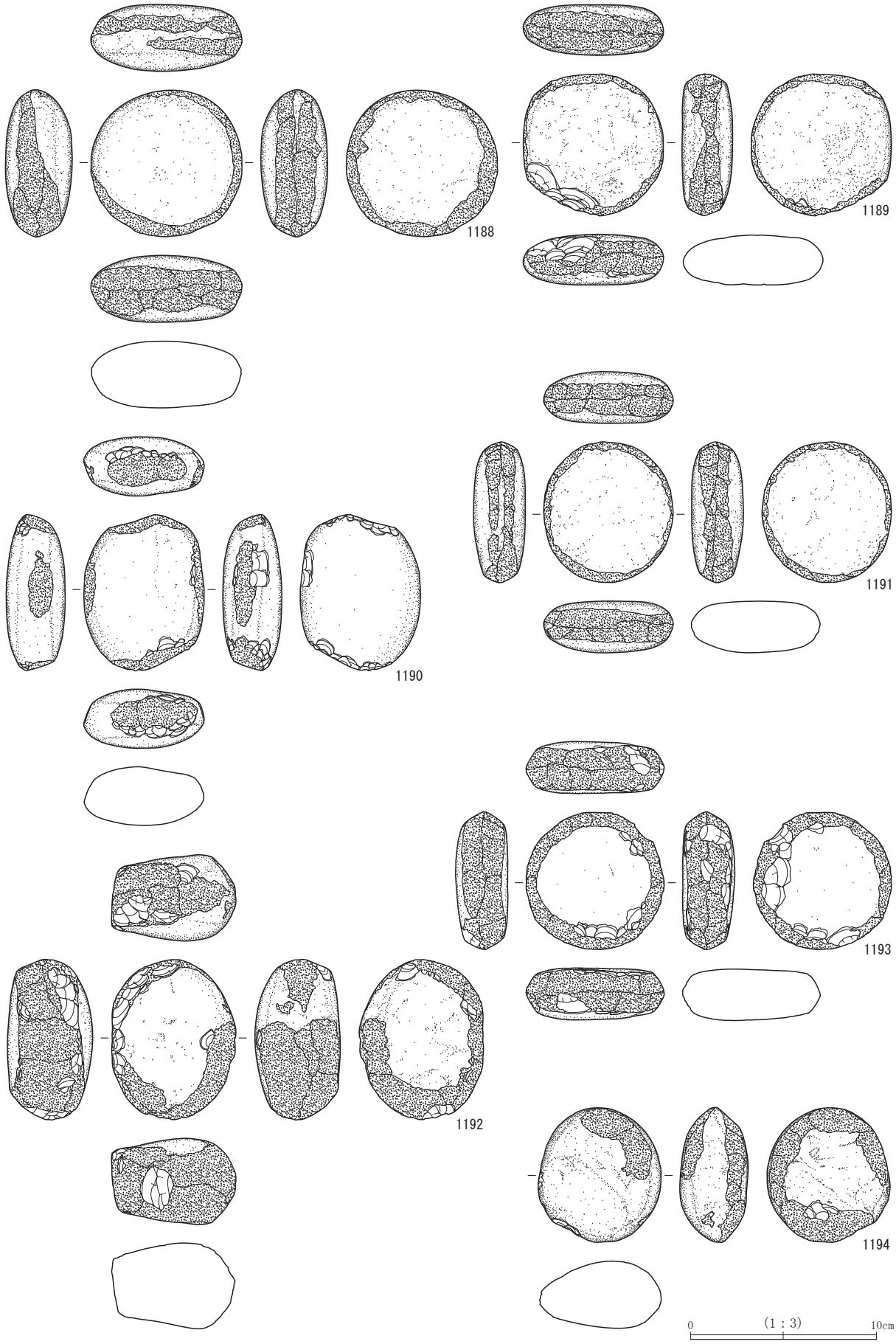
第194図　捨て場出土石器（29）



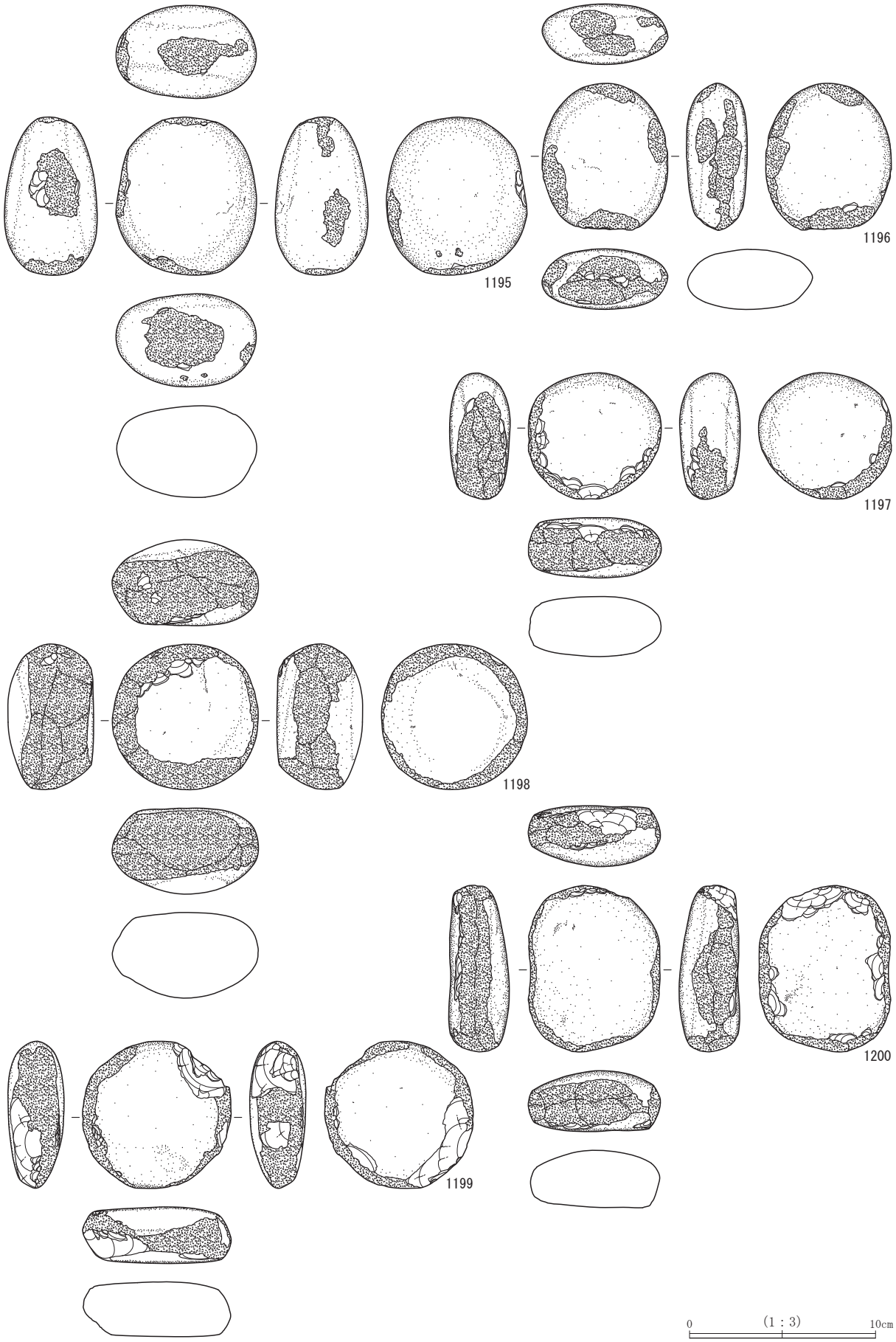
第195図　捨て場出土石器（30）



第196図　捨て場出土石器（31）

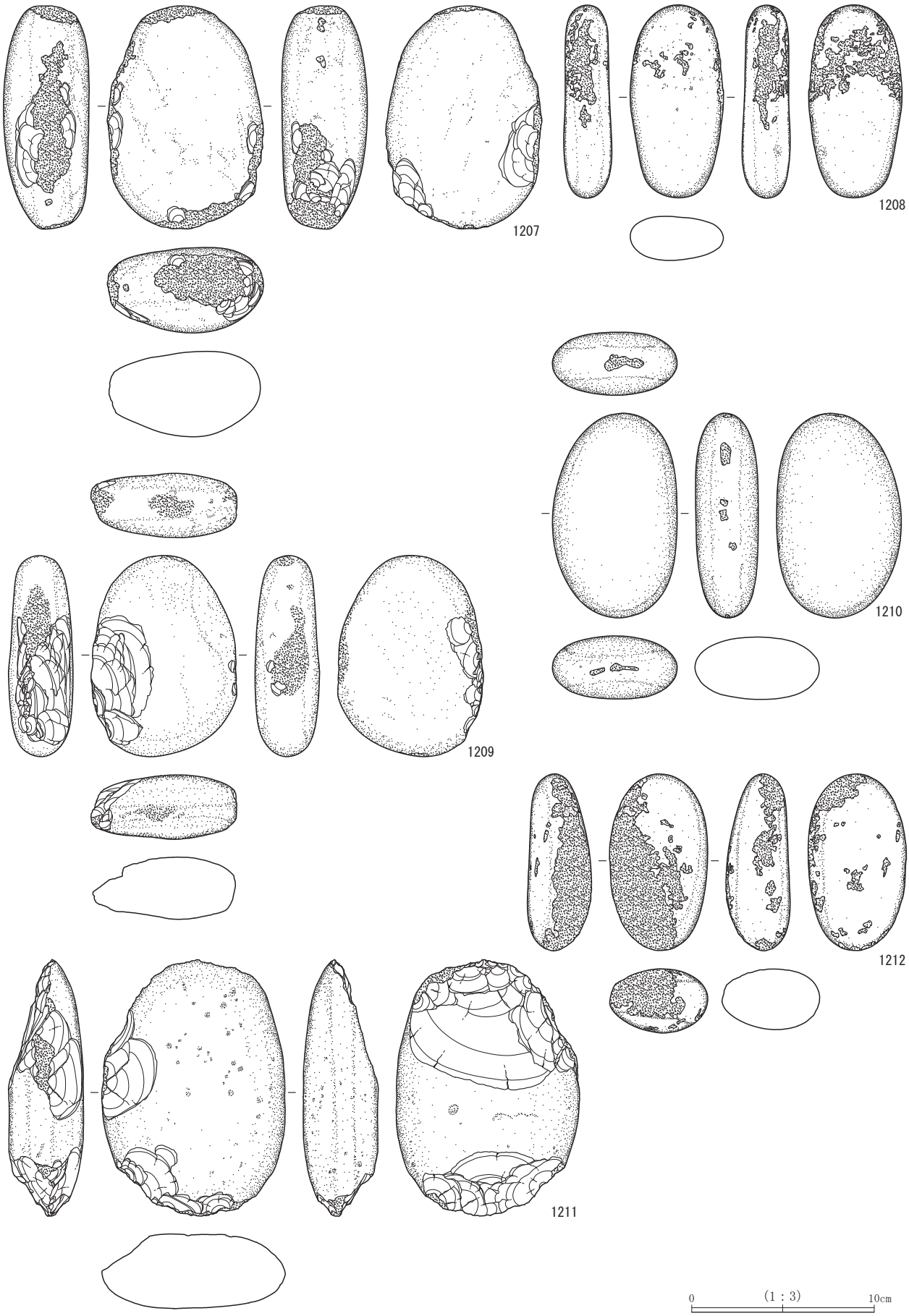


第197図　捨て場出土石器（32）

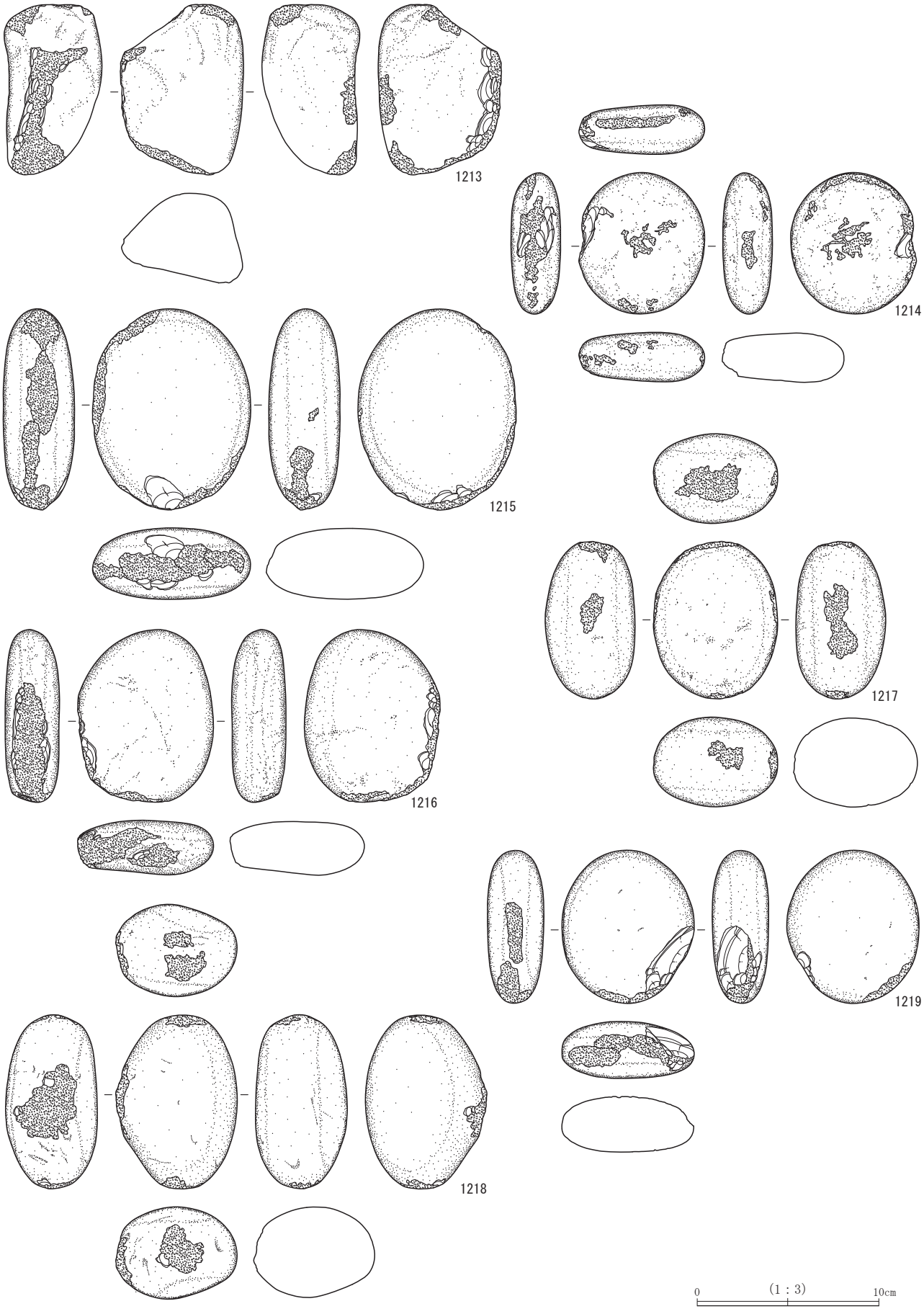


第198図　捨て場出土石器（33）

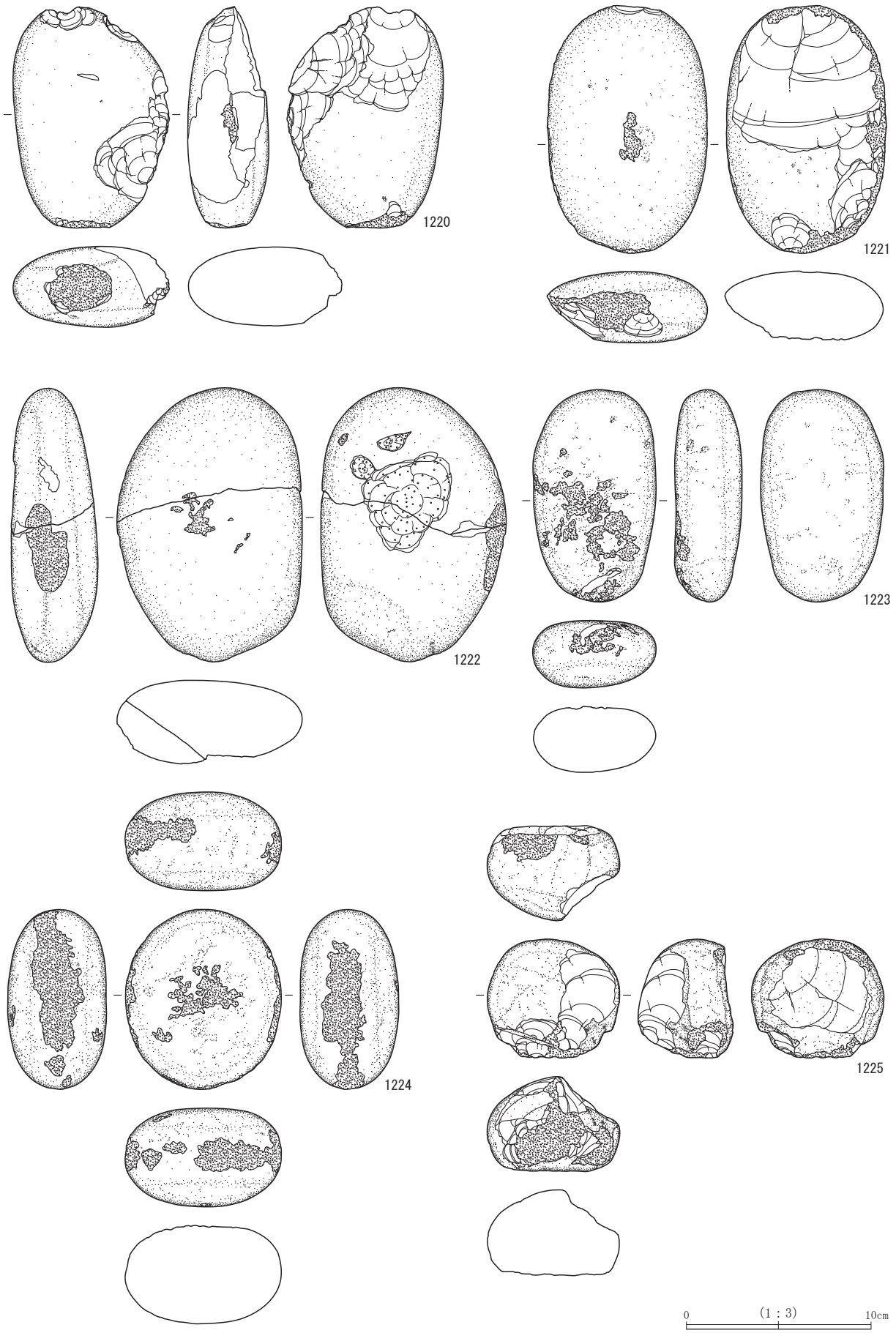
第199図　捨て場出土石器（34）



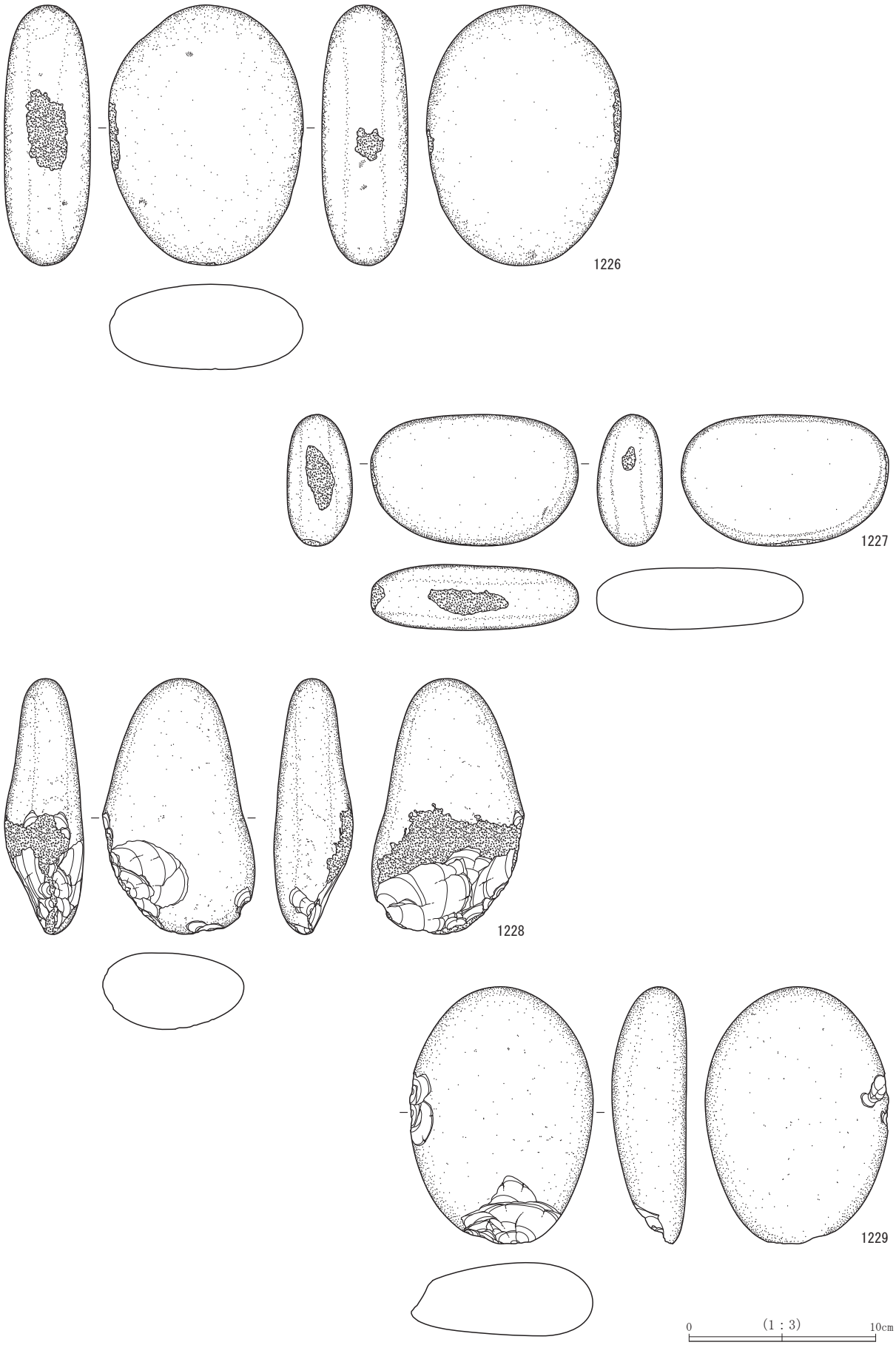
第200図　捨て場出土石器（35）



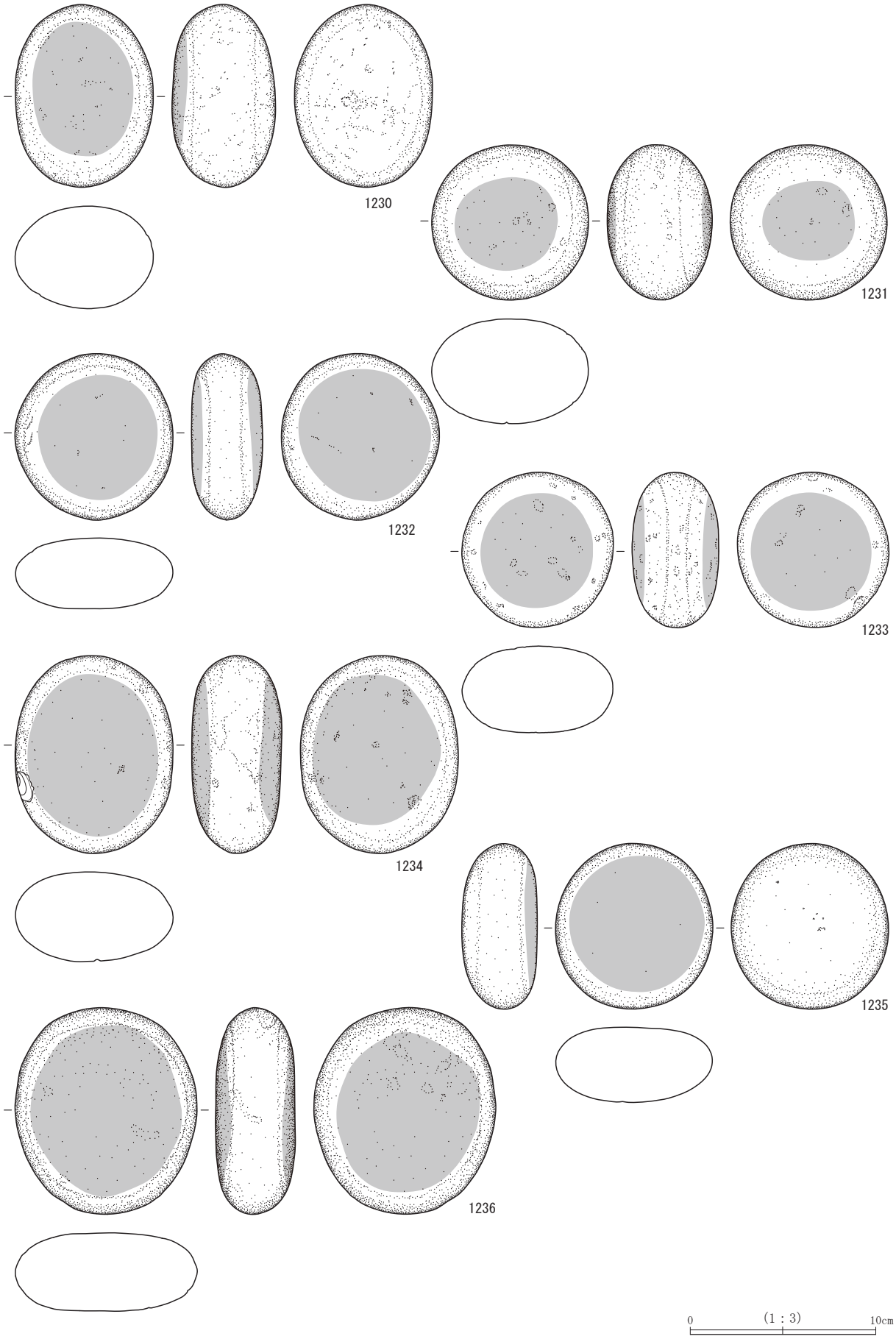
第201図　捨て場出土石器（36）



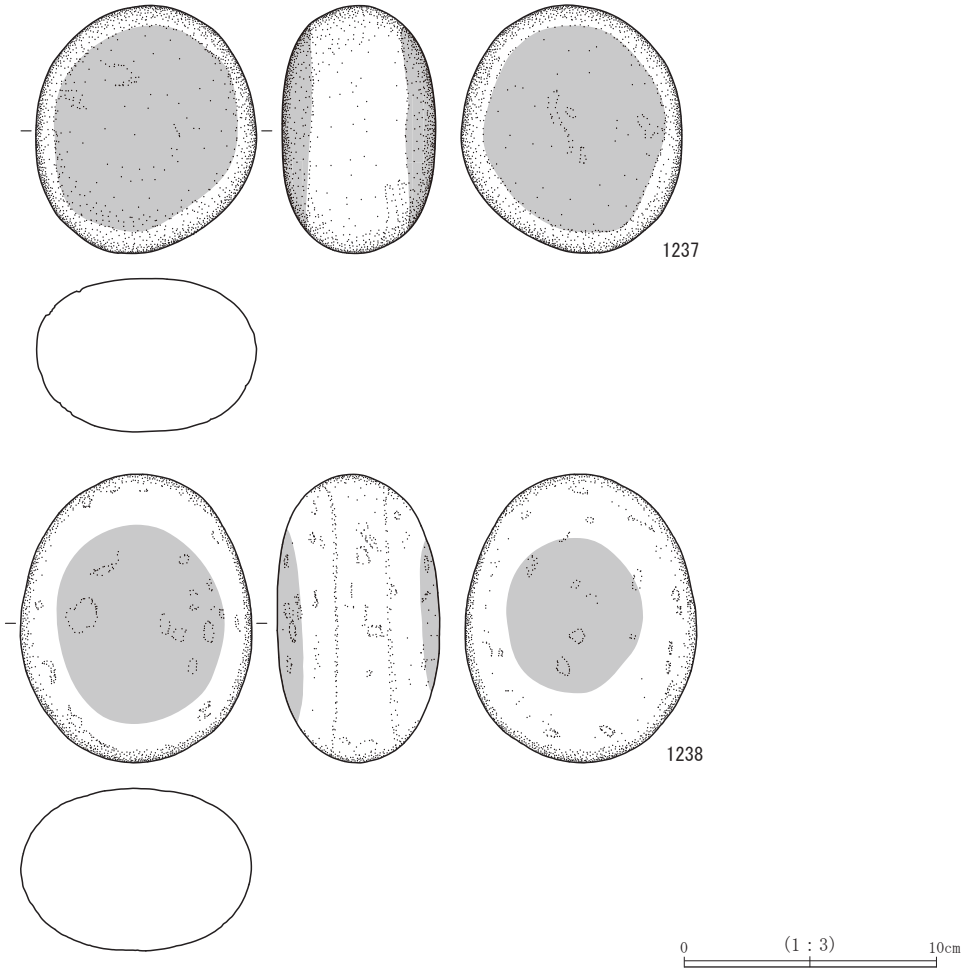
第202図　捨て場出土石器（37）



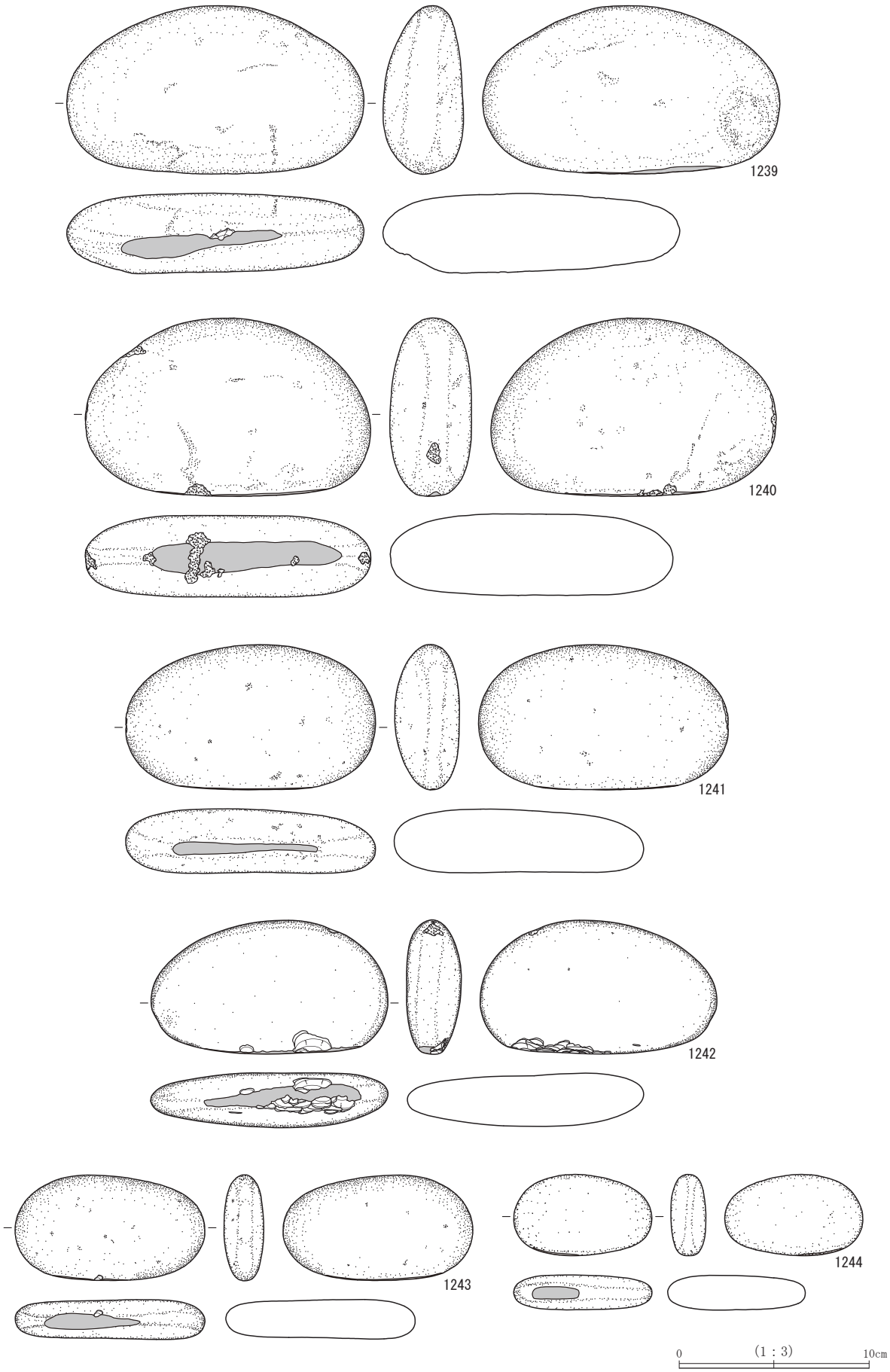
第203図　捨て場出土石器（38）



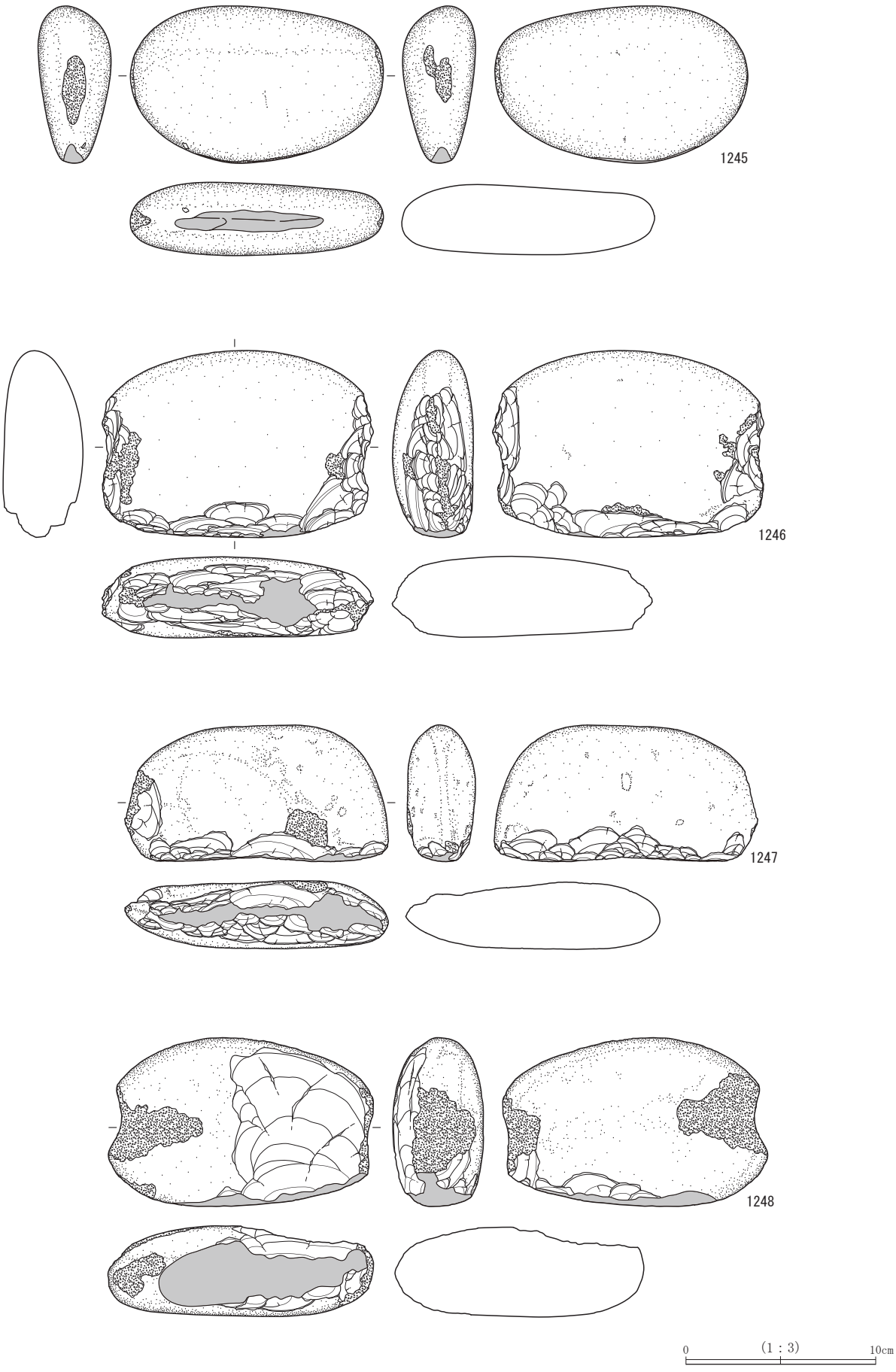
第204図　捨て場出土石器（39）



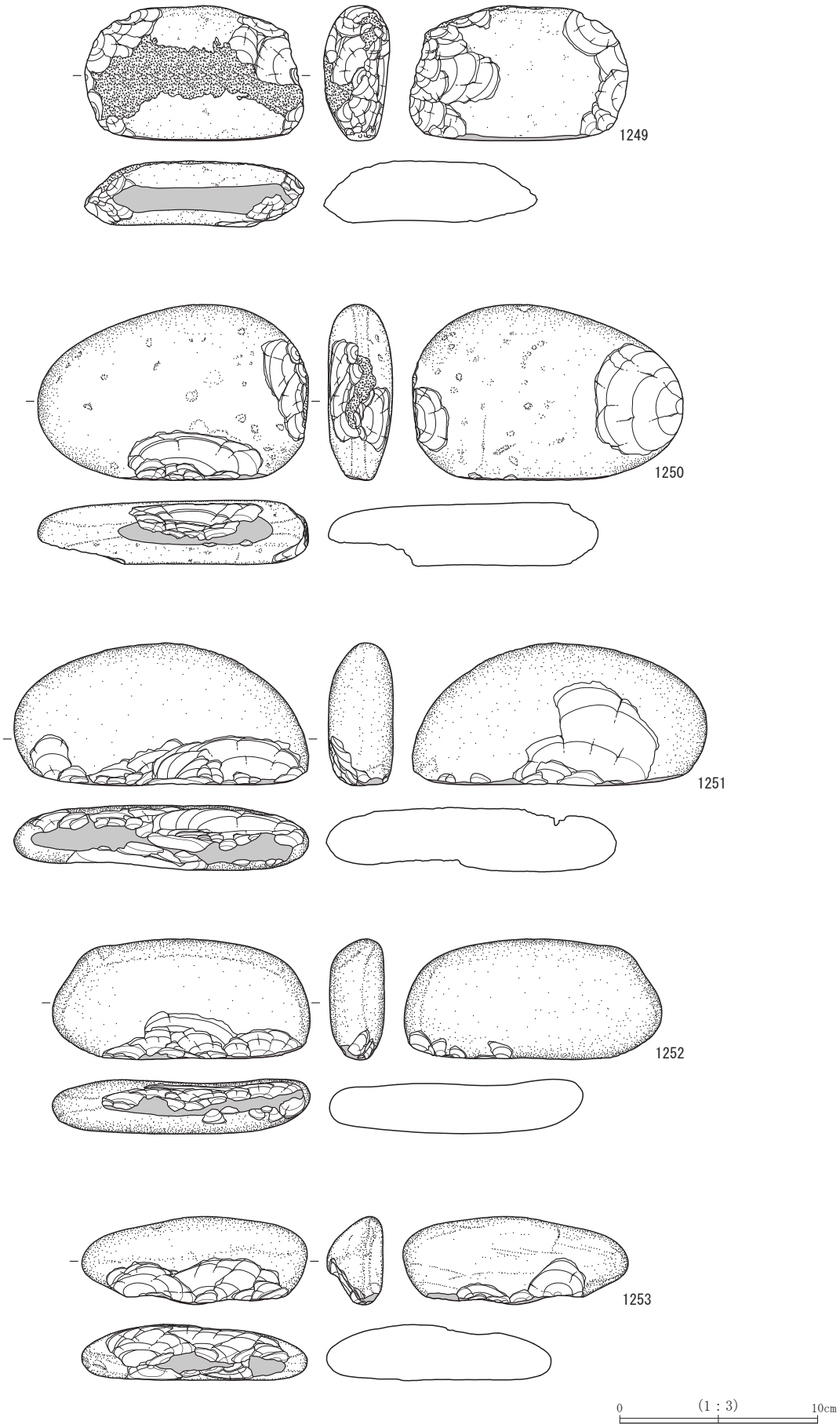
第205図　捨て場出土石器（40）



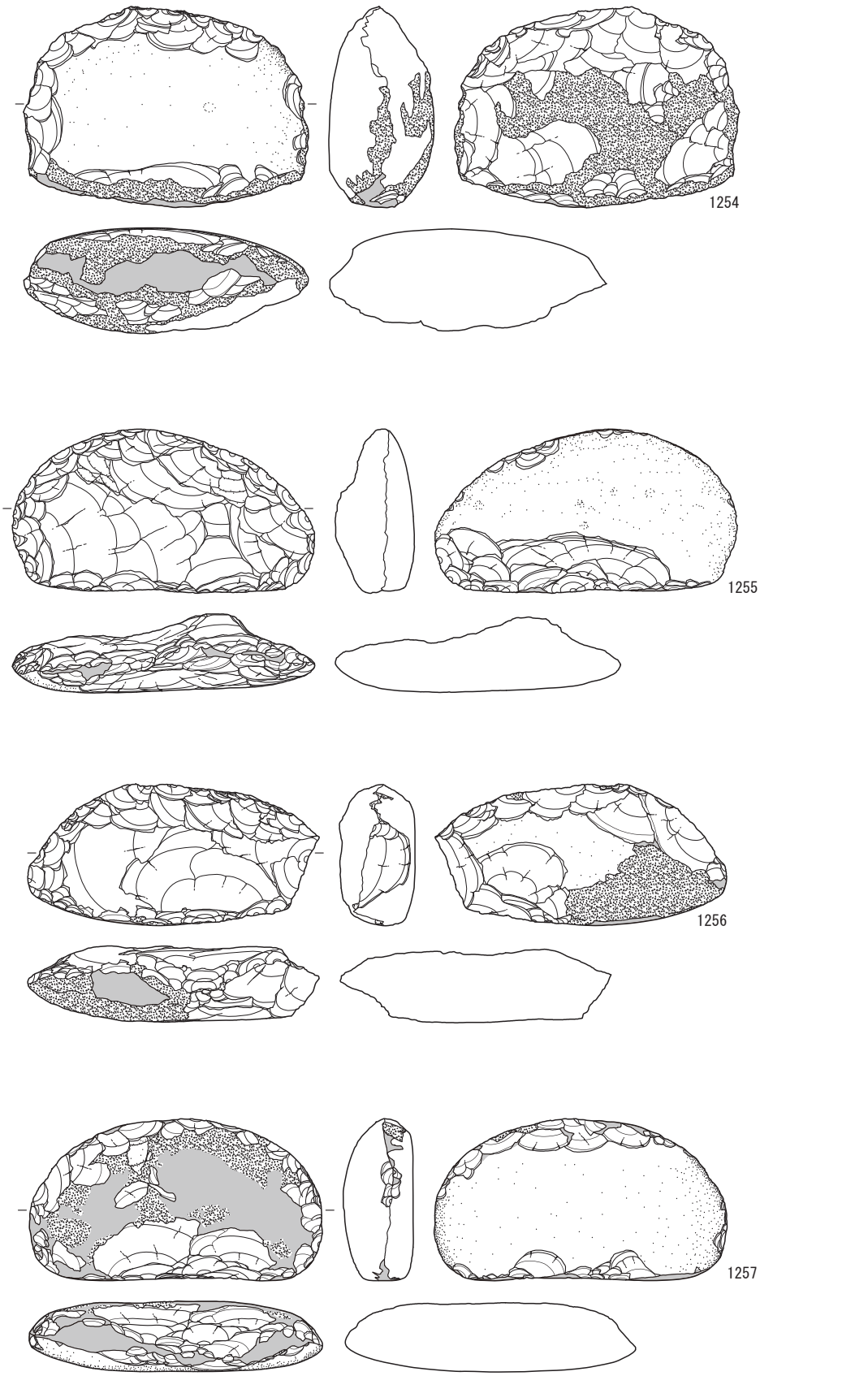
第206図　捨て場出土石器（41）



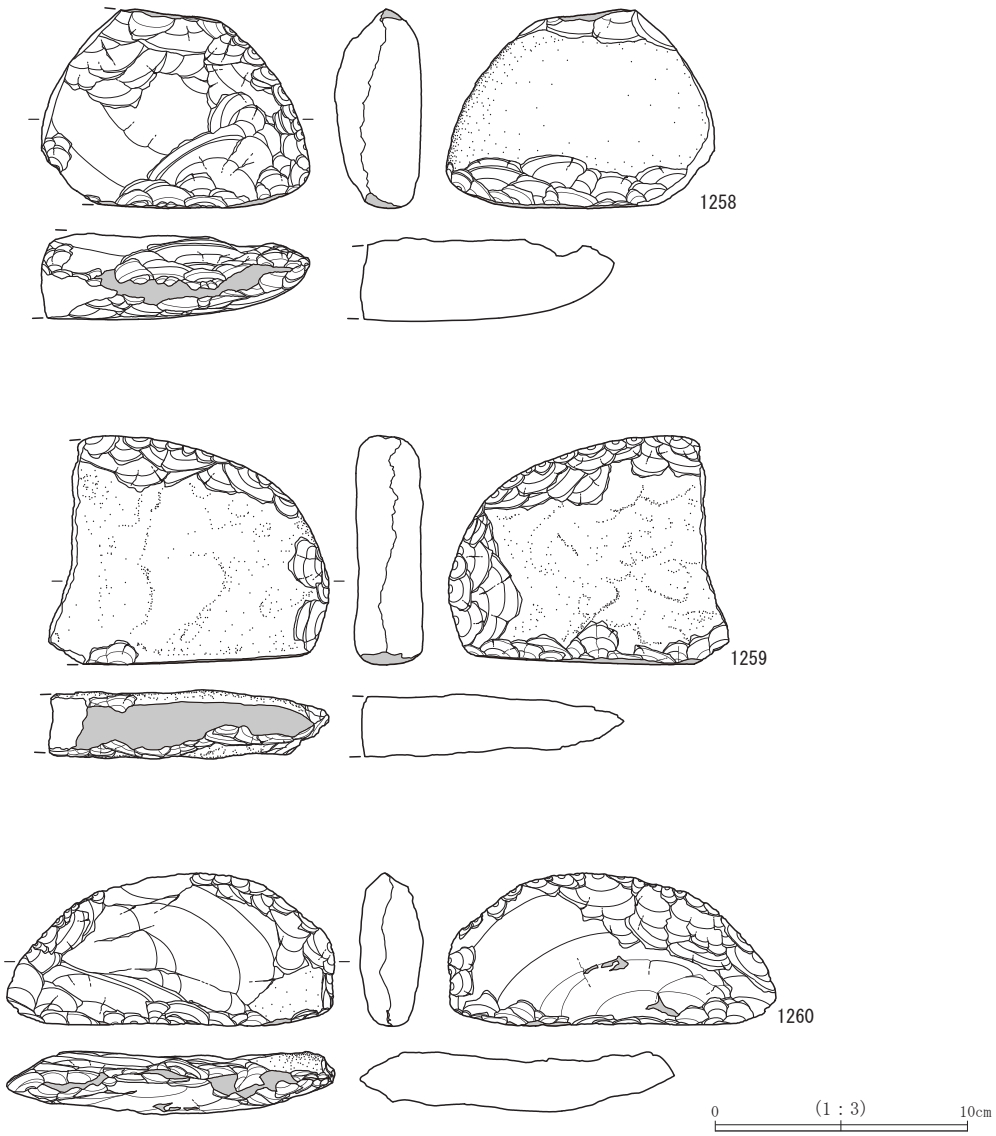
第207図　捨て場出土石器（42）



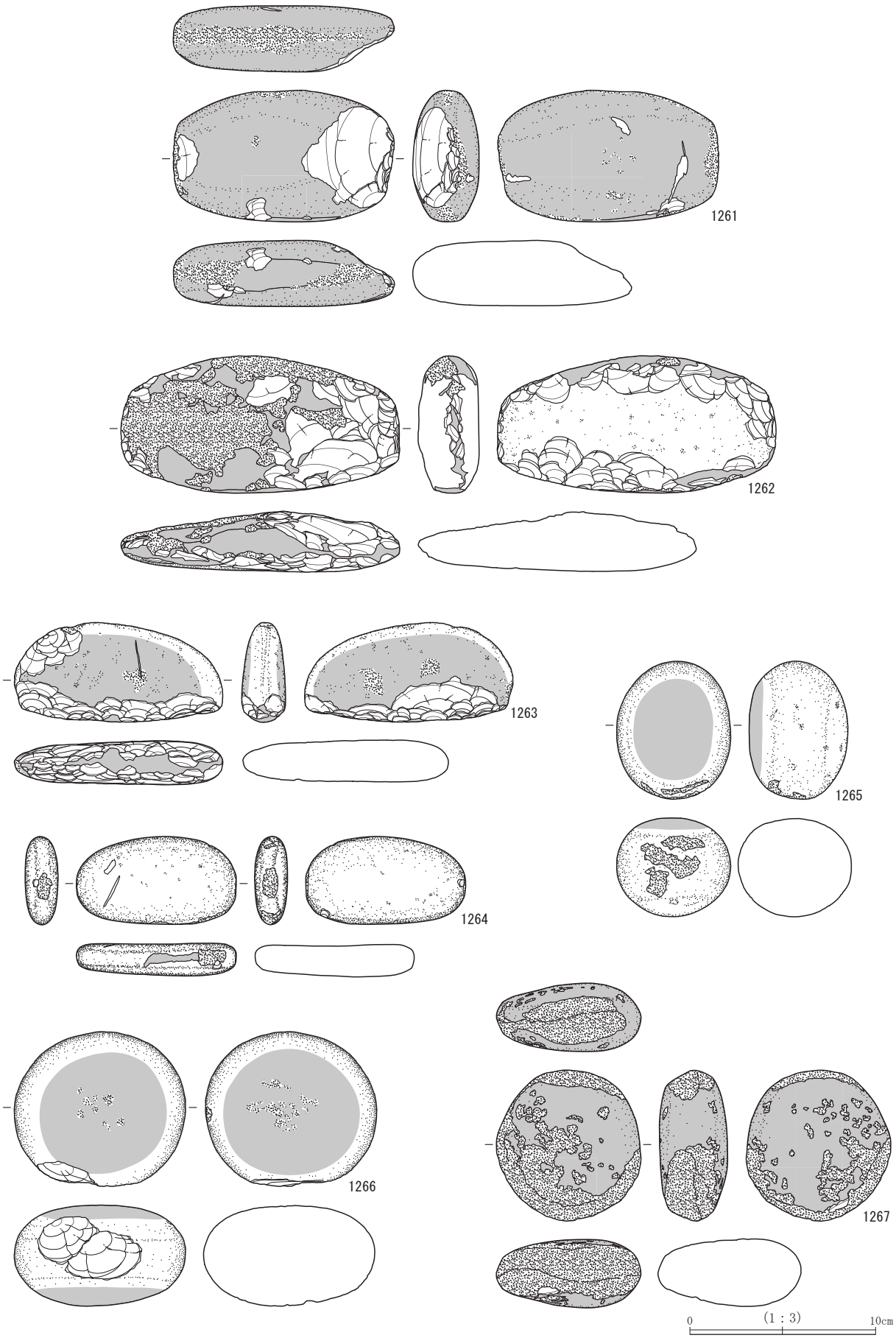
第208図　捨て場出土石器（43）



第209図　捨て場出土石器（44）

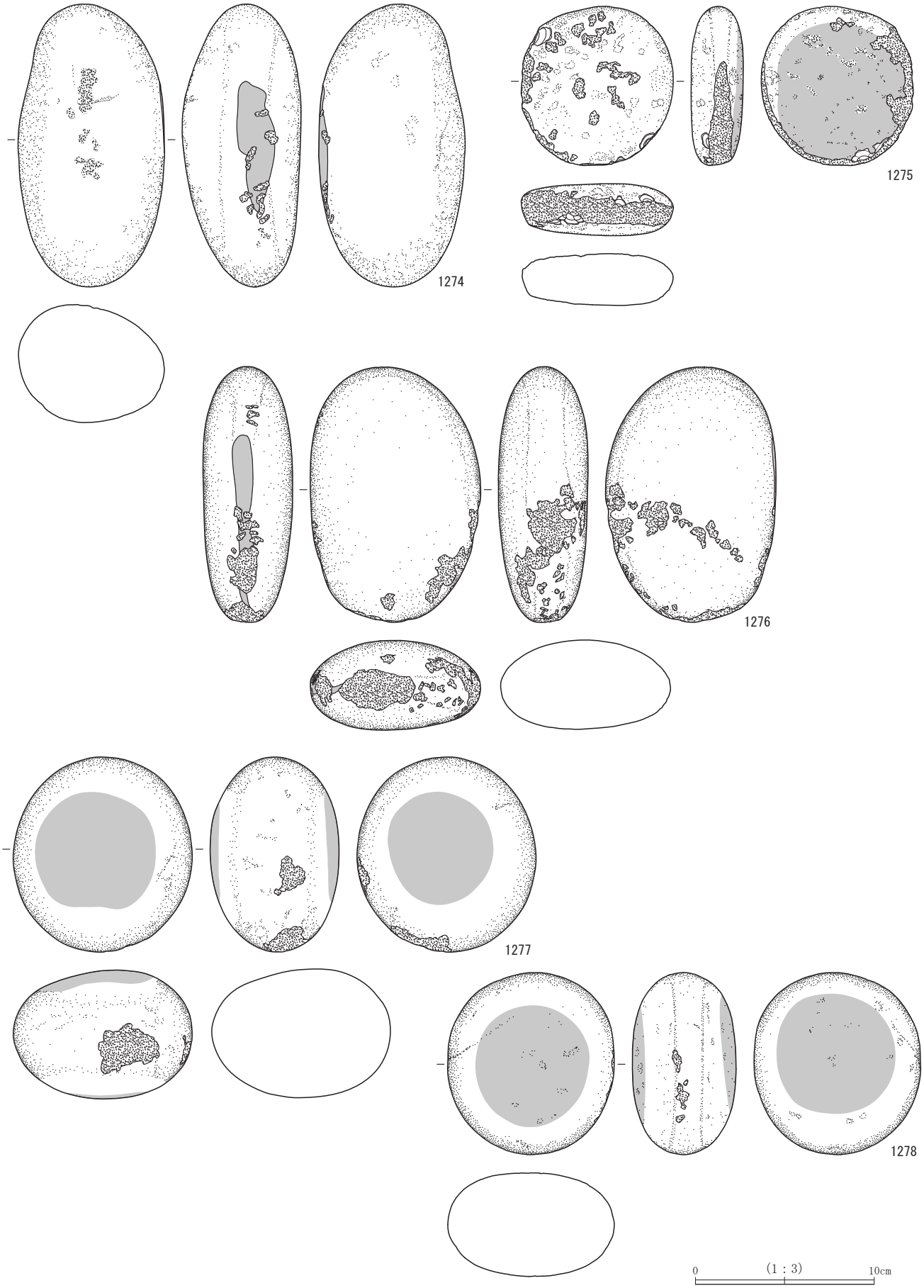


第210図　捨て場出土石器（45）

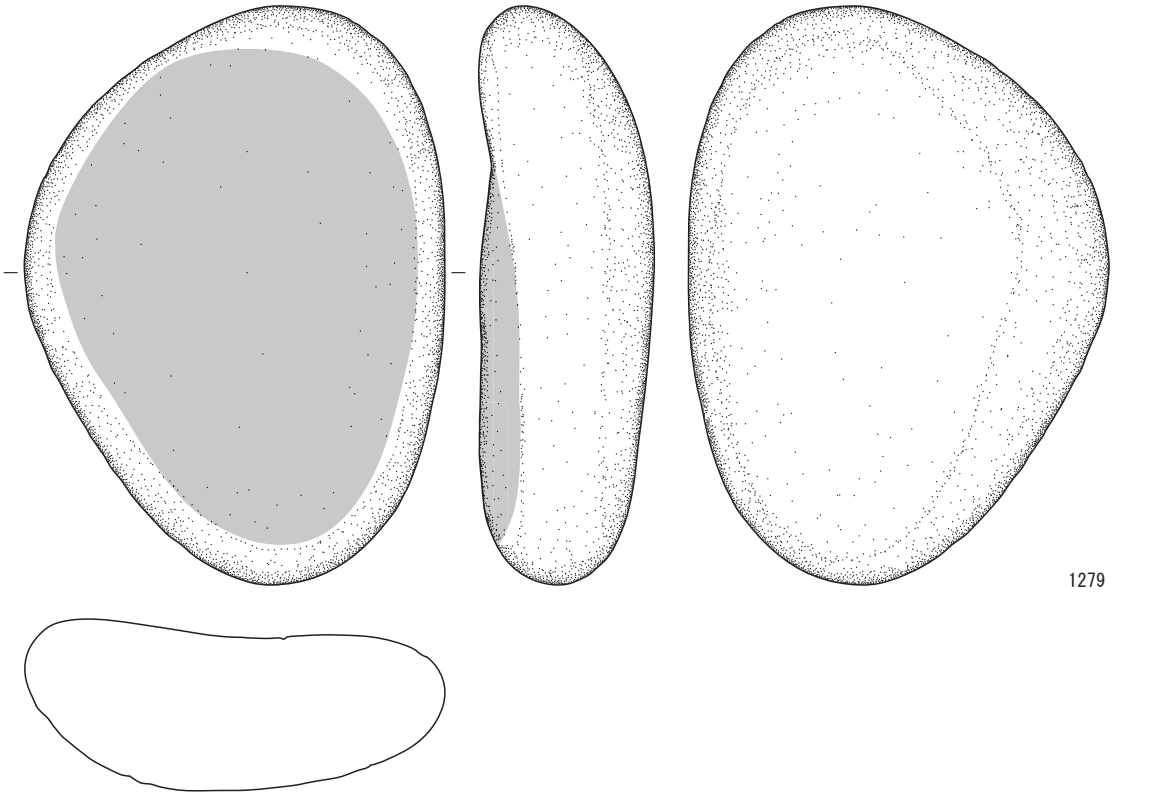


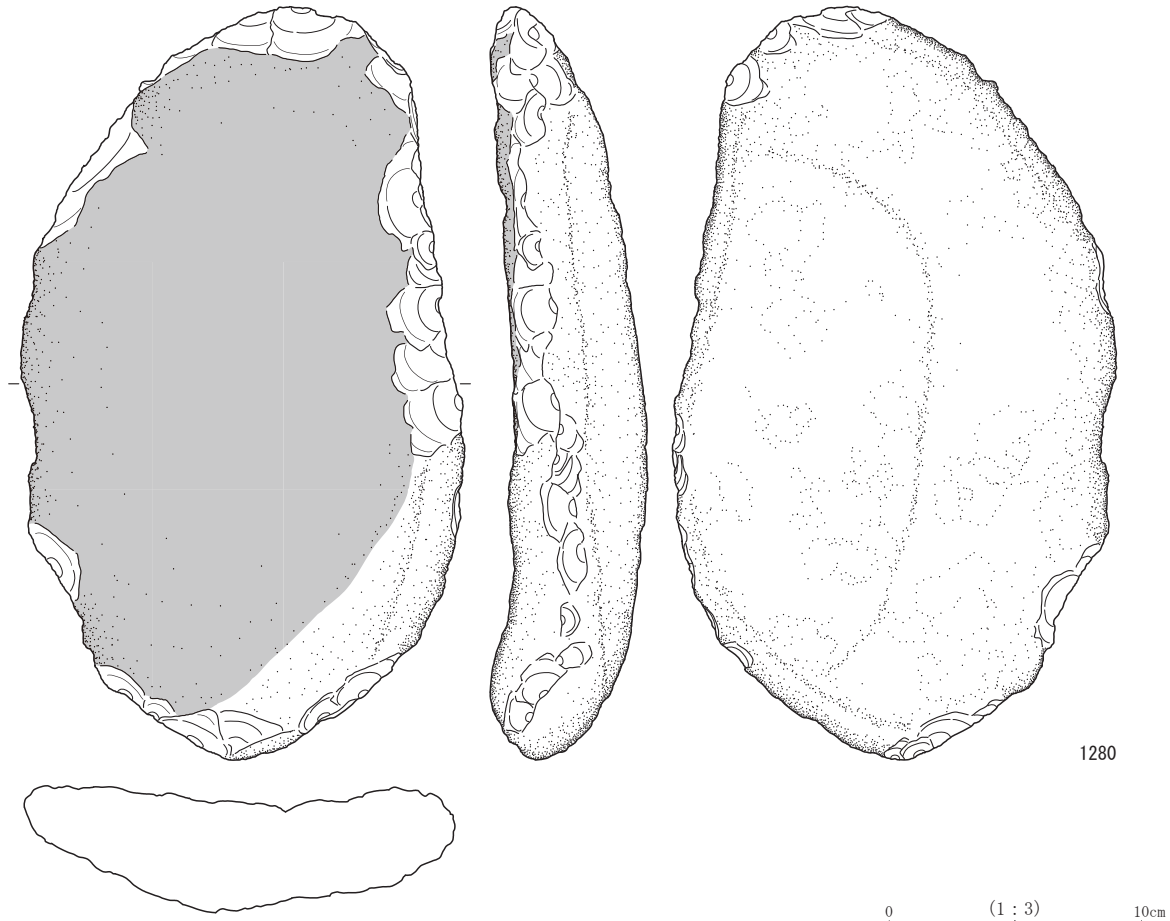
第211図　捨て場出土石器（46）

第212図　捨て場出土石器（47）

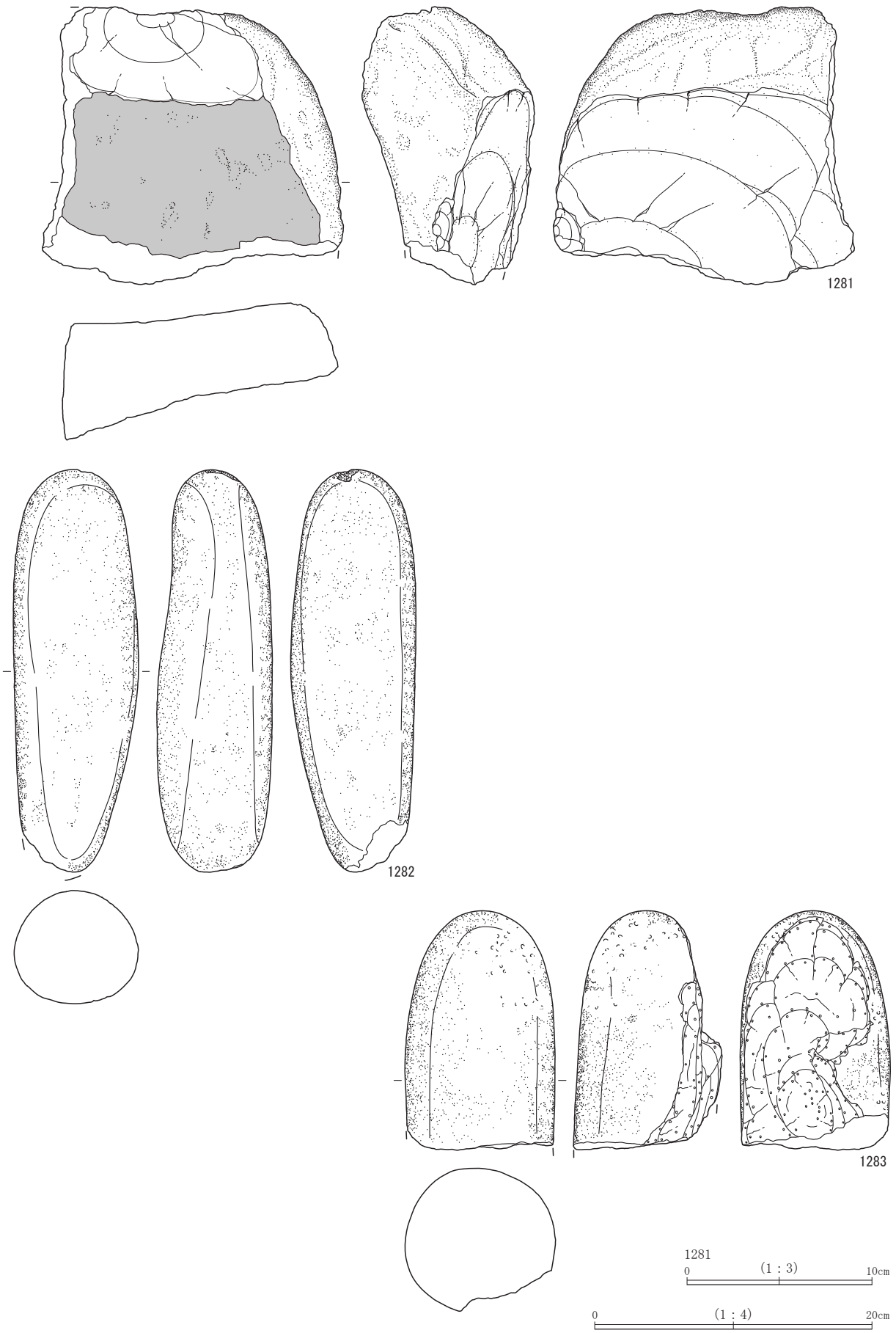


第213図　捨て場出土石器（48）

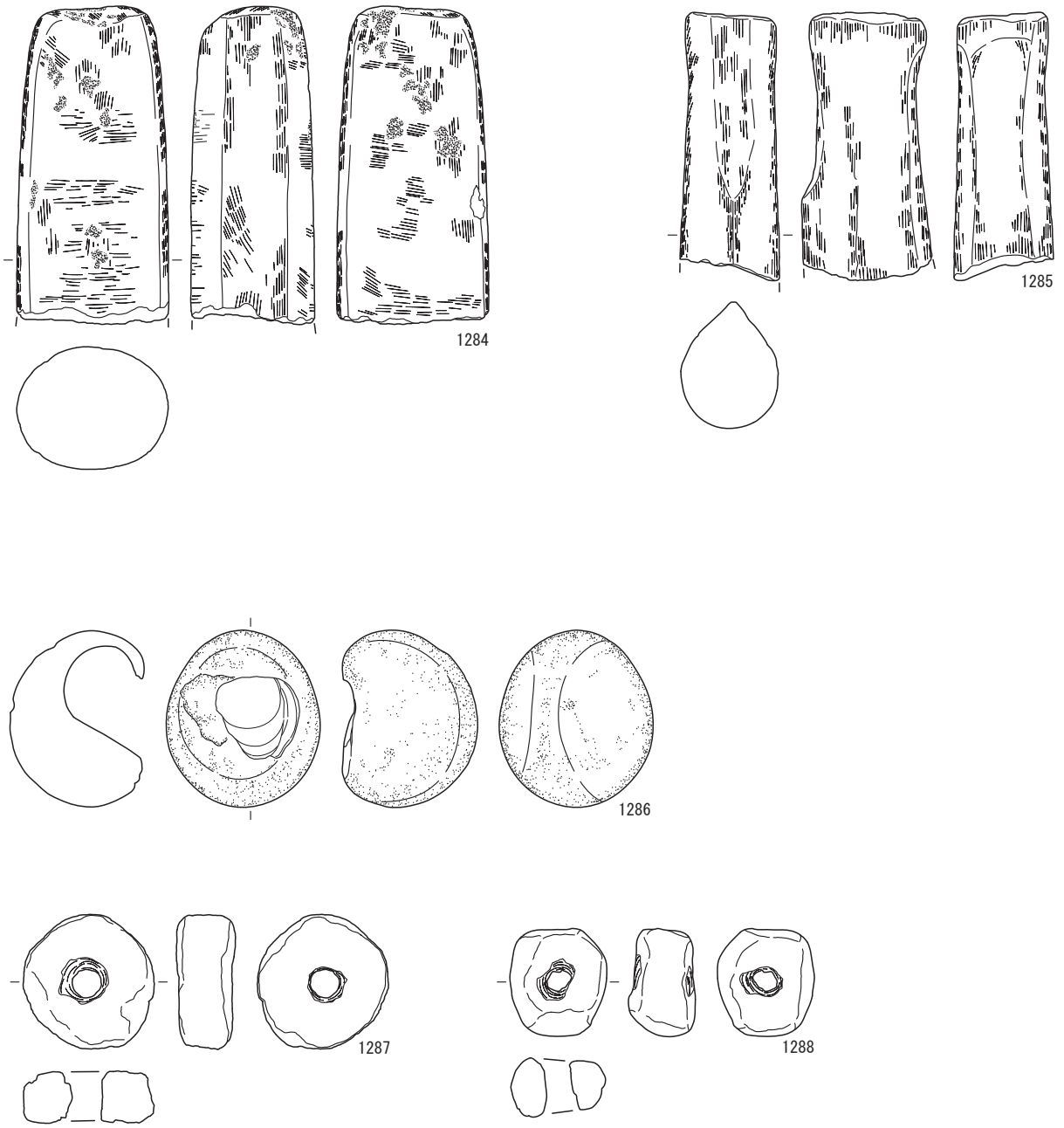




第214図　捨て場出土石器（49）



第215図　捨て場出土石器（50）、石棒（1）



第216図　捨て場出土石棒（2）、石製品

第 15 表　土器観察表

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
1	SJ01	深鉢	口径：－　器高：25.3　底径：18.0 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：繊維微量含む	－	13 19	47
2	SJ02	深鉢 a 類	口径：24.8　器高：33.5　底径：11.0 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒下層 d ２式	13 19	14 107
3	SJ03	深鉢 b 類	口径：24.8　器高：21.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：横位・斜位　地文：RL　他：繊維やや多く含む、小石少量含む	円筒上層 a １式	13 19	47 107
4	SJ04	深鉢 b 類	口径：(28.0)　器高：35.4　底径：13.3 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒下層 d ２式	14 19	14 107
5	SJ05	深鉢 b 類	口径：(38.4)　器高：40.0　底径：12.3 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・LR）　他：口唇部に圧痕あり、穿孔あり、小石少量含む	円筒下層 d ２式	14 20	14 107
6	SJ05 10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：19.5　底径：11.4 地文：LR　他：小石少量含む	－	14 20	48
7	SJ06	深鉢 b 類	口径：13.2　器高：12.9　底径：4.8 口縁：波状（台形）　地文：半截竹管状工具による平行沈線　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a 式	14 20	63 107
8	SJ07 9：Ⅲa	深鉢 a 類	口径：(25.5)　器高：31.6　底径：9.4 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層 a １式	15 20	14
9	SJ08	深鉢 a 類	口径：14.1　器高：17.2　底径：7.0 口縁：平縁　地文：RLR　他：内面ミガキ	－	15 20	48
10	SJ09 13：Ⅲa	深鉢 b 類	口径：(27.4)　器高：37.4　底径：11.5 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a ２式	15 20	15 107
11	SJ10	深鉢 a 類	口径：23.7　器高：30.0　底径：(10.2) 口縁：波状（台形）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：小石少量含む	円筒上層 a １式	16 21	15 107
12	SJ11 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 12：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b 類	口径：31.4　器高：42.3　底径：11.6 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：斜位　地文：LLR　他：横位隆帯に棒状工具による円形刺突列あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層 a １式	16 21	15 107
13	SJ12	深鉢	口径：－　器高：25.3　底径：11.0 地文：RL（０段多条）　他：小石微量含む	－	16 21	48
14	SJ13 20：Ⅱ	深鉢 b 類	口径：(31.7)　器高：19.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ（Ｅ？）字状・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 b 式	17 21	48 107
15	SJ14 8：Ⅲa	深鉢 a 類	口径：(22.9)　器高：32.0　底径：11.1 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL　他：小石少量含む	円筒下層 d ２式	17 21	15 107
16	SJ15	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：(11.4) 地文：LR	－	17 22	63
17	SJ16	深鉢	口径：－　器高：27.5　底径：14.6 地文：LR	－	18 22	48

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
18	SJ17	深鉢 a類	口径：27.0　器高：36.1　底径：13.4 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層 d２式	18 22	16 107
19	SJ18	深鉢 a類	口径：(30.6)　器高：35.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：篦状工具による刺突列あり、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	18 22	16 107
20	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：小石多く含む	円筒上層 a２式	29	67
21	1：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・X字状・渦巻状　他：波頂部に貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a２式	29	67
22	1：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層 a１式	29	67
23	1：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位　地文：RLR	円筒上層 a式	29	67
24	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状	円筒上層 b式	29	67
25	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：内面ミガキ	円筒上層 b式	29	67
26	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状	円筒上層 b式	29	67
27	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：横位圧痕は単軸絡条体によるものか、小石少量含む	円筒上層 b式	29	67
28	1：Ⅰ・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：40.5　器高：42.5　底径：15.2 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・U字状・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：LR（０段多条）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層 a２式	29	16 107
29	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：13.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL、０段多条か）　他：内面ミガキ	円筒上層 a２式	30	67
30	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 他：口唇部に圧痕あり	円筒上層 a２式	30	67
31	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層 a２式	30	67
32	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：(10.3)　器高：14.0　底径：4.9 口縁：波状　隆帯：横位・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層 a１式	30	67
33	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：－　器高：10.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：RLR　他：内面ミガキ	円筒上層 a１式	30	67
34	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：－　器高：11.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL 他：波頂部に圧痕あり、繊維微量含む	円筒上層 a１式	30	67

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
35	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：12.9　底径：－ 隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：波頂部に圧痕あり、繊維微量含む、34と同一個体	円筒上層a１式	30	67
36	1：Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：27.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR・RLR？　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	30	67
37	1：Ⅱ・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：21.9　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位・斜位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文・LRL　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	31	68
38	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：21.3　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	31	68
39	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	31	68
40	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：8.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：口唇部に貼付あり	円筒上層a１式	31	68
41	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.9　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：横位・C字状　貼付：円形・渦巻状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL？　他：小石少量含む	円筒上層a１式	31	68
42	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕と貼付あり、小石微量含む	円筒上層a１式	31	68
43	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：繊維微量含む	円筒上層a１式	31	68
44	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠）？）　隆帯：C字状？　側面圧痕：縦位・横位・斜位 他：小石微量含む	円筒上層a１式	31	68
45	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：U字状　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・U字状　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	31	68
46	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(37.0)　器高：47.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a式	32	16 107
47	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・斜位・渦巻状 他：内面ミガキ	円筒上層a式	32	68
48	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・楕円形・渦巻状	円筒上層a式	32	68
49	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層a式	32	68
50	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：U字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a式	32	68
51	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	32	68

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
52	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・斜位・渦巻状　他：内面ミガキ	円筒上層a式	32	68
53	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの	円筒上層a式	32	68
54	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢c類	口径：(34.1)　器高：45.3　底径：12.1 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：撚糸文（単軸絡条体第１類）　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、棒状工具による円形刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	33	17 107
55	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒下層d２式	33	68
56	1：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	33	68
57	1：Ⅱ・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：9.7　底径：－ 口縁：波状　地文：LR（０段多条）　他：内面ミガキ	－	33	68
58	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢a類	口径：(36.4)　器高：44.0　底径：19.0 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状・弧状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層b式	34	17 107
59	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ18	深鉢b類	口径：33.3　器高：35.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・弧状・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層b式	34	17 107
60	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層b式	34	69
61	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状	円筒上層b式	34	69
62	1：Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢d類	口径：(40.9)　器高：44.9　底径：16.0 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・Ｙ字状　貼付：方形・円形（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	35	17 107
63	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(49.8)　器高：29.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL)、RL？　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	35	48 108
64	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(20.8)　器高：12.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・Ｘ字状・鋸歯状（横）　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	35	69
65	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb①	深鉢a類	口径：(16.4)　器高：21.7　底径：8.6 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む	円筒上層a２式	35	49 108
66	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：17.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	36	69
67	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状・楕円形 地文：LR　他：口唇部に斜行縄文あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	36	69
68	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：13.0　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・斜位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｘ字状　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部に渦巻状圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	36	69

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
69	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・矢羽根状　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	36	69
70	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦・横）　地文：結節回転文・LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a２式	36	69
71	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・渦巻状・楕円形　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	36	69
72	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：渦巻状（内外面）側面圧痕：縦位・横位・斜位・X字状　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	36	69
73	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：小石少量含む	円筒上層a２式	36	69
74	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）	円筒上層a２式	36	69
75	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	36	69
76	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(38.4)　器高：55.7　底径：16.4 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	37	18 108
77	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：43.5　器高：49.8　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：RLR　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	37	18 108
78	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：40.1　器高：51.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位　側面圧痕：横位・斜位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：半截竹管状工具による刺突列あり、波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	38	18 108
79	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb③ 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(34.7)　器高：45.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RL　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	38	18 108
80	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：31.9　器高：42.4　底径：13.1 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RLR　他：縦位隆帯が口唇部まで及ぶ、内面ミガキ	円筒上層a１式	39	19 108
81	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb④ 2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：(30.1)　器高：40.2　底径：(13.4) 口縁：波状（台形）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：小石微量含む	円筒上層a１式	39	19 108
82	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(37.8)　器高：38.5　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形・方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	39	19 108
83	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(57.2)　器高：32.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦）　地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	40	49 108
84	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：(47.4)　器高：27.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位 地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、縦位隆帯が口唇部まで及ぶ、内面ミガキ	円筒上層a１式	40	49 108
85	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb④	深鉢b類	口径：(42.8)　器高：46.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形（剥落）側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	40	19 108

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
86	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(35.2)　器高：32.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	41	20 108
87	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳd	深鉢b類	口径：(26.9)　器高：23.4　底径：－ 口縁:波状（台形）　側面圧痕:縦位・横位・斜位　地文:結節回転文・LR（０段多条） 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維少量含む	円筒上層a１式	41	49 108
88	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(16.4)　器高：10.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）・U字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦）　地文：LR　他：波頂部脇に貼付あり、波頂部直下に穿孔あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	41	63 108
89	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：(23.2)　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	41	69
90	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：27.8　器高：35.4　底径：12.2 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL（０段多条？）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	42	20 108
91	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(26.4)　器高：27.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：LR　他：繊維と小石少量含む	円筒上層a１式	42	20 108
92	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(25.2)　器高：29.0　底径：10.0 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a１式	42	20 108
93	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：12.3　器高：16.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条）	円筒上層a１式	42	49 109
94	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：16.3　器高：18.3　底径：6.8 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a１式	42	49 109
95	1：Ⅰ・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb③	深鉢a類	口径：38.0　器高：42.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：結節回転文・LRL　他：竹管状工具による平行沈線あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	43	21 109
96	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：17.1　器高：24.6　底径：9.0 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR・０段多条？）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	43	21 109
97	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(18.8)　器高：20.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	43	50 109
98	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（縦）　他：波頂部を菱形に整形している、波頂部脇の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	43	70
99	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.5　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位（C字状？）・横位 地文：LR	円筒上層a１式	43	70
100	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒上層a１式	43	70
101	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：27.6　底径：－ 隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	44	21
102	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：23.9　器高：17.0　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石微量含む	円筒上層a１式	44	70

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
103	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：24.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形・円形（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	44	70
104	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：17.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文・RL	円筒上層a１式	44	70
105	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：13.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	44	70
106	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：体部に菱形（？）状に隆帯が付される、内面ミガキ	円筒上層a１式	44	70
107	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・U字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	45	70
108	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：(25.2)　器高：10.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	45	71
109	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	45	70
110	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状（剥落）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	45	71
111	1：Ⅲ-Ⅳb、SJ18	深鉢	口径：－　器高：10.6　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：Y字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	45	71
112	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	45	71
113	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a１式	45	71
114	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RL ？　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	45	71
115	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、口唇部に貼付あり、繊維微量含む	円筒上層a１式	46	71
116	1：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	46	71
117	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　貼付：方形（波頂部）　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	46	71
118	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：14.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：結節回転文・LR　他：半截竹管状工具による沈線あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	46	71
119	1：Ⅲ-Ⅳb①	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：鋸歯状（縦）　貼付：渦巻状　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	46	71

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
120	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	46	71
121	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	46	71
122	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・Ｃ字状　貼付：渦巻状（波頂部）　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり	円筒上層a１式	46	71
123	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	46	71
124	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	46	71
125	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：16.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位・弧状　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	46	72
126	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	46	72
127	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	46	72
128	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり	円筒上層a１式	46	72
129	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	46	72
130	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	47	72
131	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	47	72
132	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	47	72
133	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	47	72
134	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	47	72
135	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	47	72
136	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：Ｃ字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	47	72

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
137	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a１式	47	72
138	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(25.2)　器高：29.0　底径：(9.0) 口縁：波状（台形？）　貼付：渦巻状（内外面）・U字状（剥落）　地文：RLR 他：内面ミガキ	円筒上層a式	47	21 109
139	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(32.7)　器高：38.2　底径：(12.6) 口縁：波状（台形）　隆帯：横位　地文：RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、穿孔あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a式	48	22 109
140	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　地文：結節回転文　他：小石少量含む	円筒上層a式	48	72
141	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a式	48	72
142	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a式	48	72
143	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・弧状・渦巻状　他：小石微量含む	円筒上層a式	48	72
144	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	48	72
145	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　貼付：方形・環状　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状	円筒上層a式	48	72
146	1：Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：C字状　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a式	48	72
147	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位 他：波頂部に凹みあり	円筒上層a式	48	72
148	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部に渦巻状圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a式	48	72
149	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：3.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：小石少量含む	円筒上層a式	48	72
150	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a式	48	72
151	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：鋸歯状（縦）　貼付：渦巻状（内外面）　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：小石微量含む	円筒上層a式	48	72
152	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(27.0)　器高：38.1　底径：12.7 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位（剥落）　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維と小石少量含む	円筒下層d２式	49	22 109
153	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(27.5)　器高：33.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR　他：繊維と小石少量含む	円筒下層d２式	49	22 109

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
154	1：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb③ 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 e類	口径：20.4　器高：27.2　底径：9.7 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層 d２式	49	22 109
155	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa SJ18	深鉢 a類	口径：(33.1)　器高：18.1　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	49	64 109
156	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：(15.1)　器高：16.2　底径：6.6 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石微量含む	円筒下層 d２式	49	50
157	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：－　器高：12.2　底径：5.5 口縁：波状（M字状？）　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層 d２式	49	73
158	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：20.8　器高：33.1　底径：11.9 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒下層 d２式	50	23 109
159	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：(23.2)　器高：30.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR 他：繊維やや多く含む、小石微量含む	円筒下層 d２式	50	23 109
160	1：Ⅰ・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 c類	口径：14.7　器高：19.7　底径：7.8 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層 d２式	50	50 109
161	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：21.2　器高：15.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ？、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	50	73
162	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石やや多く含む	円筒下層 d２式	50	73
163	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：(24.8)　器高：35.9　底径：11.0 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	51	23 109
164	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：(19.2)　器高：23.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維少量含む、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	51	23 109
165	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：(17.8)　器高：15.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：口縁部に円形刺突あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層 d２式	51	50
166	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR 他：繊維と小石微量含む	円筒上層 a１式	51	73
167	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.8　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	51	73
168	1：Ⅲ-Ⅳb③	深鉢 e類	口径：－　器高：20.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL　他：小石やや多く含む	円筒下層 d２式	52	73
169	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：口唇部に圧痕あり、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	52	73
170	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：16.4　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層 d２式	52	73

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
171	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.4　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・RL　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層d２式	52	73
172	1：Ⅲ-Ⅳb④	深鉢	口径：－　器高：8.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層d２式	52	73
173	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR	円筒下層d２式	52	73
174	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒下層d２式	52	73
175	1：Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石微量含む	円筒下層d２式	52	73
176	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒下層d２式	52	74
177	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.9　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d２式	52	74
178	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	52	74
179	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：－　器高：9.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d２式	53	74
180	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：横位　地文：LR ？　他：波頂部直下に棒状工具による縦位沈線あり、内面ミガキ	円筒下層d２式	53	74
181	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒下層d２式	53	74
182	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：(24.5)　器高：28.2　底径：(11.9) 口縁：平縁　地文：LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	－	53	24
183	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 f類	口径：18.6　器高：21.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：繊維微量含む	－	53	50
184	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa　SJ18	深鉢 e類	口径：(14.3)　器高：21.2　底径：7.2 口縁：平縁　地文：ナデ？　他：小石やや多く含む	－	53	50
185	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 e類	口径：19.5　器高：21.4　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石多く含む	－	54	74
186	1：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 e類	口径：－　器高：18.1　底径：－ 口縁：平縁　地文：R　他：繊維微量含む、小石少量含む	－	54	74
187	1：Ⅲ-Ⅳb⑥ 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：13.7　底径：－ 口縁：波状？　地文：L　他：口唇部に貼付あり、繊維と小石微量含む	－	54	74

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
188	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：－　器高：17.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：RL　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	－	54	74
189	1：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳd 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	－	54	74
190	1：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：棒状工具による平行沈線　他：内面ミガキ	－	54	74
191	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：33.8　器高：35.3　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・矢羽根状　地文：結節回転文・LR　他：口唇部の頂部に凹みあり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a２式	55	51 109
192	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(25.1)　器高：11.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　地文：LR　他：小石やや多く含む	円筒上層 a２式	55	64 109
193	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：(30.0)　器高：23.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位 地文：結節回転文・RLR　他：篦状工具による刺突列あり、口唇部に圧痕あり、小石少量含む	円筒上層 a１式	55	51 110
194	2：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維と小石微量含む	円筒上層 a１式	55	74
195	2：Ⅲa	深鉢 e類	口径：－　器高：13.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層 a式	55	74
196	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：(39.5)　器高：50.0　底径：14.4 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第２種（RL・LR）　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	56	24 110
197	2：Ⅲa	深鉢 b類	口径：(28.2)　器高：39.6　底径：11.1 口縁：平縁　地文：LR　他：口唇部に斜行縄文を施文、穿孔あり、内面ミガキ	－	56	24
198	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：12.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 b式	57	74
199	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層 b式	57	74
200	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.3　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・C字状	円筒上層 b式	57	74
201	1：Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：20.2　器高：23.0　底径：8.3 口縁：平縁　隆帯：横位・鋸歯状（横）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層 a２式	57	51 110
202	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b類	口径：(41.3)　器高：26.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位（剥落）・横位・C字状（剥落）　貼付：方形 側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石やや多く含む	円筒上層 a２式	57	51 110
203	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b類	口径：－　器高：17.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状・楕円形 地文：LR　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層 a２式	57	75
204	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b類	口径：－　器高：34.0　底径：－ 隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽状・楕円形　地文：RLR　他：小石やや多く含む	円筒上層 a２式	58	51 110

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
205	1：Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：－　器高：23.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面煤付着、小石微量含む	円筒上層 a２式	58	75
206	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・楕円形　地文：LR　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ	円筒上層 a２式	58	75
207	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：19.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状 地文：結節回転文・LR　他：小石少量含む	円筒上層 a２式	58	75
208	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層 a２式	58	75
209	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・斜位・矢羽根状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層 a２式	58	75
210	2：Ⅱ・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：43.0　器高：57.4　底径：16.4 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　貼付：環状・方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、部分的に縄文をナデ消している、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	59	24 110
211	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b類	口径：37.3　器高：56.0　底径：16.3 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・弧状　地文：結束第２種（RL・LR）　他：横位隆帯に棒状工具による円形刺突あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層 a１式	59	25 110
212	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：39.8　器高：34.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	60	51 110
213	1：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢 b類	口径：－　器高：47.1　底径：－ 隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LRL　他：内面ミガキ	円筒上層 a１式	60	25
214	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa、6：Ⅲa	深鉢 a類	口径：(23.9)　器高：15.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条）　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層 a１式	60	64 110
215	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：(13.3)　器高：13.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：方形　地文：RLR　他：半截竹管状工具による刺突列と平行沈線あり、繊維微量含む	円筒上層 a１式	60	75
216	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 d類	口径：(21.8)　器高：28.4　底径：11.2 口縁：平縁？　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層 a１式	61	25 110
217	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 b類	口径：27.0　器高：34.7　底径：(11.0) 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	61	25 110
218	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 b類	口径：(32.6)　器高：32.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　地文：R　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層 a１式	61	26 110
219	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：12.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層 a１式	61	75
220	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：19.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	61	75
221	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：15.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・斜位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの、小石少量含む	円筒上層 a１式	62	75

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
222	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・C字状・鋸歯状（縦）　地文：LR	円筒上層a１式	62	76
223	2：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	62	76
224	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形・円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	62	76
225	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：環状（内外面）・橋状　側面圧痕：縦位・横位・環状　他：口唇部に貼付あり、内面に棒状工具による刺突あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	62	76
226	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	62	76
227	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・弧状・渦巻状	円筒上層a１式	62	76
228	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a１式	62	76
229	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	62	76
230	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・円形　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a１式	62	76
231	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	62	76
232	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.1　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：横位・斜位　他：波頂部脇の口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	62	76
233	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(17.8)　器高：15.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a式	63	52
234	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：13.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・楕円形　他：小石少量含む	円筒上層a式	63	76
235	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・斜位 地文：結節回転文　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	63	76
236	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：棒状工具による円形刺突列あり	円筒下層d２式	63	76
237	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：31.9　器高：47.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒下層d２式	63	26 110
238	1：Ⅲ-Ⅳb、2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc 4：Ⅲ-Ⅳc、5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：33.0　器高：39.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：LR　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	63	26 110

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
239	1：Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：19.5　器高：16.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	64	52
240	2：Ⅲ-Ⅳa 3：Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：12.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維と小石少量含む	円筒下層 d２式	64	76
241	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 b類	口径：－　器高：19.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	64	76
242	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり、小石少量含む	円筒下層 d２式	64	76
243	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・RL　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層 d２式	64	77
244	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：小石微量含む	円筒下層 d２式	64	77
245	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位・斜位　地文：結節回転文・RL　他：棒状工具による刺突列あり、繊維と小石微量含む	円筒下層 d２式	64	77
246	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 b類	口径：(23.0)　器高：26.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：RLR　他：内面ミガキ	－	64	26
247	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 e類	口径：18.3　器高：23.8　底径：10.3 口縁：平縁　地文：LR	－	64	52
248	2：Ⅲ-Ⅳa	深鉢 d類	口径：－　器高：10.3　底径：－ 口縁：平縁　他：半截竹管状工具による押引沈線と平行沈線あり	異系統 土器	65	77
249	2：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状 地文：RL ？　他：内面ミガキ	円筒上層 b式	65	77
250	2：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RL	円筒上層 a２式	65	77
251	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 a類	口径：(26.2)　器高：27.5　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR　他：波頂部に凹みあり、内面ミガキ	円筒上層 a１式	65	27 110
252	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 e類	口径：12.9　器高：17.7　底径：6.6 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：穿孔２箇所あり、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	65	52 110
253	2：Ⅲ-Ⅳb	深鉢 a類	口径：(14.8)　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒下層 d２式	65	77
254	2：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒下層 d２式	65	77
255	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢 a類	口径：(16.0)　器高：14.1　底径：－ 口縁：平縁　地文：ナデ	－	65	77

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
256	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：4.5　底径：－ 隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層b式	66	77
257	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 6：Ⅲa	深鉢b類	口径：42.4　器高：46.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：LR（0段多条）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a2式	66	27
258	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：(25.4)　器高：37.0　底径：13.0 口縁：波状？　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a1式	66	27
259	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc 4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(19.0)　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a1式	66	64 110
260	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：13.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　地文：LR　他：横位隆帯に篦状工具による刺突列あり、小石少量含む	円筒上層a1式	66	77
261	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒上層a1式	66	77
262	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：－　器高：31.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層a1式	67	77
263	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：15.7　底径：6.2 隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（0段多条）　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d2式	67	77
264	2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d2式	67	77
265	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢e類	口径：－　器高：21.4　底径：－ 口縁：平縁　地文：RL　他：小石少量含む	－	67	78
266	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳc	深鉢a類	口径：(21.6)　器高：10.8　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石やや多く含む	－	67	78
267	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢	口径：－　器高：3.4　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：RL	－	67	78
268	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	鉢	口径：(29.0)　器高：13.5　底径：(12.7) 口縁：平縁　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	－	67	64
269	3：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(23.0)　器高：25.9　底径：10.0 口縁：平縁　地文：棒状工具による平行沈線　他：小石微量含む	－	68	27
270	4：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・斜位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状 地文：RL　他：口唇部に圧痕と沈線あり、内面ミガキ	円筒上層b式	68	78
271	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a2式	68	78
272	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a2式	68	78

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
273	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	68	78
274	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(55.4)　器高：24.5　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・円形　地文：RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a１式	68	52 110
275	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：40.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・弧状　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒上層a１式	69	78
276	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：波頂部周辺に貼付あり、波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	69	78
277	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：斜位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a式	69	78
278	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文　他：繊維微量含む	円筒下層d２式	69	78
279	4：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.7　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR	－	69	78
280	4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢b類	口径：(39.2)　器高：39.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒上層a２式	70	79
281	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：31.7　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・C字状・鋸歯状（縦）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・渦巻状　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a２式	70	79
282	1：Ⅲ-Ⅳb⑥、2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc、4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳb、8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(25.4)　器高：20.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））・C字状　地文：結節回転文・LR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	70	52 111
283	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：19.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a２式	70	79
284	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲa	深鉢a類	口径：(28.6)　器高：16.7　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	71	53 111
285	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲa	深鉢a類	口径：－　器高：19.6　底径：11.3 地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む、284と同一個体	円筒上層a２式	71	53
286	2：Ⅲ-Ⅳa 4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑧ 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(29.0)　器高：34.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横） 地文：結節回転文・LR？　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	71	28 111
287	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・菱形？　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・菱形？　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石少量含む	円筒上層a２式	71	79
288	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・X字状　地文：LR　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	71	79
289	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.3　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	71	79

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
290	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.2　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・X字状　他：小石微量含む	円筒上層a２式	71	80
291	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	71	80
292	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	71	80
293	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位・鋸歯状（横）　地文：LLR？　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	71	80
294	4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑥ 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(49.1)　器高：56.6　底径：(18.0) 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	72	28 111
295	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(38.0)　器高：52.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	72	28 111
296	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(29.3)　器高：42.2　底径：12.8 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	73	28 111
297	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢b類	口径：(33.2)　器高：41.0　底径：13.8 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：隆帯に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	73	29 111
298	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(24.4)　器高：29.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RL　他：半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	73	29 111
299	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(26.8)　器高：27.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・三角形？ 地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	74	29 111
300	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：27.7　器高：35.0　底径：10.2 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RLR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	74	29 111
301	2：Ⅲ-Ⅳa 4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(21.6)　器高：27.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RLR　他：繊維微量含む	円筒上層a１式	74	30 111
302	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(29.4)　器高：20.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：円形・方形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	74	80
303	1：Ⅲ-Ⅳb⑥ 4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢	口径：(15.0)　器高：8.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	74	80
304	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：27.8　器高：12.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条） 他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	75	64 111
305	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：28.6　底径：12.5 地文：LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石少量含む、304と同一個体	円筒上層a１式	75	30
306	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(26.0)　器高：26.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦）地文：RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	75	80

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
307	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢d類	口径：(16.6)　器高：18.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	75	53 111
308	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(10.8)　器高：8.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	75	80
309	2：Ⅲ-Ⅳc 4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(32.2)　器高：18.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：小石少量含む	円筒上層a１式	75	53
310	4：Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢b類	口径：－　器高：19.3　底径：－ 口縁：平縁？　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	75	80
311	4：Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢	口径：－　器高：25.4　底径：－ 口縁：波状（台形・M字状）　隆帯：縦位・横位・斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状・渦巻状　地文：結節回転文・LR　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	76	80
312	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：13.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　貼付：円形（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・弧状　地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	76	81
313	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：18.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・楕円形・弧状 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a１式	76	81
314	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.6　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、半截竹管状工具による刺突列あり、波頂部に貼付あり、小石微量含む	円筒上層a１式	76	81
315	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.8　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	76	81
316	4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維微量含む	円筒上層a１式	76	81
317	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦） 他：波頂部周辺に貼付と圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a１式	76	81
318	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　貼付：方形・円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	77	81
319	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.1　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL 他：波頂部直下の隆帯は判然としない、内面ミガキ	円筒上層a１式	77	81
320	4：Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：小石少量含む	円筒上層a１式	77	81
321	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・U字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR 他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	77	81
322	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 隆帯：鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：横位　地文：RLR　他：篦状工具による刺突列あり、棒状工具による沈線あり、小石少量含む	円筒上層a１式	77	81
323	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.8　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	77	81

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
324	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：3.7　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒上層a１式	77	82
325	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	77	82
326	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	77	82
327	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	77	82
328	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・楕円形　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	77	82
329	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：繊維微量含む	円筒上層a１式	77	82
330	4：Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	77	82
331	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a１式	77	82
332	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	77	82
333	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に斜行縄文を施文、内面ミガキ	円筒上層a１式	77	82
334	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	77	82
335	4：Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	77	82
336	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部脇に貼付あり、波頂部及びその内面に円形刺突列あり、波頂部直下に穿孔あり、内面ミガキ	円筒上層a式	78	82
337	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・Ｘ字状 他：波頂部に貼付と圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a式	78	82
338	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.1　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部周辺に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a式	78	82
339	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a式	78	82
340	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位 他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	78	82

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
341	1：Ⅲ-Ⅳb⑥ 4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(39.5)　器高：50.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：結節回転文・LR　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	78	30 111
342	4：Ⅲ-Ⅳb⑧ 5：Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(37.2)　器高：50.7　底径：15.0 口縁：波状（山形（片欠））　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：(結束第２種（LR・RL）？)・LRL　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	78	30 111
343	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(15.8)　器高：19.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：横位　地文：LR（０段多条）　他：小石やや多く含む	円筒下層d２式	78	53 111
344	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：15.7　器高：16.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維少量含む、小石微量含む	円筒下層d２式	78	53
345	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(32.2)　器高：46.1　底径：13.1 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位（剥落）　貼付：円形（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒下層d２式	79	31 111
346	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(28.2)　器高：39.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	79	31 111
347	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢b類	口径：23.2　器高：29.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位（剥落）　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：繊維と小石少量含む	円筒下層d２式	79	31 112
348	4：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(18.4)　器高：18.8　底径：8.2 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL（０段多条？）　他：繊維少量含む	円筒下層d２式	79	54 112
349	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(17.8)　器高：23.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR 他：半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	80	54 112
350	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：19.1　器高：21.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条） 他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	80	54 112
351	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：23.8　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：横位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒下層d２式	80	82
352	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(14.7)　器高：13.1　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：小石やや多く含む	円筒下層d２式	80	82
353	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(14.2)　器高：12.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・鋸歯状（縦）（剥落）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LRL　他：繊維微量含む	円筒下層d２式	80	82
354	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：穿孔あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	80	83
355	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	80	83
356	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位	円筒下層d２式	80	83
357	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：2.9　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　貼付：方形　側面圧痕：横位　他：半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	80	83

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
358	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：棒状工具による刺突列あり	円筒下層d２式	80	83
359	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒下層d２式	81	83
360	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：横位隆帯に半截竹管状工具による沈線あり、繊維と小石少量含む	円筒下層d２式	81	83
361	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	81	83
362	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ	円筒下層d２式	81	83
363	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層d２式	81	83
364	4：Ⅲ-Ⅳb	深鉢e類	口径：21.8　器高：31.4　底径：9.0 口縁：平縁　地文：LR（０段多条）　他：内面ミガキ	－	81	31
365	4：Ⅲ-Ⅳb⑧	深鉢e類	口径：(12.2)　器高：16.4　底径：7.2 口縁：平縁　地文：LR　他：小石やや多く含む	－	81	54
366	4：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑥	深鉢a類	口径：－　器高：15.6　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：繊維少量含む、小石やや多く含む	－	81	83
367	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：19.8　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：繊維やや多く含む、小石少量含む	－	81	83
368	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(40.8)　器高：51.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：体部にナデ消しあり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層b式	82	32
369	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：26.6　器高：20.9　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　隆帯：縦位・横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL、それぞれ０段多条？）　他：内面ミガキ	円筒上層b式	82	64 112
370	5：Ⅲa	深鉢b類	口径：(35.1)　器高：31.7　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層b式	82	54 112
371	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　隆帯：斜位・Ｃ字状　側面圧痕：斜位・Ｃ字状・（鋸歯状（横）？）　他：内面ミガキ	円筒上層b式	82	83
372	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）	円筒上層b式	82	83
373	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状	円筒上層b式	82	83
374	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層b式	82	83

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
375	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層b式	82	83
376	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲa	深鉢b類	口径：46.3　器高：50.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・楕円形　地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a2式	83	32 112
377	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲa	深鉢a類	口径：－　器高：27.6　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：横位・C字状・鋸歯状（横）　側面圧痕：縦位・横位・C字状・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・RL（0段多条）　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a2式	83	84
378	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・斜位・鋸歯状（横） 地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a2式	83	84
379	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a2式	83	84
380	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・鋸歯状（横）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・円形　地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL） 他：繊維微量含む	円筒上層a2式	84	84
381	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 隆帯：横位・C字状　側面圧痕：横位・鋸歯状（横）・楕円形　地文：LR	円筒上層a2式	84	84
382	5：Ⅲa	鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：平縁　地文：結節回転文・撚糸文（単軸絡条体第1類）　他：棒状工具による鋸歯状（横）の平行沈線と刺突列あり、口唇部に刻み（工具による刺突列）あり、繊維少量含む	円筒上層a2式	84	84
383	2：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳb⑧ 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢d類	口径：(35.4)　器高：42.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a1式	84	32 112
384	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維やや多く含む	円筒上層a1式	84	84
385	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層a1式	84	84
386	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒上層a1式	84	84
387	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR 他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a1式	84	84
388	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.9　底径：－ 隆帯：C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・弧状・渦巻状	円筒上層a式	84	84
389	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：24.7　器高：27.5　底径：10.0 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d2式	85	32 112
390	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RL　他：小石少量含む	円筒下層d2式	85	84
391	5：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層d2式	85	84

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
392	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(24.9)　器高：14.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：小石微量含む	円筒上層b式	85	84
393	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：15.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・弧状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・C字状・弧状 地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：繊維と小石微量含む	円筒上層b式	85	84
394	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・斜位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・C字状　地文：LR	円筒上層b式	85	84
395	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：C字状？　側面圧痕：縦位・横位・C字状・弧状　他：内面ミガキ	円筒上層b式	85	85
396	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：内面ミガキ	円筒上層b式	85	85
397	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(36.4)　器高：13.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・弧状　他：波頂部の口唇部及び周辺に刺突あり、波頂部直下に穿孔あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	86	64 112
398	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：20.2　底径：－ 隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、397と同一個体	円筒上層a２式	86	54 112
399	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：22.8　器高：24.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦・横）　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a２式	86	33 112
400	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(11.6)　器高：17.9　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	86	55 112
401	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(18.8)　器高：12.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：環状・橋状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・円形　他：波頂部直下に穿孔あり、小石微量含む	円筒上層a２式	86	85
402	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：18.0　底径：－ 隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：LR	円筒上層a２式	86	55
403	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：29.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・矢羽根状　地文：結節回転文・LR　他：小石微量含む	円筒上層a２式	87	85
404	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：20.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・X字状　地文：LR（０段多条）　他：小石やや多く含む	円筒上層a２式	87	85
405	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：15.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位（剥落）・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	87	85
406	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：21.7　底径：－ 口縁:波状　隆帯:横位　側面圧痕:縦位・横位・鋸歯状（横）　地文:LR（０段多条） 他：小石少量含む	円筒上層a２式	87	85
407	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・鋸歯状（横）　側面圧痕：縦位・斜位・鋸歯状（横）	円筒上層a２式	87	85
408	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　他：半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	88	85

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
409	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.1　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	88	85
410	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：小石微量含む	円筒上層a２式	88	85
411	5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RL　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	88	85
412	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：47.3　器高：56.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付・円形・方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	88	33 112
413	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：44.0　器高：54.7　底径：(19.0) 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR（０段多条）　他：波頂部に凹みあり、圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	89	33 112
414	2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(46.4)　器高：36.4　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部脇の口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	89	55 112
415	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：9.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	89	85
416	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(34.3)　器高：37.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・LR）　他：口縁部形状は貼付によるもので口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	90	33 112
417	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(25.8)　器高：25.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	90	34 112
418	2：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：30.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RLR　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	90	34 113
419	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：12.1　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：縦位・横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：繊維微量含む	円筒上層a１式	90	85
420	1：Ⅲ-Ⅳa 2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：19.6　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	90	86
421	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：篦状工具による刺突列あり	円筒上層a１式	90	85
422	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ、繊維少量含む	円筒上層a１式	91	86
423	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	91	86
424	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	91	86
425	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	91	86

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
426	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：横位　側面圧痕：横位　地文：RL　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	91	86
427	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・斜位　他：波頂部の口唇部に複数の刺突あり、波頂部直下に穿孔あり、繊維微量含む	円筒上層a式	91	86
428	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部付近に貼付あり、波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	91	86
429	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・弧状？　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	91	86
430	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：横位・鋸歯状？　側面圧痕：縦位・横位　他：内外面に円形刺突あり	円筒上層a式	91	86
431	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲa	深鉢a類	口径：23.8　器高：31.2　底径：12.0 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・撚糸文（単軸絡条体第１類）　他：小石やや多く含む	円筒下層d２式	91	34 113
432	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：19.1　器高：26.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LRL　他：小石少量含む	円筒下層d２式	91	34
433	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(20.0)　器高：27.0　底径：11.0 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位、地文：LR　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるものか、内面ミガキ	円筒下層d２式	91	35 113
434	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：15.2　器高：20.8　底径：6.6 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、棒状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d２式	92	55 113
435	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む、繊維少量含む	円筒下層d２式	92	86
436	5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：横位　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	92	86
437	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（台形？）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　他：圧痕は単軸絡条体によるもの、小石微量含む	円筒下層d２式	92	86
438	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：棒状工具による円形刺突列あり、繊維微量含む	円筒下層d２式	92	86
439	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(25.8)　器高：24.5　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR（０段多条）　他：半截竹管状工具による刺突列あり、小石少量含む	－	92	55
440	2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢e類	口径：(18.2)　器高：21.6　底径：－ 口縁：平縁　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石微量含む	－	92	55
441	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：16.5　器高：21.1　底径：7.2 口縁：平縁　地文：LR　他：穿孔あり、小石微量含む	－	92	56
442	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(14.7)　器高：18.7　底径：(8.2) 口縁：平縁　地文：LR　他：小石微量含む	－	93	56

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
443	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳc	深鉢a類	口径：(9.7)　器高：14.4　底径：(6.0) 口縁：平縁　地文：RLR　他：内面ミガキ	－	93	86
444	5：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：LR	－	93	86
445	5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢e類	口径：12.7　器高：15.4　底径：6.7 口縁：波状（M字状？）　隆帯：縦位・弧状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR？　他：半截竹管状工具による刺突列あり、口唇部に貼付あり	円筒上層b式	93	56 113
446	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：27.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a２式	93	86
447	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：17.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位（剥落）・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	93	86
448	5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・斜位（鋸歯状（横））　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	93	86
449	2：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：(40.6)　器高：53.5　底径：15.1 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR（０段多条）　他：繊維少量含む、小石やや多く含む	円筒上層a１式	94	35
450	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(44.8)　器高：36.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	94	35 113
451	2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(22.5)　器高：14.1　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR	円筒上層a１式	94	87
452	2：Ⅲ-Ⅳa 5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位 地文：RLR　他：波頂部に凹みあり、451と同一個体	円筒上層a１式	94	87
453	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(43.6)　器高：31.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	95	56 113
454	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(22.7)　器高：25.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　地文：結節回転文・LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	95	35 113
455	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(37.0)　器高：25.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	95	56 113
456	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：(21.2)　器高：17.5　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：波頂部脇の口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	95	56 113
457	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(18.3)　器高：10.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：内面ミガキ、繊維と小石少量含む	円筒上層a１式	96	87
458	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	96	87
459	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：23.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　貼付：円形・楕円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	96	87

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
460	5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状・横位（共に剥落）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、円形貼付に渦巻状圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	96	87
461	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(14.6)　器高：18.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a式	96	57
462	4：Ⅲ-Ⅳb 5：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.0　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文　他：小石やや多く含む	円筒上層a式	96	87
463	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：21.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位　地文：付加条　他：小石やや多く含む	円筒上層a式	97	87
464	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：18.5　器高：25.0　底径：9.0 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・RL　他：棒状工具による刺突列あり、繊維と小石やや多く含む	円筒下層d２式	97	36 113
465	5：Ⅲ-Ⅳc	深鉢a類	口径：(24.5)　器高：30.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：LR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	97	36 113
466	5：Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：(29.4)　器高：31.3　底径：－ 口縁：平縁？　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR（０段多条） 他：小石少量含む	円筒上層a１式	97	36 113
467	5：Ⅲ-Ⅳc	深鉢f類	口径：－　器高：22.5　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　貼付：方形　地文：結節回転文・LR 他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	97	87
468	2：Ⅲ-Ⅳc 5：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢a類	口径：(20.8)　器高：28.2　底径：11.5 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：小石少量含む	円筒下層d２式	98	36
469	5：Ⅲ-Ⅳc	小型土器	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１A類）	円筒下層d２式	98	87
470	5：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳc	深鉢b類	口径：－　器高：23.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	－	98	87
471	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：横位・斜位・C字状	円筒上層b式	98	88
472	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・C字状　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層b式	98	88
473	3：Ⅲa 6：Ⅱ・Ⅲa	深鉢b類	口径：－　器高：26.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・矢羽根状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部直下に凹みあり	円筒上層a２式	98	88
474	6：Ⅱ・Ⅲa・Ⅳ	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・X字状　他：小石少量含む	円筒上層a２式	98	88
475	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a１式	99	88
476	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.5　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：横位・斜位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	99	88

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
477	3：Ⅲa 6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：13.7　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：縦位・横位（共に剥落）　側面圧痕：縦位・横位 他：口唇部に圧痕あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの	円筒上層ａ１式	99	88
478	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：12.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層ａ式	99	88
479	6：Ⅱ・Ⅲa	深鉢ｂ類	口径：－　器高：25.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　地文：LR（０段多条）　他：小石少量含む	円筒上層ａ式	99	88
480	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位・弧状　他：内面ミガキ	円筒上層ａ式	99	88
481	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層ｄ２式	99	88
482	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石微量含む	円筒下層ｄ２式	99	88
483	6：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層ｄ２式	99	88
484	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：－　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	100	89
485	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・Ｃ字状（１条剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・LR）　他：棒状工具による刺突列あり、小石やや多く含む	円筒上層ｂ式	100	89
486	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.9　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層ｂ式	100	89
487	7：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状	円筒上層ｂ式	100	89
488	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢ｂ類	口径：(42.0)　器高：33.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・Ｃ（S）字状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・円形・Ｃ（S）字状・環状・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層ａ２式	100	57 113
489	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｅ類	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・鋸歯状（横）　地文：LR（０段多条） 他：内面煤付着、小石少量含む	円筒上層ａ２式	100	89
490	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：小石多く含む	円筒上層ａ２式	100	89
491	7：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳa SJ16	深鉢ｂ類	口径：41.5　器高：54.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状　貼付：環状（剥落） 側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ	円筒上層ａ１式	101	37 113
492	7：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢ａ類	口径：－　器高：20.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：(結束第２種（RL）?)　他：口縁部に円形刺突列あり、繊維微量含む	円筒上層ａ１式	101	89
493	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石少量含む	円筒上層ａ１式	101	89

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
494	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	101	89
495	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：－　器高：29.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・C字状・U字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	102	89
496	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：斜位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・弧状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	102	89
497	7：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり	円筒下層d２式	102	89
498	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：39.5　底径：(13.6) 口縁：波状　隆帯：横位・縦位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 地文：LR（０段多条）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a２式	102	37 113
499	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢d類	口径：－　器高：26.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）地文：RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、小石微量含む	円筒上層a２式	102	89
500	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢	口径：－　器高：22.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・楕円形・X字状　地文：LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	103	90
501	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：－　器高：52.0　底径：(20.0) 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：RLR　他：口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	103	37 113
502	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑩⑪	深鉢b類	口径：33.2　器高：40.8　底径：13.4 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	104	37 113
503	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：36.3　器高：38.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	104	38 114
504	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：18.6　底径：6.0 隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	104	57
505	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：13.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	104	90
506	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.6　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に渦巻状圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	104	90
507	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・U字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・環状　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	104	90
508	7：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢a類	口径：(28.2)　器高：36.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：口縁部に竹管状工具による円形刺突列と結節回転文あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	105	38 114
509	7：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢b類	口径：(24.2)　器高：23.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	105	57 114
510	7：Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢b類	口径：(18.2)　器高：19.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・楕円形　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	105	90

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
511	7：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢	口径：－　器高：19.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	105	90
512	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢a類	口径：－　器高：19.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	105	90
513	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦）　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	106	90
514	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：13.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	106	90
515	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	106	90
516	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：9.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	106	90
517	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：11.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	106	91
518	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	106	91
519	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位：鋸歯状（縦）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	106	91
520	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・U字状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・環状・U字状　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	106	91
521	7：Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：28.4　器高：26.6　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RLR 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒下層d２式	107	57 114
522	7：Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢a類	口径：(18.4)　器高：24.4　底径：9.0 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	107	57 114
523	7：Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢c類	口径：10.7　器高：13.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：RL　他：内面ミガキ、繊維少量含む	円筒下層d２式	107	65 114
524	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：10.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	107	91
525	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石少量含む	円筒下層d２式	107	91
526	7：Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢e類	口径：－　器高：15.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維少量含む、小石やや多く含む	円筒下層d２式	107	91
527	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d２式	108	91

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
528	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：横位・斜位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：内面ミガキ、繊維と小石少量含む	円筒下層ｄ２式	108	91
529	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb・Ⅲ-Ⅳb⑪	深鉢ｂ類	口径：(28.1)　器高：36.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層ａ式	108	38
530	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢ａ類	口径：14.5　器高：16.1　底径：－ 口縁：波状　貼付：円形　地文：LR	円筒上層ａ式	108	58
531	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層ａ式	108	91
532	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢ｅ類	口径：16.8　器高：19.2　底径：8.5 口縁：平縁　地文：RL（０段多条）　他：繊維少量含む、小石微量含む	－	108	58
533	7：Ⅲ-Ⅳb	深鉢ａ類	口径：9.8　器高：12.5　底径：5.0 口縁：平縁　地文：LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	－	108	65
534	8：Ⅰ	深鉢	口径：－　器高：11.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層ａ１式	109	91
535	8：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層ａ２式	109	91
536	8：Ⅱ・Ⅲa・Ⅳ	深鉢	口径：19.7　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・斜位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：波頂部直下に穿孔あり	円筒上層ｂ式	109	65 114
537	8：Ⅲa	深鉢	口径：(19.5)　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：RL（０段多条）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層ｂ式	109	91
538	8：Ⅲa 9：Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：(22.6)　器高：9.4　底径：－ 口縁：波状（台形？）　隆帯：横位・Ｃ字状・弧状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層ｂ式	109	91
539	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｂ類	口径：－　器高：21.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：付加条?　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	109	91
540	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・Ｃ字状・弧状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	109	91
541	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状・（鋸歯状（横）？）　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層ｂ式	109	91
542	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：RL　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層ｂ式	109	92
543	8：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 9：Ⅲa SJ02	深鉢ａ類	口径：(31.8)　器高：32.7　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：横位・弧状　側面圧痕：縦位・斜位・弧状　地文：結節回転文・結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：外面煤付着、小石少量含む	円筒上層ａ２式	110	58 114
544	8：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：32.8　器高：31.1　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位・斜位（鋸歯状（縦））　貼付：環状 側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦・横）・環状　地文：結節回転文・RLR 他：波頂部直下に穿孔あり、小石少量含む	円筒上層ａ２式	110	58 114

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
545	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：12.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a２式	110	92
546	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	110	92
547	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横） 地文：LR	円筒上層a２式	110	92
548	8：Ⅰ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅳ	深鉢a類	口径：－　器高：13.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　貼付：環状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	110	92
549	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：14.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	110	92
550	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部付近に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	110	92
551	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR	円筒上層a１式	110	92
552	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(24.2)　器高：20.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：繊維少量含む、小石やや多く含む	円筒下層d２式	111	58 114
553	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：棒状工具による刺突列あり、小石微量含む	円筒下層d２式	111	92
554	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層d２式	111	92
555	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d２式	111	92
556	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：Ｙ字状　貼付：渦巻状　地文：RL　他：穿孔あり、小石微量含む	円筒上層a式	111	92
557	5：Ⅲ-Ⅳa 8：Ⅲa	深鉢	口径：(16.6)　器高：6.7　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石少量含む	－	111	92
558	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：－　器高：16.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・LR、それぞれ０段多条か）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層b式	111	92
559	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：17.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層b式	111	92
560	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：17.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石少量含む	円筒上層b式	111	92
561	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：口唇部に圧痕あり、波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層b式	112	93

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
562	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：結節回転文・LR ？　他：内面ミガキ	円筒上層b式	112	93
563	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.1　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：小石微量含む	円筒上層b式	112	93
564	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：横位・斜位・C字状・弧状　地文：RLR	円筒上層b式	112	93
565	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：斜位（剥落）　側面圧痕：横位・C字状・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層b式	112	93
566	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位・C字状	円筒上層b式	112	93
567	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・弧状・C字状　他：内面ミガキ	円筒上層b式	112	93
568	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層b式	112	93
569	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(29.0)　器高：32.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・弧状・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	112	38 114
570	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(29.7)　器高：19.8　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・X字状　地文：結節回転文・RL（０段多条）　他：波頂部に圧痕あり、小石少量含む	円筒上層a２式	112	93
571	8：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢b類	口径：(17.5)　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a２式	112	93
572	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(23.8)　器高：8.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状・弧状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・C字状　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a２式	112	93
573	7：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳa・Ⅳ	深鉢a類	口径：－　器高：46.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	113	39 114
574	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：36.9　底径：(13.2) 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・矢羽根状　地文：結節回転文・RLR　他：小石少量含む	円筒上層a２式	113	39 114
575	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	113	93
576	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：12.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	113	93
577	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：17.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：繊維微量含む	円筒上層a２式	114	93
578	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：16.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C（S）字状（剥落）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・環状・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a２式	114	94

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
579	8：Ⅱ～Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RL	円筒上層a２式	114	94
580	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・U字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	114	94
581	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ10	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位（剥落）・横位　側面圧痕：縦位・横位・X字状 他：穿孔あり	円筒上層a２式	114	94
582	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ16	深鉢b類	口径：(34.2)　器高：35.5　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL（０段多条）　他：波頂部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a式	114	39 114
583	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・斜位　他：波頂部に刺突と圧痕あり、波頂部直下に穿孔あり	円筒上層a式	114	94
584	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：斜位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状	円筒上層a式	114	94
585	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：－　器高：46.5　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RLR　他：小石やや多く含む	円筒上層a１式	115	39 114
586	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(31.2)　器高：34.0　底径：13.0 口縁：波状　隆帯：縦位（剥落）・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	115	40
587	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(30.5)　器高：36.2　底径：10.0 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	115	40 114
588	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(20.0)　器高：11.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL（０段多条） 他：小石少量含む	円筒上層a１式	115	65 114
589	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：12.4　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：RLR　他：波頂部周辺の口唇部に貼付あり	円筒上層a１式	115	94
590	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(25.9)　器高：28.9　底径：11.0 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・U字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	116	40 114
591	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ16	深鉢b類	口径：(35.1)　器高：37.8　底径：14.0 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	116	40
592	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：－　器高：35.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形・方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒上層a１式	116	94
593	8：Ⅱ・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形（剥落） 側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：小石微量含む	円筒上層a１式	116	94
594	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・斜位・弧状・楕円形　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	116	94
595	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.6　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位（剥落）・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：RL　他：波頂部に凹みあり、波頂部脇の口唇部に貼付と圧痕あり	円筒上層a１式	116	94

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
596	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	116	94
597	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(27.6)　器高：30.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第２種？・LR　他：口縁部直下の横位隆帯が剥落、内面ミガキ	円筒上層a１式	117	41
598	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(31.7)　器高：27.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む、小石やや多く含む	円筒上層a１式	117	58 115
599	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：18.8　器高：21.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	117	59 115
600	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：波頂部脇の口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	117	94
601	8：Ⅲ-Ⅳa・Ⅲ-Ⅳb	深鉢	口径：－　器高：12.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	117	94
602	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	117	95
603	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	117	95
604	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　側面圧痕：縦位・横位　他：小石少量含む	円筒上層a１式	117	95
605	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	117	95
606	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：繊維微量含む	円筒上層a１式	117	95
607	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・斜位・U字状　貼付：橋状・方形　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維微量含む	円筒上層a式	117	95
608	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a式	117	95
609	5：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 7：Ⅲ-Ⅳb、8：Ⅱ・Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 9：Ⅱ、SJ16	深鉢a類	口径：39.3　器高：52.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第２種（LR・RL）　他：小石少量含む	円筒下層d２式	118	41 115
610	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢c類	口径：(32.4)　器高：40.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第２種（RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒下層d２式	118	41 115
611	8：Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 9：Ⅱ	深鉢b類	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　貼付：円形　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維やや多く含む、小石少量含む	円筒下層d２式	118	95
612	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.1　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒下層d２式	119	95

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
613	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：篦状工具による刺突列あり、口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒下層d２式	119	95
614	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	119	95
615	8：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	119	95
616	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	119	95
617	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：3.4　底径：－ 口縁：波状？　側面圧痕：横位　他：棒状工具による刺突列あり	円筒下層d２式	119	95
618	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：20.4　器高：14.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：（結束第２種（RL）？）　他：内面ミガキ	－	119	59
619	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：（11.4）　器高：１3.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：RLR　他：内面ミガキ	－	119	65
620	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：平縁　地文：RLR　他：内面ミガキ	－	119	95
621	8：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.6　底径：－ 口縁：平縁　地文：L　他：内面ミガキ	－	119	95
622	8：Ⅳ	深鉢	口径：－　器高：14.4　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	119	95
623	8：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 9：Ⅲa 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ02	深鉢a類	口径：31.4　器高：51.8　底径：13.3 口縁：波状（M字状）　隆帯：弧状　側面圧痕：横位・斜位・弧状　地文：LR（０段多条）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	120	41 115
624	9：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層a１式	120	95
625	9：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　他：半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	120	95
626	9：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に貼付あり、小石少量含む	円筒上層a１式	120	95
627	9：Ⅲa 11：Ⅲa	深鉢a類	口径：21.4　器高：25.3　底径：11.4 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層d２式	120	42 115
628	8：Ⅲa 9：Ⅲa 10：Ⅱ 11：Ⅱ・Ⅲa	深鉢a類	口径：（18.3）　器高：9.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：横位　地文：RL（０段多条）　他：半截竹管状工具による刺突列あり、穿孔あり、繊維やや多く含む	円筒下層d２式	120	95
629	9：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：RL（０段多条）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	120	95

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
630	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：10.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR 他：半截竹管状工具による刺突列あり	円筒上層b式	121	95
631	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・C字状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：結節回転文・RL　他：波頂部直下に穿孔あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層b式	121	96
632	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL）	円筒上層b式	121	96
633	8：Ⅲ-Ⅳa 10：Ⅲa	深鉢b類	口径：(34.7)　器高：31.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・X字状　地文：結束第1種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a2式	121	59 115
634	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(24.6)　器高：18.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・C字状・鋸歯状（横） 地文：結束第1種羽状縄文（RL・LR）	円筒上層a2式	121	59 115
635	10：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 12：Ⅲa SJ05	深鉢b類	口径：33.5　器高：49.2　底径：14.0 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・U字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・U字状　地文：LR（0段多条）　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ、小石微量含む、網代痕	円筒上層a2式	121	42 115
636	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：28.6　器高：28.8　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状　地文：結束第1種羽状縄文（RL・LR）　他：小波状の口唇部は粘土紐を編み込むように貼付られ、圧痕が施されている	円筒上層a2式	122	59 115
637	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(27.8)　器高：19.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a2式	122	59 115
638	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa SJ05	鉢	口径：(28.4)　器高：13.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：鋸歯状（横）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・渦巻状 地文：結節回転文　他：口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a2式	122	65 115
639	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：13.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位（剥落）・横位・鋸歯状（横）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：RL　他：口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a2式	122	96
640	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・X字状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層a2式	122	96
641	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：C字状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状 他：内面ミガキ	円筒上層a2式	122	96
642	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：－　器高：33.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL 他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a1式	123	42 115
643	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅳ	深鉢a類	口径：(29.7)　器高：18.1　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・RL　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒上層a1式	123	65 115
644	10：Ⅲa	深鉢a類	口径：(14.8)　器高：13.6　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR・RLR　他：内面ミガキ	円筒上層a1式	123	65 115
645	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(20.2)　器高：8.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a1式	123	96
646	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：10.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維微量含む	円筒上層a1式	123	96

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
647	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ	円筒上層ａ１式	123	96
648	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり、波頂部直下に穿孔あり、内面ミガキ	円筒上層ａ１式	123	96
649	10：Ⅲa	深鉢ａ類	口径：(29.0)　器高：27.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維やや多く含む	円筒下層ｄ２式	124	60 115
650	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　他：篦状工具による刺突列あり、口唇部に圧痕あり、繊維と小石微量に含む	円筒下層ｄ２式	124	96
651	10：Ⅲa	深鉢ａ類	口径：(11.1)　器高：13.7　底径：－ 口縁：平縁　地文：ナデ　他：内面ミガキ	－	124	96
652	8：Ⅲa 9：Ⅲa 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 11：Ⅲa	深鉢ａ類	口径：(34.5)　器高：29.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・斜位・鋸歯状（縦）　地文：RLR　他：波頂部直下に穿孔あり、口唇部及び口縁部、体部に篦状工具による鋸歯状と渦巻状などのナデ消しあり、口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	異系統土器	124	60 115
653	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：15.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・弧状・Ｃ字状（剥落）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・弧状・Ｃ字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層ｂ式	125	96
654	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状	円筒上層ｂ式	125	96
655	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：13.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：RL（０段多条）　他：小石微量含む	円筒上層ｂ式	125	96
656	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	125	96
657	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：Ｃ字状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり、半截竹管状工具による刺突列あり、内面ミガキ	円筒上層ｂ式	125	96
658	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	125	96
659	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｂ類	口径：(25.6)　器高：38.3　底径：(12.2) 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層ａ２式	125	42 115
660	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｂ類	口径：38.6　器高：32.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層ａ２式	126	60 116
661	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：(26.0)　器高：26.3　底径：－ 口縁：波状（山形（方欠））　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層ａ２式	126	43 116
662	8：Ⅲ-Ⅳa 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：17.5　器高：12.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・鋸歯状（横）　側面圧痕：横位・鋸歯状（横）　地文：LR	円筒上層ａ２式	126	66 116
663	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位・鋸歯状（横）　貼付：環状　側面圧痕：縦位・斜位　地文：RL　他：小石少量含む	円筒上層ａ２式	126	97

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
664	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・鋸歯状（横）・弧状　側面圧痕：縦位　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	126	97
665	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・LR　他：小石微量含む	円筒上層a２式	127	97
666	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.6　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横） 地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a２式	127	97
667	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・斜位・鋸歯状（横）　地文：RL　他：小石微量含む	円筒上層a２式	127	97
668	7：Ⅲ-Ⅳb 8：Ⅲ-Ⅳb・カクラン 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa・Ⅳ	深鉢b類	口径：(43.2)　器高：51.9　底径：17.4 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LRL　他：小石少量含む	円筒上層a１式	127	43 116
669	8：Ⅲa 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(26.9)　器高：27.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位（反対側では横位の間に縦位が施文される）　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層a１式	128	43 116
670	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：20.6　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　貼付：円形・方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状・楕円形・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL（０段多条か））　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	128	97
671	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：14.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石やや多く含む	円筒上層a１式	128	97
672	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.8　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a１式	128	97
673	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a１式	128	97
674	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.3　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：縦位・横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a１式	128	97
675	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：13.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石やや多く含む	円筒上層a１式	129	97
676	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位 他：繊維微量含む	円筒上層a１式	129	97
677	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.8　底径：－ 口縁：波状（M字状？）　隆帯：縦位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文　他：口唇部に貼付あり、小石微量に含む	円筒下層d２式	129	98
678	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：口唇部に圧痕あり、横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ	円筒上層a１式	129	98
679	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(24.2)　器高：24.1　底径：(8.1) 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR 他：繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	129	60
680	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：9.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：繊維微量含む	円筒下層d２式	129	98

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
681	8：Ⅱ 10：Ⅲ-Ⅳa 12：Ⅲa	小型土器	口径：(7.3)　器高：7.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・R　他：繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	129	98
682	10：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	129	98
683	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	129	98
684	10：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位（剥落）　側面圧痕：横位　他：棒状工具による円形刺突列あり、口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層ｄ２式	129	98
685	8：Ⅲ-Ⅳa 10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｂ類	口径：14.4　器高：14.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石少量含む	－	130	66
686	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：20.4　器高：22.6　底径：11.6 口縁：平縁　他：半截竹管状工具による刺突列と平行沈線あり、内面ミガキ	異系統土器	130	43 116
687	11：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：8.1　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第１Ａ類）　他：繊維と小石微量含む	円筒下層ｄ２式	131	98
688	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：鋸歯状？　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層ａ２式	131	98
689	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：15.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・Ｃ字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり	円筒上層ａ１式	131	98
690	11：Ⅲa	深鉢ｂ類	口径：(21.8)　器高：24.7　底径：(8.6) 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（縦）　地文：RLR　他：内面ミガキ	円筒上層ａ１式	131	44 116
691	11：Ⅱ・Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa	深鉢ｂ類	口径：(21.2)　器高：14.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　地文：RL（０段多条）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層ａ１式	131	60 116
692	11：Ⅱ・Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa	深鉢ａ類	口径：(19.9)　器高：26.7　底径：10.0 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL（０段多条）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層ａ１式	131	44
693	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：12.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・楕円形　地文：RL　他：繊維少量含む	円筒上層ａ１式	132	98
694	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維微量含む	円筒上層ａ１式	132	98
695	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、口縁部に貼付あり	円筒上層ａ１式	132	98
696	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：平縁　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒上層ａ１式	132	98
697	11：Ⅱ・Ⅲa	深鉢ｃ類	口径：(25.6)　器高：33.8　底径：9.8 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：撚糸文（単軸絡条体第１類）　他：口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒下層ｄ２式	132	44 116

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
698	11：Ⅱ・Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：23.5　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：結節回転文・RL　他：小石やや多く含む	円筒下層 d２式	132	98
699	11：Ⅲa	深鉢 b類	口径：－　器高：18.5　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：RL（０段多条）　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層 d２式	132	98
700	11：Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：14.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維少量含む、小石微量含む	円筒下層 d２式	133	98
701	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.2　底径：－ 口縁：波状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文　他：内面ミガキ	円筒下層 d２式	133	99
702	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　他：繊維少量含む	円筒下層 d２式	133	99
703	11：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文 他：口唇部に圧痕あり	円筒下層 d２式	133	99
704	12：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維少量含む	円筒下層 d２式	133	99
705	12：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 19：Ⅱ	深鉢 b類	口径：(25.8)　器高：22.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・斜位・弧状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・C字状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層 b式	133	60 116
706	12：Ⅲa	深鉢 b類	口径：(28.0)　器高：16.4　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：結節回転文・結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：小石やや多く含む	円筒上層 b式	133	61 116
707	12：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ	円筒上層 b式	134	99
708	12：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　地文：結節回転文　他：内面ミガキ	円筒上層 b式	134	99
709	12：Ⅲa	深鉢 b類	口径：39.9　器高：42.2　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・U字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・LR）　他：内面ミガキ、繊維少量含む	円筒上層 a１式	134	44 116
710	12：Ⅲa	深鉢 a類	口径：(27.6)　器高：27.7　底径：(11.5) 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR 他：小石少量含む	円筒上層 a１式	134	45 116
711	12：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：繊維と小石少量含む	円筒下層 d２式	135	99
712	12：Ⅲa 13：Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：21.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む	－	135	99
713	12：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：平縁　地文：付加条　他：小石やや多く含む	－	135	99
714	12：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢 a類	口径：27.4　器高：23.5　底径：－ 口縁：小波状　隆帯：横位・C字状・弧状　側面圧痕：縦位・横位・C字状 地文：LR　他：口唇部に連続的な貼付と圧痕あり、小石微量含む	円筒上層 b式	135	61 116

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
715	12：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢a類	口径：(17.4)　器高：19.7　底径：7.2 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・C字状・弧状　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層b式	135	61 116
716	10：Ⅲa 12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢e類	口径：14.4　器高：13.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状・弧状　側面圧痕：縦位・C字状　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層b式	135	66 116
717	12：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(31.4)　器高：20.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a２式	136	61 116
718	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：－　器高：21.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・C字状　貼付：環状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）・弧状・環状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	136	61 116
719	12：Ⅱ・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：(19.6)　器高：18.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	136	61 117
720	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：16.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）・弧状　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石少量含む	円筒上層a２式	136	99
721	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：17.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・X字状　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a２式	136	99
722	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：16.3　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・斜位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・弧状　地文：LR　他：小石微量含む	円筒上層a２式	137	99
723	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層a２式	137	99
724	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(22.8)　器高：8.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦） 地文：RL　他：波頂部脇の口唇部に圧痕と貼付あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	137	66 117
725	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・弧状　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	137	99
726	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：6.9　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位 地文：結節回転文	円筒上層a１式	137	99
727	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	137	100
728	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	137	100
729	12：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢f類	口径：(24.2)　器高：25.0　底径：(11.8) 口縁：波状（台形）　地文：LR　他：波頂部に凹みあり　内面煤付着、小石少量含む	円筒上層a式	138	45
730	10：Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 12：Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢b類	口径：23.1　器高：24.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒下層d２式	138	62 117
731	12：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：(12.9)　器高：5.0　底径：－ 口縁：波状（山形）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	138	100

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
732	12:Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：7.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒上層ａ１式	138	100
733	12:Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　他：棒状工具による刺突列あり、口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒下層ｄ２式	138	100
734	12:Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：19.3　器高：20.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：内面ミガキ	－	138	62
735	13:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：9.7　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：L	円筒下層ｄ２式	139	100
736	13:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒上層ａ１式	139	100
737	13:Ⅲa	深鉢ａ類	口径：－　器高：17.9　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR（０段多条）　他：小石多く含む	円筒上層ａ１式	139	100
738	13:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.7　底径：－ 隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RL　他：内面ミガキ	円筒上層ａ１式	139	100
739	13:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	139	100
740	13:Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、繊維少量含む	円筒下層ｄ２式	139	100
741	13:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：6.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：結節回転文　他：繊維と小石少量含む	円筒下層ｄ２式	139	100
742	16:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：8.4　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：横位・Ｃ字状　貼付：環状（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	140	100
743	16:Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：(23.1)　器高：23.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位・横位　貼付：円形（正面は剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　地文：RLR　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	140	45 117
744	16:Ⅱ・Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ	口径：14.6（短）・23.3（長）　器高：7.5　底径：10.5（短）・17.6（長） 口縁：平縁　隆帯：横位　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層ａ２式	140	66
745	16:Ⅱ～Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・矢羽根状　他：小石少量含む	円筒上層ａ２式	140	100
746	16:Ⅲa 20:Ⅱ	深鉢ａ類	口径：(28.1)　器高：16.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位・斜位・弧状・鋸歯状（横）　側面圧痕：縦位・横位・斜位・弧状・Ｃ字状・鋸歯状（横）　地文：結節回転文・結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層ｂ式	140	100
747	16:Ⅲa 20:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・Ｃ字状　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	141	100
748	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.2　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：内面ミガキ	円筒上層ｂ式	141	100

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
749	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・C字状　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒上層b式	141	100
750	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位（剥落）・C字状　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層b式	141	100
751	16:Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.0　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・弧状・C字状　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層b式	141	100
752	16:Ⅲa	深鉢a類	口径：(27.6)　器高：26.1　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横） 地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層a2式	141	62 117
753	16:Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：RL　他：小石少量含む	円筒上層a2式	141	100
754	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：鋸歯状（横）・弧状　側面圧痕：縦位・弧状・鋸歯状（横） 地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ	円筒上層a2式	141	101
755	16:Ⅲa	深鉢b類	口径：(16.2)　器高：10.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　地文：結束第1種羽状縄文（LR・RL）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a2式	141	101
756	16:Ⅲa	深鉢b類	口径：(15.6)　器高：9.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a1式	142	101
757	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.6　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a1式	142	101
758	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：波状（棒状）　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：小石微量含む	円筒上層a1式	142	101
759	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：3.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：横位・楕円形　他：内面ミガキ	円筒上層a式	142	101
760	16:Ⅲa	深鉢b類	口径：28.7　器高：41.9　底径：(15.0) 口縁：波状（山形（片欠））　貼付：円形　側面圧痕：横位・渦巻状　地文：LR 他：波頂部の口唇部に圧痕あり、半截竹管状工具による刺突列あり、繊維と小石微量含む	円筒下層d2式	142	45 117
761	16:Ⅲa	深鉢b類	口径：－　器高：20.9　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：棒状工具による円形刺突列あり、波頂部に貼付と圧痕あり、繊維少量含む	円筒下層d2式	142	101
762	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：木目状撚糸文（単軸絡条体第1A類）　他：口唇部に圧痕あり、篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石少量含む	円筒下層d2式	142	101
763	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、繊維と小石微量含む	円筒下層d2式	142	101
764	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：10.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：半截竹管状工具による沈線あり、繊維と小石やや多く含む	円筒下層d2式	142	101
765	16:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：3.7　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：棒状工具による円形刺突列あり	円筒下層d2式	142	101

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
766	16：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：3.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　他：竹管状工具による円形刺突列あり、繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	142	101
767	16：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層ｄ２式	142	101
768	16：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　他：繊維と小石微量含む	円筒下層ｄ２式	142	101
769	16：Ⅱ～Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：11.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位（剥落）・横位　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　地文：RLR　他：小石少量含む	円筒上層ｂ式	143	101
770	16：Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ｂ類	口径：－　器高：22.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位・Ｕ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　地文：RRL ？・結束第１種羽状縄文（RL・LR）　他：小石少量含む	円筒上層ａ２式	143	101
771	16：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）	円筒上層ａ２式	143	101
772	16：Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 隆帯：横位　側面圧痕：横位・鋸歯状（横）	円筒上層ａ２式	143	101
773	16：Ⅱ・Ⅱ～Ⅲa・Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa 17：Ⅲa	深鉢ｂ類	口径：45.0　器高：40.2　底径：－ 口縁：波状（Ｍ字状）　地文：LR（０段多条）　他：小石やや多く含む	円筒上層ａ式	143	62
774	16：Ⅱ～Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢ａ類	口径：(14.8)　器高：20.8　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：横位・斜位　貼付：円形　側面圧痕：横位・斜位・渦巻状 地文：LR　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、小石少量含む	円筒上層ａ１式	143	101
775	17：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・Ｃ字状　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・弧状・Ｘ字状・楕円形　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層ａ２式	144	102
776	17：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：－ 口縁：波状　隆帯：Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、繊維少量含む	円筒上層ａ１式	144	102
777	17：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.6　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層ａ１式	144	102
778	19：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒上層ａ１式	144	102
779	19：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：小石微量含む	円筒上層ａ１式	144	102
780	19：Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：小石少量含む	円筒下層ｄ２式	144	102
781	19：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒下層ｄ２式	144	102
782	19：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR（０段多条）　他：口唇部に圧痕あり、小石やや多く含む	－	144	102

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
783	19：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状・弧状　側面圧痕：縦位・C字状　地文：RL 他：内面ミガキ	円筒上層b式	144	102
784	19：Ⅱ・Ⅲa	深鉢b類	口径：－　器高：19.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RLR　他：篦状工具による刺突列あり、繊維と小石やや多く含む	円筒上層a１式	144	102
785	19：Ⅲa 20：Ⅱ・Ⅲa	深鉢b類	口径：(36.4)　器高：44.2　底径：11.9 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結束第１種羽状縄文（LR・RL）　他：内面ミガキ	円筒上層a１式	145	46 117
786	20：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・鋸歯状（横）　他：隆帯は１条剥落、内面ミガキ	円筒上層a２式	145	102
787	20：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	145	102
788	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位・C字状　他：内面ミガキ	円筒上層b式	145	102
789	21：Ⅱ	深鉢a類	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・鋸歯状（横？）	円筒上層a２式	145	102
790	21：Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RL（０段多条）　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	145	102
791	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：16.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：結節回転文・LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒上層a１式	145	102
792	21：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲa 22：Ⅲa	深鉢b類	口径：(43.6)　器高：52.8　底径：19.7 口縁：波状（台形？）　側面圧痕：横位・斜位　地文：LR　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	146	46 117
793	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状？　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：口唇部に圧痕と貼付あり、小石少量含む	円筒上層a１式	146	102
794	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維少量含む	円筒上層a１式	146	102
795	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：3.8　底径：－ 口縁：波状　貼付：円形　側面圧痕：横位・環状　地文：LR　他：貼付に棒状工具による刺突列あり、繊維微量含む	円筒下層d２式	146	102
796	21：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：7.8　底径：－ 口縁：平縁　地文：RLR　他：内面ミガキ、繊維と小石微量含む	－	146	102
797	21：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：14.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	147	102
798	21：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：RLR　他：小石微量含む	円筒上層a１式	147	102
799	21：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　他：穿孔あり、繊維微量含む	円筒上層a１式	147	103

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
800	21：Ⅱ・Ⅲa	深鉢 b類	口径：(20.8)　器高：21.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり	円筒上層 a式	147	62
801	21：Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.1　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：内面ミガキ	円筒下層 d２式	147	103
802	21：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位・斜位　他：篦状工具による刺突列あり	円筒下層 d２式	147	103
803	22：Ⅰ・Ⅱ	深鉢 d類	口径：(15.4)　器高：10.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・斜位　地文：LR（０段多条）　他：小石少量含む	円筒上層 a２式	148	103
804	22：Ⅱ	深鉢 d類	口径：－　器高：4.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：斜位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・斜位　他：小石少量含む、803と同一個体	円筒上層 a２式	148	103
805	21：Ⅲb 22：Ⅱ・Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢 a類	口径：(30.0)　器高：35.8　底径：11.2 口縁：波状（山形）　隆帯：U字状　貼付：環状（内外面）・方形　側面圧痕：縦位・横位・環状　地文：結節回転文・LR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり、内面ミガキ	円筒上層 a１式	148	46 117
806	22：Ⅱ・Ⅲa	深鉢 b類	口径：(25.0)　器高：28.8　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL　他：小石微量含む	円筒上層 a１式	148	46 117
807	22：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 隆帯：横位　貼付：環状　側面圧痕：横位・斜位？・環状　他：内面ミガキ	円筒上層 a式	148	103
808	22：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：3.2　底径：－ 口縁：平縁　地文：半截竹管状工具による沈線	円筒上層 a式	148	103
809	22：Ⅱ～Ⅲa 23：Ⅲa～Ⅲb・Ⅲb	深鉢 b類	口径：(26.1)　器高：(28.8)　底径：(12.0) 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層 a１式	149	62 117
810	22：Ⅱ～Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　側面圧痕：縦位・横位・斜位	円筒下層 d２式	149	103
811	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒上層 a２式	149	103
812	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.4　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒上層 a１式	149	103
813	22：Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：(24.8)　器高：12.9　底径：－ 口縁：波状（台形）　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：小石少量含む	円筒上層 a１式	149	103
814	22：Ⅲa・Ⅲa～Ⅲb 23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：27.0　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：小石やや多く含む	円筒上層 a１式	149	103
815	22：Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：28.7　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位 地文：結節回転文・RL　他：小石やや多く含む	円筒上層 a１式	150	103
816	22：Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：斜位・弧状　側面圧痕：縦位・横位・弧状・C字状 他：小石やや多く含む	円筒上層 a式	150	103

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
817	22：Ⅲa	深鉢 a類	口径：(24.1)　器高：29.4　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：小石微量含む	円筒下層 d２式	150	47 117
818	22：Ⅱ・Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢 a類	口径：22.0　器高：21.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：繊維少量含む、小石微量含む	円筒下層 d２式	150	63 117
819	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、小石微量含む	円筒下層 d２式	150	103
820	22：Ⅰ・Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR（０段多条）　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層 d２式	150	103
821	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.5　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位　側面圧痕：横位　地文：RL　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ	円筒下層 d２式	150	103
822	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　他：繊維少量含む	円筒下層 d２式	150	103
823	22：Ⅱ・Ⅲa	深鉢 a類	口径：28.6　器高：38.2　底径：12.2 口縁：平縁　地文：LR　他：穿孔あり、内面ミガキ	－	151	47
824	22：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位　地文：RL　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石少量含む	－	151	103
825	22：Ⅲa・Ⅲa～Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：12.2　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：横位側面圧痕は単軸絡条体によるもの、小石やや多く含む	円筒上層 a１式	151	103
826	22：Ⅲa・Ⅲa～Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：波状（棒状？）　隆帯：Ｃ字状　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・Ｃ字状　他：側面圧痕は単軸絡条体によるもの、繊維微量含む	円筒上層 a１式	151	104
827	22：Ⅲa～Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：11.7　底径：－ 隆帯：横位　側面圧痕：横位　地文：RLR　他：小石少量含む	円筒下層 d２式	151	104
828	23：Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒下層 d２式	152	104
829	23：Ⅱ・Ⅲa～Ⅲb・Ⅲb	小型 土器	口径：(10.4)　器高：7.4　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石少量含む	－	152	104
830	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：13.7　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））・渦巻状　地文：結束第１種羽状縄文（RL・？）　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a２式	152	104
831	22：Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：11.3　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に刻みと圧痕あり、繊維と小石微量含む	円筒上層 a１式	152	104
832	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.2　底径：－ 口縁：平縁？　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維微量含む、小石少量含む	円筒上層 a１式	152	104
833	22：Ⅱ～Ⅲa 23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.0　底径：－ 口縁：波状（山形（片欠））　隆帯：横位・Ｃ字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、繊維と小石少量含む	円筒上層 a１式	152	104

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
834	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.6　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・斜位　他：小石少量含む	円筒上層a１式	152	104
835	23：Ⅲa 24：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ、繊維やや多く含む	円筒上層a１式	152	104
836	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：9.3　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位・横位　側面圧痕：縦位・横位・斜位　地文：RLR　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層a１式	152	104
837	23：Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位・楕円形　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a１式	153	104
838	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.8　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：鋸歯状（縦）　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（縦） 地文：LR　他：波頂部脇の口唇部に貼付あり	円筒上層a１式	153	104
839	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・C字状　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒下層d２式	153	104
840	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位	円筒下層d２式	153	104
841	23：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：10.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	153	104
842	23：Ⅲa	深鉢b類	口径：(18.0)　器高：14.1　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維微量含む、小石やや多く含む	－	153	66
843	23：Ⅲa～Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒下層d２式	153	104
844	23：Ⅲa～Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：6.1　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：横位　地文：LR　他：内面ミガキ、繊維と小石微量含む	円筒下層d２式	153	104
845	22：Ⅱ～Ⅲa 23：Ⅲa～Ⅲb・Ⅲb	深鉢b類	口径：16.7　器高：19.9　底径：7.0 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位・横位　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・斜位・渦巻状　地文：結節回転文・RLR　他：波頂部の口唇部に圧痕あり、円形貼付に渦巻状圧痕あり、小石微量含む	円筒上層a１式	153	63 117
846	23：Ⅲb	深鉢a類	口径：(15.0)　器高：14.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に圧痕あり	円筒下層d２式	153	104
847	23：Ⅲb	深鉢	口径：－　器高：7.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：横位　地文：RL	円筒下層d２式	153	104
848	24：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.0　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：横位・弧状　側面圧痕：縦位・弧状	円筒上層b式	154	105
849	24：Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 口縁：波状　隆帯：斜位　側面圧痕：縦位・横位・斜位・C字状　他：内面ミガキ	円筒上層b式	154	105
850	24：Ⅲa	深鉢b類	口径：－　器高：25.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））　地文：結節回転文・RL　他：小石少量含む	円筒上層a２式	154	105

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
851	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状　側面圧痕：縦位・横位・鋸歯状（横）　他：内面ミガキ	円筒上層a２式	154	105
852	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：C字状　側面圧痕：縦位・横位・斜位（鋸歯状（横））・弧状　他：小石微量含む	円筒上層a２式	154	105
853	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.5　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：斜位（鋸歯状（横））　他：内面ミガキ、繊維微量含む	円筒上層a２式	154	105
854	24:Ⅲa	深鉢b類	口径：(20.5)　器高：8.8　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：繊維と小石少量含む	円筒上層a１式	154	66 117
855	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.9　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位	円筒上層a１式	154	105
856	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：12.9　底径：－ 口縁：波状（山形）　隆帯：縦位・横位・C字状　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部脇に貼付あり、小石微量含む	円筒上層a１式	154	105
857	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：波頂部に複数の穿孔あり、側面圧痕は単軸絡条体によるもの、小石やや多く含む	円筒上層a１式	154	105
858	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：縦位・横位　地文：結節回転文・RL　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	154	105
859	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：7.4　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　貼付：方形　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ	円筒上層a１式	154	105
860	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.3　底径：－ 口縁：波状　隆帯：斜位（剥落）　側面圧痕：縦位・横位・斜位　他：内面ミガキ、小石少量含む	円筒上層a１式	155	105
861	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：3.3　底径：－ 口縁：波状（台形）　貼付：橋状　側面圧痕：縦位・横位・斜位	円筒上層a式	155	105
862	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.4　底径：－ 口縁：平縁　貼付：円形　側面圧痕：縦位・横位・渦巻状　他：内面ミガキ、小石微量含む	円筒下層d２式	155	105
863	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：8.5　底径：－ 口縁：台形？　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：小石微量含む	円筒下層d２式	155	105
864	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：平縁　貼付：方形　側面圧痕：横位　他：棒状工具による刺突列あり、小石少量含む	円筒下層d２式	155	105
865	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：4.6　底径：－ 口縁：平縁　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　他：内面ミガキ	円筒下層d２式	155	105
866	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.7　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：半截竹管状工具による沈線あり	円筒下層d２式	155	105
867	24:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：5.6　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：撚糸文（単軸絡条体第１類）　他：小石微量含む	円筒下層d２式	155	105

掲載No	出土位置・層位	器種分類	所見 法量（cm）	型式	遺物図版	写真図版
868	24:Ⅲa	深鉢 b類	口径：－　器高：20.8　底径：－ 口縁：波状　隆帯：横位　地文：RL　他：内面ミガキ、繊維微量含む	－	155	105
869	25:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：3.8　底径：－ 隆帯：横位・鋸歯状（縦）　側面圧痕：横位・C字状・鋸歯状（縦）	円筒上層 b式	155	105
870	24:Ⅲa 25:Ⅲa	深鉢 a類	口径：－　器高：22.1　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：縦位　側面圧痕：縦位・横位　地文：LR　他：口唇部に貼付と圧痕あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	155	106
871	25:Ⅲa	深鉢	口径：－　器高：6.0　底径：－ 口縁：波状（M字状）　隆帯：弧状　側面圧痕：横位・弧状　他：篦状工具による刺突列あり、内面ミガキ、小石微量含む	円筒上層 a１式	155	106
872	19:Ⅲa 20:Ⅱ・Ⅲa	深鉢	口径：(26.6)　器高：21.4　底径：－ 口縁：平縁　地文：網目状撚糸文（単軸絡条体第５類）　他：穿孔あり、小石やや多く含む	後期	156	63
873	10:Ⅲa・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：10.8　底径：－ 隆帯：横位　貼付：方形　地文：RL　他：隆帯上に横位沈線あり、小石少量含む	後期	156	106
874	10:Ⅱ・Ⅲ-Ⅳa	深鉢	口径：－　器高：4.0　底径：－ 口縁：平縁　地文：LR　他：小石少量含む	後期	156	106
875	20:Ⅱ	深鉢	口径：－　器高：6.3　底径：－ 口縁：平縁　側面圧痕：横位　地文：LR　他：小石やや多く含む	後期	156	106
876	16:Ⅲa	鉢	口径：－　器高：4.9　底径：－ 口縁：平縁　他：沈線による方形区画文、小石やや多く含む	後期	156	106
877	6：Ⅱ・Ⅲa	鉢	口径：－　器高：5.3　底径：－ 他：沈線による方形区画文、小石やや多く含む	後期	156	106
878	16:Ⅲa	鉢	口径：－　器高：4.7　底径：－ 地文：LR　他：沈線による方形区画文	後期	156	106

第 16 表　小型土器、円盤状土製品、土偶、土製品観察表

掲載No	出土位置・層位	器種	所見 法量（cm）	遺物図版	写真図版
879	10：Ⅲa	小型土器 深鉢	口径：11.5　器高：9.1　底径：7.0 口縁：平縁、他：外面ナデ、小石微量含む	157	118
880	23：Ⅲb	小型土器 深鉢	口径：－　器高：7.7　底径：－ 地文：LR	157	118
881	4：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 深鉢	口径：7.7　器高：6.5　底径：4.2 他：外面ナデ、小石微量含む	157	118
882	7：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 深鉢	口径：(5.7)　器高：6.0　底径：2.9 他：棒状工具による沈線、小石微量含む	157	118
883	1：Ⅲ-Ⅳb⑥	小型土器 深鉢	口径：－　器高：5.5　底径：3.8 他：棒状工具による沈線	157	118
884	Ⅰ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：－ 側面圧痕：横位　地文：R	157	118
885	1：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 深鉢	口径：－　器高：3.8　底径：－ 口縁：平縁、他：外面ナデ、小石少量含む	157	118
886	24：Ⅲa	小型土器 深鉢	口径：－　器高：2.2　底径：－ 口縁：平縁、側面圧痕：縦位・横位	157	118
887	23：Ⅱ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：1.8　底径：－ 他：内外面に半截竹管状工具による平行沈線と渦巻状の押引沈線文	157	118
888	10：Ⅲ-Ⅳa	小型土器 鉢	口径：－　器高：3.3　底径：2.5 他：外面ナデ、小石やや多く含む	157	118
889	1：Ⅲ-Ⅳb 2：Ⅱ・Ⅲ-Ⅳc	小型土器 鉢	口径：7.4　器高：4.6　底径：2.6 口縁：平縁、他：外面ナデ、小石やや多く含む	157	118
890	10：Ⅲ-Ⅳa	小型土器 深鉢	口径：(4.7)　器高：5.3　底径：1.9 口縁：平縁、他：外面ナデ	157	118
891	調査区：Ⅰ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：5.1　底径：2.7 他：外面ナデ	157	118
892	1：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 鉢	口径：－　器高：2.8　底径：(3.7) 地文：LR	157	118
893	23：Ⅱ	小型土器 鉢	口径：－　器高：2.7　底径：－ 他：外面には半截竹管状工具による平行沈線	158	118
894	1：Ⅰ	小型土器 鉢	口径：－　器高：2.8　底径：－ 口縁：平縁、地文：LR	158	118
895	1：Ⅲ-Ⅳa	小型土器 鉢	口径：－　器高：2.4　底径：3.9 他：外面ナデ、小石少量含む	158	118
896	22：Ⅱ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：3.0　底径：－ 他：外面ナデ、小石少量含む	158	118
897	22：Ⅱ～Ⅲa	小型土器 鉢	口径：－　器高：2.4　底径：3.7 他：外面ナデ、繊維と小石少量含む	158	118
898	23：Ⅱ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：1.7　底径：3.8 他：外面に棒状工具による沈線	158	118
899	21：Ⅱ	小型土器 深鉢	口径：－　器高：2.5　底径：2.0 地文：LR	158	118

掲載No	出土位置・層位	器種	所見 法量（cm）	遺物図版	写真図版
900	23：Ⅲa	小型土器 深鉢	口径：－　器高：1.8　底径：3.6 地文：LR	158	118
901	調査区：Ⅰ	小型土器 鉢	口径：－　器高：1.6　底径：(3.6) 地文：ナデ	158	118
902	1：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 深鉢	口径：－　器高：1.8　底径：2.8 他：外面ナデ、小石微量含む	158	118
903	1：Ⅲ-Ⅳb	小型土器 深鉢	口径：－　器高：2.0　底径：(4.0) 他：外面ナデ、小石少量含む	158	118
904	1：Ⅲ-Ⅳb	円盤状土製品	長さ：3.1　幅：3.5　厚さ：1.0 外面：無文？、小石少量含む	158	118
905	1：Ⅱ	円盤状土製品	長さ：3.9　幅：4.5　厚さ：0.8 外面：結束第１種羽状縄文（LR、RL）	158	118
906	1：Ⅲ-Ⅳa	円盤状土製品	長さ：3.5　幅：4.0　厚さ：0.8 外面：LR	158	118
907	1：Ⅲ-Ⅳb	円盤状土製品	長さ：4.3　幅：3.9　厚さ：1.0 外面：単軸絡条体	158	118
908	8：Ⅲ-Ⅳa	円盤状土製品	長さ：3.4　幅：4.3　厚さ：0.7 外面：結束第１種羽状縄文（LR・RL）	158	118
909	5：Ⅲ-Ⅳa	円盤状土製品	長さ：2.6　幅：4.2　厚さ：1.1 外面：結束第１種羽状縄文（LR・RL）	158	118
910	8：Ⅲa	円盤状土製品	長さ：1.4　幅：2.3　厚さ：0.7 外面：RL ？	158	118
911	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳa	土偶 略完形	長さ：11.5　幅：7.3　厚さ：1.2 表・裏・側面：棒状工具による沈線 乳房・腹部の膨らみあり	159	119
912	23：Ⅲa	土偶 腹部	長さ：6.4　幅：4.4　厚さ：2.2 表・裏面：棒状・半截竹管状工具による沈線 乳房の膨らみあり	159	119
913	1：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腕～腹部	長さ：5.0　幅：3.3　厚さ：1.8 表・裏面：棒状工具による沈線 乳房の膨らみあり	159	119
914	21：Ⅱ	土偶 腕～脚部	長さ：9.0　幅：7.1　厚さ：1.0 表面：棒状工具による沈線 乳房剥落、腹部の凹みあり	160	119
915	1：Ⅲa	土偶 腹部	長さ：5.6　幅：7.0　厚さ：1.5 表・裏面：棒状工具による沈線、穿孔あり	160	119
916	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腹部	長さ：4.7　幅：4.5　厚さ：1.5 表・裏面：棒状・半截竹管状工具による沈線	160	119
917	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腹部	長さ：3.8　幅：3.6　厚さ：1.1 表・裏面：棒状工具による沈線	160	119
918	4：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腕部（左）	長さ：3.8　幅：3.5　厚さ：1.2 表面：棒状工具による沈線	160	119
919	21：Ⅱ	土偶 腕部（左）	長さ：5.0　幅：7.0　厚さ：1.6 表・裏面：縄文圧痕　920 と同一個体	161	119
920	22：Ⅱ	土偶 腕～脚部	長さ：8.0　幅：8.1　厚さ：1.5 表・裏面：縄文圧痕　919 と同一個体	161	119

掲載No	出土位置・層位	器種	所見 法量（cm）	遺物図版	写真図版
921	24：Ⅲa	土偶 腕部（右）	長さ：6.5　幅：5.8　厚さ：1.8 表・裏・側面：棒状・半截竹管状工具による沈線	161	119
922	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腕部（右）	長さ：3.1　幅：3.4　厚さ：1.0 表・裏・側面：棒状・半截竹管状工具による沈線	161	119
923	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腕部（右）	長さ：4.8　幅：6.5　厚さ：1.7 表面：棒状工具による沈線　924・925と同一個体	162	120
924	1：Ⅲa	土偶 腕部（左）	長さ：3.7　幅：2.6　厚さ：1.2 表面：棒状工具による沈線　923・925と同一個体	162	120
925	1：Ⅲa	土偶 腹部	長さ：2.5　幅：2.7　厚さ：1.3 表面：棒状工具による沈線　923・924と同一個体	162	120
926	1：Ⅲa	土偶 腕部（右）	長さ：2.5　幅：2.4　厚さ：0.9 表・裏・側面：棒状工具による沈線	162	120
927	1：Ⅲ-Ⅳb 4：Ⅲ-Ⅳb	土偶 頭～腕部	長さ：4.4　幅：3.8　厚さ：1.2 表面：棒状工具による沈線	162	120
928	4：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腕部（右）	長さ：4.2　幅：3.6　厚さ：1.1 表・裏面：棒状工具による沈線	162	120
929	5：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腕部（右）	長さ：6.2　幅：3.5　厚さ：1.4 表・側面：縄文圧痕、裏面：なし　930と同一個体	163	120
930	1：Ⅲa 8：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腕部（左）	長さ：5.3　幅：7.0　厚さ：1.4 表・側面：縄文圧痕、裏面：なし　929と同一個体	163	120
931	21：Ⅱ	土偶 腕部（右）	長さ：3.3　幅：2.9　厚さ：0.8 表・裏・側面：棒状工具による沈線	163	120
932	4：Ⅲ-Ⅳb	土偶 頭～腕部（左）	長さ：4.1　幅：3.9　厚さ：1.2 表・裏面：模様なし 腹部の凹みあり	163	120
933	4：Ⅲa	土偶 腕部（右）	長さ：3.4　幅：3.1　厚さ：1.2 表面：棒状工具による沈線	163	120
934	4：Ⅲ-Ⅳa	土偶 腹部	長さ：2.8　幅：2.5　厚さ：0.8 表・裏面：棒状工具による沈線	164	120
935	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腹部	長さ：2.8　幅：2.4　厚さ：1.1 表・裏面：棒状工具による沈線　936と同一個体	164	120
936	1：Ⅲ-Ⅳb	土偶 腹部	長さ：2.4　幅：2.2　厚さ：1.0 表・裏面：棒状工具による沈線　935と同一個体	164	120
937	5：Ⅲa	土製品	長さ：4.6　幅：3.2　厚さ：1.3 平面形：隅丸方形　内・外面：模様なし	164	120
938	4：Ⅲ-Ⅳb	土製品	長さ：5.8　幅：3.7　厚さ：1.2 平面形：不整楕円形　外面：刻みあり	164	120
939	2：Ⅲa	土製品	長さ：3.4　幅：4.0　厚さ：1.2 内・外面：模様なし	164	120
940	1：Ⅲ-Ⅳb	土製品	長さ：13.8　幅：8.8　厚さ：1.0 側面：切断面に磨痕あり	165	120

第 17 表　石器観察表

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
941	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰa	47.7	14.6	5.1	3.00	頁岩	166	121
942	8：Ⅱ～Ⅲa	石鏃	Ⅰa	49.9	12.0	8.1	3.30	頁岩	166	121
943	4：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰa	44.9	15.4	6.0	2.60	頁岩	166	121
944	4：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰa	42.8	14.8	8.3	4.42	頁岩	166	121
945	1：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰa	47.2	15.9	8.4	5.58	頁岩	166	121
946	24：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	44.9	14.6	7.4	3.50	頁岩	166	121
947	3：Ⅱ	石鏃	Ⅰa	39.0	13.3	7.5	3.80	赤色頁岩	166	121
948	1：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	43.5	14.7	7.9	4.48	頁岩	166	121
949	1：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰa	36.8	13.8	6.8	2.81	頁岩	166	121
950	5：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	45.5	14.8	7.7	4.90	頁岩	166	121
951	8：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	40.0	13.7	4.0	2.09	頁岩	166	121
952	5：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	39.7	11.8	6.0	2.40	頁岩	166	121
953	20：Ⅲa	石鏃	Ⅰa	44.2	15.6	10.4	5.84	頁岩	166	121
954	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰa	38.8	13.4	6.2	3.00	頁岩	166	121
955	4：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰb	43.5	16.5	6.1	3.50	頁岩	166	121
956	7：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰb	37.6	15.6	6.3	2.92	頁岩	166	121
957	2：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	38.0	16.5	6.0	4.00	頁岩	166	121
958	4：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰb	34.0	12.6	6.2	2.02	頁岩	166	121
959	1：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	37.1	15.6	6.2	3.39	頁岩	166	122
960	2：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	35.4	14.1	4.3	1.50	頁岩	166	122
961	2：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	37.0	16.4	8.3	4.20	頁岩	167	122
962	4：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	42.2	18.6	8.2	5.27	頁岩	167	122
963	5：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	33.8	14.9	6.2	2.70	頁岩	167	122
964	7：Ⅱ	石鏃	Ⅰb	37.8	16.6	5.6	2.95	頁岩	167	122
965	7：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	39.7	17.4	6.5	4.46	頁岩	167	122
966	10：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	31.8	14.2	6.5	1.70	頁岩	167	122
967	8：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	35.6	15.9	6.8	3.50	頁岩	167	122
968	5：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	33.1	18.1	6.9	3.10	凝灰岩	167	122
969	8：Ⅱ～Ⅲa	石鏃	Ⅰb	36.3	13.8	6.4	2.40	頁岩	167	122
970	1：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰb	36.2	15.1	6.0	2.84	頁岩	167	122
971	3：Ⅲa	石鏃	Ⅰb	33.9	15.6	4.9	2.51	頁岩	167	122
972	1：Ⅲa	石鏃	Ⅰc	32.6	15.4	7.8	2.98	頁岩	167	122
973	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰc	36.4	17.7	4.0	2.00	頁岩	167	122
974	23：Ⅱ	石鏃	Ⅰc	37.0	17.6	5.2	2.60	珪質頁岩	167	122
975	1：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰc	31.5	17.6	7.2	2.38	頁岩	167	122
976	1：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅰc	34.4	17.1	8.2	4.01	赤色頁岩	167	122
977	4：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰc	27.5	16.9	5.8	2.60	頁岩	167	123
978	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅰc	32.2	16.6	4.6	2.40	頁岩	167	123
979	21：Ⅱ	石鏃	Ⅰc	38.5	18.1	8.9	4.68	頁岩	167	123
980	5：Ⅲa	石鏃	Ⅱ	36.9	10.9	6.8	2.50	頁岩	168	123

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
981	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅱ	33.1	16.5	7.3	3.00	頁岩	168	123
982	1：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅲa	37.9	15.7	5.5	2.63	頁岩	168	123
983	5：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅲb	24.6	14.9	4.3	0.90	流紋岩	168	123
984	8：Ⅱ～Ⅲa	石鏃	Ⅲb	26.8	17.7	5.2	1.70	頁岩	168	123
985	8：Ⅱ～Ⅲa	石鏃	Ⅲb	21.8	12.9	4.2	0.70	頁岩	168	123
986	7：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅲb	22.8	15.2	3.4	1.14	頁岩	168	123
987	10：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅲb	22.1	19.7	3.1	1.00	頁岩	168	123
988	7：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅲb	21.8	16.1	2.5	0.88	頁岩	168	123
989	7：Ⅲ-Ⅳb	石鏃	Ⅲb	22.1	16.6	5.2	1.17	頁岩	168	123
990	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅲb	19.8	15.1	3.6	0.60	流紋岩	168	123
991	6：Ⅲa	石鏃	Ⅳ	34.5	17.4	4.7	2.55	頁岩	168	123
992	1：Ⅲa	石鏃	Ⅳ	26.5	12.4	4.5	1.32	頁岩	168	123
993	4：Ⅱ	石鏃	Ⅴ	51.6	25.3	9.7	13.44	頁岩	168	123
994	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅴ	43.3	19.6	7.8	6.80	頁岩	168	123
995	5：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅴ	37.2	21.7	8.0	5.20	頁岩	168	123
996	8：Ⅲa	石鏃	Ⅴ	39.9	16.9	8.9	4.80	頁岩	169	123
997	4：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅴ	38.2	23.1	9.7	7.75	頁岩	169	123
998	8：Ⅲ-Ⅳa	石鏃	Ⅴ	45.2	19.8	13.8	8.59	頁岩	169	124
999	7：Ⅲa	石鏃	Ⅴ	31.2	16.8	8.4	4.16	頁岩	169	124
1000	8：Ⅱ	石鏃	Ⅴ	35.8	14.7	4.8	2.70	頁岩	169	124
1001	22：Ⅲb	尖頭器	－	128.5	33.4	14.8	67.30	頁岩	169	124
1002	22：Ⅲa	尖頭器	－	89.2	34.7	13.2	37.20	頁岩	169	124
1003	4：Ⅲ-Ⅳb	尖頭器	－	76.0	32.5	12.0	31.58	頁岩	170	124
1004	5：Ⅲ-Ⅳa	尖頭器	－	71.2	24.4	11.6	18.40	頁岩	170	124
1005	1：Ⅲ-Ⅳa	尖頭器	－	36.8	17.8	8.6	6.25	頁岩	170	124
1006	8：Ⅲ-Ⅳa	尖頭器	－	51.0	31.4	13.2	23.90	頁岩	170	125
1007	2：Ⅲ-Ⅳb	尖頭器	－	24.9	27.2	9.2	5.70	頁岩	170	125
1008	4：Ⅲ-Ⅳb	尖頭器	－	25.2	20.3	10.6	5.70	頁岩	170	125
1009	8：Ⅲ-Ⅳa	尖頭器	－	108.0	46.7	19.1	94.20	ホルンフェルス	170	125
1010	10：Ⅲ-Ⅳa	尖頭器	－	51.6	26.4	13.7	15.90	頁岩	170	125
1011	25：Ⅲa	石篦	－	49.1	25.3	12.1	18.00	頁岩	171	125
1012	1：Ⅲ-Ⅳb	石篦	－	50.1	24.4	13.4	16.21	頁岩	171	125
1013	12：Ⅲa	石篦	－	44.5	20.4	13.0	10.10	玉随	171	125
1014	1：Ⅲ-Ⅳb	石篦	－	53.6	27.9	18.2	27.44	赤色頁岩	171	125
1015	4：Ⅲa	石篦	－	36.2	22.8	13.1	10.12	頁岩	171	125
1016	24：Ⅲa	石篦	－	32.4	21.4	12.9	9.01	玉随	171	125
1017	1：Ⅲa	石篦	－	46.0	23.4	13.9	17.74	チャート	171	125
1018	5：Ⅲ-Ⅳa	石篦	－	40.9	19.8	12.6	10.40	頁岩	171	126
1019	4：Ⅲ-Ⅳb	石匙	Ⅰ	62.5	22.1	7.9	11.25	流紋岩	172	126
1020	4：Ⅲ-Ⅳb	石匙	Ⅱ	33.4	33.1	7.3	6.77	頁岩	172	126

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1021	10：Ⅲ-Ⅳa	石匙	Ⅲ	22.2	27.1	3.2	1.40	頁岩	172	126
1022	8：Ⅲ-Ⅳa	石匙	－	67.3	27.6	10.6	19.10	頁岩	172	126
1023	11：Ⅱ	不定形石器	Ⅰ	69.8	63.6	17.5	81.12	頁岩	172	126
1024	1：Ⅲa	不定形石器	Ⅰ	48.4	16.6	16.4	10.78	頁岩	172	126
1025	7：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅰ	47.0	26.2	16.4	14.38	頁岩	173	126
1026	17：Ⅲa	不定形石器	Ⅰ	44.1	24.6	10.3	10.21	頁岩	173	126
1027	10：Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	60.3	45.1	12.3	33.30	頁岩	173	126
1028	10：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅱ	41.9	36.7	10.2	12.40	頁岩	173	126
1029	8：Ⅱ～Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	61.1	38.7	25.5	73.90	頁岩	173	126
1030	4：Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	42.5	32.2	10.8	13.50	チャート	173	126
1031	1：Ⅲ-Ⅳb	不定形石器	Ⅱ	22.6	33.5	8.0	5.49	頁岩	173	127
1032	8：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅱ	38.8	45.0	10.7	22.27	赤色頁岩	173	127
1033	1：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅱ	46.5	23.6	9.1	9.19	頁岩	174	127
1034	4：Ⅲ-Ⅳb	不定形石器	Ⅱ	44.5	19.4	8.7	6.20	頁岩	174	127
1035	8：Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	27.6	37.6	9.3	9.90	頁岩	174	127
1036	12：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅱ	31.6	43.9	11.4	19.80	頁岩	174	127
1037	24：Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	37.2	40.9	10.5	13.40	頁岩	174	127
1038	8：Ⅲa	不定形石器	Ⅱ	31.6	30.1	8.6	10.20	頁岩	174	127
1039	調査区：Ⅲ-Ⅳa	不定形石器	Ⅱ	35.5	15.5	5.3	2.07	頁岩	174	127
1040	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	31.4	34.5	24.6	26.00	赤色頁岩	174	127
1041	24：Ⅲa	楔形石器	Ⅰ	35.9	19.0	12.3	9.30	頁岩	174	127
1042	5：Ⅲa	楔形石器	Ⅱ	34.3	36.1	13.8	14.70	頁岩	174	127
1043	5：Ⅲ-Ⅳa	楔形石器	Ⅱ	27.1	24.4	10.8	6.70	頁岩	174	127
1044	23：Ⅲa～Ⅲb	楔形石器	Ⅰ	30.6	42.6	12.6	16.70	頁岩	175	127
1045	10：Ⅲa	楔形石器	Ⅱ	21.2	25.1	8.8	3.80	珪質頁岩	175	127
1046	1：Ⅲ-Ⅳa	楔形石器	Ⅰ	29.7	39.1	10.8	10.02	頁岩	175	127
1047	1：Ⅲ-Ⅳa	楔形石器	Ⅰ	26.1	32.7	13.4	12.45	頁岩	175	128
1048	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	35.6	29.8	18.4	22.94	頁岩	175	128
1049	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅱ	27.3	27.9	8.8	8.01	チャート	175	128
1050	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	27.6	29.8	13.8	13.22	頁岩	175	128
1051	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅱ	27.6	26.8	15.6	13.12	頁岩	175	128
1052	7：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅱ	35.5	28.9	16.9	14.04	頁岩	175	128
1053	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	25.4	35.0	13.2	13.46	珪質頁岩	175	128
1054	23：Ⅲa	楔形石器	Ⅰ	56.6	42.1	12.3	42.10	頁岩	176	128
1055	1：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	48.1	41.5	17.5	33.15	頁岩	176	128
1056	1：Ⅲ-Ⅳa	楔形石器	Ⅰ	31.2	25.1	15.7	12.81	玉随	176	128
1057	4：Ⅲ-Ⅳa	楔形石器	Ⅱ	23.8	32.1	8.0	6.75	チャート	176	128
1058	4：Ⅲ-Ⅳb	楔形石器	Ⅰ	26.8	15.7	9.6	3.66	珪質頁岩	176	128
1059	23：Ⅲb	楔形石器	Ⅰ	42.9	44.1	13.6	25.80	チャート	176	128
1060	16：Ⅲa	楔形石器	Ⅱ	29.2	23.7	11.3	7.30	頁岩	176	128

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1061	17：Ⅲa	楔形石器	Ⅰ	29.6	25.8	13.6	14.02	頁岩	176	128
1062	1：Ⅲa	楔形石器	Ⅱ	30.1	21.1	8.7	6.67	頁岩	176	128
1063	22：Ⅲa	石核	－	54.0	81.0	38.5	161.30	チャート	177	129
1064	1：Ⅲ-Ⅳb	石核	－	39.6	32.9	25.4	33.10	頁岩	177	128
1065	1：Ⅲ-Ⅳb	石核	－	40.5	40.1	20.4	36.62	頁岩	177	129
1066	1：Ⅲ-Ⅳb	石核	－	35.5	62.9	22.2	54.24	頁岩	177	129
1067	2：Ⅲ-Ⅳa	石核	－	61.4	52.9	40.8	181.50	頁岩	178	129
1068	7：Ⅲ-Ⅳa	石核	－	30.2	50.0	18.6	26.26	頁岩	178	129
1069	1：Ⅲ-Ⅳa	石核	－	60.9	54.2	30.7	84.98	ホルンフェルス	178	129
1070	2：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	1段階	166.8	78.1	41.1	619.90	ホルンフェルス	179	129
1071	5：Ⅲa	磨製石斧	1段階	129.2	56.3	33.2	365.90	デイサイト	179	129
1072	5：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	1段階	125.2	83.2	48.8	634.20	ホルンフェルス	179	129
1073	23：Ⅲa	磨製石斧	1段階	113.2	50.8	25.2	175.90	ホルンフェルス	179	129
1074	24：Ⅱ	磨製石斧	1段階	107.4	93.5	39.8	631.35	細粒花崗閃緑岩	179	130
1075	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	1段階	113.3	81.8	31.8	305.40	ホルンフェルス	180	130
1076	11：Ⅲa	磨製石斧	1段階	160.3	60.4	43.5	626.36	デイサイト	180	130
1077	24：Ⅲa	磨製石斧	1段階	128.6	83.1	34.7	426.70	ホルンフェルス	180	130
1078	7：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	1段階	145.0	65.3	36.9	416.76	ホルンフェルス	180	130
1079	8：Ⅲa	磨製石斧	1段階	146.4	97.4	42.9	880.00	砂岩	180	130
1080	3：Ⅲa	磨製石斧	1段階	86.2	34.3	14.8	60.80	玄武岩	180	130
1081	10：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	1段階	102.6	81.7	38.3	398.10	ホルンフェルス	181	130
1082	4：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	1段階	46.7	37.9	17.8	32.60	頁岩	181	130
1083	10：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	1段階	106.5	56.8	14.6	118.50	細粒花崗閃緑岩	181	131
1084	23：Ⅲa	磨製石斧	1段階	89.0	51.0	17.0	77.76	デイサイト	181	131
1085	16：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	2段階	146.1	71.8	40.8	604.10	細粒花崗閃緑岩	181	131
1086	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	2段階	162.3	74.4	51.2	814.10	砂岩	181	131
1087	24：Ⅲa	磨製石斧	2段階	219.4	71.0	49.4	1041.90	砂岩	182	131
1088	4：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	2段階	168.9	66.1	44.3	806.24	砂岩	182	131
1089	6：Ⅲa	磨製石斧	2段階	108.3	43.8	19.4	127.10	ホルンフェルス	182	131
1090	1：Ⅲa	磨製石斧	2段階	108.2	53.2	23.3	209.90	ホルンフェルス	182	131
1091	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	2段階	143.0	49.6	38.6	320.98	頁岩	182	131
1092	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	2段階	132.8	51.0	25.0	227.04	ホルンフェルス	182	131
1093	5：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	2段階	140.0	56.1	35.0	351.90	ホルンフェルス	182	131
1094	22：Ⅲa	磨製石斧	2段階	141.4	68.6	46.3	591.30	流紋岩	183	131
1095	11：Ⅲa	磨製石斧	2段階	61.6	35.5	13.5	42.00	凝灰岩	183	131
1096	10：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	2段階	115.9	77.1	53.9	734.60	デイサイト	183	132
1097	24：Ⅲa	磨製石斧	3段階	196.8	71.1	46.1	785.00	細粒花崗閃緑岩	183	132
1098	9：Ⅱ	磨製石斧	3段階	171.3	78.1	49.1	1092.40	ホルンフェルス	183	132
1099	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	3段階	186.0	58.6	47.0	766.70	砂岩	184	132
1100	1：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	3段階	145.3	58.9	41.3	533.51	デイサイト	184	132

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1101	25：Ⅲa	磨製石斧	3段階	86.3	50.4	33.8	263.60	デイサイト	184	132
1102	4：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	3段階	106.2	61.5	44.4	499.70	デイサイト	184	132
1103	調査区：Ⅰ	磨製石斧	3段階	140.0	49.4	34.0	428.20	デイサイト	184	132
1104	4：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	3段階	133.4	54.6	38.7	496.22	細粒花崗閃緑岩	184	132
1105	16：Ⅲa	磨製石斧	3段階	113.6	64.6	46.0	406.30	細粒閃緑岩	185	132
1106	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	3段階	83.3	67.5	40.6	338.80	デイサイト	185	132
1107	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	3段階	99.0	49.3	33.6	265.30	デイサイト	185	133
1108	25：Ⅲa	磨製石斧	3段階	113.0	54.0	34.4	386.20	デイサイト	185	133
1109	20：Ⅲa	磨製石斧	3段階	65.6	37.5	17.4	67.61	ホルンフェルス	185	133
1110	16：Ⅲa	磨製石斧	4段階	158.1	70.4	46.8	761.20	デイサイト	185	133
1111	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	4段階	124.3	42.9	26.8	218.30	細粒花崗閃緑岩	185	133
1112	2：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	4段階	128.2	51.9	32.8	384.00	ホルンフェルス	186	133
1113	5：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	4段階	123.6	51.9	37.1	417.50	デイサイト	186	133
1114	7：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	4段階	134.1	54.1	34.9	485.65	閃緑岩	186	133
1115	1：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	4段階	108.4	49.4	40.7	326.53	細粒閃緑岩	186	133
1116	16：Ⅲa	磨製石斧	4段階	109.9	68.6	43.0	555.90	細粒閃緑岩	186	133
1117	11：Ⅱ	磨製石斧	4段階	72.5	44.2	29.0	161.85	デイサイト	186	133
1118	12：Ⅲa	磨製石斧	4段階	79.6	58.2	33.3	235.50	デイサイト	186	133
1119	5：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	4段階	93.8	53.0	38.4	320.00	デイサイト	186	133
1120	9：Ⅲa	磨製石斧	4段階	81.7	53.6	21.2	126.66	デイサイト	187	133
1121	8：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	5段階	81.4	48.7	16.0	117.90	蛇紋岩	187	133
1122	調査区：Ⅰ	磨製石斧	5段階	82.4	26.2	16.0	55.40	蛇紋岩	187	134
1123	22：Ⅲa	磨製石斧	5段階	77.9	33.9	18.8	94.45	蛇紋岩	187	134
1124	1：Ⅱ	磨製石斧	5段階	128.1	49.1	32.4	355.65	砂岩	187	134
1125	1：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	5段階	111.5	49.0	37.8	375.54	ホルンフェルス	187	134
1126	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	5段階	64.0	27.9	13.8	48.36	細粒花崗閃緑岩	187	134
1127	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	5段階	41.0	21.1	14.1	23.00	蛇紋岩	187	134
1128	16：Ⅲa	磨製石斧	5段階	96.2	51.7	30.1	246.40	砂岩	187	134
1129	10：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	5段階	55.3	40.7	32.3	114.00	細粒花崗閃緑岩	187	134
1130	24：Ⅲa	磨製石斧	5段階	85.6	43.1	26.4	182.30	細粒花崗閃緑岩	188	134
1131	5：Ⅲ-Ⅳa	磨製石斧	5段階	82.3	48.9	29.8	159.30	デイサイト	188	134
1132	1：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	5段階	74.7	51.5	28.2	163.50	デイサイト	188	134
1133	13：Ⅲa	磨製石斧	5段階	95.0	51.8	34.2	286.86	細粒花崗閃緑岩	188	134
1134	7：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	5段階	77.0	49.7	27.2	172.33	細粒花崗閃緑岩	188	134
1135	4：Ⅲ-Ⅳb	磨製石斧	5段階	52.8	35.0	23.6	60.60	蛇紋岩	188	134
1136	24：Ⅲa	磨製石斧	5段階	67.0	55.6	33.6	186.70	細粒花崗閃緑岩	188	134
1137	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	130.7	94.0	31.8	688.40	砂岩	189	135
1138	24：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	93.3	66.6	46.1	397.50	アプライト	189	135
1139	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	120.6	91.4	45.7	918.60	細粒斑糲岩	189	135
1140	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	84.3	68.6	33.7	284.50	チャート	189	135

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1141	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	77.8	73.3	37.3	350.85	破砕岩	189	135
1142	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	75.6	56.8	46.7	279.70	チャート	189	135
1143	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	96.5	79.7	34.2	287.50	細粒斑糲岩	190	135
1144	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	121.1	73.1	49.1	824.80	細粒斑糲岩	190	135
1145	16：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	97.8	80.8	33.9	546.90	細粒斑糲岩	190	135
1146	22：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	131.4	73.1	37.7	605.30	デイサイト	190	135
1147	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	91.8	71.2	48.3	557.90	細粒斑糲岩	190	135
1148	8：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	84.0	73.0	38.4	355.70	デイサイト	190	135
1149	24：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	67.9	73.0	69.5	556.80	チャート	191	135
1150	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	85.8	75.6	37.5	439.43	細粒斑糲岩	191	136
1151	16：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	92.5	80.0	43.6	546.80	細粒斑糲岩	191	136
1152	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰa	95.3	76.2	41.9	475.76	細粒斑糲岩	191	136
1153	22：Ⅲa～Ⅲb	敲磨器	Ⅰa	94.3	83.4	43.7	559.70	細粒花崗閃緑岩	191	136
1154	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰa	92.6	76.9	29.2	397.73	細粒斑糲岩	191	136
1155	1：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰa	154.2	51.9	43.0	554.50	デイサイト	192	136
1156	25：Ⅲa	敲磨器	Ⅰa	101.4	71.5	28.7	339.20	流紋岩	192	136
1157	20：Ⅱ	敲磨器	Ⅰa	125.2	62.6	27.5	360.67	細粒花崗閃緑岩	192	136
1158	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰa	78.3	62.6	29.7	259.87	細粒斑糲岩	192	136
1159	7：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰa	103.2	54.4	21.5	217.00	細粒斑糲岩	192	136
1160	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰa	75.7	64.7	32.3	279.34	細粒斑糲岩	192	136
1161	5：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	83.3	131.1	30.2	393.30	デイサイト	193	136
1162	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰb	76.9	139.0	28.7	406.90	デイサイト	193	136
1163	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰb	87.4	124.5	34.2	438.30	デイサイト	193	136
1164	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	72.2	128.9	29.9	341.20	ホルンフェルス	193	137
1165	11：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	103.3	52.5	40.5	387.00	細粒斑糲岩	193	137
1166	11：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	117.6	51.0	38.9	447.70	細粒斑糲岩	193	137
1167	5：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	90.8	81.1	36.2	413.40	流紋岩	193	137
1168	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰb	100.2	57.8	27.0	307.03	細粒斑糲岩	193	137
1169	22：Ⅱ	敲磨器	Ⅰb	78.6	121.1	39.6	632.86	デイサイト	194	137
1170	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰb	62.6	113.4	35.3	312.40	砂岩	194	137
1171	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰb	68.1	68.5	37.2	265.90	細粒閃緑岩	194	137
1172	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰb	90.0	52.4	24.0	186.30	細粒花崗閃緑岩	194	137
1173	9：Ⅱ	敲磨器	Ⅰb	156.9	102.1	41.7	1161.70	細粒斑糲岩	194	137
1174	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰb	164.5	111.6	61.7	1780.70	ホルンフェルス	194	137
1175	22：Ⅲa	敲磨器	Ⅰb	100.6	81.2	33.6	499.60	細粒斑糲岩	194	137
1176	22：Ⅲa～Ⅲb	敲磨器	Ⅰc	119.3	90.8	42.6	707.50	細粒花崗閃緑岩	195	138
1177	24：Ⅲa	敲磨器	Ⅰc	120.3	79.2	39.4	584.80	花崗斑岩	195	138
1178	20：Ⅲa	敲磨器	Ⅰc	92.3	79.5	52.7	578.30	花崗閃緑岩	195	138
1179	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰc	114.6	87.1	49.3	776.50	斑岩	195	138
1180	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰc	140.0	99.9	45.1	1025.66	細粒花崗閃緑岩	195	138

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1181	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	74.7	75.4	62.6	511.70	チャート	196	138
1182	8：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	59.6	59.4	27.8	189.20	細粒斑糲岩	196	138
1183	7：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	97.9	86.1	47.9	737.60	細粒斑糲岩	196	138
1184	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	62.4	58.5	24.1	160.50	細粒斑糲岩	196	138
1185	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	70.6	71.7	27.2	270.60	細粒斑糲岩	196	138
1186	12：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	86.8	71.2	39.5	409.40	細粒斑糲岩	196	138
1187	8：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	84.2	78.4	30.5	315.20	デイサイト	196	138
1188	16：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	78.7	81.1	36.0	414.17	細粒斑糲岩	197	138
1189	22：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	76.1	75.3	27.1	305.70	細粒斑糲岩	197	139
1190	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	83.7	64.6	31.7	307.10	細粒斑糲岩	197	139
1191	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	75.4	69.4	27.8	277.10	細粒斑糲岩	197	139
1192	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	86.2	66.7	46.0	470.79	細粒斑糲岩	197	139
1193	4：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	73.9	74.1	27.8	249.00	デイサイト	197	139
1194	11：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	72.4	65.9	36.3	295.35	細粒斑糲岩	197	139
1195	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	84.8	75.4	49.9	505.20	デイサイト	198	139
1196	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	78.5	67.6	32.5	323.50	細粒斑糲岩	198	139
1197	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	67.6	71.2	32.2	296.60	細粒斑糲岩	198	139
1198	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	77.9	78.5	46.0	511.20	細粒斑糲岩	198	139
1199	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	78.8	79.7	30.1	353.10	細粒斑糲岩	198	139
1200	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	89.4	70.6	32.1	391.70	細粒斑糲岩	198	139
1201	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	82.8	75.0	44.7	514.48	細粒斑糲岩	199	139
1202	19：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	93.0	69.2	34.3	344.70	細粒斑糲岩	199	139
1203	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	80.3	71.8	29.7	322.43	細粒斑糲岩	199	139
1204	12：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	87.1	85.9	33.1	430.70	細粒斑糲岩	199	139
1205	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	107.6	94.5	55.8	939.40	細粒斑糲岩	199	139
1206	24：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	119.4	76.3	33.6	540.20	デイサイト	199	140
1207	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	122.2	85.0	46.8	881.00	細粒斑糲岩	200	140
1208	21：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	105.7	51.0	26.4	237.92	砂岩	200	140
1209	16：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	109.7	79.3	35.1	540.60	細粒斑糲岩	200	140
1210	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	112.0	68.3	34.3	438.30	砂岩	200	140
1211	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	140.3	100.1	40.8	847.60	デイサイト	200	140
1212	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	96.8	53.6	34.7	255.50	ホルンフェルス	200	140
1213	16：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	93.7	67.9	52.2	544.00	細粒斑糲岩	201	140
1214	9：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	77.7	68.0	27.2	221.72	砂岩	201	140
1215	25：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	110.5	86.9	39.1	621.74	細粒花崗閃緑岩	201	140
1216	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	95.0	74.3	29.7	411.00	細粒斑糲岩	201	140
1217	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	86.5	68.4	49.2	427.70	デイサイト	201	140
1218	12：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	95.7	66.7	50.5	442.00	チャート	201	140
1219	7：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	84.0	72.6	31.1	295.82	デイサイト	201	141
1220	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	119.7	83.5	43.6	627.30	細粒花崗閃緑岩	202	141

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1221	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	133.4	86.5	38.2	598.86	デイサイト	202	141
1222	22：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	148.2	100.5	46.9	664.20	細粒花崗閃緑岩	202	141
1223	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	114.9	66.5	36.4	497.94	デイサイト	202	141
1224	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	97.5	84.7	53.5	632.60	礫岩	202	141
1225	23：Ⅲa～Ⅲb	敲磨器	Ⅰd	64.2	71.6	51.3	307.40	チャート	202	141
1226	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	139.5	103.9	45.9	1078.30	デイサイト	203	141
1227	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅰd	70.5	110.9	34.9	470.60	砂岩	203	141
1228	25：Ⅲa	敲磨器	Ⅰd	137.0	77.5	41.8	609.40	デイサイト	203	141
1229	2：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅰd	137.8	98.3	39.8	820.80	細粒花崗閃緑岩	203	142
1230	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱa	98.5	74.5	55.8	591.90	デイサイト	204	142
1231	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱa	83.5	84.4	56.5	567.10	デイサイト	204	142
1232	10：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱa	89.4	85.0	38.3	455.90	デイサイト	204	142
1233	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱa	83.6	81.5	46.7	469.30	デイサイト	204	142
1234	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱa	106.6	85.1	48.4	683.60	デイサイト	204	142
1235	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱa	89.1	84.6	40.5	467.30	流紋岩	204	142
1236	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱa	111.2	98.0	42.7	729.13	デイサイト	204	142
1237	10：Ⅲa	敲磨器	Ⅱa	97.8	87.5	60.9	767.70	流紋岩	205	142
1238	5：Ⅲa	敲磨器	Ⅱa	114.4	91.7	64.5	946.80	デイサイト	205	142
1239	23：Ⅱ	敲磨器	Ⅱb	88.6	156.5	42.3	844.40	砂岩	206	142
1240	2：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱb	93.9	150.1	42.9	1053.30	デイサイト	206	143
1241	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	76.4	131.5	34.0	591.67	細粒花崗閃緑岩	206	143
1242	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	70.2	124.6	28.6	396.70	細粒花崗閃緑岩	206	143
1243	13：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	55.4	99.9	20.9	209.70	細粒花崗閃緑岩	206	143
1244	10：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	42.7	72.7	18.2	99.80	細粒花崗閃緑岩	206	143
1245	16：Ⅱ～Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	82.9	133.3	38.4	666.90	細粒花崗閃緑岩	207	143
1246	10：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	98.8	141.6	42.7	930.90	砂岩	207	143
1247	16：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	71.2	137.9	35.6	574.60	花崗閃緑岩	207	143
1248	5：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅱb	88.9	137.0	47.8	919.80	デイサイト	207	143
1249	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	68.4	108.9	32.8	401.00	デイサイト	208	144
1250	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	88.7	136.4	32.5	668.80	細粒閃緑岩	208	144
1251	8：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	72.2	146.6	32.5	494.30	ホルンフェルス	208	144
1252	16：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	60.4	129.9	27.5	375.70	閃緑岩	208	144
1253	12：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	44.3	113.5	28.2	185.20	ホルンフェルス	208	144
1254	23：Ⅲa～Ⅲb	敲磨器	Ⅱb	97.9	137.8	51.3	933.20	デイサイト	209	144
1255	16：Ⅲa	敲磨器	Ⅱb	80.1	147.2	38.3	484.90	ホルンフェルス	209	144
1256	23：Ⅲa～Ⅲb	敲磨器	Ⅱb	68.8	135.0	36.8	450.40	デイサイト	209	145
1257	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	78.9	143.0	34.2	628.14	細粒花崗閃緑岩	209	145
1258	21：Ⅱ	敲磨器	Ⅱb	78.2	105.0	34.2	414.47	細粒花崗閃緑岩	210	145
1259	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	90.8	107.6	27.3	427.60	細粒閃緑岩	210	145
1260	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	60.0	129.4	25.0	232.80	デイサイト	210	145

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1261	12：Ⅱ	敲磨器	Ⅱb	70.6	118.5	35.4	504.60	細粒花崗閃緑岩	211	145
1262	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	73.6	149.9	32.5	529.91	細粒花崗閃緑岩	211	145
1263	4：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅱb	52.8	111.4	23.6	205.71	砂岩	211	145
1264	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	47.3	85.9	17.5	126.00	デイサイト	211	145
1265	8：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	74.3	61.3	53.1	335.00	デイサイト	211	145
1266	1：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅲ	83.2	92.2	54.4	590.80	デイサイト	211	145
1267	2：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	81.1	77.2	36.4	351.10	デイサイト	211	146
1268	17：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	114.4	93.0	59.7	943.63	デイサイト	212	146
1269	2：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	64.0	63.1	36.5	253.40	細粒斑糲岩	212	146
1270	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅲ	78.1	75.4	30.1	329.52	細粒斑糲岩	212	146
1271	1：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅲ	98.4	73.3	47.6	631.41	細粒斑糲岩	212	146
1272	5：Ⅲ-Ⅳb	敲磨器	Ⅲ	117.7	57.5	29.0	344.40	デイサイト	212	146
1273	8：Ⅲ-Ⅳa	敲磨器	Ⅲ	143.0	72.2	37.9	595.90	デイサイト	212	146
1274	23：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	157.9	81.7	66.3	1183.00	砂岩	213	146
1275	19：Ⅱ	敲磨器	Ⅲ	88.6	84.9	29.1	379.6	デイサイト	213	146
1276	24：Ⅱ	敲磨器	Ⅲ	142.8	95.1	50.0	1123.80	細粒花崗閃緑岩	213	146
1277	22：Ⅱ	敲磨器	Ⅲ	109.1	100.3	72.1	1117.50	デイサイト	213	146
1278	12：Ⅲa	敲磨器	Ⅲ	101.9	93.1	58.0	828.00	デイサイト	213	147
1279	22：Ⅲa	石皿	－	229.4	166.8	68.6	5600.00	花崗斑岩	214	147
1280	23：Ⅲa	石皿	－	294.2	171.8	54.6	3616.20	花崗閃緑岩	214	147
1281	調査区：Ⅱ～Ⅲa	石皿	－	50.2	161.8	92.0	2100.60	花崗岩	215	148

第18表　石棒、石製品観察表

掲載No	出土位置・層位	器種	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	遺物図版	写真図版
1282	8：Ⅲ-Ⅳa	石棒	Ⅱ	290.0	89.8	83.0	3322.80	花崗斑岩	215	148
1283	12：Ⅲa	石棒	Ⅱ	170.2	108.0	103.2	2863.80	花崗閃緑岩	215	148
1284	10：Ⅲ-Ⅳa	石棒	Ⅰ	192.4	91.6	74.8	2105.50	安山岩	216	148
1285	10：Ⅲ-Ⅳa	石棒	Ⅰ	162.0	60.2	77.8	1106.60	安山岩	216	148
1286	8：Ⅲa	石製品	－	53.5	46.5	39.5	0.30	デイサイト	216	148
1287	4：Ⅲa	石製品	－	40.7	39.6	17.6	6.97	軽石	216	148
1288	7：Ⅲ-Ⅳb	石製品	－	32.3	29.1	20.1	4.03	軽石	216	148

Ⅶ　自然科学分析

1　放射性炭素年代（AMS測定）

（株）加速器分析研究所

1　測定対象試料

北ノ沢I遺跡は、岩手県九戸郡洋野町種市第45地割（北緯40° 25′ 44″、東経141° 40′ 26″）に所在する。測定対象試料は、捨て場から出土した炭化物３点である（表1）。

2　測定の意義

捨て場の年代を明らかにする。

3　化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。

（２）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表１に記載する。

（３）試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO2）を発生させる。

（４）真空ラインで二酸化炭素を精製する。

（５）精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。

（６）グラファイトを内径１mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4　測定方法

加速器をベースとした^{14}C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、^{14}Cの計数、^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）、^{14}C濃度（^{14}C/^{12}C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5　算出方法

（１）δ^{13}Cは、試料炭素の^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表１）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

（２）^{14}C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。^{14}C年代はδ^{13}Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。^{14}C年代と誤差は、下１桁を丸めて10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±1σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2％であることを意味する。

（３）pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。pMCが小さい（^{14}Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（^{14}Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ^{13}Cによって補正する必要があるため、補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。

（４）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、１標準偏差（$1\sigma=68.2\%$）あるいは２標準偏差（$2\sigma=95.4\%$）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ^{13}C補正を行い、下１桁を丸めない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース（Reimer et al. 2013）を用い、OxCalv4.3較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表２に示した。暦年較正年代は、^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6　測定結果

測定結果を表１、２に示す。

試料No. １の^{14}C年代は4460±30yrBP、暦年較正年代（1σ）は3323 ～ 3036cal BCの間に４つの範囲で示される。試料No. ２の^{14}C年代は4510±30yrBP、暦年較正年代（1σ）は3340 ～ 3112cal BCの間に５つの範囲で示される。試料No. ３の^{14}C年代は4450±30yrBP、暦年較正年代（1σ）は3317 ～ 3026cal BCの間に５つの範囲で示される。No. ２が縄文中期初頭から前葉頃、No. １、３が縄文時代中期前葉から中葉頃に相当する（小林編 2008）。

試料の炭素含有率は70%（No.3）～ 73%（No.2）の適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51（1）, 337-360
小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55（4）, 1869-1887
Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19（3）, 355-363

表１　放射性炭素年代測定結果（δ ^{13}C 補正値）

測定番号	試料名	１σ暦年代範囲	試料形態	処理方法	δ ^{13}C（‰）（AMS）	δ ^{13}C 補正あり	
						Libby Age（yrBP）	pMC（%）
IAAA-171161	No.1	土器捨て場　G1　III － IVb 層	炭化物	AAA	-24.46 ± 0.38	4,460 ± 30	57.37 ± 0.18
IAAA-171162	No.2	土器捨て場　G7　III － IVb 層	炭化物	AAA	-23.87 ± 0.55	4,510 ± 30	57.05 ± 0.19
IAAA-171163	No.3	土器捨て場　III － IVb 層	炭化物	AaA	-24.84 ± 0.25	4,450 ± 30	57.45 ± 0.18

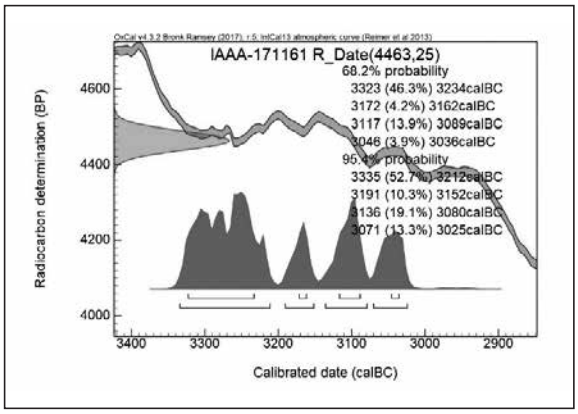
[IAA 登録番号：#8719]

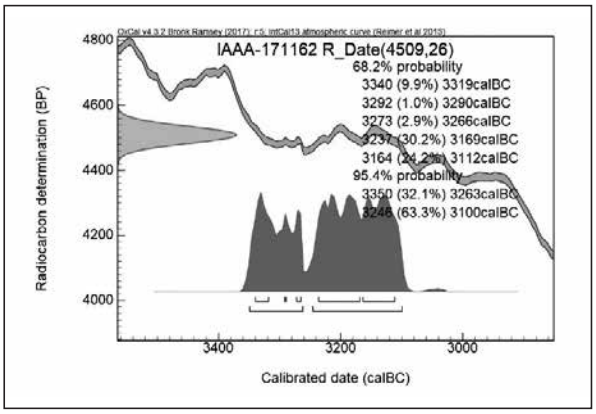
表２　放射性炭素年代測定結果（δ ^{13}C 未補正値、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代）

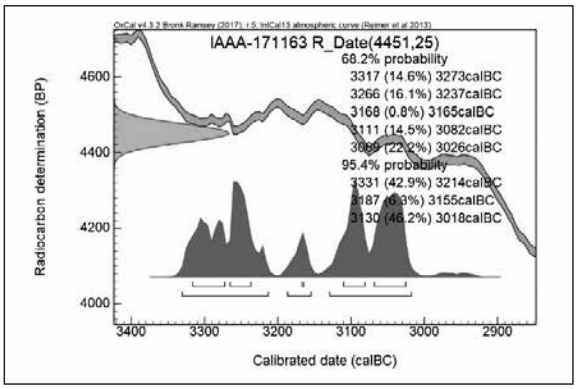
測定番号	δ ^{13}C 補正なし		暦年較正用（yrBP）	１σ暦年代範囲	２σ暦年代範囲
	Age　（yrBP）	pMC　（%）			
IAAA-171161	4,450 ± 20	57.43 ± 0.17	4,463 ± 25	3323calBC - 3234calBC（46.3%） 3172calBC - 3162calBC（ 4.2%） 3117calBC - 3089calBC（13.9%） 3046calBC - 3036calBC（ 3.9%）	3335calBC - 3212calBC（52.7%） 3191calBC - 3152calBC（10.3%） 3136calBC - 3080calBC（19.1%） 3071calBC - 3025calBC（13.3%）
IAAA-171162	4,490 ± 20	57.18 ± 0.17	4,509 ± 26	3340calBC - 3319calBC（ 9.9%） 3292calBC - 3290calBC（ 1.0%） 3273calBC - 3266calBC（ 2.9%） 3237calBC - 3169calBC（30.2%） 3164calBC - 3112calBC（24.2%）	3350calBC - 3263calBC（32.1%） 3246calBC - 3100calBC（63.3%）
IAAA-171163	4,450 ± 20	57.47 ± 0.18	4,451 ± 25	3317calBC - 3273calBC（14.6%） 3266calBC - 3237calBC（16.1%） 3168calBC - 3165calBC（ 0.8%） 3111calBC - 3082calBC（14.5%） 3069calBC - 3026calBC（22.2%）	3331calBC - 3214calBC（42.9%） 3187calBC - 3155calBC（ 6.3%） 3130calBC - 3018calBC（46.2%）

[参考値]

図１　暦年較正年代グラフ（参考）







２　琥　珀　分　析

（株）第四紀地質研究所

１　実験条件

分析はエネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置で行なった。

この分析装置は標準試料を必要としないファンダメンタルパラメータ法（ＦＰ法）による自動定量計算システムが採用されており、６Ｃ～92Ｕまでの元素分析ができ、ハイパワーＸ線源（最大30ｋＶ、4ｍＡ）の採用で微量試料～最大290ｍｍφ×80ｍｍＨまでの大型試料の測定が可能である。小型試料では16試料自動交換機構により連続して分析できる。分析はバルクＦＰ法でおこなった。ＦＰ法とは試料を構成する全元素の種類と濃度、Ｘ線源のスペクトル分布、装置の光学系、各元素の質量吸収係数など装置定数や物性値を用いて、試料から発生する各元素の理論強度を計算する方法である。分析にあたっては標準サンプルを分析し、キャリブレーションを行い、装置の正常さを保って行った。

実験条件はバルクＦＰ法（スタンダードレス方式）、分析雰囲気＝真空、Ｘ線管ターゲット素材＝Ｒｈ、加速電圧＝30ｋＶ、管電流＝自動制御、分析時間＝200秒（有効分析時間）である。

分析対象元素はAl.Si.S.K.Ca.Cr.Mn.Fe.Cu.As.Os.Au.Hg.Pdの14元素、分析値は試料の含水量＝０と仮定し、元素の重量％を100％にノーマライズし、表示した。分析対象元素は自動定性でおこなった。

主要元素の濃度（重量％）でSi-Al、S-Si、K-Caの３組の組み合わせで図を作成した。

２　分析試料

分析に供した試料は第１表に示すように鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀、北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀、間木戸Ⅰ遺跡より出土した琥珀遺物と現地に赴き採取あるいは提供していただいた琥珀原石と対比した。採取した琥珀原石は久慈市琥珀博物館・琥珀、久慈市上山琥珀の坑道からの琥珀、野田村琥珀海岸の琥珀（上山氏より提供）、久慈市滝沢（滝沢地区の滝沢氏より提供）、いわき市琥珀（いわき市・アンモナイトセンターの鈴木直氏より提供）、銚子市琥珀（外川ミニ郷土資料館より提供）である（第1図）。

３　分析結果

３－１　Si-Alの相関について

第２図Si-Al図に示すように琥珀類はSi-１～Si-５の５つの領域に分かれる。Si-１の領域には久慈市と野田村の琥珀原石が集中する。Si-２の領域には鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀と間木戸Ⅰ遺跡・琥珀が共存し、いわき市の琥珀、久慈市滝沢・琥珀が共存する。Si-３の領域には北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀と鹿糠

浜Ⅱ遺跡・琥珀が共存する。Si- ４の領域には間木戸Ⅰ遺跡埋土下位・琥珀が集中する。Si- ５の領域には銚子・琥珀の金と黒の琥珀が集中する。

３－２　S-Siの相関について

第３図S-Si図に示すようにS- １～S- ５の領域に分類された。

S- １の領域には間木戸Ⅰ遺跡・琥珀、久慈市琥珀博物館・琥珀、銚子・琥珀―金が集中する。S- ２の領域には北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀、間木戸Ⅰ遺跡・琥珀、琥珀神社・琥珀が共存する。S- ３の領域にはいわき市の琥珀が集中する。S- ４の領域には上山琥珀・金と黒が集中し、間木戸Ⅰ遺跡埋土下位・琥珀、野田村琥珀海岸・琥珀が共存する。S- ５の領域には鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀が集中し、銚子・琥珀―黒が共存する。

３－３　K-Caの相関について

第４図K-Ca図に示すようにK- １の領域には上山琥珀・金と黒、久慈市琥珀博物館・琥珀と久慈市滝沢･琥珀が集中する。K- ２の領域にはいわき市の琥珀が集中する。K- ３の領域には間木戸Ⅰ遺跡･琥珀、琥珀神社・琥珀が共存する。K- ４の領域には鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀と野田村琥珀海岸・琥珀の領域と共存する。K- ５の領域には銚子・琥珀―黒が集中する。K- ６の領域には銚子・琥珀―金が集中する。北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀はK- ３とK- ６の領域に分散する。

４　まとめ

１）　琥珀は木の樹液が地中に樹木とともに埋没して形成されたもので、地層の続成作用の過程でゲル状のSiやAl及びその他の元素が樹液にしみこみ固化していったものと推察され、その時間経過と続成作用の過程が異なれば化学組成も異なるものであると考えられる。

２）　Si-Alの相関では間木戸Ⅰ遺跡・琥珀といわき市・琥珀はAlの含有量で明瞭に分別され、さらには久慈市琥珀博物館・琥珀も領域を異にし、分別される。この図から間木戸Ⅰ遺跡・琥珀、久慈市琥珀博物館・琥珀、いわき市琥珀は分別される。
鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀はSi- ２の領域に集中し、間木戸Ⅰ遺跡・琥珀と共存する。
北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀はSi- ３の領域にあり、鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀とは異質である。

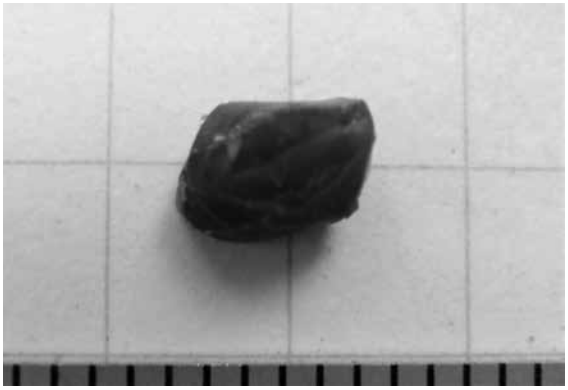
３）　S-Siの相関では鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀は独自のS- ５の領域を形成し、他の琥珀とは異なることを示している。北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀はS- ２の領域にあり、鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀とは異なる領域にある。

４）　K-Caの相関ではK- １の領域には上山琥珀・久慈市琥珀博物館・琥珀久慈市滝沢・琥珀が集中し、K- ２の領域にはいわき市の琥珀が集中し、久慈市の琥珀といわき市の琥珀は明瞭に分別される。鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀はK- ４の領域で野田村琥珀海岸の琥珀の領域で混在する。
北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀はK- １とK- ６の領域に分散する。

5）　間木戸Ⅰ遺跡・琥珀は久慈市琥珀博物館・琥珀、久慈市滝沢・琥珀、いわき市の琥珀とは分別され、異なる琥珀であると推察される。鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀は組成的にはどこの琥珀原石とも対比されず、現在採取されている琥珀原石とは異なる組成を示し、北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀も同様に対比される琥珀原石はない。

北ノ沢Ⅰ遺跡　分析琥珀写真

北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀 -1

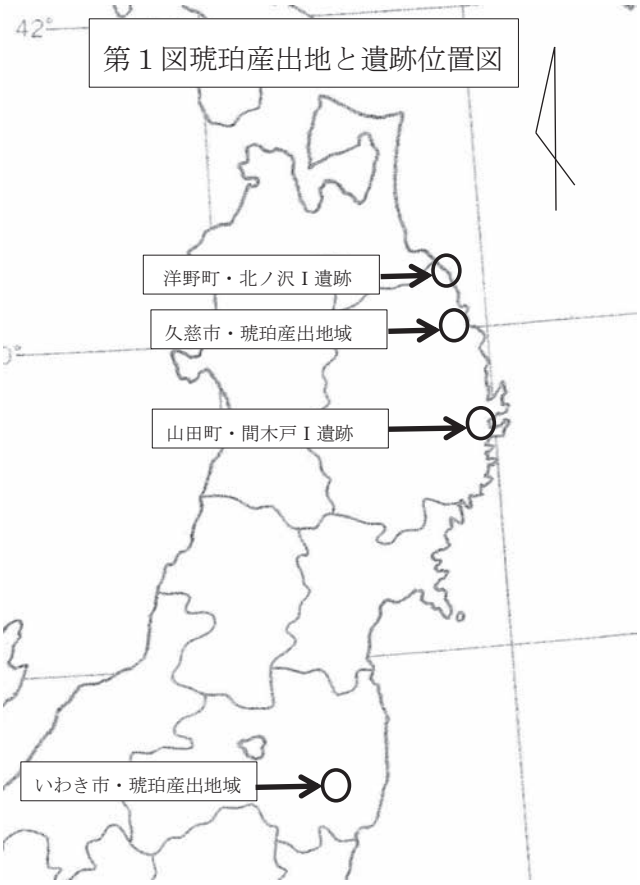


北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀 -2

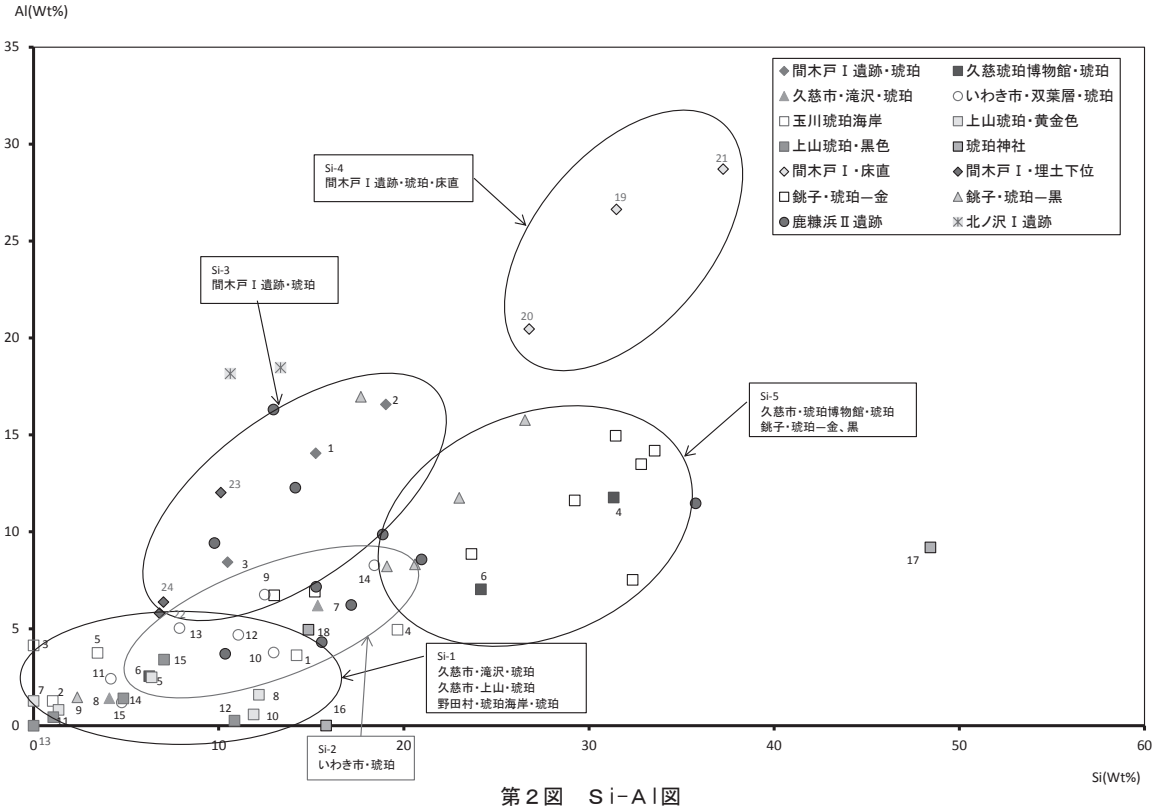
第１表 琥珀元素化学分析表

試料名	Al	Si	S	K	Ca	Cr	Mn	Fe	Cu	As	Os	Au	Hg	Pb	Total	備考
AM-1	14.0507	15.2384	52.7255	3.4040	8.1349	0.5316	0.3988	1.4460	0.2766	0.6985	1.8367	0.0000	1.2583	0.0000	100.0000	間木戸Ⅰ遺跡・琥珀
AM-2	16.5763	19.0268	50.0476	2.4426	10.0603	0.0000	0.0000	1.5647	0.1300	0.0000	0.0000	0.1517	0.0000	0.0000	100.0000	間木戸Ⅰ遺跡・琥珀
AM-3	8.4392	10.4809	69.8419	3.7131	5.1509	0.0000	0.3619	0.8711	0.2461	0.2241	0.0000	0.6055	0.0000	0.0651	99.9998	間木戸Ⅰ遺跡・琥珀
AM-4	11.7665	31.3272	43.8582	0.5526	3.8442	0.0000	0.0734	6.3170	0.3276	0.0000	0.1170	0.9837	0.6699	0.1627	100.0000	久慈市琥珀博物館・琥珀
AM-5	2.5535	6.2442	81.9707	1.4345	2.1174	0.0000	0.0774	0.5930	0.3101	0.0000	1.8777	1.0354	0.6434	1.1427	100.0000	久慈市琥珀博物館・琥珀
AM-6	7.0312	24.1593	49.0651	2.4924	3.8898	0.0000	0.0000	2.4478	0.4408	0.0000	1.9975	0.9618	5.1568	2.3575	100.0000	久慈市琥珀博物館・琥珀
AM-7	6.2006	15.3451	36.8141	1.3630	1.0261	0.0000	0.1345	36.8043	0.8762	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	1.4362	100.0001	久慈市滝沢・琥珀
AM-8	1.4130	4.0905	88.2884	1.2743	1.4523	0.0000	0.2473	1.0918	0.0000	0.2014	0.0000	0.7369	1.2040	0.0000	99.9999	久慈市滝沢・琥珀
AM-9	6.7613	12.4819	68.9139	1.5681	7.2198	0.0000	0.3306	1.9902	0.0775	0.1723	0.4845	0.0000	0.0000	0.0000	100.0001	いわき市・琥珀
AM-10	3.7726	12.9652	64.6498	2.8156	10.2215	0.3602	0.1459	3.2478	0.9009	0.0000	0.0000	0.4276	0.0000	0.4928	99.9999	いわき市・琥珀
AM-11	2.4258	4.1704	82.1241	1.8157	5.0777	0.0350	0.1717	1.6862	0.6888	0.2801	0.3110	0.5806	0.5843	0.0486	100.0000	いわき市・琥珀
AM-12	4.6867	11.0545	62.3392	3.1056	14.2242	0.4149	0.2971	2.8051	0.1051	0.0000	0.5771	0.0000	0.3905	0.0000	100.0000	いわき市・琥珀
AM-13	5.0298	7.8843	65.0486	3.5537	14.3874	0.0000	0.4311	2.1541	0.0763	0.1479	0.1814	0.7051	0.2354	0.1649	100.0000	いわき市・琥珀
AM-14	8.2746	18.4077	58.2751	3.4682	8.2850	0.0000	0.2724	1.3507	0.2416	0.0000	0.0000	1.1328	0.2919	0.0000	100.0000	いわき市・琥珀
AM-15	1.1999	4.7653	84.6569	2.5471	5.2303	0.0041	0.0598	0.7784	0.0000	0.0000	0.0000	0.7581	0.0000	0.0000	99.9999	いわき市・琥珀
KOH-1	3.6325	14.2030	49.1248	8.7114	9.3636	0.0000	2.3770	2.1363	0.7003	1.0212	0.8423	1.9868	0.0000	5.9008	100.0000	玉川琥珀海岸
KOH-2	1.2729	1.0382	81.7198	3.5588	4.1093	0.0000	0.0199	4.7465	0.1745	0.7826	1.0248	1.3436	0.2090	0.0000	99.9999	玉川琥珀海岸
KOH-3	4.1406	0.0000	80.0343	1.4377	3.3910	0.2981	0.0000	2.8605	0.0000	0.0000	5.7653	0.0000	0.0000	2.0725	100.0000	玉川琥珀海岸
KOH-4	4.9518	19.6530	58.1012	5.6093	9.0750	0.1928	0.0000	1.9930	0.0000	0.0000	0.0000	0.4239	0.0000	0.0000	100.0000	玉川琥珀海岸
KOH-5	3.7583	3.4546	53.3376	8.3738	24.6310	1.5317	0.0000	1.0921	1.5631	0.0000	1.8252	0.0000	0.2422	0.1905	100.0001	玉川琥珀海岸
KOH-6	2.4991	6.3737	81.6672	0.3369	1.9009	0.0000	0.0000	5.4015	0.5335	0.1308	0.0000	0.2957	0.0000	0.8607	100.0000	上山琥珀・黄金色
KOH-7	1.2793	0.0000	93.5118	2.1290	0.3131	0.0000	0.1489	1.4666	0.6286	0.3278	0.1948	0.0000	0.0000	0.0000	99.9999	上山琥珀・黄金色
KOH-8	1.5948	12.1700	76.7613	1.7059	2.1689	0.0000	0.0000	2.3692	0.0176	0.0000	1.5931	0.0824	1.5367	0.0000	99.9999	上山琥珀・黄金色
KOH-9	0.8170	1.3523	91.5964	1.3134	2.0096	0.8117	0.1254	1.5521	0.1905	0.0000	0.2315	0.0000	0.0000	0.0000	99.9999	上山琥珀・黄金色
KOH-10	0.5829	11.8794	82.3039	1.4125	0.9165	0.1112	0.0000	2.2975	0.2553	0.0000	0.0000	0.0000	0.2200	0.0207	99.9999	上山琥珀・黄金色
KOH-11	0.4349	1.0675	89.3723	2.3126	3.6745	0.3200	0.0705	1.8067	0.6003	0.0000	0.1524	0.0000	0.1884	0.0000	100.0001	上山琥珀・黒色
KOH-12	0.2644	10.8509	71.3827	1.1381	11.1906	0.0000	0.0624	4.3539	0.2008	0.0827	0.1903	0.1223	0.1294	0.0317	100.0002	上山琥珀・黒色
KOH-13	0.0000	0.0000	88.1062	1.5121	8.0349	0.0000	0.0647	1.3779	0.4683	0.1279	0.0000	0.0000	0.0000	0.3080	100.0000	上山琥珀・黒色
KOH-14	1.4111	4.8495	89.0018	1.7784	1.2969	0.0000	0.1306	1.0101	0.3366	0.0000	0.1454	0.0000	0.0000	0.0397	100.0001	上山琥珀・黒色
KOH-15	3.4059	7.0469	74.7557	2.3044	3.3903	0.1667	0.0000	8.0133	0.6336	0.0298	0.0000	0.1205	0.0000	0.1329	100.0000	上山琥珀・黒色
KOH-16	0.0025	15.8011	53.2936	1.7291	4.1812	0.2469	0.7838	21.3365	0.6790	0.1226	1.2036	0.0000	0.0000	0.6200	99.9999	琥珀神社
KOH-17	9.1929	48.4409	11.9984	3.1010	6.8646	0.1422	1.0795	17.5211	0.3847	0.0000	0.0000	0.0000	0.5925	0.6822	100.0000	琥珀神社
KOH-18	4.9490	14.8453	49.7582	5.0083	9.6580	0.0000	0.5918	13.2895	0.5313	0.0000	0.5704	0.1854	0.7128	0.0000	100.1000	琥珀神社
KOH-19	26.6349	31.4746	26.9174	3.2634	2.5523	0.1126	0.3169	7.4646	0.3911	0.1210	0.5592	0.1920	0.0000	0.0000	100.0000	間木戸Ⅰ・床直
KOH-20	20.4665	26.7716	41.3959	3.6644	3.7617	0.0044	0.0000	3.3390	0.2469	0.0000	0.0000	0.1088	0.0572	0.1835	99.9999	間木戸Ⅰ・床直
KOH-21	28.7139	37.2463	23.6042	2.9289	2.6417	0.1604	0.3191	3.9479	0.3174	0.0746	0.0456	0.0000	0.0000	0.0000	100.0000	間木戸Ⅰ・床直
KOH-22	5.8028	6.8024	72.2621	3.5924	5.7815	0.1411	0.0370	2.5801	0.8902	0.5304	1.5801	0.0000	0.0000	0.0000	100.0001	間木戸Ⅰ・埋土下位
KOH-23	12.0254	10.1119	60.6523	3.8007	5.7615	0.4722	1.3140	3.3675	0.0710	0.2919	1.7988	0.3326	0.0000	0.0000	99.9998	間木戸Ⅰ・埋土下位
KOH-24	6.3742	7.0114	73.5401	4.6182	2.6476	0.0367	0.3715	0.9648	0.3455	0.0834	0.8030	2.7808	0.4228	0.0000	100.0000	間木戸Ⅰ・埋土下位
Cho-1	14.9520	31.4377	34.5348	7.9734	8.5718	0.0000	0.0000	1.0694	0.5379	0.9235	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	100.0005	外川ミニ郷土資料館
Cho-2	6.7227	12.9920	68.0672	6.2280	1.5612	0.0000	0.1885	2.7723	0.1146	0.0000	0.0000	0.1853	0.8133	0.3548	99.9999	外川ミニ郷土資料館
Cho-3	7.5217	32.3564	42.6947	5.6738	4.1219	0.0000	0.1510	7.2010	0.1697	0.1043	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	99.9945	外川ミニ郷土資料館
Cho-4	13.4928	32.8182	40.8912	3.2628	3.5719	0.0000	0.2828	4.9733	0.1949	0.0884	0.2689	0.0667	0.0000	0.0881	100.0000	外川ミニ郷土資料館
Cho-5	11.6160	29.2215	12.1107	8.1312	3.6762	0.0000	0.7246	32.6128	1.3755	0.5316	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	100.0001	外川ミニ郷土資料館
Cho-6	14.1867	33.5429	26.3434	5.5412	5.9691	0.0028	0.2154	13.4973	0.2159	0.0000	0.2539	0.0000	0.1577	0.0738	100.0001	外川ミニ郷土資料館

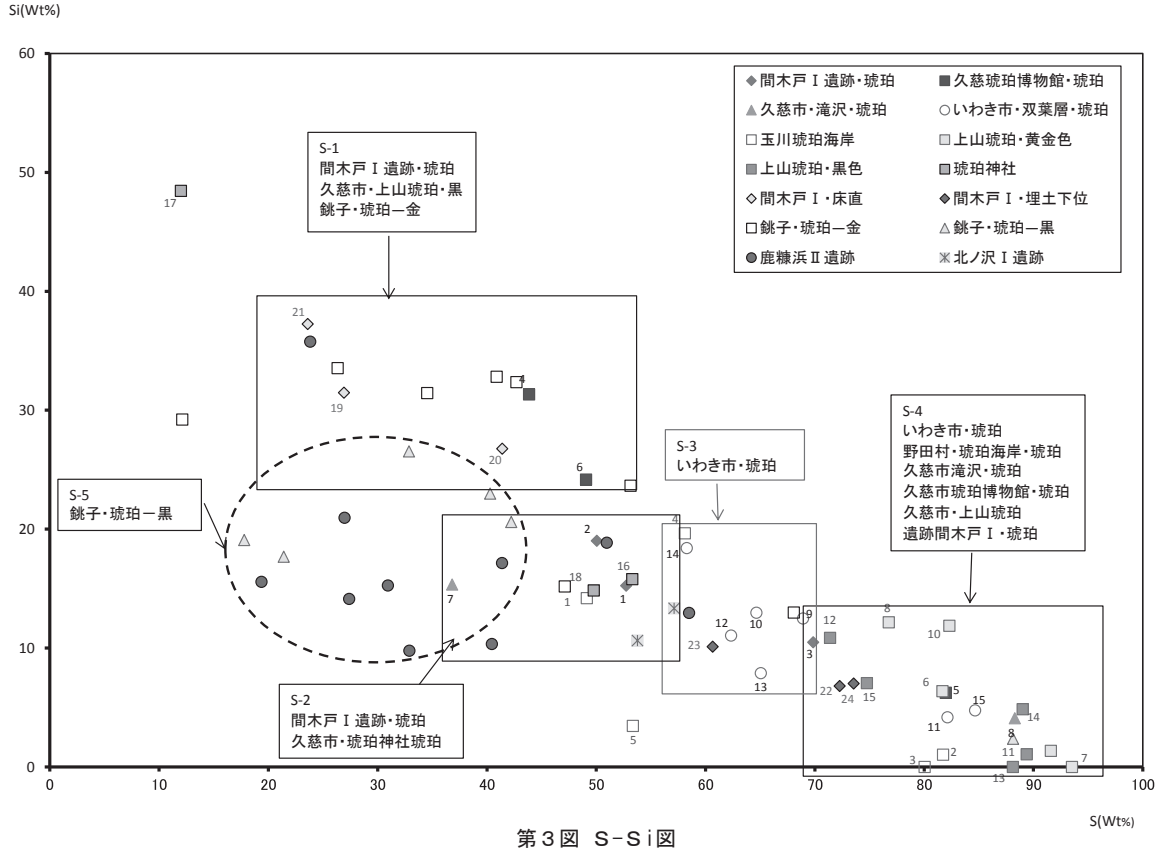
試料名	Al	Si	S	K	Ca	Cr	Mn	Fe	Cu	As	Os	Au	Hg	Pb	Total	備考
Cho-7	8.8620	23.6473	53.1281	3.9946	4.8283	0.1815	0.2058	4.4874	0.5660	0.0988	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	99.9998	外川ミニ郷土資料館
Cho-8	6.9113	15.1857	47.1124	5.0474	2.4043	0.0000	0.2215	22.6286	0.2129	0.0000	0.0000	0.0000	0.2207	0.0554	100.0002	外川ミニ郷土資料館
Cho-9	1.4600	2.3639	88.1374	2.6106	1.2398	0.0000	0.0000	2.1624	0.3914	0.0000	0.0000	1.0614	0.3991	0.1739	99.9999	外川ミニ郷土資料館
Cho-10	15.7630	26.5359	32.8563	3.4079	9.1336	0.5834	0.4071	8.5865	0.9014	0.1924	0.0000	0.0000	0.4929	1.1395	99.9999	外川ミニ郷土資料館
Cho-11	11.7482	22.9848	40.2960	3.4122	8.4115	0.7321	1.0429	6.8151	0.0000	0.3464	2.0138	1.5916	0.6055	0.0000	100.0001	外川ミニ郷土資料館
Cho-12	8.2150	19.0873	17.7823	4.4623	8.4217	0.0000	0.0000	38.6956	3.2973	0.0385	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	100.0000	外川ミニ郷土資料館
Cho-13	16.9645	17.6756	21.3999	2.9386	7.0433	0.0000	0.7876	31.7498	0.8509	0.0000	0.0000	0.0000	0.1579	0.4318	99.9999	外川ミニ郷土資料館
Cho-14	8.3251	20.5978	42.2224	6.1912	9.9820	0.1404	0.5301	9.5954	0.3766	0.0900	0.4171	0.3378	0.0000	1.1939	99.9998	外川ミニ郷土資料館
Sk-1	11.4705	35.7596	23.8186	9.8098	14.4999	0.3862	0.0000	1.5461	1.2152	0.9436	0.0000	0.0000	0.0000	0.5503	99.9998	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-2	6.2298	17.1528	41.3693	18.4806	10.5717	0.7055	0.0000	3.2698	0.1009	0.0000	1.6196	0.5000	0.0000	0.0000	100.0000	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-3	4.3075	15.5631	19.3651	19.5551	14.7672	2.0976	0.9125	20.3910	3.0408	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	99.9999	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-4	16.3114	12.9589	58.4859	3.9198	5.1093	0.3289	0.0000	1.1134	0.1980	0.0000	0.3310	0.9413	0.3022	0.0000	100.0001	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-5	7.1684	15.2586	30.9275	13.2934	21.0151	0.9370	0.0526	9.0323	1.4721	0.0027	0.0000	0.0000	0.8402	0.0000	99.9999	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-6	8.5733	20.9523	26.9591	7.5713	14.1185	0.0000	2.1620	7.7100	1.0872	0.0000	3.0606	1.6056	6.2003	0.0000	100.0002	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-7	9.4221	9.7721	32.9016	21.3557	18.5058	1.0621	0.5621	2.8234	0.3549	0.0000	0.6101	0.0000	0.6156	2.0144	99.9999	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-8	12.2779	14.1327	27.3941	9.0991	14.2123	0.9068	0.0000	20.5486	0.9259	0.5026	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	100.0000	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-9	9.8600	18.8536	50.9517	6.2718	12.5536	0.0000	0.0000	0.5401	0.4347	0.0000	0.0000	0.1964	0.0000	0.3381	100.0000	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Sk-10	3.7131	10.3476	40.4543	6.1800	16.1826	1.3602	2.5286	6.3353	3.4171	0.0000	4.7687	1.8925	2.8201	0.0000	100.0001	鹿糠浜Ⅱ遺跡・琥珀遺物
Kt-1	18.4675	13.3407	57.1253	2.2280	5.8718	0.2092	0.6644	1.2246	0.0000	0.0000	0.6578	0.0731	0.1377	0.0000	100.0001	北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀遺物
Kt-2	18.1561	10.6245	53.7625	6.3238	6.2895	0.0000	0.5435	1.2686	0.4094	0.1413	1.0718	1.3061	0.1028	0.0000	99.9999	北ノ沢Ⅰ遺跡・琥珀遺物



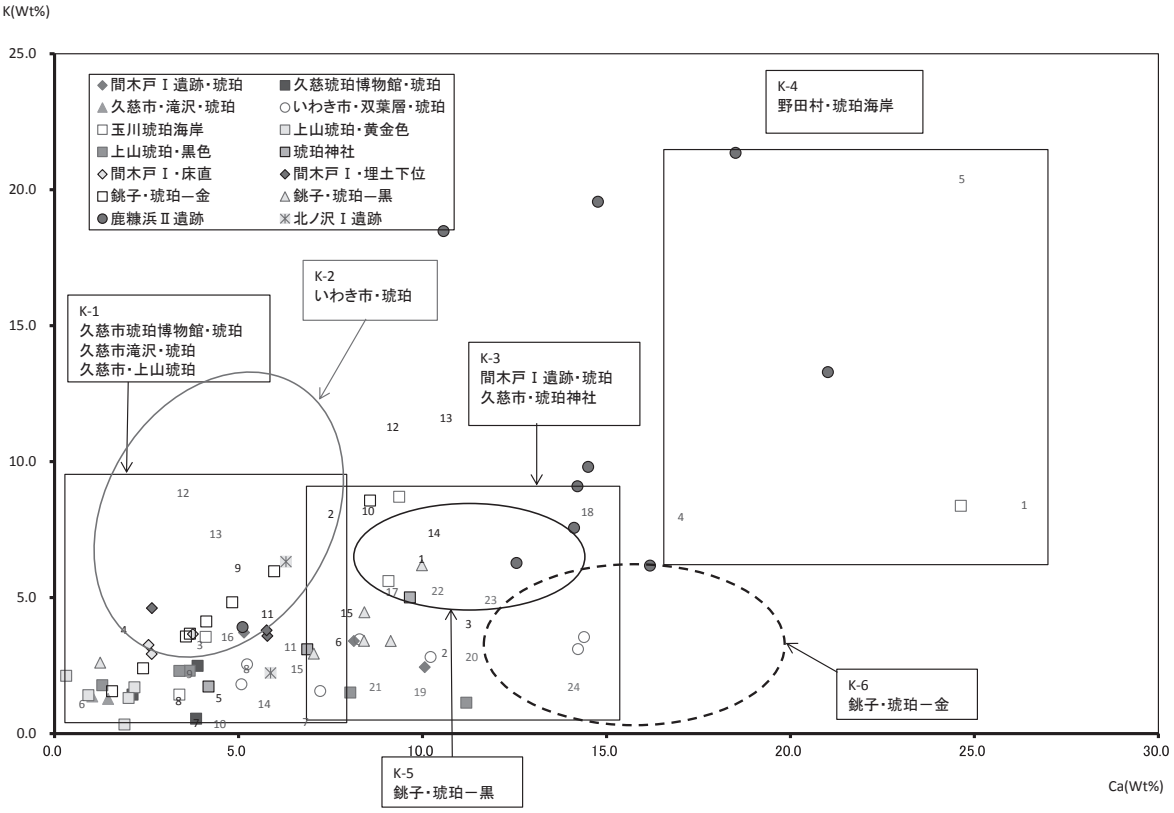
第１図　琥珀産出地と遺跡位置図



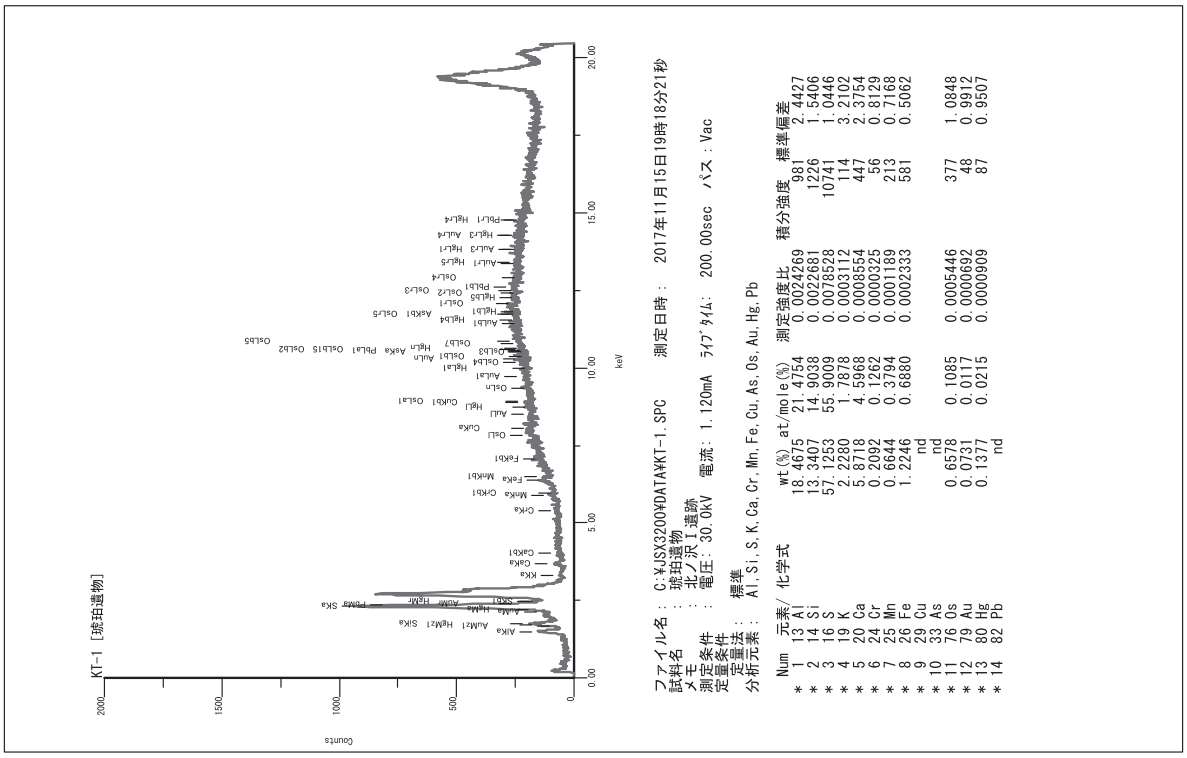
第２図　Ｓｉ−Ａｌ図

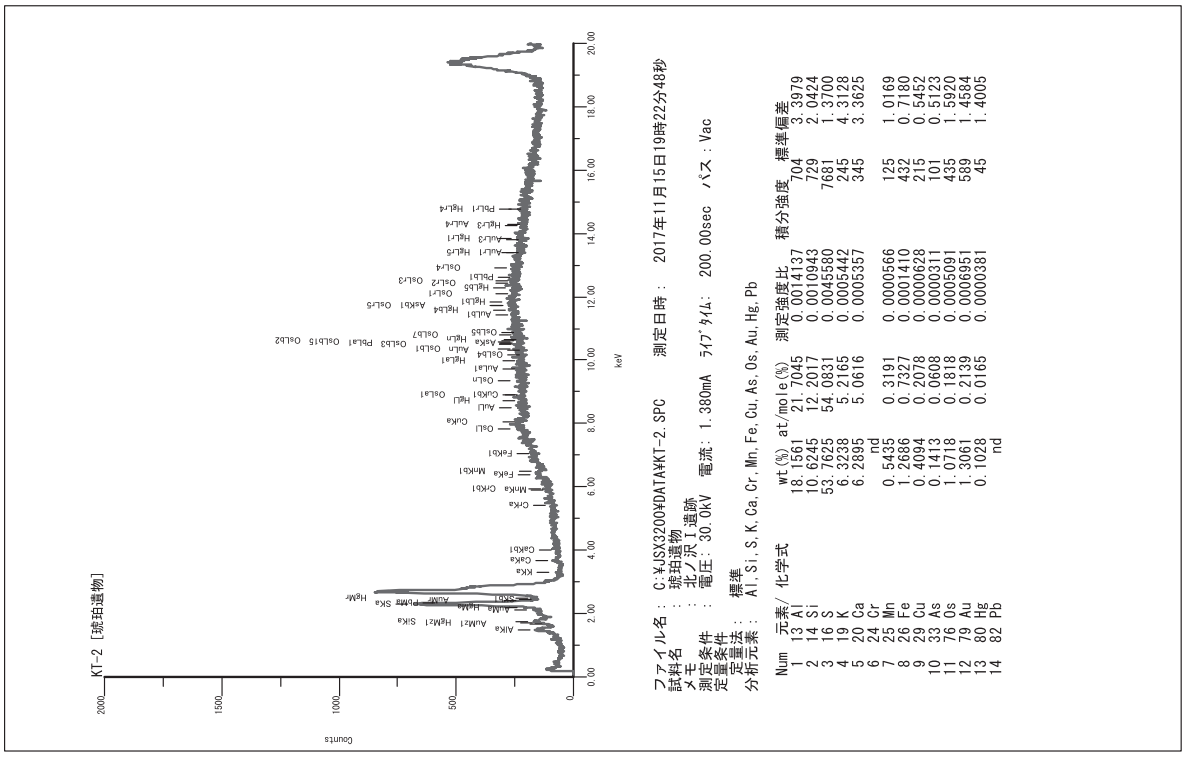


第３図　Ｓ−Ｓｉ図



第４図　Ｋ−Ｃａ図


KT-1 [琥珀遺物]
Counts
keV
ファイル名 : C:¥JSX3200¥DATA¥KT-1.SPC　測定日時 : 2017年11月15日19時18分21秒
試料名 : 琥珀遺物
メモ : 北ノ沢I遺跡
測定条件 : 電圧: 30.0kV　電流: 1.120mA　ライブタイム: 200.00sec　パス : Vac
定量定量法 : 標準
分析元素 : Al, Si, S, K, Ca, Cr, Mn, Fe, Cu, As, Os, Au, Hg, Pb
Num 元素/ 化学式 wt(%) at/mole(%) 測定強度比 積分強度 標準偏差
* 1 13 Al 18.4675 21.4754 0.0024269 981 2.4427
* 2 14 Si 13.3407 14.9038 0.0022681 1226 1.5406
* 3 16 S 57.1253 55.9009 0.0078528 10741 1.0446
* 4 19 K 2.2280 1.7878 0.0003112 114 3.2102
* 5 20 Ca 5.8718 4.5968 0.0008554 447 2.3754
* 6 24 Cr 0.2092 0.1262 0.0000325 56 0.8129
* 7 25 Mn 0.6644 0.3794 0.0001189 213 0.7168
* 8 26 Fe 1.2246 0.6880 0.0002333 581 0.5062
* 9 29 Cu nd
* 10 33 As nd
* 11 76 Os 0.6578 0.1085 0.0005446 377 1.0848
* 12 79 Au 0.0731 0.0117 0.0000692 48 0.9912
* 13 80 Hg 0.1377 0.0215 0.0000909 87 0.9507
* 14 82 Pb nd


KT-2 [琥珀遺物]
Counts
keV
ファイル名 : C:¥JSX3200¥DATA¥KT-2.SPC　測定日時 : 2017年11月15日19時22分48秒
試料名 : 琥珀遺物
メモ : 北ノ沢I遺跡
測定条件 : 電圧: 30.0kV　電流: 1.380mA　ライブタイム: 200.00sec　パス : Vac
定量定量法 : 標準
分析元素 : Al, Si, S, K, Ca, Cr, Mn, Fe, Cu, As, Os, Au, Hg, Pb
Num 元素/ 化学式 wt(%) at/mole(%) 測定強度比 積分強度 標準偏差
1 13 Al 18.1561 21.7045 0.0014137 704 3.3979
2 14 Si 10.6245 12.2017 0.0010943 729 2.0424
3 16 S 53.7625 54.0831 0.0045580 7681 1.3700
4 19 K 6.3238 5.2165 0.0005442 245 4.3128
5 20 Ca 6.2895 5.0616 0.0005357 345 3.3625
6 24 Cr nd
7 25 Mn 0.5435 0.3191 0.0000566 125 1.0169
8 26 Fe 1.2686 0.7327 0.0001410 432 0.7180
9 29 Cu 0.4094 0.2078 0.0000628 215 0.5452
10 33 As 0.1413 0.0608 0.0000311 101 0.5123
11 76 Os 1.0718 0.1818 0.0005091 435 1.5920
12 79 Au 1.3061 0.2139 0.0006951 589 1.4584
13 80 Hg 0.1028 0.0165 0.0000381 45 1.4005
14 82 Pb nd

Ⅷ　総 括

1　縄文時代の遺構・遺物

今回の調査からは縄文時代前期末葉から中期前葉と後期前葉の遺構と遺物を確認している。以下では主体となる前者に限ってまとめていく。

埋設土器：18基を確認している。これらは北向き斜面の裾、捨て場の縁辺部の北側に形成された緩斜面上に位置している。検出面は、SJ06・13・15がⅢa層中、それ以外がⅢ-Ⅳb層中もしくはⅣ層である。埋設状況の内訳は、正立が14基(SJ01・03・04・07～12・14～18)、倒立が３基(SJ02・06・13)、横位が１基(SJ05)である。これらは完形個体の単独埋設を基本とするものである。ただし中には、入れ子状のもの(SJ05)、破損した土器を用いるもの(SJ03・16・18)、礫で蓋をするもの(SJ06・16)が認められる。型式は、SJ13が円筒上層ｂ式、SJ09が円筒上層ａ2式、SJ06が円筒上層ａ式、SJ03・07・10・11が円筒上層ａ1式、SJ02・04・05・14・17・18が円筒下層ｄ2式、SJ01・08・12・15・16は不明である。主体時期は円筒下層ｄ2式から円筒上層ａ1式であり、捨て場の形成時期と一致している。

焼土遺構：１基を確認している。検出面はⅢa層である。時期については、SJ13の検出面と一致することから、それと同時期となる円筒上層ｂ式以降の時期が想定される。

捨て場：北向き斜面に形成された捨て場の先端部を確認している。現況からの推測でしかないが、今回は捨て場の約1/3の面積を調査したこととなる(第236図)。包含層はⅢa層とⅣ層の間に層厚１～80cmで形成され、各層が南東から北西方向へと堆積する状況を捉えている。出土遺物は土器93,503点、石器5,060点、土偶32点、土製品11点、石製品７点である。土器型式は円筒下層ｄ2式から円筒上層ｂ式、十腰内Ⅰ式以前などを確認しているが、主体は円筒下層ｄ2式から円筒上層ａ1式である。また、出土炭化材を放射性炭素年代測定した結果、年代値は4,460±30yrBP、4,510±30yrBP、4,450±30yrBPと得られている。

土器：上記の遺構からは円筒下層ｄ2式から円筒上層ｂ式、十腰内Ⅰ式以前に比定される土器を確認している。ここでは先述したように前者を概観したうえで、各型式及び文様ごとにまとめていきたい。

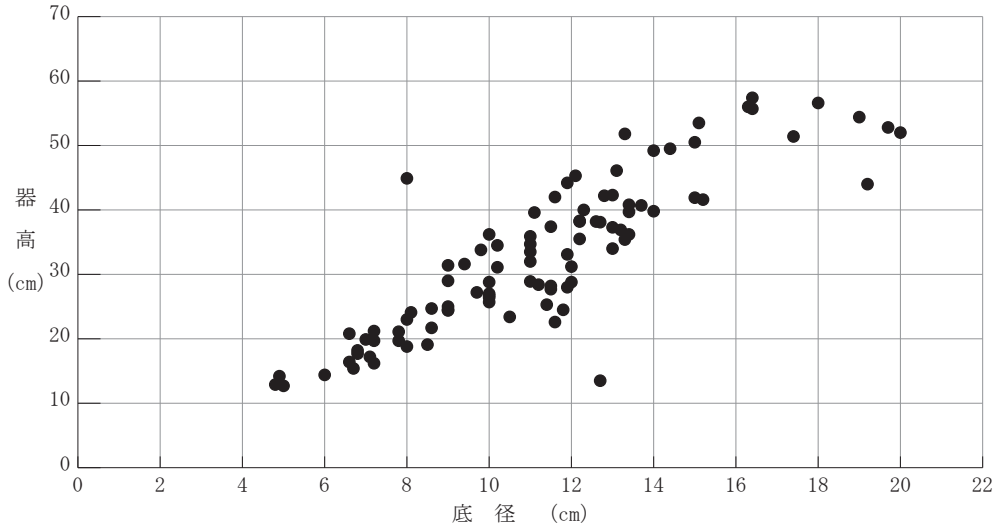
器種は深鉢が主体であり、鉢と皿を僅かに組成している。深鉢は各型式において概ね完形となる個体を確認している。法量は、器高が10～60cm、底径が５～22cmに収まる(第217図上)。中でも、器高が30～40cm、底径が12～14cm前後に集中している。器形はａ・ｂ類の法量が大きい傾向にある。また、復元できない個体の底部を多数確認できたことからグラフ(第217図中)にまとめてみたが、底部は８～14cmが主体であり、完形個体と一致することが窺える。それを上段のグラフに照らすと、器高は30～50cm未満の個体が多く存在していたものと想定される。さらに、各個体の法量を型式ごとに図示してみたが、上層ａ1式は下層ｄ2式や上層ａ2式より全体的に大きい傾向にあることが看取される(第217図下)。

[円筒上層ｂ式]捨て場に該当する各グリッドのⅢ-Ⅳa・b層から出土している。その中でⅢ-Ⅳa層が主体であるが、他型式と比べて出土位置において特徴が認められない。出土量は他型式と比べて極めて少ない。器種は深鉢である。

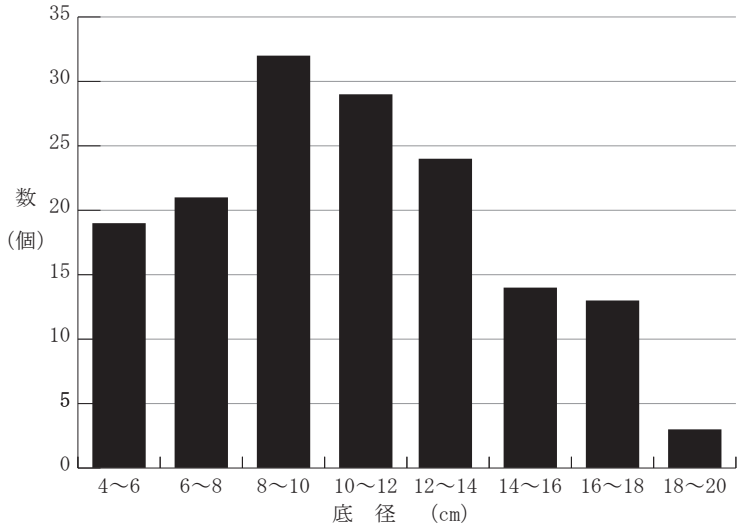
器形と口縁部文様帯については第218図のとおりである。深鉢の器形はa・b類が主体で、e類を僅かに組成する。口縁部は波状と平縁があり、前者の割合が高い。波状口縁は台形、M字状が主体となる。

側面圧痕はＣ字状が横走しており、それらは１～３段に施される。隆帯は横位、Ｃ字状、弧状など

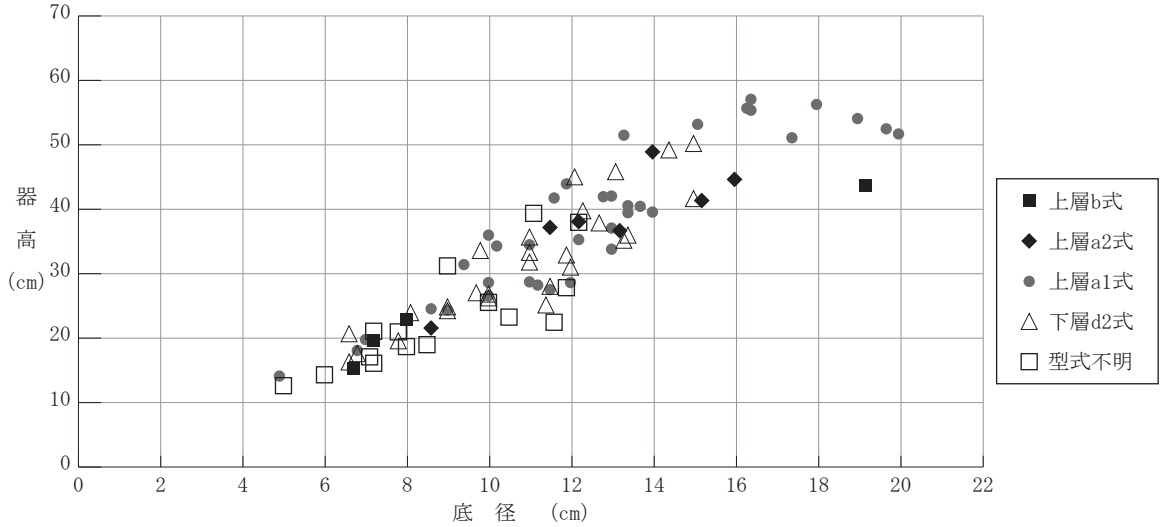
器高：底径比



底径別数量

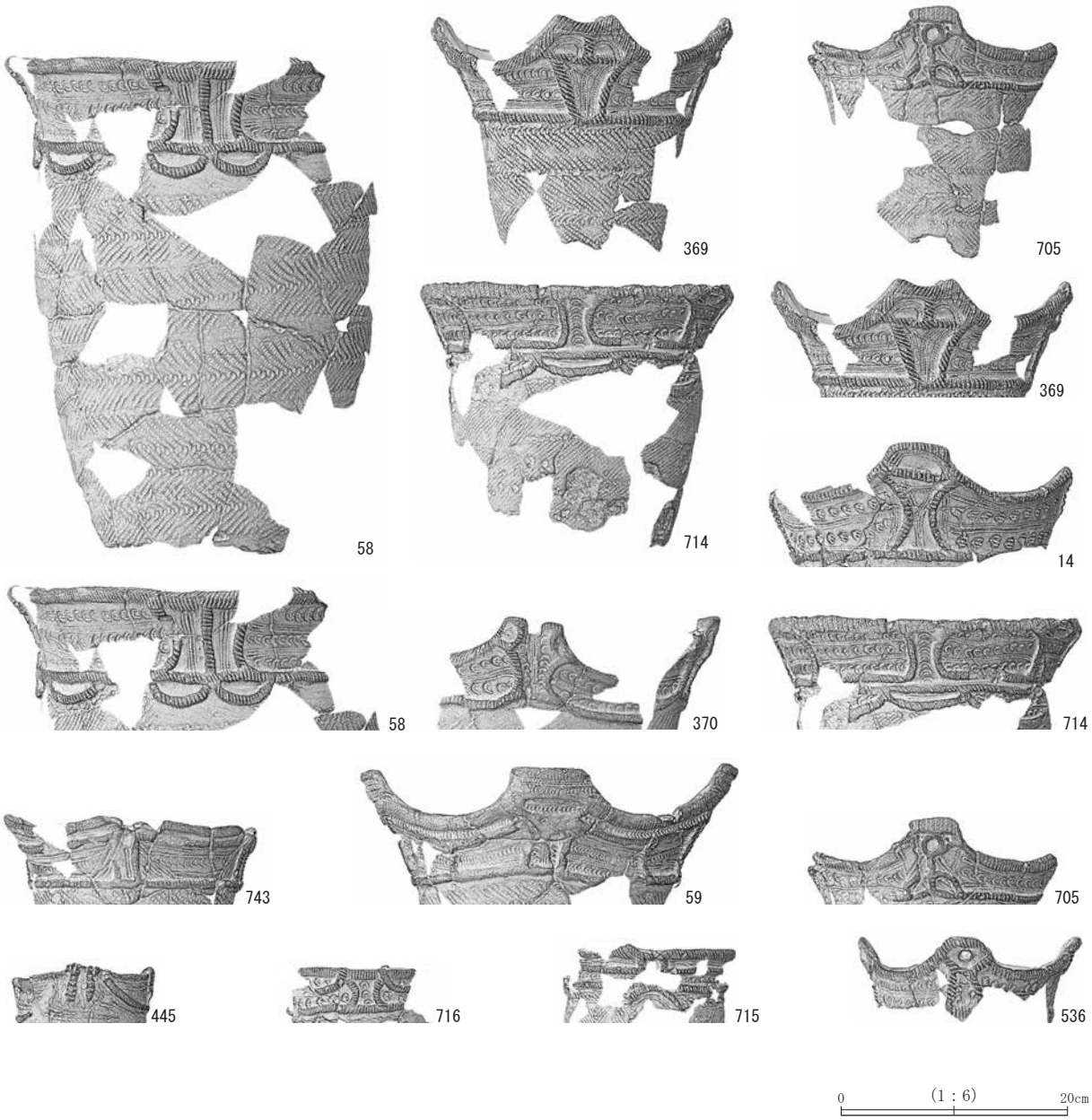


型式別器高：底径比



第217図　土器分布図

円筒上層ｂ式



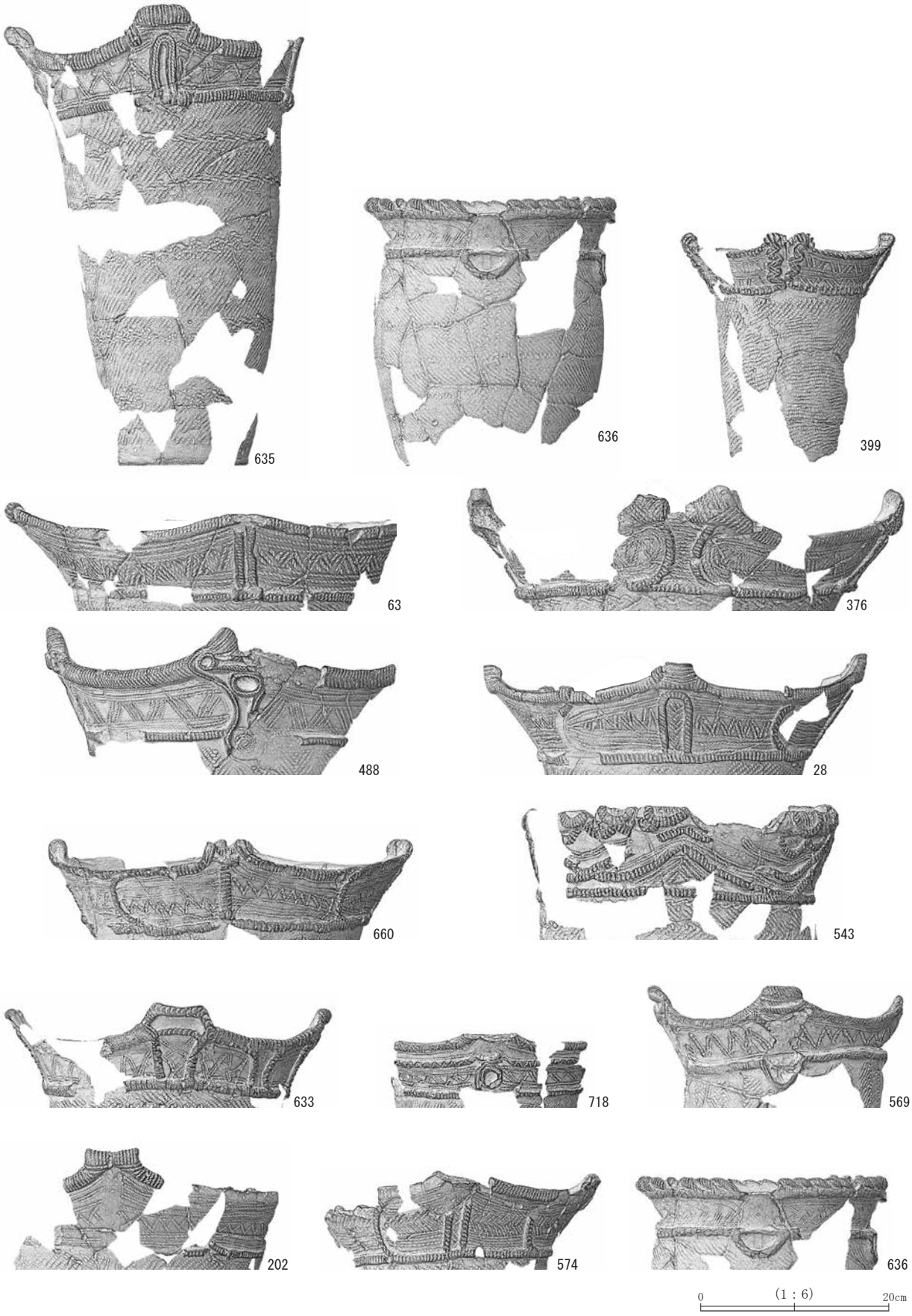
第218図　型式別土器集成(1)

を組み合わせている。また、体部との境に横位隆帯を施し、その下方には弧状隆帯を連続させて付す例が存在している(58、714など)。貼付は円形や環状などが施される。工具痕は半截竹管状工具による刺突列が認められる(第230図445)。これらの中で貼付や工具による施文は他型式と比べると割合が低くなる。

[円筒上層ａ2式]捨て場に該当する各グリッドのⅢ-Ⅳa・b層から出土している。その中でもグリッド８・10Ⅲ-Ⅳa層から出土する割合が高い。出土量は上層ａ1式と比べると大幅に減少するものの、上層ｂ式よりは多い。器種は深鉢が主体で、鉢と皿を組成する。

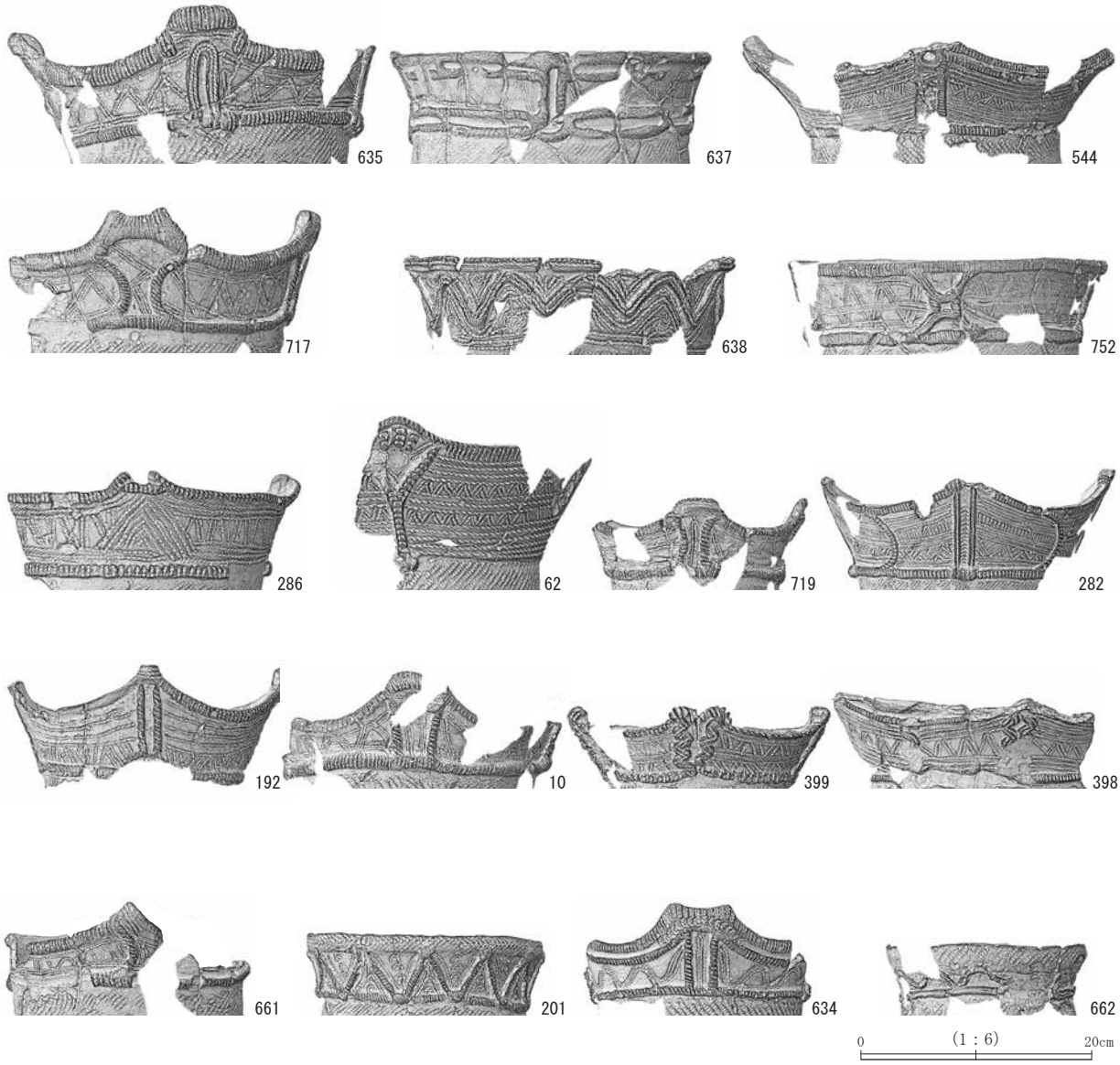
器形と口縁部文様帯については第219、220図のとおりである。深鉢の器形はa・b類が主体で、d・e類を僅かに組成する。口縁部は波状と平縁があり、前者の割合が高い。波状口縁は台形、M字状、棒状、小波状などが認められるが、台形、M字状が主体である。側面圧痕は鋸歯状、Ｘ字状、矢羽根状が横

円筒上層ａ２式（1）



第219図　型式別土器集成(2)

円筒上層ａ２式（2）



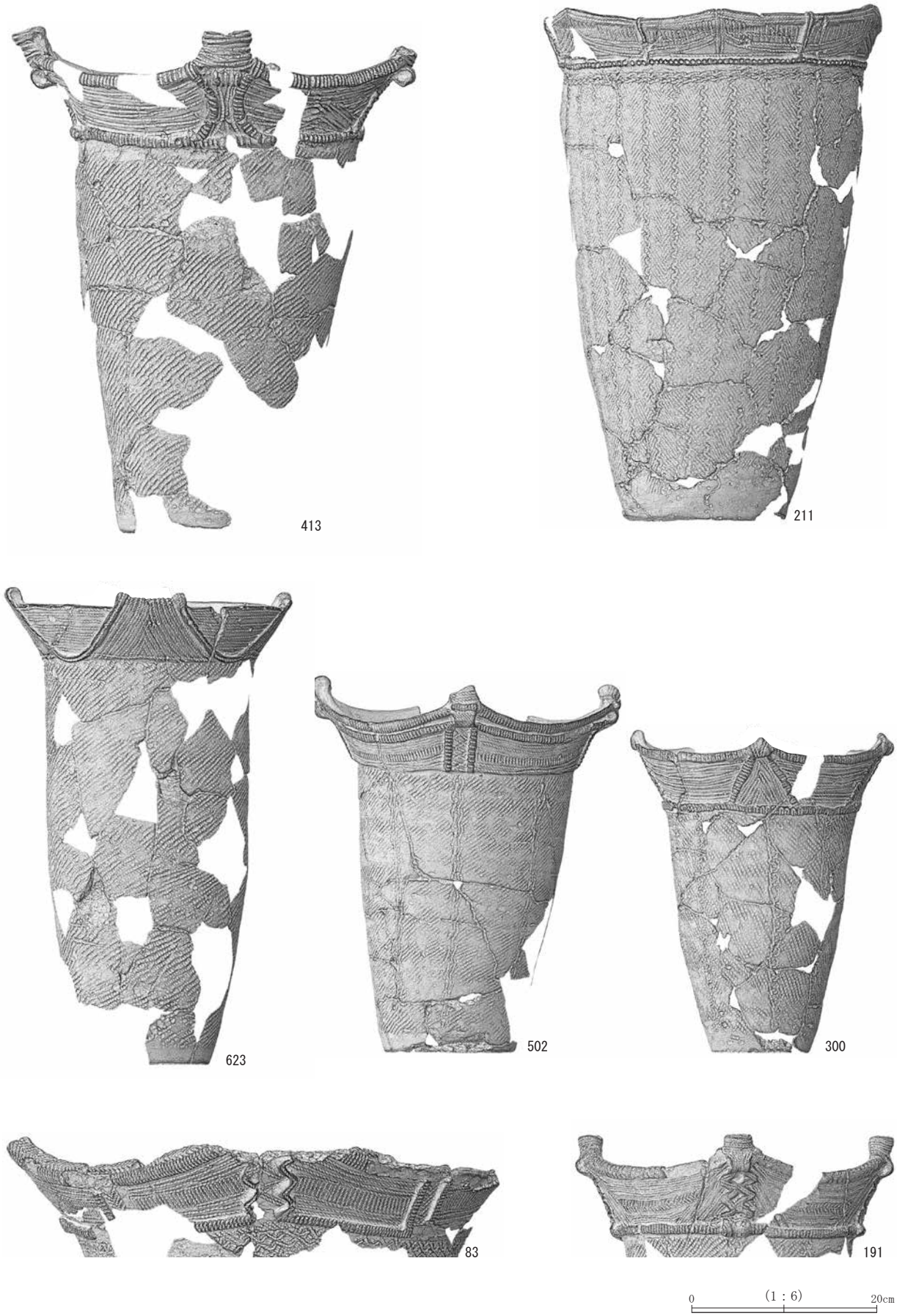
第220図　型式別土器集成(3)

走するものである。この鋸歯状の中には複数条の斜位を施して形成するものも認められる(282、544など)。隆帯は縦・横位を主体に、Ｃ・Ｕ字状、鋸歯状、弧状などを組み合わせている。また、体部との境に横位隆帯を施し、その下方には弧状隆帯を付す例が僅かながら存在している(569、636など)。貼付は方形、円形、橋状、環状が施される。工具痕は棒状工具による鋸歯状沈線(第230図382)が認められるものの、他型式と比べて割合が低い。さらに、上記の文様により複雑な文様帯を形成するものが僅かながら確認されている(第228図下)。

[円筒上層ａ1式]捨て場に該当する各グリッドのⅢ-Ⅳa・b層から出土している。その中でもグリッド１・４・７Ⅲ-Ⅳb層が主体である。出土量は下層ｄ2式に次いで多い。器種は深鉢である。

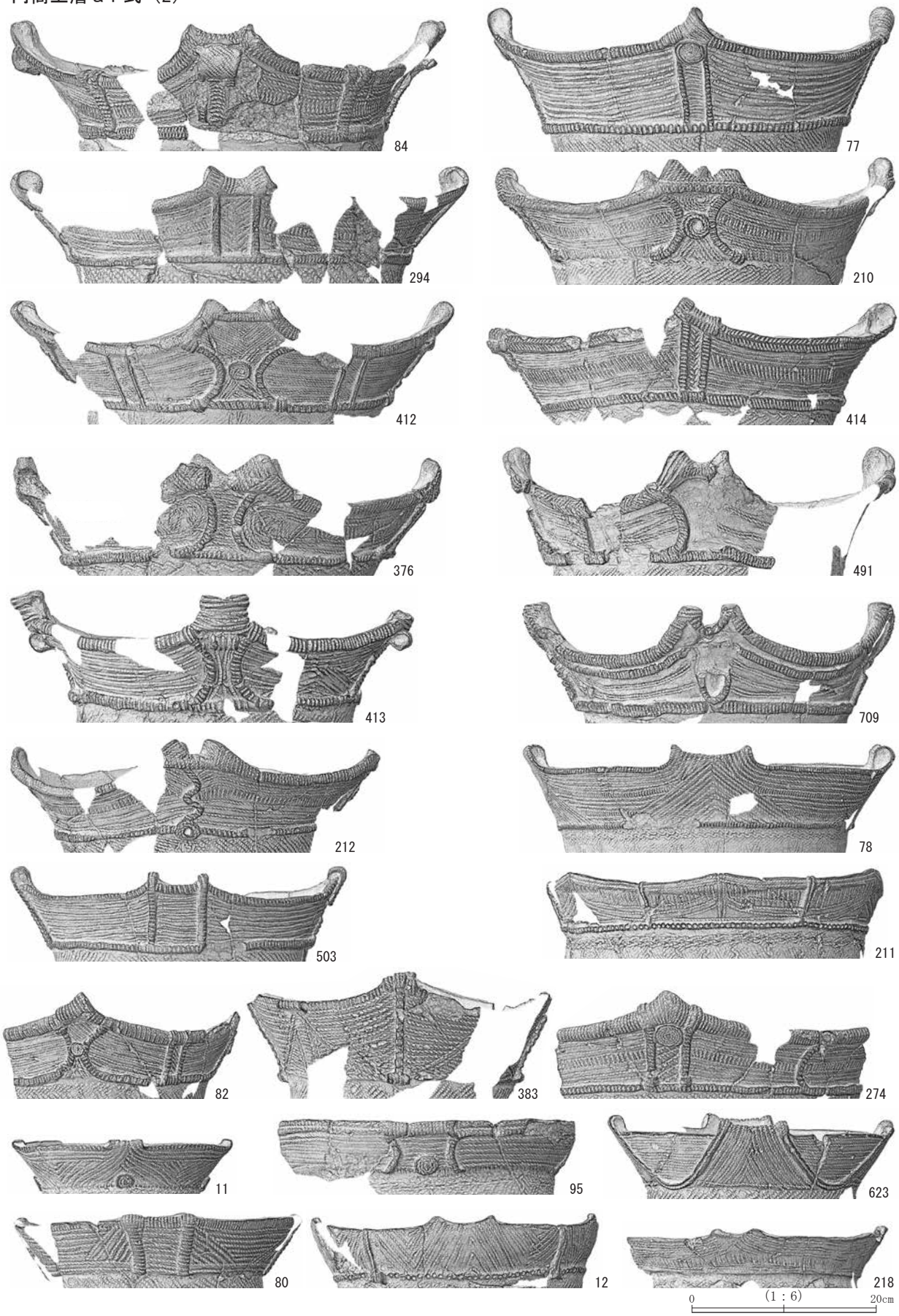
器形と口縁部文様帯については第221～223図のとおりである。深鉢の器形はa・b類が主体で、d・f類が組成する。口縁部は波状と平縁があり、前者の割合が高い。波状口縁は山形、山形(片欠)、台形、棒状、M字状などが認められるが、山形、台形、M字状が主体である。また、山形の中には小規模な

円筒上層ａ１式（1）



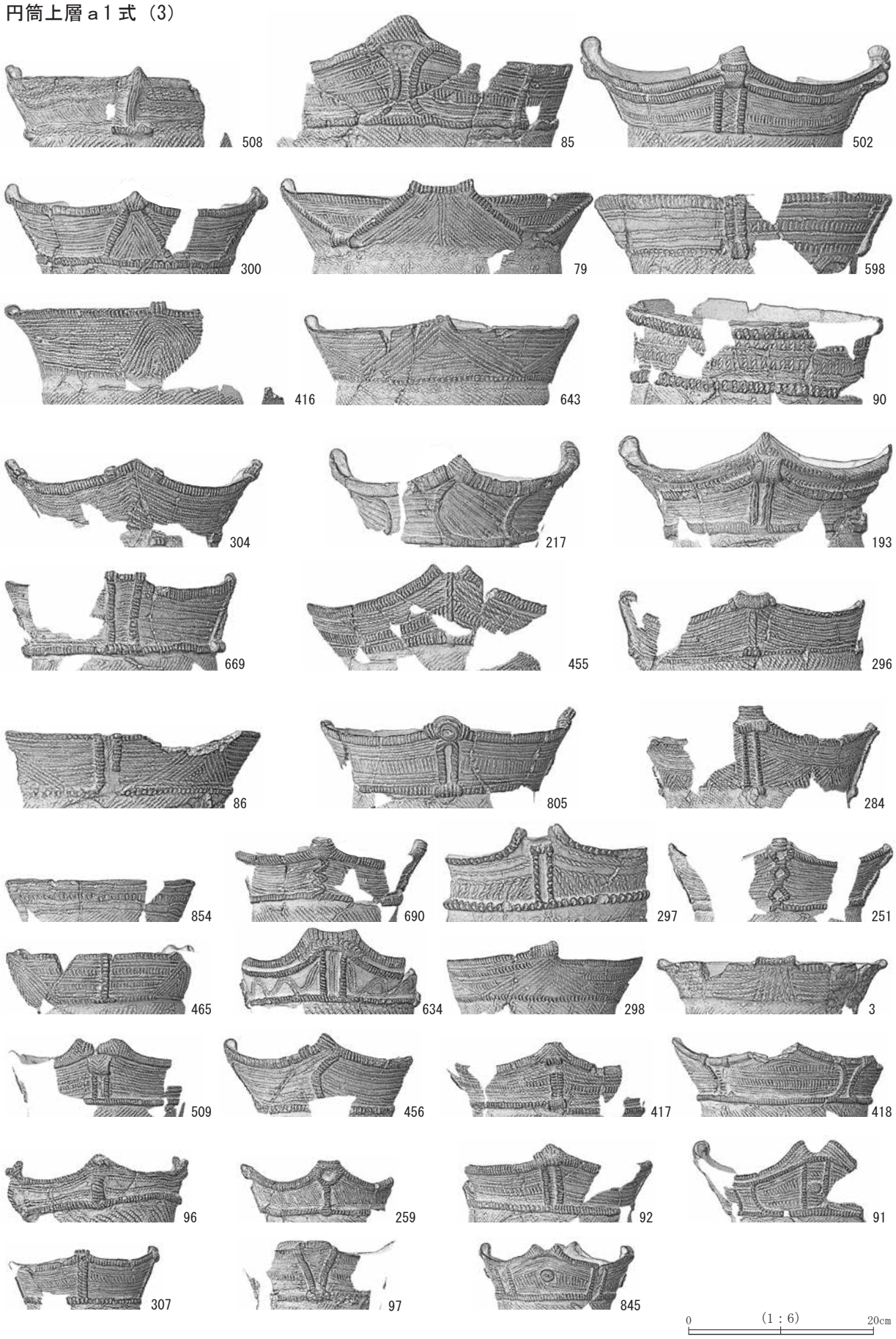
第221図　型式別土器集成(4)

円筒上層ａ１式（2）



第222図　型式別土器集成(5)

円筒上層ａ１式（3）

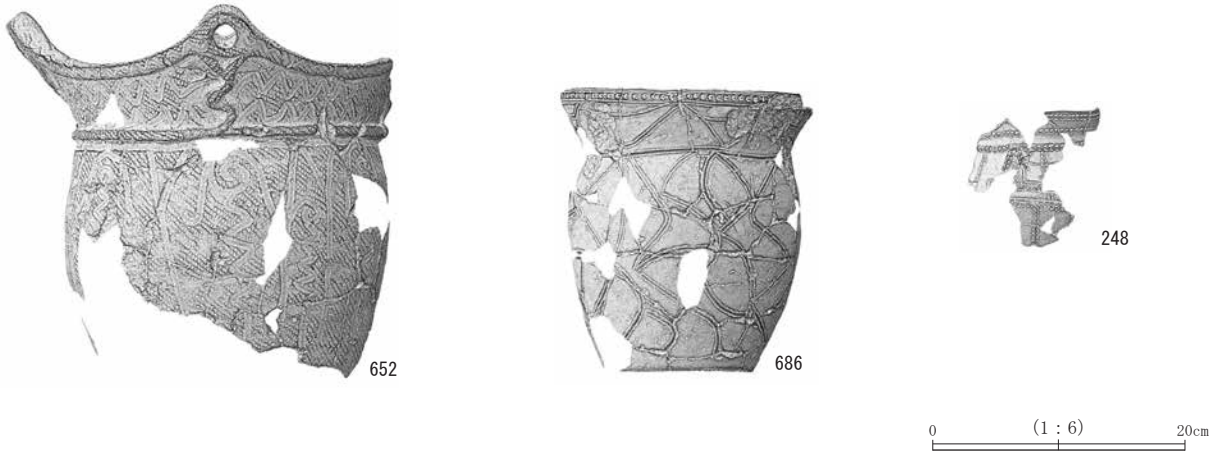


第223図　型式別土器集成(6)

円筒下層ｄ2式

第224図　型式別土器集成(7)

異系統



第225図　型式別土器集成(8)

凹凸を伴う波頂部が形成されるものが含まれる(第227中)。側面圧痕は縦・横・斜位などが主に施される。また、斜位により三角形状の文様を形成するものが認められる(78、623など)。隆帯は縦・横位を主体に、斜位やC字状などを組み合わせている。貼付は方形、円形、橋状、環状が施される。中でも円形貼付は２条のC字状隆帯などの間に施される例が多く存在している(210、412など)。工具痕は棒状・篦状工具による刺突列、半截竹管状工具による沈線や刺突列などが認められる。これらの工具の使用は他型式と比べると割合が高い(第230図)。さらに、本型式は下層ｄ2式の文様帯と同一構成となるもの(96、456など)が存在するが、それらとの区分には口縁部の厚みと折り返す点を用いている。

[円筒下層ｄ2式]捨て場に該当する各グリッドのⅢ-Ⅳa・b層から出土している。その中でもグリッド１Ⅲ-Ⅳb層が主体である。出土量は確認できた型式の中で最も多い。器種は深鉢である。

器形と口縁部文様帯については第224図のとおりである。深鉢の器形はa・b類が主体で、c・ｅ類を僅かに組成する。口縁部は波状と平縁があり、後者の割合が高い。波状口縁には山形、台形、M字状などが認められる。これらの中には小起伏のものも存在している(19、159、349など)。側面圧痕は主に横位が施される。隆帯は縦・横位を主体に、斜位などを組み合わせている。貼付は円形や方形が施される。工具痕は篦状や棒状工具による刺突列が認められる(第230図下)。これらの中で隆帯と貼付は他型式と比べて割合は低い。

[異系統土器]３点を確認している。グリッド２・10などのⅢa・Ⅲ-Ⅳa層から出土したものである(第225図)。これらの時期は捨て場の主体時期よりは後出するものと考えられる。652は篦状工具により鋸歯状と渦巻状などのナデ消し、686は半截竹管状工具により刺突列と平行沈線、248は半截竹管状工具により押引沈線が施される。いずれも口縁部から体部にかけて文様が認められており、上記の土器とは異なる文様構成にある。これらは宮城県小梁川遺跡(宮城県教育委員会1986)などで確認された大木７a～b式に比定されるものと類似していることから、それらと同時期に相当するものと思われる。

[その他]ここでは型式ごとに口縁部形状と文様帯を構成する各文様を抽出し、それらの様相をまとめていきたい。

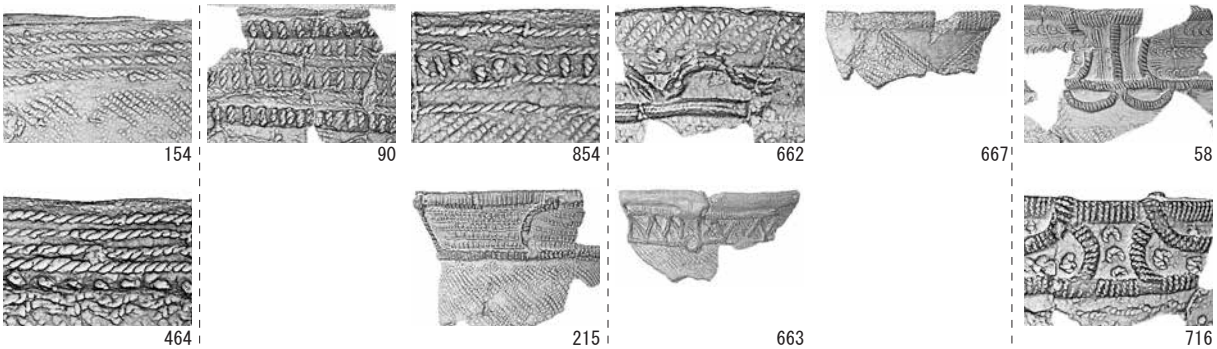
口縁部は平縁と波状があり、後者には複数の形状が認められている(第226、227図)。

平縁：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。下層ｄ2式が主体であり、それ以降は減少する。ただし、上層ｂ式になると僅かに増加する。
山形：下層ｄ2式から上層ａ2式で確認している。上層ａ1式が主体であり、その前後は少なく、さらに上層ｂ式では僅かとなる。下層ｄ2式の中には小起伏のもの、上層ａ1式の中には山形(特殊)に見られる小規模の凹凸により波頂部が形成されているものなどが認められる(第227図)。
山形(片欠)：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体であり、その前後は減少する。また、M字状の口縁部に用いられるようになる。
M字状：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1・2式が主体であり、その前後は減少する。下層ｄ2式の中には小起伏のものが存在している。
棒状:上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体であり､それ以降は減少する。ただし、他と比べると点数が少なく判然としない形状である。
台形：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。下層ｄ2式は少なく、それ以降は増加する。ただし、主体時期は判然としない。下層ｄ2式の中には小起伏のものが存在している。
小波状：上層ａ2・ｂ式で確認している。上層ａ2式が主体であり、それ以降は減少する。ただし、他と比べると点数が少なく判然としない形状である。
　文様は隆帯、貼付、側面圧痕、工具痕が認められており、文様ごとにまとめていく。
　隆帯は縦・横・斜位、Ｃ・Ｕ・Ｙ字状、鋸歯状、弧状などがある(第227、228図)。
縦位:下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。主に波頂部直下に施される。これは縦位側面圧痕(350、第50図161)から派生したものと想定される。
横位：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。口縁部文様帯と体部との境に施される。これは縦位側面圧痕(346)や工具による刺突列(650)などで区分したことから派生したものと想定される。
斜位：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体である。下層ｄ2式においてM字状の波頂部直下に施される。それ以降は斜位側面圧痕で形成された三角形状の文様を区画するために施されるようになる(790)。
Ｃ字状：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。波頂部直下に施される。これらの中には２条を組合わせＸ字状に類似した文様の間に、円形貼付を付す例が多く認められる。
鋸歯状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。これらの中には縦・横方向に施される例が認められる。前者は上層ａ1式が主体で波頂部直下に、後者は上層ａ2式が主体で口縁部と平行するように施される。これは鋸歯状側面圧痕から派生したものと想定される(109)。
Ｕ・Ｙ字状：上層ａ1・2式で確認している。波頂部直下に施されるものの、他とは異なり点数も少なく判然としないものである。
弧状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。型式によって施文方法が異なる。上層ａ1式では口縁部文様帯において単独で施されるものの、上層ａ2・ｂ式では口縁部文様帯だけでなく横位隆帯の下方の体部にそれと平行して連弧状に施されるようになる。
渦巻状:上層ａ式で確認している。波頂部直下に施されるものが多い中で、内外面に施されるもの(151など)も存在している。他とは異なり点数も少なく判然としないものである。
その他：上記の隆帯などを複数を組み合わせて施されるものが認められる。上層ａ1式から上層ｂ式で確認しているが、中でも上層ａ2式において最も複雑な文様が形成されている(第228図下)。
　貼付は円形、方形、橋状、環状などがある(第229図)。
円形：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体である。波頂部直下に施されており、

口縁部形状

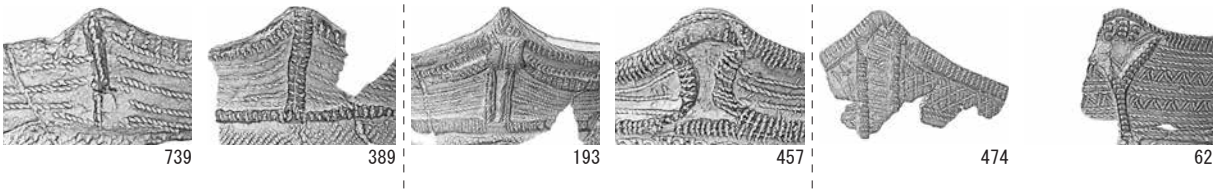
平縁

下層 d2 式　上層 a1 式　上層 a2 式　上層 b 式



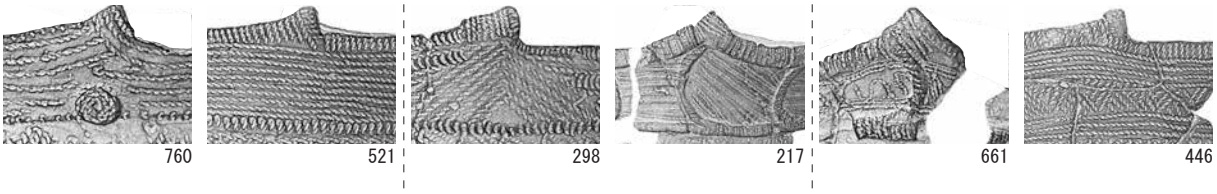
山形

下層 d2 式　上層 a1 式　上層 a2 式



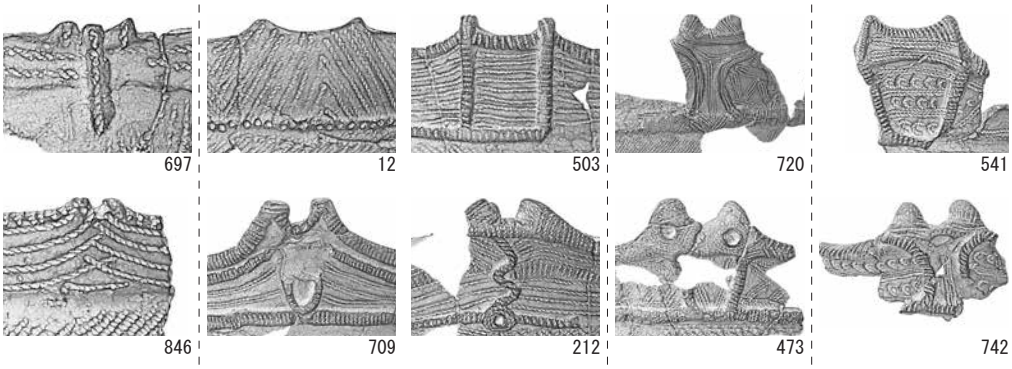
山形（片欠）

下層 d2 式　上層 a1 式　上層 a2 式



M字

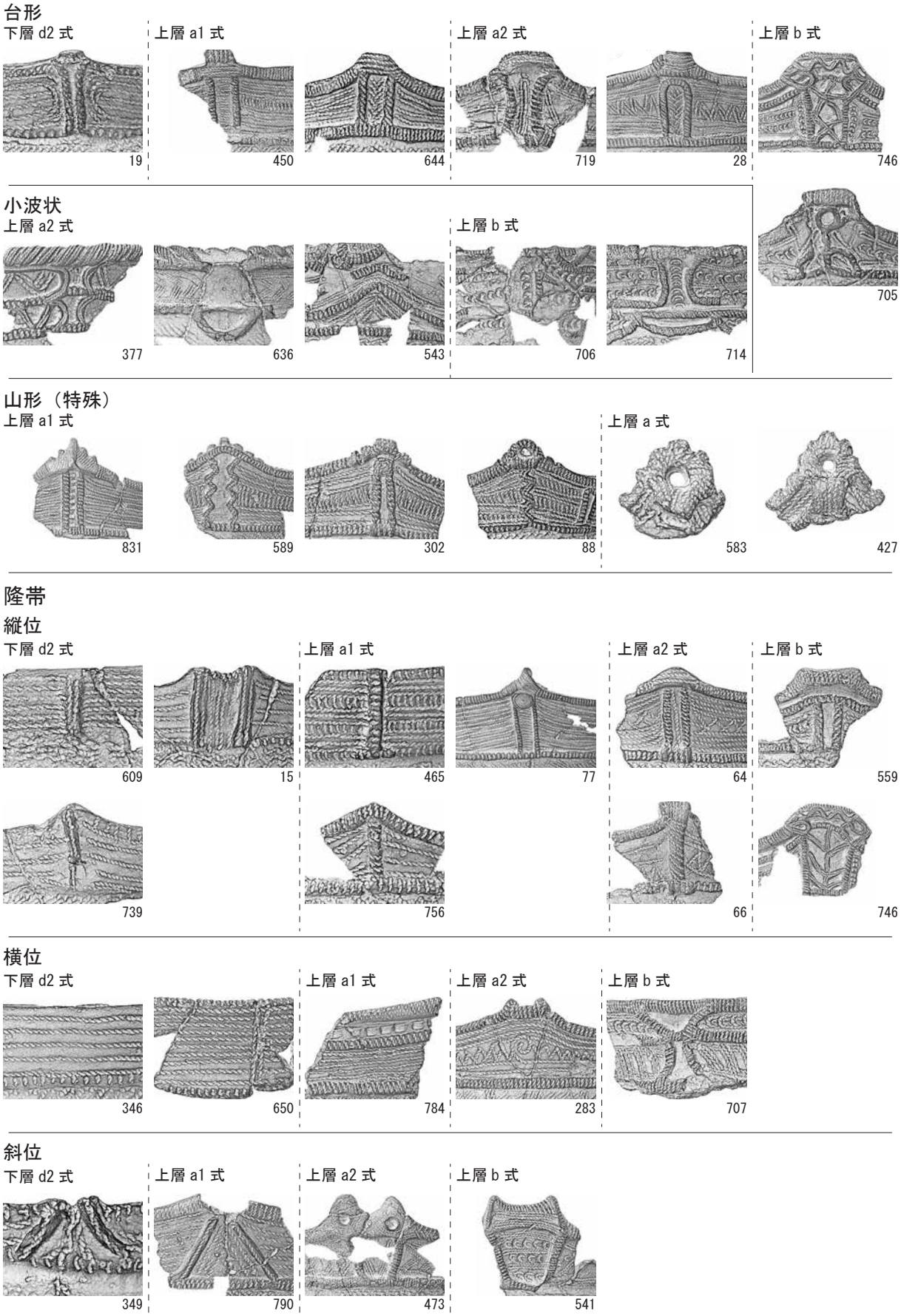
下層 d2 式　上層 a1 式　上層 a2 式　上層 b 式



棒状

上層 a1 式　上層 a2 式　上層 b 式

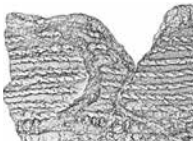
第226図　文様別集成(1)



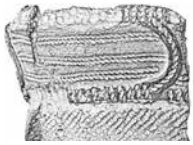
第227図　文様別集成(2)

C字状

下層 d2 式


680

上層 a1 式

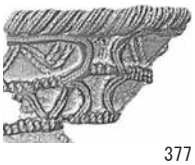

415

376

85

上層 a2 式

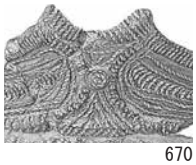
575


377

上層 b 式

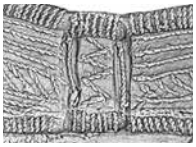
742

716


670

鋸歯状

上層 a1 式


109

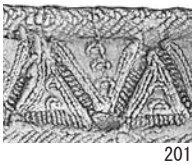
88

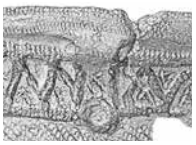
83

475

上層 a2 式

205


201


663

191

上層 b 式

746

U字状

上層 a1 式

805

上層 a2 式

635

Y字状

上層 a1 式

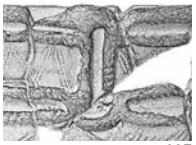
259

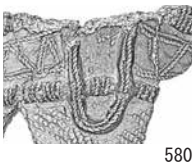
上層 a2 式

755

弧状

上層 a2 式


637


580

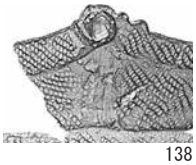
上層 b 式

58

渦巻状

上層 a 式

556


138

複合隆帯

上層 a1 式

106

287

上層 a2 式

205

488

722

上層 b 式

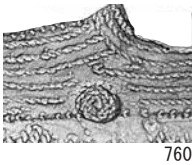
746

第228図　文様別集成(3)

貼付

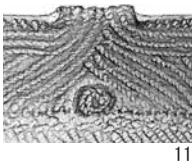
円形

下層 d2 式


760

上層 a1 式

845

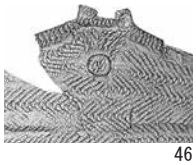

11

上層 a2 式

62

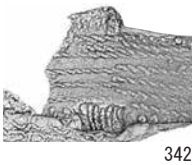
830

上層 a 式

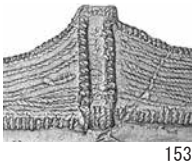

46

方形

下層 d2 式


342

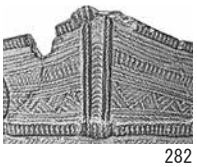
上層 a1 式


153

417

311

上層 a2 式


282

63

397

橋状

上層 a1 式

509

502

193

上層 a2 式

191

397

569

環状

上層 a1 式

212

上層 a2 式

718

578

401

上層 b 式

705

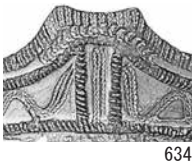
側面圧痕

C字状

上層 a1 式

222

上層 a2 式


634

572

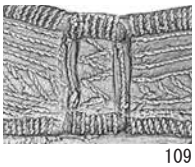
上層 b 式

714

394

鋸歯状

上層 a1 式

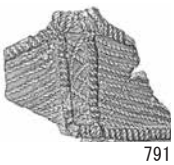

109

上層 a2 式

283

X字状

上層 a1 式

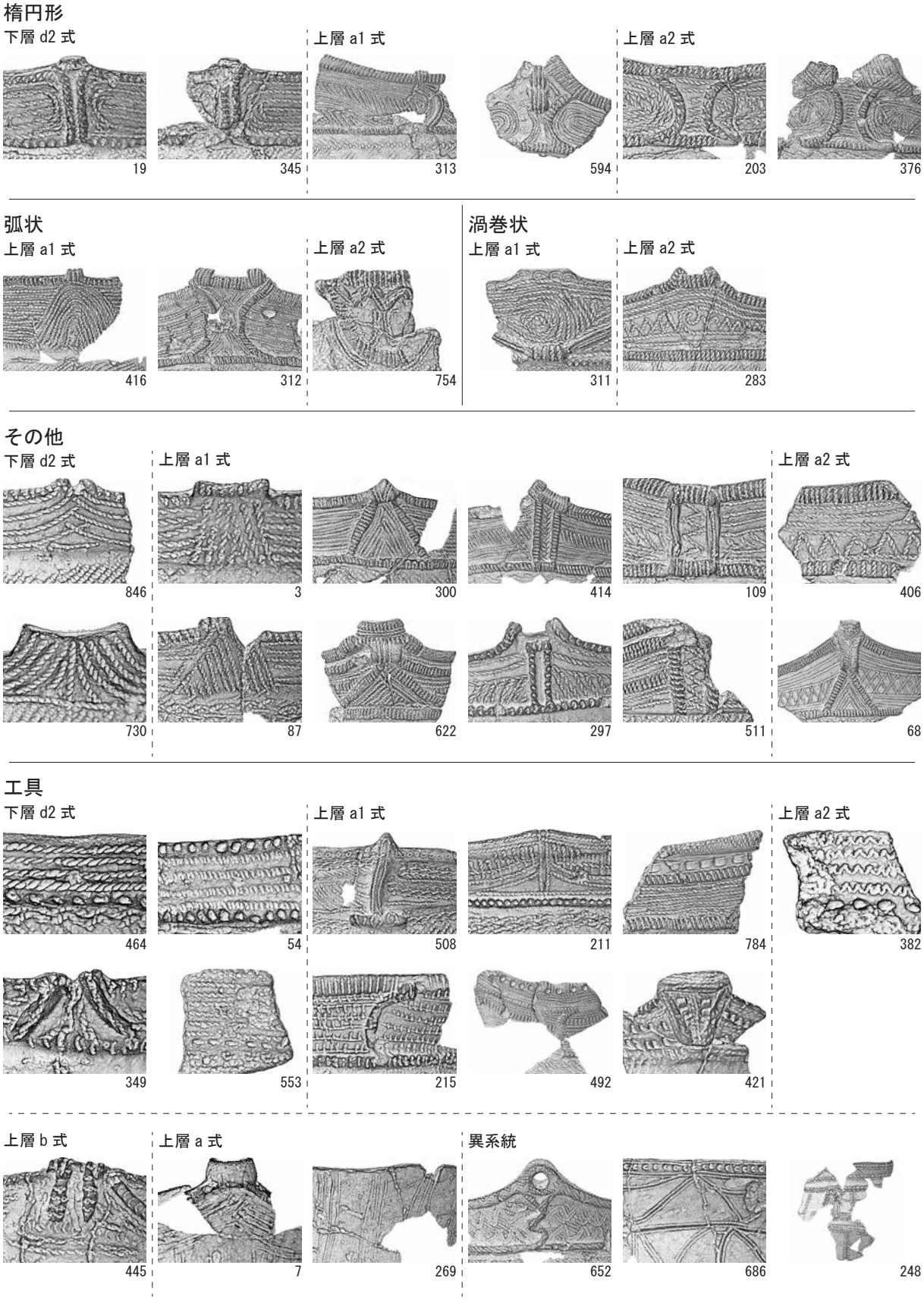

791

上層 a2 式

68

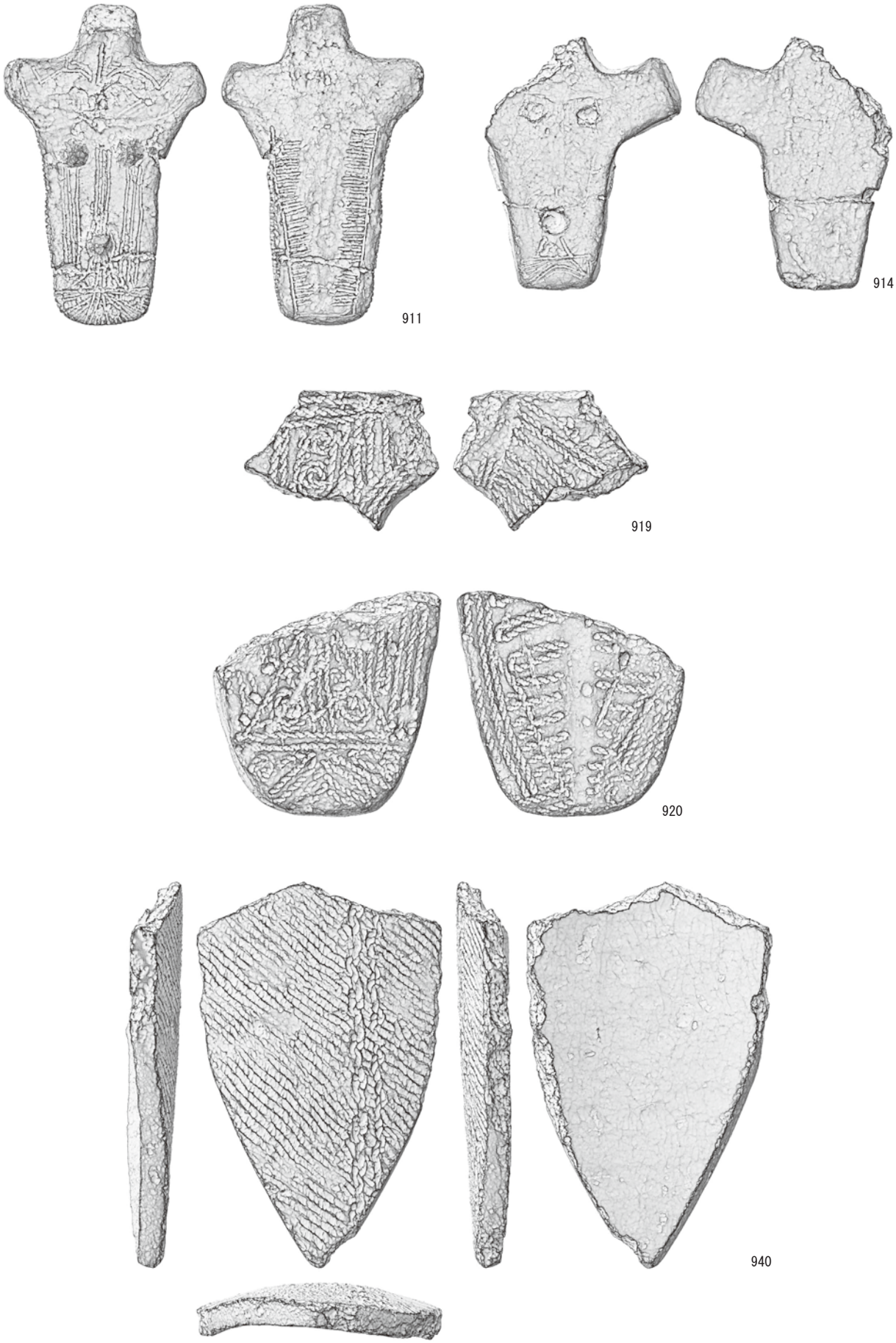
64

第229図　文様別集成(4)



第230図　文様別集成(5)

２条のＣ字状隆帯と組み合わせているものが多く認められる。
方形：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体である。波頂部直下に施されており、縦位隆帯と組み合わせているものが多く認められる。
橋状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1式が主体である。波頂部直下に施されており、縦位隆帯と組み合わせているものが多く認められる。
環状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。上層ａ1・2式が主体である。波頂部直下に施されるが、点数が少なく判然としないものである。
　側面圧痕は縦・横・斜位、Ｃ・Ｘ字状、鋸歯状、楕円形、弧状、渦巻状などがある。縦・横位は基本的に各型式で認められることから、それ以外についてまとめていく（第229、230図）。
Ｃ字状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。上層ｂ式が主体となるが、それ以前にも僅かながら認められる。特にａ1式の中には判別し難いものも含まれる（222、第76図311、第128図670など）。これらは主に横走するものだが、縦走のみで構成されるもの（第57図201など）も存在している。また、中には半截竹管状工具による刺突で代用している例が認められる（第230図445）。
鋸歯状：下層ｄ2式から上層ａ2式で確認している。上層ａ2式が主体である。これらは縦・横方向に施される。上層ａ1式では縦方向を基本とするが、それ以降は横方向へと展開していく。横走する際には１段だけでなく、複数段に及ぶもの（第35図62など）も認められる。また、文様は１～３条で形成されることが多い中で、複数条の斜位によって形成されるものも認められる（第220図544など）。
Ｘ字状：上層ａ2式で確認している。基本的に横走するものである。斜位から派生したものと想定される。ただし、上層ａ1式の波頂部直下には横位側面圧痕を交差させて類似した文様（第104図502など）が施されることを確認しているが、今回はそれらを含めていない。
矢羽根状：上層ａ2式で確認している。基本的に横走するものである（第219図574など）。斜位から派生したものと想定される。
楕円形：下層ｄ2式から上層ａ2式で確認している。横位など他の側面圧痕を囲うように形成されるが、点数も少なく判然としない文様である。
弧状：上層ａ1式から上層ｂ式で確認している。416については斜位で形成する三角形状の文様から派生したものと想定されるが、点数も少なく判然としない文様である。
渦巻状：上層ａ1・2式で確認している。点数も少なく判然としない文様である。
その他：斜位の形成過程が想定されることから、その変遷を辿ってみたい。下層ｄ2式において横位が波頂部へと収斂することが発端と考えられる（846など）。それらは上層ａ1式の斜位を用いた三角形状となる文様（３など）へと変化し、その後には縦位と同じように用いられる（297など）。さらに、それらは上層ａ1式の鋸歯状（縦）（109など）へと派生したものと考えられる。そして、上層ａ2式の鋸歯状（横）、矢羽根状（第219図574）、Ｘ字状（68など）へと展開したものと想定される。
　工具による施文は棒・篦状工具による刺突列、半截竹管状工具による沈線と刺突列、竹管状工具による刺突列などがある（第230図下）。以下には主な工具ごとにまとめていく。
棒状工具：下層ｄ2式から上層ｂ式で確認している。下層ｄ2式と上層ａ1式では円形刺突列（464、211など）、上層ａ2式では鋸歯状沈線（382）が施される。
篦状工具：下層ｄ2式、上層ａ1式、異系統土器で確認している。下層ｄ2式と上層ａ1式では刺突列（784など）、異系統土器ではナデ消し（652）が施される。
半截竹管状工具：下層ｄ2式、上層ａ1式、上層ｂ式、異系統土器で確認している。下層ｄ2式では平行沈線（第142図764）や刺突列（349）、上層ａ1式では短い平行沈線（215など）、上層ｂ式では刺突列



第231図　出土土偶・土製品集成(1)

(445)、異系統土器では平行沈線・刺突列(686)、押引沈線文(248)などが施される。

土偶：板状土偶32点を確認している(第231図)。いずれも破損しているが、略完形に復元できたもの(911)も認められる。また、接合したものや非接合ながらも同一個体となるものが複数点確認されている。これらは表裏面に異なる施文方法で文様が描かれている。文様には工具により沈線が施されるもの(911、914など)、縄文圧痕が施されるもの(919、920など)、それが施されないもの(第163図932)が認められる。主体は工具により沈線が施されるものである。また、これらの中には乳房と腹部が膨らむもの(911)、乳房は剥落しているが膨らみ腹部が凹むもの(914)、腹部が凹むもの(932)などが認められる。

土製品：４点を確認している。ここでは短冊状土製品についてまとめていく(第231図)。940は土器片の縁辺に研磨を施し、Ｖ字状に整形されたものである。これは完成形状が細長い短冊状となるものである。本資料は上半部が完成形状から大きく乖離していることから未製品もしくは失敗品と考えられる。年代は円筒下層ｄ式～上層ｂ式の期間で捉えられており、捨て場の形成時期と一致するものである(青森県教育委員会2017)。

石器：器種ごとに記載していく。これらの時期は土器と同様、円筒下層ｄ2式から上層ｂ式が主体である。

［石鏃］75点を確認している(第232図)。平面形状により５分類しており、有茎鏃のⅠ類が主体である。Ⅰ類はa・b類で占められている。Ⅱ類は点数が少ないことから判然としないものの、平面形状がⅠ類と類似することから、それらの失敗品の可能性も残される。Ⅲ類はb類で占められている。これらは概ね欠損品もしくは失敗品であるが、アスファルトが付着した完形品の状態で廃棄されたもの(976など)も僅かに認められる。石器材料は頁岩、赤色頁岩などである。

分類と出土層位を合わせてみていくと、Ⅳ類以外の各類は主にⅢ-Ⅳa・b層からの出土である。このことから捨て場の形成時期にはⅠ～Ⅲ類が存在していたと考えられる。

［尖頭器］10点を確認している(第232図)。器体は両面加工が主体となるが、周縁加工(1009)も僅かに存在している。完形品は1001、1002などで、それ以外は欠損品である。これらの中には有茎となるものも認められる(1002)。石器材料は前者が頁岩、後者がホルンフェルスである。

［石篦］８点を確認している(第232図)。平面形状は楕円形で、両面加工に施されたものである。これらの中には刃部再生の結果、法量が小規模となったもの(1016など)、それとは反対に刃部再生が施されずに主要剥離面を残すもの(1013)が認められる。石器材料は頁岩、玉随などである。

［石匙］４点を確認している。平面形状により３分類しており、１点ずつ認められる。剥片石器の中でも組成比率が最も低く、その様相については判然としない。石器材料は頁岩、流紋岩である。

［不定形石器］54点を確認している。刃部形状により分類しており、縁辺に刃部が形成されるⅡ類が主体となる。また、Ⅰ類の中には平面形状が円形となるもの(1023)が認められる。

［楔形石器］47点を確認している。両極剥離の形成箇所により分類しており、剥離が一対となるⅠ類が多い傾向にある。長さが４cm以下のものが主体であり、規模は小型の石核と概ね一致している。これらから剥離された剥片は、その規模から石鏃の素材として利用されたものと考えられる。石器材料は頁岩が主体である。

［石核］16点を確認している。打面を上下左右に設定し、小型剥片を剥離している。長さは３～６cmに収まることから、石鏃の素材剥片を剥離していたと考えられる。この点については楔形石器と同様の利用方法が想定される。石器材料は頁岩が主体である。

［磨製石斧］201点を確認している(第233図)。完成に至るまでの製作段階を５段階に分類している。

ここでは段階ごとにまとめていく。本遺跡では５段階の完成品以外を失敗品(阿部2000)として捉えている。石器材料は花崗閃緑岩、ホルンフェルス、デイサイトなどである。

１段階：片面もしくは両面に対して剥離が施される資料であり、75点を確認している。前者の片面剥離とは剥離面と対となる面に自然面を残したまま２段階へと移行するものである(1070ほか)。これらの中には両面に自然面を残したまま両側縁に対してのみ剥離を行う資料が存在している(1079、1088)。また、後者は従来から把握されている工程により得られたものである(1072ほか)。両者は石器材料が異なり、前者が花崗閃緑岩、ホルンフェルス、デイサイト、後者がホルンフェルスを利用する傾向にある。これらの中でホルンフェルスは、全体の６割が本段階に含まれることから、破損しやすい石器材料であったと想定される。

２段階：剥離と敲打整形が施される資料であり、19点を確認している。本段階には自然面を残したまま敲打整形へと移行している資料が多数認められる。

３段階：敲打整形が施される資料であり、68点を確認している。器体は敲打痕に覆れており、本段階以降は従来から把握されている工程を辿っていく。これらの中には刃部付近に自然面を残すものも認められる(1105など)。

４段階：研磨整形が施される資料であり、21点を確認している。ただし、これらの中には依然として自然面を残したまま研磨整形を施しているものが少なからず認められる(115など)。

５段階：完成品であり、18点を確認している。その多くが欠損品である。中でも1122 ～ 1124（第187図)などは欠損後に加工が施され再利用したことが窺える資料である。

上記からは、自然面を残したまま敲打・研磨整形へと移行する工程と両面剥離を行う工程の存在が窺える。前者は簡略化と捉えた工程(岩手県文化振興事業団2018、2019)、後者は従来から把握されている工程である(阿部1987、須原2013)。両工程は石器材料によって使い分けられていたことが想定される。

［敲磨器類］544点を確認している。これらの石器は敲石と磨石に区分し、さらに使用痕跡の形成箇所により細分している。敲石となるⅠ類はa・d類、磨石となるⅡ類はa類が、それぞれ主体をなしている。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、細粒斑糲岩、砂岩などである。分類の結果、Ⅰa・Ⅰd・Ⅲ類、Ⅰb・Ⅱb類との間に関係性が捉えられることから、ここではそれらにまとめていきたい。

Ⅰa・Ⅰd・Ⅲ類：これらの中で細粒斑糲岩が利用されている石器についてまとめていく(第233図)。

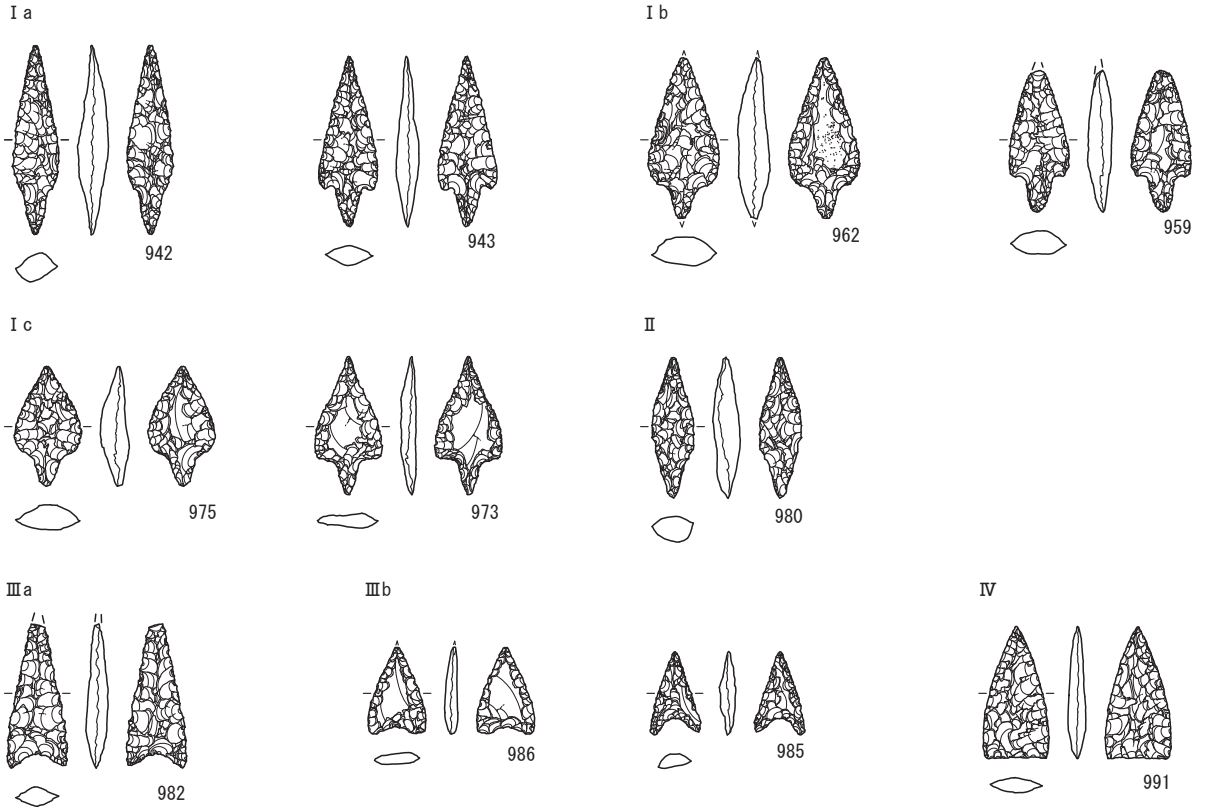
この細粒斑糲岩はⅠa・d類で多用されており、両類において主体をなしている。このⅠa・d類は連動し、最終的に多面体形状へと変形していくことが捉えられるものである。その過程では、Ⅰa類と礫片の点数の多さから移行できずに廃棄されたものが多数存在していたと想定される。

これらの多面体形状の敲石は、磨製石斧の製作に使用されたと捉えられていることから、本遺跡においても同様に多用されたものと考えられる(阿部1987、須原2013)。ただし、Ⅲ類(1267、1269、1270)に形成された磨痕が何れの工程に組み込まれていたかという点については判然としない。この細粒斑糲岩は他の石材と比べると比較的重量と硬度を有するため、磨製石斧製作に適した石器材料と認知していたことが想定される。

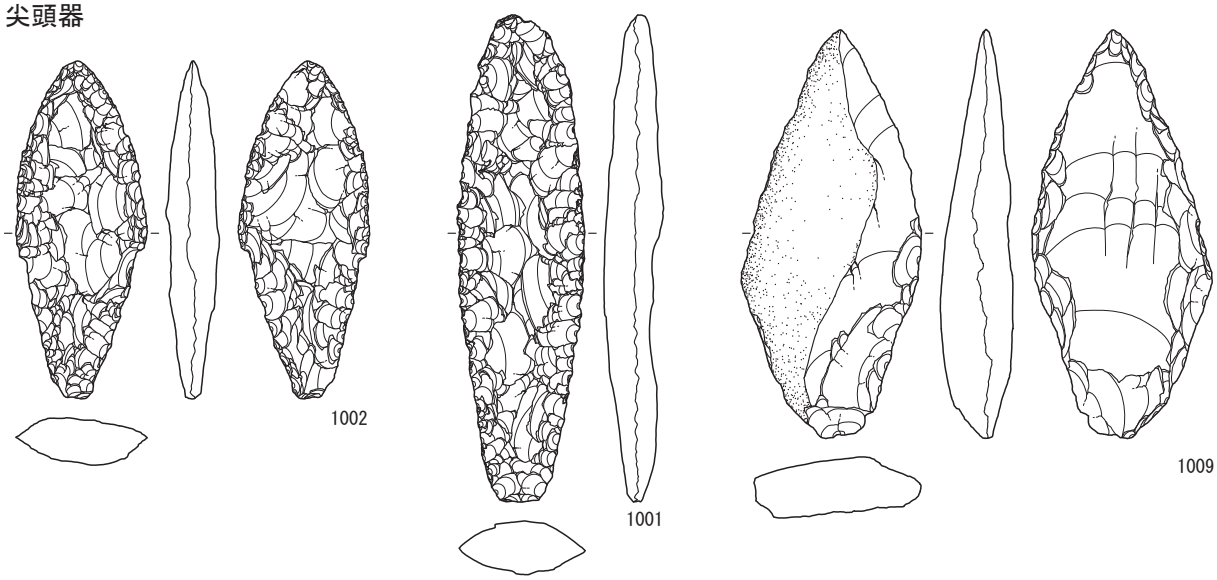
Ⅰb・Ⅱb類：これらの中で平面形状が半円状となる敲石と磨石についてまとめていく(第234図)。

各類は以下のとおりである。Ⅰb類には、①全周が剥離に覆われているもの(1161)、②敲打痕と対となる縁辺に自然面を残すもの(1164)がある。Ⅱb類には、①剥離が施されず縁辺に自然面を残すもの(1239、1241)、②剥離が施され、磨痕と対となる縁辺に自然面を残すもの(1251、1252)、③剥離が施され、全周が剥離に覆われているもの(1255、1260)、④剥離が施され、磨痕に直交する縁辺に対し

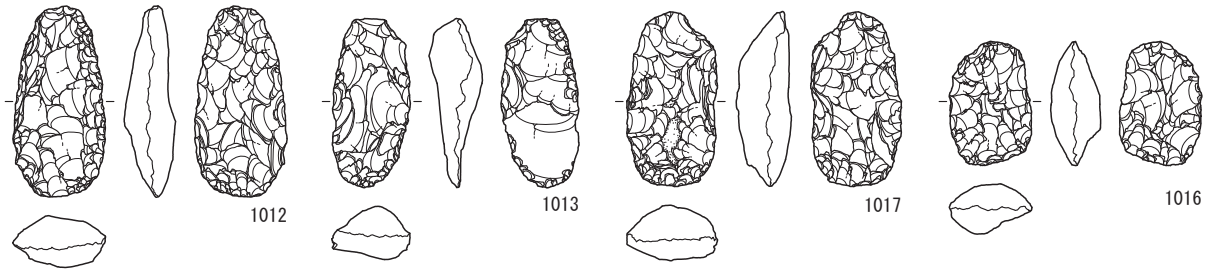
石鏃



尖頭器

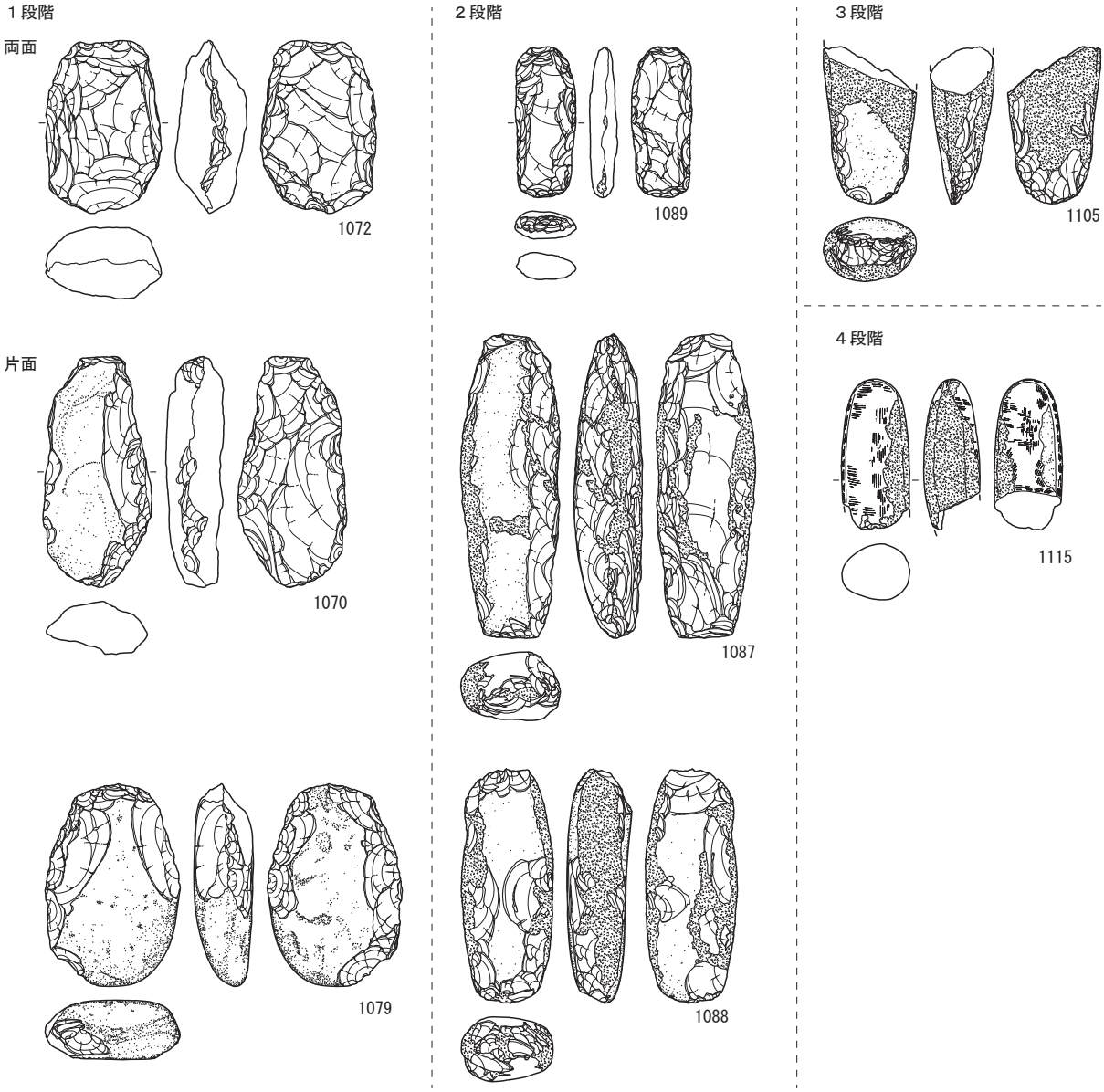


石箆

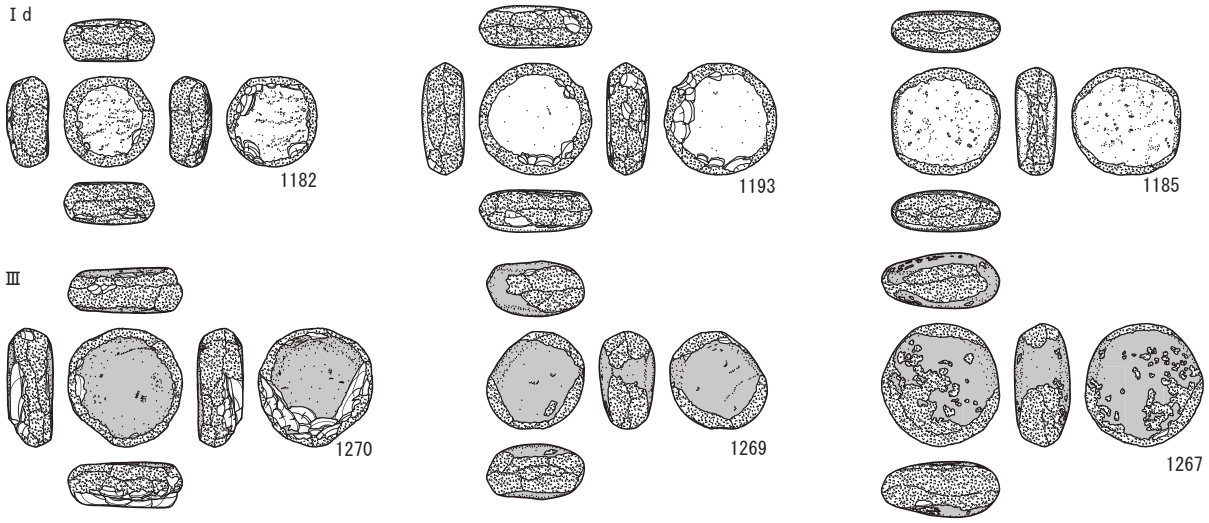


第232図　出土石器集成(1)

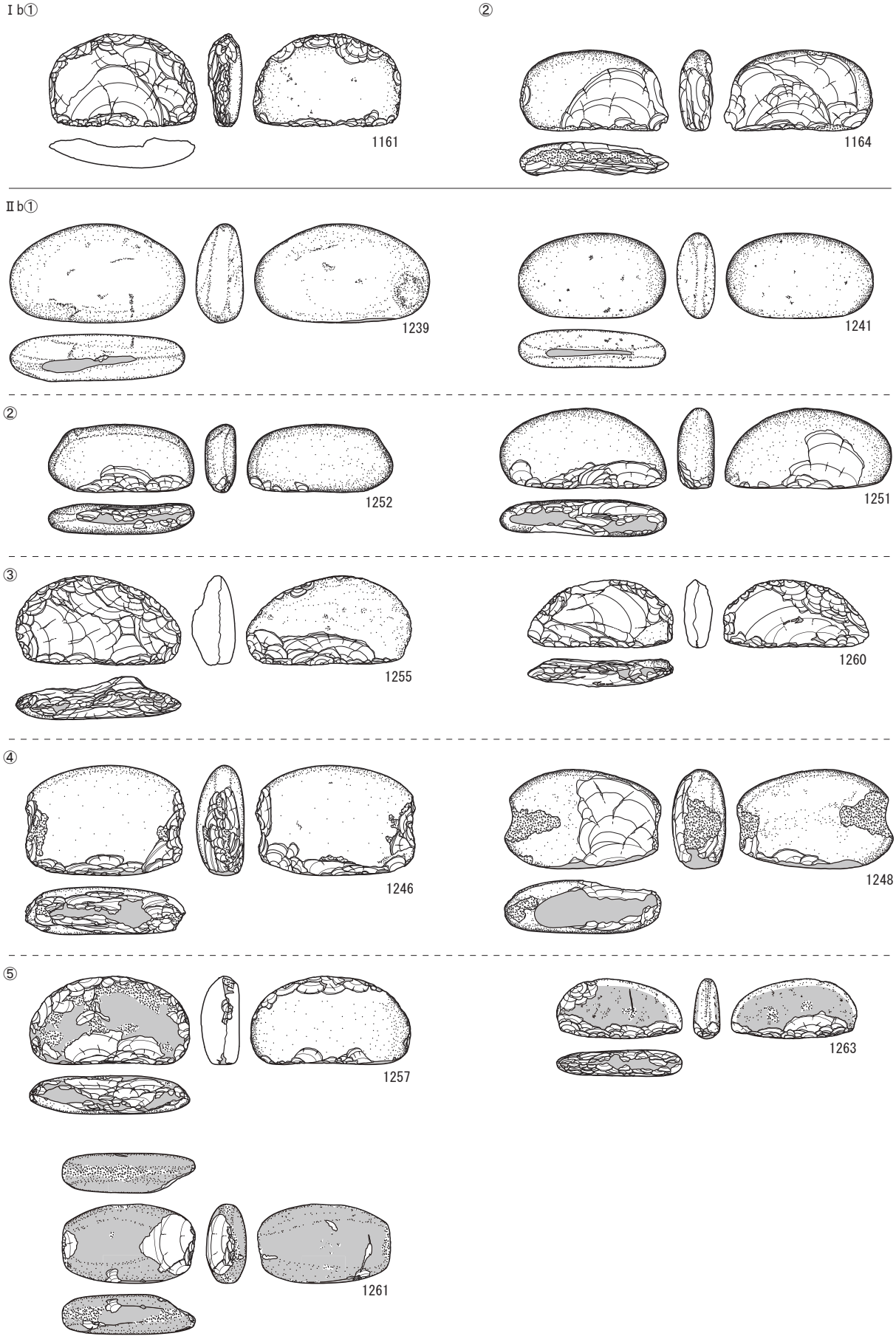
磨製石斧



敲磨器

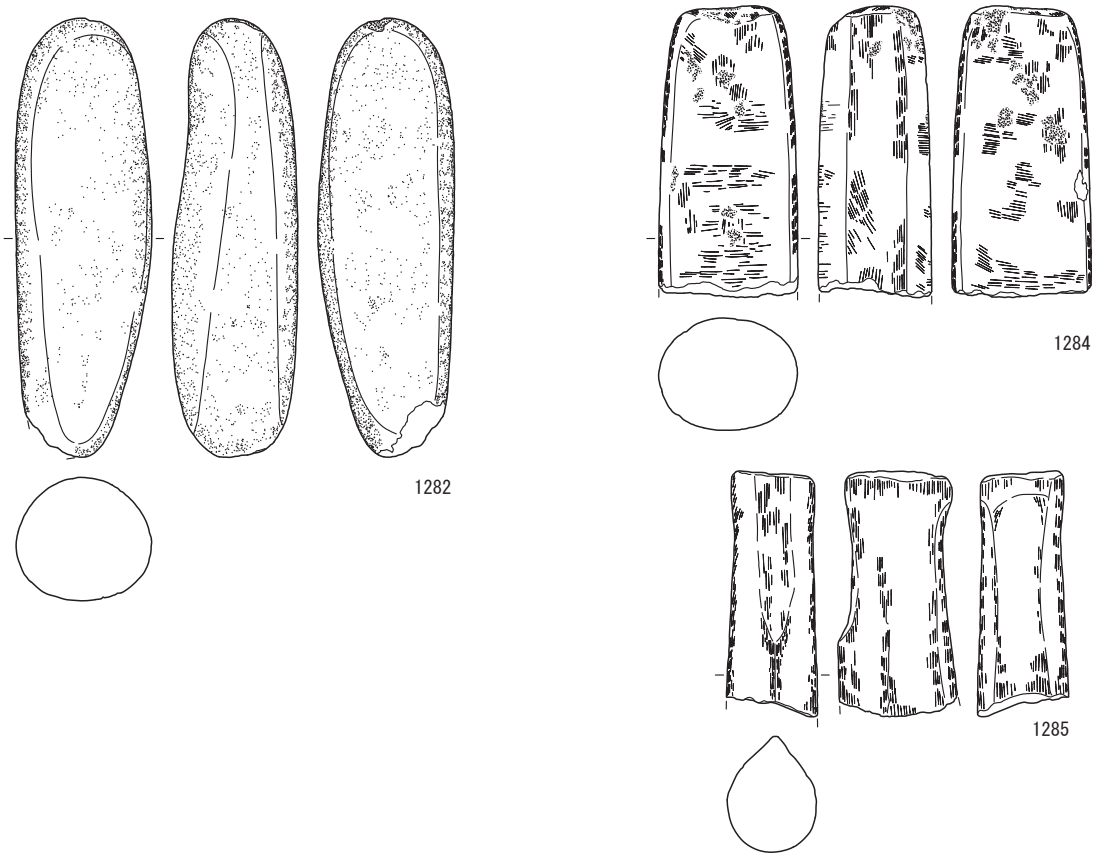


第233図　出土石器集成(2)



第234図　出土石器集成(3)

石棒



第235図　出土石棒集成

て抉入が施されるもの(1246、1248)、⑤剥離が施され、平坦面に敲打痕や磨痕などが形成されているもの(1257、1261、1263)がある。石器材料はデイサイト、細粒花崗閃緑岩、砂岩などである。

これらの名称については、Ⅰb類①・②が「半円状扁平打製石器」、Ⅱb類①が「磨石(特殊？)」、Ⅱb類②～⑤は茅野(2000)が示す「すり石」の範疇と捉えられるものである。これらの機能については古くから議論がなされているが、現段階においても判然としないままである。このような中で、Ⅰb類について上條(2014)が叩きつぶしなどの行為を想定している。また、Ⅱb類②～⑤について茅野(2000)が半円状扁平打製石器とは区分したうえで、磨痕が形成されていることを確認している。

このように半円状の敲石と磨石に区分したものの、両者は平面形状及び刃部の作出工程、石器材料が概ね類似していることが捉えられる。ただし、剥離が施されないⅡb類①は上記から除外できるものと思われる。この成果を茅野(2000)の見解と比較すると、同一形状の両者が組成する点では一致しているが、特定の石器材料に偏る傾向にないことが違いとして挙げられる。

上記から両石器の機能について検討していくと、Ⅰb類①・②とⅡb類②～⑤の平面形状や刃部形状・作出方法が概ね類似する点から、同一器種における複数作業の存在を想定できないだろうか。作業は縦方向と横方向の行為による工程が混在しつつ、それらが連動していたとするものである。その経過の中で最終的な作業行為が反映された結果が使用痕跡として表出したものと考えられる。ただし、このような見解については、点数も少なく判然としないうえに推測の域を出ないことから、今後の課題として挙げられる。

石製品：石棒４点と有孔石製品３点を確認している。ここでは石棒に限ってまとめていく(第235図)。石棒はいずれも欠損しているものだが、自然面に覆われ先端部に敲打痕を有する丸棒状のもの(1282)、

研磨により方柱状に整形されたもの(1284)と円柱状に整形されたもの(1285)がある。円柱状は端部が括れるように整形されており、断面形は滴状のものである。

2　自然科学分析について

本報告では放射性炭素年代(AMS測定)と琥珀分析を行っており、分析の目的と結果は以下のとおりである。

放射性炭素年代：捨て場の形成時期を特定することを目的とし、炭化材３点を分析している。これらはグリッド１・７・不明のⅢ-Ⅳb層から出土したものである。

その結果、4,460yrBP、4,510yrBP、4,450yrBPと比較的近似した年代値が得られている。これらの値は同時期と考えられる遺跡の年代値と概ね一致している。

琥珀分析：捨て場から出土した琥珀の産地を特定することを目的とし、２点を分析している。蛍光Ｘ線分析で同定を行い、岩手県山田町間木戸Ⅰ遺跡、岩手県洋野町鹿糠浜Ⅱ遺跡、岩手県久慈市・野田村、福島県いわき市、千葉県銚子市産の原石などと比較している。

その結果、本試料はいずれの産地とも異なる組成を示していることが明らかとなった。今後は比較試料を増やしていくことで、判然としない産地の特定を試みていきたい。

3　捨て場形成と土器型式

今回検出した捨て場が丘陵の北向き斜面に形成された遺構であることについては先述したとおりである。包含層は斜面下方(北西方向)へと堆積しており、それらと共に土器と石器が大量に廃棄されている状況が捉えられた。ここでは捨て場の形成と土器型式との関係性を把握していきたい。各グリッドの層位から出土した型式は第19表のとおりである。表では接合個体と非接合の口縁部片を同一単位で扱い、グリッドを跨がる土器については点数の多い方に振り分けている。この表は大凡の傾向を探るために作成したものであることを予め記載しておく。

調査した捨て場は下層ｄ2式から上層ｂ式の間で形成されたものと捉えることができる。これらの型式は調査区内外を含めた資料においても上記以外の型式が認められないこと、また埋設土器の型式とも一致することから、上限と下限となる型式は概ね特定できたものと思われる。調査区内の様相を各型式からみていくと、下層ｄ2式と上層ａ1式がⅢ-Ⅳb層において混在していること、上層ａ2式がⅢ-Ⅳa層の中で先端(北西側)へ向かうにつれて増加傾向にあること、上層ｂ式はⅢ-Ⅳa層において最終的に流入していることなどが窺える。しかしながら、このような成果の中で下層ｄ2式や上層ａ1式の主体時期となる地点や層位を把握できないという問題点を残している。この点については調査時にグリッドごとに取り上げたものの包含層であるⅢ-Ⅳb層を一括して把握した結果、下層ｄ2式と上層ａ1式を分離できないに至ったと考えられる。

年代は、グリッド１・７のⅢ-Ⅳb層において4,460yrBP、4,510yrBPと年代値が得られている。この成果は下層ｄ2式と上層ａ1式が混在するグリッドから得られたものであり、この年代値が上層ａ1式の年代を示すのであれば、他遺跡の成果と概ね整合しているものと思われる(小笠原2008)。

第19表　グリッド別型式出土一覧

グリッド	1			2						3	4		
層　位	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ-Ⅳb	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ-Ⅳb	Ⅲ-Ⅳc	Ⅳ	Ⅲa	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ-Ⅳb
円筒上層b式	6	9	7		3	5	1	2				2	
円筒上層a式	9	24	84	2	20	30	1	2	3		1	8	49
円筒上層a2式	8	12	51		11	12	1	2				3	31
円筒上層a1式	32	65	263		29	26	1	4				2	102
円筒下層d2式	42	73	266		36	44	4	3	2			1	81
不明	15	19	92		17	18	2	4	3	1		1	10

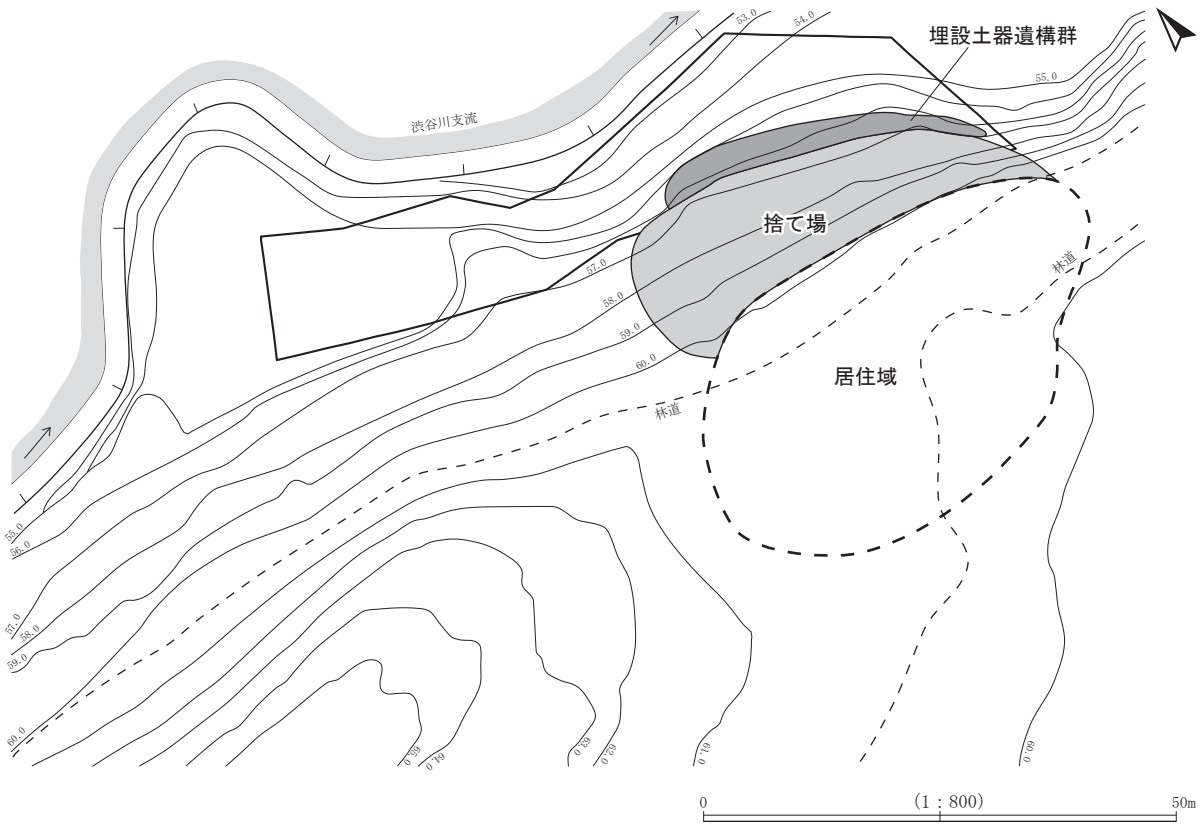
グリッド	5				6	7				8			
層　位	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ-Ⅳb	Ⅲ-Ⅳc	Ⅲa	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅲ-Ⅳb	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅳ
円筒上層b式	8	7	10				1	14	3		10	30	
円筒上層a式	3	8	13			3	3	7	38	3	26	69	
円筒上層a2式	8	15	8					19	30	2	19	41	
円筒上層a1式	6	16	32	3	2	1		12	87	2	49	149	1
円筒下層d2式	8	9	6	2		1	1	16	64	3	69	151	
不明		6	8	1	1		2	10	58	4	12	53	1

グリッド	9		10		11		12				13	
層　位	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅱ	Ⅲa	Ⅱ	Ⅱ～Ⅲa	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅱ	Ⅲa
円筒上層b式	1		5	16		1			6	4		1
円筒上層a式		5		46		3	1		3	11	1	6
円筒上層a2式	1	4	9	40		3			5	16	3	
円筒上層a1式	1	23	8	66		32	1		16	38	8	5
円筒下層d2式	1	32	6	65	3	35	2		23	51	3	18
不明		6		14	2	5		1	8	13		

グリッド	14	15	16				17		18	19		20	
層　位	Ⅱ	Ⅲa	Ⅱ	Ⅱ～Ⅲa	Ⅲa	Ⅲ-Ⅳa	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲa	Ⅱ	Ⅲa	Ⅱ	Ⅲa
円筒上層b式			1		7	3		1	2		2		
円筒上層a式		1			15	10	1	4			4	2	
円筒上層a2式				3	3	15	5	2	1		4	1	2
円筒上層a1式		3			19	18	2	4	3	2	17	4	5
円筒下層d2式	6	2	5		42	17	6	8	10	3	6	3	4
不明					6	3		2	1	1	2	2	

グリッド	21			22					23				
層　位	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲb	Ⅱ	Ⅱ～Ⅲa	Ⅲa	Ⅲa～b	Ⅲb	Ⅱ	Ⅱ～Ⅲa	Ⅲa	Ⅲa～b	Ⅲb
円筒上層b式	1					2	1						
円筒上層a式	5	6	1	4		15		2	3	1	4		1
円筒上層a2式	10	12		4		8	1		1		11		
円筒上層a1式	32	25	2	6	1	36	4	5	2	6	37		3
円筒下層d2式	24	29	3	10	1	55	6	4	11	3	29	2	2
不明	9	6		5		18		2	2	3	9		

グリッド	24		25
層　位	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲa
円筒上層b式		8	1
円筒上層a式		16	9
円筒上層a2式		9	4
円筒上層a1式	1	33	10
円筒下層d2式	1	58	16
不明		16	1



第236図　集落想定図

4　ま　と　め

既述のとおり、遺跡からは円筒下層ｄ2式から円筒上層ｂ式にかけての埋設土器と捨て場と共に、大量の土器や石器を確認している。これらの主体となる時期は下層ｄ2式から上層ａ1式である。時系列に沿って見ていくと、下層ｄ2式期には丘陵斜面に捨て場、その縁辺に埋設土器が列をなすように形成される。これらは上層ａ1式まで継続するものの、上層ａ2式以降には捨て場と共に土器の埋設行為が減少していく。当然、確認した各遺構は居住空間と共に集落のもとで形成されることから、第236図のような配置にあったと考えられる。特に下層ｄ2式から上層ａ1式期にかけては、丘陵の頂部に居住域が広がり、北側斜面において物・人送りなどの行為が頻繁に行われていたものと想定される。

このような中で、上層ａ1式を主体とする捨て場の帰属年代が青森県などの遺跡で得られている年代と概ね整合したことは成果と言える。ただし、この円筒上層ａ式の年代について言及しておくと、中期初頭に比定される他型式の年代と若干乖離している点が問題として挙げられる。これは本遺跡だけでなく、小笠原(2008)がまとめたものにも言えることである。これらの年代については小林(2004)や中野(2008)を参考にすると、初頭から前葉にかけてのやや後出した年代値を示している。むしろ、茅野(2008)が提示した下層ｄ式の年代の方が合致しているように捉えられる。このことから判断するのであれば、時間的位置づけにおける前期と中期の境については、円筒下層ｄ2式の中にその変換点となる要素を見いだす必要があるものと思われる。

今回の調査では縄文時代前期末葉から中期前葉に形成された集落の一端を把握したに過ぎないものの、埋設土器と捨て場の形成時期や、各遺構の変遷から集落との関係性を捉えられたことは大きな成果と言える。このような円筒文化圏の成果は復興調査だけでなく県内でも稀な事例となることから、

今後、岩手県沿岸北部地域及び八戸市を中心とした青森県の周辺地域などと比較しながら理解を深めていく必要がある。

参考文献　（下記の岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第〇集については岩埋報第〇集とする。）

青森県　2017『青森県史　資料編　考古１』

青森県教育委員会　2017『水上（２）遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第575集

青森県教育委員会2018『上桑木窪遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第596集

阿部朝衛　1987「磨製石斧生産の様相」『史跡　寺地遺跡』新潟県青海町

阿部朝衛　2000「先史時代人の失敗と練習-石鏃と磨製石斧の分析から-」『考古学雑誌』第86巻１号

江坂輝彌ほか　1958「青森県蟹沢遺跡調査報告」『石器時代』第５号石器時代文化研究会

江坂輝彌　1970『石神遺跡』ニューサイエンス社

榎本剛治　2008「十腰内Ⅰ式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

小笠原雅行　2008「円筒上層式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

（公財）岩手県文化振興事業団2018『北鹿糠遺跡発掘調査報告書』岩埋報第686集

（公財）岩手県文化振興事業団2019『鹿糠浜Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋報第702集

（公財）北海道埋蔵文化財センター　2017『福島町館崎遺跡』（公財）北海道埋蔵文化財センター調査報告書第333集

上條信彦　2014「「扁平石器」の形態的分布からみた円筒土器文化圏の動態-半円状扁平打製石器、抉入扁平打製石器、抉入扁平磨製石器を中心に-」『青森県考古学』第22号青森県考古学会

小林謙一　2004『縄文社会研究の新視点－炭素十四年代測定の利用－』六一書房

斎藤　岳　2002「三内丸山遺跡第６鉄塔地区の石器組成と抉入扁平磨製石器の使用方法について」『特別史跡三内丸山遺跡年報』６青森県教育委員会

坂本真弓　2005「青森県における縄文時代前期の土器埋設遺構」『研究紀要』第10号青森県埋蔵文化財調査センター

須原　拓　2013「川目Ａ遺跡出土の磨製石斧にみる石斧生産について」『紀要』ＸＸＸⅡ（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

高木　晃　2005「岩手県北における縄文時代前期末土器群の様相」『東北・北海道の縄文時代前期末葉～中期初頭土器の課題-資料集-』海峡土器編年研究会

茅野嘉雄　2000「南郷村畑内遺跡出土のすり石について」『研究紀要』第５号青森県埋蔵文化財調査センター

茅野嘉雄　2002「青森県における縄文時代前期末から中期初頭の異系統土器群について-県内出土資料の集成-」『研究紀要』第７号青森県埋蔵文化財調査センター

茅野嘉雄　2008「円筒下層式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

中野幸大　2008「大木 7a ～ 8b 式土器」『総覧　縄文土器』UM　Promotion

藤原秀樹　2017「北海道の土器埋設遺構について」『北海道考古学』第53輯

三宅徹也　1989「円筒土器下層様式」『縄文土器大観１草創期　前期　早期』小学館

村越　潔　1976「円筒土器に伴う特殊な石器」『東北考古学の諸問題』

洋野町教育委員会　2015『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第２集

洋野町教育委員会　2017『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第３集